

YEAR BOOK OF JAPANESE ART

# 日本美術年鑑

平成 8 年版 (1995.1—12)

東京国立文化財研究所

TOKYO NATIONAL RESEARCH INSTITUTE  
OF CULTURAL PROPERTIES

13—27 UENO PARK, TAITO-KU, TOKYO

## 序

この『日本美術年鑑』は、わが国美術界の一年間の動向を、基本となる資料を収集整理してまとめたもので、昭和11年に当研究所美術部の前身である帝国美術院付属美術研究所によって第一冊が刊行された。この方針は、昭和27年に美術研究所が東京国立文化財研究所美術部となっても変わることなく受けつがれ、今回その第53冊目を刊行することとなった。

この平成8年版は、平成7年(1995年1月～12月)における美術界の動向を、年史・展覧会・文献目録・物故者の四項目に分けて示すものである。これらの記述の方法は、創刊以来の基本的方針を継承しているが、現代美術に関する展覧会については、昭和61年版以来、重要な展覧会批評の掲載誌紙名を各展覧会の項に付け加えることとした。近年来、年史・展覧会の各項目とも、調査・採録すべき事項が急増しており、その情報量の増加は、我々の年鑑編集能力の限界に近づきつつあるので各項目の内容をとくに厳選して編集することとした。

なお、この年鑑の編集には、当研究所美術部第二研究室が当り、美術部第一研究室、情報資料部等の協力を得た。資料を提供して下さった多くの方々、公私立の美術館・博物館、美術団体、画廊等の美術関係諸機関に対し、心から御礼申し上げる。

平成9年3月

東京国立文化財研究所

美術部長 鶴田武良

## 凡 例

- 1 本年鑑は、平成7年の1月から12月に至る美術界の主要な出来事を掲載した。
- 1 本年鑑は、わが国美術界の全般について、主要な事件、展覧会、物故者、発表された文献などを記載した。
- 1 本年鑑であつかう美術の範囲は、一般に行われる狭義の解釈に従い、絵画、彫塑、工芸、書および建築に限っている。絵画のうち、日本画と洋画の区別は困難な場合もあるが、ほぼ慣例に従った。建築と工芸はわれわれの注意をひく範囲にとどめ、書は古美術に限った。
- 1 人名を記す場合は、すべて敬称をはぶいた。
- 1 美術展覧会の欄は、展覧会名、日付、場所の順に略記したが、場所が東京でデパートの本店である場合には、日本橋にある高島屋・三越の(日本橋)、新宿にある小田急・伊勢丹・京王の(新宿)、池袋にある東武・西武の(池袋)、渋谷にある東急の(渋谷)、銀座にある松屋の(銀座)をそれぞれ省略した。また展覧会名は、作家名での検索の便宜を優先し概ね50音順で記載、出品作家名の明らかな2人展、3人展等、及び出品目録を掲載する団体展については、検索上の重複を避けるため最後に列記した。なお展覧会関連文献は当該展覧会の下に図録、雑誌、主要新聞の順に列記した。

近年増加した日本人作家による海外での展覧会に関する文献は、文献目録の「海外展」の欄に収録した。
- 1 美術文献目録については項目の始めに凡例を記した。
- 1 本年鑑は田中 淳(第二研究室長)を編集主任とし、山梨絵美子(美術部主任研究官)がこれに協力したほか、文献目録のうち東洋古美術文献に関する部分は主として情報資料部文献資料研究室がこれに当たった。また、当研究所所蔵以外の定期刊行物については、東京国立近代美術館の協力を得た。

目次

序	1
凡例	3
目次	4
平成7年美術界年史	1
平成7年主要美術展覧会	7
現代美術・西洋美術	7
東洋古美術	71
美術文献目録(平成7年)	79
凡例	79
目次	83
定期刊行物所載文献	84
現代美術・西洋美術	84
東洋古美術	279
物故者(平成7年)	307

## 平成7年美術界年史

## 1 月

- 1994年度朝日賞受賞者決定 わが国の文化・社会の発展、向上に多大な貢献をした個人、団体に送られる朝日賞の1994年度の受賞者が1日に発表になり、美術関係では建築家の安藤忠雄(53)が「人間と自然を問い直す一連の建築作品」によって受賞した。贈呈式は27日に朝日新聞東京本社で行われた。
- 毎日芸術賞受賞者決定 優れた芸術活動をした個人、団体に送られる毎日芸術賞の第36回目の受賞者が1日に発表された。美術関係では彫刻家土谷武(94年10月から11月まで東京のギャラリーヤマネで開催された「土谷武展」に対して)、画家横尾忠則(1994年9月誠文堂新光社刊『横尾忠則の全ポスター』をはじめとする長年の功績に対して)が選ばれた。贈呈式は同13日東京都千代田区一ツ橋の如水会館で行われた。
- 宮内庁三の丸尚蔵館所蔵明治美術品展覧 日本近代美術の見直しの動きのあるなかで、皇室の蒐集品の一部を所蔵する宮内庁三の丸尚蔵館では同館所蔵の明治美術品をシリーズとして展覧する企画の第一回目として「明治美術再見 I 明治美術会と日本金工協会の時代」展を開催した(第1期 1.4～29、第2期 2.4～3.5)。明治期に献上ないし買い上げとなった作品を多く含む展覧となり、皇室と近代美術との関わりをうかがわせる興味深い企画であった。
- 阪神淡路大震災による文化財被害 17日に兵庫県南部を襲った震度7の地震とその後の火災のため、多くの社寺、美術館・博物館の建物とその所蔵文化財が損壊した。文化庁は25日、大震災による文化財被害についてまとめ、国宝・重要文化財の被害は京都から島根まで9府県にわたり、128件に及んでいると発表。府県別件数の最多は京都府の54件であった。こうした被害に対し、文化庁は東京国立文化財研究所内に「文化財救済委員会」を設置し、また、震災に対する文化財の保存および展示対策の検討に入るなどの対応策をとった。美術館・博物館のなかには公共施設として避難所となったものも多く、同地の美術館活動が旧に復するには時間がかかりそうである。

○「東京都写真美術館」総合開館 日本初の写真・映像の総合的専門美術館として「東京都写真美術館」が21日、恵比寿ガーデン・プレイスに開館した。90年の暫定開館以来、4年余の活動を経て、このたび本格的に開館したもの。建物は地上4階地下1階で、常設、企画、映像の3展示室、収蔵庫のほか、プリント・スタディー・ルーム、図書閲覧室、保存科学研究室、情報検索システム等を備えている。1970年前後に盛り上がった写真専門美術館開設への運動を受けて79年に設立された「日本写真美術館設立促進委員会」(渡辺義雄代表)の活動が実を結んだもので、日本の写真・映像作品の保存、展示のみならず、それらの活動の総合的センターとしての役割が期待されている。開館記念展は「写真都市TOKYO」展(1.21-3.31)。

## 2 月

○第10回小山敬三美術賞受賞者決定 これまでに優れた作品を発表してきた中堅具象画家の業績を顕彰する小山敬三美術賞の第10回目の受賞者は宮崎進(72)に決定した。受賞式は3月16日、東京・六本木の国際文化会館で行われた。

## 3 月

- 「史跡名勝天然記念物指定基準」一部改正 近年の社会経済情勢の変化にともない課題となっている近代の文化遺産の適切な保護を図るため、平成6年9月文化庁によって設置された「近代の文化遺産の保存活用に関する調査研究会議」の調査研究の成果を受け、6日、「史跡名勝天然記念物指定基準」(昭和26年文化財保護委員会告示第二号)の一部が改正された。この改正により指定対象の分野が拡大され、また各分野の例示が近代の遺跡を含むものとなるよう、用語が改められた。
- 芸術選奨受賞者決定 芸術の各分野で昨年一年間に優れた業績を上げた人達に贈られる1994年(第45回)芸術選奨の受賞者が6日文化庁から発表された。美術部門では文部大臣賞に彫刻家井上武吉(64)(石彫個展

「my sky hole '94 森」に対して)、写真家菌部澄(73)(写真集『冬日本海』などに対して)、新人賞に洋画家野又穂(39)(「ニュー目黒名く画>座」展に対して)が選ばれ、評論等の部門では美術史家鈴木杜幾子(49)(著作『ナポレオン伝説の形成』に対して)が新人賞に選ばれた。受賞式は22日東京の赤坂プリンスホテルで行われた。

○**東京都現代美術館開館** 現代美術を専門とする大規模な美術館として19日、東京都現代美術館(江東区三好4-1-1)が開館した。開館記念展は「日本の現代美術1985-1995」展(3.19-5.21)で荒木経惟、遠藤利克ら、現代作家18人の作品を個展形式で、総計約100点展示し、過去十年間の日本美術の動向を展覧しようとするものであった。

○**「ギュスターヴ・モロー展」開催** 19世紀フランスの幻想的な画家ギュスターヴ・モローの油彩、水彩、素描など約150点を展覧する大規模な展覧会が国立西洋美術館で開催された(21-5.14)。画家が生前に自宅を改造して設立したモロー美術館からも多数の作品がもたらされ、「世紀末芸術」の優品を鑑賞できる充実した展覧となった。

○**「ブリューゲルの世界」展開催** 16世紀ネーデルラントの巨匠ピーテル・ブリューゲル父子をはじめ、ブリューゲル一族の作品47点とネーデルラント絵画39点をあわせて展示し北方ネサンスの精華の一端をうかがう「ブリューゲルの世界」展が東京池袋の東武美術館で28日から開かれた(-6.25)。ピーテル・ブリューゲル(父)の作品の多くは海外持ち出し禁止の指定を受けているため、本展への出品作のほとんどが日本初公開となった。

○**日本芸術院賞受賞者決定** 日本芸術院(犬丸直院長)は23日、芸術の各分野で顕著な業績のあった人に贈る日本芸術院賞の94年度(第51回)の受賞者を発表した。第一部(美術)では恩賜賞・日本芸術院賞を洋画の織田広喜(80)(二科展出品作「夕やけ空の風景」に対して)が、日本芸術院賞を日本画の上村淳之(61)(創画展出品作「雁金」に対して)、書の高木聖鶴(71)(日展出品作「春」に対して)、建築の柳沢孝彦(60)(「郡山市立美術館」および一連の美術館・記念館の建築設計に対して)が受賞することとなった。受賞式は6月5日東京上野の日本芸術院会館で行われた。

○**宮本三郎記念賞受賞者決定** 具象洋画において優れた業績をあげた人に贈られる宮本三郎記念賞(美術文化振興協会主催)の第13回目の受賞者が14日、発表され、新制作協会会員の麻田浩(64)が昨年「美しすぎる嘘」展に出品した「窓・四方」が受賞することとなった。

○**安井賞受賞者決定** 具象表現による洋画の第38回安井賞(安井曾太郎記念会等主催)は、わたなべゆう(44)の「風土15」、佳作賞は三浦泉(36)の「遠い日」に贈られることとなった。

○**文化財保存技術者認定** 文化財保護審議会(鈴木勲会長)は、29日、文化財の保存・修理に必要な技術を持つ「文化財選定保護技術保持者」としてあらたに「表装建具製作」の高田三男(69)、「能楽小鼓(胴・革)製作修理」の鈴木理之(58)、「烏梅(うばい)製造」の中西喜祥(76)、「漆掻き用具製作」の中畑文利(52)、「装演修理技術」の国宝修理装演師連盟、の4人1団体を認定するよう与謝野文相に答申した。

○**「西洋美術振興財団」設立** 西洋美術の支援を図ることを目的に31日付で文化庁所管の財団として「西洋美術振興財団」(三角哲生理事長)が設立された。昭和34年に国立西洋美術館開館にあわせて発足した同館協力を継承したもので基本財産一億円。当面は国立西洋美術館の事業に対する支援を中心に活動を行うが、将来は、国内外の美術館との交流、西洋美術の展覧会、調査研究、出版なども支援対象としていく意向である。

## 4 月

○**平成7年度文化庁予算** 平成7年度文化庁予算は、前年度予算から12.1%増の667億6500万円で、伸び率は文化庁創設以来最高のものとなった。美術関連の主な新規事業としては「古代ロマン再生事業」と称される「大規模遺跡総合整備事業」「埋蔵文化財公開普及事業」のほか「文化財における環境汚染の影響と修復技術の国際共同研究」「国際文化財保存修復協力センター(仮称)運営」などが含まれている。

○**安藤忠雄ブリッサー賞受賞** 「建築界のノーベル賞」ともいわれるブリッサー賞の1995年度の受賞者が16日、米ハイアット財団により発表され、安藤忠雄(53)が選ばれた。同賞は現代の優れた建築家に贈られるもので、米国のハイアット・ホテルチェーン創設者が理事長をつとめるハイアット財団により1979年に設立され、日本人の受賞者は87年の丹下健三、93年の槇文彦に続いて3人目となる。

○**「東寺国宝展」開催** 延暦15(796)年に都の鎮護のために創建された京都の東寺(教王護国寺)は、今年創建1200年を迎える。これを記念して国宝・重要文化財を含む150点の寺宝を展覧する「東寺国宝展」が11日より5月14日まで京都国立博物館で開かれた。国宝「両界曼荼羅」「大威徳明王像」などが展示され、密教美術の優品を鑑賞する好企画となった。本展は京都国立博物館で終了後、東京の世田谷美術館に巡回した。

○**重要無形文化財保持者(人間国宝)認定** 文化財保護審議会(鈴木勲会長)は14日、重要無形文化財保持者(人間国宝)としてあらたに10人を認定するよう与謝野文相に答申した。美術関係では「白磁」の井上萬二(66)、「三彩」の加藤卓男(77)、「羅」の北村武資(59)、「鍛金」

の奥山峰石(58)、「髹漆」の塩多慶四郎(69)、「竹工芸」の二代前田竹房斎(77)、重要無形文化財保持団体として小鹿田焼技術保存会(黒木力代表)が選ばれた。重要無形文化財保持者は今回の答申を含めて82人となった。

○**国宝・重要文化財指定認定** 文化財保護審議会(鈴木勲会長)は14日、狩野永徳筆「洛中洛外図六曲屏風」、大分県臼杵市の「臼杵磨崖仏」、棚畑遺跡出土の「土偶」の3件を新たに国宝に、絵画・彫刻・工芸品・書籍典籍・古文書等7分野41件を新たに重要文化財に指定するよう与謝野文相に答申した。

○**戦後文化の軌跡 1945—1995」展開催** 従来の「美術」の枠にとどまらず視覚文化全般を通じて戦後50年を振り返ろうとする「戦後文化の軌跡 1945—1995」展が目黒区美術館で19日から開催された(—6.4)。漫画、写真、ファッション、建築、映像、生活デザイン等のジャンルから時代を象徴する作品を集め、時代の雰囲気再現させる興味深い展覧会となった。同展は目黒区美術館で終了後、広島市現代美術館(6.14—7.21)、兵庫県立近代美術館(8.15—9.24)、福岡県立美術館(10.8—11.5)に巡回したが、これらの開催館の学芸員が企画から3年余の研究会を通じて構成、作品選定を行ったことでも注目される展覧会であった。

○**現代グラフィックアートセンター(CCGA)開館** アメリカの版画工房タイラーグラフィック社のアーカイブコレクションを中心に収蔵、展示を行う現代グラフィックアートセンター(CCGA)が、福島県須賀川市に20日、開館し、21日から一般公開された。タイラーグラフィック社主宰ケネス・タイラー氏の「アジアの版画芸術の発展に貢献したい」という意志を受け、大日本印刷(株)のメセナ活動の一環として運営されるもので、館長には高橋平大日本印刷常務取締役が就任。敷地面積8600平方メートル、延べ床面積1428平方メートルの建物は景観設計により周囲の景観、生態系に調和するものとなっている。同センターはタイラーグラフィック社が創立以来制作してきた現代版画750点および今後制作される作品、大日本印刷が所有する作品等を収蔵・展示する一方、作品研究や制作への寄与を重視しシンポジウム等も積極的に行っていく方針である。

○**「日本仏教美術名宝展」** 奈良国立博物館は明治28(1895)年に宮内省の帝国奈良博物館として開館してから今年で百年を迎える。同館ではこれを記念して国宝115件、重要文化財89件を含む国内外の日本仏教美術の優品214件を集めた「日本仏教美術名宝展」を22日より開催するとともに、同館の歩みと仏教美術研究の成果を紹介(—6.4)。展示は編年的に二部構成を取

り、本館では飛鳥・白鳳期から天平時代までの彫刻・絵画・仏具、新館では平安時代から鎌倉時代までの作品を展示し、密教美術、浄土教、法華信仰など多様な展開がうかがえる、充実した展覧会となった。

## 5 月

○**史跡・重要文化財(建造物)の新指定** 文化財保護審議会(鈴木勲会長)は19日、柳之御所遺跡、旧横浜正金銀行本店、原爆ドーム、琵琶湖疎水など7件を新たに国の史跡に、立山室堂など3件を新たに国の重要文化財に、すでにその5棟が重要文化財に指定されている岐阜県養老郡の桑原家住宅のうち南土蔵1棟を追加指定するよう与謝野文相に答申した。

## 6 月

○**「サンリツ服部美術館」開館** 長野県諏訪湖畔に6日、「サンリツ服部美術館」(長野県諏訪市湖岸通り2—1—1)が開館。地元の不動産管理会社サンリツ企画株式会社の所蔵作品とセイコーエプソン社長であった故・服部一郎の収蔵品を合わせた約600点の収蔵品は茶道具、古書画を中心とし、国宝、重要文化財、重要美術品28点を含む。建物は内井昭蔵の設計になり、「水辺より湧き上がる雲」のイメージを表している。「開館記念名品展」は6日から9月10日まで行われた。

## 7 月

○**「没後200年記念円山応挙—抒情と革新」展開催** 18世紀後半に京都で活躍し、写生を重視して近世絵画に新風を吹き込んだ円山応挙の没後200年を記念し、4日から京都国立博物館で特別展「円山応挙—抒情と革新」展が開かれた(—8.6)。画家の20代から没年にいたるまでの画業を障壁画、屏風、掛幅、画卷のそれぞれの形式によってたどる充実した展覧会となった。

○**「里見勝蔵展」開催** 独立美術協会の創立会員として同会、および日本のフォーヴィスム運動を主導した洋画家里見勝蔵(1895—1981)の生誕100年を記念して、その画業を振り返る「里見勝蔵展」が18日から京都国立近代美術館で開催された。油彩、素描など185点の作品のほか、写真等の資料も展示される充実した展覧

## 平成7年美術界年史

となった。同展は後、鳥取県立博物館(10.6—11.5)、目黒区美術館(11.18—1.15)、郡山市立美術館(1.27—3.3)に巡回した。

○「ロダン・ムーア記念賞」受賞者決定 具象彫刻を対象とする「ロダン大賞展」と抽象彫刻を対象とする「ヘンリー・ムーア大賞展」を統合して1993年に始まった「フジサンケイ・ビエンナーレ現代国際彫刻展」の第2回展が21日から美ヶ原高原美術館で開催され、「ロダン・ムーア記念賞」受賞者の作品が展示された。コンクール部門には52ヶ国から750点の作品が寄せられ、最高賞である大賞に吉本義人の「連態95—1」、「ロダン・ムーア記念賞」にはウィリアム・タッカー(英・米)の「ヴィッシュス神(プロメテウス)」、優秀賞には池田満寿夫「犀」、エリゼオ・マッティアッチ(伊)「観念が循環する場所」、ジョエル・パールマン(米)「大きな南の星」が選ばれた。コンクール部門入賞作17点にボロフスキー、トニー・クラッグなど招待作家の作品4点を加えた同展は10月31日まで開催された。

○「メルシャン軽井沢美術館」開館 酒造会社メルシャンが所有する「軽井沢ウイスキー蒸留所」の樽貯蔵庫を改築した「メルシャン軽井沢美術館」(長野県北佐久郡御代田町大字馬瀬口)が23日に開館。床面積1330平方メートルの建物はフランスの建築家ジャン・ミッシェル・ヴィルモットの設計になり、元の建物を活かしたものとなっている。開館記念展はフランスのマール・コレクションからの出品を中心とする「ミロ、夢の迷宮」展(23—11.19)。

○「ペテルブルグミュージアム」開館 北海道小樽市に27日、ペテルブルグミュージアム(今井千香子館長、小樽市色内1—3—1)が開館。株式会社丸井ディオスの運営になり、小樽市指定の歴史的建造物「旧小樽ホテル」の内部を改装して美術館としたもので、エルミターージュ美術館、国立ロシア美術館などサンクト・ペテルブルグ(旧レニングラード)の美術館博物館と提携し、これらの館の所蔵品を継続的に常設展示する。

## 8 月

○文化庁「文化財公開施設の計画に関する方針」策定 近年、文化財公開施設の新設・増大、文化財公開事業などが活発に行われるようになったことに鑑み、文化庁文化財保護部は「文化財公開施設の計画に関する方針」を打ち出し、博物館等の文化財公開施設を計画する際の基本的な考え方や留意点を明確にした。文化財の維持・保存と公開・活用というあい矛盾する二者を調和させるためにかねてからそのよりどころとなる指針の

提示が求められていたことに応え、立地条件、設計と施工などについて具体的な基本ラインが示されている。

○あいつぐ「戦後50年」関連企画展 敗戦から半世紀を迎える今夏、美術界でもそれに関連する企画が相継いだ。東京都庭園美術館では12日より「終戦50年企画アメリカに生きた日系人画家たち」展が開かれ、大分県立芸術会館(10.25—11.19)、ひろしま美術館(11.25—1.28)に巡回したほか、沖縄県の浦添市美術館では「沖縄戦後美術の流れ」(2—27)、広島市現代美術館では「ヒロシマ以後—現代美術からのメッセージ」展(7.22—9.17)、郡山市立美術館では「ヒロシマ—21世紀へのメッセージ」展(12—9.17)、神奈川県立近代美術館では「芸術の危機—ヒトラーと《退廃芸術》」展(13—9.24)、町田市立国際版画美術館では「戦争・人間展」(7.30—9.24)が開かれ、第二次世界大戦期と戦後の美術を振り返り、再考する試みがなされた。

## 9 月

○武生市、佐伯祐三作品の公開中止 福井県武生市の小泉剛康市長は11日の定例市議会初日で、懸案となっている佐伯祐三の油彩画38点の公開を中止する旨を明らかにした。「夭折の天才画家」と言われる洋画家佐伯祐三(1898—1928)の未公開の作品、資料が、昨年、大量に発見され、その一部が武生市に寄贈されて、同市が計画している「佐伯祐三記念美術館(仮称)」所蔵作品として11月に一般公開される予定であったが、寄贈作品について疑問の点が多いとして、全点、寄贈者に返却されることとなったもの。

○中原悌二郎賞受賞者決定 国内の優れた彫刻作品に贈られる中原悌二郎賞の第26回目の受賞者は武蔵野美術大学教授の保田春彦(65)の「聚楽(しゅうらく)を囲う壁I」に、中堅・若手作家を対象とした中原悌二郎賞優秀賞は舟越桂(44)「唐突な山」に贈られることとなった。

○世界遺産推薦対象決定 文化庁は21日、世界的に貴重な自然・文化遺産を保護する世界遺産条約に基づく「世界遺産一覧表」への登録候補に広島市の原爆ドームと広島県宮島町の厳島神社の二件を推薦する事を正式に決定した。同日の文化財保護審議会です承され、22日に関係省庁の連絡会議で協議したうえで、ユネスコの世界遺産委員会に伝えられ、1996年12月の同委員会で登録の可否が決定される。

○植田正治写真美術館開館 砂丘を背景とする構成的な作品で知られる写真家植田正治の作品を保存、公開する「植田正治写真美術館」が23日、作家の郷里である鳥取県岸本町に開館(西伯郡岸本町須村353—3)。建



物は国立公園大山の麓にあって高松伸の設計になり、鉄筋コンクリート3階建て、延べ床面積2800平方メートル。4展示室のほか映像展示室などを備え、作家から寄贈された約12000点の写真作品の保存、調査研究、展示公開を行っていく。開館記念展は「UEDA-CHO:植田正治、その変革なき変遷」展(23-3.24)。

## 10 月

- 文化財の時代範囲拡大への提言 近代の文化遺産の保存や活用のある方を検討している文化庁の協力者会議(河合隼雄座長)は16日、「大正期以前に限定してきた文化財(建造物)の時代範囲の基準を、建築後半世紀を経過した建造物に改めるべきだ」とする報告書をまとめた。また、橋などの土木構造物も対象に加え、使用しながら保存するよう提言している。これにより、近代の文化財の指定、保存に新たな枠組みが提示されたこととなる。
- 文化勲章受章者決定 今年度の文化勲章受章者5名と文化功労者15名が24日、政府から発表された。美術関係では漆芸の佐治賢使(81)が文化勲章受章者に、日本画の加藤東一(79)、版画の斎藤清(88)、書の杉岡華邨(82)が文化功労者に選ばれた。
- 第7回世界文化賞受賞式開催 国境を越え、世界の平和と文化の発展に人生をささげた芸術の創造者たちをたたえる「高松宮殿下記念世界文化賞(プレミアム・インペリアル)」(財団法人日本美術協会主催)の第7回受賞式が26日、東京赤坂の明治記念館で行われ、絵画部門でフランスのマッタ(83)、彫刻部門でアメリカのクリスト夫妻(60)、建築部門でイギリスのレンゾ・ピアノ(58)が受賞した。

## 11 月

- 倫雅美術奨励賞受賞者決定 優れた美術評論や美術史研究および創造活動に贈られる倫雅美術奨励賞の第7回受賞者が決まり、美術評論・美術研究部門では世田谷美術館の勅使河原純(47)の『美術館からの逃走』(現代企画室)と東京国立近代美術館工芸館の樋田豊次郎(44)「素材の領分」展の企画とカタログ論文、創作活動部門では車季南(チャ・ケナム)(42)の「染織を通じての最近の創作活動」が選ばれた。顕呈式は12月4日、赤坂プリンスホテルで行われた。
- 千葉市美術館開館 千葉市中央区に3日、千葉市美術館(辻惟雄館長)が開館(千葉市中央区中央3-10-80)。地下3階地上12階、塔屋1階の建物の3-5階が中央区役所、7階以上が美術館で、7、8階が展示

室、9階が市民ギャラリー10階が図書室となっている。「千葉市を中心とした房総ゆかりの作家・作品」「近世以降の美術品」「現代美術」を収集の柱とし、開館記念展は大英博物館との共同企画による「喜多川歌麿展」(3-12.10)。

- 豊田市美術館開館 愛知県豊田市に11日、豊田市美術館(寺光彦館長)が開館(豊田市小坂本町8-5-1)。建物は地上3階地下2階、鉄筋コンクリート造りで延べ床面積は1120平方メートルで常設展示室7室、企画展示室1室のほか漆芸の高橋節郎館、図書閲覧室、講堂、アトリエ等の諸施設を備えている。「一作家複数作品」をめざし、国内外の近現代美術を系統立てて収集、展示していく方針で、開館記念展は「デトロイト美術館所蔵：ヨーロッパ近代美術とアメリカ現代美術」(一1.7)。同館はデトロイト美術館と姉妹館提携を結んでおり、今後も情報交換、人的交流を推進していく。一般市民の美術館活動への参加を促すため準備室段階から一口千円のみ美術品購入基金を実施し、一般の寄付を仰いでいる点も注目される。
- 米国セントルイス美術館で日本画の一世紀展開催 明治元(1868)年から百年間の日本画の展開を跡づける「NIHONGA-Transcending the Past」展が米国ミズーリ州のセントルイス美術館(The Saint Louis Art Museum)で4日から開催された(一12.31)。米国の日本画研究者が作品選定、構成にあたり、開催とともにシンポジウムも行われて「日本画」とは何かを国際的視野から問う好機となった。
- サントリー学芸賞受賞者決定 第17回サントリー学芸賞(サントリー文化財団主催)の受賞者が、13日決定された。4部門7人の受賞者のうち、美術関係では芸術・文学部門で今橋理子『江戸の花鳥画 博物学をめぐる文化とその表象』(スカイデア)が受賞した。
- 芸術院新会員決定 日本芸術院(犬丸直院長)は17日、今年度の会員補充選挙を行い、あらたに6人を新会員に内定した。美術関係では洋画の織田廣喜(81)、平松讓(81)、彫塑の長江録彌(69)が選ばれた。総会の承認後、12月15日付けで島村直伸文相が発令する。
- 史跡指定 文化財保護審議会(鈴木勲会長)は24日、鳥取県淀江町の上淀廃寺跡など4件を新たに国の史跡に指定するよう島村文相に答申した。これで国の史跡指定は1371件となった。
- メセナ大賞受賞者決定 企業や企業財団による優れた芸術文化支援活動を表彰する「メセナ大賞」'95(社団法人企業メセナ協議会主催)が決定。25都道府県から自薦、他薦116件の応募があり、美術関係では財団法人京都服飾文化研究財団による「モードのジャポニスム」展開催などの活動に審査委員特別賞が贈られ、育成賞にバルコの「URBANART」の開催、企画賞に三菱広報委員会のアジア子供アートフェスティバルの開催が選ばれた。

12 月

○白河郷合掌造り集落が世界遺産に 世界遺産の登録を審議するためドイツ・ベルリンで開かれているユネスコ世界遺産委員会は6日、岐阜県大野郡白河村と富山

県東砺波郡平村、上平村に残る「白河郷、五箇山の合掌造り集落」を文化遺産として、世界遺産一覧表に登録することを決めた。日本では既に文化遺産として「法隆寺地域の仏教建造物」「姫路城」「古都京都の文化財」が登録されており、自然遺産を含めて国内6か所の登録となった。

## 美術展覧会

## 〔現代美術〕

## 個 展

## (ア)

- アーキテクチュア・オブ・ザ・イヤー展95 11. 16—29 メトロポリタンプラザ8Fメットホール  
毎日夕刊 11. 16 木村俊彦
- アート・オン・ザ・ネット インターネットの挑戦1995展 8. 20—9. 10 町田市立国際版画美術館ハイビジョンホール  
新美術新聞 746  
サンケイ 9. 15 赤地真志帆
- アート・パワー展 11. 1—5 六甲アイランド  
日経 11. 1
- ART5展 12. 4—16 下條画廊、戸村美術、ギャラリーアートもりもと、いつき美術画廊、鈴木美術画廊  
美術(月刊) 243
- アートマインド大賞展'95 10. 2—7 東京ロイヤル美術館  
アートマインド 83 水上杏平
- オール・デコのポスター展 8. 8—10. 7 東京国立近代美術館フィルムセンター  
現代の眼 488 金子賢治  
朝日夕刊 3. 23 中ノ堂信  
朝日夕刊 9. 14 金子賢治
- アルバー・アールト展 4. 21—5. 14 東京デザインセンター  
朝日夕刊 5. 10 (若)
- 髯嘸展 1. 17—2. 4 南天子ギャラリー-SOKO  
朝日夕刊 1. 31 (若)
- 藍染め古布キルト展 1. 6—22 大崎ウエストギャラリー  
毎日夕刊 1. 14
- 相田幸男油絵展 10. 24—30 三越新美術新聞 748  
美術の窓 151 編集部
- アイヌ民族の服飾展 10. 11—28 昭和女子大学光葉博物館  
毎日夕刊 10. 16
- 相場るい児陶人展 12. 5—17 ヲザコレクションギャラリー(名古屋)  
陶説 515 井上隆生
- 葵会日本画展 11. 1—7 東武(池袋)  
美術(月刊) 242 編集部
- 青木清人形展 5. 17—21 松屋(銀座)  
読売(都民版) 5. 21
- 青木繁展 6. 30—9. 24 プリヂストン美術館  
朝日夕刊 7. 13 貝塚健
- 青木聖吾展 11. 1—28 INAXギャラリー2  
美術手帖 718 西村智弘
- 青木野枝展 4. 3—25 アキライケダギャラリー  
美術手帖 709 林洋子
- 青木淑子展 9. 25—30 おーび画廊  
朝日夕刊 9. 20
- 青山博之日本画軸装展 12. 13—19 松坂屋(上野)  
新美術新聞 753
- 青山義雄展 5. 20—6. 18 茨城県近代美術館  
新美術新聞 734
- 赤瀬川原平の冒険展—脳内リゾート開発大作戦 1. 21—4. 2 名古屋市美術館  
芸術新潮 543 赤瀬川原平(談)  
新美術新聞 723  
美術(月刊) 233 池田龍雄  
美術手帖 705 嵐山光三郎  
朝日夕刊 3. 16 (三)  
毎日夕刊 2. 14 三田晴夫  
毎日夕刊 2. 21 赤瀬川原平  
読売夕刊 3. 31 (川)
- 赤塚祐二展 1. 7—21 コバヤシ画廊  
美術手帖 705 林洋子
- 赤堀尚展 2. 14—25 ギャラリー武者小路  
東京夕刊 2. 23
- 浅井純介陶展 8. 20—26 ギャラリー茜(名古屋)  
陶説 511 井上隆生
- 特集陳列 浅井忠展—高野コレクションより— 11. 28—12. 24 東京国立博物館  
国立博物館ニュース 583 古田亮
- 朝倉力男展—一生の刻印 雪景の譜 6. 24—7. 30 北海道立旭川美術館  
氷華 36 浅川真紀
- 麻田浩展 第13回宮本三郎記念賞受賞記念 7. 25—31 三越新美術新聞 740
- 朝日陶芸展33回 9. 7—12 丸米スカイル  
陶説 511 井上隆生  
朝日夕刊 9. 6 坪井明日香
- アザミ革工芸展 9. 8—14 京王  
毎日夕刊 9. 2
- アジアの実験映像展 8. 2—13 愛知県芸術文化センター  
AAC 13 T. E.
- アジアの漆芸展 9. 8—11. 13 石川県輪島漆芸美術館  
漆芸美術館だより 14
- アジアのモダニズム展—その多様な展開：インドネシア、フィリピン、タイ 10. 28—12. 3 国際交流フォーラム  
新美術新聞 751  
美術手帖 718 萩原弘子  
朝日夕刊 11. 9 (三)  
東京夕刊 11. 24 北澤憲昭  
日経 11. 8 宝玉正彦  
毎日夕刊 11. 13 三田晴夫  
読売夕刊 11. 6 (菅)
- アジア美術展4回 4. 5—5. 14 世田谷美術館  
アトリエインターナショナル 819  
読売夕刊 4. 22 岡田守男

平成7年美術展覧会(ア、イ)

アジア漫画展—漫画で見る「アジアの女性」 7, 18—8, 10 国際交流フォーラム  
読売夕刊 8, 1 (前)  
味岡伸太郎展 2, 3—26 ギャラリーAPA  
美術手帖 706 拝戸雅彦  
味岡伸太郎展 4, 29—5, 28 ギャラリーサンセリテ  
Lady's Slipper 3 岡田潔  
明日をひらく日本新工芸展 9, 5—11, 19 彫刻の森美術館  
サンケイ 9, 16 斎藤道子  
サンケイ 10, 22 日野耕之祐  
麻生三郎展 1, 5—29 茨城県近代美術館  
朝日夕刊 1, 24 (三)  
与勇輝展 10, 5—22 松坂屋美術館  
新美術新聞 746  
安達桂子展 10, 24—30 三越(銀座)  
美術(月刊) 242 編集部  
シュウゾウ・アツチ・ガリバー展 3, 3—4, 15 ミヅマアートギャラリー  
美術手帖 709 平野到  
アフリカ・ジンバブエ 石の彫刻展 9, 26—10, 8 銀座教会  
朝日 10, 5  
優良生活 アマゾン・インディオのアート展 9, 14—10, 22 プティミュゼ  
ギャラリー(月刊) 126  
天野豊久展 2, 27—3, 11 ギャラリーサージ  
美術手帖 706 古屋俊彦  
「アメリカが愛した日本」展 8, 3—9, 17 そごう美術館(横浜)  
東京夕刊 9, 1 山梨俊夫  
アメリカに生きた日系人画家たち展—希望と苦悩の半世紀1896—1945 8, 12—10, 1 東京都庭園美術館  
C. A. R. 19 岡部昌幸  
新美術新聞 741 岡部昌幸  
美術(月刊) 240 関昭郎  
美術手帖 715 正木基  
サンケイ 9, 24 松村寿雄  
朝日夕刊 10, 1 (三)  
東京 9, 23 高橋治子

東京夕刊 8, 18 山梨俊夫  
日経 8, 21 宝玉正彦  
読売夕刊 7, 28 高木規矩郎  
読売夕刊 9, 9  
アメリカン・シーンの日本人画家たち展 4, 29—6, 4 練馬区立美術館  
新美術新聞 733  
朝日夕刊 5, 16 (三)  
日経 5, 23 宝玉正彦  
荒井伸佳展 11, 15—27 Gallery FLOOR 2(東京)  
美術手帖 720 平野到  
「さっちんの夏」荒木経惟写真展 8, 3—20 ラフォーレ・ミュージアム原宿  
朝日夕刊 8, 16 (若)  
毎日 8, 14 三田晴夫  
心の寺円覚寺—国宝舍利殿と僧展 \$ 荒牧万佐行 \$ 11, 7—20 ニコンサロン  
毎日夕刊 11, 7  
有栖川宮・高松宮ゆかりの名品展 10, 5—25 上野の森美術館  
サンケイ 10, 1 倉橋祥二  
サンケイ 10, 4 倉橋祥二  
サンケイ 10, 5 松村寿雄  
サンケイ夕刊 10, 6 松村寿雄  
有元利夫の世界展 1, 13—2, 12 茨城県つくば美術館  
新美術新聞 722  
朝日夕刊 2, 7 (三)  
ジャン・アルプ展 4, 10—5, 31 ギャラリーとことろ  
東京夕刊 5, 19 山梨俊夫  
日経 4, 14 宝玉正彦  
安西水丸展 2, 13—3, 17 ガーディアン・ガーデン  
毎日夕刊 2, 1  
明日へ—震災復興と大阪湾ベイエリア—安藤忠雄建築展 10, 14—11, 26 サントリーミュージアム〔天保山〕  
日本美術工芸 688 (吉)  
日経 10, 23  
セシル・アンドリュ展 1, 9—21 ギャラリー現  
美術手帖 705 古屋俊彦  
(UN)FRAMING展 9, 9—10, 22 原美術館

Hara Museum REVIEW 31  
安田篤生

(イ)

飯村隆彦のメディア・インスタレーション展 メタ・メディア 総合開館記念 1, 21—3, 26 東京都写真美術館  
朝日夕刊 1, 21  
五百住乙人油絵展 10, 17—23 三越  
美術(月刊) 241 瀧梯三  
美術の窓 150 高山淳  
東京夕刊 10, 19  
井川惺亮展—(半島)— 4, 20—5, 28 山口県立美術館  
天花 61 河野通孝  
イギリス絵画の350年展 ヴィクトリア&アルバート美術館 3, 30—4, 16 大丸ミュージアム(東京)  
新美術新聞 731  
イギリス木版画展1890—1945 10, 7—11, 12 神奈川県立近代美術館  
新美術新聞 746  
美術(月刊) 242 菅野洋人  
居串佳一展 4, 14—5, 14 北海道立近代美術館  
侶美以 54 五十嵐聡美  
池依依チャリティー展 11, 29—12, 3 新宿市民ギャラリー  
サンケイ 11, 28  
毎日 11, 28  
池上恵一展 10, 30—11, 4 信濃橋画廊(大阪)  
美術手帖 720 喜多村明里  
池島玲子陶展 7, 7—16 セラギャラリー(常滑)  
陶説 510 井上隆生  
池田颯阿展 7, 8—23 三越  
陶説 510 福田旻  
池田満寿夫版画展 10, 19—11, 13 そごう美術館(横浜)  
新美術新聞 747  
日経 11, 2 宝玉正彦  
池村玲子展 4, 15—5, 28 ギャラリーHAM  
美術手帖 709 拝戸雅彦

- 井沢以佐子展 12. 18—26 ギャラリー白(大阪)  
美術手帖 721 喜多村明里
- いしちたる新作展 6. 12—18  
アートミュージアムギンザ  
美術(月刊) 237 水上陸男
- 石内都写真展・Hiromi 1995  
手、足、肉、体 9. 25—10. 24  
ギャラリーヴェリタ(渋谷)  
毎日夕刊 10. 20
- 石踊達哉日本画展 4. 11—16 三越  
美術(月刊) 235 編集部
- 石垣定哉展 4. 12—22 日動画廊(名古屋)  
絵 374 鍵岡正謹
- 石川隆彫刻展 12. 19—24 茨城県つくば美術館  
新美術新聞 753
- 石川順恵展 3. 7—4. 1 ギャラリーα M  
美術手帖 708 林洋子
- 石田さよ作品展—人形と日本画の世界 3. 15—21 小田急新宿店別館ハルク7F美術画廊  
毎日夕刊 3. 18
- 石の宇宙展 11. 6—18 北沢(神田神保町)  
毎日夕刊 10. 23
- 石原将安さらさらさら展 6. 17—30 ギャラリー炎舞(名古屋)  
陶説 509 井上隆生
- 石元泰博展 4. 5—5. 19 フォトギャラリーインターナショナル  
東京夕刊 4. 21
- 石山貴美子展 3. 13—25 巷房  
構造 11 門田秀雄
- 「衣・食・住」展 7. 26—8. 7 西武(池袋)  
朝日夕刊 7. 29
- 石渡ユリナ展—新世代への視点'95  
9. 18—30 なびす画廊  
アートマインド 83  
サンケイ 9. 24 (N)
- 伊勢崎淳展 8. 15—20 三越  
陶説 511 福田旻
- 井田照一展 7. 25—30 ギャラリーマロニエ(京都)  
陶説 510 藤慶之
- 板谷波山展 3. 28—5. 7 東京国立近代美術館工芸館  
現代の眼 485 板谷啓造  
現代の眼 485 長谷部満彦  
現代の眼 485 林敏夫  
現代の眼 485 島田文雄  
新美術新聞 729  
日本美術工芸 682 (伸)  
朝日 4. 26 寺尾健一  
朝日 4. 27 土田真紀  
朝日 4. 28 増淵鏡子  
日経 4. 7 宝玉正彦
- 市川美幸展 12. 1—22 ツァイト・フォト・サロン(東京)  
美術手帖 721 西村智弘
- 一木平蔵展 5. 18—23 紀伊国屋画廊  
毎日夕刊 5. 18 三田晴夫
- 市橋哲夫展 9. 18—30 イノウエギャラリー  
美術の窓 151 高山淳  
一期会展30回 8. 22—30 東京都美術館  
美術の窓 151 高山淳  
一線展46回 10. 5—14 東京都美術館  
美術の窓 152 高山淳
- 井出創太郎展 3. 21—4. 2 ラヴコレクションギャラリー(名古屋)  
美術手帖 708 拝戸雅彦
- 伊藤久三郎展—透明なる叙情と幻想  
2. 10—3. 8 ○美術館  
新美術新聞 724  
美術(月刊) 233 森芳雄  
朝日夕刊 3. 3  
東京夕刊 2. 24 山梨俊夫  
読売夕刊 3. 6 (川)
- 伊藤正三展 4. 3—8 資生堂ギャラリー  
美術の窓 145 瀧梯三
- 伊藤創黒陶展 3. 1—9 日動画廊(名古屋)  
陶説 505 井上隆生
- 伊藤隆道展—映し出された時間 7. 22—9. 3 彫刻の森美術館  
サンケイ 8. 13  
朝日夕刊 8. 18
- 伊東忠太展 3. 3—12 アユミギャラリー  
読売(都民版) 2. 23
- 伊藤雄志陶展 6. 9—18 セラギャラリー(常滑)  
陶説 509 井上隆生
- 糸園和三郎展 5. 18—30 名古屋画廊  
新美術新聞 734
- 糸園和三郎とその時代展 8. 30—9. 24 大分県立芸術会館  
新美術新聞 742  
美術(月刊) 240 糸園和三郎
- 稲垣立男展 3. 21—30 アートスペース  
美術手帖 708 平野到
- 稲川庫太郎展 5. 20—7. 16 妙義山麓美術館  
読売 7. 23 波津博明
- 『版画平家物語』の世界—井上員男展 4. 22—5. 14 香川県文化会館  
香川県文化会館だより 88
- 井上公三展 12. 5—7 東京セントラル絵画館  
新美術新聞 752
- 井上秀樹油絵展 8. 22—27 三越  
美術(月刊) 240 編集部
- 井上護展 1995 11. 7—19 コートギャラリー国立  
美術の窓 153 高山淳
- 井上高二白磁展 6. 23—30 和光ホール  
新美術新聞 737  
陶説 510 福田旻
- 井上有一「東京大空襲」展 3. 10—23 すみだりパーサイドホール  
ギャラリー  
新美術新聞 728  
朝日 2. 25  
読売(都民版) 2. 27
- 井上有一の書展 6. 13—7. 2 京都国立近代美術館  
新美術新聞 741 海上雅臣  
朝日夕刊 6. 27 (寛)
- 猪熊弦一郎遺作展 1. 25—2. 12 三越美術館  
新美術新聞 723  
美術(月刊) 232 大熊敏之  
日経 2. 2 宝玉正彦  
読売夕刊 1. 23 河北倫明
- 伊庭靖子展 6. 12—17 番画廊(大阪)  
美術手帖 712 山本淳夫

今井瑾郎展 4. 8—5. 20 新桜画廊(名古屋)  
美術手帖 711 拜戸雅彦  
今井兼次展 10. 23—30 旧早稲田大学図書館(現・高田早苗記念研究図書館)  
毎日 10. 25  
今井繁三郎展 9. 18—23 文藝春秋画廊  
美術の窓 151 高山淳  
人間国宝十三代今泉今右衛門新作展—バリ帰国記念 4. 4—9 三越陶説 507 福田晃  
十三代今泉今右衛門展 10. 25—31 そごう(横浜)  
新美術新聞 748  
IMA「絵画の今日」展 9. 1—13 三越美術館  
美術の窓 149 編集部  
美術の窓 151  
サンケイ 9. 10  
東京夕刊 9. 7  
今口賢一展 原爆被災五十周年慰霊、平和祈念 6. 20—22 町田市立国際版画美術館  
朝日 6. 5  
東京 6. 13  
今関驚人展 7. 13—20 和光ホール  
新美術新聞 739  
今村哲展 11. 23—12. 17 Studio Exhibition(三重県)  
美術手帖 721 廣江泰孝  
入江観作品展 11. 9—18 兼素洞  
新美術新聞 749  
サンケイ 11. 12  
入江比呂全貌展 戦後社会を見据えたラジカルな造形 1. 11—2. 24 ストライプハウス美術館  
新美術新聞 724 門田秀雄  
毎日夕刊 1. 17 三田晴夫  
岩田榮吉回顧展 6. 27—7. 2 東京セントラルアネックス  
新美術新聞 737 小杉小二郎  
美術(月刊) 238 米倉守  
美術の窓 148 高山淳  
岩田和雄陶々展 2. 5—15 MOA ギャラリー(名古屋)  
陶説 505 井上隆生

インサイド・ストーリー 同時代の  
アフリカ美術展 9. 23—11. 19 世田谷美術館  
新美術新聞 745  
サンケイ 11. 12 松村寿雄  
朝日夕刊 10. 14 田中三蔵  
毎日夕刊 10. 26 三田晴夫  
読売夕刊 9. 19 川口幸也  
印象派・後期印象派展 10. 21—1. 21 セゾン美術館  
朝日夕刊 11. 14 飯沢耕太郎  
東京 1. 4  
東京夕刊 11. 8 野見山暁治  
東京夕刊 11. 10 與謝野文子  
東京夕刊 11. 11 赤瀬川原平  
東京夕刊 11. 17 辰野登恵子  
東京夕刊 12. 1 吉田加南子  
Interrelation—場の変容—展 9. 1—10. 31 ギャラリー日鉦  
新美術新聞 749 東護典子  
朝日夕刊 10. 20  
インタラクティブ・アート展 10. 20—4. 30 アートラボ  
新美術新聞 747

(ウ)

ヴィーゲラン展 4. 29—6. 11 芸術の森美術館  
新美術新聞 733  
ウィーンのジャポニスム展 12. 20—2. 12 東武美術館  
朝日夕刊 2. 3  
日経 12. 27 宝玉正彦  
読売夕刊 1. 14 高島直之  
WE ARE HERE展 2. 25—3. 4 CITY GALLERY(神戸)  
美術手帖 706 清水穰  
ヴンダーリッヒ展 4. 11—6. 4 三鷹市美術ギャラリー  
新美術新聞 731  
朝日夕刊 5. 26  
日経 3. 3 宝玉正彦  
上田臥牛展 四季の風物 6. 9—16 日動画廊  
新美術新聞 735  
朝日夕刊 6. 8  
植田正治展 10. 6—11. 7 パルコパート1  
朝日夕刊 10. 13  
上野慶一展 4. 10—16 真木・田村画廊

美術手帖 709 平野到  
上野の森美術館大賞展 4. 28—5. 9 上野の森美術館  
新美術新聞 733  
上村淳之花鳥画自選展 5. 16—8. 16 松伯美術館  
新美術新聞 735  
上村松園展 3. 31—5. 7 松伯美術館  
新美術新聞 732  
ピーター・ヴォーコス展 1. 2—2. 20 セゾン美術館  
新美術新聞 722  
陶説 506 藤慶之  
日経 2. 16 宝玉正彦  
毎日夕刊 2. 2 三田晴夫  
読売夕刊 2. 4 高島直之  
アンディ・ウォーホル「プレ・ポップ時代」展 10. 2—28 ギャラリーコヤナギ  
美術手帖 715 清水哲朗  
イアン・ウォルトン展 6. 5—7. 5 ベイスギャラリー  
新美術新聞 740 (美)  
鶴飼美紀展—新世代への視点'95 9. 18—30 ギャラリー21+葉アートマインド 83  
サンケイ 9. 24 (N)  
宇樹夢舟展 F星に遊ぶ 7. 3—13 77 gallery  
ギャラリー(月刊) 123  
浮世絵とタビスリー展—ベルギー王立美術歴史博物館所蔵 2. 7—3. 19 東京国立博物館  
新美術新聞 724  
浮世絵名品展 初公開クラブホーンコレクション 10. 12—24 松坂屋(上野)  
新美術新聞 747  
牛尾武展 7. 1—10. 31 成川美術館  
新美術新聞 740  
氏田喜芳油絵展 4回 4. 18—23 三越(銀座)  
美術(月刊) 235 編集部  
白井和成作陶展 1. 19—24 松坂屋美術画廊  
陶説 504 井上隆生  
内田綱一うつわ展 7. 18—29 橋本美術(名古屋)

陶説 510 井上隆生  
 美しき大地 その四季彩—東北を描く展 8, 11—9, 10 秋田県立近代美術館  
 日経 9, 5  
 海野惶世展 9, 15—10, 13 ハナエモリビル  
 読売 9, 16  
 椋図かずお展 ウメカニズム 4, 22—5, 21 ラフォーレ・ミュージアム原宿  
 読売夕刊 5, 2 (護)  
 梅田奈加子展 3, 9—15 番町画廊  
 読売(都民版) 3, 11  
 「うるしうるわし」展 10, 18—24  
 西武アートフォーラム(池袋)  
 朝日夕刊 10, 14  
 (エ)  
 「永遠のミュージズたち」展 8, 25—9, 10 P 3 art and environment  
 新美術新聞 745 (白)  
 映画誕生100年博覧会展 シネマの世紀 7, 22—9, 17 川崎市市民ミュージアム  
 新美術新聞 740  
 映画伝来展—シネマトグラフとく明治の日本> 12, 5—1, 21 渋谷区立松涛美術館  
 朝日夕刊 11, 29 木下直之  
 朝日夕刊 12, 21 光田由里  
 東京夕刊 12, 22 山梨俊夫  
 英国肖像画展—エリザベス一世からポール・マッカートニーまで ナショナル・ポートレート・ギャラリー所蔵 5, 9—21 大丸ミュージアム(東京)  
 美術(月刊) 242 菅野洋人  
 映像工芸展—イマジネーションの表現 1, 21—9, 24 東京都写真美術館  
 新美術新聞 723  
 「描かれた日本の風景」展 2, 21—3, 26 静岡県立美術館  
 日経 3, 10 宝玉正彦  
 描かれたふしぎな世界を旅する展 7, 11—9, 10 国立西洋美術館  
 新美術新聞 739

「液晶未来—現代日本写真」展 9, 1—10, 10 スパイラルガーデンサンケイ 9, 30 斎藤道子  
 朝日夕刊 9, 5 (若)  
 読売夕刊 9, 11 (菅)  
 エコール・ド・ニース1950—1995展 10, 6—11, 10 目黒区美術館  
 美術(月刊) 241 中村隆夫  
 美術手帖 715 岡村多佳夫  
 朝日夕刊 10, 5 中村隆夫  
 朝日夕刊 10, 24 (三)  
 毎日夕刊 6, 23 三田晴夫  
 毎日夕刊 10, 13  
 毎日夕刊 11, 7 秋山裕徳太子  
 毎日夕刊 11, 8 中村敬治  
 江崎一生回顧展 11, 1—30 常滑市立陶芸研究所(愛知)  
 陶説 513 井上隆生  
 江藤哲展 1, 5—29 大分県立芸術会館  
 新美術新聞 722  
 江戸庶民さてさて展 8, 2—28  
 ギャラリー旬(南麻布)  
 毎日夕刊 8, 12  
 「江戸・東京百景今昔—広重『名所江戸百景』を東京に見る」展 10, 1—11, 18 中野区立歴史民俗資料館  
 サンケイ 10, 6  
 毎日 10, 5  
 江成常夫写真展 ヒロシマー万象 8, 1—14 ニコンサロン  
 新美術新聞 741  
 毎日夕刊 8, 7 桐原良光  
 江成常夫写真展 まぼろし国・満州 8, 1—14 ニコンサロン  
 新美術新聞 741  
 毎日夕刊 8, 7 桐原良光  
 絵のなかの女たち展 9, 23—11, 5 群馬県立近代美術館  
 朝日夕刊 10, 12 (三)  
 朝日夕刊 10, 19 上村清雄  
 蝦子善悦展 3, 28—4, 4 日動画廊  
 絵 373 相原求一郎  
 海老塚市太郎のちいさな回顧展 8, 9—29 高島屋コンテンツポラリアー  
 アートスペース(日本橋)  
 美術の窓 151 編集部

海老塚耕一展 10, 19—11, 7 高島屋(日本橋)  
 新美術新聞 748  
 MOA岡田茂吉賞展 8回 7, 29—9, 6 MOA美術館  
 新美術新聞 739  
 絵門仁展「殺風景」 8, 17—22  
 ドイフォトプラザ(渋谷)  
 ギャラリー(月刊) 124  
 エルミターージュ美術館展 19—20世紀フランス絵画 8, 6—9, 3 東武美術館  
 新美術新聞 737  
 游美 20 舟木力英  
 朝日 8, 10 井川美奈子  
 朝日 8, 11 井川美奈子  
 朝日 8, 12 井川美奈子  
 朝日 8, 15 井川美奈子  
 朝日 8, 17 井川美奈子  
 朝日夕刊 6, 20 町田和洋  
 東京夕刊 8, 24  
 遠藤彰子・アトリエの住人たち展 7, 4—10 三越  
 美術(月刊) 238 編集部  
 美術の窓 148 高山淳  
 東京夕刊 7, 6  
 遠藤賢治展 12, 12—21 ギャラリーオーリーブ  
 毎日夕刊 12, 16  
 遠藤利克展 12, 11—27 秋山画廊  
 毎日夕刊 12, 25 三田晴夫  
 読売夕刊 12, 22 (菅)  
 (オ)  
 オーストラリアの美術展1940—1990 7, 28—9, 3 岐阜県美術館  
 新美術新聞 740  
 旺玄展61回 5, 21—30 東京都美術館  
 美術の窓 148 高山淳  
 逢坂卓郎展 3, 27—4, 8 コバヤシ画廊  
 構造 11 門田秀雄  
 欧米のポスター100展 6, 10—7, 10 東京ステーションギャラリー  
 新美術新聞 739  
 大樋年雄展—器への行程 2, 16—21 高島屋(日本橋)  
 陶説 505 福田旻

平成7年美術展覧会(オ)

- 大内久美展 3. 27-4. 1 ときわ画廊  
構造 11 門田秀雄
- 大江健三郎『恢復する家族』刊行記念  
§大江ゆかり挿絵展§ 6. 18-24 丸善ギャラリー  
新美術新聞 735
- 大國章夫展 11. 22-29 日動画廊  
美術の窓 151 高山淳
- 大久保一郎遺作展 戦時徴用船遭難  
の記録 8. 15-20 三越  
朝日 8. 15
- 大隈武夫油絵展 11. 29-12. 5  
松屋(銀座)  
新美術新聞 751
- 大阪トリエンナーレ1995展 11. 18-12. 3 マイドーム大阪3F  
ドーム展示場  
新美術新聞 748  
日経 9. 24
- 大谷俊一展—新世代への視点'95  
9. 18-30 ギャラリーなつか  
アートマインド 83  
サンケイ 9. 24 (N)
- かぐわしき風の刻印 大津英敏展  
12. 5-16 泰明画廊  
新美術新聞 752  
美術(月刊) 243 大津英敏、谷尾欽也  
東京夕刊 12. 14 (ひ)
- 大野逸男日本画展 11. 29-12. 5  
西武アートフォーラム(池袋)  
新美術新聞 751
- 大野廣子展 7. 1-30 本間美術館  
美術(月刊) 244 藤田一人
- 大島裕展 9. 16-29 椿近代画廊  
東京 9. 17 佐藤哲也
- 大森運夫日本画展 4. 6-11 松坂屋(銀座)  
新美術新聞 729
- 大森崇展 5. 31-6. 5 ギャラリーNWハウス  
美術手帖 711 西村智弘
- 大森裕美子展 5. 8-27 サイギャラリー  
美術手帖 711 島敦彦
- 大山魯牛墨彩展 1. 5-12 アルクスギャラリー  
毎日夕刊 1. 7
- 岡典明展 12. 4-9 藍画廊  
美術手帖 721 平野到
- 岡田親展 12. 16-1. 11 朝日新聞東京本社2階ギャラリー  
朝日 12. 15
- 岡田輝作陶展 9. 7-13 丸栄スカイル  
陶説 512 井上隆生
- 岡田直子展 1. 16-2. 28 galerie OÙ(大阪)  
美術手帖 705 島敦彦
- 岡田裕作陶展 11. 23-28 西武アートフォーラム(池袋)  
陶説 515 福田旻
- 岡村桂三郎展 2. 27-3. 9 玉屋画廊  
新美術新聞 726
- 岡村安子刺しゅうグループ展30周年  
記念 10. 26-31 ギャラリー新宿高野  
毎日夕刊 10. 28
- 岡本敦生展 4. 17-5. 13 ギャラリー山口  
読売夕刊 5. 1 (菅)
- 岡本太郎展 11. 25-1. 28 広島市現代美術館  
新美術新聞 751  
美術(月刊) 243 和多利浩一
- マリボンヌ・ナジェル・岡本展 4. 24-5. 13 アリアンス・フランセーズ大阪ギャラリーエスパス  
朝日夕刊 5. 11
- 小川幸治展 5. 8-13 ギャラリー砂翁  
読売(都民版) 5. 5
- 小川幸治展 東京下町写生 5. 8-21 大黒屋別館(台東区)  
東京 5. 14  
読売(都民版) 5. 5
- 小川幸治展 5. 17-22 西武(錦糸町)  
読売(都民版) 5. 5
- 小河朋司展 2. 1-26 INAXギャラリー  
美術手帖 705 林洋子
- 奥下義昭展 2. 3-5 練馬区立美術館  
読売(都民版) 1. 1
- 受賞記念奥谷博展 静かなる心象の世界 12. 2-2. 4 安田火災東郷青児美術館  
新美術新聞 752 武田厚  
東京夕刊 12. 7 (ひ)
- 小熊秀雄と池袋モンパルナス展 8. 4-9. 17 小樽市立小樽美術館  
新美術新聞 741
- 奥村總臣油絵展 11. 1-6 三越(名古屋)  
新美術新聞 749
- 小倉遊亀展 百歳記念 12. 26-1. 15 三越  
陶説 514  
朝日夕刊 12. 20 石丸正運
- 「日本列島描き歩き」展(小沢敦) 9. 4-9 文藝春秋画廊  
毎日 9. 6  
読売 9. 6
- 「押し絵行灯」展 1. 6-17 ミキエトホール  
読売(都民版) 1. 6
- 小田海徳展 11. 10-12. 24 下関市立美術館  
潮流 44 井上誠
- 小田富弥展 2. 19-3. 6 武蔵野市民文化会館  
朝日夕刊 2. 16  
毎日夕刊 2. 16
- 小田まゆみ展 12. 1-15 銀座書廊  
毎日 12. 13
- ジョー・オダネル展・昭和20年8月の4日間 8. 1-31 松屋(銀座)  
朝日夕刊 7. 27
- 落合多武展 7. 29-8. 27 水戸芸術館現代美術ギャラリー  
美術手帖 715 暮沢剛巳
- 男の顔展 7. 10-29 ギャラリー長谷川  
サンケイ 7. 16 (M)
- 刻まれた記憶 小野具定展 2. 11-3. 12 練馬区立美術館  
新美術新聞 725  
美術(月刊) 233 編集部藤田一人  
朝日夕刊 2. 21 (三)  
東京夕刊 3. 9  
毎日夕刊 3. 7 三田晴夫
- 小野竹喬展 4. 8-5. 14 京都府京都文化博物館  
新美術新聞 731 大西基子



小野竹喬展—その人と芸術 9, 30—11, 26 山種美術館  
東京夕刊 10, 5  
日経 10, 17 宝玉正彦  
毎日夕刊 11, 6 三田晴夫  
小野司展 9, 15—30 ギャラリー  
掌(名古屋)  
陶説 512 井上隆生  
オノデラユキ展 2, 28—3, 25 ガ  
レリアキマイラ  
美術手帖 706 林洋子  
オランダ陶器—響きあう東と西展  
5, 20—6, 25 根津美術館  
新美術新聞 734  
陶説 506 西田宏子  
朝日夕刊 5, 17 西田宏子  
恩地孝四郎展 3, 1—4, 16 東京  
国際美術館  
朝日夕刊 3, 2 松井澄子  
恩地孝四郎展 10, 8—11, 6 横浜  
美術館  
日本美術工芸 679 (吉)

## (カ)

絵画考—器と物差し 水戸アニュー  
ル'95展 4, 1—5, 28 水戸芸術  
館現代美術ギャラリー  
新美術新聞 730  
美術手帖 708 建畠哲  
日経 4, 13 宝玉正彦  
絵画に見る関東大震災展 8, 24—  
9, 9 墨田区役所  
朝日 8, 25  
東京 8, 8 西尾敏正  
絵画に見る関東大震災展 8, 24—  
9, 9 すみだりバーサイドホール  
ギャラリー  
サンケイ 8, 25  
毎日 8, 26  
絵画の中の床模様展 6, 1—8, 26  
INAXギャラリー  
新美術新聞 737 (富)  
サンケイ 8, 6  
絵画、唯一なるもの展 11, 3—12,  
17 東京国立近代美術館  
現代の眼 492 中林和雄  
現代の眼 492 早見堯  
現代の眼 492 篠田達美  
現代の眼 492 市原研太郎  
現代の眼 493 野見山暁治

現代の眼 493 岡崎乾二郎  
新美術新聞 750  
美術手帖 721 嶋崎吉信  
視る 343 尾崎正晴  
視る 343 木下長宏  
朝日夕刊 12, 1  
東京夕刊 11, 17 山梨俊夫  
毎日 11, 27 三田晴夫  
読売夕刊 11, 27 (菅)  
アントニ・ガウディ展 5, 20—6,  
18 奈良県立美術館  
新美術新聞 734  
香りの美学展 2 1, 26—2, 14 大  
丸ミュージアム  
読売夕刊 1, 25  
香りを装って〜フレグランス・アー  
ト展 6, 9—7, 4 フェアリー  
ギャラリー  
毎日夕刊 6, 10  
各務周海作陶展 6, 15—21 丸栄  
スカイル  
陶説 509 井上隆生  
加賀谷武展 2, 3—15 ギャラリー  
フレスカ  
ギャラリー(月刊) 118  
香川浩子展—新世代への視点'95  
9, 18—30 かねこあーとギャラ  
リー  
アートマインド 83  
サンケイ 9, 24 (N)  
拡張するガラス:美の表現者たち展  
4, 23—6, 18 横浜美術館  
アトリエインターナショナル  
820  
新美術新聞 732  
朝日夕刊 6, 1 柏木智雄  
朝日夕刊 6, 6 (三)  
核—半減期展 9, 21—11, 10 東  
京都写真美術館  
新美術新聞 747  
サンケイ 10, 1 (O)  
朝日 9, 22  
東京夕刊 10, 20 北沢憲昭  
加倉井和夫の映像展 11, 2—7  
高島屋(日本橋)  
新美術新聞 749  
美術(月刊) 242 編集部水野  
隠崎隆一陶展 6, 29—7, 15 赤坂  
グリーンギャラリー  
陶説 510 福田旻

隠崎隆一展 風狂 11, 6—21 中  
村好古堂  
美術(月刊) 241 編集部  
笠井千鶴展 6, 26—7, 2 G・  
ART(東京)  
美術手帖 712 西村智弘  
川崎千足展 10, 17—29 ギャラ  
リー—すずき(京都)  
陶説 513 藤慶之  
風分六抄油絵展 9, 14—19 東武  
(池袋)  
美術(月刊) 240 編集部  
風の芸術展 ビエンナーレまくらぎ  
き 8, 6—9, 17 枕崎市文化史  
料センター南冥館  
ギャラリー(月刊) 126  
新美術新聞 745  
香月泰男展 没後20年 3, 8—4, 9  
そごう美術館(横浜)  
潮流 41 濱本聡  
美術(月刊) 232 大熊敏之  
東京夕刊 3, 16  
日経 3, 17 宝玉正彦  
勝又豊子展 2, 23—3, 19 かわさ  
きIBM市民文化ギャラリー  
美術手帖 708 平野到  
加藤恵利展 6, 20—7, 15 ギャラ  
リー—美遊  
美術手帖 712 平野到  
加藤賢司陶展 5, 25—31 丸栄ス  
カイル  
陶説 508 井上隆生  
瀬戸 加藤作助展 10, 3—9 三  
越  
陶説 513 福田旻  
卒寿記念 舜陶灰釉展(加藤舜陶)  
10, 5—11 松坂屋  
陶説 513 井上隆生  
加藤唐三郎作陶展 3, 21—26  
ギャラリー—茜(名古屋)  
陶説 506 井上隆生  
加藤登美子展 5, 10—23 ギャラ  
リー—石塚小路和田  
美術(月刊) 236 編集部  
加藤一展 10, 4—17 BUNKA-  
MURA GALLERY  
毎日夕刊 10, 12  
加藤英人展 1, 9—21 ギャラリー  
—惣  
ギャラリー(月刊) 117

平成7年美術展覧会(カ)

六美八十五碗展(カトウムツミ)  
10, 17—23 三越  
陶説 514 福田旻  
加藤洋二陶展 11, 21—26 ギャラ  
リー茜(名古屋)  
陶説 514 井上隆生  
加藤嘉明陶展 6, 22—28 丸栄ス  
カイル  
陶説 509 井上隆生  
金井良子展 1, 9—21 ルナミ画廊  
構造 11 門田秀雄  
神奈川芸術フェスティバル「ザ・版  
画」展2回 11, 11—12, 3 神奈  
川県民ホールギャラリー  
新美術新聞 750 針生一郎  
美術(月刊) 242 編集部  
神奈川国際版画アンデバンダン展18  
回 11, 11—12, 3 神奈川県民  
ホールギャラリー  
朝日夕刊 11, 17  
版画芸術 90 編集部  
神奈川ゆかりの文学展 8, 30—9,  
10 そごう(横浜)  
博物館研究 331 記念展示実行  
委員会  
金沢健一展 9, 4—16 ギャラリー  
なつか  
毎日夕刊 9, 7 三田晴夫  
金重悳作陶展 4, 6—11 高島屋  
(日本橋)  
陶説 507 福田旻  
金森伸郎展 3, 8—14 松屋(銀座)  
朝日夕刊 3, 13  
金子静枝展 6, 20—7, 7 アトリ  
ウムギャラリー  
読売(都民版) 6, 22  
金子潤展 5, 15—6, 10 カサハラ  
画廊(大阪)  
陶説 508 藤慶之  
金子潤展 11, 22—12, 22 ギャ  
ラリーたかぎ(名古屋)  
陶説 514 井上隆生  
生誕100年記念 金子光晴の世界—  
反骨とエロスの詩画展— 9, 17  
—10, 1 武蔵野市民文化会館  
芸術新潮 550  
東京夕刊 9, 27  
毎日夕刊 9, 14  
狩野守油絵展10回 4, 25—5, 1  
東急(渋谷)

美術の窓 146 高山淳  
アニッシュ・カプーア展 9, 9—  
10, 5 西村画廊  
サンケイ 9, 24 (M)  
東京夕刊 9, 22 山梨俊夫  
歌舞伎役者絵展 3, 8—14 松屋  
(銀座)  
読売(都民版) 3, 8  
上條陽子展 3, 13—31 空想ガレ  
リア  
新美術新聞 728  
上條陽子展 3, 14—31 愛宕山画  
廊  
新美術新聞 728  
神山明展 1, 17—2, 4 ギャル  
リーユマニテ東京  
美術手帖 705 古屋俊彦  
亀井幸一作品展 6, 1—16 ギャラ  
リーサンあさひ(名古屋)  
陶説 509 井上隆生  
鴨居玲展 没後10周年記念 9, 24  
—10, 10 そごう美術館(千葉)  
絵 374 瀧梯三  
絵 375 和田義彦  
絵 376 俵万智  
新美術新聞 727 安井裕雄  
サンケイ 10, 1 (M)  
朝日夕刊 3, 29 (平)  
加山哲也作陶展 6, 8—13 高島屋  
(日本橋)  
陶説 509 福田旻  
加山又造展 11, 2—12, 17 富山  
県立近代美術館  
新美術新聞 749  
からくり時計精華展 北京故宮博物  
館秘蔵 4, 26—5, 9 高島屋(な  
んば)  
新美術新聞 733  
「ガラスの動物園」—ランプワーク作  
品展 8, 21—9, 5 グラス・  
ギャラリー、カザニス  
毎日夕刊 8, 19  
刈谷博展 6, 8—7, 22 ミヅマ  
アートギャラリー  
美術手帖 712 暮沢剛巳  
ジャン・カルズー ヴェルサイユ展  
3, 17—31 ギャラリーためなが  
美術(月刊) 234 編集部  
カルティエ・ブレッソンの「決定的  
瞬間」展 9, 15—10, 31 タワー  
ギャラリー

朝日夕刊 9, 28  
アンリ・カルティエ・ブレッソン展  
10, 10—15 三越  
新美術新聞 746  
朝日夕刊 9, 28  
ガレとロートレック展—光と色のペ  
ル・エボック 10, 31—12, 17  
サントリー美術館  
日経 11, 15 土屋良雄  
日経 11, 16 土屋良雄  
日経 11, 17 土屋良雄  
アンソニー・カロ展 6, 30—9, 3  
東京都現代美術館  
美術(月刊) 238 清水九兵衛  
美術手帖 712 建昌哲インタ  
ヴェー  
美術手帖 712 安藤忠雄  
サンケイ 8, 27 松村寿雄  
朝日夕刊 7, 6 齊藤泰嘉  
朝日夕刊 8, 17 (三)  
東京夕刊 8, 4 山梨俊夫  
日経 7, 18 宝玉正彦  
毎日夕刊 7, 20 三田晴夫  
読売夕刊 8, 4 早見亮  
川合次次郎展 9, 12—24 グリー  
ンホビー(調布市)  
サンケイ 9, 16  
川合玉堂展—四季の彩— 2, 18—  
3, 21 新宿歴史博物館  
新美術新聞 728  
東京 2, 23  
河合重政日本画展 6, 22—27 東  
武(池袋)  
美術(月刊) 238 村瀬雅夫  
川上澄生 創造の秘密展 10, 13—  
3, 31 鹿沼市立川上澄生美術館  
鹿沼市立川上澄生美術館館報 8  
小林利延  
鹿沼市立川上澄生美術館館報 8  
橋本野乃子  
日経 11, 30 小林利延  
文明開化の川上澄生展 4, 8—8,  
31 鹿沼市立川上澄生美術館  
鹿沼市立川上澄生美術館館報 7  
長谷川勝三郎  
鹿沼市立川上澄生美術館館報 7  
小林利延  
川上カ三展 3, 21—26 ギャラ  
リーマロニエ(京都)  
陶説 506 藤慶之

河嶋淳司展 10, 16—28 ギャラリー椿  
新美術新聞 747

川島睦郎展 3, 21—26 京都府立文化芸術会館  
新美術新聞 729

川瀬浩子展 5, 22—27 ギャラリー絵  
美術手帖 711 平野到

「英国の子供たちの見た暁斎」展 3, 1—5, 28 河鍋暁斎記念美術館  
芸術新潮 545

「花鳥・風景画にみる籠子の世界」展 1, 4—3, 26 大田区立籠子記念館  
東京 1, 16

『正統なる造形—GOZO』20世紀アメリカに生きた彫刻家川村吾蔵展 11, 22—12, 22 第一生命南ギャラリー  
芸術新潮 553  
新美術新聞 753

河本太郎陶象展 8, 3—8 松坂屋美術画廊  
陶説 511 井上隆生

河原温とアメリカの写真展 6, 24—9, 3 原美術館  
サンケイ 8, 20 (N)  
朝日夕刊 7, 18 (若)  
読売夕刊 7, 5 (菅)

巖嶋豊之助作陶展 5, 22—6, 2  
サンギャラリー住恵(名古屋)  
陶説 508 井上隆生

環流 日韓現代美術展 7, 14—9, 3 愛知県美術館、名古屋市美術館  
AAC 13 中村英樹、牧野研一郎、山脇一夫  
新美術新聞 739  
サンケイ 8, 13 (早)  
朝日夕刊 8, 1 (三)  
毎日夕刊 8, 17 三田晴夫  
読売夕刊 8, 3 (菅)

(キ)

エツラ・ジャック・キーツ展 11, 10—12, 10 下関市立美術館  
潮流 44 中村美幸

木内宗吾展 1, 25—31 東武(池袋)

美術(月刊) 233

木内宗吾展 11, 22—27 そごう(船橋)  
毎日夕刊 11, 18

菊地武彦展 9, 8—29 ギャラリールネサンス  
毎日夕刊 9, 19 三田晴夫

菊畑茂久馬のデッサン展 6, 6—25  
アートギャラリー環  
ギャラリー(月刊) 122  
毎日夕刊 6, 15 三田晴夫

刻まれた現代史 世界の版画・戦後50年展 11, 11—12, 3 神奈川県民ホールギャラリー  
朝日夕刊 11, 17

木澤定一展 6, 14—20 高島屋(日本橋)  
美術(月刊) 237 林紀一郎

杵島隆展 1958 裸 7, 21—27  
富士フォトサロン(銀座)  
読売夕刊 7, 29

岸本謙仁青瓷展 1, 13—20 赤坂游ギャラリー  
陶説 504 福田曼

北アイルランドの若い画家たち展 2, 18—3, 26 伊丹市立美術館  
新美術新聞 725

擬態美術協会「待ち合わせ」展 11, 3—3 ハチ公前(渋谷)  
美術手帖 718

北尾博史展 11, 7—12, 23 ギャラリーTAF(関西)  
美術手帖 721 山本淳夫

喜多川歌麿展 11, 3—12, 10 千葉市立美術館  
新美術新聞 749

北関東の文人画—茨城・栃木・群馬三県交流展 2, 19—3, 26 栃木県立美術館  
新美術新聞 725 竹山博彦

北野治男展 7, 20—25 高島屋(日本橋)  
新美術新聞 740

北堅吉彦展 4, 14—5, 20 ギャラリーヤマグチ(大阪)  
美術手帖 709 清水穰

マーティン・キッペンベルガー展 10, 3—11, 12 ヒルサイドギャラリー  
朝日夕刊 11, 6 (若)

城戸義郎展 10, 24—31 日動画廊  
新美術新聞 748

木の建築と都市展 4, 6—5, 21  
国立国際美術館  
国立国際美術館月報 31 上田篤  
国立国際美術館月報 32 藤田治彦  
日経 5, 13

木下佐王理展 10, 20—11, 2  
Sagacho bis(東京)  
美術手帖 718 暮沢剛巳

金憲鍋展 1, 16—27 ギャラリー安里(名古屋)  
陶説 504 井上隆生

キム・ヨン=ジン展 9, 5—11, 5  
福岡市美術館  
エスプラナード 88 松浦仁

木村佳代子展 7, 31—8, 5 ギャラリー美遊  
美術手帖 715 西村智弘

木村圭吾日本画展 10, 12—17 高島屋(立川)  
美術(月刊) 241 水上睦男

木村秀樹展 5, 20—6, 10 yoh art gallery(大阪)  
美術手帖 711 清水穰

木村盛伸作陶展 4, 20—26 高島屋(京都)  
陶説 507 藤慶之

木村芳郎作陶展一時 空 律 10, 10—15 三越  
新美術新聞 746  
陶説 513 福田曼

究極の陶芸—人間国宝八人展 9, 28—10, 9 大丸ミュージアム(東京)  
新美術新聞 744  
陶説 512 藤慶之  
朝日夕刊 9, 26 羽毛田弘志

九州デザイン展 1回1995 7, 4—16  
田川市美術館  
新美術新聞 740

909 アノーマリー2展 2, 4—4, 2 レントゲン藝術研究所  
美術手帖 706 園田恵子

旧ユーゴスラビアの子供絵画展 3, 26—30 町屋文化センター  
読売(都民版) 3, 25

旧ユーゴ戦争の子どもたち展 10, 29 練馬区勤労福祉会館  
読売 10, 26

平成7年美術展覧会(キ、ク)

旧ユーゴ・難民の子供たちと絵展  
1. 23—28 ギャラリーK  
K(Gallery K) 9  
毎日 1. 28  
京を描く展 近代日本画に見る京都  
1. 5—2. 12 京都国立近代美術  
館  
視る 331 加藤類子  
視る 332 藤慶之  
清水九兵衛展 6. 1—7. 30 国立  
国際美術館  
国立国際美術館月報 33 土田真  
紀  
新美術新聞 735  
朝日夕刊 6. 28 (平)  
清水六兵衛(七代)截土容展 9. 21  
—26 高島屋(日本橋)  
新美術新聞 745  
「桐生再演2」展 8. 26—9. 17 有  
鄰館他市内6カ所(群馬県桐生市)  
C. A. R. 19 M. Y.  
記録・創造する眼 日本現代写真史  
展 8. 15—27 三越  
新美術新聞 742  
朝日夕刊 8. 14 岡井耀毅  
金貞子展 1. 10—2. 12 名都美術  
館  
東京 1. 30  
銀座120年史写真展 10. 12—17  
松屋(銀座)  
読売 9. 26  
読売 10. 13  
近世宗教美術の世界 変容する神仏  
たち展 6. 6—7. 23 渋谷区立  
松涛美術館  
新美術新聞 735  
東京夕刊 7. 14 山梨俊夫  
近代水墨展12回 7. 7—16 東京都  
美術館  
美術の窓 150 高山淳  
近代日本の美術展 6. 17—9. 3  
東京国立近代美術館  
東京夕刊 8. 11 北沢憲昭  
特集 近代の彫刻展 6. 20—9. 17  
東京国立博物館  
国立博物館ニュース 578 山本  
勉  
近代美術協会展32回 8. 20—30 東  
京都美術館  
美術の窓 151 高山淳

近代文学とミレー展 12. 10—2.  
19 山梨県立文学館  
山梨県立文学館館報 19  
近美展22回 11. 25—12. 1 東京  
都美術館  
美術の窓 153 高山淳

(ク)

クルールの時代—美術のノイズ・  
ミュージック展TOSA—TOSA  
'95 2. 16—3. 19 高知県立美  
術館  
美術手帖 706 那賀裕子+貞彦  
グアテマラ織物展 9. 29—10. 3  
横浜女性フォーラム  
毎日 9. 27  
「空間・時間・記憶」展 1. 7—2.  
19 原美術館  
読売夕刊 1. 12 (菅)  
草野心平—その人と芸術—展 8.  
12—9. 17 いわき市立美術館  
新美術新聞 742  
美術(月刊) 240 川口茂也  
草間弥生展 7. 1—8. 5 オオタ  
ファインアーツ  
朝日夕刊 7. 21  
草間弥生版画展 7. 10—26 フジ  
テレビギャラリー  
新美術新聞 739  
朝日夕刊 7. 21  
国松登展 9. 15—10. 22 芸術の  
森美術館  
新美術新聞 744  
アンドレ・クネイブ展 8. 26—9.  
1 京都市国際交流会館  
毎日 9. 27 池田知隆  
ジャズが聞こえる街角〜久保幸造  
アートギャラリー展 9. 1—11  
ヴィルダールギャラリー(お茶の  
水)  
毎日夕刊 8. 26  
久保田香展—新世代への視点'95  
9. 18—30 ギャラリー現  
アートマインド 83  
サンケイ 9. 24 (N)  
転送の速度—隈研吾展 2. 10—3.  
31 ギャラリー間  
AXIS 55  
読売夕刊 2. 23

熊谷尚子展 9. 27—30 江戸川区  
総合文化センター  
朝日 9. 29  
毎日 9. 28  
クメールの焼きもの展 5. 23—6.  
25 町田市立博物館  
陶説 506 矢島律子  
倉重光則展 8. 21—9. 2 ギャラ  
リー現  
美術手帖 715 平野到  
「クリスタルの化身」展 2. 25—3.  
5 アンビエンテ(南青山)  
新美術新聞 731  
栗田絃一郎展 4. 12—5. 7 山総  
美術(京都)  
ギャラリー(月刊) 120  
栗田咲子展 12. 5—10 ギャラ  
リーココ(京都)  
美術手帖 721 山本淳夫  
栗原一郎の世界展 12. 1—2. 29  
池田20世紀美術館  
新美術新聞 752  
榎沢多美次ちぎり絵展 11. 13—19  
ギャラリー針谷  
読売 11. 8  
クレー家秘蔵 バウル・クレー展  
7. 28—8. 15 大丸ミュージアム  
(東京)  
新美術新聞 736 千足伸行  
東京夕刊 7. 27 千足伸行  
読売夕刊 8. 5 高島直之  
クレイワーク展 12. 8—1. 31 国  
立国際美術館  
国立国際美術館月報 28 鈴木健  
二  
黒川弘毅展 11. 13—25 コバヤシ  
画廊  
美術手帖 720 暮沢剛巳  
黒沢明ドローイング展—絵コンテに  
見る黒沢映画の世界 6. 23—7.  
13 すみだリバーサイドホール  
ギャラリー  
東京 6. 2  
黒澤信男展1995 7. 21—27 京王  
美術の窓 148 高山淳  
黒澤有一展 2. 4—19  
GALLERY 顕美子  
陶説 505 井上隆生  
黒田克正展 6. 5—24 ギャラリー  
ユマニテ東京  
毎日夕刊 6. 22 三田晴夫

黒田泰蔵展 11, 20—12, 2 ギャ  
 ルリーユマニテ名古屋  
 陶説 514 井上隆生  
 クロッシング・スピリッツ—カナダ  
 現代美術展1980—1994 1, 28—  
 3, 26 世田谷美術館  
 新美術新聞 723  
 美術手帖 705 小沼純一  
 視る 334 難波英夫  
 朝日夕刊 1, 25 田中三蔵  
 東京夕刊 3, 10 山梨俊夫  
 モダンに生きる人々—桑原甲子雄写  
 真展 11, 3—1, 15 東京ステー  
 ションギャラリー  
 美術手帖 720 赤瀬川原平  
 サンケイ 12, 17 (M)  
 朝日夕刊 12, 15  
 (ケ)  
 「警告!!」展 3, 11—6, 11 原美  
 術館  
 朝日夕刊 5, 12  
 東京夕刊 5, 26 北沢憲昭  
 芸術の危機—ヒトラーと《退廃美術》  
 展 8, 13—9, 24 神奈川県立近  
 代美術館  
 新美術新聞 742  
 天花 63 斎藤郁夫  
 美術(月刊) 239 小泉晋弥  
 美術手帖 715 池内紀  
 サンケイ 9, 17 (N)  
 サンケイ 11, 10 (壘)  
 朝日 8, 15 (天声人語)  
 朝日夕刊 8, 9 西村勇晴  
 朝日夕刊 8, 24 水沢勉  
 朝日夕刊 9, 13 (三)  
 朝日夕刊 9, 21 塚原史  
 東京夕刊 8, 25 北沢憲昭  
 日経 8, 24 宝玉正彦  
 毎日夕刊 9, 13 三田晴夫  
 読売夕刊 9, 8 (前)  
 「原インド・いのちの鼓動」展 9,  
 29—12, 6 フジタヴァンテ  
 朝日夕刊 10, 14 田中三蔵  
 フランツ・ゲルチュ展 5, 26—7,  
 2 愛知県美術館  
 日経 6, 7 宝玉正彦  
 現展51回 6, 12—22 東京都美術  
 館  
 アートマインド 82 佃堅輔

美術の窓 149 高山淳  
 弦田康子と入木会展 11, 6—2  
 アートミュージアムギンザ  
 新美術新聞 749  
 現代イギリス陶芸展 3, 19—5, 28  
 滋賀県立陶芸の森陶芸館  
 新美術新聞 728  
 現代漆アート4人展 12, 8—1, 17  
 フジタヴァンテ  
 サンケイ 12, 4 永井優子  
 現代郷土作家展'95 12, 5—17 姫  
 路市立美術館  
 姫路市立美術館だより 49  
 現代建築家展2 5, 20—6, 18 奈  
 良県立美術館  
 新美術新聞 734  
 「現代写真の動向」展 11, 21—1,  
 28 川崎市市民ミュージアム  
 朝日夕刊 12, 28 (若)  
 現代書道二十人展40回 1, 3—9  
 松坂屋(上野)  
 朝日夕刊 12, 26  
 日本の美・現代女流美術展16回  
 11, 23—12, 3 上野の森美術館  
 サンケイ 11, 26 日野耕之祐  
 東京夕刊 11, 30 (ひ)  
 現代茶陶展 2, 26—3, 12 セラト  
 ビア土岐(岐阜)  
 陶説 505 井上隆生  
 現代ドイツ美術展—ボイス以降の若  
 き作家たち— 12, 14—2, 27  
 国立国際美術館  
 国立国際美術館月報 39 水沢勉  
 国立国際美術館月報 40 山本和  
 弘  
 新美術新聞 753  
 美術手帖 721 石井弥夢  
 現代童画展21回 12, 5—12 東京  
 都美術館  
 美術の窓 154 高山淳  
 現代日本彫刻展16回 10, 1—11,  
 12 宇部市野外彫刻美術館(常盤  
 公園)  
 新美術新聞 748  
 日本美術工芸 683 (伸)  
 毎日 10, 13  
 現代の彫漆展 1, 5—3, 5 東京国  
 立近代美術館工芸館  
 朝日夕刊 1, 26 金子賢治  
 朝日夕刊 2, 24

現代の道具展 10, 19—24 高島屋  
 (玉川)  
 毎日 10, 18  
 現代美術の挑戦展 2, 25—4, 2  
 滋賀県立近代美術館  
 新美術新聞 726  
 現代マヤー色と織に魅せられた人々  
 展 9, 14—11, 30 国立民族学  
 博物館  
 新美術新聞 744  
 「原爆の図」展 11, 23—26 調布市  
 文化会館「たづくり」  
 朝日 11, 21  
 剣持和夫展 1, 21—3, 5 徳島県  
 立近代美術館  
 美術手帖 706 谷新  
 元陽展26回 11, 25—12, 1 東京  
 都美術館  
 美術の窓 154 高山淳  
 (コ)

O.M.A. IN TOKYO: レム・コー  
 ルハースのパブリック・アーキテ  
 クチュア展 10, 20—1, 20  
 TNブローブ(六本木)  
 美術手帖 720 浜田邦裕  
 朝日夕刊 12, 6 大西若人  
 呉天鶴陶芸展 2, 1—10 フォルム  
 画廊  
 陶説 504  
 鯉江良二展—炎のエネルギー 2,  
 22—28 高島屋(日本橋)  
 新美術新聞 726  
 陶説 505 福田旻  
 鯉江良二陶芸展 10, 27—11, 2  
 京王  
 新美術新聞 748  
 小池隆英展 2, 3—28 アキライケ  
 ダギャラリー  
 毎日夕刊 2, 9 三田晴夫  
 読売夕刊 2, 16 (菅)  
 小泉淳作展 4, 18—22 壺中居  
 陶説 507 福田旻  
 朝日夕刊 4, 20  
 小泉淳作展 10, 1—30 本間美術  
 館  
 新美術新聞 746  
 小泉俊己展 11, 27—12, 9 ギャ  
 ラリー—なつか  
 毎日夕刊 12, 7 三田晴夫  
 読売夕刊 12, 5 (菅)

平成7年美術展覧会(コ)

- 横憲展 3. 28—4. 2 東京セントラル絵画館  
美術の窓 145 武田厚
- 幸福幻想—アジアの現代美術作家たち展 2. 25—3. 26 国際交流フォーラム  
アートマインド 80 ぼんのなおこ  
アトリエインターナショナル 818 二宮麻美  
新美術新聞 727  
美術手帖 706 西村智弘  
朝日夕刊 3. 14 (三)  
東京夕刊 3. 3 北沢憲昭  
毎日夕刊 3. 13 三田晴夫  
読売夕刊 3. 10 (管)
- 神山易久作陶展 9. 19—30 ミヤギャラリー  
美術(月刊) 241 編集部渡辺  
光陽展43回 5. 9—19 東京都美術館  
美術の窓 148 高山淳  
古賀猛油彩展 3. 9—24 たましんギャラリー  
美術の窓 146 高山淳  
国際学童画展 8. 29—9. 13 千代田区立社会教育会館  
読売(都民版) 8. 30  
国際陶磁器展美濃'95・4回 10. 28—11. 5 岐阜県多治見市総合体育館  
陶説 513 井上隆生  
ジャン・コクトーの世界展 7. 29—9. 17 Bunkamura ザ・ミュージアム  
新美術新聞 740  
サンケイ 8. 26 斎藤道子  
サンケイ 8. 27 (M)  
読売夕刊 7. 26 木島俊介  
国領経郎展 4. 27—5. 2 高島屋(日本橋)  
新美術新聞 726  
美術(月刊) 236 編集部  
美術の窓 144 高山淳  
こころ・医・チベット展 3. 28—4. 23 ワタリウム美術館  
美術手帖 709 編集部  
こころの領域—1990年代の韓国美術展 7. 29—10. 10 水戸芸術館  
現代美術ギャラリー
- 新美術新聞 740  
朝日夕刊 9. 21 (三)  
50年後 彼らはなぜ戦争を表現するのか展 10. 17—12. 17 徳島県立近代美術館  
徳島県立近代美術館ニュース 15 吉川神津夫  
小谷廣代展 2. 27—3. 4 コバヤシ画廊  
美術手帖 706 古屋俊彦  
小谷泰雄展 8. 1—16 ギャラリーココ(京都)  
美術手帖 715 喜多村明里  
ゴッホ展 オランダ クレラー＝ミュラー美術館所蔵 12. 9—2. 11 横浜美術館  
新美術新聞 752  
美術(月刊) 243 徳田良仁  
日経 12. 28 宝玉正彦  
読売夕刊 12. 7 島田紀夫  
1993—1997年“ゴッホとその時代”展 3—ゴッホと風景画 9. 14—11. 13 安田火災東郷青児美術館  
新美術新聞 744  
後藤新平きり絵展 2. 18—25 木ノ葉画廊  
毎日夕刊 2. 18  
後藤純男展パリ展帰国記念 9. 5—10 三越  
新美術新聞 743 武田厚  
美術(月刊) 240 編集部  
美術の窓 149 高山淳  
読売夕刊 8. 29  
子どものための美術展'95 美術の光 光の美術 4. 22—5. 28 福島県立美術館  
JAAM 45 苦名真  
美術手帖 709 大月浩子  
雪椿通信 4 宮崎俊英  
雪椿通信 5 宮下東子  
侶美似 53 苦名真  
「小鳥は大空を想像する—龍池小学校の試み」展 5. 11—31 旧龍池小学校(京都)  
陶説 508 藤慶之  
小西平内茶陶展 4. 12—18 松坂屋美術画廊  
陶説 507 井上隆生  
個の会展4回 3. 14—19 三越  
美術(月刊) 234
- 小林潔史遺作展 12. 18—28 ギャラリー山口  
サンケイ 12. 24 (M)  
小林哲夫展 10. 4—11. 12 東京国際美術館  
美術の窓 150 高山淳  
小林良一展 8. 29—9. 9 資生堂ギャラリー  
毎日夕刊 9. 5 三田晴夫  
小松崎広子展 5. 29—6. 10 ぎやらいい宏地  
毎日夕刊 6. 1 三田晴夫  
コマツバラミドリ展 6. 12—17 プレーンセンターギャラリー(大阪)  
美術手帖 712 島敦彦  
五味秀夫回顧展 5. 2—17 東京セントラルアネックス  
美術の窓 152 米倉守、一井建二聞き手  
小宮山俊日本画展 10. 14—21 アートミュージアムギンザ  
新美術新聞 747  
古茂田守介の全貌展—甦った「焼失」作品群を中心に— 3. 11—4. 9 目黒区美術館  
芸術新潮 543  
芸術新潮 543 古茂田美津子  
新美術新聞 723 正木基  
美術(月刊) 234 古茂田美津子  
美術手帖 706 大井健地  
JAAM 45 正木基  
朝日夕刊 3. 31  
東京夕刊 3. 23  
小谷野直己日本画展 6. 6—12 そごう(横浜)  
美術(月刊) 237 編集部  
小山岑一展 6. 20—24 壺中居  
陶説 509 福田旻  
小山久美子展 11. 21—12. 3 ギャラリーMOCA  
美術手帖 721 廣江泰孝  
小山敬三画伯 生誕100年記念回顧展 10. 20—25 東急百貨店(小諸)  
新美術新聞 747  
小山敬三生誕百年記念展 10. 20—25 小諸市立小山敬三美術館  
新美術新聞 753 中嶋睿子

五燿会展—茶陶を中心に 5. 19—25 京王陶説 508 福田旻  
 コラージュ展—現代美術の手法[1] 9. 15—10. 22 練馬区立美術館新美術新聞 744  
 美術(月刊) 241 宮崎進  
 朝日夕刊 10. 3 (三)  
 東京夕刊 10. 13 北沢憲昭  
 毎日 9. 17  
 毎日夕刊 10. 9 三田晴夫  
 五柳会展35回 5. 9—14 大阪市立美術館  
 新美術新聞 735  
 チャールズ・コレア展 4. 12—5. 27 GALLERY・MA  
 美術手帖 709 西村智弘  
 「コロリン・コロラド」展 4. 12—20 世田谷区立尾山台小学校体育館  
 東京 4. 13  
 コロンビア・アートセンターきりえ展 9. 12—17 中野区野方地域センター  
 読売 9. 12  
 コンテンポラリー・ジュエリー展 5. 26—7. 9 東京国立近代美術館工芸館  
 現代の眼 487 高木紀子  
 現代の眼 487 河口龍男  
 現代の眼 487 金子稜威雄  
 現代の眼 487 伊藤一廣  
 現代の眼 487 樋田豊次郎  
 朝日夕刊 6. 30  
 近藤克展 5. 13—6. 3 島田画廊  
 美術手帖 711 林洋子  
 近藤精宏作陶展 8. 30—9. 5 松坂屋美術画廊  
 陶説 511 井上隆生  
 近藤高広展 12. 1—26 イムラアートギャラリー  
 陶説 514 藤慶之  
 →Control: 精神制御不能(ここでは精神圧迫状態)における反能、回復、もしくは回避作用展 8. 23—9. 3 ギャラリーはねうさぎ(京都)  
 美術手帖 715 喜多村明里  
 洋上の宇宙 アジア太平洋のアート  
 今日の作家展30回 3. 12—31

横浜市民ギャラリー  
 新美術新聞 728  
 美術手帖 708 市原研太郎  
 朝日夕刊 3. 24  
 今日の日本画—山種美術館賞展13回  
 4. 1—5. 14 山種美術館  
 美術(月刊) 235  
 朝日夕刊 4. 13 (三)  
 東京夕刊 4. 13  
 毎日夕刊 4. 6 三田晴夫  
 読売夕刊 5. 12 (川)  
 今野忠—素描展 11. 21—27 三越(新宿)  
 新美術新聞 751  
 昆野恒展 8. 12—9. 17 板橋区立美術館  
 新美術新聞 731  
 朝日夕刊 8. 25  
 東京夕刊 9. 8 北沢憲昭  
 読売(都民版) 8. 13

(サ)

齋鹿逸郎展 2. 6—18 古心堂画廊  
 新美術新聞 724  
 齋木真沙子日本画展 9. 23—10. 8 ギャラリーゑぎぬ  
 美術(月刊) 241 編集部  
 齋藤馨展 8. 2—14 西武アートフォーラム(池袋)  
 新美術新聞 741  
 齋藤清の世界展3回—海へ—11. 16—21 丸善画廊(日本橋)  
 美術(月刊) 242 編集部  
 齋藤健太郎展 5. 8—13 かねこあ—とギャラリー  
 美術手帖 711 平野到  
 齋藤吾朗油絵展 6. 13—18 三越美術(月刊) 237 編集部  
 齋藤真一の世界展 3. 1—5. 31 池田20世紀美術館  
 新美術新聞 727  
 齋藤隆展 10. 2—14 古心堂画廊  
 新美術新聞 746  
 齋藤典彦展 7. 5—29 玉屋画廊  
 毎日夕刊 7. 13 三田晴夫  
 齋藤光晴滞欧作展 9. 18—3. 22 岡崎画廊  
 ギャラリー(月刊) 125  
 齋藤良夫展 11. 24—30 東金サンピア新館3階ホール

新美術新聞 751  
 坂高麗左衛門展 6. 22—27 高島屋(日本橋)  
 新美術新聞 737  
 陶説 510 福田旻  
 坂木優子展 6. 14—26 ギャラリーNWハウス  
 美術手帖 712 暮沢剛巳  
 坂口寛敏展 6. 20—7. 15 ギャラリーαM  
 美術手帖 712 平野到  
 坂田慶造作陶展 3. 14—20 三越陶説 506 福田旻  
 坂田甚内クレイワーク展 4. 20—5. 13 赤坂グリーンギャラリー  
 陶説 508 福田旻  
 the camera i—写真家たちのセルフポートレート展 11. 3—1. 21 原美術館  
 芸術新潮 552  
 新美術新聞 752 (賀)  
 Hara Museum REVIEW 31  
 安田篤生  
 朝日夕刊 11. 30 安田篤生  
 朔日会展64回 5. 9—19 東京都美術館  
 美術の窓 148 高山淳  
 作間敏宏展 2. 6—27 ギャラリー日鉱  
 美術手帖 705 古屋俊彦  
 櫻井英嘉展 3. 28—4. 28 ベイスギャラリー  
 読売夕刊 4. 7 (菅)  
 櫻井孝美油絵展 9. 28—10. 3 伊勢丹(新宿)  
 新美術新聞 745  
 桜井寛の世界展 9. 1—11. 30 池田20世紀美術館  
 新美術新聞 743  
 東京夕刊 9. 28  
 櫻田精一 人と作品 美をみる眼展 11. 1—30 野田市郷土博物館  
 新美術新聞 749  
 笹川弘三展 11. 2—7 ギャラリー新宿高野  
 読売 10. 31  
 佐々木麻美展 9. 5—17 ギャラリーにしかわ(京都)  
 陶説 512 藤慶之

平成7年美術展覧会(サ、シ)

笹村草家人展 10. 5—11. 6 礫山美術館  
 礫山美術館 5  
 佐竹具文展 7. 17—22 信濃橋画廊(大阪)  
 美術手帖 713 喜多村明里  
 佐治敬三展「美感遊創」 9. 2—8 梅田近代美術館  
 朝日夕刊 9. 5  
 佐藤和喜の世界展 7. 11—21 世界観ギャラリー  
 毎日夕刊 7. 15  
 佐藤多持展 3. 9—15 聖蹟アウラホール(京王聖蹟桜ヶ丘S・C)  
 朝日 3. 9  
 佐藤忠良展 9. 30—11. 3 台東区立朝倉彫塑館  
 サンケイ 10. 28 斎藤道子  
 佐藤忠良自選展 11. 6—12. 27 現代彫刻センター(渋谷)  
 新美術新聞 749  
 佐藤哲三展 2. 10—3. 26 新潟県立近代美術館  
 芸術新潮 545  
 新美術新聞 724  
 美術(月刊) 234 関川夏央  
 雪椿通信 3 小見秀男  
 佐藤時啓展「光—呼吸」 5. 8—20 ルナミ画廊  
 アートマインド 81 ぼんのなおこ  
 読売夕刊 5. 18 (菅)  
 佐藤時啓展「光—呼吸」 5. 9—30 ギャラリー日鉱  
 アートマインド 81 ぼんのなおこ  
 美術手帖 709 林洋子  
 読売夕刊 5. 18  
 佐藤敏展 4. 11—23 ギャラリー紅(京都)  
 陶説 507 藤慶之  
 佐藤敏陶展 10. 10—22 ギャラリー紅(京都)  
 陶説 513 藤慶之  
 里見勝蔵展 生誕100年記念 11. 18—1. 15 目黒区美術館  
 新美術新聞 739 山内滋夫  
 美術(月刊) 239 ワシオトシヒコ

サンケイ 12. 24 日野耕之祐  
 東京夕刊 12. 15 北澤憲昭  
 日経 12. 19 宝玉正彦  
 皿谷緋佐子作陶展 8. 1—6 三越陶説 511 福田曼  
 サロン・ド・フィナル展10回  
 6. 24—7. 2 ギャラリーフィナル  
 美術(月刊) 238 佃堅輔  
 澤田哲郎と言う作品展 6. 23—30 日動画廊  
 絵 375 米倉守  
 絵 376 米倉守  
 さをり織り展 6. 19—23 つばさ福祉工房  
 東京 6. 19  
 ザンキコレクション ヨーロッパ絵画500年展 2. 20—9. 25 パレスハウスステンボス美術館  
 新美術新聞 732  
 三軌展47回 3. 26—4. 4 東京都美術館  
 美術の窓 147 高山淳  
 「山水から風景へ 京都日本画の流れ 文麟・楳嶺・栖鳳」展 11. 3—30 京都市美術館  
 京都市美術館ニュース 171 廣田孝  
 エドゥアール・サンド彫刻展 動物たちのシンフォニー 12. 7—2. 13 東京都庭園美術館  
 朝日夕刊 12. 28 高波真知子  
 サンパウロ美術館名品展 4. 2—5. 28 東京富士美術館  
 新美術新聞 730  
 「365大作戦」展 4. 1—3. 31 全国365ヶ所  
 日経 8. 29 開発好明

(シ)

シーボルト旧蔵・日本植物図譜展 2. 26—3. 19 小田急美術館  
 新美術新聞 726  
 朝日夕刊 3. 8 (三)  
 JR東日本所蔵美術品展一駅の美術を訪ねて— 2. 18—3. 21 東京ステーションギャラリー  
 新美術新聞 728 (西)  
 滋賀の工芸—伝統のやきもの展 4. 8—5. 14 滋賀県立近代美術館

陶説 507 藤慶之  
 茂井健司展 7. 17—29 秋山画廊  
 美術手帖 713 西村智弘  
 重田恵美子金属彫刻展 11. 18—12. 10 青山日本画廊  
 新美術新聞 751  
 示現会展48回 4. 6—21 東京都美術館  
 美術の窓 147 高山淳  
 設楽知昭展 7. 7—11 H氏邸  
 美術手帖 713 廣江泰孝  
 篠崎正喜展 12. 4—16 彩林堂画廊  
 毎日夕刊 12. 2  
 篠原實之人物画展 4. 20—26 伊勢丹(新宿)  
 読売(都民版) 4. 22  
 篠原猛史展 5. 23—6. 10 生画画廊(名古屋)  
 美術手帖 711 拝戸雅彦  
 芝居おもちゃ絵の華麗な世界展 9. 1—10. 8 大阪市立博物館  
 新美術新聞 743  
 柴田敏雄写真展 6. 16—7. 26 コハマポートサイドギャラリー  
 読売夕刊 7. 13 (菅)  
 柴田真理子 CLAY WORK 展 9. 1—28 ギャラリーU  
 陶説 512 井上隆生  
 柴原雪展 9. 5—10 東京セントラル絵画館  
 新美術新聞 743  
 美術の窓 149  
 澁澤龍彦画廊展 6. 14—22 日動画廊  
 絵 376 澁澤龍子、高橋睦郎、米倉守  
 新美術新聞 736  
 島崎庸夫展 11. 14—19 東京セントラル美術館  
 新美術新聞 749  
 嶋田明子展 6回 11. 20—30 第一画廊(名古屋)  
 美術の窓 152 編集部  
 島田しづ展 10. 12—11. 17 フジテレビギャラリー  
 新美術新聞 748  
 サンケイ 11. 5 (M)  
 島田正治展—墨で描くメキシコ 2. 6—11 文藝春秋画廊  
 毎日 2. 4



島田美子展 2. 15—3. 18 オオタ  
 ファインアーツ  
 毎日夕刊 3. 2 三田晴夫

島村篤子展 10. 30—11. 4 ギャ  
 ラリー21+葉アネックス  
 美術手帖 718 平野到

島村達彦展 11. 27—12. 9 柳画  
 廊  
 ギャラリー(月刊) 128

清水卯一展 5. 18—27 松坂屋美  
 術画廊  
 陶説 508 井上隆生

志水兎王展 10. 30—11. 5 ギャ  
 ラリーKIGOMA  
 美術手帖 718 平野到

清水信行展 4. 12—18 西武(池  
 袋)  
 美術(月刊) 235 編集部

下川恵展 1. 7—15 ラヴコレク  
 ションギャラリー(名古屋)  
 美術手帖 705 拝戸雅彦

霜島忍自問展 11. 6—11 Art 5  
 美術(月刊) 242 水上睦男

下村良之介やけもの展 12. 5—10  
 ギャラリー紅(京都)  
 陶説 514 藤慶之

青春のシャガール展 10. 19—31  
 高島屋(日本橋)  
 毎日 10. 6  
 毎日夕刊 10. 21

JAG展18回 11. 25—12. 1 東京  
 都美術館  
 美術の窓 154 高山淳

「写真が語る戦後50年」展 8. 2—12  
 松屋(銀座)  
 朝日夕刊 8. 4

写真都市TOKYO展 1. 21—3. 31  
 東京都写真美術館  
 新美術新聞 723  
 美術手帖 705 柳本尚規

グラフィック写楽67人展 2. 18—  
 3. 5 パルコギャラリー  
 アイデア 249 福田繁雄  
 毎日 2. 17

朱銘展 8. 5—10. 15 彫刻の森美  
 術館  
 サンケイ 8. 5 釘持邦弘  
 サンケイ 9. 2 斎藤道子  
 サンケイ 10. 1 釘持邦弘

宗教改革時代のドイツ木版画展  
 ゴータ市美術館所蔵作品による  
 1. 14—3. 5 国立西洋美術館  
 芸術新潮 543  
 新美術新聞 722  
 東京夕刊 2. 9

絨毯—シルクロードの華展 4. 15  
 —6. 4 国立民族学博物館  
 民博通信 68 杉村棟

16—18世紀ヨーロッパ絵画展 ルー  
 マニア国立美術館・ブルケンター  
 ル国立博物館所蔵 5. 30—6. 25  
 三越美術館  
 新美術新聞 732  
 東京夕刊 6. 15  
 毎日 4. 21  
 毎日 6. 6  
 毎日 6. 7  
 毎日 6. 8

朱葉会展75回 6. 1—10 東京都美  
 術館  
 美術の窓 149 高山淳

春陽会受賞者展'94 10. 31—11.  
 19 ギャラリーうえすと  
 春陽 70 浜西勝則  
 春陽 70 松島治基

ジョージ・イーストマン・ハウス・  
 コレクション展—光の言葉 11.  
 18—1. 15 東京都写真美術館  
 新美術新聞 752 (賀)  
 サンケイ 12. 31 (N)  
 毎日 11. 16

城康夫展 4. 17—28 ギャラリー  
 ビクチャーズ  
 アート・トップ 146 (常)

障害者アートバンク作品展 8. 21  
 —9. 1 ギャラリー・タイセイ  
 毎日夕刊 8. 23

庄司栄吉展 12. 4—9 資生堂ギャ  
 ラリー  
 新美術新聞 752  
 美術の窓 152 高山淳

昭和会展30回 1. 27—2. 3 日動  
 画廊  
 絵 373 中根寛  
 新美術新聞 726

昭和戦前期日本画のエキゾティシズ  
 ム展 6. 20—8. 20 目黒雅叙園  
 美術館  
 新美術新聞 736

「昭和20年代の日本画—新しい美の  
 創造をめざして」展 10. 6—11.  
 5 島根県立博物館  
 島根県立博物館ニュース 68 直  
 良吉祥  
 新美術新聞 746

女流画家協会展49回 5. 21—30  
 東京都美術館  
 美術の窓 148 高山淳  
 東京夕刊 5. 25

女流陶芸公募展29回 9. 9—10. 22  
 京都市美術館  
 毎日夕刊 10. 18 有本忠浩

白川昌生展 3. 7—26 ヒルサイド  
 ギャラリー  
 東京夕刊 2. 17 北澤憲昭

白須純展 7. 3—29 文房堂ギャラ  
 リー  
 サンケイ 7. 16 (N)

知られざるヘルマン・ヘッセの世界  
 展 11. 25—12. 24 神奈川県立  
 近代美術館  
 東京夕刊 12. 8 北澤憲昭

シルクロード西域文物展 1. 3—2.  
 12 そごう美術館(横浜)  
 東京夕刊 1. 19

秦正華写真展 都市無心 3. 16—  
 21 ドイフォトプラザ(渋谷)  
 読売(都民版) 3. 16

新槐樹社展33回 3. 14—24 東京  
 都美術館  
 美術の窓 146 高山淳

新協展38回 10. 5—14 東京都美  
 術館  
 美術の窓 152 高山淳

新芸術展20回 11. 25—12. 1 東  
 京都美術館  
 美術の窓 153 高山淳

信耕ヒロ子のラタンワールド展 9.  
 7—10. 3 東京ガス立川ショ  
 ルームギャラリー  
 毎日 9. 16

新構造展67回 6. 12—22 東京都  
 美術館  
 アートマインド 82 水上杏平  
 美術の窓 149 高山淳

新興展45回 5. 21—30 東京都美  
 術館  
 美術の窓 148 高山淳

平成7年美術展覧会(シ、ス)

新作家展2回 3. 7-12 東京セントラルアネックス  
 新美術新聞 731  
 新庄貞嗣展 4. 25-5. 1 そごうアートギャラリー  
 陶説 508 福田旻  
 新庄貞嗣作陶展 11. 23-28 松坂屋美術画廊  
 陶説 514 井上隆生  
 新匠工芸会公募展50回 12. 7-12 東京都美術館  
 美術の窓 154 高山淳  
 新世紀展40回 5. 9-19 東京都美術館  
 美術の窓 148 高山淳  
 新世紀への視点'95-10画廊からの発言展 9. 18-30 銀座・京橋の10画廊  
 日経 9. 13  
 新象展38回 6. 1-10 東京都美術館  
 美術の窓 149 高山淳  
 人体の世界展 9. 15-11. 26 国立科学博物館  
 読売夕刊 9. 18 養老孟司  
 読売夕刊 9. 30  
 新道展40回 8. 30-9. 11 札幌市民ギャラリー  
 新美術新聞 752 吉田豪介  
 新日美展 12. 13-19 東京都美術館  
 美術の窓 154 高山淳  
 新美術協会展42回 6. 1-10 東京都美術館  
 美術の窓 149 高山淳  
 沖縄(ウチナー)発...生きる風(新門登)展 9. 12-22  
 東京YMCA国際奉仕センター  
 毎日 9. 14  
 読売 9. 14

(ス)

水彩連盟展54回 3. 26-4. 4 東京都美術館  
 美術の窓 147 高山淳  
 吹田草牧展-日本画と洋画のはざま  
 で 2. 2-3. 5 笠岡市立竹喬美術館  
 新美術新聞 724

末岡信彦作陶展 3. 2-7 高島屋(日本橋)  
 陶説 506 福田旻  
 菅木志雄展 9. 6-22 村松画廊  
 毎日夕刊 9. 12 三田晴夫  
 須加五々道と墨環會選抜展 5. 30-6. 5 そごう(横浜)  
 アートマインド 81 佃堅輔  
 アートマインド 81 飯野光夫  
 菅沼研一展 3. 23-31 ギャラリー和田  
 ギャラリー(月刊) 118  
 菅野圭介展 9. 23-10. 29 平塚市美術館  
 サンケイ 10. 15 松村寿雄  
 東京夕刊 10. 6 山梨俊夫  
 「ゆきお絵展-戦後50年おんな風俗史」(杉浦幸雄) 6. 20-30 京王プラザホテル  
 朝日 6. 24  
 悠久の中国を描く4 杉谷隆志墨画展 3. 31-4. 4 朝日生命ギャラリー  
 毎日夕刊 4. 1  
 杉本博司展 3. 10-4. 7 ギャラリーコヤナギ  
 美術手帖 708 西村智弘  
 杉山育三展 レクイエム 7. 6-10 井の頭画廊  
 朝日夕刊 6. 23  
 杉山健司展-新世代への視点'95 9. 18-30 ギャラリー山口  
 アートマインド 83  
 サンケイ 9. 24 (N)  
 杉山晃造写真展 大モンゴル・仏教技術と遊牧の世界 3. 30-4. 5 すみだリバーサイドホールギャラリー  
 読売(都民版) 3. 27  
 スケッチ展「神田川の流れ」 10. 7-13 東邦生命ビル2Fギャラリー  
 読売 10. 4  
 祐成政徳展 1. 9-21 モリスギャラリー  
 読売夕刊 1. 19 (菅)  
 鈴木昭男展 11. 22-26 白川流域(京都市東山区)  
 美術手帖 720 山本淳夫

鈴木蔵展 1. 19-24 丸栄スカイ  
 ル  
 陶説 504 井上隆生  
 鈴木蔵 花の器展 12. 31-1. 8 三越  
 陶説 516 福田旻  
 美術の窓 153 編集部  
 鈴木健司展 7. 5-11 高島屋(日本橋)  
 陶説 510 福田旻  
 鈴木五郎「器」展 3. 13-18 第一画廊(名古屋)  
 陶説 506 井上隆生  
 鈴木五郎大壺展 11. 25-12. 24 GALLERY 顕美子  
 陶説 515 井上隆生  
 鈴木八郎作陶展 7. 20-26 丸栄スカイ  
 陶説 510 井上隆生  
 鈴木政夫石彫展 11. 9-14 福屋  
 新美術新聞 749  
 鈴木マサハル展 12. 19-25 東急(渋谷)  
 新美術新聞 753  
 鈴木満寿男木彫展 8. 15-21 田中八重洲画廊  
 美術(月刊) 239 編集部  
 鈴木三成香炉展 3. 28-4. 2 三越  
 陶説 506 福田旻  
 鈴木芳子展 11. 20-12. 9 ギャラリー長谷川  
 サンケイ 12. 3 (M)  
 須田寿展 卒寿記念 11. 16-21 高島屋(日本橋)  
 美術(月刊) 242 米倉守  
 美術の窓 152 高山淳  
 東京夕刊 11. 16 (ひ)  
 日経 11. 20 宝玉正彦  
 「すてきなステッキ 日本の杖展」 10. 10-12. 10 神宮徴古館(三重県伊勢市)  
 芸術新潮 552 矢野憲一  
 鷲見鷹展 2. 18-3. 25 白土舎(名古屋)  
 美術手帖 706 拝戸雅彦  
 澄川喜一展 9. 8-10. 28 現代彫刻センター(渋谷)  
 新美術新聞 744

(セ)

生活のなかの工芸展 1950—1960年代のモダン・クラフト 10, 7—11, 26 東京国立近代美術館工芸館  
 現代の眼 491 内藤正光  
 現代の眼 491 鈴木治  
 現代の眼 491 平松保城  
 陶説 513 福田旻  
 西洋近代彫刻の巨匠展—スミノニアン・ハーシュホーン美術館所蔵 8, 9—27 小田急美術館  
 読売夕刊 8, 7 高階秀爾  
 西洋の服飾—シルエットとディテール展 10, 13—12, 8 文化学園服飾博物館  
 毎日 10, 20  
 世界—小ちゃい絵!? ミニ絵画展 12, 12—25 ギャラリー八重洲・東京  
 毎日 12, 13  
 世界の絵本原画展'95 4, 26—5, 8 西武アートフォーラム(池袋)  
 朝日 5, 3  
 関主悦展 9, 6—11 松屋(銀座)  
 新美術新聞 743  
 瀬戸陶芸の回顧展 4, 15—5, 14 瀬戸市文化センター  
 陶説 507 井上隆生  
 瀬戸の陶芸展—1300年の歴史と今— 10, 3—8 三越  
 朝日夕刊 9, 11 (生)  
 1970年—物質と知覚展 もの派と根源を問う作家たち 10, 7—12, 17 埼玉県立近代美術館  
 新美術新聞 725  
 美術手帖 711 大井健地  
 JAAM 45 岡田潔  
 美術の森 82 真武真喜子  
 美術の森 82 バルバラベルトッツィ  
 朝日夕刊 12, 7 (三)  
 東京夕刊 11, 10 北沢憲昭  
 日経 11, 9 宝玉正彦  
 毎日夕刊 12, 5 三田晴夫  
 読売夕刊 11, 16 菅原教夫  
 1920年代の巴里より展 川島理一郎、ゴンチャロフ、ラリオノフ 第6回資生堂ギャラリーと

そのアーティスト達 3, 7—25 資生堂ギャラリー  
 新美術新聞 728 五十殿利治  
 「全国かまぼこ板の絵」展1回 7, 26—11, 27 ギャラリーしろかわ(愛媛県城川町)  
 朝日 7, 18  
 戦後文化の軌跡 1945—1995展 4, 19—6, 4 日黒区美術館  
 新美術新聞 731  
 日本美術工芸 685 (伸)  
 美術(月刊) 236 編集部  
 美術(月刊) 237  
 美術手帖 709 上野俊哉  
 ビロティ 95・96 青木保  
 朝日 5, 18  
 朝日夕刊 4, 18 建昌哲  
 朝日夕刊 4, 18 赤瀬川原平(談)  
 朝日夕刊 4, 18 丹下健三(談)  
 朝日夕刊 5, 9 (三)  
 東京夕刊 5, 11 山梨俊夫  
 日経 5, 15 宝玉正彦  
 読売夕刊 5, 20 彦坂尚嘉  
 読売夕刊 5, 20 正木基  
 千住博展—ウォーターフォールシリーズ 3, 29—4, 4 高島屋(日本橋)  
 新美術新聞 729  
 千住博展 10, 1—3 東京美術倶楽部  
 美術(月刊) 241 編集部  
 千住博展 11, 4—10 ぎやらりいセンターポイント  
 新美術新聞 749 布施英利  
 戦争・人間展 7, 30—9, 24 町田市立国際版画美術館  
 新美術新聞 741 高木幸枝  
 全道展50回 6, 21—7, 2 札幌市民ギャラリー  
 新美術新聞 752 吉田豪介  
 線について展 5, 20—7, 2 板橋区立美術館  
 新美術新聞 734  
 朝日夕刊 6, 9

(ソ)

創展29回 10, 4—14 東京都美術館  
 アートマインド 84 安井収蔵

平成7年美術展覧会(セ〜タ)

美術の窓 152 高山淳  
 蒼騎展35回 10, 5—14 東京都美術館  
 美術の窓 152 高山淳  
 創元展54回 4, 7—21 東京都美術館  
 美術の窓 147 高山淳  
 双樹展25回 8, 22—30 東京都美術館  
 美術の窓 151 高山淳  
 爽人展25回 5, 22—28 東京ロイヤル美術館  
 アートマインド 81 水上杏平  
 創造展48回 6, 1—10 東京都美術館  
 美術の窓 149 高山淳  
 走泥社展 10, 3—8 京都市美術館  
 陶説 512 藤慶之  
 相馬武夫展 11, 6—18 青木画廊  
 毎日夕刊 11, 11  
 曾我孝司展 10, 9—31 カサハラ画廊(大阪)  
 美術手帖 718 喜多村明里  
 疎開作家と信州展 6, 30—7, 30 長野県信濃美術館  
 新美術新聞 737  
 曾根心一展 7, 11—30 嫁菜の花美術館  
 毎日 7, 20  
 読売(都民版) 7, 21  
 園原小波展 6, 13—24 風童門  
 美術の窓 149 高山淳  
 曾宮夕見展 11, 21—26 兜屋画廊  
 朝日夕刊 12, 5

(タ)

第一美術展66回 5, 21—30 東京都美術館  
 美術の窓 148 高山淳  
 第三文明展27回 8, 22—30 東京都美術館  
 美術の窓 151 高山淳  
 大正期の日本画 金鈴社の五人展 11, 3—12, 3 練馬区立美術館  
 新美術新聞 745  
 雪椿通信 5 横山秀樹  
 大正・昭和の水彩画展—蒼原会の画家を中心に 8, 8—9, 24 渋谷区立松涛美術館  
 新美術新聞 742

平成7年美術展覧会(タ)

- 朝日夕刊 8, 10 福井泰民  
朝日夕刊 9, 8  
大正のまなざし展 10, 16—11, 13  
和歌山県立近代美術館  
日本美術工芸 676 (吉)  
大潮展59回 12, 14—27 東京都美術館  
美術の窓 154 高山淳  
大調和展34回 3, 14—24 東京都美術館  
美術の窓 146 高山淳  
タイプアート展 10, 12—16 茨城県下館市文化ギャラリー  
読売夕刊 10, 12  
大ベーターヴェン展 12, 2—25  
Bunkamura ザ・ミュージアムサンケイ 11, 26 (K)  
太平洋展91回 5, 20—30 東京都美術館  
美術の窓 148 高山淳  
太平洋戦争と港区展 7, 1—6, 14  
港区立港郷土資料館  
港郷土資料館だより 29 上原直子  
大洋展17回 11, 25—12, 1 東京都美術館  
美術の窓 153 高山淳  
太陽美術展21回 11, 25—12, 1  
東京都美術館  
美術の窓 153 高山淳  
レオナルド・ダ・ヴィンチ人体解剖図展 ウィンザー城王立図書館所蔵 6, 10—7, 30 東京都庭園美術館  
新美術新聞 735  
朝日夕刊 6, 15 牟田行秀  
東京夕刊 6, 30 山梨俊夫  
日経 6, 26  
毎日夕刊 6, 26 三田晴夫  
読売夕刊 7, 24 (前)  
多賀新銅版画展 3, 6—18 養清堂画廊  
版画芸術 87  
タカエズ・トシコ展 思索する色とかたち作陶50年 6, 6—7, 9 京都国立近代美術館  
新美術新聞 736  
陶説 509 藤慶之  
高木伸陶展 10, 5—10 高島屋(日本橋)  
陶説 512 福田晃  
高木義夫展 12, 27—1, 9 高島屋(日本橋)  
新美術新聞 753  
高澤南総展 11, 11—12, 17 千葉県立美術館  
新美術新聞 749  
高田かね子押し花絵展 12, 1—10  
サンシャインギャラリー(横浜)  
毎日夕刊 11, 25  
高塚省吾展 5, 9—17 日動画廊  
美術の窓 146 高山淳  
高野麻紀展 3, 6—11 ギャラリー現  
美術手帖 706 古屋俊彦  
高橋禎彦ガラス展 6, 8—27 スタジオ・コム(京都四条)  
美術(月刊) 237 編集部藤田一人  
高橋佐門作陶展 5, 3—9 丸栄スカイル  
陶説 507 井上隆生  
高橋節郎展 10, 21—11, 12 ギャラリー82  
新美術新聞 750  
高畑早苗展 10, 20—11, 30 佐賀町エキジビット・スペース  
新美術新聞 748  
高畑郁子展 9, 29—10, 22 福井県立美術館  
新美術新聞 745  
福井県立美術館だより 69 八百山登  
高松伸一オフィスの誕生展 5, 12—6, 23 TNブローブ(六本木)  
日経 5, 3  
高松伸建築展 4, 1—5, 28 東京ステーションギャラリー  
朝日夕刊 5, 19  
日経 5, 3  
高村光雲記念写真展 1, 6—13 和光ホール  
朝日 1, 12  
「高村智恵子 紙絵とその生涯」展 10, 28—11, 26 品川歴史館  
サンケイ夕刊 10, 14  
読売(都民版) 11, 11  
エコロジー展10回PART1 高森登志夫 4, 17—30 木ノ葉画廊  
毎日夕刊 4, 15  
高山光展 1, 3—9 近鉄(四日市)  
陶説 504 井上隆生  
田川勲次展 12, 5—15 梅田画廊(大坂)  
新美術新聞 752  
竹内公明展 4, 22—5, 7 ギャラリー共栄窯(常滑)  
陶説 507 井上隆生  
竹久夢二展 7, 21—8, 20 島根県立博物館  
島根県立博物館ニュース 67 西尾尚子  
武宮秀勝展 12, 1—9 田口美術(月刊) 243 編集部  
立木泉展 12, 12—24 ヒルサイドギャラリー  
美術手帖 721 暮沢剛巳  
立花ハジメ展 アプリケーション・ツアー 11, 1—19 P3 art and environment  
デザインの現場 78 編集部  
立花文穂展 12, 16—30 西瓜糖  
美術手帖 721 西村智弘  
辰野登恵子1986—1995展 9, 15—10, 22 東京国立近代美術館  
ギャラリー(月刊) 125  
現代の眼 489 本江邦夫  
現代の眼 490 インタビュー 辰野登恵子、聞き手本江邦夫  
現代の眼 490 南雄介  
新美術新聞 744  
サンケイ 10, 15 (M)  
朝日夕刊 10, 6  
日経 9, 22 (坂)  
毎日夕刊 9, 28 三田晴夫  
読売夕刊 9, 26 (菅)  
リチャード・タトル展—空間と色彩の詩人 9, 7—10, 10 セゾン美術館  
美術手帖 715 リチャードタトル、岡崎乾二郎  
朝日夕刊 9, 22  
日経 9, 20 (坂)  
読売夕刊 9, 13 (菅)  
田中一村の世界展 3, 8—4, 2 ところ美術館(千葉)  
朝日夕刊 3, 9 伊藤雅明  
朝日夕刊 3, 23 (三)  
田中一村展 4, 20—5, 1 高島屋(横浜)  
新美術新聞 727

田中薫展 3. 3—24 ART BOX  
日経 3.13 宝玉正彦

田中春弥画業60年展 11. 8—26  
東京国際美術館  
新美術新聞 746

田中隆博展 2. 15—27 ギャラ  
リーNWハウス  
美術手帖 706 林洋子

田中寅三展—松戸に根をおろした白  
馬会画家 2. 25—3. 26 松戸  
市立博物館  
新美術新聞 726

田中瑞木展 11. 7—11 草月ギャ  
ラリー  
朝日 11. 7

田中実展 12. 11—16 資生堂ギャ  
ラリー  
新美術新聞 752

田中良忠「貝合わせ」展 1. 5—17  
高島屋(横浜)  
朝日 1. 4

田辺克文展 6. 6—18 アートス  
ペース虹(京都)  
美術手帖 712 山本淳夫

谷川康宏油絵展 5. 9—15 三越  
美術(月刊) 236 編集部

谷野明夫展 6. 13—25 ギャラ  
リーにしかわ(京都)  
陶説 509 藤慶之

十三代田原陶兵衛展 9. 1—8 益  
田ギャラリー  
陶説 512 福田旻

「田淵行男の山」写真展 3. 28—4.  
10 ニコンサロン  
毎日 4. 6

為永信吉展 2. 20—27 ギャラ  
リー青羅  
東京 2. 20  
読売(都民版) 2. 16

ジェームズ・タレル展 3. 17—5.  
17 ヨコハマポートサイドギャラ  
リー  
朝日夕刊 5. 11 (三)  
東京夕刊 3. 24 山梨俊夫

ジェームズ・タレル展 未知の光へ  
11. 3—1. 28 水戸芸術館現代美  
術ギャラリー  
新美術新聞 750  
美術手帖 720 篠田達美  
朝日夕刊 11. 9 逢坂恵理子

朝日夕刊 12. 20 (三)  
読売夕刊 11. 29 (菅)

團紀彦展 6. 20—7. 29 AKI—  
EX GALLERY  
美術手帖 713 暮沢剛巳

(チ)

紙馬(雲南の護符)展 10. 4—12.  
21 日本民芸館  
朝日夕刊 11. 16 杉山淳司

「智恵子抄彷徨」展 10. 3—29  
JCIフォトサロン(千代田区)  
朝日夕刊 10. 24  
読売(都民版) 10. 6  
読売夕刊 10. 3

智内兄助展 4. 5—16 小田急美術  
館  
新美術新聞 730  
毎日 4. 5

チャリティー(阪神大震災)陶芸展  
3. 24—30 三木武夫記念館  
毎日 3. 14

中国現代絵画名作展 9. 29—10.  
17 新潟県立近代美術館  
雪椿通信 5 松矢国憲

『中国の洋風画』展 10. 8—11. 26  
町田市立国際版画美術館  
朝日 11. 16 (三)  
東京夕刊 10. 27 山梨俊夫  
読売夕刊 11. 17 (前)

抽象美術へのいざない展 8. 14—  
9. 24 国立国際美術館  
国立国際美術館月報 35 篠田達  
美  
国立国際美術館月報 36 那賀貞  
彦  
新美術新聞 742

抽象表現主義—紙の上の冒険展 メ  
トロポリタン美術館所蔵 3. 11  
—6. 4 東京国立近代美術館  
アートマインド 81 野村良平  
芸術新潮 543  
芸術新潮 543 リサ・M・メッ  
シンジャー  
芸術新潮 543 ウィリアム・  
S・リーバーマン  
現代の眼 484 建昌哲  
現代の眼 484 菅原教夫  
現代の眼 484 尾野正晴  
現代の眼 484 松本透

平成7年美術展覧会(タ〜ツ)

現代の眼 486 金関寿夫  
現代の眼 486 鈴木省三  
現代の眼 486 中村功  
現代の眼 486 松浦寿夫  
新美術新聞 728  
美術手帖 703 編集部  
朝日 4. 4 (若)

朝日夕刊 3. 30 高橋幸次  
東京夕刊 4. 14 山梨俊夫  
毎日夕刊 5. 15 谷新  
読売夕刊 3. 16 菅野教夫

中美展47回 6. 12—22 東京都美  
術館  
美術の窓 149 高山淳

「朝鮮時代—男と女の空間」展 11.  
25—12. 24 麻布美術工芸館  
サンケイ 12. 9 斎藤道子

沈文燮展 1. 30—3. 11 児玉画廊  
(大阪)  
美術手帖 706 島敦彦

「沈黙の大地」展 8. 11—9. 24  
パークタワーギャラリー1  
東京夕刊 8. 25

(ツ)

終の住みか展 9. 11—24 すみだ  
女性センター  
東京 9. 10

司修展 8. 10—15 紀伊国屋画  
廊  
新美術新聞 741  
新美術新聞 742

つかもとよし子展 10. 24—30 三  
越(新宿)  
美術(月刊) 241 安井収蔵

月岡芳年展—浮世絵最後の巨匠 2.  
25—3. 26 北九州市立美術館  
新美術新聞 726

月形那比古の世界展 11. 17—23  
東急(ながの)  
新美術新聞 750

辻毅彦陶芸展 2. 17—24 和光  
ホール  
陶説 505 福田旻

辻村史朗陶展 12. 27—1. 9 三越  
陶説 504 福田旻

津高和一とゲンビの作家たち展  
12. 9—1. 21 兵庫県立近代美術  
館  
新美術新聞 752

「土の鏡」1995展 7. 18—23 三越  
東京夕刊 7. 20  
土屋礼一展 1. 10—19 北辰画  
廊  
新美術新聞 722  
美術の窓 145 高山淳  
筒井伸輔展 8. 21—9. 2 ミヅマ  
アートギャラリー  
美術手帖 715 西村智弘  
サンケイ 8. 27 (N)  
坪倉滄明展 3. 7—12 三越  
美術(月刊) 234 編集部  
積むかたち+組むかたち2 一目黒区  
美術館トイ・コレクション展  
8. 5—9. 17 目黒区美術館  
新美術新聞 741

(テ)

ディザルニ展 10. 30—11. 10  
ギャラリー毎日神保町店  
美術の窓 151  
丁紹光の世界展 10. 20—26 京王  
美術(月刊) 242 編集部  
アメリカモダニズムの画家 スチュ  
ワート・デイヴィス展 10. 10—  
11. 26 東京都庭園美術館  
新美術新聞 749 (西)  
美術(月刊) 238 石崎浩一郎  
読売夕刊 10. 6 藤枝晃雄  
程亮弼展—新世代への視点'95  
9. 18—30 コバヤシ画廊  
アートマインド 83  
サンケイ 9. 24 (N)  
「手塚治虫〜過去と未来のイメ  
ージ〜」展 8. 3—9. 3 伊勢丹美  
術館  
新美術新聞 741  
朝日夕刊 5. 6 宮代栄一  
朝日夕刊 8. 1 林久男談  
朝日夕刊 8. 1 夏目房之介  
「手でみる彫刻展」 12. 10—24  
ギャラリー12  
読売(都民版) 12. 13  
手で見る展示会展 10. 20—11. 2  
セントラルプラザふくしホール  
読売 10. 26  
デュフィ展 1. 8—2. 12 姫路市  
立美術館  
姫路市立美術館だより 45 中村  
隆夫

デュフィ展 7. 2—24 伊勢丹美術  
館  
新美術新聞 737  
メイプルニュース 29 安井裕雄  
朝日夕刊 6. 29 大西若人  
東京夕刊 7. 13  
日経 7. 17 宝玉石彦  
寺本守作陶展 4. 5—10 松屋(銀  
座)  
陶説 507 福田旻  
デルヴォー展 6. 28—7. 30 姫路  
市立美術館  
新美術新聞 737  
伝統工芸藍染展 5. 24—29 江戸  
川区総合文化センター  
毎日 5. 25  
10 MAR 1945 B29s OVER  
TOKYO展 3. 9—4. 16 佐賀  
町エキジビット・スペース  
新美術新聞 730 (賀)

(ト)

土居誠展 7. 24—8. 5 信濃橋画  
廊エプロン(大阪)  
美術手帖 715 山本淳夫  
戸出喜信油絵展 9. 19—25 三越  
美術(月刊) 240 本間正義  
美術(月刊) 240 ニコール・ラ  
モット  
トゥール美術館展—17世紀—19世紀  
・名作でつづるフランス絵画展  
2. 18—3. 21 東武美術館  
読売夕刊 2. 13 高階秀爾  
等辺展28回 12. 5—12 東京都美  
術館  
美術の窓 154 高山淳  
東京絵画祭り展2回 5. 28—29  
東京美術倶楽部  
新美術新聞 734  
美術(月刊) 237  
東京芸術大学大学院博士後期課程研  
究発表展'95 1. 6—2. 26 東京  
芸術大学芸術資料館  
芸術新潮 544  
東京国際写真ビエンナーレ展1回  
6. 10—7. 30 東京都写真美術館  
東京都写真美術館ニュース 3  
金升坤  
東京都写真美術館ニュース 3  
三木多聞

東京国際ミニプリント・トリエン  
ナーレ'95展1回 11. 3—30 多  
摩美術大学附属美術館  
ギャラリー(月刊) 127  
版画芸術 89 編集部  
東京国立近代美術館と写真 1953—  
1995展 5. 23—7. 29 東京国立  
近代美術館フィルムセンター  
現代の眼 486 増田玲  
東京調査団展1回 物語の鍵  
6. 26—7. 15 和敬塾(目白)  
朝日夕刊 7. 7  
東京展21回 9. 19—10. 3 東京都  
美術館  
東京夕刊 9. 21  
陶芸の現在'95—発信する器展  
10. 12—17 高島屋(日本橋)  
陶説 513 福田旻  
陶芸ビエンナーレ'95展4回 5. 10  
—15 三越(名古屋)  
陶説 508 井上隆生  
東光展61回 4. 23—5. 7 東京都  
美術館  
美術の窓 148 高山淳  
道展70回 10. 19—11. 5 札幌市  
民ギャラリー  
新美術新聞 752 吉田豪介  
堂野修吾展 9. 4—9 丸善画廊(日  
本橋)  
読売 9. 5  
東美特別展13回 10. 1—3 東京美  
術倶楽部  
ギャラリー(月刊) 126  
美術(月刊) 241 編集部  
目の眼 231 編集部  
動物美術館…二〇世紀の日本の生  
き物のイメージ展 4. 1—5. 7  
三重県立美術館  
ひるういんど 51 毛利伊知郎  
東方展29回 3. 14—24 東京都美  
術館  
美術の窓 146 高山淳  
堂前守人器展 4. 13—22 工芸  
ギャラリー手児奈(名古屋)  
陶説 507 井上隆生  
堂本印象展—京都府立堂本印象美術  
館所蔵 9. 21—10. 15 そごう  
美術館(横浜)  
新美術新聞 750  
東京夕刊 9. 29 北澤憲昭

堂本尚郎展 11. 6—25 南天子画廊  
新美術新聞 746

十果展17回 6. 28—7. 4 高島屋(日本橋)  
新美術新聞 740

徳光ゆかり「日本の美」展 1. 6—17  
京セラ・コンタックサロン銀座  
朝日 1. 6

都市という舞台・ニューヨーク・ブリック・スペースの可能性展  
1. 27—3. 24 TNプローブ(六本木)  
朝日夕刊 2. 24

歳森イサオ展 7. 5—15 秋山画廊  
美術手帖 713 平野到

戸田守宣展 10. 14—28 ギャラリーこうけつ(岐阜)  
美術手帖 718 廣江泰孝

読解された風景展 10. 15—1. 22  
埼玉県立近代美術館  
朝日夕刊 1. 5 (三)

利根山人光展 5. 27—7. 2 世田谷美術館  
新美術新聞 734 高橋直裕  
美術(月刊) 237 高橋直裕  
朝日夕刊 6. 23  
東京 6. 17  
東京夕刊 6. 1  
日経 6. 14 宝玉正彦

トプカブ宮殿の名品—スルタンの愛した陶磁器展 11. 24—12. 24  
古代オリエント博物館  
新美術新聞 743  
毎日 9. 3  
毎日 9. 3 川津祐介  
毎日夕刊 11. 24

富田真平展 11. 6—18 ギャラリーせいほう  
サンケイ 11. 12

富田俊明展 12. 18—23 淡路町画廊  
美術手帖 721 平野到

富本憲吉展—その人・こころ 9. 20—10. 8 小田急美術館  
朝日夕刊 9. 19 中ノ堂一信

富本敏裕展 2. 11—19 ギャラリー共栄窯(常滑)  
陶説 505 井上隆生

silenced history—富山妙子 歴史に強いられた沈黙展 4. 10—30  
多摩美術大学附属美術館  
毎日夕刊 7. 18 富山妙子

土門拳展 古寺巡礼 6. 21—7. 23  
日黒区美術館  
アートマインド 82 野村良平  
朝日夕刊 7. 14  
毎日 4. 8 飯沢耕太郎  
毎日夕刊 7. 8

戸谷成雄展 2. 4—3. 26 広島市現代美術館  
新美術新聞 724

戸谷成雄展 4. 1—5. 20 ケンジタキギャラリー  
美術手帖 709 拝戸雅彦

豊島弘尚展 12. 20—1. 16 高島屋コンテンポラリーアートスペース(日本橋)  
新美術新聞 753

豊場慳也作陶展 4. 11—18 和光ホール  
陶説 507 福田旻  
美術(月刊) 235 (K)

トラキア黄金展 4. 23—5. 7 馬の博物館  
朝日夕刊 4. 20

アンドレ・ドラン展 10. 26—11. 7 大丸ミュージアム(東京)  
東京夕刊 11. 2

鳥光桃代展 2. 20—3. 3 ギャラリー美遊  
新美術新聞 729 (賀)

## (ナ)

内藤忠行展 3. 31—5. 14 ギャラリー1(東京)  
美術手帖 709 西村智弘

内藤廣展 6. 10—7. 22 ギャラリー間  
朝日夕刊 7. 4 (若)

内藤礼展—ナーメンロス リヒト  
11. 1—28 ギャラリーコヤナギ  
美術手帖 718 西村智弘

中井貞次展 11. 21—26 京都府立文化芸術会館  
新美術新聞 751

長岡国人展 12. 4—26 ギャラリー日鉦  
サンケイ 12. 24 (M)

中川幸夫展 7. 21—8. 11 ギャラリーコヤナギ  
朝日夕刊 7. 28

中川李枝子 絵本の世界展 11. 4—12. 3 世田谷文学館  
朝日夕刊 11. 16

中川佳宣展 4. 19—29 資生堂ギャラリー  
読売夕刊 4. 25 (菅)

長澤知明展 12. 9—1. 20 新桜画廊(中部)  
美術手帖 722 廣江泰孝

長沢英俊—「京の町屋」展 11. 29—5. 29 ギャラリー小西(京都)  
美術手帖 721 喜多村明里

長沢英俊展 9. 4—23 エスパスOHARA  
読売夕刊 9. 16

長沢秀之展 2. 13—3. 4 南天子ギャラリー-SOKO  
朝日夕刊 2. 24

中島勝乃利陶展 5. 11—16 高島屋(日本橋)  
陶説 508 福田旻

中島司有書作展20回 12. 16—21  
上野の森美術館  
サンケイ 12. 10 (K)

中島敏行展 2. 13—3. 25 ギャラリーショーコナガイ  
美術手帖 706 林洋子  
毎日夕刊 2. 27 三田晴夫

仲田幹一書展 10. 18—24 松屋(銀座)  
新美術新聞 746 仲田幹一、聞き手本紙編集部

中谷貞彦展 6. 1—10 サエグサ画廊  
新美術新聞 734  
東京夕刊 6. 8

中西夏之展：着陸と着水—舞踏空間から絵画場へ 11. 25—12. 24  
神奈川県立近代美術館  
美術手帖 718  
東京夕刊 12. 8 北澤憲昭  
毎日夕刊 12. 12 三田晴夫  
読売夕刊 12. 16 岡田守男

中野淳展 9. 28—10. 30 武蔵野美術大学美術資料図書館  
新美術新聞 746

平成7年美術展覧会(ナ、ニ)

中野嘉之展 9. 13-19 高島屋(日本橋)  
新美術新聞 744  
中ハンクシゲ展 4. 3-8 信濃橋画廊(大阪)  
美術手帖 709 島敦彦  
中堀慎治展 7. 11-17 三越  
美術(月刊) 238 編集部  
回顧・中村研一展 9. 5-11. 26  
中村研一美術館  
読売(都民版) 9.10  
中村ケンゴ展 6. 19-24 ギャラリーアリエス  
美術手帖 712 西村智弘  
中村彝展 11. 15-12. 3 小田急美術館  
新美術新聞 751 金原宏行  
日経 11.20 宝玉正彦  
毎日夕刊 11. 14  
中村哲也展 10. 23-11. 11 Gallery ZERO  
美術手帖 718 山本淳夫  
中村雅夫写真展 1. 11-17 東京芸術劇場展示室  
朝日 1. 14  
中谷泰展 6. 14-7. 16 三重県立美術館県民ギャラリー  
新美術新聞 736  
仲山計介展-'95エオンタ 1. 16-29 古心堂画廊  
新美術新聞 723  
名古屋国際ビエンナーレ・RTEC'95展 4. 28-6. 25 名古屋市科学館  
美術手帖 709 茂登山清文  
朝日夕刊 5. 30 (三)  
名古屋コンテンポラリーアートフェア 4. 18-5. 23 中区役所(名古屋)  
Lady's Slipper 3 丹羽誠次郎  
名古屋コンテンポラリーアートフェア 4. 18-5. 23 名古屋市民ギャラリー  
Lady's Slipper 3 丹羽誠次郎  
デイヴィッド・ナッシュ 音威子府の森展 4. 3-5. 5 埼玉県立近代美術館  
朝日夕刊 4. 25 (三)  
東京 4. 15 中村誠  
東京夕刊 1. 4

東京夕刊 4. 14 伊豆井秀一  
東京夕刊 4. 16 松永康  
東京夕刊 4. 19 松永康  
東京夕刊 6. 9 北沢憲昭  
毎日夕刊 4. 10 三田晴夫  
読売夕刊 4. 12 (菅)  
那波多目功-日本画展 10. 3-9 三越  
美術(月刊) 241 編集部  
ナメ川コーイチ展 5. 22-6. 3  
ギャラリーグラフィカ  
朝日 5. 19  
奈良美智展 3. 10-4. 8 SCAI THE BATHHOUSE  
新美術新聞 727  
奈良美智展 3. 13-4. 1 ギャラリーユマニテ東京  
新美術新聞 727  
奈良美智展 6. 5-24 ギャラリーユマニテ名古屋  
美術手帖 712 廣江泰孝  
奈良岡正夫と四人展 9. 13-18 松屋(銀座)  
美術の窓 151 高山淳  
くつろぐ・あそぶ(成良功)展 11. 25-12. 23 ギャラリー煖(渋谷)  
毎日夕刊 12. 9  
難波田龍起展 12. 1-20 ワコワークスオブアート  
新美術新聞 753

(ニ)

ポール・ニアグ作品展-ドローイングとオブジェ1968-1988 4. 9-5. 21 栃木県立美術館  
朝日夕刊 4. 25 (三)  
二科回顧展80回記念 9. 7-19 大丸ミュージアム(東京)  
新美術新聞 743  
サンケイ 9. 3 島田康寛  
サンケイ夕刊 9. 8 渋谷和彦  
サンケイ夕刊 9. 11 渋谷和彦  
日経 9. 12 宝玉正彦  
国際コンテンポラリーアートフェスティバルNICAF YOKOHAMA展'95 3. 18-22 パシフィコ横浜展示ホール  
新美術新聞 732  
美術(月刊) 234 編集部  
二元展34回 6. 12-22 東京都美術館

美術の窓 149 高山淳  
西誠人木彫展 9. 11-21 木ノ葉画廊  
毎日夕刊 9. 9  
「土と炎と野の花と」展(唐津 西岡小十) 8. 29-9. 3 三越  
陶説 511 福田旻  
西川實展 5. 25-30 高島屋六階画廊(京都)  
陶説 508 藤慶之  
西嶋武司展 11. 27-12. 2 資生堂ギャラリー  
新美術新聞 751  
西島直紀展 2. 13-3. 4 ギャラリーユマニテ東京  
毎日夕刊 2. 16 三田晴夫  
西成田洋子展 5. 15-27 コバヤシ画廊  
毎日夕刊 5. 25 三田晴夫  
西元利子展 7. 2-8 東京芸術劇場展示室  
読売(都民版) 7. 3  
西山美なコ展 4. 12-24 ギャラリーNWハウス  
毎日夕刊 4. 17 三田晴夫  
20世紀日本美術再見[1]...1910年代-光り耀く命の流れ展 10. 28-12. 3 三重県立美術館  
ひるういんど 53 酒井哲朗  
ひるういんど 53 土田真紀  
1920's-20世紀の青春時代展 3. 17-5. 7 サントリーミュージアム[天保山]  
芸術新潮 545 藤塚光政  
新美術新聞 728  
「20世紀の天使たち-キュービーのデザイン」展 3. 2-5. 20 I N A Xギャラリー名古屋  
読売夕刊 4. 8 高島直之  
20世紀美術への眼差し-マーグ・コレクシオン展 8. 5-9. 10 北海道立旭川美術館  
氷華 36 中村聖司  
日洋展9回 7. 8-24 東京都美術館  
美術の窓 150 高山淳  
日洋展9回 7. 8-24 上野の森美術館  
美術の窓 150 高山淳



委員による春の日洋展9回 4. 11—16 東京セントラル美術館  
美術の窓 147 編集部  
日工会展5回 6. 29—7. 4 高島屋グランドホール(京都)  
陶説 509 藤慶之  
日象展22回 11. 25—12. 1 東京都美術館  
美術の窓 154 高山淳  
日彫展25回 4. 5—21 東京都美術館  
美術の窓 147 高山淳  
日府展42回 5. 8—19 東京都美術館  
美術の窓 148 高山淳  
NIPAF展'95 2. 17—19 国際交流センター・大ホール  
アトリエインターナショナル  
818 山家誠一  
日本画院展55回 5. 8—19 東京都美術館  
美術の窓 148 高山淳  
「日本画の装飾」展 5. 23—9. 24 山種美術館  
東京夕刊 6. 22  
日本近代写真の成立と展開展 1. 21—3. 26 東京都写真美術館  
新美術新聞 723  
日本芸術院収蔵作品にみる 日本美術の50年展 4. 1—26 上野の森美術館  
新美術新聞 729  
東京夕刊 4. 6  
日本現代工芸美術展34回 3. 26—4. 4 東京都美術館  
美術の窓 147 高山淳  
日本秀作美術展17回 6. 8—20 高島屋(日本橋)  
読売夕刊 6. 5  
日本自由画壇展21回 8. 22—30 東京都美術館  
美術の窓 151 高山淳  
日本新工芸展17回 6. 28—7. 4 松坂屋美術館  
陶説 511 藤慶之  
美術の窓 149 高山淳  
日本水彩展83回 6. 1—10 東京都美術館  
美術の窓 149 高山淳  
日本伝統工芸近畿展 5. 18—23

高島屋グランドホール(京都)  
陶説 508 藤慶之  
日本伝統工芸展42回 9. 19—10. 1 三越  
朝日夕刊 9. 13 柳橋眞  
日本陶芸展13回 6. 1—13 大丸ミュージアム(東京)  
毎日 6. 1  
日本陶磁協会受賞作家展36回 1. 31—2. 4 壺中居  
陶説 504 福田旻  
日本南画院展35回 3. 14—24 東京都美術館  
アートマインド 80 嶋田三郎  
美術の窓 146 高山淳  
日本の映像展 3. 3—26 福井県立美術館  
新美術新聞 727  
福井県立美術館だより 67 後々田寿徳  
日本の現代美術 1985—1995展 3. 19—5. 21 東京都現代美術館  
新美術新聞 728 倉林靖  
美術(月刊) 235 編集部 藤田一人  
朝日夕刊 5. 1 (若)  
東京夕刊 3. 31 北澤憲昭  
読売夕刊 4. 1  
日本の自然を描く展 8. 4—23 上野の森美術館  
サンケイ 8. 13 (H)  
サンケイ 8. 19 石塚春夫  
日本の美展 9. 28—10. 26 石川県立美術館  
石川県立美術館だより 148 驚塚泰光  
日本の美—平成6年度国立博物館・美術館地方巡回展 2. 25—3. 26 群馬県立近代美術館  
群馬の森美術館ニュース 81 田辺三郎助、河田貞、有賀祥隆、清水真澄、小林忠、驚塚泰光  
日本のブックデザイン1946—95展 2. 6—28 ギンザグラフィックギャラリー  
芸術新潮 544  
デザインの現場 75 野澤朔  
日経 2. 14  
日本版画協会展36回 11. 25—12. 1 東京都美術館

平成7年美術展覧会(ニ〜ノ)

美術の窓 154 高山淳  
日本美術修復計画—甦る在外名画展 5. 16—28 東京国立博物館  
上野の社会報 2  
新美術新聞 735 三輪嘉六  
日経 5. 15  
日本表現派展39回 10. 5—14 東京都美術館  
美術の窓 152 高山淳  
New Asian Art show—1995 CHINA KOREA JAPAN展 8. 25—9. 5 国際交流フォーラム  
新美術新聞 739  
サンケイ 9. 3 (U)  
朝日夕刊 9. 13  
人形芸術の世界展—夢二から現代へ 7. 20—11 松坂屋(銀座)  
新美術新聞 739  
日経 7. 5  
人間国宝展 2. 28—3. 12 三越  
新美術新聞 726  
東京 3. 13 松原惇子  
「人間国宝新作展」記念展30回 5. 11—16 松坂屋(上野)  
毎日夕刊 5. 10  
人間国宝展 7. 22—8. 20 京都市美術館  
陶説 511 藤慶之  
(ヌ)  
ジャン・ヌーベル展 9. 19—11. 2 GALLERY・MA  
読売夕刊 10. 19 (前)  
(ネ)  
ね年郷土玩具展 12. 23—2. 21 明治村三重県庁舎二階特別展示室  
明治村だより 2  
(ノ)  
野上魏展 6. 24—8. 27 富士美術館  
新美術新聞 737  
野崎芳寿人形展 11. 23—28 柴山画廊(銀座)  
毎日夕刊 11. 18  
野積記・夏展 6. 24—7. 2 尾久拓二氏の夏の家  
美術手帖 713 廣江泰孝

平成7年美術展覧会(ノ、ハ)

- 野又護展 6, 21—8, 20 リアス・  
アーク美術館(気仙沼)  
読売夕刊 8, 17 (前)
- 野見山暁治展 11, 13—25 みゆき  
画廊  
新美術新聞 750 野見山暁治、  
聞き手 油井一人
- 野村昭嘉展 1, 5—16 目黒区美術  
館  
朝日夕刊 1, 9 (若)
- 野村ナナミ展 四万十からの春だよ  
り 3, 30—4, 5 まるい美術  
ギャラリー(札幌)  
朝日夕刊 3, 23
- 野村義照展 6, 1—11 松坂屋美術  
館  
新美術新聞 735
- 乗松剛治展 12, 18—23 ギャラ  
リー21+葉  
読売(都民版) 12, 20

(ハ)

- ヤン・パーカー展 4, 1—7 アー  
トミュージアムギンザ  
美術(月刊) 235 編集部
- ロブ・バーナード作陶展 5, 9—20  
橋本美術(名古屋)  
陶説 508 井上隆生
- パウハウス展 4, 15—6, 11 セゾ  
ン美術館  
芸術新潮 545 川畑直道  
新美術新聞 731  
デザインの現場 75 新見隆  
美術手帖 709 坂口緑  
朝日夕刊 5, 25 新見隆  
朝日夕刊 6, 2  
東京夕刊 6, 2 山梨俊夫  
毎日夕刊 4, 13 高島直之  
読売夕刊 5, 13 高島直之
- はぎやき展 10, 18—11, 26 山口  
県立美術館  
天花 62 榎本徹  
天花 63 榎本徹  
天花 63 斎藤武男
- 萩原朔太郎写真展 5, 11—6, 18  
ワタリウム美術館  
新美術新聞 735 (賀)
- 白亜展18回 12, 5—12 東京都美  
術館  
美術の窓 154 高山淳

- 白日展71回 3, 26—4, 4 東京都  
美術館  
美術の窓 147 高山淳
- 白土会展31回 8, 22—30 東京都  
美術館  
美術の窓 151 高山淳
- 橋口五葉展 2, 1—19 小田急美術  
館  
新美術新聞 724  
版画芸術 87 岩切信一郎  
東京 2, 7 海野弘  
東京 2, 8 山西健夫  
東京 2, 9 青木茂  
東京夕刊 1, 31 岩切信一郎  
東京夕刊 2, 10 佐藤光信
- 橋本真之展 10, 16—12, 8 大手  
門画廊(福岡市)  
工芸 3 重里徹也
- 長谷川潔展 11, 18—12, 9 AKI  
—EX GALLERY  
美術手帖 720 西村智弘
- 長谷川潔展—その、言語を超えた精  
神世界—没後15年記念 7, 18—  
8, 20 三鷹市美術ギャラリー  
新美術新聞 739  
東京 8, 3 浅倉祐一朗  
東京 8, 4 浅倉祐一朗  
東京 8, 5 浅倉祐一朗  
東京 8, 7 浅倉祐一朗  
東京 8, 8 浅倉祐一朗
- 長谷川健司展・Windung 9, 18—  
30 ギャラリー青羅  
朝日夕刊 9, 14
- 長谷部日出男展 5, 25—30 高島  
屋(日本橋)  
新美術新聞 734
- 八象会展'95 2回 2, 21—26 三  
越  
美術(月刊) 234 瀧梯三
- 八田展 3, 21—28 山画廊(四日  
市)  
陶説 506 井上隆生
- バツォウスカー展 9, 27—10, 10  
伊勢丹美術館  
朝日夕刊 9, 26 松本猛
- 羽藤朗郎展 10, 9—15 ギャラリ  
ーくぼた  
美術の窓 152 高山淳
- 花展 10, 10—11, 19 東京国立博  
物館

- 芸術新潮 552  
新美術新聞 747 臺信祐爾  
サンケイ 10, 9  
朝日夕刊 10, 26 臺信祐爾  
朝日夕刊 11, 10
- 花柄・ガラ展 6, 21—7, 2 サン  
ライト(神奈川県葉山町)  
毎日夕刊 6, 24
- ハナヤ勲兵衛展 9, 9—11, 5 芦  
屋市立美術博物館  
日本美術工芸 686 (伸)
- 羽田裕展 5, 12—26 赤坂遊ギヤ  
ラリー  
美術(月刊) 236 羽田裕、加藤  
雄—インタビュー  
美術の窓 146 高山淳
- 濱田庄司 人と作品展—生涯100  
年・益子と出会って75年 1, 12  
—4, 9 陶芸メッセ益子(栃木)  
朝日夕刊 2, 9 濱田映子
- 濱田晋作作陶展 6, 6—11 三越  
新美術新聞 735
- 早川幾忠書画展 5, 11—20 古心  
堂画廊  
新美術新聞 734
- 早川ケンジ展 10, 23—11, 6 王  
子ペーパーギャラリー  
美術手帖 718
- 早川俊二展 10, 6—11, 11 アス  
クウェア神田ギャラリー  
ギャラリー(月刊) 127
- 林克次展 10, 25—30 近鉄(四日  
市)  
陶説 513 井上隆生
- 林敬二展 7, 12—18 高島屋(日本  
橋)  
新美術新聞 739
- 林静一・叙情の世界展 5, 18—23  
大丸ミュージアム(東京)  
新美術新聞 727  
朝日夕刊 1, 12
- 林武史展 10, 2—21 東京画廊  
サンケイ 10, 15 (M)
- 原清作陶40年展 10, 24—30 三越  
新美術新聞 747  
陶説 514 福田旻
- 原光子展「風の方向」 6, 17—8, 27  
たましん歴史・美術館  
東京夕刊 8, 17
- 原井輝明展 2, 1—28 AKI—EX  
GALLERY

美術手帖 705 林洋子  
 原井輝明展 7. 17—29 ギャラリー美遊  
 美術手帖 713 暮沢剛巳  
 原田泰治の世界展 10. 19—31 伊勢丹(松戸)  
 朝日夕刊 10. 17 井上平三  
 バリッシュ展 4. 20—5. 16 伊勢丹美術館  
 新美術新聞 731  
 遙かなるエジプト展 7. 22—10. 10 古代オリエント博物館  
 新美術新聞 740  
 バルビゾン派から印象派展 オランダ・ホイマンス美術館所蔵 10. 19—11. 27 伊勢丹美術館  
 新美術新聞 747  
 読売夕刊 10. 14  
 伴清一郎展 1. 24—30 三越美術(月刊) 233  
 板院展45回 6. 11—22 東京都美術館  
 美術の窓 149 高山淳  
 反核FAXポスター展 9. 16—29 and gallery  
 新美術新聞 747  
 読売(都民版) 9. 17  
 版画展63回 4. 6—21 東京都美術館  
 美術の窓 147 高山淳  
 ドナウの夢と追憶 ハンガリーの建築と応用芸術[1896—1916]展 9. 5—10. 22 京都国立近代美術館  
 芸術新潮 550 赤地経夫  
 新美術新聞 744  
 視る 340 早稲田みか  
 阪神アートプロジェクト展 8. 28—9. 10 夢創館(神戸市灘区)  
 日経 8. 22  
 阪神大震災 救援隊ありがとう展 9. 8—14 ニューメルサ銀座五丁目店  
 毎日 9. 8  
 阪神大震災義援展 2. 7—3. 5 ギャラリーアガベ  
 新美術新聞 727  
 美術手帖 705  
 ドゥエイン・ハンソン展 4. 27—5. 14 大丸ミュージアム(東京)

日経 5. 14  
 版になった絵・絵になった版—中世日本の版画と絵画展 6. 17—7. 23 町田市立国際版画美術館  
 新美術新聞 736  
 朝日 6. 13  
 東京 6. 5

## (ヒ)

ピーター・ピアード作陶展 10. 27—11. 4 橋本美術(名古屋)  
 陶説 513 井上隆生  
 ジャクソン・ピアソン展「STAY」 5. 19—6. 18 バルコギャラリー  
 美術手帖 709 飯田高誉  
 ビエール&ジル展 6. 20—7. 30 ザギンザアートスペース  
 朝日 7. 4 (U)  
 東山魁夷展 米寿記念 7. 28—8. 22 高島屋(日本橋)  
 新美術新聞 740 星野良史  
 サンケイ 8. 13 日野耕之祐  
 東京夕刊 8. 3  
 日経 7. 19 鈴木進  
 日経 7. 20 尾崎正明  
 日経 7. 21 佐々木徹  
 日経 8. 16 羽田孜  
 日経 8. 17 團伊玖磨  
 日経 8. 18 真野響子  
 日経 8. 19 樋口廣太郎  
 ビカソ展 愛と苦悩—「ゲルニカ」への道 12. 23—3. 10 東武美術館  
 視る 344 永井隆則  
 視る 345 永井隆則  
 朝日夕刊 9. 22 田村紘  
 日経 12. 29 宝玉正彦  
 光のアート展9回 11. 9—14 大丸ミュージアム(東京)  
 毎日 11. 14  
 久永強展—シベリア抑留・抹殺された人間の尊厳 7. 18—8. 4 ギャラリー—MMG  
 日経 8. 1 益田祐作  
 菱田祐一郎展 6. 19—7. 1 ギャラリー—21+葉  
 構造 11 門田秀雄  
 泥谷文景展 4. 6—11 高島屋(日本橋)  
 新美術新聞 730

美術の皮膚展 表層をめぐる五つの出来事 5. 16—6. 10 キリンプラザ大阪  
 美術手帖 711 石井弥夢  
 美術文化展55回 3. 26—4. 4 東京都美術館  
 美術の窓 147 高山淳  
 秀島由己男展 1. 3—3. 26 大川美術館  
 朝日夕刊 3. 17  
 从展21回 3. 14—24 東京都美術館  
 美術の窓 146 高山淳  
 日比野正明器展 2. 1—6 名古屋市民ギャラリー  
 陶説 504 井上隆生  
 百人展 阪神復興支援チャリティーオークション 6. 1—6 高島屋(日本橋)  
 読売 6. 3  
 読売夕刊 4. 20  
 百華の宴展 11. 3—12. 17 根津美術館  
 日経 12. 12  
 ビュッフエ展 4. 19—5. 14 小田急美術館  
 新美術新聞 731  
 朝日夕刊 4. 13 成川隆  
 表現主義彫刻展 10. 27—1. 15 愛知県美術館  
 新美術新聞 748  
 美術手帖 718 小林昌廣  
 朝日夕刊 12. 12 (三)  
 東京夕刊 12. 1 山梨俊夫  
 日経 12. 25  
 ひらいゆう展 1. 31—2. 12 アートスペース虹(京都)  
 美術手帖 706 島敦彦  
 平岩洋彦展 3. 8—14 高島屋(日本橋)  
 新美術新聞 727  
 美術(月刊) 234 編集部  
 平川典俊展 1. 14—2. 28 ギャラリー—HAM  
 美術手帖 705 拝戸雅彦  
 平木照美展 7. 3—15 ウエストベスギャラリー(名古屋)  
 Lady's Slipper 4 山村憲吾  
 平田五郎展 — MIND SPACE 11. 7—29 ギャラリー—日鉦

平成7年美術展覧会(ヒ、フ)

美術手帖 720 西村智弘  
版画三昧の百歳 平塚運一の世界展  
11. 9—14 一畑百貨店(松江市)  
版画芸術 90  
平松礼二展「獄・その神秘なるもの」  
1. 26—2. 10 石川画廊  
美術の窓 144 高山淳  
東京夕刊 2. 2  
平松礼二展「獄・その神秘なるもの」  
1. 26—2. 10 ロイヤルギャラリー  
東京夕刊 2. 2  
平山郁夫展 11. 3—26 香川県文  
化会館  
新美術新聞 749  
平山郁夫展「南京・中国を描く」  
7. 25—30 三越  
新美術新聞 740  
東京夕刊 7. 28  
かつしかゆかりの美術展(畫間弘回  
顧) 3. 11—21 かつしかシン  
フォニーヒルズ・ギャラリー  
東京 3. 15  
被爆50周年記念展 ヒロシマ以後—  
現代美術からのメッセージ 7.  
22—9. 17 広島市現代美術館  
新美術新聞 740  
美術(月刊) 239 出原均  
サンケイ 8. 6 前田昌宏  
広長威彦展 10. 5—29 東京ガス  
新宿ショールーム  
読売(都民版) 10. 6

(フ)

エドゥアール・ブーバ展 3. 22—  
4. 2 小田急美術館  
新美術新聞 729  
ファエンツァの風展 7. 7—8. 6  
セラトピア土岐(岐阜)  
陶説 510 井上隆生  
フォロン展 1. 2—2. 12 Bunka  
mura ザ・ミュージアム  
新美術新聞 722  
読売夕刊 1. 14 井上一馬  
深井隆ノタイプ展 7. 14—29  
西村画廊  
新美術新聞 739  
深井隆彫刻展一家のかたち 10. 24  
—11. 28 西村画廊  
新美術新聞 748

サンケイ 11. 12 (M)  
サンケイ夕刊 10. 30 三田晴夫  
深沢幸雄展 9. 1—10 佐倉市立美  
術館  
新美術新聞 743  
深見陶冶展 2. 11—3. 19 京都市  
美術館  
陶説 506 藤慶之  
深見陶冶陶展 10. 25—11. 9 青  
山グリーンギャラリー  
陶説 514 福田旻  
深谷隆司展 9. 27—10. 2 芳山堂  
美術(月刊) 241 深谷隆司、久  
保泰助  
吹田文明の国際展受賞作品と近作展  
4. 3—15 ギャラリー神宮苑  
美術(月刊) 235  
福井謙三レザラーアートコレクション  
展 4. 12—18 プチギャラリーエ  
(横浜高島屋7F)  
毎日夕刊 4. 8  
福井爽人展 3. 1—6. 30 成川美  
術館  
新美術新聞 727  
福井良佑油絵展 1. 19—24 さい  
か屋(横須賀)  
美術(月刊) 233 編集部  
福岡道雄展 1. 9—21 信濃橋画廊  
(大阪)  
美術手帖 705 島敦彦  
現代芸術祭6回 遊迷アート・福田  
繁雄展 7. 8—9. 3 富山県立近  
代美術館  
美術(月刊) 238 片岸昭二  
福田美蘭展 2. 13—3. 3 東京画  
廊  
朝日夕刊 2. 17  
毎日夕刊 2. 23 三田晴夫  
読売夕刊 2. 22 (管)  
藤江民展 8. 24—9. 24 MAU  
FINE ART  
美術手帖 715 廣江泰孝  
フジサンケイ・ビエンナーレ現代国  
際彫刻展2回 7. 21—10. 31  
美ヶ原高原美術館  
新美術新聞 741  
藤平寧展 9. 12—17 ギャラリー  
マロニエ(京都)  
陶説 512 藤慶之

藤原和作陶展 10. 26—31 高島屋  
(なんば)  
新美術新聞 748  
船越直木展 10. 9—21 なびす画  
廊  
毎日夕刊 10. 17 三田晴夫  
船越道子展 11. 13—18 ギャラ  
リーオカベ  
新美術新聞 750  
舟山一男個展 11. 10—20 ギャラ  
リーミラノ(郡山)  
美術(月刊) 242 編集部  
ブノワ1886—1983展:革命ロシア  
発日本、戦塵と復興の中で描きつ  
づけた女性 4. 16—6. 4 町田  
市立国際版画美術館  
芸術新潮 546 浅川彰三  
新美術新聞 733  
版画芸術 87 滝沢恭司  
美術(月刊) 236 編集部  
朝日 4. 7  
朝日 5. 11 滝沢恭司  
朝日 5. 12 滝沢恭司  
朝日 5. 13 滝沢恭司  
朝日夕刊 4. 12 安井亮平  
東京夕刊 5. 12 北澤憲昭  
アンドレ・ブラジリエ展 3. 13—  
26 日動画廊  
絵 373 編集部  
アンドレ・ブラジリエ展 5. 26—  
6. 4日 日動画廊  
新美術新聞 731  
ロバート・フランク〈ムーヴィン  
グ・アウト〉展 2. 11—4. 9 横  
浜美術館  
RGB 18  
新美術新聞 725  
美術(月刊) 234 平木収  
美術手帖 706 上野修  
朝日夕刊 2. 16 天野太郎  
朝日夕刊 2. 27 (若)  
東京夕刊 2. 17 北澤憲昭  
フランス国立博物館展 ナポレオン  
とジョセフィーヌ 6. 30—7. 24  
石川県立美術館  
新美術新聞 737  
フランス宝飾芸術の世界展 カル  
ティエ・コレクション 絢爛の  
ジュエリー 4. 8—5. 28 東京  
都庭園美術館

新美術新聞 729  
 朝日夕刊 4, 6 高波真知子  
 日経 4, 20 マルティース・  
 シャザール  
 日経 5, 3 鈴木進  
 日経 5, 4 海野弘  
 日経 5, 5 友部直  
 フランス名画市展 4, 20-28 マ  
 ンハットンギャラリー  
 美術(月刊) 236 編集部  
 ブリュゲルの世界展 3, 28-6,  
 25 東武美術館  
 新美術新聞 730 森洋子  
 美術(月刊) 235 森洋子  
 朝日 6, 6 高橋美彌子  
 朝日夕刊 3, 28 西島建男  
 朝日夕刊 4, 1 西島建男  
 東京夕刊 4, 7 山梨俊夫  
 読売夕刊 6, 10 高島直之  
 デービッド・ブル作「百人一首」展  
 1, 19-24 ギャラリー新宿高野  
 朝日夕刊 1, 13 米倉常裕  
 古川厚雄展 3, 21-4, 2 ギャラ  
 リーMOCA  
 美術手帖 708 拝戸雅彦  
 フルクサス展 1, 6-3, 21 ワタ  
 リウム美術館  
 朝日夕刊 1, 31 (若)  
 東京夕刊 1, 13 山梨俊夫  
 読売夕刊 2, 7 (菅)  
 古田帯川展 4, 6-12 大丸美術画  
 廊(東京)  
 朝日夕刊 4, 5  
 古田裕展 5, 17-6, 6 高島屋コ  
 ンテンポラリーアートスペース  
 (日本橋)  
 美術手帖 711 西村智弘  
 ブルノフスキ展 4, 8-5, 14 伊  
 丹市立美術館  
 新美術新聞 730  
 ふろく展 7, 1-9, 29 弥生美術  
 館  
 サンケイ 8, 26  
 朝日 8, 7  
 朝日夕刊 8, 31 中村圭子  
 PROJECT・裸男(RAO)展 3, 7  
 -28 パルコギャラリー  
 新美術新聞 727 (山)  
 読売 3, 6

## (へ)

北京駅秘蔵画展 9, 2-10, 22 東  
 京ステーションギャラリー  
 新美術新聞 743  
 シーザー・ベリ展 1, 13-3, 13  
 フジタヴァンテ  
 朝日夕刊 2, 24  
 ベルギー ボビンレースとタペスト  
 リー展 6, 8-9 ベルギー大使  
 館  
 東京 6, 8

## (ホ)

VOCA展'95「現代美術の展望一新  
 しい平面の作家たち」3, 16-30  
 上野の森美術館  
 アトリエインターナショナル  
 819  
 毎日夕刊 3, 27 三田晴夫  
 「伯耆・出雲路」展 9, 14-19  
 ギャラリー新宿高野  
 読売 9, 15  
 法隆寺再現壁画展 9, 22-11, 26  
 東京都美術館  
 島根県立博物館ニュース 69 直  
 良吉祥  
 サンケイ 8, 10  
 サンケイ 11, 11 斎藤道子  
 朝日 10, 5 高田良信  
 朝日 10, 6 高田良信  
 朝日 10, 10 高田良信  
 朝日 10, 14 高田良信  
 朝日 10, 17 高田良信  
 朝日 10, 19 高田良信  
 朝日 10, 20 高田良信  
 朝日夕刊 9, 21  
 東京夕刊 10, 12  
 ホガース版画展 10, 7-12, 24  
 神奈川県立近代美術館  
 芸術新潮 553  
 ポスターの歴史100年・変わりゆく  
 女性像展 2, 21-4, 9 サント  
 リーミュージアム[天保山]  
 日経 3, 10 宝玉正彦  
 読売夕刊 3, 4 高島直之  
 ボストン美術館の至宝展 19世紀  
 ヨーロッパの巨匠たち 4, 27-  
 7, 24 そごう美術館(横浜)  
 新美術新聞 733

美術(月刊) 236 編集部  
 朝日夕刊 4, 19 田中三蔵  
 ポヘミアガラスの100年展-アー  
 ル・ヌーヴォーから現代まで 7,  
 15-8, 27 高崎市美術館  
 新美術新聞 740  
 堀研展 4, 5-12 日動画廊  
 絵 374 宝木範義  
 堀浩哉展 9, 25-10, 12 ギャラ  
 リー上田  
 毎日夕刊 10, 3 三田晴夫  
 読売夕刊 10, 5 (菅)  
 堀美幸展 11, 6-12, 2 生生画廊  
 美術手帖 720 廣江泰孝  
 堀尾貞治展 7, 15-23 ローズ  
 ガーデンギャラリー(大阪)  
 美術手帖 713 山本淳夫  
 ジャン=ルイ・ボワシエ展 2, 17  
 -3, 9 ICCギャラリー  
 美術手帖 708 西村智弘  
 本多誠水彩画展 6, 5-11 イトー  
 キ銀座ニューオフィスギャラリー  
 毎日夕刊 6, 3  
 本多真理子展-新世代への視点'95  
 9, 18-30 ルナミ画廊  
 アートマインド 83  
 サンケイ 9, 24 (N)

## (マ)

マーグコレクション展 11, 19-1,  
 25 横浜美術館  
 アートマインド 79 野村良平  
 眞板雅文彫刻展 8, 4-10, 1 札  
 幌彫刻美術館  
 新美術新聞 739  
 マイヨール展 5, 27-7, 2 千葉  
 県立美術館  
 みるつくるかたる 74 前川公秀  
 マインド春季選抜展~美の心を描く  
 作家展~ 4, 13-18 銀座ア  
 トブラザ  
 アートマインド 80 清水光夫  
 前田青邨展 9, 15-11, 5 名古屋  
 市美術館  
 新美術新聞 745 吉田俊英  
 前田哲明展 12, 11-22 ときわ画  
 廊  
 毎日夕刊 12, 18 三田晴夫  
 前田正夫の展 1, 21-2, 5 尼崎  
 市総合文化センター

平成7年美術展覧会(マ、ミ)

美術の窓 152 編集部  
 前田正博展 11, 21—27 三越  
 陶説 515 福田旻  
 前本利彦展 11, 1—2, 29 成川美術館  
 新美術新聞 752  
 前山信子展 3, 4—26 京都市四条ギャラリー  
 美術手帖 708 島敦彦  
 禎野匠展 8, 21—26 ときわ画廊  
 美術手帖 715 平野到  
 牧野宗則木版画展 9, 29—10, 8 泰明画廊  
 美術(月刊) 241 瀧梯三  
 馬越陽子展 12, 1—15 永井画廊  
 新美術新聞 752  
 サンケイ 12, 10 (M)  
 正井和行展 静謐の中の心象の世界 6, 28—7, 23 大分県立芸術会館  
 新美術新聞 737  
 益田玉城展 2, 14—4, 2 目黒雅叙園美術館  
 新美術新聞 725  
 増田尚代展 7, 16—27 グレギャラリー(東京)  
 美術手帖 713 西村智弘  
 街はいまアートで溢れる展 8, 1—20 一宮市街(愛知)  
 美術手帖 715 廣江泰孝  
 マッチラベル—ぼっけのなかの近代史展 9, 9—10, 15 たばこと塩の博物館  
 朝日 9, 28  
 松井憲作展 10, 20—11, 18 ウェストベスギャラリー—コヅカ(名古屋)  
 美術手帖 720 廣江泰孝  
 悠久の美—松井如流遺作展— 11, 3—1, 15 秋田県立近代美術館  
 新美術新聞 749  
 松井紫朗展 7, 3—29 東京画廊  
 美術手帖 713 平野到  
 松井紫朗展 11, 13—25 信濃橋画廊(大阪)  
 美術手帖 720 山本淳夫  
 松井智恵展 3, 11—4, 16 ギャラリー—KURANUKI(大阪)  
 美術手帖 708 島敦彦  
 松井敏郎油彩展 12, 13—26 西武アートフォーラム(池袋)

新美術新聞 753  
 松岡映丘展 1, 5—2, 19 常陽芸文センター(水戸)  
 新美術新聞 722  
 松樹路人展 3, 13—26 日動画廊  
 新美術新聞 736 富田芳和  
 松樹路人展 5, 26—6, 4 日動画廊  
 絵 375 浅野徹  
 新美術新聞 734  
 美術(月刊) 237 編集部  
 美術の窓 147 高山淳  
 松崎健陶芸展 11, 17—23 京王  
 新美術新聞 750  
 松澤宥展 オマーージュ瀧口修造15回 7, 3—29 佐谷画廊  
 サンケイ 7, 16  
 松代中展 10, 24—29 ロイヤルサロンギンザ  
 美術の窓 152 高山淳  
 松永真のフリークス展 3, 9—17 和光ホール  
 東京 3, 6  
 松野良治展 4, 17—28 風童門  
 美術の窓 145 粟津則雄  
 松前日野太郎展 7, 7—16 ボザール・ミュー  
 東京 7, 9  
 松村公嗣日本画展 11, 23—29 松坂屋  
 新美術新聞 751  
 松本ヒデオ陶展 4, 11—30 ギャラリーにしかわ(京都)  
 陶説 507 藤慶之  
 松本陽子展 10, 4—12, 16 アキライケダギャラリー(田浦)  
 読売夕刊 12, 15 (菅)  
 版画にみるマティスの世界展 6, 14—7, 2 小田急美術館  
 版画芸術 88 小川正隆  
 読売夕刊 6, 13 天野知香  
 間所紗織の戦後美術展 9, 5—17 アートギャラリー—環  
 サンケイ 9, 10 (M)  
 マリソール展 4, 1—5, 7 彫刻の森美術館  
 新美術新聞 730  
 美術(月刊) 237 鈴木東海子  
 美術手帖 708 原田環  
 朝日夕刊 5, 2 (三)

新美術館開館10周年記念 マリソール展 語りかける不思議な彫刻 8, 4—9, 3 鹿児島市立美術館  
 鹿児島市立美術館だより 39 谷口雄三  
 丸野由希子展 11, 13—18 J<sup>2</sup>ギャラリー  
 美術手帖 720 平野到  
 カジミール・マレーヴィチ[ドローイング1914~1930]展 1, 20—2, 25 SCAI THE BATHHOUSE  
 美術手帖 705 高島直之  
 東京夕刊 1, 27 山梨俊夫  
 「マンガ半世紀—描かれた日本の社会」展 8, 25—30 東急(渋谷・東横)  
 東京夕刊 8, 24 呉智英

(ミ)

青の粹 三浦小平二展 11, 17—24 赤坂游ギャラリー  
 新美術新聞 750  
 陶説 515 福田旻  
 美術(月刊) 242 インタビュー—加藤雄一  
 みうらじゅん展 仏画 4, 28—5, 17 パルコギャラリー(吉祥寺)  
 東京 4, 29 (佳)  
 三重県陶芸作家協会展 1, 3—9 近鉄(四日市)  
 陶説 504 井上隆生  
 三岸節子展 9, 22—10, 29 浜松市美術館  
 新美術新聞 745  
 ミズ・テツオの世界展 8, 29—9, 3 三越  
 新美術新聞 742  
 水野半次郎陶芸展 9, 5—11 三越  
 陶説 512 福田旻  
 水野英男作陶展 3, 23—29 松坂屋美術画廊  
 陶説 506 井上隆生  
 水野峰夫展 9, 30—10, 8 GALLERY 顕美子  
 陶説 512 井上隆生  
 「みずのき寮のアーティストたち—人間における表現とはなにか」展 1, 20—2, 22 ヨコハマポートサイドギャラリー  
 芸術新潮 542 小出由紀子

水の光景展 エルミタージュ美術館  
名作展 4, 15—6, 8 静岡県立  
美術館  
新美術新聞 732  
すずかけの庭 54 杉村浩哉

水の波紋展'95 9, 2—10, 1 ワタ  
リウム美術館  
アトリエインターナショナル  
823 笠井真男  
新美術新聞 742  
美術手帖 713 ヤン・フートイ  
ンタヴェー  
美術手帖 715 野々村文宏  
サンケイ 9, 9 斎藤道子  
サンケイ 9, 10 松村寿雄  
朝日夕刊 9, 26 (若)  
日経 9, 23 石鍋仁美  
毎日夕刊 9, 27 三田晴夫  
読売 8, 27  
読売(都民版) 9, 14 和田康司  
読売夕刊 7, 21 菅原教夫  
読売夕刊 9, 30 長部日出雄

「水の変幻—その新しき表現」展 6,  
9—7, 2 O美術館  
新美術新聞 735  
美術手帖 712 伊藤制子  
朝日夕刊 6, 22 (三)  
東京夕刊 6, 16 山梨俊夫  
読売夕刊 6, 24

水・緑・光—ヒトの集う空間展 8,  
31—9, 26 東京ガス銀座ボケッ  
トパーク  
サンケイ 9, 17 樋口正一郎

溝口七生油絵展 6, 16—22 京王  
美術(月刊) 237 村木明  
美術の窓 147 高山淳

港千尋展 9, 29—10, 10 ギャラ  
リーX(カイ)  
美術手帖 718 暮沢剛巳

「ミニマル・フォーム」展 6, 1—27  
フジテレビギャラリー  
読売夕刊 5, 31 (菅)

三原研陶展 8, 15—20 三越  
陶説 511 福田旻

宮崎進展 第10回小山敬三美術賞受  
賞記念 8, 3—8 高島屋(日本  
橋)  
新美術新聞 741

宮沢章作陶展 6, 14—20 高島屋  
(日本橋)

陶説 509 福田旻

宮沢賢治の世界展 7, 19—8, 6  
小田急美術館  
新美術新聞 739  
朝日夕刊 7, 20 西村昌則

宮下善爾彩陶展 10, 3—9 三越  
陶説 513 福田旻

宮田雅之 切り絵の世界展 11, 1  
—6 そごう(柏)  
毎日夕刊 11, 4

アルフォンス・ミュシャー生涯と芸  
術展 10, 7—11, 26 Bunka-  
mura ザ・ミュージアム  
新美術新聞 747  
朝日夕刊 10, 12  
東京 1, 4  
東京夕刊 10, 6 島田紀夫  
東京夕刊 10, 11 高見堅志郎  
東京夕刊 10, 13 ひさうちみち  
お  
東京夕刊 10, 16 ヴラスタ・チ  
ハーコヴァー  
東京夕刊 10, 17 朝倉撰  
東京夕刊 10, 19 馬淵明子  
東京夕刊 10, 27 木島俊介

三吉達展 9, 12—16 アートス  
ベースリビーナ  
美術(月刊) 240 編集部

未来の本の未来展 10, 8—28 慶  
応大学湘南藤沢校情報基盤セン  
ター  
東京都写真美術館ニュース 6  
高山宏

利茶土・ミルグリム陰陽茶陶展  
10, 1—24 高島屋(日本橋)  
陶説 514 福田旻

視ることのアレゴリー展 1995 絵  
画・彫刻の現在 6, 23—8, 27  
セゾン美術館  
新美術新聞 736  
美術手帖 713 高島直之  
サンケイ 8, 20 (M)  
朝日夕刊 7, 25 (三)  
東京夕刊 7, 7 北沢憲昭  
毎日夕刊 7, 5 三田晴夫  
読売夕刊 7, 7 (菅)

ジョアン・ミロ展 7, 5—17 西武  
アートフォーラム(池袋)  
新美術新聞 739

「ミロ、夢の迷宮」展 7, 23—11,  
19 メルシャン軽井沢美術館

サンケイ 8, 6 (M)

三輪栄造展 3, 29—4, 4 高島屋  
(日本橋)  
陶説 506 杉浦澄子

三輪龍作 黒陶 騎士の休息展 6,  
6—12 三越  
陶説 509 福田旻

魅惑のマイセン磁器展—ヨーロッパ  
宮廷の華 2, 16—3, 5 そごう  
美術館(横浜)  
陶説 503 森谷美保

## (ム)

「向井潤吉の素描—線と淡彩の魅力」  
展 1, 4—3, 26 向井潤吉アト  
リエ館  
朝日 1, 24  
東京 1, 16

棟方志功展 2, 15—3, 26 茨城県  
近代美術館  
新美術新聞 725  
游美 19 平野扶佐子

村井正誠展 1, 7—2, 5 神奈川県  
立近代美術館  
新美術新聞 723  
美術(月刊) 232 編集部藤田一  
人  
美術手帖 705 平井亮一  
東京 1, 10 大熊敏之  
東京 1, 10 龍川嘉子  
東京 1, 14  
東京 1, 17 古川秀昭  
東京 1, 19 小島信夫  
東京夕刊 1, 20 北澤憲昭  
東京夕刊 4, 15 有海千尋

村岡和雄展 11, 20—25 画廊アー  
トプラザ  
美術の窓 151 編集部

村上隆展 10, 24—11, 18 SCAI  
THE BATHHOUSE  
朝日夕刊 11, 15 (若)

村上豊 墨の世界展 7, 22—29  
和光ホール  
毎日夕刊 7, 22

村田茂樹展 12, 6—1, 15 ギャラ  
リーカジカワ(京都)  
新美術新聞 752

村松秀太郎小品展 11, 22—28 高  
島屋(日本橋)  
新美術新聞 751

平成7年美術展覧会(ム〜ヤ)

室井東志生日本画展 4, 12-18  
高島屋(日本橋)  
美術(月刊) 235 編集部  
美術の窓 145 高山淳

(メ)

明治美術再見1—明治美術会と日本  
金工協会の時代展 1, 4-3, 5  
宮内庁三の丸尚蔵館  
新美術新聞 723 大熊敏之

明治美術再見2—[日本画]の黎明  
明治十年代〜二十年代展 9, 23  
-12, 14 宮内庁三の丸尚蔵館  
朝日夕刊 10, 5

明治をよむ 明治をみる展 博物館  
明治村開村30周年記念特別展 9,  
15-11, 26 博物館明治村  
明治村だより 1

ロバート・メイブルソープ展 4, 7  
-5, 14 タワーギャラリー  
朝日夕刊 4, 6

米良道靖展—新世代への視点'95  
9, 18-30 ギャラリーK  
アートマインド 83  
サンケイ 9, 24 (N)

(モ)

モードと諷刺—時代を照らす衣服展  
8, 13-9, 24 栃木県立美術館  
朝日 9, 5 (U)

毛利武彦展'95 5, 8-20 近岡美  
術館  
新美術新聞 733

毛利武彦展 11, 1-2, 29 成川美  
術館  
新美術新聞 749

モコ展 3, 14-4, 23 福岡市美術  
館  
新美術新聞 729

モダンタイポグラフィの流れ展  
10, 2-26 ギンザグラフィック  
ギャラリー

デザインの現場 79 田中一光  
望月菊麿展 11, 10-12, 9 スカ  
イドア・アートプレイス青山  
サンケイ 11, 26 (M)

毎日夕刊 11, 21 三田晴夫  
本橋成一写真展 6, 29-8, 7 小  
平市松明堂ホール  
朝日 6, 27

モノ・カオ・反物語—モダニズム再  
考展 4, 1-1, 24 東京都写真  
美術館

新美術新聞 747 (賀)  
森一蔵陶展 5, 19-28 山画廊(四  
日市)

陶説 508 井上隆生  
森正陶展 9, 7-13 丸栄スカイル  
陶説 512 井上隆生

森秀雄「赤の時代」展 7, 4-9 麻  
布美術館  
美術(月刊) 238 編集部

MARIKO MORI展 9, 12-30  
資生堂ギャラリー  
新美術新聞 744

森口宏一展 2, 9-3, 31 国立国  
際美術館  
国立国際美術館月報 29 建昌哲  
国立国際美術館月報 30 中井康  
之

森口ゆたか展 1, 9-28 サイギャ  
ラリー

美術手帖 705 清水穂  
森田茂展 8, 3-8 松坂屋  
新美術新聞 741

森村泰昌展・足 6, 10-7, 9 双  
ギャラリー(吉祥寺)  
朝日夕刊 6, 16

森本秀樹展 3, 2-11 ギャラリー  
銀座汲美  
ギャラリー(月刊) 119

モルフェ展95 CITY CRACK—  
亀裂 11, 18-12, 10 青山周辺  
の80のギャラリーとイベント・ス  
ペース

読売 11, 25  
ギュスターヴ・モロー展 3, 21-  
5, 14 国立西洋美術館

芸術新潮 545 鹿島茂  
新美術新聞 729 隠岐由紀子  
美術(月刊) 235 横山勝彦

美術の窓 145 喜多崎親  
東京夕刊 3, 30  
日経 3, 31 宝玉正彦

モンティセリ展 9, 27-12, 21  
ブリヂストン美術館  
日経 10, 18

(ヤ)

ドリート・ヤーコビ展 11, 2-1,  
5 カナダ大使館

美術手帖 721 暮沢剛巳  
八木明陶展 5, 11-16 伊勢丹(新  
宿)

陶説 508 福田旻  
八木明陶展 11, 2-7 大丸京都  
店五階画廊

陶説 514 藤慶之  
八島正明油絵展 7, 31-8, 26 小  
財堂画廊

新美術新聞 741  
美術(月刊) 239 編集部

保田春彦展 4, 4-5, 7 神奈川県  
立近代美術館  
新美術新聞 730

和歌山県立近代美術館=ユース 6  
寺口淳治  
朝日夕刊 4, 20 (三)

東京夕刊 4, 21 北澤憲昭  
読売夕刊 4, 19 (菅)  
安元亮祐の小さな世界展 5, 8-14  
不忍画廊

ギャラリー(月刊) 121  
安元亮祐展 11, 14-21 日動画廊  
絵 381 松永伍一

柳幸典展 3, 2-4, 10 KIRIN  
PLAZA OSAKA  
美術手帖 708 清水穂

柳沢正人・日本画展 3, 1-6, 30  
成川美術館  
新美術新聞 728

柳沢正人日本画展 6, 19-24 資  
生堂ギャラリー  
新美術新聞 736

柳原睦夫陶芸展—春香炉の百の宴  
3, 14-25 赤坂グリーンギャラ  
リー

陶説 506 福田旻  
柳原義達展 12, 16-1, 31 茨城  
県近代美術館

茨城県近代美術館だより 28 荒  
木扶佐子  
新美術新聞 750

游美 21 平野扶佐子  
朝日夕刊 12, 22

「柳瀬正夢展 没後50年記念 画布  
からあふれ出した筆跡」 2, 24-  
4, 9 愛媛県久万町・町立久万美  
術館、松山市・南海放送サンパー  
ク美術館

芸術新潮 544



柳瀬正夢展 3. 18—22 東京都現代美術館美術図書室  
読売夕刊 3. 17

矢野利隆展 1. 17—27 風童門  
美術の窓 143 高山淳

矢能伶侑展 10. 18—22 東京セントラルアネックス  
美術(月刊) 241 編集部

山口勝弘展 4. 21—5. 27 佐谷画廊  
朝日夕刊 5. 20

山崎猛展 11. 16—22 京成(水戸)  
美術の窓 151 高山淳

山崎亨展 11. 20—12. 27  
KIRIN PLAZA OSAKA  
美術手帖 705 清水穰

山田彩子展 10. 31—11. 5 ギャラリーココ(京都)  
美術手帖 720 喜多村明里

山田和展 12. 12—18 三越  
陶説 515 杉浦澄子

山田正亮ドローイング展 10. 20—11. 18 佐谷画廊  
ギャラリー(月刊) 127

山田嘉彦展 6. 22—7. 1 京橋画廊  
美術(月刊) 238 米倉守

山羽斌士展 10. 5—10 高島屋(日本橋)  
美術(月刊) 241 編集部

山本丘人と仲間たち展 戦後日本画の新しい波 2. 3—3. 26 山種美術館  
新美術新聞 724 野地耕一郎  
日経 3. 13 宝玉正彦

山本浩二展 8. 29—9. 28 INA Xギャラリー  
サンケイ 9. 17

山本直彰「DOOR」展 6. 16—7. 7 ギャラリー戸村  
東京夕刊 6. 23 北沢憲昭

山本直木展 11. 13—18 Gallery Q & Gallery Q—S  
美術手帖 720 暮沢剛巳

山本正臣展 2. 4—25 東京ガス・コビンギャラリー  
東京 2. 9

山本まつ子展 3. 2—7 ギャラリー新宿高野  
読売(都民版) 2. 24

やわらかく重く展 6. 10—7. 30  
埼玉県立近代美術館  
アートマインド 82 ぼんのなおこ

新美術新聞 735 前山裕司  
美術手帖 712 飯島洋一  
朝日夕刊 7. 13 (三)  
東京夕刊 7. 21 北沢憲昭  
毎日夕刊 7. 18 三田晴夫

## (ユ)

湯浅龍平展 2. 27—3. 5 ギャラリー上田デコール  
美術手帖 708 林洋子

結城美栄子陶人形展“CLOWNS”  
5. 16—27 壺中居  
陶説 508 福田旻

ゆう・もあ・あーと大宮55「風の通り道展」  
11. 3—26 大宮市  
新美術新聞 751

幽霊画展 8. 1—31 全生庵  
東京夕刊 8. 12

柚木沙弥郎1995 染色・ガラス絵作品展  
10. 7—13 ギャラリー華  
毎日夕刊 10. 7

## (ヨ)

ヨーロッパ工芸新世紀展 4. 14—5. 28 新潟県立近代美術館  
雪椿通信 4 藤田裕彦

ヨーロッパ染織の美—ヴィクトリア&アルバート美術館展 4. 5—5. 7 群馬県立近代美術館  
群馬の森美術館ニュース 81 佐野敬彦  
新美術新聞 725

遥玄展22回 12. 5—12 東京都美術館  
美術の窓 154 高山淳

横尾忠則展 愛死挿絵 4. 2—10. 1 西脇市岡之山美術館  
読売夕刊 4. 7

横尾龍彦展 3. 6—17 イトーキ銀座ニューオフィスギャラリー  
毎日夕刊 3. 9 三田晴夫  
読売夕刊 3. 15 (菅)

横山健一展 3. 10—16 江戸川区総合文化センター  
東京 3. 15

横山大観一海・山・空の世界展  
8. 26—10. 1 北海道立近代美術館  
新美術新聞 742

吉川民仁展 4. 22—5. 25 鎌倉画廊  
新美術新聞 748  
毎日夕刊 5. 11 三田晴夫

吉川千香子作陶展 3. 25—4. 2 陶美園(常滑市)  
陶説 506 井上隆生

吉川正道陶展 7. 13—19 丸栄スカイル  
陶説 510 井上隆生

吉川充陶展 12. 5—10 ギャラリーマロニエ(京都)  
陶説 514 藤慶之

吉川優展 3. 29—4. 10 西武アートフォーラム(池袋)  
新美術新聞 729

吉澤美香展 1. 20—2. 18 スカイドア・アートプレイス青山  
毎日夕刊 1. 30 三田晴夫

吉澤美香展 7. 29—8. 27 西武アートフォーラム(池袋)  
美術手帖 715 暮沢剛巳

吉田克朗版画展 7. 3—15 ぎゅらりいセンターポイント  
毎日夕刊 7. 10 三田晴夫

吉田哲也展 5. 16—6. 10 ギャラリーαM  
美術手帖 711 林洋子

吉田哲也展—新世代への視点'95  
9. 18—30 藍画廊  
アートマインド 83  
サンケイ 9. 24 (N)

吉田直樹クラフトワーク展<木・奏でる>  
10. 18—30 松屋(銀座)  
毎日夕刊 10. 14

吉田雅則展 6. 10—24 新桜画廊  
美術手帖 712 廣江泰孝

吉田喜彦展 11. 7—11 壺中居  
陶説 514 福田旻

吉成秀雄展 2. 8—18 NHK宇都宮放送局ギャラリー  
毎日 2. 10 長南美穂

吉野辰海展 12. 4—22 東邦画廊  
新美術新聞 752  
サンケイ 12. 10 (M)

平成7年美術展覧会(ヨ〜ワ)

- 吉水浩展 3. 3—25 ギャラリー日  
鋳  
毎日夕刊 3. 10  
吉元作次展 10. 11—11. 17 コオ  
ジオグラギャラリー  
美術手帖 718 廣江泰孝  
吉本義人「連態」シリーズ展 9. 4—  
30 東邦画廊  
サンケイ 9. 17  
ヨハネスブルグ・ビエンナーレ帰国  
展 6. 30—8. 20 ワタリウム美  
術館  
新美術新聞 740  
よみがえった石コロたち展 6. 1—  
27 東京ガス立川ショールーム  
ギャラリー  
毎日夕刊 6. 3  
艾澤詳子展 12. 15—1. 20 ギャ  
ラリー砂翁  
毎日夕刊 1. 9 三田晴夫  
萬鉄五郎の自画像展—わが内なるカ  
オス 4. 27—6. 11 萬鉄五郎記  
念館  
芸術新潮 547

(ラ)

- ラテンアメリカの音楽と楽器展  
3. 16—5. 30 国立民族学博物館  
民博通信 69 山本紀夫  
ラルティエグ写真展 生誕100年  
〈ベルエポックの休日〉 6. 9—  
7. 23 Bunkamura ザ・ミュー  
ジウム  
新美術新聞 736  
朝日夕刊 6. 5 松本徳彦  
読売夕刊 7. 8 高島直之

(リ)

- 李禹煥展 11. 6—25 東京画廊  
新美術新聞 750  
キャサリン・リー展 12. 8—1. 27  
ミズマアートギャラリー  
サンケイ 12. 31 (N)  
バーナード・リーチと日本の仲間展  
4. 4—6. 25 日本民芸館  
朝日夕刊 6. 8 杉山享司  
アニー・リーボッツ写真展—アメ  
リカン・ヒーローの華麗なる肖像  
— 7. 26—8. 20 三越美術館  
新美術新聞 737

- 読売夕刊 8. 7 (前)  
REAL LOUNGE—ゲンダイビ  
ジュッテン展 11. 3—26 北九  
州市立美術館  
美術の森 82 (Y)  
李王朝時代の刺繍と布展 8. 12—  
9. 24 埼玉県立近代美術館  
新美術新聞 741  
朝日夕刊 9. 7 平山都  
リズム&ヒューズ社CG展 8. 1—  
26 ギンザグラフィックギャラ  
リー  
日経 8. 17  
立軌展47回 2. 8—19 東京セント  
ラル美術館  
新美術新聞 731  
美術の窓 145 高山淳  
東京夕刊 2. 6  
日経 2. 15 宝玉正彦  
柳京愛展 4. 3—28 佐藤美術館  
読売 4. 26  
凌雲選抜書展25回 11. 2—7 ヨ  
コハマアートギャラリー(横浜)  
新美術新聞 749 城所湖舟

(ル)

- マイケル・ルー来日展 9. 15—25  
三越(新宿)  
美術(月刊) 240 編集部  
ルートヴィヒ美術館展—20世紀美術  
の挑戦 7. 2—30 東武美術館  
新美術新聞 725  
東京夕刊 8. 31  
読売夕刊 6. 28 千足伸行  
ルーマニア近代絵画の巨匠たち展  
8. 18—29 大丸ミュージアム(東  
京)  
新美術新聞 742  
朝日夕刊 8. 15 近藤不二  
ルノワールと日本の画家たち展  
1. 8—4. 2 ブリヂストン美術館  
朝日夕刊 2. 2 宮崎克己  
朝日夕刊 3. 8 (三)

(レ)

- レボリューション 美術の60年代  
ウォールからボイスまで展  
9. 30—12. 10 東京都現代美術  
館  
新美術新聞 746

- 朝日夕刊 11. 21 (若)  
毎日 11. 27 三田晴夫  
読売夕刊 10. 20 (菅)

(ロ)

- マリー・ローランサン展 2. 12—  
3. 19 北海道立近代美術館  
侶美以 53 長瀬美香  
「ローリー・ホーリー・オーバー・サーカ  
ス」展 11. 3—2. 26 水戸芸術  
館  
読売夕刊 1. 7 岡田守男  
マーク・ロスコ展 9. 23—11. 5  
川村記念美術館  
新美術新聞 746  
美術手帖 717 山本育夫  
朝日夕刊 9. 28 広本伸幸  
朝日夕刊 10. 19 (三)  
東京 1. 4  
東京夕刊 9. 20  
日経 10. 30 宝玉正彦  
読売夕刊 10. 30 (菅)  
アレクシス・ロックマン展 11. 29  
—12. 26 ギャラリーコヤナギ  
サンケイ 12. 24 (N)  
ロトチェンコの実験室展 12. 1—  
5. 5 ワタリウム美術館  
芸術新潮 553  
美術手帖 721 岡村多佳夫  
浪漫が香る館展 11. 24—30 富士  
フォトサロン(銀座)  
サンケイ 11. 22  
ロバート・ロンゴ展 2. 2—27 伊  
勢丹美術館  
新美術新聞 724  
東京夕刊 2. 10 山梨俊夫  
読売夕刊 2. 9 菅原教夫

(ワ)

- アンドリュウ・ワイエス展 4. 15  
—6. 4 Bunkamura ザ・ミュー  
ジウム  
AAC 11 S. T.  
アートマインド 81 野村良平  
新美術新聞 725 高橋秀治  
美術(月刊) 233 中村隆夫  
美術手帖 705 トマス・ホー  
ヴィング  
朝日夕刊 3. 2 (三)  
朝日夕刊 4. 27 木島俊介

東京夕刊 1, 4  
 東京夕刊 4, 14 有海千尋  
 東京夕刊 4, 14 アンドリュウ・ワイエス  
 東京夕刊 4, 25  
 東京夕刊 4, 26  
 東京夕刊 4, 27  
 東京夕刊 4, 28  
 東京夕刊 5, 12  
 日経 4, 25 宝玉正彦  
**ブライアン・ワイルドスミスの世界展** 3, 16—28 大丸ミュージアム(京都)  
 新美術新聞 728  
**若尾利貞陶芸展「おくのほそ道」**  
 5, 26—31 京王  
 陶説 509 福田旻  
 東京夕刊 5, 29  
**若き日の日本美術—明治期の図画教科書と画家たち展** 8, 6—9, 8  
 茨城県近代美術館  
 芸術新潮 549  
 朝日夕刊 8, 29 (三)  
 読売夕刊 9, 4 (川)  
**若月公平展** 1, 9—20 日本橋トミー画廊  
 ギャラリー(月刊) 117  
**若林奮展—素描という出来事** 1, 5—2, 26 東京国立近代美術館  
 現代の眼 482 平出隆  
 現代の眼 482 若林奮、聞き手市川政憲  
 現代の眼 483 李禹煥  
 現代の眼 483 中上清  
 現代の眼 483 辰野登恵子  
 新美術新聞 723  
 朝日夕刊 1, 18 (若)  
 東京夕刊 2, 3  
 日経 2, 17 宝玉正彦  
 毎日夕刊 2, 6 三田晴夫  
 読売夕刊 2, 2 (菅)  
**脇田和展** 1, 28—2, 4 和光ホール  
 新美術新聞 723  
 読売 1, 29  
**脇田和ペーパーバック展** 10, 5—17 ギャラリー—翌檜  
 ギャラリー(月刊) 126  
**和田賢一展** 11, 16—12, 2 文房堂ギャラリー

サンケイ 11, 26 (N)  
**わたしの力作展** 12, 8—1, 16 岐阜市歴史博物館  
 岐阜市歴史博物館博物館だより 29  
**渡辺晶子展** 10, 23—28 ギャラリー—白(大阪)  
 美術手帖 718 喜多村明里  
**渡辺晃一展 Veronica—肌膚の厚さ・熱さ** 4, 18—7, 2 川口現代美術館(斎藤記念)  
 朝日夕刊 6, 8 (若)  
**渡辺良子—タイプアート展** 10, 12—16 下館市文化ギャラリー  
 東京夕刊 10, 14 飯田孝幸  
**渡辺豊重展** 10, 17—11, 2 愛宕山画廊  
 ギャラリー(月刊) 126  
 新美術新聞 747  
**渡部耿賞油絵展** 5, 31—6, 5 小田急(新宿)  
 新美術新聞 735  
**和太守卑良展** 8, 31—9, 5 高島屋(日本橋)  
 陶説 511 福田旻  
**和太守卑良展** 9, 13—10, 8 小田急美術館  
 アート・トップ 144 (常)  
**和のあかり展** 11, 11—26 ヤマギワリビナ本館 6 F(秋葉原)  
 毎日 11, 14  
**王俠軍展** 5, 18—28 ガレリア・プロバ本店  
 美術(月刊) 236 編集部  
**二人展、三人展等**  
**深水・紫明二人展** 4, 6—18 高島屋(横浜)  
 朝日夕刊 4, 5 加藤類子  
**「紫紅と鞠彦」展** 10, 28—11, 23 横浜美術館  
 新美術新聞 748 柏木智雄  
**岩田藤七と久利のガラス作品展** 11, 6—12, 9 草月美術館  
 新美術新聞 751  
**金銀箔の飛翔—装飾料紙と彩箔** 江面弥生・忠信親子二人展 6, 15—27 ミキモトホール  
 アート・トップ 148 常盤茂

『満州・シベリア』江成常夫+新正卓展 10, 17—1, 15 川崎市市民ミュージアム  
 新美術新聞 747  
**加賀谷武 出井保勝 二人展 「平行線の交わる時 激突」** 5, 18—24 ギャラリー—安藤  
 ギャラリー(月刊) 121  
**金村仁 山崎暢子展** 7, 4—16 ギャラリー—ココ(京都)  
 美術手帖 713 喜多村明里  
**「第二の誕生」展—岸田劉生と実篤—** 10, 28—12, 3 調布市武者小路実篤記念館  
 新美術新聞 751  
**北川民次と藤村貢による天上天下展** 10, 24—31 日動画廊(名古屋)  
 新美術新聞 747  
**草野貴世・坂崎隆一展** 3, 9—4, 16 佐賀町エキジビット・スペース  
 毎日夕刊 3, 30 三田晴夫  
**クリスト&ジャンヌ=クロード展** 10, 25—11, 12 アサクラギャラリー&ヒルサイドテラス(F棟)  
 日経 11, 4  
**小林希年子 福田雍子展** 2, 20—26 銀座アートギャラリー  
 東京夕刊 2, 23  
**田中勝重・銭凡展** 3, 9—14 ギャラリー—新宿高野  
 読売(都民版) 3, 12  
**長春天山・太山父子作陶展** 3, 30—4, 5 近鉄(岐阜)  
 美術(月刊) 235 編集部  
**長春天山・太山父子作陶展** 10, 17—23 三越(新宿)  
 美術(月刊) 241 長春天山、金子賢治  
**中里隆・太亀父子展** 11, 13—18 ギャラリー—冒  
 陶説 514 福田旻  
**漱石と子規展—愚陀仏庵—〇〇年** 8, 11—17 東急(吉祥寺)  
 朝日夕刊 8, 9 溝上瑛  
**勵会 千村俊二、下川辰彦展** 4, 10—15 銀座スルガ台画廊  
 美術(月刊) 235 村瀬雅夫  
**長谷川潔・岡鹿之助展** 10, 30—11, 15 上野の森美術館

新美術新聞 748  
 サンケイ 11, 2 松村寿雄  
 サンケイ 11, 5 日野耕之祐  
 サンケイタ刊 10, 30 松村寿雄  
 サンケイタ刊 10, 31 松村寿雄  
 サンケイタ刊 11, 1 松村寿雄  
 波多野社邦・波多野安希日本画・作  
 陶二人展 4, 1-15 音羽画廊  
 美術(月刊) 235 水上睦男  
 林忠彦×カール・マイダンス展—焼  
 け跡からの半世紀—日米フォト  
 ジャーナリストの観た日本 8,  
 12-21 松屋(銀座)  
 芸術新潮 548  
 舟越桂・若林奮版画展 12, 2-26  
 プラザギャラリー(調布)  
 新美術新聞 753  
 丸木位里・丸木俊の世界展—生命へ  
 の熱い視線 6, 1-8, 31 池田  
 20世紀美術館  
 新美術新聞 736  
 美術(月刊) 237 大野俊治  
 朝日夕刊 6, 13 (三)  
 モネ<睡蓮>と今日:ルイ・カーヌ  
 展 5, 3-6, 4 川村記念美術館  
 新美術新聞 733 広本伸幸  
 朝日夕刊 5, 11 広本伸幸  
 朝日夕刊 5, 23 (若)  
 読売夕刊 5, 10 (菅)  
 八木健三・信子展 私たちの長い旅  
 路 4, 17-23 ギャラリー神宮  
 苑  
 朝日夕刊 4, 18  
 横沢智子、島たかみ展 足先のうた  
 さをり織り 4, 3-8 ギャラ  
 リーさをりひろば(大阪)  
 東京 4, 2  
 隆の会 松村公嗣・角島直樹展  
 4, 17-22 銀座スルガ台画廊  
 美術(月刊) 235 米倉守  
 印象派の華—メアリー・カサット、  
 モリゾ、ゴンザレス展 3, 2-4,  
 11 伊勢丹美術館  
 朝日夕刊 4, 7  
 毎日 3, 1  
 毎日夕刊 3, 25  
 荻太郎と亀本信子・山口都展 日本  
 女子大学・住居学科「絵画デッサ  
 ン」教室の現在まで 1, 17-3, 4  
 日本女子大学成瀬記念館

東京夕刊 1, 26  
 木村光佑・松本曼・黒崎彰—70年代  
 と色彩展 2, 19-4, 2 町田市  
 立国際版画美術館  
 新美術新聞 725  
 日経 3, 3 宝玉正彦  
 現代のパスワード展 Vol. 2 コ  
 トバによる三つの相—ニールト  
 ン・クラーク、古屋俊彦、劉旭光  
 10, 10-12, 24 川口現代美術館  
 (斎藤記念)  
 サンケイ 12, 16 斎藤道子  
 鯉江良二・鈴木五郎・金子潤三人展  
 4, 13-18 丸栄スカイル  
 陶説 507 井上隆生  
 竹久夢二、高島華宵、藤谷虹児展  
 1, 12-24 高島屋(日本橋)  
 毎日 1, 11  
 染・陶・彫・三人展—福本潮子、深  
 見陶治、高岡典男 11, 23-12, 12  
 ギャラリー正観堂(京都)  
 陶説 514 藤慶之  
 山本雄一・篤朗・出三人展 2, 28  
 -3, 5 三越(横浜)  
 陶説 505 福田旻  
 島宇宙のケルテットin新宿展 小  
 清水量造、戸部義盛、松本破風、  
 室橋信一 3, 17-22 ギャラ  
 リー安藤  
 ギャラリー(月刊) 119

### 団体展

一陽展41回 9, 19-10, 3 東京都  
 美術館  
 新美術新聞 748 宝木範義  
 美術の窓 151 高山淳  
 東京夕刊 9, 21  
 出品目録(会員)  
 絵画  
 無色の色シリーズ—丹 北山 泰斗  
 水はモノローグ—  
 Black space in 棚瀬 修次  
 —かたち—  
 SPACE“明暗” 坪井 正光  
 偽りの青空—PARK 森 秀雄  
 STOP SCENE  
 役者絵(主役) 上田 春雄  
 コレクション・5人の 大場 吉美  
 花嫁  
 宇宙急行'95 沢 オイ

もうひとつの落日 安藤 能巨  
 一樹—  
 迷いの時空XIV 石川三知代  
 プレステージ(虹) 杉山 汎  
 包みこまれたプラ 硯川 秀人  
 トー 95-2  
 街シリーズ 高橋 和夫  
 (眠れない街)  
 メタリックアイ 畠中 陽一  
 黒 白 渡部 貢  
 風化する情景 佐野 儀雄  
 <RELATION—95>  
 風 谷岡 久  
 (橋上のマネキンたち)  
 人物(Die Zeitachse) 土嶋 敏男  
 ナルシス95-5 市橋 哲夫  
 ウ・エ・ス 岡田 弥生  
 DAWN 加須屋万美  
 THE SKY NO ONE 小松富士子  
 SAW—水のアラベスク  
 休 日 下村 沖雄  
 不在の裏側—失われた 末田 光一  
 神話  
 黒の構図'95 洲崎 幸七  
 Don't move 須田 良雄  
 夏 日 高岡 徹  
 “一陽の塔” 月見 里茂  
 水 壺 中島 マミ  
 作品 C 野村 幸子  
 5—AVG— 山内 美宏  
 95FADEIN  
 ライン河紀行(シュタ 五十嵐二郎  
 イン・アム・ライン)  
 透明なる炎(春) 勝 一晃  
 ブリブール 田辺栄次郎  
 (スイス)寸景  
 雲のメモリー 角 美貴子  
 静かな空 神門 四郎  
 北欧の町 澤田正太郎  
 (ストックホルム)  
 ETUDE—華 中村 秀雄  
 EMPTY—刻 垂衣 千里  
 心に遠い耳鳴りを聴く 宇野富美代  
 日  
 道沿いの風景 小木曾雅子  
 みんな仲よし通りゃん 郡 慧子  
 せ  
 船どまり 小松 久子  
 樹 間 堀内 千里  
 入江の風 森田多美子  
 こだまする風景 飯田 庸夫  
 N 市 街 市川 裕康  
 プルターニュの港町 斎藤 茂

ある風景・28	酒井 幸雄	構 想 (gear)	杉山 司	青 い 鳥	金子 孝子
幻 想 花	佐久 川 罔	跡	田島 正子	requiem	佐川 文子
オキナワ1	宿沢 浩	壁のある風景	玉田 健二	水螢万華鏡シリーズ	島本 芳伸
オホーツクの村	白川 晃	空を巡る('95)	平賀 正勝	(大峰山・大天井滝)	
北野のまつり	土井 稔	少し寂しい日(絵馬堂)	細川 尚	群 れ	田中 繁雄
休 憩	中田 實	薫 風	三阪 雅彦	石 の 街	玉川 浩
白 い 樹	幡谷フミコ	雲 海	安達 弘章	グエル公園	辻本 光彦
船小屋と漁夫	穂井田日出磨	PHILOSOPHY	阿部 知暁	潮風と少女	頓田 室子
崖の上の街	宮口 観	至上の楽園	泉谷 淑夫	赤 絵 焼 成	新井田捨策
花のモンサンミッシェ	湯浅 豊子	足ることを知る	浮田 正樹	ベネチアアー'95	萩中 幸雄
ルシリーズNo.6	齊藤 孝利	漂 泊	岡村 順一	遊牧民95-1・III	府川 貢
刻の流れ(回想)	高橋栄二郎	仮面の輩が難民を作る	神林 茂	都会の花	八重垣逸郎
モルダビアの祭	中沢 蓉子	風の大 陸へ	古曾 成樹	挽歌の浜一汐風一	山貝 芳枝
奏	秀島 有子	作品'95-8「路」	生地 太久	暖	与儀 達治
チビタ・ディ・バー	松下 絹子	ピ エ ロ	鈴木 武樹	青木湖と鹿島槍	垣内カッアキ
ニョレツジョ	石塚 博蒼	WALL(積まれた景)	竹村 晴夫	(シリーズ信州の山	と湖)
抜戸岳 残雪	糸山 文子	「生」	田崎 徹	枯 木 林	江川 光信
蒼の詩(うた)	碓田 順彦	風 景 ・ 95	平田 慎一	夢 の 跡 '95	佐伯 武彦
旅	奥谷 卓則	回 帰 - '95	福家 省造	バリダンス	スマルモ
記憶の壁	河井 一郎	蕩 漾	松村 一夫	挽 卷 凍 晴	渡辺喜久蔵
'95KUMIYAMA	川辺 嘉章	風化の軌道(鎮魂)	やまぐちかずお	新野の雪まつり	伊藤 公二
忘れかけた風景	国見 縫子	下からの便り	山田 忠	三 河 一 色	平野 正毅
森 の 詩	熊田 藤作	線 跡	安藤 節雄	版 画	
巷のうわさ	栗原 和美	観 想	小畑 恭子	弓が浜 III '95	野間 傳治
あるとき	小林 源次	胎 動 ・ 連 鎖	神崎 元志	伊予大島の夏祭	〃
虹 の 日	白石 寛子	Space-95	久保田正剛	彼方-II-水際より	大森 澤
初夏の高知手結漁港	中嶋 鉦子	かたち(I)	後藤 泰洋	水 辺 一 夏	〃
丘陵の集落	判 三教	ハート印象9508	塩川 慧子	仙台光のページェント	田中 正秋
回 想	水谷喜美子	界	高井 知乗	下田三尺玉火花	〃
窓 辺	吉川 俊夫	連 関	谷口あつ子	真珠の海(24)	中西 俊佳
少女(スペインにて)	小川 哲郎	華 一 緑	富樫 貢平	日常の静物No. 2	古川 晶弘
ビレネー幻想	田所 満雄	北の大地(根)	中村 昭子	日常の静物No. 1	〃
ビクトリア駅	鶴田 猛	跡	野中未知子	彫 刻	
(ロンドン)	浜田 清	ブルーベリー・ヒルズの朝	森嶋南風子	朱 門 の 樹	山崎 猛
爽 風	木村 保夫	CAMINO DE SAN-TIAGO-巡礼の道一	安田 淳	朱 門 の 宴	〃
七ヶ宿雨後	久保 幸夫	夏 夢 (標)	中嶋美瑛子	な か ま	六崎 敏光
機関車と連絡船	小島 鐵男	母子-這う子(B)	吉田佳意子	揺 れ 動 く	登坂 真澄
遠い日(秋風)	鴫田 喜美	魚 群 幻 想	萩原 光観	嘆きのメッセージ	中村 義孝
ブルゴス大聖堂修復	長谷川清晴	鳴 門	〃	夢 い 幻	植木 力
残 照	岬 和男	八 郎 渦	大川きよ子	青 い 風	〃
道化の刻(虚栄)	吉田 光雄	舞 う	菊池 豊	浅 葱	関野 初代
ノルウェイの森	大石可久也	室 内	佐々木吾郎	じゆんれい者・風洞	内田 英
風景'95	荻原 宗晃	静 物	対馬久世喜	CITY	木村 廣
聖家族シリーズ	鈴木 力	祠 や	中嶋 強	黎 明 期 V	高木 和文
Happiness	館野 弘	叢 生	水谷 仁美	風	三輪 乙彦
緩やかな刻	奥山 三郎	積 も り	宮 春王	「1, 17」	吉田 英智
海		窓 際 族	雨谷 達夫	風 標 I	渡辺 勝彦
ロッジその周辺			岩永 勝彦	風 標 II	〃
島の教会				作 品95-5	今 英男
(TORCELLO)				GIKU-SHAKU	
僕たちの将来					
北のふる里					

平成7年美術展覧会(団体展)

風 炎-1 今井田一己  
 UNITY 内田 源一  
 抵抗 1 佐々木英夫  
 抵抗 2 〃  
 坐 像 石黒 功  
 背 負 う 金田 忠  
 神戸からの祈り 津野 充聡  
 U&D-FAMILY 中堀 嘉雄  
 砕かれた心 阿部 雪子  
 S 君 〃  
 思い出の季節 植木 舜一  
 ダブル 〃  
 SAKEBI 岩沢 勇  
 更 何 求 大和田正人  
 母子像 小宅 淑子  
 沃野からのメッセージ 小田部 実  
 憩いの女 松本 進  
 森の宴 谷津喜美代  
 廃船(E) 小山 重之  
 南蛮渡来 滝川 鯉吉  
 自然シリーズ95-5~ 森島 昭道  
 内面的エネルギー~ 〃  
 ふくろう1 金田 忠  
 海のはなし 〃  
 DEUX MOITIÉS 滝川 鯉吉  
 半×2  
 標一風の中に 小池 郁男  
 こもれびのベンチ 高嶋 文彦  
 FOR SKY 有賀 典子  
 「作品1995」 太田 清  
 森の夜明けの音 小林 一夫  
 六つのことば 小林 達也  
 失われた記憶No.1 土屋 瑞穂  
 石・水・生命 八木ヨシオ  
 四姉妹山の詩I 渡会 意士  
 四姉妹山の詩II 〃  
 一水会展57回 9. 19-10. 3 東京  
 都美術館  
 新美術新聞 748 宝木範義  
 美術の窓 151 高山淳  
 東京夕刊 9. 21  
 出品目録(会員)  
 ふるさとの祭り 近岡善次郎  
 リア王から 若林 利重  
 水浴図 本山 唯雄  
 水辺の少年と犬 筒井 広道  
 白馬三山 田中 春弥  
 夫婦漁船帰港 尾崎 正章  
 (無事終了しました)  
 朝の散歩 中谷 龍一  
 寺院の見える森 大津 鎮雄

響ひびきの港 藤島 奨  
 霧の港 吉崎 道治  
 惨!!'95一月十七日 中畑 伸人  
 湖北 栗林 忠男  
 集落(スペイン) 井戸 三郎  
 赤いチュチュ 寺井 重三  
 初冬、川瀬の音響く古 斎藤 政一  
 都 小川 游  
 悠ちみ久 吉野谷幸重  
 大地実る 田中 義昭  
 静物 寺井力三郎  
 信越線 小林 哲夫  
 溪声山色(瀑) 山名 将夫  
 天使回想 北村 巖  
 運河のある風景 篠原 昭登  
 伊那谷五月 越後島 進  
 或る日のルーブル美術館 (故)渡辺祐一郎  
 青い部屋着 川村 親光  
 五月の軽井沢風景 三浦 俊輔  
 残照 木下 義謙  
 藤花 廣瀬 功  
 戸隠初夏 小泉 元生  
 萩ノ島かやぶきの里 森下 喜文  
 廃墟に立つ 浅見 嘉正  
 曇日 越智 節昇  
 高原昼月 加藤 一豊  
 漁師達 奥田 憲三  
 私の散歩道 前田 正夫  
 マグレブの技工 皆吉 志郎  
 シャトル(フランス) 川上 一巳  
 高遠の少女 三橋 文雄  
 高原 弦田英太郎  
 舞妓明粧 元川嘉津美  
 エーゲ海、イドラ島 柴岡 寛保  
 山毛櫛めぶく 鈴木 益躬  
 道 白濁 吉堯  
 冬の川面 池田 清明  
 村娘の衣裳で 辰巳 文一  
 昼下がり(ブルージュ) 山川 義夫  
 夕照 山田嘉一郎  
 秋の山 武藤 初雄  
 海辺の光景 西川 信一  
 黎明 阪本 勝則  
 あやつり人形など 白石 俊雄  
 塔のある風景 さきやあきら  
 森の番人一遠 端名 清  
 サントリーニの夏 兼松 寛  
 雪の登窯 (故)柱 宏  
 丘の街

街 (故)飯田 福治  
 春雪岩屋港 (故)中西 正巳  
 夏の丘 佐藤 道雄  
 採石場 小島 義明  
 雨後の河畔 丹羽 章  
 越後山里春來 小柳 耕司  
 ルクロアジック 松村 三冬  
 AIKO'95白いリボン 所 征男  
 チンチョン・窓辺 宮原 麗子  
 憩う 山岡 正信  
 戸隠高原の秋 新井 邦雄  
 (小鳥ヶ池)  
 戦後五〇年 藤浪 成喜  
 (横浜港米軍施設)  
 夏休みのひととき 岡野 信子  
 群がる(95・1・16) 笠井 隆良  
 「佳き日の連峯一 佐々木 隆  
 (安達太良)」  
 北信濃路五月 鈴木 正紀  
 アルノ河・遠望 徳植 久子  
 まどろむ街 玉虫 良次  
 睡蓮 松岡 貞子  
 初夏のサンシール 佐々木 薫  
 チャート岩盤に立つ少年達 水田 隆釋  
 鳥を観る人 菊地 洋二  
 静日 大野 登  
 冬陽 山口 清  
 静物 関口 和子  
 夏の夢 山本 耕造  
 ビーチの食堂 千葉福太郎  
 赤い壁の坂道 吉永 功  
 深沙大将像 鰻原 豊嗣  
 湾岸の船だまり 今井 行輝  
 シャトル風景 伊藤三千人  
 港のセメント工場 中村 博  
 カーニバル(クライマックス) 平井 利明  
 朝靄の MONT 廣畑 正剛  
 SAINT MICHEL  
 刻 久保田辰男  
 初秋 稲原 吉男  
 想う 扇谷 章二  
 漁港俯瞰 若宮 匠  
 ひと休み 坂元 淑晃  
 (パリカフェにて)  
 朝の肖像 村山 陽  
 早春 岩館 知義  
 明けゆく頃(クエンカ) 寺井 徹  
 緑陰 瀧野 孝  
 春の古木 上原 文丸  
 バザールの午後 田島 健司

妖精の刻  
赤のテーブル  
内浦夕照  
春雪の門  
春の献花壇  
向日葵のある静物  
ひまわり  
浅春  
レストラン  
'95夏・湘南  
冬に向う季節(白馬)  
堀切沢夏景  
稿の群像  
春刻  
響春  
野火  
院展80回 9. 1—16 東京都美術館  
新美術新聞 746 武田厚  
美術の窓 151 高山淳  
東京夕刊 9. 14  
日経 9. 11 宝玉正彦  
出品目録(同人)  
面構(戯作者山東京伝) 片岡 球子  
晨 明 岩橋 英遠  
鳴弦(上毛野形名妻) 真野 満  
凍 雲 今野 忠一  
春暁の臥竜梅 福王寺法林  
寒中紅海 郷倉 和子  
イラン高原を行く 平山 郁夫  
季 荘司 福  
幻(天上の古径先生) 岡本彌壽子  
Y先生像 松尾 敏男  
早発白帝城 後藤 純男  
巴里の若き岡倉天心 守屋多々志  
永 日 下田 義寛  
からくり人形師玉屋庄兵衛 小山 硬  
平等院阿弥陀如来像 鎌倉 秀雄  
かぐや姫 月岡 榮貴  
洛西空也滝 長谷川青澄  
海 鮫 福井 爽人  
ゆいひのうみべ 岩壁富士夫  
怡色(源光庵) 伊藤 彰耳  
寺子の桜 松本 哲男  
吉祥天 関口 正男  
流 田淵 俊夫  
聖家族の歸還 山中 雪人  
寂 那波多目功一  
黒の壁 手塚 雄二

星降る海に 福王寺一彦  
吉野 梅原 幸雄  
(右)山暮れる  
(左)山明ける  
晨 響 清水 達三  
現代日本美術展24回 4. 23—5. 7  
東京都美術館  
毎日 4. 22  
出品目録  
平面  
のしてんてん 北薮 和夫  
'95.3—1  
杉並区阿佐谷南3丁目 大浦 一志  
23—13「普賢岳」再立  
アンテナ 中川 渉  
RADICAL HYS- 溝淵真一郎  
TIC TOUR CONEY  
ISLAND  
SAMPLE一流星のよ 右近多恵子  
うな二人—  
HO—00458 小野寺廣幸  
線—II 勝井真知子  
The impression '95 川崎ヒロ子  
—II  
B棟の風景95—3 川邊 耕一  
Subconscious Space 金 兌赫  
1 藏本 秀彦  
Roller ケンシ  
1990年代の 阪本 幸円  
HALFTIME 桜井 武人  
SNOW WORK: 清水 博文  
NO.'95—2  
風化の詩95—B 鈴木吐志哉  
自画像95—4—II 鈴木 道子  
A-FRAGMENT AN- 須知 鏡子  
IMALS 3 平松賢太郎  
(DOG EAT DOG) 古川 勝紀  
PLANT-C 松宮 鈍夫  
Person & person III 三井田盛一郎  
TOKIO・Kの街III 三樹 正典  
朔太郎—たとえば老い 山下 哲郎  
て生きること— 秋岡 美帆  
「映 像—50」 秋山 潔  
work'95 有賀 明文  
(頭身大の救い) 安藤 真司  
時~音 石橋 勝久  
旅—H 7—2 伊東 茂宏  
ゆれるかけ 井上 直  
時の温度 Sep'94—1  
石 出  
雨色の景色  
He is a sharper? 石橋 勝久  
(デュシャン氏の部屋)  
標'95—II (NIPPON) 伊東 茂宏  
最後の朝 井上 直

触知感(I) 岩田 恒介  
もあ・もあ(95—1) 上田 純子  
ドイツの自然と甲虫 浦田 和義  
'95—B 大久保忠春  
DRAWING11795 大竹 英志  
1994年 夏  
なんのこれしき 岡田 福美  
(Seeder)  
痕跡94—1221《線香火 小川 陽  
によるドローイング》  
PROVIDENCE IN 奥田 輝芳  
NATURE. SERIES. 161“HERMITAGE”  
PAYSAGES IMAG- 奥村 正利  
INAIRES—23  
地・DIRTY COL- 片小田栄治  
LECTION(月)  
夜の息 片山みやび  
Laborer song 3 加藤 泉  
Welcome to the Wo- 加藤チャコ  
rld②  
P—1 加藤ひろ子  
発掘・7・(都市) 亀谷 秀司  
線の気韻1998—21 菊地 武彦  
Spring into View 95 岸中 延年  
—2  
私心象的風景から 北山 義明  
BIRTH No.95—12 木藤恭二郎  
GET BACK—34— 木下 泰嘉  
Y(Black Tulip—2)  
La voce della luna 清原司都子  
無 題 日下 芝  
不 安 黒瀬 道則  
Dream time 黒田 恵子  
(ただよう)  
均衡力について2 小澤 基弘  
復活の街(1) 甲谷 武  
〈モービーディッ CONDOUNAMICO  
ク〉  
“LA PATH ETI- QUE”  
Katharsis-October, 齋藤 千明  
1994  
Composition '95B 1 齋藤 鐵心  
'95DEEKUU XVII 笹川まさ子  
野の王国 佐藤 柳逸  
おどるいにしえびと 式場庶譚子  
No Return-series 篠原 猛史  
山の音/Mt.Hiei  
青 嵐 清水美三子  
A SPACE 杉浦イッコウ  
ODYSSEY95—II  
BlackholesII 梶山 貞和  
FOAM 1 鈴木 頼子  
位 置—B 瀬尾きみ子

平成7年美術展覧会(団体展)

カ オ ス 関本 恵一  
 怖々歩き出す喜び 平良 晃  
 黄土 1 たうち定義  
 # 1-1994 鷹取 久晴  
 illusion'94A-N 高橋 薫  
 シティー・ガード 高谷 幹郎  
 2035C  
 生命体 I 表象と底流 滝口 文吾  
 一表われるものと消え えるもの  
 概念のツール あいま 武田 総章  
 いな言語について  
 ILLUSION 田邊 光則  
 a prayer-blue-I 種田 瑞樹  
 誕生する3つの楕円-Z 田屋 優  
 D-GIN.19959489 醍醐イサム  
 私風景'95一朝の大地 出店 久夫  
 自然観察の方法'95-1 寺田 和幸  
 noise one(95-3・4) 常葉 勇  
 Labyrinth95-1 中里 強  
 Chardon blue 中島世津子D  
 STILL LIFE 41 中村智恵美  
 碑(砂漠に吹く) 中谷 有逸  
 Field No.37 95 西川 肇一  
 熱 動 花澤 洋太  
 脚たちの詩 羽田 二郎  
 何処へNO.11 浜田 賢治  
 「宇宙色導入の為のド ローイング」-B 廣末 勝巳  
 Coriolis-空 福土 朋子  
 高きやに登りてみれば 福田 美蘭  
 Naked Life'95-F 福満正志郎  
 Generation 藤田 修  
 コンピュータークライ シスNO.12 藤田 真理  
 街-2 古山 剛索  
 Layer95015 星 憲司  
 正しく設置して下 さい、マエノマサキ  
 UNTITLED # 1 松永 啓之  
 交 域 II 水村 綾子  
 Spindle-shaped 溝口 昭彦  
 思 念 94 宮崎大治郎  
 Shadows 宮崎 浩行  
 漁 夫 '95(B) 森川 浩孝  
 "NI-WA-TO-RI"-XI 森 俊夫  
 寂 モリ・ナヲ  
 消滅の儀式より 八木 哲平  
 (Ritual for fading)  
 undulation of crust 安田 悟  
 (地の波動)  
 殻 1 安田 富和

ほどける風景シリーズ 『みんないっしょ』 安原 竹夫  
 不 在 (1) 山口 武史  
 もぐもぐごろごろ'95-2 山口 善弘  
 DRAWING- PHOTOGRAPHY 山崎 直秀  
 9502  
 「情 景-3」 山本麻友香  
 work-'95-1 山本 光生  
 Bringing it all back home-II 山本 恵  
 Visage F(Fulcrum) 吉住 敏夫  
 -III・IV  
 花の記憶・I 吉田 尚史  
 意思を持つ水-10 芳野 太一  
 野の意味 9503 和田 彰  
 風 土 14 わたなべゆう  
 立 体  
 Jiotto xv-01 岩田 梯次  
 意識・領域 荒井 明浩  
 work T-2 ウエダリクオ  
 眠れない夜のすごし方 または、ふでばこの中 で星を1つ飼いならす 方法 笠井 千鶴  
 風 川那部 綾  
 eyes 杉山 以舎  
 eponymous 服部 俊弘  
 「いいことがあった日」 菱山 裕子  
 FOR LOVERS ONLY 盛次 徹  
 DANCING 36 安蔵 隆朝  
 aura・ $\frac{1}{3}\pi r$  井上 隆夫  
 蝶 鞍掛 純一  
 タネダネ 古賀 飛  
 白虎 其之壺 七野 大一  
 新 陳 代 謝 田中 清隆  
 とげとげ 田中 太郎  
 野 守 辻 忍  
 ブラ・ネット 長島 秀行  
 core-それは心の記 憶の光 長谷川ちか子  
 Edge of the Silence 1 菱刈 俊作  
 人になりたい 藤原 昌樹  
 風 重 前島 健治  
 薫 風 水本 智久  
 Requiem95-渚にて 茗荷 恭介  
 行動展50回 9. 1-16 東京都美術 館  
 新美術新聞 746 宝木範義  
 美術の窓 151 高山淳  
 東京夕刊 9.14

出品目録(会員)

絵 画  
 神 戸 港 (故)小出 卓二  
 別れの構図(伊谷君 を送る我等七人) (故)田中 忠雄  
 ざくろ等の静物 (故)伊谷 賢蔵  
 残 雪 の 丘 (故)古家 新  
 白 い 段 晶 (故)柏原寛太郎  
 フィヨルドの船 (故)田辺三重松  
 着場  
 オリーブ園の李花 (故)榎倉 省吾  
 山 野 新 雪 向井 潤吉  
 顔 渥美 尚周  
 惜象図'95「ひびけコー ラン」 跡部 高染  
 彩 壁 阿部 直昭  
 壺 売 り 阿部 平臣  
 昼 さ が り 荒木 由三  
 人・哀・愛 池田 茂雄  
 流 ・ 響 伊藤 聡  
 土の華一流象 井上 仁  
 夜 の 風 景 猪爪 彦一  
 標 榜 岩崎 久雄  
 椅子の人形 上山 哲夫  
 生 成 江見 絹子  
 舞・翔・風 柴村 健史  
 Grin△ derta 大門 清次  
 グランドキャニオン 大熊 峻  
 花実いろ華扇面 歌留 多(ぬ) 大谷 哲生  
 無 題 大庭 祐輔  
 落 光 大森 朔衛  
 人たち(河口) 大森 重夫  
 「女たち-連」 大谷 久子  
 砂 丘 小山内益郎  
 ドンキホーテとサン チョス 貝原 六一  
 響 動 加来 保  
 SURGE 加藤 信弥  
 LANDSCAPE'95-7 神尾 吉夫  
 メモランダム'95無題 河合 祐司  
 下 津 井 漁 港 川原 章二  
 夕 暮 れ に '95 神田 一明  
 線の気韻 1995-20 菊地 武彦  
 アイリス公園の人々 岸本 裕躬  
 一 瞬 の 白 木村 平  
 夕 映 え の 港 木村 良  
 '95 作品0317に向けて 河内 馨子  
 和 の 器 河野 通紀  
 気化 95-7 F 児玉 成弘  
 黒と白の協奏譜'95 近堂 隆志



祈り(阿修羅と12支)	近藤 直行	砂の兵士	難波香久三	箱	石黒 鏞二
反射率39%の重複視 —マカ・ムニ(大地の 水)—	近藤 大志	望郷の窓('95—9—1)	新田 公彰	文化への“イロニー'95”	板谷 真吾
M O N	後藤隆平伊	熱帯植物室	祢宜 吉子	緑の中の立体(A)	伊藤 勝美
1995	齋藤 真成	遠い春<四曲一隻>	根本 忠緒	太陽に(赤と緑)	井上平八郎
無 題	齋藤 博	赤いピアノ	野尻 弘	A MESSAGE TO THE EARTH	井下 俊作
P.WORK22M150795	齋藤 幸子	消えたグラズノフ	野田 勲	砂のかたり	岩城 信嘉
SPACE IN G.'95	笹瀬 悦子	簇 '95 — 9	畑 千秋	1995—交III	内田 栄信
国造り回答と生贄	佐藤 定	「されど、汲みつくせ ぬ日々」	畑中 優	交差する形'95—1	内田 晴之
海峡の空	三箇 三郎	武雄温泉 (湯あがりの女)	廣島 巖	環 — V	太田 正恒
Q室—くらしい酒	下高原千歳	石紋(景)	深見 隆	気 圏	大槻 孝之
旅芸人の唄・炭鉱の町 で	下平 武敏	証言'95—C—7	藤井考次朗	峰との風景	翁 観二
乾いた海 '95	角 護	赤い大地と漁夫	藤崎 恒頼	CONSTRUCT 460R	鬼束 恵司
湯川秀樹博士と令夫人 スミ女史像	全 和風	エーゲ海追想	藤田 豊	「道標 III」	風間 大輪
'95—ふたり	高井 寛二	「パロの夢」	星野 和雄	BED—都市の風景— 1/6	岸辺 隆雄
飛翔—群れ—	高井 道夫	破断層	保地 謹哉	<The Eggs>	北田 孝之
午後の瞑想 95—7	高木 岩義	行	堀 研	鉄の歪(95—発生)	木下 宏
奥三河の青い夜	高田 光治	仮面シリーズ XII—3—'95—8(2)	前田 悦子	四角形の周辺に II	小井土 満
憶(おく)	高橋 清	作品—95—CHE	松川 英俊	祈 願	小門 光男
ある群像 '95	高橋三加子	装 — '95	松田 利昭	日 輪	小谷 謙
'95 WORK	高安 醇	生きるものたち	松原 政祐	旅人の碑	小林陸一郎
7月の風景…雷雲	滝川 英明	描く人・レクイエム	丸林 時郎	きんいろにみず	斎藤 徹
で あ い	竹内 一	illusion (Mont St-Michel)	南 和好	作品='95(足音)	サナダサダヲ
ピカドン (1945・8・6)・B	竹内 豊	遠き島より	三芳 悌吉	空の權	塩見 哲郎
街の響	竹村 皓子	杏花の家	向井 潤吉	童話の国シリーズ No. 4「巨人の国の 議員さん達」	篠井 欽治
北の空で遊ぶ—夏	田中 茂生	「KAMINARI」	村岡 顕美	宿り木	白井謙二郎
「こわれた空— 1995117546B」	田中 徳喜	COMPOSITION	MOHAMMAD EUNUS (モハンマド エヌス)	風のふくまに	進藤 裕
響きあい'95—8	田中 稔之	デ・プロフィール	森 康次	核の集合(部分)	高橋勇一郎
to Hor'95—7	田中 洋実	跡('95—5)	守谷 史男	LANTERN・3	建畑 覚造
地と人と	田中 正巳	西行桜・醒めても胸の	矢野喜久男	天象万物	田中 栄作
画 室	田中勇次郎	KAN — '95	山口 実	スネ スネ	田中 太郎
ある男の顔	辻 親造	拱手傍観	山田 祥三	箱	谷口 義人
ある夏の日の思い出	辻 司	朝陽の大山(伯耆富士)	山本 朔士	Entrance—'95	辻 弘
花園よ永久に	辻 好子	海	山本 博康	SKY(交差する気)	常松 大純
ひろがりの空間	戸田あや子	漂 う	吉井 爽子	リトル・ボーイが来た 日	坪井 勝人
青のセレモニー'95	富浦 静男	位相'95—立入禁止B	吉川 家永	空にかける階段 '95—XXXV	富樫 実
水辺の風景	外山ムツ子	7. 5. 3	吉野 順夫	水の精	戸津 侃
シェリト・リンド閃光	中右 瑛	平戸愁雲(故)荒井	秀宣	円筒の中の球体より 「四つ」球体」	富田 真平
絵のある風景	中島 弘	麻具波北の儀式(故)小林	武夫	PORQUEROLLES (ボルケロール島)	富松 幹夫
WAVE'95—1	中島 裕	仮面の日(故)高須	国之	偶 話	中野 将
青 玄 記	中田 幸夫	ペテロの悔悛(故)田中	忠雄	水	新名 隆男
白いテーブル	仲谷 孝夫	婦人像(故)山森	元亀	もうひとつのプラン '95「気」	西川 吉彦
花の風景(行く)	永井 瑠子	彫刻		黒い薬草	西山 三郎
初夏のベルゲン (ノールウェイ)	永井 保	生きるものたち~状況 ~	生島 豊昭	トスカ	能勢孝二郎
K 点 — 95	長縄 等	時 空 ・ 95	石井 厚生	クチャ 5 B	能勢 裕子
大地開墾	楢原 武正				

平成7年美術展覧会(団体展)

とりで・試作  
(カササギ)  
PLANET'95  
机上のプラン I・II  
伸 光  
WEIGHT  
魔術師の変貌=  
No. 142  
軌 跡  
浮遊態「バブル」  
1995年  
風景の構築  
NOAE'95  
ふーVー'95  
景 4  
ETHNIC V-VIII  
他 者  
「双 洞」  
森の重さーC  
起 源  
作品W-III  
光風会展81回 4. 7-21 東京都美  
術館

美術の窓 147 高山淳  
出品目録(会員)

絵 画

天使のお告げ  
裸 婦  
鳶舞う漁港  
待 春  
那智瀧 図  
西域紀行  
華やぐふたり  
緑花白鷄  
楼閣のある棚  
威 風  
コリント回想  
木馬に由る  
炉 ば た  
バーユ将軍  
白鳥のパレード  
春の訪れ  
マネキンと羽  
春のセレナータ  
翔 け る  
メ ト ロ  
黒い記憶  
ひとりの部屋  
白 い 音  
路

橋本 省  
長谷川 栄  
馬場 美文  
林 宜子  
原 孝  
藤庭 賢一  
藤本 幹夫  
本郷 宣彦  
松岡 阜  
松永 勉  
松本 雅之  
村井 和夫  
村井 浩  
村上 泰造  
入柳 尚樹  
藪内 弘  
山崎 公裕  
湯村 光  
横田 通

河内 文夫  
天野 文作  
高橋規矩治郎  
金山 桂子  
時田 幸彦  
篠崎 輝夫  
寺島 龍一  
清原 啓一  
寺坂 公雄  
博松 正利  
伊牟田経正  
渡辺 晋  
池山 阿有  
西岡 義一  
梅村 道子  
青柳 敏夫  
竹久 秀樹  
佐藤 淳  
豊田 信也  
大上 敏男  
安元 亮祐  
遠藤 原三  
杉山 吉伸  
大谷 喜男

漁 村  
遠い日の記憶  
眠 り へ  
校舎と鹿  
実験室・50年刻  
聚  
窓  
コル・ニドライ  
裏 窓  
林のある道  
初 雪  
道  
イノセント  
卓  
ひとりの像  
オルゴール  
大原の午後  
浅 春  
遅 日  
冬 木  
百 合  
追 憶  
扇子を持つ婦人像  
遊 園 地  
山 陰 の 海  
お そ い 春  
葡 萄  
運 河  
南仏の古い村  
河 岸 春 雪  
早 春 譜  
陽 春  
平 野 の 家  
山 麓 煙 る  
雪 に あ そ ぶ  
嵐 山 秋  
雪 の 農 家  
夕 映 え  
「画室の…」  
喜 び  
船 渠  
テアトル・フラメンコ  
ボレロ  
静 寂  
瀬 戸  
巖島'95納経  
平成7年1月17日  
家庭教師  
閑 雅  
山陰'95・A

守長 雄喜  
三浦 泉  
桑原 富一  
福井 重男  
佐々木寅夫  
長谷川 仂  
目黒 三雄  
杉浦 隆  
伊藤 芳子  
伊藤 正規  
佐藤 房子  
山之内 弘  
上垣 和子  
森本 博子  
岡 喜八郎  
飯田 弥生  
溝江 勘二  
辻 朗  
辻村八五郎  
山下 忠平  
黒田 頼綱  
竹澤 基  
若林 稔  
鶴房 健蔵  
日原 晃  
柴田 祐司  
桐生 照子  
小倉 定子  
石川 實  
新井 清永  
森 喜久雄  
木村 浩  
小林 辰也  
小野 雅生  
反町 博彦  
岩田 順三  
鷺田 重郎  
小寺 明子  
山本 員之  
佐川 忠金  
小柳 晟  
小山 宇司  
千田 豊  
堀 勉  
北田 和広  
小森 俊顕  
西山 松生  
筒井 博  
福島 隆寿

小さな虹  
蒼 い 空  
南国の扇  
丘 の 村  
出を待つピエロ  
コタンの里分譲化  
床 上 静 物  
輪のある風景  
ま つ り  
化石ー海ー  
浮御堂のある岬  
静 物  
室 内  
水 辺  
遠い国からの贈物  
或る家族  
ランジャナの夢  
前夜「具足」  
待 つ 女  
母 と 子  
よ ろ い  
ま だ ろ む  
丘 の 町  
底 曳 漁 網  
曇る日の漁港  
ワヤンー慶びー  
秤のある静物  
横 笛  
開 演 前  
城 塞 の 門  
ひ き 潮  
安 倍 川 晩 秋  
り つ 子 さ ん  
三島流鏑馬神事より  
津 軽  
ひるさがり  
卓 と 椅 子  
カタルーニャの松  
晩 夏  
穩 間  
明日香・栢森  
雪 の 日 息  
休 浜  
白 い 漁 倉  
ビレネのバイツン  
春 宵  
花 の 静 物  
刻のうつろい

森 勇  
羽生 智樹  
待井 恭子  
大橋 廣治  
輪違 宜和  
中野 雅友  
柏木 信博  
大島 和子  
平岡 秀樹  
二宮 勝憲  
山本 満  
能勢登美子  
狩野 英喜  
稲邑 嘉敏  
小出 賀子  
粕谷 邦男  
本間 ケイ  
原田 正義  
志鳥 堯人  
小林藤四郎  
寺坂 行雄  
尾崎 幸子  
大附 晋  
高城 忠男  
清水 優  
山口 孝子  
小菅 章雄  
石黒 源義  
横尾 正夫  
南寿 敏夫  
村山 俊夫  
佐伯喜三郎  
金子仁三郎  
田辺 宏  
酒井 英安  
寺田 洋祐  
山本 展三  
谷 昭二  
織田 恭一  
渡辺 裕公  
泉 湍津子  
三村 賢治  
松本 正人  
高橋 俊子  
田中 基之  
青木 廣光  
吉田 光慶  
細川 紘関  
廣井 邦一  
町田 博文

陽春のきざし	永井 昭一	獅 子 舞	境 勝美	リゾートドレス	山尾 平
魚 窓	吉原 修	温室のブーゲンビレヤ	野平 上	(M夫人)	小保方 清
想 い	宮内 禎子	95 <sup>7</sup>	橋 三紀	浜 辺	魚森 貞雄
キ リ ム	本間美智子	画家とモデル	熊部 健治	豪 溪	田ノ岡鉄一
ヨコハマ・95	西田藤三郎	自 画 像	矢沢 功	海 の 幸	杉浦 春子
集 う	神保 孝夫	本 を 持 つ	久山 章	冬 野 の ゆり	東 惠美
宵のピエス	山根 功	船 溜 り	村上 巖	麗 ら か	岡崎 金蔵
大津絵の店先	平井 俊男	冬 日 の 朝	北沢 昭男	残 花 雪	小櫃 英子
ドアの前	坂本 直	秋 日 ぶ どう 園	増田 英吉	残 花 岳	林 博史
柿実る五十平の秋	梶井 春雄	大 慈 寒	安東 尚文	浅 劍 春	青柳健三郎
静 寂 鉦 山	青木 貴次	春 寒	永田 精二	或 る ひ と 刻	橋本百合子
五月の庭	根岸 秀雄	ロバの背に	桜川 洋子	陽 射 景	打田 幸男
窓 辺 静 物	中沢毅太郎	食 後	迫田 嘉弘	風 景	長岡 吾郎
雪 間	近藤壽一郎	浜	高山 始	初 冬 の 賦	富岡 忠夫
リスボン裏街	小川 松寿	ブ ナ の 林	桐野江節雄	古 い 静物(乗物)	早川 一郎
田 園 浅 春	瀧沢 徳	青いビードロ	根岸 右司	羊 と 鷺	森田 健司
巡 礼 市	守谷 幸茂	空 知 雪 天	藤森 兼明	二つのポーズ	中村 剛
朝 市	加藤 直子	聖者のノクターン	円地 信二	無 花 果	伊藤 孟
ギリシャ神話	土橋 豊	冬 の 日	西田 亨	露 店 街	楠見 文雄
待 春 心	田辺 弘	霽れてゆく(甲斐駒)	小川 博史	雪 晴 れ	佐野 隆人
唯 心	鈴木 淑江	ス ニ オ ン	村岡 平蔵	南 国 の 神々	安部 武
街	西光寺 亨	麥	田村 一男	築 地 松	鳥屋尾孝吉
北 仏 の 五 月	中村 次雄	遠 山 雪	渡辺 武夫	春 の きざし	杉浦 鐸夫
サーカス	大東 正一	レ・コレットの庭	藤本東一良	店 内 岸	福谷 光磨
チャイナ服のルツ	石田 精吾	セーヌの緑陰	庄司 栄吉	対 岸	横山 好
春 雪	児玉 嶺	セリストN氏	幸島 重雄	尾 道 水 道	荒川 節
追 想	村瀬 清一	古 都 の 春	阪倉 宜暢	ひ と と き	浅野 昇三
人形とタペストリーと	谷 晶子	ス ペ イ ン の 女	田中 実	待 望	(宇城)辺時志
卓上の静物	阿部 和美	粧	長井 功	雪 の 山 湖	小川 武雄
冬 の 光	中島 明子	道	佐野 稔	ラ ン プ	渋谷昭五郎
太 鼓 う つ	益山 英吾	港 の 工 事 場	鶴飼 幸雄	インド衣裳をつけて	吉田 富美
雪 降 る 湖 畔	保々 正夫	古 い 都	青木 正子	水 ぬ る む	菊地 稔
少女の居た街(神戸)	河本 和子	地 図 の ある 部 屋	井田 重男	ピ ア ノ	早田 嘉之
裸 婦 (故)	水上 信雄	峠 の 松	西村 満	驢 馬 と 遊 ぶ	酒巻 和世
劔 岳 冠 雪	高倉 一二	流 木	大野みつ子	車 内 座 像	青山 一光
小 休 止 念	若杉 若菜	イ ン ド 回 想	米満大九郎	港 の 冬	中川吉次郎
怨 念	石田 茂嗣	朝 市	坂手 得二	造 船 所 一 隅	川名 満
梅	井口 啓	春 II (牛 窓)	岡野 靖夫	シ ョ ー ウ イ ン ド の 前	宮崎 淳
椅子による	藤井 芳子	過 る 刻	松本 昇	荘 厳	島戸 繁
橋 下 風 景	市丸 仁孜	虚 像 II	野中 弘士	能登の朝市(輪島)	川村 嘉久
枯葉と土器と (故)	秋元 松子	ロ ス ・ テ ハ ー ド ス	浅井 光男	春 待 つ 女	千名 恒
板屋窪待春	矢野 雅章	遠 い 日	野崎 義典	フォルトゥーナ	金井 恵子
残 雪 (故)	足立真一郎	早 春	高木 博道	鞆 の 浦 漁 港	藤井軍三郎
工場「タンクのある」	吉見 愛子	Que guapa	中村 一雄	内 蒙 古 の 高 原	小林 窈子
美しき追憶・はらからに	黒田久美子	飾 り 棚	小高 博	今 井 町	大道 武男
タクシラのある静物 (故)	白川 一郎	更紗にランプ	明野 千秋	素 足 の M	西出 緑
ペローナの赤い家	松浦 莫章	追 想	山本 宣子	ア ト リ エ の 一 隅	花田 忠吾
水車と老人	東 嘉美	カラコルム追想	太佐寿一郎	広 場	熊沢 欽三
		赤 備 え	鳥居 昇	ア ト リ エ の 静 物	松崎 隆雄
		少 憩			

平成7年美術展覧会(団体展)

エブロン着て  
残花  
歩道橋のある街  
いか干し  
杜  
丹頂鶴  
塔  
冬木立  
シャルル、マーニュの物語  
寺院(カルカッタ)  
行路死亡人引入人  
樹間  
クレーンのある風景  
鉄路の人  
雪の東大寺  
常滑影  
流娘3人(95)  
船腹  
平松武大神  
バリ風景 サンジェルマンにて  
ヨシコサン  
根子岳遠望  
晴間  
漁港にて  
漁士  
作北の冬95'  
日向路  
大岩山日石寺磨崖仏  
塔のみえる家  
気  
河岸の石粉工場  
水路  
工芸  
赤象  
旋律  
閃光(フラッシュ)  
PIAZZA(ひろば)  
象  
昂  
祈りの朝(アッジ)  
花冴えて  
浮氷  
啓示  
季の彩  
フラムスチード幻想  
Erewhon

松本悦子  
藤井栄  
植原利光  
門脇博光  
中岡満義  
石田克彦  
宇佐美敏男  
小泉政孝  
日野功  
新井康須雄  
伊藤靖夫  
林泰二  
千原成一  
石田整昭  
音羽禿也  
富田久嗣  
本多京  
加藤吉春  
瀬島勝興  
土井六郎  
山本彪一  
富川潤一  
森本洋  
堀井健美  
代谷実  
山本虎雄  
権田直良  
津田克巳  
森清彦  
池吉彦  
石井實  
渡辺一美  
喜多善三郎  
和田潮  
櫻井博  
オーゼ・ル  
ブラギル  
メット  
青柳恂子  
長戸瑞子  
南和伸  
佐伯道子  
岩井絹江  
日下部美和  
今井ひさ子  
川瀬和子  
飯沢能布子  
安田真紀子

拭漆盛器「鳥」  
蠢動  
北邊  
蒼穹  
春の雪  
麗  
青春のたわごと  
気まぐれ天使の軌跡  
聖日  
二つの樹  
湿原の詩  
悠春  
春遠からじ  
憩う  
布目象嵌 創  
霊峰  
ぶなの森  
公園・昼下り  
「花」 95  
遙岑  
陽に染まる  
悠遠  
冬の虹  
地球への願いP-II  
游超  
飛超  
春待ちの邑里  
火喰い鳥に出会った日  
(ニューギニア)  
顔(かお)  
萌芽  
遺跡  
器(うつわ) (故)  
扁層の器  
灰釉窯変 星の輝  
深秋の里  
待春  
いらか「95-3」  
抱冠 - II  
風鍛銅空想  
枝垂れ  
萌芽  
海のグラデーション  
辰砂の花  
HANAIRE  
宇宙の躍動  
花吹雪  
余韻

菅生均  
花房昌子  
中村矢一  
東福時子  
花房花子  
桂川幸助  
土屋智恵子  
佐藤紀子  
吉松道子  
高池録博  
畠山三代喜  
馬淵諭子  
深沢範子  
由井躬典  
水内君江  
堀友三郎  
岡部昭  
丹下健三  
三井淑枝  
荒井司朗  
中谷あつ子  
小岩繁  
安達順子  
伊藤忠次  
石本愛子  
堀口泰三郎  
藤本肇  
三橋國民  
中野晃嗣  
片岡宏幹  
城戸夏男  
(故)中村俊介  
金野光賀  
市瀬貞人  
川原浩二  
瀬戸栄子  
和泉清  
佐久間啓介  
古庵千恵子  
原松三  
高橋五郎  
米沢久  
羽二生隆宏  
岩橋正輝  
中野忠  
餘吾博子  
金丸水明  
矢野明日香  
古市文子

国展69回 4. 23-5. 7 東京都美術館  
美術の窓 147 高山淳  
日経 5. 2 宝玉正彦  
出品目録(会員)

絵画  
風景(1985年) (故)大池 宗作  
画室の静物 (故)橘野 富彦  
楽器のある静物 “  
海底の華 (故)国松 登  
The Birth-95 阿伊染徳美  
化身 赤岩 賢三  
若按司(琉球組踊より) 安次富長昭  
浮世絵の背景 安達 博文  
アンチープ・マリナー 天春 永次  
冬のおとずれ 有賀 由延  
風の音色 安德 瑛  
景色 安藤 禮子  
水田シリーズより 飯沼 一道  
「安曇野・秋」  
蛙の疎開 石井 佐一  
風の影(95-B) 石井 豊太  
鉄橋の見える駅 石原 宏策  
潜と顕 石原 章吾  
人のけしき 伊東 浩一  
箱 稲垣 考二  
日射しを楽しむ人びと 井上 悟  
海に行く道 井上八重子  
女三人 今関 一馬  
円環する風景-水と墓標 岩井 康頼  
西瓜のある静物 岩尾 秀樹  
WILL-120 岩田 和子  
樹木喝采 植月 正紀  
只見川上流 宇田要之助  
relation-c 内田千代子  
樹下 梅宮馨四郎  
ヨット 浦郷 利安  
Coleoptera-13 浦田 和義  
白い朝 江藤 明  
鳥たちの館 榎田 八郎  
野の幻想 蝦名 協子  
コスモ・鳥の様に 江村 正光  
切り取った風景 遠藤 賢  
親馬仔馬 遠藤ミマン  
音楽師たち 大島 幸夫  
春の構図(7-4-1) 大清水咲子  
作品95-A 大田 洋  
風のステーション'95 太田垣匡男  
悪疫 大塚 勇

道化の憩  
 連続(5)  
 人の砂漠  
 パリの情景  
 卓上風景  
 ラビリント  
 (Labyrinth)  
 月下  
 ミルキーウェイ・  
 95-4  
 凍花  
 泡(沼)  
 曲芸をするピエロ  
 断層'95  
 暁月夜  
 花風  
 牧童  
 地・時・暴  
 花時計  
 彼方  
 闘-95  
 視線の彼方に  
 果実をつむ人  
 黒い月の牧野  
 樟様  
 動物のある風景  
 夏から秋そして冬  
 人(トルソ)  
 「Dunhuang」  
 明りを求めて  
 立ち去る二人  
 絵馬'95(いつか見た風  
 景の中に)  
 ASSEMBLIAGE  
 脱ぐ  
 北の壁跡  
 Fight on Ice  
 破壊の更正  
 浮遊  
 坐す  
 遊園地  
 砂の上(浜防風)  
 現われたとき  
 満月の事象  
 鳥たちのエリア  
 古里讃歌(文楽の祖)  
 5-C  
 景(石・椿)  
 クロ「95-1」  
 ARCH'95-3  
 ZEPHYR

大歳 克衛  
 大西 博文  
 大沼 陽子  
 小原 キク  
 加賀美 勤  
 柏 健  
 梶原 章  
 金谷 雄一  
 鎌田排捺子  
 上司 ふじ  
 亀井 貞雄  
 川井 一義  
 川村 浩章  
 菊地 辰幸  
 貴嶋 ユミ  
 北野 隆祥  
 北村 綱義  
 貴堂 静栄  
 木村 正  
 金城 規克  
 久保田 裕  
 栗林今朝男  
 小館善四郎  
 小林 憲治  
 小林 幹利  
 駒込 繁芳  
 齋藤 静輝  
 齋藤 隆三  
 神 美代子  
 坂谷 和夫  
 佐々木節雄  
 佐々木 豊  
 佐々木良三  
 佐藤喜久弥  
 佐野 晃子  
 塩川 高敏  
 渋谷 円吉  
 渋谷 利夫  
 島内 きみ  
 島田 鮎子  
 嶋田 員子  
 島田 章三  
 下瀧 泉子  
 申 相保  
 城 康夫  
 城福 一男  
 菅野 充造  
 角 迪子

人は森  
 再会(季)  
 神戸95・1・17  
 平 泉  
 窓 辺  
 朝 風  
 春うらら  
 海 風  
 赤い騎士  
 風に聴く  
 天使の忘れもの  
 '95童  
 空に酩酊  
 偏在するもの  
 遠い光景  
 航跡  
 踊る躍らず躍らされ  
 百合  
 自然観察の方法  
 -'95-III  
 碧空・散  
 風景の中の顔  
 根一蒼II  
 松 林  
 The gate  
 紫花  
 ふるさと'95  
 冬潮  
 崩れる  
 仮空の平面  
 EL-ÄKHERA  
 '95-3 Specimen  
 1955-I  
 活カ  
 吟遊詩人  
 「気遣い男のバラード」  
 聚落L  
 4 Ballades'95  
 「HADO……」A  
 叢  
 南の風が吹く頃  
 百花(II)  
 熱砂  
 鳥かごのある静物  
 白の刻  
 時空を越えてとぶ  
 人人  
 トルソ  
 静かな日々  
 第十九番目の戒め

瀬川 明甫  
 関谷 一夫  
 祖父江弘幸  
 高橋 美則  
 高橋 靖夫  
 高松 勝治  
 高山 正弘  
 高松健太郎  
 田代甚一郎  
 田所 義信  
 田中いっこう  
 谷口 晶之  
 多納 三勢  
 田宮 進  
 千原 稔  
 津地 威汎  
 積田 鯉士  
 寺田栄次郎  
 寺田 和幸  
 徳弘 亜男  
 中沢 知房  
 中村孫四郎  
 長野 静司  
 西川ひろみ  
 西野 浩子  
 西村 駿一  
 野田 好子  
 野中 進  
 秦 克彦  
 幡谷 純  
 花田勝太郎  
 羽生 出  
 張替 正次  
 半田 強  
 平田 勝規  
 廣田 成生  
 廣末 勝己  
 福井 敬一  
 福岡 冷子  
 藤田 吉香  
 藤永 俊雄  
 藤本 洋文  
 星 兼雄  
 星 潔美  
 星 守雄  
 本田 克己  
 前田 宏子  
 増地 保男

Composition-LaB  
 椅子のある室内  
 組  
 ÔP-TI-MISM.95-I  
 Opera N'95-1  
 心象風景III  
 野仏曼陀羅  
 葉の詩  
 真希  
 橋. PONT(パリ)  
 収穫  
 ビーナスからの解放  
 94-08  
 POETICA95-2  
 ゆかた姿  
 Gelände  
 -49-  
 創世記四題  
 すぎゆく刻  
 彷徨  
 Pulse 5-95  
 窠変  
 アトリエの中で  
 タンバラン・C-2  
 万葉人からの手紙  
 VENEZIA-光と影  
 マブル・パレス  
 剣・八ツ峰  
 峠  
 ボンタンのある静物  
 旅立ち  
 版画  
 美女花の宴山百合の花  
 1994  
 ヒトタチ  
 N夫人  
 何かが起きる  
 種まく人  
 アルベルト・  
 カルペンティール  
 春の祭典95-B  
 夕の湖  
 Lake in the Evening  
 標本図・花二輪  
 Micro Map'95  
 いわたきよし  
 妖精から人へ  
 High-Speed MYTH  
 湖山<不二・日月>  
 レマン湖  
 風の中の仮面  
 終幕  
 古代の賦'95-No. 3  
 町田 二郎  
 松岡 滋  
 松野 良治  
 松原 武雄  
 真野 岩夫  
 三ツ山三郎  
 宮木 薫  
 宮下 直子  
 宮下 実  
 宮田 晨哉  
 百瀬 郷志  
 森 芳仁  
 森田 孝夫  
 森本 草介  
 矢岡 壮介  
 安井 正子  
 安富 信也  
 山口 静治  
 山田 晃  
 山寺 重子  
 大和 昭治  
 山村 博男  
 山本 師朗  
 山本美佐子  
 山本 勇一  
 吉井 章  
 吉田 清志  
 渡辺 真利  
 和田 忠志  
 和田 義彦  
 平塚 運一  
 青木 鐵夫  
 阿部 陽子  
 荒木 良子  
 伊藤 眞澄  
 稲垣 朱実  
 井上彌五郎  
 刑部 達雄  
 園城寺建治  
 金守世士夫  
 川西祐三郎  
 木村 義治  
 熊谷 吾良  
 栗山 茂

平成7年美術展覧会(団体展)

地の幸(3)	斎藤 清	陽 春	染谷 英五	スリップウェア-楯円	柴田 雅章
暎―“宙の舞”	サイトウ良	マスカン-2001	高橋 洋	大鉢	
WORK95	品川 工	「浮翔そして銀河へ」	千野 茂	緋 着 物	清水 明子
苦・集・滅・道	白鳥 勲	砂 浜	塚田喜司郎	春 が す み	清水 昌子
樹 765	鈴木 幹二	稚 佳 子	薦 龍明	赤 い 蘇 鉄	祝嶺 恭子
風	世古 剛	陽 積 層	鶴田 清二	紬地着物 染日	添田 敏子
野火'95-A	高橋 省三	人 工 島 794	中本 成紀	和	
天 上	角田 元美	覆 水 船	夏池 篤	染付艸文大壺	瀧田 項一
“時”95	成田 光二	ヒヨリの座像	西野 慎二	飾り布 私の庭	立花 長子
人 た ち	長谷川安信	天使の来る日	西村 公泉	段緋花・紹着物	多和田淑子
蝶の幻想(95-2)	平野 正房	風 神 息 吹	林 宏	藍 染 絞 布	鶴岡 良子
WAVE95-3	廣江 嘉郎	時間旅行者のために	原 透	タビストリー-春抄	寺村 祐子
砂 の 本	星野美智子	小さな石	本郷 寛	Bovenden・夏が来た	出口 普子
明けて睦月-声明のあと	前田 政晴	あしたの予感'95	本田 貴侶	花紋・藍紬着物	土手 武彦
すみれ色の謎	増田 陽一	立ち話	三島 喜一	鳥 と 花	中村 裕子
作品 9501	三村 博司	「記念撮影	峯田 敏郎	根来大手鉢	夏目 有彦
はやにえのある風景	本橋 雅美	一步行者天国」	山崎 哲郎	型染布・森の中	名取 敏雄
水辺の音	芳野 太一	Circle-No.16	吉沢 榮敏	円	原田 麻那
終 曲	米倉 泰民	マサッチオによるアダ	吉村 寿夫	壁 掛	原山 雅子
幻想	渡邊 禎雄	ム	四田 昌二	染 布	広瀬佐与子
彫 刻		表・裏・堆'95(I)	渡辺 忍	緑 釉 壺	藤井 佐知
朝妝'95-1	秋山沙走武	幼 き 頃	渡邊 利尙	三 釉 釉 大 鉢	船木 研児
春花 VI	浅利 竹清	氷 環	薬谷 収	三彩硝子花瓶	船木 倭帆
花	荒川 明照	雪 函		梅	古澤万千子
コートの女(花束)	有村 辰夫	乾いた風景		A Taste of TURKEY	豊 仁美
樹下美人	石谷 孝二	工 芸		櫛拭漆鎬文台皿	松崎 健
記憶	猪瀬清四朗	おおぎり	足立 靖子	織部唐草文皿	三戸部克子
洪水の夢	岩崎幸之助	面取糠釉瓶子	阿部 祐工	藍 染 絞 布	ルバース・
風の標識No.39		白磁面取り花瓶	石飛 勝久	首里花織タビストリー	ミヤヒラ吟子
The Sigh of the Wind	大成 浩	ぼたん雪	板倉真理子	'95	
No.39		ほたるの里	稲嶺 杏子	手結緋青空	宮平 初子
日はまた昇る	大貝 滝雄	霞	今井 洋子	染 布	村上 窈子
時	大木 達美	'95 捺染布	入江すぎ枝	緋 着 物	柳 栄枝
心の痕跡	岡野 裕	イメージ五十三次	岩上 悦子	ブラック&シルヴァー	柳 元悦
角 笛	小川 清彦	薊 文 皿	大崎 敏江	シリーズ壺	
予 感	笠原 鉄明	遠 景	大澤美樹子	KZRF WSL959501	柳 由紀
蠢 め く 柱	粕谷 圭司	つむぎ着尺	太田仔至子	手綱 紬 着 物	柳 悦州
遺 跡 の 人	川田 清	インカの幻想	大槻 圭子	マ ン ト	山縣百合子
印された場所	菊地 伸治	飾り布 幾何文	大橋 隼雄	大 沙 河	山本 和子
Silent Waves	菊池 誠	型染め飾り布	岡本 隆志	型 染 布	柚木沙弥郎
ある風景	北村 善平	春 想 う 時	岡本 紘子	つむぎ着物	吉枝紫津子
或るひと	古島 実	藍 染 綿 絞 布	片野かほり	飾 布 ・ 丘 陵	四本 貴資
耀	小林 豊	青地格子緯緋着物	北畠 雪子	織 布	綿貫 倫子
う ま れ る	佐藤 勲	(白梅)	熊谷あかね	自由美術展'95	10. 17-31 東京
白のイメージ	佐藤健次郎	花 あ ら れ	熊谷もえぎ	都美術館	
ゴ リ ラ	柴田 善二	道 く さ	小島 貞二	美術の窓 152	高山淳
OBLIQUE LINE	鈴木 茂	アグニ&スーリヤ	小島 恵次郎	東京夕刊 10, 26	
淵 然	鈴木 正道	壁掛シューベルト作曲		出品目録(会員)	
KOTOの肖像	鈴木 実	“鬼火”		絵 画	
音と音の間で	関谷 光生			赤 の 作 品	高橋 靖子
				黄緑色の作品	〃

'95 作品 37 番	アオキスミエ	生活 範囲	霊山 邦夫	解体 前 III	佐藤 廣子
生命合成—ダイオキシンの雲	大野美代子	SPACE'95—III	田口 厚子	SHAPE GAMES	岩崎垢仁彦
作 品	土器屋杏子	「回 生」	上原 二郎	虚説 画像 I	井上 裕司
かたち・しろ	寄重 弘光	状 況 95	宮滝 恒雄	昨日の牧地 2	前田 徳
閣 僚	井上長三郎	作 品 I	河内 登国	モシモシする人1	澤田 昭英
ふ たり	〃	破 局 2	西尾 裕	揺 れ る	三田 耕之
カシオペア I	小野 克子	作 品 景	児島みつ多	ハート型の扉	福寿 一三
風	井上 照子	ボエジア・A	鈴木 節子	予期せぬ出来事(II)	山崎 由佳
こ か げ A	〃	'95DUMMY B	山崎 芳直	ムルノワの海	山本 健司
ま ひ る	〃	焼 土	森内富久志	インナートリップ	末武美津子
風 景 色 '95 II	脇 正人	作品(すだれ)	井戸原亮二	犬	宋 英玉
風 景 色 '95 I	〃	ジレンマな騎士	広瀬 敬	悪いやつほど	小坂 格
室 内 B	関 正和	う づ	岩尾 善幸	地のプロフィール	平岡 潤
室 内 C	〃	鳥のように	田原 史	RED—EE	桑島 定男
作 品 A	佐々木美枝子	H 7	窪田 旦佳	ヒトの記録 I	武田 仁守
風景の中 2	飯塚 貞	デヴァシーの舞	斉藤 勤也	排 気 孔	吉田 耳浪
縄文の貌95—4	伊藤 博	出合いの風景M	海見 久子	旅 路	沢木 鈴江
緑のある室内	森山 誠	朱をよぎるA	岡本 勝	器 物 達 の 架	沢木 鈴江
古 代	久田 弘	かたち'95—I	宇都宮マリ	地表の器物達	赤木 幸輝
失 題	〃	ある風景'95—2	岡橋 繁次	壁 B — 4	〃
輪 廻 — 95701	ニシオトミジ	顔	亘 益慧	壁 A — 2	吉見 敏治
輪 廻 — 95922	〃	風 景	市川 慶子	水 府	〃
均衡力について I	小澤 基弘	重 い 眠 り	市川 秀光	風 景 の 跡 1	石田 貞雄
SPOT—ホロノベ(A)	中野 智	扉 標 2	工藤 英胤	風 景 の 跡 2	一木 平蔵
コンポジション(A)	井上 リラ	アイリス 3	市村 力	浮遊する4月	〃
コンポジション(B)	〃	白 い 予 感	清野 満敏	碍子のある風景	大野 修
constellation	竹内 弘	人 間 模 様 A	林 ヒサ	メカニクな風景	〃
海に帰る	村田 知子	プールサイド	池内 茂吉	轍	奈良 柱
海に生まれて	〃	ムルロアの海	市川 鉦次	CAFÉ	ミズテツオ
廃園にてNO—9	太田 正明	胎 17	石川 嘉一	ZEAMI	〃
廃園にてNO—10	〃	95 — 11	小山 勇	訪 問 者	広瀬 一二
嫉 妬	大和 良輔	ビ ュ シ ス	増田 暢士	連動する形(A)	神田 千里
消えていった、女	〃	原 風 景 (B)	日名子金一郎	連動する形(B)	〃
ファンタスティック—	伊藤 和子	標 (95・夏) III	齊藤アツコ	ゴ リ ラ	小間野生穂
ランド	額田 哲郎	Movingメカ(赤)	古賀 政信	じいさんトリオ	横尾 茂
WORK86	池田 一未	室 内 か ら	平山 堯通	記憶の存在8月	溝田コトエ
地 霊 '95 — 1	八幡 健二	見 つ め る	佐藤 圭子	記憶の存在白い馬	〃
むすんでひらいて	川添正次郎	あ る く	古田由美子	秋 の 首	福田 篤
地 II	〃	グリーンフィールド	坂内 義之	詩 人	大塚 博
卓上のもの	十時 良	風景の中の素朴な人	田辺 和栄	時 の 迷 路	平澤 重信
地表の風95—6	田中 秀樹	95—3	宇野 之雅	時 の 韻	〃
異 国	小西 照	SPACE IN'95.NO 3	百瀬 博	Images in Blue	笠松 昭吾
時 の 散 髪	浜岡 源三	樹 ・ D	有馬 勝彦	メコン河(A)	川上 十郎
雨 具	〃	田 舎	関 富士夫	発 掘 (3)	石川 恵助
閉じ込める	竹中 稔量	ねこと女—II	竹内 稔	椽	玉井 敏子
TRIO	池田 和美	飼 育 (1)	嘉屋重順子	〃	〃
作 品 953	菅 記昭	二 人 95 — A	小玉 育子	西からの便り	近藤 白徒
胎内回帰 II	福田 須美	50年悲歌恍惚・3	草薙 隆	混沌の内なる軌跡~B	岡本 生司
赤 い 風			板津 包信	混沌の内なる軌跡~A	〃
				樹 木 の 像	丸山 武男

平成7年美術展覧会(団体展)

証言する形 I	吉沢 信昌	森 '95 - A	石井 克	見えるものとの対話	呉 日
空のある街	美濃部民子	森 '95 - B	"	グレーの風景	服部 与一
ねじ巻き鳥 II	公文 淳子	行列 B	伊藤 利夫	気配 (春)	谷 千里
人間風景(95-危機A)	田村 妙子	游 '95 - 4	浜田 賢治	唄	長谷川 匠
風景	笹賀 捨雄	踊る人々	兵藤 寛司	パンのある風景	光山 茂
脳へン	橋本 憲治	二人の世界	"	冬 < I >	東宮不二夫
ある日 2	中尾 知子	おんなたち(III)	山口 柚	今日	伊藤 朝彦
二人	小倉 信一	D-GIN	醍醐イサム	五月	"
波浪警報	谷本 重義	"	"	颱風常襲地帯	岡本 実
群れ	市橋 安治	果実 A.	六角 尚武	小さなオアシス	藤林 叡三
風の断章-951	森田 廣	埋もれた記憶D	今泉 忠善	前の座席の男	"
街	村秋 木綿	埋もれた記憶A	"	かたち(昭和)	井上 肇
抵抗譜・心象	長谷部 昇	生へ、タンポポの穂	山河 虹	二人	"
予感(包)	山本 哲生	一本の杖	"	ある風景'95 I	樫尾 直
柑塙	名久井國男	アフター、イメージ	高松 功	音のない部屋	佐々木正芳
座る人④	石橋 弘一	510	"	たそがれる時	"
風景	比田井希仁	アフター、イメージ	"	ソレイユブラン	河野 節
陰	古橋真智子	511	猪俣 彪	'95 腐朽	西沢 滋夫
作品 95	毛内 義衛	文明による滅亡 1	村島 定児	ヒロシマ(三位一体)	有村 真鐵
変容 (A)	藤村 英子	集落 B	比志 恵司	古代から	斉藤 國靖
磯	梅原たづ子	二枚舌	石田 政義	母情双体図	奥田 紘
天使 A	桜井 直子	陶土 ④	鈴木 隆弘	黄金の雨	小川 リエ
木立	佐藤由喜子	朱く染まり包まれて...	中村 千恵	酸蜻	"
無題	黒岩なぎさ	移り行く時	中野渡みね子	遠い日	佐々木あゆみ
森への帰路	土田 恵子	'95ゆうゆうNo. 1	塩谷 壽久	ファミリー祈願	水出 陽平
街 2	八島伊津子	朝を招ぶ人 1	三浦 照	選手達	"
触景	森 健	戦争はもういやだ (猛火の中を)	はらたはじむ	内と外	小作 青史
メモランダム95-I	梅村美登里	軍国教科書墨塗りの日 (戦後50年)	"	正義について	川森 巧
2つの実験室A	吉野 誠	トルソ A	友成 光臣	異邦人'95-1	斎藤 昇
静物	田島新一郎	ヨウの樹	森 美佐子	風水	柳沢 達夫
時象 I	内藤マトミ	窓 0	塩井 裕子	対話	高三権
状況	遠 正夫	作品 3	一ノ澤文夫	作品-95-P-IV	高橋 エイタロー
-95-No. 4過ぎゆく	赤堀 正巳	夜のために-1	野辺 和代	エドフのガス屋	藤島 清平
日々	三島 愛子	景 (D)	渡邊 雪子	'95-8 未来	東谷 弘子
21世紀の夜明け	小林 成行	作品 Z	連 正子	叫び	新見 孝
秘密の朝	平出 速雄	風景	小倉勇喜男	ターパンの男	"
作品	大森みどり	視る I	中田 京子	風色 B	金子 箒治
おだやかな・時-A-	加古マツオ	中に、95の12	田守 正道	何処へ II	木村 恭己
鳥たちのアセスメント	佐藤 泰子	ある風景 II	岩井 紀子	生贄 95-2	藤本 忠彦
会議	品川 則夫	時の彼方へ-21-	よろずふきこ	叛	的場 幹英
finish B	飯田 春行	渴	松本由紀子	標本	児玉 晃
沈黙する森 II	磯部 克己	吊	藤井喜久雄	ひまわり	西 さだ子
地霊	西村 慈	入り江 (II)	村上 武臣	わかっているだろう	溝口 武
静物	野口 高史	雲と丘	宇佐美國典	裸体図 4	大橋 忠幸
自然観察	市村 麻	虫の声	田山智砂子	牛風景23少年と牛群	川村 晃夫
軌跡 II	大澤 啓三	花の傷口	浜田 夏子	幻華... 95	島津 広二
沼	谷内 徹	川のある風景	小野 精三	水揚げ	田茂 山実
樹の心象 95	多胡 宏	こだち	飯村紀代子	迎えられて(II)	宮野 浩
翔 I				寓話	青木 健真
SELF AND OTHERS(去り行く者)					



自我の構図 I	原口 知行	樹 葉	隈部 直臣	ク ミ コ	尾島 峯正
崩れた壁	太田 幸雄	蝕まれゆくエンタシス	兼原 啓二	道	若杉 儀子
金曜日のローズ	新村 稔	希	下倉 節子	2 個の生態	岡野 孝雄
〃	〃	胎	野村 和弘	はな957(偽りを慕い求め める橋)	北村 隆博
不 安	甫本 兵吉	S 女 人	趙 仁赫	ある 構造	島田 忠恵
'95 刻 II	森谷 連	清 流 も	高橋昭五郎	主体展31回	9. 1-16 東京都美術 館
最後の中学生	竹生 節男	子午線-I(時と空)	小口 一也	新美術新聞 746	宝木範義
混 沌	水野利詩恵	森を見た日	岡沼 淳一	美術の窓 151	高山淳
男女(恋すれば)B	曾布川秀夫	流 転	松原 破生	東京夕刊 9. 14	
三 美 神	古田千鶴子	背 合 わ せ	佐藤 紘行	出品目録(会員)	
彫 刻		人体のフォルム'95	松尾 豊	ロトの娘たち	矢野 利隆
ふたり・1995一門一	白沢 菊夫	“うたかた”の譜	倉部 久司	都市空間(田)	浅野 修
杜に立つ	川崎 文雄	明日に向けて	大槻 京子	都市空間(圃)	〃
'95ほこらの祭り	高野 寛	桃 一 1	中谷 唯一	切り取られる風景'95	中島 佳子
シンザン	今西 義輝	椅子の少女	長谷川由美	北斗のかたち B	野本 醇
積層No. 52-3-'95	横山 省三	女 像	安藤 士	北斗のかたち A	〃
花 NO7	梶原 勝	想	佐藤 範夫	楽園の寓話	結城 智子
森へかえる日	中馬 洪治	新し い 月	村上 裕介	ニワシドリ 森の記憶	榎本香菜子
臥 雲	垣内 治雄	天 恵	米坂ヒデノリ	昇 天	尾崎 平次
風の子・95・E	松本 光司	柱	若尾 圭介	沈んだ街	見藤 瞬治
若い女	西谷富士雄	内 蹟	飯澤 喜七	象-しょう-	柏木喜久子
弾 く	佐野 文夫	それぞれの朝	井上 玲子	小鹿野歌舞伎(松王丸 と女房千代)	小菅 光夫
舞踊家 大野一雄	井上 信道	第一幕-揺籃期-	宮原 茂	南伊・マテラ	佐藤 善勇
回 想	金 貞姫	封 印	阿部 忠	O氏のいる風景 (シチリア)	〃
父	大槻 英理	ぬける(波)	森 真	忍 路	田中 淳
三人	松下 元昌	悲しみの島	久村 進	眩 尾	岩見 健二
夢遊する生命体	安丸 信行	トルソ	大石 尚	足	続橋 守
揺籃一(吾子のために)	杉 英行	何 も ない	肥沢 直子	京 浜 運 河	〃
蘇 生	岡本 勝博	遠 い 空	諸橋あずさ	波の記憶・浮島	迅町 勝治
間隙=2つのかたちか ら=	村上 昌子	The Divine Comedy	渡部 一重	森の鎮魂のために	平沢 敏雄
隕石の化石	田島 義朗	「親父の好きだった遊 び」	近藤 鑑郎	サントロッペ	植田 寛治
旅人(羊飼い)	池田 宗弘	バクバク	小野田 勝	途上の群より「青い鳥 の行方」	小林 清繁
Person 3	松田 真治	INSIDE-B	佐山 道知	横たわる女たち (故)	加藤 一
アウローラのトルソ2	伊藤 鈞	トルソ 1995年	板津 邦夫	緑 陰 '95	加藤 勤
夏の雲	安 茂	風の家	古賀 隆一	寂(彼方に)	中村 芳雄
金 魚	松浦 圭子	風 媒 花	安 ちか子	無 風 鈴	川手 吉
力 士	吉村 主税	カメの誕生と金魚の死	中嶋 一雄	作 品	柳沢 安雄
訣	鈴木 隆彦	樹の周辺'95	吉田 光正	舟小屋(佐渡)	伊勢 正史
頭 像	中谷 真理	母に捧げる	三島 洋人	沢崎(佐渡)	〃
想 う	鈴木 徹	風 向 計	中川 洋	潮のみち(潟)	佐野 正隆
馬 と 娘	〃	地 の 声	長嶋 栄次	雲のある風景	手塚 国彦
馬(遠野物語)	〃	広 場 に て	竹股 桂	うたた寝	保坂 淳
老 犬 散 歩	峯 孝	軌 跡 の 器	山我 敏	2 人	〃
F 嬢	〃	街	竹本 鉄夫	不 登 校	北村 尚史
路 標	岡村 光哲	扉の向こうで 一危険 な思考を確認する男一	二森 騏	梓 の 外 へ	関 晴明
道 標	中林 雅代	ある日突然に	渋谷 藤郎	浮 遊	平松 常子
トルソ(座像)	堀田 清	Suddenly one day	堀尾 紀之		
クモノ、スミカ	青木 誠一	甲殻類 一天秤丸虫一			
茜 色 の 時	藤倉久美子	おどる(壁)'95-2			

平成7年美術展覧会(団体展)

受 教 者 菊地 長市  
 ファミリー 石川 惇一  
 信 濃 路 濱 哲郎  
 変容する静物「嶽」 菊地昇栄太  
 嬌 恋 風 景 山崎 弘  
 人人(室内) 前田 孝造  
 陶 土 の 街 小野 昭  
 陶 土 “  
 垂直線のある風景 平沢理紀夫  
 両 界 塚田 猛昭  
 トルソーの有る風景 田中 朝庸  
 長いトルソー 石井 義雄  
 卓 上 と 人 中西 幸司  
 五 月 流 れ 賀川 忠  
 踊 る 船 橋本 章  
 閉じ込められた風景 筑波 進  
 地に住む魚(断層変位・緑起図) 小野 絵麻  
 その前夜・街・人'95 内藤 純璋  
 隠 れ 場 中川奈哥子  
 団 地 酒井 健  
 北 邑 残 映 花原寿美恵  
 life—さかだつ 福田 玲子  
 対 座 前田 進  
 春 の 断 章 堀内 菊二  
 風 景 の 風 景 紺野 修司  
 残酷な季節・豪雪地帯 小谷 博貞  
 景 吉江 新二  
 浄められた夜 西 良三郎  
 涼 風 加藤十三郎  
 秘 境 の 旅 “  
 叢 峻 残 夏 与志崎 朗  
 ふるさと《櫻》 泉 幹夫  
 気取った香菜ちゃん 宮崎 照雄  
 ビ ー ス “  
 スペイン紀行(丘の街) 長尾 和  
 漕 刑 因 関戸 伸  
 門 井沢 元一  
 秋 色 坂本 勇  
 兆 し 大村 連  
 武甲山(1995夏) 磯村 敏之  
 憩 松井 豊  
 早 春 森 芳雄  
 無 題 西村保史郎  
 バガン暮色(ミャンマー) 井上 俊郎  
 レ ・ ボ ウ 八幡 三郎  
 石切り場の女 小谷 良徳  
 河 口 石井 公彦  
 画室から'95—1 種倉 紀昭  
 過疎地帯'95—2 木村 栄治

新 生 佐久間義江  
 彫刻と男達 塚田 重明  
 運ぶ人たち 荒木 道之  
 作品No.22浮遊 津田 益男  
 森の変調 奥井 章夫  
 おもかげ 大谷 達雄  
 逃 走 森川ユキエ  
 お び え 渡ヶ敷唯信  
 種 蒔 く 人 吉井 忠  
 風におかされた神殿 大野 五郎  
 三 頭 の 牛 中村 輝行  
 「僕もやろう!」 塩水流 功  
 森のかがやき 島田由紀子  
 左手のデッサン帖より 倉石 隆  
 左手のデッサン帖より “  
 杜・管・眇 岩織 治  
 '95 断 章 宮武 純一  
 春・長崎風景(墓地のある) 高橋 芳唯  
 Sが丘の女達 中川美智夫  
 人の記憶 森田 六男  
 夏に描く 石川 歌子  
 馬頭標ある風景 八橋 誠滋  
 越えられない “  
 戦後50年、俺35年、彩 中嶋 修  
 5ヶ月 中城 芳裕  
 秋に向かう時 山本 靖久  
 悠遠の夜 野口 義博  
 地(対話) 佐賀 勝美  
 超生時空—I “  
 超生時空-II “  
 春陽展72回 4. 23—5. 7 東京都  
 美術館  
 美術の窓 148 高山淳  
 日経 5. 2 宝玉正彦  
 出品目録(会員)  
 絵 画  
 サークスの去る日 滑川 秀和  
 私 的 領 域 塩谷よし子  
 ゲレロの丘の暑い午後 峰 丘  
 風 柄 坂田 和之  
 筆を擱いた後で 横山 了平  
 夢酔(YUME YOI) 小林 裕児  
 海の聖遺物 岩浪 弘  
 遠い叫び 萩谷かおる  
 道 化 者 浦野 吉人  
 PerformerIII 山本 睦  
 感 応 現 象 東 直樹  
 エントランス・ロード 藤沼 多門  
 文化の融合 住吉 弘人

彼岸の周辺 前川 鋼平  
 海岸の裸婦 岸 葉子  
 正視の仮面 小川 洋子  
 青のマリリン 池内 登  
 静 物 山本久美子  
 VILLA 前田 舜敏  
 アドリアの海 五味 秀夫  
 扉について 田中 岑  
 石 鎚 山 越智 雄二  
 跡 加藤ヒロ子  
 あい・16才 倉田 勝弘  
 まどろみの刻 太田 義信  
 いつかあるとき 花房このみ  
 樹 浅井礼二郎  
 UNREASONABLE WORK 奥村 靖子  
 ホワイトリーフツリー(2) 吉江 麗子  
 沈黙の物体 大島由美子  
 は る か 五十嵐美代子  
 無 題1995—3 脇田 六瓶  
 1995—APRIL 長田 久子  
 カントリー・ダイアリー“海のノート” 山中真寿子  
 Line 岸 妙子  
 TWILIGHT 中島千香子  
 追 想 山本 秀樹  
 三角錐のある風景 竹内 利枝  
 浮遊する弧 藤瀬 泰子  
 カ メ リ ア 中村 晃子  
 場 所 木村梨枝子  
 作 品 池田 久典  
 机 上 稲垣 宥  
 ト リ オ 柳田三千子  
 予 感(実り) 小山 和夫  
 青 の 交 信 安田 和子  
 光 一 の 中 福本まさ子  
 LANDSCAPE—95 渡辺 明  
 COMPUTER VIRUS 長田 昇  
 転95・150A  
 発 祥 地 安藤 宗明  
 カタロニヤ 一瀬 茂治  
 雪 国 駒村 久弥  
 野の花の静物 高橋 務  
 私のIREBAが入った 歯科工房 稲村 昌作  
 雲 の 中 石川 すみ  
 貝 殻 矢野 素直  
 赤 い 夢 想 大柿 了一  
 やがて何かが… 水鶏口尊昭  
 魚 若林 俊樹

黄山臥遊	梅田博之	勿来の冬	山本朝子	広場	古幡安衛
両崖山	原田和泉	駒ヶ岳早春	影山捷司	SOLOLA	小島満子
マカ・ドリーム	熊谷憲和	雪の村	石田正典	花宴	広田揚二
光る風	村上秀樹	梅の木 <small>むつ</small> の石 <small>い</small> 斛 <small>く</small>	小栗哲郎	不思議な麗人	大西江二
作品	棚橋隆	冬の白馬村	前田きよ子	Mの街路	平井誠一
漁村の正月(石見)	梶谷修弘	望	鶴居町子	2月の丘	佐藤淳子
ほろほろと子守唄	中沢優子	樹下	加藤助八	異極共存	保坂良平
少年	福地敬二	淡墨桜	(故)吉田達磨	飛翔(二)	池田輝
おとずれ	積山恭平	観客		緑陰の回転木馬	松下忠
まつりのコンポジション	田中英明	秋畠	(故)大嶺政敏	村・ソニヤ・時	松倉唯司
魚壁	伊藤繕胤	アネモネとバラ		博物誌的白昼夢'95	彦坂章子
さりげない光景	石川健治	珊瑚礁の海		母子のいる景	堀内貞明
静物	杉藤哲正	ノートルダム寺院		斜陽のゴンバ (西ヒマラヤラダック)	宮城音蔵
朝の一隅	野口淳子	緑の話	(故)南大路一	ダフネの祈り	出岡実
冬の画室	星俊六	トレド郊外		峠	中山爾郎
桜	成川雄一	田園		エレンダニカ	小坂茂
里の吹雪けり	北原宏太郎	玉陵(沖繩)	(故)徳田信保	石狩川	八木伸子
街	濱實	瑠璃光寺五重塔		出雲惣津村	和田衛明
上貝塚の丘	秋元恒	川と牛		黎明富士	羽田裕
坐る裸婦	今關驚人	術後の検眼	小野和子	室内	松本篤
貞観幻想	関頼武	卓上の野菜	岩淵ケイ子	簡易更衣室	大石洋次郎
葉と蝶	紺野弘子	帰巢	平阪弘	SCENE-No.5	桐沢仁美
白梅	廣永京子	宇宙へのエレベーター (逆さに見ても見られる 絵)	片桐アキラ	紫陽花の頃	中島勲
北陸道・海	杵掛利通	赤の情景	宮下まつよ	遠い地平	齊藤雅之
雪と蘭	長森聡	薄暮	向井康子	ソラ	武田百合子
赤い屋根	田畔司朗	内より外へ'95	新城小波江	N・Y0604	浜淵泰行
船のある風景	木本晴三	赤松林	森田賢	彷徨	三吉雅
水田	柳沢健	朝霧高原初冬	柚木祥吉郎	早朝風景	太田洋三
紫陽花	日下昌三郎	卓上の季節	永井金四郎	孤独の独立	沓間宏
埠頭の構図	水野豊彦	餌食む	宮西詔路	トスカーナの樹	入江観
室内	飯田顕	小さな漁港	藤井俊一	塔	三浦明範
STILL LIFE	丹羽皓夫	船上の人々(夕暮)	加藤尚	春風	松島治基
渴水の詩(愛知用水)	水山晴吾	行方	堀込はやお	卓上静物95	安喰虎雄
入浴	中野満男	寓意…日常の一齣の景色	鈴木春男	予感	田村勉
海と岩	加藤秀夫	砂漠の民	仲村勇	HAZAMA	藤井武
窓外写生	田川勤次	マスカン'95-A	奥田良悦	版画	
貝など	原田平治郎	1995年	田中康夫	関係考95-1	安部一博
サンマロ郊外	山崎貴夫	風景'95	杉浦延寿	95-03	マキットム
大和の農家	平田峻三	出現	小沢澄子	95-02	
酪農の家	三井永一	煌き	宮川洋一	My Space and My Dimension-M142	船坂芳助
湖閑か	上原欽二	鏡のなかの踊り子たち	乃村豊和	My Space and My Dimension-M124	
青梅	小川マリ	JAZZ95	原省象	仮りずまい	由木礼
池畔	中村徳三郎	MONUMENT	谷口一芳	午前二時	
梅	野村千春	アリスの箱	平井智子	浮かぶ'95-61	市川有子
大樹の下	田辺謙輔	空空空	安田完	浮かぶ'95-60	
丘のある風景	横尾丈夫	鳳仙花	古川清右	その雲をつくるもの この風をつくるもの	加藤ますみ
遊蝶の森	笠木實	群像「記憶の風化」	黒田邦裕	FAIRY LAND 95- W	玉置昇
海底の海女	豊泉恵三	私の町	渡辺一夫		
祭りのまえに	市川晃				

平成7年美術展覧会(団体展)

大道芸人の人々 (故)馬場 椿男	憧憬エリカ色の記憶 佐々木悦子	零度 95 - 6	〃
新版世界一周競争双六	憧憬 遠い日	四角い形がふえている	桑田 道夫
クレムリンの赤い星	廻廊にて	アフタヌーン・レッド	佐野 めい
私のドリームランド	トレドの僧院	の形質	〃
MEMORY—森(T) 柴田 昌一	Composition	アフタヌーン・レッド	〃
MEMORY—95P	境 川 III	の余白	〃
玉と柱列 五味 秀夫	片陰の道	'95 作品 A	瀬島 好正
Division-work No.47 浜西 勝則	俄 雨	'95 作品 B	〃
Division-work No.46	冬 春	フレームへの構	タウンゼンド順子
輪 志野 和男	六 月	成—95.A	〃
青 陽	市場 B	フレームへの構	〃
哥—82 伊東 繁特	市場 A	成—95.B	〃
哥—79	笛と椰子の実	THE FOUNDER'95	鶴見 雅夫
'95—NON TITLE—2 伊藤 龍作	川	—A出逢いの響	〃
'95—NON TITLE—1	みどり	THE FOUNDER'95	〃
水の流線 高橋 洋	初冬の花	—B出逢いの響	〃
燐 いし田ふみ	タスマニアの森	ベイスайдルート(1)	名柄 禎子
森で VII	新緑五箇山	ベイスайдルート(2)	〃
渚—続く時 島田 節子	春日遊禽之図	POSITION — 95 K	成田 麻生
渚—風の入江へ	沼の花	POSITION — 95 L	〃
萌え 木 松島 順子	アッシジ追想	華曼茶羅<眩>	橋本 武
風の音	(画集より)	風の中のモナ	山内 秀臣
松重 閨門 森島 勇	朝の庭園(ポーポリ)	COSMO GIALLO	若松光一郎
梅ヶ丘 駅	一 樹	'95.8.26	〃
朝野 林 和一	尖塔遠くに	陽のかげら	糸田 玲子
緑峰	木 立	海からのメッセージ	〃
樹 光 佐野 敏夫	ナノハナ畑	SAN KAKU YAMA	加藤金一郎
浜婦美の漁家	ヒマワリ畑	'95	〃
樹 幹 尾崎 志郎	PARIS	いのち活きづく	田幸 稲
伐られる	(ボン・ピド—の噴水)	いのちの声	〃
風	PARIS(ボン・マリ)	Zenon's Arrows	玉置 正敏
ベニス・スケッチII 天野 和夫	宵祭り	日日好日	行木 正義
ベニス・スケッチI	風の舞	時間(変容)	有田 守成
PROVENCE—夕べ 渡会 純价	風化する街—I—	録 95 — 祭	石田 琴次
PROVENCE—朝	風化する街—II—	録 95 — 花	〃
萬緑の姫路城 関野 洋作	刻	海	江戸 健
戸 隠 水津 保美	映	浮いた風景	岡崎 紀
冬の旅 金沢 一彦	夕立が来るよ勝鬃橋	'95 風 — 舞	熊沢 淑
Mein Haus am ヨハネスアイト	隅田川暮色PartII	歴史の街—バルセロナ	桑原 佐吉
Meer私の海辺の家	高原の沼	Portrait of	〃
Regen und Wind雨と	水面に映して	Mr.P.V.Dub	西田 周司
土器と白い貝 藤島 清士	風と樹の神話	午後の沈黙	村山 谷子
林檎と道化人形	静物・光の器	風を追う	〃
祈りのとき(朝もや) 菱 和子	新制作展59回 9. 19—10. 3 東京	桜前線 '95	荒井 茂雄
祈りのとき(夕暮れに)	都美術館	桜前線'95—2	〃
宇宙への旅 岡田 敬	新美術新聞 748 宝木範義	壁画 (A)	糸田 芳雄
星あかり	美術の窓 152 高山淳	壁画 (B)	〃
ROSES 大島 弘義	東京夕刊 9. 21	黒の刻	神谷 幸子
MAGNOLA	出品目録(会員)	白の刻	〃
	絵画	山稜 95 M	成田 真澄
	零度 95 — 5 木嶋 正吾	山稜 95 N	〃
		生活空間のかたち—四	福島 誠
		季の風	〃

作 品 9532	鎌田 正蔵	蓮弁の山(古法華)	〃	白 い 道	野村 昭雄
風神雷神・異質の出会い	高津 鐵樹	冬 涛	大國 章夫	え り も	〃
レインボウ-A	近藤 茂	遙 かな 道	〃	滯蒼(静かなる)	畠山 孝一
レインボウ-B	〃	は る かに	大住 閑子	滯蒼(東風立つ)	〃
空 の 旅 (緑)	床枝 清	バ ラ の 家	加藤 貞子	お か し ら	小原 素彦
空 の 旅 (青)	〃	古都(スペイン)	児嶋 義一	雲はなごかり	金本 啓子
ナイル(カイロ)	中村 貞夫	シントラ宮殿(ポルトガル)	〃	太陽はなごかり	〃
火 ま つ り	中村 徳守	祭 り の 夜	古茂田美津子	遺されしものへー'95	木下 和
一松明あかしー	〃	森 の 中 III	紺野 五郎	刻一	〃
ダ ン ス	深尾 庄介	星の海・月の舟	鍋島 正一	魍 魅 魍 魅	田澤 茂
光 陰	福田 徳樹	ヴァイナスとラセーナ	服部和三郎	荆 ・ 石 仏	〃
逆 旅	〃	花と果实	〃	時 の 形 見	福島まゆ子
折れたランプ(女のいる風景)	石阪 春生	ヴァイナスとキュービット	〃	黄 泉 の 履	〃
MUSEUM OF ART I	薄久保友司	8 月 ・ 燕 月	麻生 征子	〇〇通り、×小路	渡辺 恂三
MUSEUM OF ART II	〃	化 石 (魚)	安宅 礼子	彫 刻	〃
信仰の時代XX.ラヴェンナ=鎮魂=	太田 久	漁村片影95-1	伊藤 昌夫	MEMORY	青木三四郎
風景・街	風間 完	庭園一山陰路	太田 國廣	小 立 像	芥川 永
「マンティニーヤのある自画像」のためのエスキース	金子 文雄	米蘭王女の風	成瀬 光男	煌 望	一色 邦彦
「トムウェイツの口笛」のためのエスキース	〃	米蘭王女立像	〃	裸 婦 立 像	伊藤礼太郎
草原都市	佐藤 柳逸	Wing	蛭田 均	俚 (り)	呉 昇一
水田一春声	〃	遊化一木馬の風景A	藤原 眸	よ う こ	大桐 國光
Natürtheater(黄昏)	高岸 昇	遊化一木馬の風景B	〃	家 族	大國 丈夫
通り過ぎた風景	榎田 伸也	みどりの記憶	赤穴 宏	愛 の 碑 II	〃
ナオミ(19才)	堀越 政寿	紫 光	〃	鍾	大田 雅代
K氏の位置	〃	な が れ 星	大里 光春	方 円 錐 夢	小田 襄
二つの安居	脇田 和	紙 ふ う せん	〃	RUDDER	小野 雄二
さつきまつ	〃	あさのつどい	荻 太郎	ワ・タ・シはコンカケル	梶本 良衛
カムイの二つの湖	相原求一郎	顔	〃	見えてきたかたち	河原美比古
カムイの小さな島	〃	ライフ「パーティーの主演」	金森 幸司	生命の川一森のできごと一	北郷 悟
回想の窓辺	安保 淑子	ベニスの赤い部屋	佐藤 泰生	草 の 中	久保 制一
物語りの始め	内田 武夫	ベネチアのガラス工房(II)	〃	に お	栗木 義夫
シグナル(A)	関屋 俊彦	路上(胡同) Au bord de la route (Hutong)	張替 真宏	波 涛 '95 - 9	児島慶芳(幸雄)
シグナル(B)	〃	光景(胡同)Une scène (Hutong)	〃	屈 む 人 '95	桜井 敏生
バイオリニスト	竹村 和夫	プローチダ(ナポリ)	松浦 安弘	北 の 人	〃
日光東照宮陽明門	春 寺戸 恒晴	伊太利亚ノート'95(タオルミナ)	宮田 保史	ス ナ の 首	〃
宇治平等院	〃	天上の詩'95	飯田 四郎	R 夫 人	佐藤 忠良
時空風景'95	丹羽 和子	もうひとつの時'95-M	稲垣 敏彦	サ ロ メ	清水 良治
The Live	斎藤 正夫	もうひとつの時'95-T	〃	青 の 行 人	杉本準一郎
悲	高木 雅章	山 肌 の 村	尾崎 幸雄	暦'95「女神の門」	杉山 惣二
驢馬の行く町	丸山 正三	橋とシャトー	〃	義	鈴木武右衛門
子供の公園	〃	ラベンナの鳥達	亀本 信子	そして風の中へ	高橋 枅旺
おはようさん	室田豊四郎	聖 堂 の 中	〃	コントラスト・影の構想1995	瀧 徹
わからない	〃	赤いテーブルクロス	谷上 信博	て ふ て ふ	田中 昇
笠 取 峠	安田 巖	楽器のある窓辺	〃	フ	照井 榮
				森 の 音	〃
				土 笛	中村 誠
				大滝秀治さん	西 常雄
				徳間康快氏	〃

二階盛さん	〃	江	森田やすこ	幼鷺(下絵)	上村 淳之
花の舞'95-IV	橋本 裕臣	リエさん	山本 格二	伍位 鷺	上村 松篁
行 雲	濱岡登美子	水 辺 で	山本 正道	地上 讚 美	内田あぐり
赤 わ し'95	番浦 有爾	英 理	吉田 大象	京都の東山	烏頭尾 精
茫	日比野知三	能 美 島	吉田 正浪	水 田	大河内正夫
その人	舟越 保武	N 氏	〃	彷徨の季節・1995	大森 運夫
佇立する形	山縣 壽夫	夢のあとに'95	吉原 和夫	記憶の風景—漁港	小野 具定
女の子'95	阿部 誠一	花	渡辺 隆根	黄山 雲 海	加山 又造
近松物語(試作)	〃	スペースデザイン		宇曾利山湖	川端 健生
漣(レン)・95	雨宮 透	WORK W-1	麻田 脩二	鳥のいる風景	菊地養之助
つ な ね	〃	Prismatic Space 95	今村 敬子	幻存の彼方へ	工藤 甲人
発 芽	五十嵐芳三	-S	〃	山 懐 の 村	黒沢 吉蔵
風泊くかぜどまり>	石川 浩	うしろの正面だあれ3	小野かおる	人々の風景	小池 一範
実 1995	白井 佳夫	遊居'95デザインング	小野 襄	深淵 穢 土	小嶋 悠司
木になった兵士	掛井 五郎	プロセス	〃	帰 り 道	坂口麻沙子
小川に魚が帰った日	加藤 昭男	遊 居 '95	〃	幻 視 断 層	佐々木裕久
仔犬と天使	〃	ジャイ・シンIIへのオ	尾埜 行男	黒 姫 薄 粧	佐々木 弘
カ オ ス	江田 正盛	マージュ	佐伯 和子	白 洸	佐藤 晨
音 声	〃	Blow in The Wind	桜井 玲子	花 遠 の さ と	信太 金昌
'95 夏	古川 武彦	情 景 II	白石 崙	聖地巡礼一月の骨一	柴田 長俊
TORSE	坂井 彰夫	鏝	白川 隆一	三 相 戯 図	高畑 郁子
SEED BED '95.4	酒井 信次	metaphor	十川 眞紀	古 代 の 像	滝沢 具幸
SEED BED '95.5	〃	Conversation	滝本 英男	風 水 の 郷	竹原 城文
萌 す	酒井 良	相 (I)	〃	森 の 中 か ら	棚橋 文子
万葉4413より 背ろが	寒川 典美	相 (II)	谷 浩二	「砂 の 壁」	戸田 康一
まさ来む	〃	Luminous Burial	中野 威	一遺されたひとたち一	土手 朋英
翠 風	笹戸千津子	都市の風景・50椅子・	二井 進	水 辺 の 森	中尾 壽男
彫 刻 家 '95	〃	ある瞬間の記録	日高 單也	茜 空	西村昭二郎
ペ ル ソ ナ	佐藤 祐司	移 ら ふ	藤本 經子	滝 ざ く ら	野崎 貢
海の記憶	下川 昭宣	GATE '95水辺への	藤原 郁三	暁 富 士	橋田 二郎
杜の系譜「とうりゃん	城田孝一郎	誘い	降旗 英史	洩 万	橋本 龍美
せ・とうりゃんせ」	〃	FIRST FLIGHT	森 聖	春 巡 る 熊 野	稗田 一穂
風の塔'95 III	須藤 博志	対 曲	〃	湖 畔 樹 樹	平川 敏夫
そりのあるかたち	澄川 喜一	都市《ラピュタ》	〃	花を訪う(未完)	堀越 保二
人	高橋 清	還相 そのIII“カレリ	〃	'95いづみ・映I	松井 和弘
ま・ひる・なぎ	高橋 米	ア	森 史夫	ベルガモンより(未完)	村松秀太郎
N さ ん	田村 興造	CON・PYO・	山下勘太郎	隠 れ 瀧	毛利 武彦
チェリストM	〃	SATION	〃	雪 晨 流 水	山岸 俊治
夏	田村 史郎	おふくろさんよ	〃	加工場明ける	渡辺 学
化 石	丹下 寿一	創画展22回 10. 17-31	〃	東京都美	〃
木に—1995	富松 孝侑	術館	〃	術館	〃
山の祭	中垣 克久	美術の窓 152 高山淳	〃	美術の窓 152 高山淳	〃
海の目 II	中島 幹夫	東京夕刊 10. 26	〃	東京夕刊 10. 26	〃
再 生	早瀬 重留	日経 10. 25 宝玉正彦	〃	日経 10. 24 宝玉正彦	〃
記憶の空間	東山 秀誠	出品目録(会員)	〃	出品目録(会員)	〃
福江島から来た人	平山 隆也	リンガラージャ寺院1	秋野 不矩	祭 壇	福島 瑞穂
Kの胸像	〃	リンガラージャ寺院2	秋野 不矩	花 火	土井 俊泰
休息の午後	藤森 民雄	樹 間 孤 独	浅野 均	あ る 空 間	中村 善種
燦々	細谷 泰茲	油 屋 の 段	池田 幹雄	〃	〃
木の葉舟	麦倉 忠彦	回 帰	石本 正	〃	〃
		山 水	伊藤 彬	〃	〃
		世にねがう日々	上野 泰郎	〃	〃

出逢いの樂譜	芝田 米三	運河のある風景	高森 明	冬 の 日 輪	松島 正幸
ガラスの風景	松樹 路人	マグレヴの空	森 通	黄色い建物のある風景	山本 達郎
人びとと	鳥居 敏文	或る日の画室	芝田 耕	寂 アルプス三山	白鳥 三郎
室内の裸婦	齋藤 求	ネムルト ダーウ (東トルコ)	入江 一子	尾瀬の春	清水 鍊徳
春 樹	水野 恭子	ピアノ、(ア・ン)	竹岡 羊子	太 東 崎	小林 数
お や す み	山田 文子	KEUKENHOF 追想	松藤 真澄	高ボッケ風景	〃
水 鏡	安達 時彦	並ぶ 騎 馬	飯田 健治	樹木のような人達	中尾 彰
残 照	福岡 奉彦	海 岸 炎	桜井 浜江	春 村	〃
エチオピア・ラリベラ	額田 晃作	僂 炎	今井 信吾	よ ど む	平井 光典
大台ヶ原一偶	佐原 光	自 画 像	奥谷 博	華	赤星 信子
P市の記憶…1993年夏	相田 幸男	(うらしまの末裔たち)	絹谷 幸二	MONUMENT	三浦 洋一
ボンビドーセンター	田伏 勉	七 里 ケ 浜	寺島 穰	追 想	江部喜久子
心斎橋2丁目の芸人たち	森田 康雄	黒鳥が舞う—1995年	大津 英敏	向こう側のふう	鈴木 雅博
4区そして69番地	瀬川富紀男	ソウサウソ	馬越 陽子	HANg DOWN	堀井 克代
散 華 1995	沢村美佐子	絵日記(一夏の夢)	久我 修	そ れ ぞ れ	有本 弘
原 子 海	田子 英長	明日香幻影	吉武 研司	作 品 I	有馬 秀穂
仮の状態	松本英一郎	みつめる風景	金森 良泰	地 層 — (宴)	河尻 隆次
さくら・うし95—9	林 敬二	—<大地>—	平岡 靖弘	象	江田 豊
漾々・アイボリーブ	桜井 寛	—'95日本女性—	田端 優	内 と 外	白野 文敏
ラック	原 光子	ホワイト フェイス	山田 修市	三つの語り	松永 久
浴槽の裸婦	石井 武夫	<エンターテイメント	浅羽 保治	民具板のアッサンプ	吉田 西緒
バイエルン・晩夏	本田 希枝	シリーズ>より	金井 訓志	ラージュ	山田 依子
ダミー・海辺の記憶	小原 稔	森高千里FOREVER	張 忠儀	土(アダマー)	伊藤 弘之
おちていくもの	塚本 聰	見えない柱には、	江添栄一郎	震('95 J17)	奈良 達雄
ふるさと	齋藤 吾朗	水 島	堀口千鶴雄	マクロタイム”モ”	小林 正
遠い輝き	湯澤 宏	遙かなる青き地球に愛	安田 謙	水辺に遊ぶ	小久保 裕
継 火	森本 勇	と勇氣と夢を	古賀 猛	地天女たち	大場 再生
巨食(虚蝕)と私物化	前田さなみ	幻 象	砂田 友治	MOTHER	梅野 顕司
(死物)	森山 杏子	おムシエナよ	高崎 文夫	夜	二科展80回 9. 1—16
旧市街	上田 敏和	山湖交遊	片岡 伸介	館	アートのマインド 83
見透せぬ窓1995	山田 貞実	十字架降下とレール	向井 隆豊	美術新聞 746	宝木範義
翔べないアースと技術者達	足達 襄	アンコール遺跡	山本 実	美術の窓 151	高山淳
萌	竹内 晟	肖像	笠松 宏有	東京夕刊 9. 14	日経 9. 12
無声慟哭	廣瀬 義男	過 客	黒川 洋孝	日経 10. 24	宝玉石彦
供物を捧げる娘たち	久保田益央	ペーパークラウン	織田 彩子	出品目録(会員)	
えそらごとのスペース	広瀬 通秀	「玩具・愁」	木津 文哉	絵 画	
お 前	齊藤 紅一	昭和史(Nagasaki.	前田 孝子	天地動乱雷神	吉田 正雄
鎮魂 グワンコロコン	米原 智	Japan. 11:02 am, Au-	岡村 芳男	マンハッタン'95	黒川 彰夫
鎮魂	喜多 健男	gust 9, 1945)	松山幾三郎	壱 く	長谷川陽三
鎮魂	乙丸 哲延	私の空間から	西田藤次郎	生	大塚 章子
鎮魂	山中 馨	踊 る	西野 久子	「○ △ □」	吉井 浩
鎮魂	前畑 省三	標 森	柄内 忠男	朝 の 庭	古賀 耕児
鎮魂	田中 茂	江の浦の春	妹尾 正雄	黒いテーブルの静物	月館 れい
鎮魂	香曾我部曉彦	誕生		室 内	織田 広喜
鎮魂	大高 禮造	川沿いの街		思い出した風景	吉村 勲
鎮魂	世利 徹郎	薄色の夕暮れ		Emotion	鶴岡 義雄
鎮魂		(バヌアツ)		緑 陰	天野 三郎
鎮魂		花			
鎮魂		信州の春			

平成7年美術展覧会(団体展)

黒い華	三後 勝弘	グラナダの旅	(故)佐藤 睦郎	花の集い	相澤 道子
CALENDAの村祭り	安藤 幹衛	華影の詩	倉橋 寛	霞ヶ浦	佐藤 成一
ある午後	古賀恵美子	内在時間	野村みそら	岩山に生きる (五ツ目の太陽が蘇る)	伊藤 高義
SPLASH	伊庭新太郎	残照の海	目野 順也	星が流れる	犬童 次夫
憩う女たち	鈴木 幹夫	ブレイクアップ	清水 幹男	5:46	赤羽 恒男
デルフィの神域	狩野 守	ヴェドウィンの女	川邊 忠光	不生不滅	梅村 孝之
想	加覧 裕子	ファッションション	香川 猛	晨鶏の刻	岩井 昭
舞台・勸進帳	小玉 光雄	島唄	西 健吉	家族	宮村 長
母と子	佐々木宗一郎	蒼月	栗原喜依子	摂理	立山 崇
黄色い操車場	福岡淳志郎	ナザレの扉	荻原 寛子	神への貢ぎもの	永井 忠雄
山麓の村	青山 龍水	或る日ある刻95-8	中原 史雄	蟬しぐれ	杉浦 正美
市場(フチタン・メキシコ)	吉井 淳二	往く夏	伊勢谷 圭	Passacaglia	一乗 清明
ホワイト・レキトスの時代	山尾 薫明	村の眺め(風)	馬場 一郎	パトリ	山崎左和加
満開	久保 繁造	木立の道	亀尾 従道	作品 95	田中 睦子
縹渺夢幻	鷹山 宇一	悠久の蹟	井坂 忠	小雨降る宵の歩道	江崎 栄彦
母の肖像	Sv・ルセフ	森のひとつとき	二石 綱夫	都市曼陀羅(巴里回想)	町田 亨
海想譜	植地 貞夫	INDOOR	川内 悟	ヒロシマの追想	増田 勉
月明かりのパティオ	木戸 征郎	一メランコリー	瀧澤 賢福	熱砂群影	松室 重親
荒れる海	栗山 淳	ブロムナード'95	有水 基雄	黒いフォルム	吉井 英二
PARIS MÉMO	中井 史郎	競う	新田 稲実	かえらぬ憶い出	西田 龍子
異国の夏の日に	佐久川和夫	風	濱田 進	おだやかな朝	山岸 光代
サタディ・ナイト	東郷たまみ	生生流転	福田 輝	水を張る	秋吉 素頰
アウロラの渚	西野 嘉斎	「露店」No. IX	尾崎 功	彫刻	至 心
おんなたち	山田 達雄	季節の流れ	芳野 二夫	オットロッカの森から	町田 和司
気になる朝	高野 譲	いのち	向井 實	バードウォッチング	前田 忠一
駱駝と家族	大隈 武夫	青い海	阿部 盛有	そよ風のソネット	幡 青果
リバー・リゾート	中山 三郎	BRUGGES(虹の音)	阿 美代子	九五一一七五四六	工藤 健
シベリヤの記録(戦後五〇年死者のためのメモメントを中心に)	橋本太久磨	小袖(女たち)	阿 美代子	母と子	河野 孝治
鎮魂歌	松任谷國子	大バクテンを演ずる人	長谷川正義	蟹気楼	竹 道久
馬図	片岡 洋一	気者のピエロ	末光 利夫	梟月夜	岡本参千峯
西風	伊東 俊平	女系家族	伊藤 昭蔵	大地	手塚登久夫
追憶	園田 郁夫	画室	高橋 三郎	ドッキング (故)	吉野 毅
白い聚落	松田 朝旭	由布水	横溝 環	北へ帰る鳥と少年	淀井 敏夫
夏の肖像	文田 哲雄	冬音	木村 清敏	和	日高 頼子
満月のブロードウェイ	中村セツ子	鏡	立松 富雄	カメ(ツーショット)	市川 明廣
うつらない鏡	原 良次	わたつみのひとよ	冬島大二郎	春の詩	綿引 道郎
朝の館	西村 龍介	慈光	北爪 三男	木偶 '95	安田 正子
青き追想	石附 進	甌島	佐伯 輝一	チャイ	宮城島隆夫
ラムール	小川以久男	河畔の休日	池松 末人	軌跡	登坂 秀雄
桜島(黒神地獄)	鳥取 政昭	ヨコハマ・95	森 茂子	スプリットピラー	千本木康巨
晴れ着	増田 孝	五月の森で	古川 益弘	OHIO'94	小泉 勝雄
北辺	田中 良	花	竹内 清	EXPAND FORM'95	杉本 繁
鏡の前	藤川 章造	花香	保科 友江	生物(The plants of the life)	中村 真木
ポエル(未完成)	(故)ベル・串田	生息	安食 一雄	MEMORY	池川 敏幸
山湖	(故)服部正一郎	マタギの里	勝野 浩一	面 '95 「浮」	倉沢 実
教会と砦	(故)吉野 正明	装	宮腰喜久治	頓	小田 信夫
		母子人魚	松井 敏郎	半 島	鷺崎 直子
		大山高原彩雨	澤山 卓爾		
			野津 澁生		



SHOOTING STAR 岡村 謹史  
 INSIDE OUT 菅原 二郎  
 石の華—F  
 生(出会い)  
 跡 佐々木憲章  
 森の朝 福島 賜與  
 徴塵系列 藤巻 秀正  
 あかね雲(羊) 小林 亮介  
 花のいろ 西村 文男  
 翔 岩田 有規  
 異常気象 堀江しづ子  
 渴いてしまった向日葵 古久保三郎  
 花の頃 津田 裕子  
 想 II 鹿野 幸子  
 広がる天空 豊田 晴彦  
 象 竹田 光幸  
 群青の大地 西川 利男  
 LIVE OF FLIGHT 安倍 千隆  
 大地の具 山田 将晴  
 円・四角・三角 前田 耕成  
 聖 I 太田 和夫  
 曲面三交体 長谷川雅司  
 耀 小山 由寿  
 C—'95—II 小柳 裕紀  
 臥す人 吉田 二郎  
 トルソー 日高 正法  
 草 原 小 鹿 尚久  
 母と子供達 松井 淳子  
 ふたりの世界 松下 隆治  
 風 船 木村 敏  
 OLIVE MOON 池田カオル  
 避暑地の午後 阿部 鷺丸  
 苞 島田紘一  
 眼と唇 竹内 正治  
 畔 道 高階城太郎  
 オカリナ—追憶— 三井 大清  
 火・水・風 宮越 洋子  
 月光・遙かサラエボ 諸井 松の  
 風の主 水島 道雄  
 宇宙'95 西村 貞雄  
 餓鬼大将 三水 弘  
 方形の対話「曼陀羅」 田村 了一  
 中から卵 須賀 通泰  
 ナイルの夜明け 三國 恭三  
 聖 II 淀井 敏夫  
 泣く人 長谷川雅司  
 恍 小 山 由寿  
 女 小 泉 勝雄  
 南風の音 小柳 裕紀  
 岡本参千峯  
 西村 貞雄

想 葉 I  
 a moll  
 デザイン  
 山崎 達雄  
 高橋 正  
 阿部重太郎  
 龍口 清二  
 関 豊  
 林 明伸  
 縄田 健次  
 山下 育生  
 大西 範明  
 末永 鐵男  
 勝田 宏  
 大橋理一郎  
 下尾 周男  
 新井 良治  
 鈴木 啓祐  
 小幡 堅  
 岩崎友太郎  
 河辺 一周  
 磯部 壮吉  
 浜本 博司  
 森 昭夫  
 田野 勝  
 柏谷 雅男  
 青木 隆吉  
 谷口 俣子  
 玉田 信行  
 曾我阿嬉子  
 岩田 明  
 堀川 佳英  
 小関はるみ  
 井上 彪  
 涌波 秀夫  
 尾形 千種  
 蝶野 篤孝  
 中馬師津夫  
 栗木しげる  
 野上 勝平  
 紀藤 虎一  
 鎌田 勝美  
 西中 勝己  
 坂本 昌久  
 サトー 茂  
 新屋 幸彦  
 安永 和夫  
 田辺 幹夫  
 松本 泰明  
 増田 莞二

豊田 晴彦  
 中村 真木  
 河野 孝治  
 今福 勝也  
 和田 貞男  
 長谷川光義  
 岩田 栄二  
 日高 一成  
 大村 博美  
 高羽 賢一  
 竹内 和夫  
 京田信太良  
 新開 東子  
 新井 晶雄  
 榛澤 照生  
 村井 滉  
 多留 利治  
 石綿 敏彦  
 鳥越 修治  
 桶田 隆一  
 今村 昭秀  
 酒井 布二  
 宇夫方康夫  
 山本 馨  
 渡辺 八郎  
 松本 篤子  
 多田 晋  
 浜村 純隆  
 幹田 陽彦  
 川田 雅信  
 高橋 篤  
 吉田 隆至  
 名手 芳之  
 須田 宮生  
 石黒 初彦  
 吉田 勉  
 河野 二生  
 守谷 賢亮  
 前田 豊克  
 笠原 稔  
 佐々木正光  
 淵上 政利  
 小杉 道久  
 河地 知木  
 古井 陸児  
 佐藤 待子  
 三浦三知夫  
 吉川 文夫  
 若狭 一久  
 小路 久男

二紀展49回 10. 17—31 東京都美術館  
 新美術新聞 751 宝木範義  
 美術の窓 152 高山淳  
 東京夕刊 10. 26  
 出品目録(会員)  
 絵画  
 雨のあと 吉岡 正人  
 風の道標 滝 純一  
 光る風 北 久美子  
 HORIZON 遠藤 彰子  
 白い日 井上 護  
 白の磔刑 玉川 信一  
 Sくんの教室 北 誠一  
 神曲「煉獄篇」第10曲 南口 清二  
 辿りついた場所 生駒 泰充  
 棲 I 難波 平人  
 Le nude 櫻井 晨正  
 ナガサキ考・1995年・夏 浜村 博司  
 赤い大地 I 宮田 翁輔  
 古都丘陵 武本 春根  
 壁E VENEZIA 伊藤 岳  
 壁F VENEZIA “  
 石窟壁画連想M 山口 操助  
 観世音菩薩立像 “  
 野尻湖風景 成井 弘  
 桃がすみ 秋保 正三  
 月とふくろう 金田 辰弘  
 バークソン病患者の自画像とふくろう “  
 フリータイム 橋本 房男  
 人形の旅 “  
 悠古揺曳 西嶋 俊親  
 浜 I 曾我 芳子  
 祭りの詩がやって来た 谷田 穎郎  
 ②  
 枯 葉 濱田 嘉代  
 山湖夕ばえ 水上 敬司  
 岸辺の群像95—I 松尾 隆司  
 レ・ボー 水野 一  
 日・燦々 高崎研一郎  
 陽・燦々 “  
 牧 場 米津 福祐  
 塔の見える風景 神近 昭  
 広場、白昼夢 泉地 靖雄  
 奏 II 瀬川 昌宏  
 (バリ島) 宇田 伝市  
 ポレブドール遺跡A 小島 謙  
 鳥と少女たち 大西生余子  
 ほっこり富良野

平成7年美術展覧会(団体展)

撤 収	菊地 正男	静 寂 の 刻	松井 叔生	無 明 群 像	稲川 敏之
女の記憶'95晩夏の夢	奈須 豊	(セビリア聖堂中庭にて)	〃	白い風景・馬像(B)	金原テル也
炎舞'95—13	高瀬 善明	グラナダ追想(アルハンブラ・裁きの門)	〃	風を見た日	山崎 進
炎舞'95—11	〃	ロマネスク・回想	吉野 純	イノセントA	中井喜美子
止 揚 典	橋本 清	ヴィクトルユーゴー	西村 功	Land Lines— I	富樫 京子
作品95・1・17	大西 敏巳	駅界限	佐々木信平	誘	河津 嘉三
作品95・1・17	〃	少年の旅	鈴木 博	青 の 作 品	大友 一夫
気(一)<1. 17. 05・46=神戸>	小笠原誠次	月 と 花	秋山 泉	積 む	岡本美喜子
気(二)<1. 17. 05・46=神戸>	〃	還へ誘う木末たち	西村 榮悟	NAGASAKIの記憶 '95(L)	阿野 露団
おぼろなワイヤー	乾 龍平	銀のハーモニカ	友添 泰典	融 2	中野 英一
ワイヤー小景	〃	天 の 川	〃	Morning・'95—1	片山 光波
回 想	結田 信	螢	市野 英樹	音(ね)ひびく・2	松下 元夫
修 理 船	赤地 清一	人 た ち	北村 真	景況—'95(壊れた街—A)	庄 司 剛
宇宙への旅	鳥居 雅隆	ラバリの譜No. 5	藪野 健	彫 刻	
揺れる大地	〃	記憶の手帖から	山本 文彦	AKIKO	真海 朗
旅 芸 人	芝野 武男	回 想	山本 貞	奏	遠藤 幹彦
二人	砂場 三郎	夏のある日	小西 保文	煩 悩	山根 顕一
女たちの風景I	浦上 栄一	貌のある風景	〃	リーマン面C	長野 隆業
漁港祝日A	日和田利正	若い男	中西 勝	3つの次元を持つ構造	〃
地鳴り一想	上田 保隆	華こぼれて	根来 恒子	砂 丘	矢形 勇
95〜牧歌(B)	成瀬 忠行	大道芸人	尾形 圭介	大和乙女	〃
煩悩「人間縮図」	橋 公俊	まつりの終りに…	長宗 希佳	悍馬と少年	小島 弘
幕間のひととき(A)	中本 昭平	想	立見 榮男	ビーナス誕生す	〃
鳥 渡 る	山本 秀臣	風 神 誕 生	犬童 徹	Bouquet	水野 瑛朗
紙つぶての多聞天	堀場 良夫	ONE DAY ㊸	〃	髪を編む少女	細野 稔人
冬の鳥たち(B)	高橋 忠雄	ONE DAY ㊹	三輪なつ子	内なる声	長谷川敏嗣
オーケストラ	林 健造	イリュージョン	加藤 聖彪	娘の肖像	藤田 邦子
Pineapple Holiday	黒田富紀子	はつ葉、はつ葉、はつ葉	高嶋 脩二	母と子 '95	大森 浩二
海	田窪 芳郎	アタカマの果95A	小柳 吉次	空 へ	日野 宏紀
払 暁	菅 久	栖	仲村 寛	豊秋津瑞徳神	滝瀬 源一
斜 塔 (1)	副島 孝治	無名の刻(生きるものたちの夜に)	上瀧 泰嗣	いつまでも女・そして男	堀 義雄
斜 塔 (2)	〃	神話の崩壊	宮崎 浩行	壁	村上 炳人
残照(ベルセポリス)	真野 広	1/4	松葉口忠雄	釈迦の前身(不軽菩薩)	水野欣三郎
有 明 豊 饒	北原悌二郎	びんた(磯の家族)	坂中功一郎	降 臨 '95	木津 一夫
幕 間	金子 隆一	海の風道	清水 鉄彌	蕃 薇	加藤 豊
蘭春の信濃大町	島岡 実	リングと戦車(I)	板倉美智子	作品95—A—3	恩田 秀郎
ジェネレーション(創生)	(故)星崎孝之助	羽音がきこえる(1)	津田 仁子	出口なき部屋II	岩田 健
別	(故)青木 寿	刻……………(I)	清水 聖策	トルソ2人	長谷川総一郎
壊れた街へのレクレエム	橘野恵委子	忘れられた人々	佐藤 幸代	廻 の 記 憶	永野 光一
県 境 雪 嶺	阿川 静明	時 の 雫	中村 幸男	北辺のポートレート	米林 雄一
二人のピエロ	矢野 重盛	風景と風景95—3	知念 正文	内なる流動	末政 哲夫
婦 人 像	坂本 保	作 る 人	吉見 寿美	内なる投射	〃
裸 像	〃	バカンス1	岩島 雅彦	宇宙曼陀羅(V)	恩田 静子
砂	印牧 邦一	娘と踊る	川口 正治	ファンタジー	〃
絢 (黄)	堀江万寿男	NYに来た京舞妓	野田 典男	円柱とその周辺	梶 滋
絢 (白)	〃	街 (A)	宮崎 芳和	(雲をつかむ様な話し)より潜る男あるいはかわず男…されど天の深さを知る。	日原 公大
降 霊 術	吉田富士夫	ハ イ ヤ 港	日比野文英		
		鳥 の 詩			

ブリマベーラ 柳沢 俊男  
 作品・FORMATION II 河崎 良行  
 連一Rhythm— 高橋 勝  
 風 流 上村 敏  
 挟み方のいろいろ ”  
 白 い 風 小林 晟  
 水 . . . . . 空 大須賀万里子  
 つれてって 重田恵美子  
 花 藤木 康成  
 森 南 安廣  
 陽 光 邑田 五朗  
 モンゴルの風 ”  
 海 辺 渡辺 昭次  
 作 品 95 林 利根  
 骨のある魚 大口 明一  
 大地の刻 横山 徹  
 Transformation of a Semicircle 記号 NO.2 鹿間厚次郎  
 日展27回 11. 2—24 東京都美術館  
 アートマインド 84 嶋田三郎、小野寺啓治  
 新美術新聞 751  
 新美術新聞 752 武田厚  
 新美術新聞 752 宝木範義  
 美術の窓 153 高山淳  
 東京夕刊 11, 9  
 日経 11, 10 宝玉正彦  
 日経 11, 14 宝玉正彦  
 出品目録(会員)  
 日本画  
 無 音 川崎 麻児  
 加奈之美之天使 田島奈須美  
 デルフィの星 村居 正之  
 身づくろう 藤井 範子  
 青 空 岸野 圭作  
 朝の祈り 吉村 年代  
 秋 色 丹羽 貴子  
 護 色 齋藤 清策  
 静かな時 鬼頭 敏郎  
 馬 舎 小川 立夫  
 利根川夏空 福田謙二郎  
 残 花 西野 新川  
 憩 ぶ 野々内良樹  
 遊 里 長谷部権次呂  
 山 水田 慶泉  
 溪 澤野 文臣  
 寂 近 (故)尾山 幟  
 春 川人 勝延

陽 映  
 遙 雪  
 春 い は て  
 さ 燈 火  
 暮 DUO  
 ほろ酔う森のニッフ  
 四 つ 竹  
 留 白  
 夕 し じ ま  
 霧(高村智恵子)  
 噴 水  
 あじさいの頃  
 颯  
 いつか来た街  
 琵琶湖朝輝  
 誕 風  
 潮 輝  
 淨 晨  
 岩 に 牡 丹  
 秋 光  
 東 風  
 ガンジス河  
 寧 日  
 青 蛾  
 はしばみの木のある風  
 景  
 刻 か ら  
 冬 道  
 耀 聴  
 映 翠  
 悠久の流れ  
 花 の 道  
 萩 の 道  
 望 夢 結  
 潮 の 道 韻  
 北 樹 道 響  
 流 水  
 春 の 陽  
 夏 の 日  
 暁 閑  
 寛 地  
 湿 帯

大島 秀信  
 羽根 万象  
 今井 守彦  
 遠藤 桑珠  
 石川 響  
 杉原 元人  
 加藤 晨明  
 川崎 春彦  
 濱田 台児  
 加藤 東一  
 奥田 元宋  
 大山 忠作  
 曲子 光男  
 三輪 良平  
 木村 卓央  
 山本 知克  
 池田 道夫  
 宇佐美江中  
 大塚 明  
 中路 融人  
 白鳥 映雪  
 小栗 潮  
 濱田 昇児  
 山口吉参郎  
 松本 榮  
 東 韶光  
 市丸 節子  
 稲田 和正  
 岩澤 重夫  
 山岸 純  
 (故)加倉井和夫  
 鈴木 竹柏  
 高山 辰雄  
 浦田 正夫  
 関 主税  
 堂本 元次  
 川崎 鈴彦  
 長縄 士郎  
 佐藤 園夫  
 室井東志生  
 石川 義  
 関口 雄揮  
 三輪 晃久  
 正井 和行  
 三谷 青子  
 高木 義夫  
 福本 達雄  
 林 和緒  
 岩倉 寿

跳 江守 若菜  
 赤 牛 米陀 寛  
 残 照 ノ 浜 立石 秀春  
 陽 射 し 長谷部日出男  
 歴—ギリシャ 永山十志夫  
 碑 渡辺 幸雄  
 大 仏 殿 井上 稔  
 開 演 前 瀧川 照子  
 明 ける 刻 藤島 博文  
 雨、上がる 前田 米子  
 黎 マンゴの木 北野 治男  
 太 夫 入江西一郎  
 芽ぐむ大地 坂根 克介  
 天 宇 受 売 仲村 進  
 雲 岡村 倫行  
 彼 岸 の 華 土屋 礼一  
 海 ジムの男 能島 和明  
 コスモス花の咲く 市原 義之  
 翔 ぶ 日 森脇 正人  
 手 品 師 の 箱 山崎 隆夫  
 無 花 果 市野 龍起  
 叢 川島 睦郎  
 秋 が 来 て … 本多 功身  
 緑 韻 の 時 間 堂本阿岐羅  
 明 ける 空 那須 勝哉  
 風 に 船水 徳雄  
 丹 堀 泰明  
 朝茶事(腰掛待合) Avenue at Night 米谷 清和  
 くるみの木 山下 保子  
 里 高増 暁子  
 叢 蓄 平尾 秀明  
 生 命 の 樹 田所 浩  
 花 影 流 水 広瀬きよみ  
 ある日の午後 東 俊行  
 人 路 達 福田千恵子  
 街 角 上田 勝也  
 牽 牛 花 成田 環  
 ひ と と き 山下 博敬  
 早 春 夜 明 前 稲元 実  
 鏡 の 郷 渡辺 武蔵  
 樹 異 郷 松崎 良太  
 水 辺 早 春 三輪 敦子  
 山 上 の 街 木村 光宏  
 由里本 出 高越 甚  
 小松 正二  
 曲子 明良

平成7年美術展覧会(団体展)

滲	緑	岡田 繁憲	闘牛 白日夢	越智 節昇	炎 昼	内山 孝
渚		荒木 弘訓	夢に見た景	西山 松生	二人のピエロ	小山 宇司
三人の刻		中村 徹	七面鳥	赤星 宣利	地	長谷川 仍
大地に族		鹿見 喜陌	静の舞	三塩 清巳	朝の港	工藤 和男
洋画		河村 源三	あげ潮	村山 俊夫	お座敷へ(祇園の舞妓)	弦田英太郎
響		藤島 奨	崖の街	橋崎 重視	黄色いチュチュの踊り	寺井 重三
艶	景	角 卓	孤	中川 澄子	子	清原 啓一
黙示の刻		日野耕之祐	初夏の窓辺	佐藤 哲	錦秋の剣岳	伊藤 利行
水辺の里		梅雨明けのマリーナ	梅雨明けのマリーナ	田中 惟之	椅子に凭る裸婦	三上 浩
レダと白鳥		(八景島園、連作)	楽器と椅子	小菅 章雄	樹 叢	辻村八五郎
ロマネスク・ロマン		時田 幸彦	実験室・50年刻	佐々木寅夫	裸女横臥	大島 士一
澁		寺島 龍一	寂 冬	渡辺 啓輔	サリーを着た女性	奈良岡正夫
楽 興		三原 捷宏	内陣(周防、国分寺)	島田 利一	奥入瀬ノ秋	梅津 五郎
木馬館に由る		中山 忠彦	妖精の刻	田辺 知治	桜 島	川上 一巳
ハイデルベルク初冬		渡辺 晋	トワイライト・タイム	菱田 義宣	黒い沼	佐川 忠金
森の城		斎藤 政一	雲と裸婦	(故)渡辺祐一郎	アッシジ	秋元 清弘
風景一九九五年		成田 禎介	追憶(原爆五十年)	武永 慎雄	二十三才の記念日	伊藤 晴子
鳶舞う浜辺		本山 唯雄	高 島	(故)立花 重雄	はにわ(琴を弾く男)	飯泉 俊夫
白い集落(スペイン)		高橋規矩治郎	ラ フ	(故)村岡 平蔵	谷間の家(コンク)	中谷 龍一
寺院		井戸 三郎	女と鏡	櫻井 慶治	春光麗輝	桐野江節雄
コレクションのある棚		竹留 一夫	あけぼの富士	菊池 健蔵	彫像のある庭園	桜田 久美
石を枕に		寺坂 公雄	舞台裏のピエロたち	和田 貢	遙	上野 正行
ブドリの伝記		樽松 正利	山陰の海	日原 晃	彫刻のある部屋	伊藤 正規
枯野		西岡 義一	明日は演奏会	杉浦 隆	川原風景	松田 茂
西域紀行		櫻田 精一	室 内	斎藤 秀夫	古都大寺	内藤 定昭
ビザンツへのオマージュ		篠崎 輝夫	わたしの弟	根岸 秀雄	坐 像	山中清一郎
光		藤森 兼明	音楽家	庄司 栄吉	白い回想	杉山 吉伸
野馬追		田中 実	スニオン	小川 博史	ヒッタイト王碑	松木 重雄
静物		有馬 侃	神将	後藤 武久	午睡の道化	阪倉 宜暢
午後の軽井沢風景		能見 三次	少女と馬	幸島 重雄	河岸通り(佐原)	柴田 祐作
クリニアンクールの蚕		川村 親光	岬の塔	藤本東一良	彷徨	浅井 光男
市の		越後島 進	悠々	國領 経郎	Atelier VI	岡田 征彦
運河双塔		北村 巖	仮睡	伊藤 清永	雪の117号線	三沢 忠
夫婦漁船帰港		尾崎 正章	蓼科高原	田村 一男	三千院春雪	樋口 洋
(無事終わりました)		杉村 惇	黒川能赤獅子	森田 茂	埴輪の仲間	井上 和
假面		金山 桂子	晩秋の大和路	檜原 健三	北の入江	奥田 憲三
1995夏・鎮魂		安増千枝子	風たちぬ	渡邊 武夫	丘の集落(南仏)	石川 實
一限		伊牟田經正	遙か	平松 謙	坐 像	竹澤 基
コリント		辻 朗	春和む	新延 輝雄	神威脇	吉田 民尚
春寒山麓		柳沢 淑郎	冬の街	円地 信二	湿 原	三橋 文雄
女優二人		坪内 正	裸婦墟	天野 文作	山と太陽	坂田 憲雄
地球儀と人形など		溝江 勘二	涅槃仏風化	鶴飼 幸雄	窓辺の卓上	高橋 敬
湖畔の秋		飯田 弥生	城館(ハイデルベルグ)	山本 吉雄	塔	能登 靖幸
しらべ		山下 忠平	雪残る	関田 庄司	「リア王」より	若林 利重
冬の山々		筒井 広道	名残の雪(阿蘇山)	村田 省蔵	闘 士	金岩 清隆
浜の人々		桐生 照子	グレーの舟遊び	田中 春弥	果無し山より	益山 英吾
青葡萄		岩下 三四	摩周湖かげる	大津 鎮雄	行き交う人々	網島 徹夫
憩う		浅見 嘉正	廃墟彩雪	西田 亨	秋暮るる	重松 建
陶 土				根岸 右司	嘉永の武具	吉田 進一

春 行 く 白 い 服 家 路 装 い 海 辺 春 光 池 畔 崩れた積み木 彫 刻 自 然 砂 塵 手 ま り 大 地 の 風 や が て 秋 春 白 い 道 夏 の 一 夜 姉 の 妹 坐 像 双 葉 の 氣 村 の 娘 お元氣 か たり べ 湖 畔 の 風 緑 風 流 砂 蒼いSTREET 青 春 二 人 旅 妖 精 坐・巡り巡って風は吹く 委 任 ミネルバの泉V (いのち) 浜風の吹く日まで 森 の 精 天 使 の 囁き 風 III 真 夏 LAPIS LAZULI 夕 映 の 丘 四 季 <夏> 石 の 斛 今 の 岬 啞 然 ブル 清流のほとりで 明 日 に 明日への希望 流 綵 脱 衣 の 女	小間 政男 本間美智子 吉田 光慶 藤井 芳子 酒泉 淳 今井 英光 森 勇 工藤 潔 亀谷政代司 東山 竹吉 谷村 俊英 平原 孝明 松岡 高則 木代 喜司 丹羽 武雄 石田 光男 齋藤 高德 長谷川 昂 山脇 正邦 齋藤 尤鶴 渋谷 武美 古川 武治 柴田 篤男 寒河江淳二 辻畑 隆子 山崎 和國 助川 武史 上田 久利 村山 哲 松田 芳雄 山下みどり 早川 高師 嶋田 秀男 林 幹雄 宇治川久司 太田 良平 陶山 定人 平戸 司郎 原田 治展 小平 胖可 池邊 瑠璃 鈴木 基弘 宮本 光庸 山本 民二 大神 崇維 小比賀 強 笹山 幸徳	海 からの 夢 彼 岸 花 若 い 季 節 愛 の 鼓 動 濃 望 望 帰 回 遠 花 火 夏 の 風 ア・ゲ・ハ 穹 夢 語 り 想 望 郷 望 麗 春 動 志 麗 春 花 麗 初 舞 き 陽 初 舞 台 竹 園 光 光 お も か げ 動 も か げ 地 や ま め う ら ら か イシス・天空への誘い 風 に 遊 ぶ 朔 は 秋 汀 は 茜 明 日 香 秋 日 和 花 の 精 旅の弘法大師 イックシミ 口 笛 髪 閑 日 恒 恒 風 神・雷神 賢者への告知 求 道 爽 道 泪の準優勝・ふる里を 想いて 風 韻 長 い 髪 の 女 番 人 現代ひと事情…朝… 旅 立 ち	谷口 淳一 川岸 要吉 名嘉地千鶴子 佐藤 幸子 三坂 制 林 政治 佐藤 敬助 山瀬 晋吾 石原 昌一 野間口 泉 江里 敏明 楠元香代子 中村 宏 得能 節朗 雨宮 淳 田中 昭 吉田 鎮雄 富永 直樹 長江 録弥 橋本堅太郎 浦山 一雄 川崎 普照 大野 清 齋藤 二郎 久保 浩 鷺見 香治 宮里 明人 野島耕之介 籠瀬 満夫 井上 照三 宮崎 雅司 小野澤健一 神野 忠和 大村 政夫 (故)市之瀬廣太 (故)宮地 寅彦 (故)佐藤 蔵治 (故)南 庄作 (故)分部 順治 (故)松田 尚之 (故)三坂耿一郎 佐藤 静司 真海徳太郎 宮瀬 富之 久保田倅通 松田 裕康 佐藤 隆男 上野 弘道 山口 直邦	イ カ ロ ス 雨 かな … 水 炎 遷 ・ I チェロの調べ 十八歳の案内図 緑 風 夏の忘れもの 三 華 夢 の 刻 (II) 戦後50年星海よりの言 付「生きとし」 雉 Miserere バ イ レ II 風 姿 観 照 告 し い 知 新 し い 暦 風 と 光 遙 か に 誘 わ れ て さ わ ら び 憩 う 新 生 姉妹、つれづれなるま まに…阿吽 或るポーズIII はざまファミリーの うた 夕 焼 け 薫 風 再 開 IV 森 の 人 楽 興 無 の 提 唱 虹 の 郷 巢 立ちの頃 SPACE EVOLUTION 帽 子 の 女 夢路「赤いくつ」 あ し た へ 天 空 か え り み て 道 夢 正 幻 あ る 一 日 創 世 嵐 風 煌 め く	瀬戸 剛 圓鏝 元規 嶋畑 貢 勝野 眞言 井上 久照 熊谷喜美子 高橋 勇 桑山 賀行 能島 征二 堤 直美 野々村一男 圓鏝 勝三 中村 晋也 北村 治禧 雨宮 敬子 蛭田 二郎 山本 眞輔 木内 禮智 柴田 鋼造 山田 良定 市村 緑郎 杉村 尚 土田 副正 堀 豊之 大須賀 力 立川 義明 神野 義衛 今城 國忠 横山 祐三 西山 勇三 木嶋 延幸 松本 隆司 善本 秀作 神戸 峰男 辻 志郎 石田 武至 古賀 晟 横山 豊介 石田 康夫 銭亀 賢治 西村 祐一 石黒 光二 永井 浩 林 昭三 山田 朝彦 親松 英治 稲垣 克次
--	---	--	---	--	---

平成7年美術展覧会(団体展)

イメージ・トレーニン グII	加茂 為男	森 の 声 紋	野口 晴朗	透胎「こすもすのはこ」	鈴木 雅也
風 韻	橋本 次郎	浅 春 B	関 稔	牡丹 籃	田邊一竹齋
ふ り む く	館野 弘青	源 一 II	本間 一秋	風	伊東 慶
追 想	斎藤 吉郎	の ど か	武腰 敏昭	叩き唐津象嵌魚 文壺「玄海」	中里太郎右衛門
緑 風	竹内 不忘	クロスのステージ	春山 文典	鍛 銅 の 器	宇賀神米蔵
鹿島灘を望む	佐藤 大有	蓮池幻想(II)	北出不二雄	「白陽夏に咲く」飾壺	浅蔵五十吉
赤 と ん ぼ	坂 坦道	天地共生VII	大角 勲	あ す へ …	原 益夫
AIKOのオアシス	佐藤 義重	阿 修 羅	藤平 伸	連作'95道標一	折原久左エ門
若き心「躍動」	難波孫次郎	蒼 溟 扁 壺	森野 泰明	秋 桜 満 開	新開 寛山
半 跣 像	石塚 輝雄	不 投 槍	加藤幸兵衛	あら打ちの壺	新山 米朗
復活祭の朝	柚月 芳	飾 篋『華 筏』	鈴木 健司	「臙 鼎 壺	今井 政之
Mr. O	草野 睿三	銀 彩 創 生	松本 佐一	胡 蝶 の 舞	加藤 鈔
工芸美術		虹色の情景'95-3	宮崎 芳郎	耀貝箱飾流文の光	服部 峻昇
転 回 の 識	赤堀 郁彦	蠟型鋳銅花器「秋韻」	須賀 松園	紅 映	山崎 昭
瀑 布	並木 恒延	TORSO—イカルス	鈴木 丘	霧 の 朝	浅見 薫
朝	小川 泰彦	夕 鶴	武田 武弘	垂 直 の 風	宮下 善爾
北 国 冬 光	永野 智彦	山 麓 の 悠 姿	城 秀男	白薩摩蓋付器	有山 長佑
丘 上 都 市	中井 貞次	耀	磯野 清夫	「宴—95F」	前田 泰昭
朝 陽	大西 忠夫	く さ む ら IV	小西 啓介	'95 一 秋 想	遠藤 兆映
白銅浮彫朝まだき白山 連峰	蓮田修吾郎	粗 樗	寺石 正作	花 王 春 景	浅蔵 與成
神は風から馬を創った	来野 月乙	日 月 文	山内 一生	朝明けの印象	宮田 藍堂
流	得地 秀生	潮 紋	井波 唯志	終りのない物語「プラ ンコを楽しむゴミの 生命」	大田 緑
私の歩いて来た想い出	百貫 俊夫	彩 夜	大久保婦久子	竜 壺	南雲 龍
日 想 一 II	伊藤 裕司	夢 一 太 古	佐治 賢使	砂の国「崑崙への道」	横山 善一
那 智 御 瀧	井隼 慶人	空 と 雲	高橋 節郎	花の精・母子像'95	川田 幹
風 の み ち	佐藤 幸一	サン・テチエンヌ・ ドウモン	三谷 吾一	白鳳浄炎(型染)	堀 友三郎
魚 影 ・ 舞 花	鶴飼 英夫	ホネ貝トカリフラワー	皆川 泰蔵	追 想	藤川 素子
赫	角野 岩次	夢 幻 (故)	三浦 景生	異 空 に 遊 ぶ	飯田 美郎
聖 家 族	猪俣伊治郎	木芸パネル「雄飛」	佐野 猛夫	月 齢	張間麻佐緒
染屏風「翔風幻視」	山本唯与志	湖 底 之 詩	横山 一夢	早 春	広川 青五
緑 風	西山 邦彦	遊 星	西嶋 武司	'95—スペース・I	小口 正二
朝 の 光	吉賀 将夫	波 濤	浅蔵 正博	彫 漆 森 の 詩	原 峯水
朋	佐治ヒロシ	穹 円 寂 光	潮 隆雄	遥 か	河合 匡造
春 日 宮 II	寺池 静人	寒 い 朝	丸山 高志	輪 象	小川 喜数
舞いあがる風	伊藤 萌木	凍 て る 日	西塚 栄治	秋 彩 星 流	三田村有純
雲 た な び く	安田 全宏	型 染 錦 小 路	勝 正弘	創 生 (故)	小林 尚珉
残 照	西川 實	渚の幻想「光陰」	黒田 暢	汀 の 情 景	木母 正一
灰釉椿文花器	加藤 舜陶	生	尾長 保	椰子の実と私 (ニューギニアにて)	三橋 国民
樹 相	大塩 正義	濤声(詩篇42~8)	川原 和夫	臙銀器 光の彩	長谷川 恵久
うつわ・95-3	永井鐵太郎	浜 の 夕 間 暮	飴村 秀子	水に舞い時と遊ぶ	原 典生
七 夕	奥田小由女	仏 頭	中村 光哉	1995—春浅く	西村 忠
し ら べ	青木 龍山	縄 文 華	原 正樹	カ タ ロ グ	堀口 光彦
聖鳥(宇宙へ運ぶ夢)	帖佐 美行	東 雲	西本 瑛泉	彩 磁	宇野 徹
相 鳥 「壺」	大樋 年朗	劫掠の門—階段のある 貯蔵庫	高光 一生	転 生	渡辺 誠二
游 影	越田健一郎	鍛鉄金銀象嵌「神庫」	三上 猛	駢 け る	亀倉 康之
草 影	河合 誓徳	彼方から95-7	伊藤 廣利	裂	向井 一郎
夕 照	谷口 良三	う め	亀井 勝		
息 吹 き	川尻 一寛		齋藤 悦子		

寓話(いつかも)  
育む  
赫釉花瓶  
弥生人  
佳辰  
「條文」の調べ  
境川筋  
水中の狩人  
蝶と私  
風・花・想  
彫金優雅なる語らい飾  
壺  
サーカスがくる  
聖母包擁  
かがやかしいつばさ  
高原の邑  
舞  
彩文の器  
乾漆宮麗日  
エーゲの街  
吹分オベリスク南冥の  
鎮魂碑  
蒼書  
随横雲の翳  
流鷗外の詩  
懐舊遊  
ムソルグスキーの語  
秋の原  
養之如春嬰  
還き世句  
漱石塙詩  
劉壩詩  
詩經小雅一節  
萬代の  
韓愈詩句  
莊周夢  
李白の詩「枯魚過河泣」  
荒城の月  
無根事  
菜根亭壁  
書河上亭  
良寛詩  
良寛詩  
高青邱詩  
月如鑑  
末黒富士

竹内英輔  
津田永寿  
市川通三  
厚東孝治  
松本爲佐視  
小川欣二  
榎木盛  
山下恒雄  
鴨政雄  
古見準二  
宮坂房衛  
鈴木治平  
鶴巻三郎  
藤田仁  
藤本陶津  
浮田武司  
神谷英介  
新敷孝弘  
辻毅彦  
市橋敏雄  
中里重利  
梅原清山  
日比野光鳳  
榎倉香邨  
津金孝邦  
成瀬映山  
栗原蘆水  
伊藤鳳雲  
浅香鉄心  
古谷蒼韻  
杉岡華邨  
村上三島  
殿村藍田  
浅見寛洞  
宮本竹逕  
今井凌雪  
近藤撰南  
尾崎邑鵬  
高木聖鶴  
戸田堤山  
甫田鷄川  
松下芝堂  
稲垣菘圃  
中林露風  
岩井韻亭  
安原皐雲  
黒野清宇

憶良の歌  
高道素詩  
白銀に輝く山  
柚子の風呂漫  
天真爛漫葉  
虹玄象  
玄象海絶詩聖  
大韋編三義成懷  
陳与凡褐  
轉被飛  
人生如二夢題  
老莊淵羨魚  
臨腐出蟲懷  
肉遊目騁  
師嚴然後道尊  
火焼赤壁  
達人觀兮無物不可  
悠久无疆  
馮夢禎三首魂  
五律  
駐遠くて近きもの  
蘇東坡詩  
撩乱雪花飛  
北原白秋の詩  
怡鱗虫夜  
月空蘇東坡詩  
白居易詩  
居易の幻  
居延の消息  
あてのない露  
白野長瀬正夫の詩  
ふるさとの海  
慈円の歌二首  
積雨朝川莊作  
万葉のうたより  
「晏子春秋」の語  
李曄詩  
子規  
祝禱  
法華経菓草喩品

東山一郎  
林田芳園  
大平山濤  
山内観  
劉蒼居  
小山素洞  
加藤大碩  
浅見錦龍  
井茂圭洞  
花田峰堂  
高木桑風  
中島藍川  
関正人  
古川悟  
梅舒適  
小林斗盞  
吉野松石  
中村淳  
菅原石廬  
和卿  
藤澤妙石  
鈴木般山  
山崎方石  
吉田蘭処  
毛利柳村  
田中節山  
杭迫柏樹  
大島崑山  
貞政少登  
東地滄厓  
吉川蕉仙  
新井光風  
小山や子  
桑田三舟  
樽本樹邨  
赤江華城  
村寄鴨畦  
金子卓義  
池田桂鳳  
清水透石  
松永陽石  
中野北溟  
古久保泰石  
野口白汀  
法元康州  
山根溪石  
鈴木春朝  
小名木東邨  
高木聖雨  
一色白泉

吉祥  
東山魁夷先生文  
張問陶詩  
心情  
ヘンリー・ムアー  
(八束句)  
古泉千樞のうた  
椿  
一茶の句  
跳舞語葉  
禪落  
冬木立(蕪村の句)  
若の浦  
深夜人見東明詩  
直道  
剛毅木訥  
韃氷壁  
ゆき  
草地の山  
天地の美語  
文字の物語  
秋の月詩  
白楽天詩  
良寛詩句  
七言二句  
自詠朝の道  
映本竹風の歌  
藤禅秋色水辺  
命ニ憂ハ  
解日湖上事  
秋天多歌  
若山牧水の歌  
思無邪  
池のほとり  
隴西行  
残雪光  
天来れば  
夏人  
大伴宿禰家持その一  
本物  
自詠句  
鶴  
追憶と幻影

榎崎華祥  
松原雪邦  
鈴木瑞之  
岡田契雪  
石飛博光  
村上俄山  
黒田賢一  
谷口東峰  
星弘道  
伊藤天游  
市澤静山  
宮崎葵光  
横山煌平  
田岡正堂  
角元正燦  
藤岡都逕  
山口南岬  
大重筠石  
川島鳳村  
西本支星  
後藤秀園  
松永鶴雲  
山田勝香  
林春月  
植松弘祥  
(故)明石春浦  
(故)太根啓山  
座馬井邨  
高橋蒼峰  
種村山童  
津村枕石  
中平南谿  
小暮青風  
中野蘭疇  
三村秀竹  
岡本松堂  
金子鷗亭  
上條信山  
大石隆子  
西村桂州  
中村龍石  
浅井素堂  
中川雨亭  
中島皓象  
奥田家山  
辻本翔鶴  
大井錦亭  
山下荻舟  
田島方外

平成7年美術展覧会(団体展)

囊 中 錐	横西 霞亭	黒 ・ 朱	熊谷 行子	水 に …	河野 穰而
夏の月(山家集より)	藤木 正次	プレリュードNo.58	立花みどり	時 の 間 に	山田 和枝
高 青 邱 詩	今村 桂山	気 粒 子	森 慧	月・星・太陽	佐藤 素康
安 靖	鈴木 桐華	象限Ⅲ・95-02	石川 西三	オブジェ95-A 2	野口眞木雄
宿 巴 陵 聞 笛	草野 霽田	再生のルシア	刀根 眞澄	海 の 話	堀 晃
鹿	宮重 小蘭	風 その七	小笠原忠弘	人 間 思 考	加藤 幸寿
洪自誠のこぼ	廣津 岱雲	砂 の 塔	佐藤 和子	パート44-A	芝 章一
天 瓊 矛	阿部 醒石	境界なき風景	石井 敏之	緑の送信・鎌倉発	遠藤慶一郎
鴻 飛 獸 駭	岡本 白濤	風 土	笠倉 實	妖精の森(夜)	佐藤 哲郎
鐵 の 文 鎮	吉田 成堂	間	高塚 篤	風 の 視 点	小谷 明美
モダンアート展45回	4. 6-21	風 の 彩	塩見 正	過ぎゆく日常	能仲ヤツヲ
東京都美術館		方形赤と青	恒川 俊明	祝された静物95-3	古川 秀昭
美術の窓 147	高山淳	在るがままに	後藤 令子	異 時	東 俊光
出品目録(会員)		赤 の 中 で	渡辺 可久	鵜化のエピグラム	
絵 画		風 の 軌 跡	森田 万樹	No6	岸 浩
時の接点	永井 肇	蝶のとまる	木村 良枝	く れ る	勝田 寛一
無 題 - '95	服部 碩夫	青のしじまに	石川 早苗	連作・光と影のアンソロジー	中井 幸一
人・人・人	いそべたつお	Ambivalence—Memo	花田喜八郎	キューピット	正田 壤
カーニバル	小林 孔	—Red and Black—		2 月 17 日	加藤 三男
雲の座… 3	石川 忠一	'95	吉田 英子	ブロードウェイの朝	大谷 礼子
黒 い 線	村井 正誠	耀 (よ う)	光永 直人	(その8)	
being	出水 徹	追 想	ホリコシキネコ	Punching Picture	近藤てつすけ
WAX WORK	オオミダイゾー	とらわれびと	赤崎 君美	—DART—	入江祥三郎
裂象シリーズ「繁栄と	高木 康夫	遠 い 記 憶	太田 俊伸	近江さかもと馬借一揆	辻野 精一
云うが」NO.2		景	川田伊津子	ま が り 2	武澤 久
復活の街	甲谷 武	白く抜けて	今中 和義	ア フ リ カ	樫田 勉
平面の中のジグザグ形	小松崎広子	作品 '95 - A	山内恵美子	アルバムより	高木 茂夫
ストローク—土の相	根岸 和弘	織りなすもの	白石 道夫	空 相	板井 栄雄
無 題	平塚 良一	典雅な正方形		喰 う	渡部 武
風の景<時代>	山田 展也	WHITE SPACE	小山喜三郎	景=微風・春・幻影	笹岡 信彦
空 白	奥 行彦	1995-1	藤貫喜由子	間 と 間 に	大津忠太郎
Zig-Zag—玄武	柳沢 信男	迷・転・移	ノダ 利道	FANTASY	石井 利秋
grasp:form	川上キヨ子	蟹気楼の地球	森 健二	古 洞	水谷 信子
PLAY'95-1	山内 慶子	'95光年の導	(故)西原 元	角砂糖のとけるまで	坂本 正直
作品 95 - A	水藤 澄子	Frame Work—94	安田 潤児	めしを食いつつ見ていた	
自然のしるし	早坂 健	庭師の夢'95春	山口 貞次	断 層	鈴木田俊二
湖面(彩 A)	神山 忠幸	レモン挽歌	平松 生夫	L'PIAZZA	神太麻雅生
Mr.Kの12か月	飯島 昌	風の層—橙	五嶋 稔	レモンイエロー	岩田ちよ子
移行する空間	岡田 博幸	トゥール—L・O・V・E		作品 95 - F	古野 耕作
Work—'95	水本 敦子	夢のアトリエにて	井草 裕明	Europeの印象	清水 亟悞
Labyrinth infini	藤田 淳子	(復活)	加藤 勝久	ま ど	栃木 順子
PEINTURE95-3	小高由里子	白い影—風に成る—	加藤 博康	森 の 水	天目 健一
転移する時間	堀田 能生	「人々」	安原 竹夫	流れのほとり	佐藤 孝
Round Space	増井 克利	ほどける風景シリーズ	斎藤 進	MADO 95-1	坂原 チェ
水の内側 704	海老塚市太郎	「みんないっしょ—	水野 翠	家の 模 型	小串 里子
「気象—天空へ	小倉 ポオ	Spring」	矢野満里子	2年ぶりで帰ってきた	松永 品子
鎮魂 1. 17		空 疎 な 城	坂本 京子	ネコ	栗原 勇
SHO/JI—9502 Op. 1	佐々木健治	もう一つの風景	鶴見 厚子	舞 女	稲田 健
宇	西川 幸衛	位置・O		作品 - '95	
THE YOUNG	上野山エイシ	Projective rose II			
		重 い 夢			



カオス - 95	青木 幸夫	不二 (D)	富張 広司	デザイン	
析 '95	渡辺 律吉	不二 (C)	"	揺れる虚空・六花のロ	村松 俊夫
海、遠っ人	森下 昭	南に散りし友に捧ぐ	吹田 文明	新たな地球	有川 高志
原生一'95-A	荻野 博	(戦後50年の鎮魂詩)II	"	AL 4920-54	清水 國夫
侵蝕 No.4-95	長沢 勇	南の夜明け	"	VARIATION	高橋 伸子
四角い形と四角い形	藤沢 晴	(戦後50年の鎮魂詩)III	高橋 克芳	(変奏曲)	馬場 雄二
みかけの幻想から	梶村 勝	Space~5 B	江藤 幸男	話 半 分	横山 智也
対 話	岡島 茂夫	○△□. II	"	構成95 J 06BP	山本 光生
ドーン、パチパチ	中本 純一	○△□. III	加藤 清治	Work-'95	宮木 英幸
瀬戸内の印象	潮田 親吾	ドラマの始まり	"	Stripes on Stripes	藤川 喜也
'95 の 詩	宮本興一郎	No.1	大島 庸世	9501	藤原 昌美
群 像	嶋谷 卓之	ドラマの始まり	"	彼 も 人	関 信一
Day dream	高野 叔子	No.2	片岡 真幸	CD type	石川 泰弘
白 い 道	渡部 康	もう一つの星空間II	柳楽 節子	インヴェンション	熊田 喜宣
虚 の 構 図	坂本 敏	もう一つの星空間I	蓮見 幸夫	'95-A	
クリスタルな記録	河村 一夫	風 解 951	柳沢美奈子	trace-95-1	
「作 品」	園田 康成	W H O - 014	"	COMPOSITION・95	
無 限 譜	平岡 幸子	Blue Zone-		・R・1	
流 離 抄	星 雅明	'95A		Light Instrument	
閉じ込めた赤・95	田中 木芽	緑 風		'95-chan.4	出町 克人
印 象	岸 勤	みどりの		Allusion'95-M1	森 竹巳
散 逸 構 造	熊谷みどり	彫 刻		3Dイメージ構成	遊佐 伸弥
孕 む	のだひろき	こんにゃく石	遠藤洪平六	シルクロード・奇瑞	木幡 幸子
春を待つ95-A	芳賀 広至	風 の 笛	村上 保	A Study of Spiral	藤原 哲朗
界 - 9411 A	海野 静子	WAVE-17-G	阿部 素尚	生活美術	
季・郷・春	松川 寛	うごめくような	佐藤 清人	Space-C-95-1	伊藤 茂
螺旋上の円95'	赤石よしまさ	HEAD OF A MAN	戸塚 秀三	WORK'95-M	石井香久子
幼 な 子	曾根 亮	Absurd Range	池田 清史	かたらい	大谷 葉子
版 画		95-3-3<All	井上 公雄	作品'95-No.1	青山 久子
黄色い都市1995-I	鈴木佐知子	truths turn to Lies>	重田 照雄	光 華	笠原三津子
ちょっとしたズレ	時田也寸子	空	岡崎 星秀	metallic vibration	阪井よう子
一形體- No.21	瀬尾 孝子	アルゴン溶接による試	望月 久也	南の島からの贈りもの	弥永 保子
風 花	鈴木 久子	作'95	谷村敬八郎	一火の国一	田中 靖彦
セレソ・ローサ	"	生 き る	山本 莞二	遠 い 調 べ	山本 清次
Stage of Elements-	小清水量造	KEN-KON	山口秀太郎	Composition一虚	瀬川喜美子
125	"	族 長	喜多野 瑛	脳音'95-1 ページ	川那部 綾
Stage of Elements-	伊原 道夫	光の風景94'-3	安藤 省吾	風のアンソロジー	大津由美子
127	"	山の天水	神原 哲夫	繚	都築 邦春
561C	中谷 有逸	残されたもの	後藤 久雄	RT-'95	奥山 善一
545AX	古川 仁史	家 族 '95	吉澤 孝	や す ら ぎ	大塚 哲郎
碑(昨日は去った)	伊藤彌四夫	ZONE 94-1	佐藤 秀	作 品 95 - A	
MAP(COPY* × 4)	"	切	広井 力	安井賞展38回 3.1-4.2	セゾン
No.45	濱口 恵	追 懐 想	村松 達也	美術館	
浮 遊 95	"	夜 風	岡崎 圭史	島根県立博物館ニュース 66	西
浮 上 95	"	空 へ の 門	坂口紀代美	尾尚子	
空 間 90	"	かたち. 95. A	種田 和夫	毎日夕刊 2.25	富山秀男
空 間 92	"	在 - '95	和田 憲治	出 品 目 録(会員)	
LANDSCAPE	古長 康典	天	玄間 正吾	絵 画	
94-4	清水 昭八	陰陽の碑'95-No.1		風 土 15	わたなべゆう
記述の残影	永井 研治	親しきものたち95-1		遠 い 日	三浦 泉
WL・95-1		「わ」		煙草のけむり	安達 博文

平成7年美術展覧会(団体展)

遠い日 夏-1	明山 応義
白い風景	足利 桂子
身体の表象	東 直樹
STUFF(0)	新井 知生
夢のアトリエにて (光年)	井草 裕明
Imitation	井澤 幸三
彼の故郷へ(1)	伊藤 彰規
破壊者-3	今永 清玄
福寿草が咲いた	岩本かづえ
UNTITLED	小原 素彦
香爐(こおろ)	織田広比古
PROVIDENCE IN NATURE SERIES 158 "SEEDS"	奥田 輝芳
流れる像	加藤 俊雄
プロムネプロムネ	金井 訓志
漂う碑	川島のぶ子
地天女	小久保 裕
リバー	小林 孝亘
まひるの思微睡	小林 裕児
反射率39%の重複視 -消え去る森の入口-	近藤 大志
異邦人 II	斉藤 昇
遠い影'94-II	田井 淳
J-made-I	田中 圭一
自転車のある風景	玉田 健二
浮遊の理	中井 浩史
停車場の人々	中嶋 明
K・点-1	長縄 等
Still Life 1	西原 幹
身辺雑記抄	野口 稔
風の砦'94	橋本 俊雄
Untitled'94-VII	原田 丕
領域	開 光市
SNAIL	蛭田 均
二月の風	福井 路可
鳥影	福岡 奉彦
海の話	堀 晃
山あるき三月(II)	本田 健
生きるものたち	松原 政祐
Spindle shaped	溝口 昭彦
薄暮 囷	森本 勇
ほどける風景 「みんないっしょ」	安原 竹夫
Calder Hall Ship- Enola Gay <sup>2</sup>	山口 啓介
地質時代(化石魚)	山崎 哲一郎

〔東洋古美術〕

1 月

日本美の精華—琳派 3—16 松屋  
(銀座)  
琳派展によせて 山根有三  
琳派の主題—宗達の場合 河野元昭  
琳派の絵画空間 中部義隆  
琳派関係略年表  
経塚出土陶磁展 畿内に埋納された  
やきもの 4—2月5 奈良国立  
博物館  
獅子・狛犬 4—3月19 京都国立  
博物館  
獅子・狛犬—その成立の諸要素  
伊東史朗  
広重・東海道五拾三次—保永堂版・  
隸書東海道 5—23 静岡県立美  
術館  
広重《東海道五拾三次(保永堂版)》  
における二面性 飯田真  
広重年表  
鴻池家秘蔵特別展 装剣金工後藤家  
の名作を集めて 5—2月26 日  
本刀装具美術館  
浮世絵の子どもたち 13—2月13  
ナビオ美術館  
児童文化—江戸から明治へ 上笙  
一郎  
江戸期の子どもを社会的に見る  
黒田日出男  
江戸・明治の子ども浮世絵 稲垣  
進一  
主要出品浮世絵師の作画期年表  
浮世絵の子どもたち  
江戸・明治 子ども文化年表  
江戸・明治子ども文化参考文献  
くもん子ども研究所  
インド染織美術展 皇中光享コレク  
ション 14—2月12 西宮市大谷  
記念美術館  
インドの染織 山辺知行  
インドの染織と私 皇中光享  
インド染織の歴史 中富喜陽子  
参考文献  
平安の姫君たち 15—2月19 齋宮  
歴史博物館  
主要参考文献

山車・屋台・曳山—長浜曳山祭の系  
譜を探る— 21—3月5 市立長  
浜城歴史博物館  
主な参考文献  
モノクロームの仏たち 新納忠之介  
コレクションから 24—3月26  
大阪府立近つ飛鳥博物館  
展示資料と新納忠之介 藤永正明  
略年譜 新納忠之介  
鏡像と懸仏展—神仏習合の中で生ま  
れた造形美— 27—2月19 島根  
県立博物館  
御正体としての“鏡像”と“懸仏”  
加島勝  
島根の鏡像と懸仏 的野克之  
鏡の美—讃岐出土・伝来の和鏡を中  
心として— 28—3月26 高松市  
歴史資料館  
青面金剛と庚申信仰 31—3月12  
町田市立博物館  
「庚申縁起」と庚申待ちの変容 久  
野俊彦  
語り物となった「庚申縁起」—庄内  
語り本の考察から 五十嵐文蔵  
青面金剛像と石造遺物 清水長明  
絵図入「庚申縁起」考 斎藤寿胤  
〔参考資料〕 庚申記 山形県飽海  
郡遊佐町十日町 庚申講蔵

2 月

高台寺の名宝 秀吉とねねの寺 1  
—26 京都国立博物館  
高台寺の歴史 後藤典生  
高台寺の創建と高台院—康徳寺か  
ら高台寺へ— 下坂守  
高台寺の美術—高台寺時絵を中心  
に— 灰野昭郎  
高台寺略年表 高台寺編  
高台寺関係系図 高台寺編  
高台寺境内図  
ベルギー王立美術歴史博物館所蔵  
浮世絵とタピスリー 7—3月19  
東京国立博物館  
日本の木版画コレクションの紹介  
ジャンタル・コデレフ  
幕末の群像—氏家・宇都宮を中心に  
7—4月9 ミュージアム氏家  
「幕末の群像」展とその資料点描  
長嶋元重

平成7年美術展覧会(1~3月)

氏家の俳句と文化活動 中野英男  
港町牛窓 9—3月12 岡山県立博  
物館  
日本の絵画と書蹟 16—3月31 大  
和文華館  
描かれた日本の風景—近世画家たち  
のまなざし— 21—3月26 静岡  
県立美術館  
日本の風景画とリアリティー—真景  
図の成立まで 辻惟雄  
探幽の作画にみる真景図の萌芽  
山下善也  
描かれた日本の風景—江戸後期の  
諸相 飯田真  
関係史料  
関係年表  
参考文献  
密教絵画 23—4月16 神奈川県立  
金沢文庫  
総説 密教絵画 真鍋俊照  
浮世絵の子どもたち 24—4月2  
秋田県立近代美術館  
日本の美—平成6年度国立博物館・  
美術館地方巡回展— 25—3月26  
群馬県立近代美術館  
館蔵 近世の絵画 28—3月19 世  
田谷区立郷土資料館  
落款印章  
概説 鈴木泉  
作家生没年表

3 月

アメリカが愛した日本 サンフラン  
シスコ・アジア美術館所蔵 ブラ  
ンデー・コレクション日本絵画  
名品展 2—4月9 松坂屋美術  
館  
サンフランシスコ・アジア美術館  
所蔵のブランド・コレクション  
とバックカード・コレクションに  
ついて ウッドソン陽子  
アメリカにおける日本美術展 そ  
の40年の歩みをかえりみる 覚道  
良子  
アメリカの愛した絵巻と屏風絵と  
榎原悟  
室町水墨画と「禅」 島尾新  
江戸絵画の多様な流れ 小林忠  
作家生没年表

平成7年美術展覧会(3~4月)

- ひいなII 3-4月16 龍野市立歴史文化資料館
- 東洲齋写楽と役者絵の世界 4-19 徳島県立博物館  
東洲齋写楽について  
主要参考文献
- 寛政の出版界と山東京伝 200年前が面白い! 4-4月16 たばこと塩の博物館  
寛政の改革 竹内誠  
寛政の出版法令(未定稿) 湯浅淑子  
出版統制令と浮世絵一寛政期の錦絵を中心に一 大久保純一  
寛政改革と薦屋重三郎 鈴木俊幸  
近世後期江戸の出版統制 佐藤悟  
寛政改革と山東京伝 棚橋正博  
京伝のたばこ入れ店について 湯浅淑子  
京伝店商品の意匠を読む 岩崎均史  
見立遊びとしての煙草用具の造り物 崔京国
- 茶道史に輝く人々 17-6月11 野村美術館  
茶道史に輝く人々 古賀健蔵
- 広重 19-5月5 岡山城天守閣  
広重編年資料集成 酒井雁高  
浮世絵学年表(広重) 酒井雁高編  
浮世絵学 画号索引 酒井雁高編
- 賞名松翁 幕末の三筆 21-5月7 徳島市立徳島城博物館
- 石山合戦と下間仲之一本願寺坊官下間少進資料展一 21-5月7 大阪城天守閣  
下間少進家資料目録
- 弥生の“いくさ”と環濠集落一大塚・歳勝土遺跡の時代一 25-5月7 横浜市歴史博物館  
引用文献
- 日本と中国の美術一16世紀までの名品から一 25-6月18 宮内庁三の丸尚蔵館  
当館で所蔵する古美術の名品について 平林盛得/松本彩  
名品書跡の旧蔵者たちについて 平林盛得  
法隆寺献納宝物について一当館所蔵品を中心に一 松本彩

古代の形 飛鳥藤原の文様を追う  
29-5月21 奈良国立文化財研究所飛鳥資料館

#### 4 月

- 館蔵・春の優品展 墨の表現一水墨画と古筆 1-5月14 五島美術館
- 出土木製品が語る歴史一古代・湖南の人々の暮らし一 1-5月14 栗東歴史民俗博物館
- 江戸の看板一広告の原点をたどって一 1-5月14 千葉県立上総博物館
- 東洋陶磁名品展 1-6月24 松岡美術館
- 田崎草雲とその師弟 2-5月29 足利市立美術館
- 館蔵絵画の逸品 初公開作品による 4-5月28 三井文庫
- 金家信家展 5-7月16 日本刀装具美術館
- 江戸狩野派の変貌PART 2 8-5月14 板橋区立美術館  
江戸狩野派の保守と革新 安村敏信  
作家解説 河辺真利子
- 日本の文人画展I 8-5月28 静嘉堂文庫美術館  
日本の文人画 河野元昭  
生没年対照表  
署名・印章一覽
- 東寺国宝展 11-5月14 京都国立博物館  
東寺の歴史一教王護国寺という意識をめぐって一 上島有  
弘法大師の密教世界 頼富本宏  
東寺の美術 彫刻 伊東史朗  
東寺の美術 仏画 泉武夫  
東寺の美術 近世絵画一狩野派の作品をめぐって一 狩野博幸  
東寺の美術 書跡 下坂守/赤松米慶  
東寺の美術 漆工 灰野昭郎  
東寺の美術 金工 久保智康  
東寺の美術 染織 河上繁樹  
東寺略年表  
東寺の年中行事

- 浮世絵の子どもたち 15-5月14 北海道立旭川美術館
- 歌川国貞 幻のコレクション一[浄瑠璃づくし]と[百人美女] 15-5月14 北海道立帯広美術館  
世界でただ一枚の重み 高橋博信  
歌川国貞の画業と生涯 佐藤幸宏  
関連年表 佐藤幸宏編  
参考文献 佐藤幸宏編
- 中国古陶磁展一新石器時代から宋代まで一 15-5月25 足利市立美術館
- メトロポリタン美術館浮世絵名品展 15-5月28 名古屋市博物館  
人生のひとつこまへの愛着 浮世絵が印象派に与えた刺激 小林忠  
浮世絵版画の歴史とエポック 神谷浩  
浮世絵略年表 神谷浩編
- 絨毯 シルクロードの華 15-6月4 群馬県立歴史博物館  
用語解説 杉村棟  
イスラム絨毯のコレクション  
参考文献
- 浮世絵展 館蔵品による一豊国・国芳・国周一 15-6月25 板橋区立郷土資料館
- 高台寺の名宝 秀吉とねねの寺 18-5月28 サントリー美術館
- 鏡の時代一銅鏡百枚一 18-6月18 大阪府立近つ飛鳥博物館  
三・四世紀の東アジアの国際情勢 大庭脩  
中国における銅鏡の変遷 三宅正浩  
コラム1 銅鏡の美術史 藤田豊  
中国鏡の中の三角縁神獸鏡 一瀬和夫  
三角縁神獸鏡の図像・文様・銘 藤永正明  
コラム2 銅鏡をつくる 一瀬和夫  
古墳と三角縁神獸鏡 高島徹  
コラム3 歴史教育の中の耶馬台国 栗山和之  
参考文献目録  
三角縁神獸鏡出土地名表 高島徹編
- 金沢文庫名宝コレクション 20-7月9 神奈川県立金沢文庫

祭と政一古墳時代のまつりのかたち  
— 29—6月4 滋賀県立安土城  
考古博物館  
雪野山古墳と古墳時代の葬送儀礼  
福永伸哉  
参考文献一覧  
肉筆浮世絵名作展 29—6月25 楠  
形町立春仙美術館  
浮世絵の華・絢爛たる肉筆の世界  
山口桂三郎  
肉筆浮世絵の誕生 諏訪春雄  
八代将軍吉宗と紀州徳川家 29—  
7月2 和歌山県立博物館  
「御三家」紀州藩の成立について  
小山譽城  
徳川吉宗の農政一國元の名臣たち  
— 広本満  
吉宗の藩政と享保改革 遊佐教寛  
虚構のなかの吉宗—出生前後にま  
つわる伝承の民俗性について 岩  
崎竹彦  
吉宗関連年表

5 月

善本五十選 天理図書館所蔵 北京  
の看板 天理参考館所蔵品 11—  
31 天理ギャラリー  
甦る在外名画展 日本美術修復計画  
16—28 東京国立博物館  
クメールの焼きもの 23—6月25  
町田市立博物館  
クメール陶器について 矢島律子  
参考文献

6 月

近世宗教美術の世界—変容する神仏  
たち— 6—7月23 渋谷区立松  
濤美術館  
変容する神仏たち—近世宗教美術  
の世界 辻惟雄  
概説と作品解説 矢島新  
高台寺の名宝 秀吉とねねの寺 10  
—7月6  
彦根の寺社 宗安寺の歴史と美術  
16—7月16 彦根城博物館  
宗安寺の歴史 高木文恵

弥生人の食卓—米食事始め 22—6  
月25 大阪府立弥生文化博物館  
弥生のムラ—玉津田中遺跡(神戸市)  
— 22—6月25 兵庫県立歴史博  
物館  
かがみよ鏡—銅鏡の歴史と美— 23  
—6月4 小山市立博物館  
岐阜市所蔵美術品展 25—5月28  
岐阜市歴史博物館加藤栄三・東一  
記念美術館  
青龍三年銘鏡とその周辺 25—6月  
4 京都府立丹後郷土資料館  
京都府北部出土鏡一覽(由良川水  
系以北・古墳時代)  
参考文献  
江戸歌舞伎展 歴史と魅力 25—6  
月4 江戸東京博物館  
江戸・東京の歌舞伎劇場 服部幸  
雄  
江戸東京の花形役者 西山松之助  
芝居茶屋と観客 小木新造  
河竹黙阿弥 河竹登志夫  
村々を往く江戸歌舞伎 菊池明  
役者を偲ぶ錦絵—八代目市川団十  
郎の追善 粟屋朋子  
流行拳と歌舞伎 渡辺香  
歌舞伎舞踊とロシア・バレエ—新  
舞踊運動の一展開— 飯塚晴美  
略年表  
主な参考文献  
ブランデー・コレクション日本絵  
画名品展 27—5月9 高島屋  
(日本橋)  
大名の婚礼調度 27—6月26 石川  
県輪島漆芸美術館  
打つ・たたく 第3回千葉県立美術  
館・博物館合同企画展 28—5月  
28 千葉県立総南博物館  
弥生のかたち—土器が語る弥生時代  
のひろしま— 28—6月11 広島  
県立歴史民俗資料館  
大津絵—街道の民画 29—5月28  
大津市歴史博物館  
絵画史から見た大津絵 石丸正運  
街道と大津絵 木村至宏  
滋賀の石器時代 29—5月31 野洲  
町立歴史民俗資料館  
日本の櫛—別れの御櫛によせて—  
29—6月4 齋宮歴史博物館  
徴引書目抄(刊行年代順)

チベットの美術 真鍋俊照  
大橋コレクションの大橋新太郎氏  
について  
菅茶山とその世界—黄葉夕陽文庫を  
中心に— 21—5月21 広島県立  
歴史博物館  
菅茶山と同時代の儒者—学問と詩  
文の関わりの中で— 菅波哲郎  
菅茶山をめぐる画人たち 黒川修  
一  
年表  
菅茶山遊歴行程図  
参考文献  
よみがえる古代の輝き 21—5月21  
徳島県立博物館  
主要参考文献  
書に見る伊達正宗 21—6月4 仙  
台市博物館  
書に見る伊達政宗—その人と時代  
— 佐藤憲一  
真脇遺跡と縄文文化 22—5月21  
石川県立歴史博物館  
主な参考文献  
芝居おもちゃ絵の華麗な世界—近世  
庶民と歌舞伎文化— 22—5月28  
たばこと塩の博物館  
近世庶民と歌舞伎文化 林京平  
庶民の歌舞伎最前 赤間亮  
子どもの遊びと歌舞伎文化 肥田  
皓三  
大人が楽しむ歌舞伎遊び 赤間亮  
芝居と寄席と浮世絵と 新藤茂  
役者似顔絵と黄表紙 岩田秀行  
生活の中の歌舞伎文化 佐藤要  
人/谷田有史  
江戸・上方の名優たち 黒石陽  
子/速水久美/沢井浩一  
大阪の仏教絵画 22—5月28 堺市  
博物館  
大阪の仏教絵画について 吉原忠  
雄  
参考文献  
日本仏教美術名宝展 22—6月4  
奈良国立博物館  
奈良国立博物館略年表  
「日本仏教美術名宝展」概説 井上  
一稔/河原由雄/西山厚/阪田宗  
彦/井口喜晴  
略年表

平成7年美術展覧会(6~9月)

版になった絵・絵になった版—中世  
日本の版画と絵画— 17—7月23  
町田市立国際版画美術館  
ほとけたちの「人気」 林温  
墨摺手彩色のいろはにほへと 内  
田啓一  
参考文献  
参考資料—刻銘を中心に十四世紀  
から十六世紀まで—  
河内六寺 17—7月30 柏原市立歴  
史資料館  
参考文献  
春日大社名宝展 27—7月30 奈良  
国立博物館  
春日大社の歴史と美術 山本信吉

7 月

円山応挙—抒情と革新— 4—8月  
6 京都国立博物館  
応挙断章—人と仕事— 狩野博幸  
応挙の写生画—「しかけ」表現をめ  
ぐって— 冷泉為人  
落款・印章  
応挙年譜  
ブランドージ・コレクション日本絵  
画名品展 6—23 高島屋グラン  
ドホール  
仏教の美術 7—8月20 大和文華  
館  
をくり—伝岩佐又兵衛の小栗判官絵  
巻 8—9月10 宮内庁三の丸尚  
蔵館  
絵巻『をくり』—物語と画師・岩佐  
又兵衛について— 松本彩  
絵巻『をくり』—作品の概要と特徴  
など— 松本彩  
金沢貞顕 13—9月17 神奈川県立  
金沢文庫  
総説 永井晋  
金沢貞顕略年表  
絵図にみる信濃—江戸時代の村や町  
— 15—8月20 長野県立歴史館  
道 15—9月17 流山市立博物館  
武蔵の金工 18—8月27 町田市立  
博物館 中世武蔵野金工品と鋳物  
師について 加島勝  
中世武蔵国の鋳物師居住地(略図)  
武蔵国関係紀年銘金工品—覧  
仙台・堤のやきもの 18—10月15  
東北歴史資料館

参考文献  
高野山の菩薩像 20—8月31 高野  
山霊宝館  
高野山の菩薩像 井筒信隆  
東寺国宝展 22—8月27 世田谷美  
術館  
あかりの今昔—光と人の江戸東京史  
22—9月3 江戸東京博物館  
灯火具の歴史について 深津正  
あかりと暮らし—人と街— 石井  
幹子  
闇への挑戦 小島美子  
出土資料から見るあかり 小林克  
参考資料1 「火打金と火打石」関  
係資料  
参考資料2 あかり年表(1)—灯  
火史年表—  
参考文献

ヒミコの箱 22—9月3 綾部市資  
料館  
災害と村の暮らし 22—9月7 調  
布市郷土博物館  
加越能のやきもの展—はなひらく十  
九世紀— 22—9月10 富山市郷  
土博物館  
概説 木村弘道  
海のまくあけ 22—9月17 福島県  
立博物館  
彦根城の修築とその歴史 23—8月  
22 彦根城博物館  
彦根城築城・修築、城下災害略年  
表 母利美和編  
参考文献  
新宮涼庭と丹後の匠の流れ 25—8  
月31 京都府立丹後郷土資料館  
参考文献  
弥生の鉄文化とその世界 北九州の  
先進性を探る 25—9月17 北九  
州市立考古博物館  
〈総論〉東アジアからみた弥生の鉄  
文化 村上恭通  
蒲生野の古代史—蒲生・神崎郡展—  
30—9月24 滋賀県立安土城考古  
博物館  
参考文献

8 月

ブランドージ・コレクション日本画  
名品展 3—9月17 そごう美術  
館

將軍吉宗とその時代展 5—9月10  
サントリー美術館  
將軍吉宗とその時代 大石慎三郎  
紀州と徳川吉宗—その虚像と実像  
— 三尾功  
吉宗関係年表  
沖縄の工芸美術 5—9月3 長野  
県信濃美術館  
彦根の寺社 来迎寺の美術 25—  
9月19 彦根城博物館  
来迎寺本尊・阿弥陀如来坐像につ  
いて 斎藤望  
野馬追の歴史 26—10月31 野馬追  
の里歴史民俗資料館

9 月

芝居おもちゃ絵の華麗な世界—近世  
庶民と歌舞伎文化— 1—10月8  
大阪市立博物館  
ホノルル美術館名品展 平安—江戸  
の日本絵画 2—10月8 静岡県  
立美術館  
ホノルル美術館の日本絵画と浮世  
絵 スティーブン・リトル  
尊円法親王像をめぐる 福島恒  
徳  
狩野興以の花鳥図屏風と寛永期の  
障壁画 山下善也  
豊国の肉筆美人画—寛政期の概観  
— 福井尚寿  
富嶽三十六景「凱風快晴」の独創性  
飯田真  
ホノルル美術館の日本絵画コレク  
ションの修復作業について 玉蟲  
玲子  
トブカブ宮殿の名品—スルタンの愛  
した陶磁器 8—10月15 佐賀県  
立九州陶磁文化館  
トブカブ宮殿博物館と中国及び日  
本の陶磁器 ヒュリヤ・トゥン  
ジャイ  
オスマン・トルコ帝国の盛衰と東  
洋陶磁 大橋康二  
茶・珈琲・煙草と古伊万里 永渕  
友子  
主要参考文献  
沖縄の工芸美術 9—10月8 千葉  
県立美術館

## 10 月

幕末の風刺画 戊辰戦争を中心に  
12—10月15 町田市立博物館  
幕末の風刺画—戊辰戦争を中心と  
して— 南和男  
幕末の“諷刺画”に見る改印 湯浅  
淑子  
風刺画の版元 畑尚子  
田河コレクションのこことなど 畠  
山豊

西国三十三所—観音霊場の信仰と美  
術— 14—10月15 東武美術館  
西国巡礼のなつかしさ 瀬戸内寂  
聴  
日本の観音信仰 速水侑  
観音の美術・霊場の美術 米屋優  
西国三十三所巡礼の歴史 大塚活  
美  
主要参考文献  
影絵の十九世紀 15—10月22 サン  
トリー美術館  
近世文学と影絵 佐藤悟  
「影絵」の十九世紀—人は「影」に何  
を見てきたか— 岡戸敏幸

立圃から芭蕉へ 俳画のながれ 15  
—10月22 柿衛文庫  
立圃から芭蕉へ 木村三四吾  
立圃の書画幅について 石川真弘  
立圃筆「悼妻文」について 雲英末  
雄  
福山と立圃 平井隆夫  
立圃略年譜

北山・東山文化の華 相国寺金閣銀  
閣名宝展 15—10月29 根津美術  
館  
相国寺と室町文化 芳賀幸四郎  
東アジアのなかの相国寺 村井章  
介  
相国寺境内出土資料観察表・実測  
図 鈴木裕子  
参考資料  
三井家の名碗30撰 三井文庫別館開  
館10周年記念展 15—11月26 三  
井文庫  
紀州徳川家陶磁の美 15—12月27  
和歌山県立博物館  
近世紀州の三大窯について 小田  
誠太郎  
歌舞伎の衣裳展 19—10月22 福島  
県立美術館

浜松城のイメージ 19—11月22 浜  
松市博物館  
近世の美人画・風俗画 19—12月24  
萬野美術館  
写経と摺経 22—12月3 神奈川県  
立金沢文庫  
概説 高橋秀米  
天璋院 薩摩の篤姫から御台所 22  
—10月22 鹿児島県歴史資料セン  
ター黎明館  
將軍吉宗とその時代展 22—10月29  
和歌山県立博物館  
法隆寺再現壁画 22—11月26 東京  
都美術館  
アジャンターから敦煌そして法隆  
寺壁画 河原由雄  
「再現壁画」画家の報告  
「旧壁画模写」画家の思い出  
金堂壁画と歴史的遺産模写の意義  
平山郁夫  
法隆寺金堂壁画史 高田良信  
法隆寺金堂壁画関係資料 高田良  
信編

狩野晴川院養信の全貌 23—10月22  
板橋区立美術館  
狩野晴川院の業績 松原茂  
狩野養信略年譜 安村敏信編  
落款・印章  
日本刀の移りかわり—平安後期から  
江戸末期まで— 23—10月29 米  
沢市立上杉博物館  
日本刀の歴史と流れ 檜山正則  
かな—王朝のみやび— 23—11月5  
徳川美術館  
王朝時代のかな 四辻秀紀  
主な参考図書・文献  
縄文時代展 自然とともに生きた  
人々 23—11月12 福岡市博物館  
考古資料にみる津とその周辺 30—  
10月11 三重県埋蔵文化財セン  
ター  
唐入り 秀吉の朝鮮侵略 30—11月  
5 佐賀県立名護屋城博物館  
「唐入り」—秀吉の朝鮮侵略— 本  
多美穂  
秀吉の朝鮮侵略と名護屋 藤木久  
志  
参考文献  
古代人の原像—かお・手・あし—  
30—11月26 山形県立博物館  
主な参考文献

広重 1—11月6 岩国歴史美術館  
堺と三都—まちと名所をめぐる—  
1—11月5 堺市博物館  
江戸・東京百景今昔《広重『名所江戸  
百景』を東京に見る》 1—11月18  
中野区立歴史民俗資料館  
安藤広重と名所江戸百景 比田井  
克仁  
参考文献 比田井克仁  
お庭焼初代吉向展 吉向焼須坂開窯  
150年記念 1—11月20 須坂市  
立博物館  
吉向焼と近世窯業 河原正彦  
須坂藩と吉向行阿 小林宇彦  
吉向焼の特色 宮川匡寛  
吉向焼窯跡について 宮川匡寛  
吉向焼に関する古文書 宮川匡寛  
吉向焼の銘 宮川匡寛  
吉向焼の残したもの 小林宇彦  
主要参考文献  
歌絵 1—11月26 和泉市久保惣記  
念美術館  
歌絵—成立と展開— 河田昌之  
蒔絵 漆黒と黄金の日本美 3—11  
月12 京都国立博物館  
蒔絵—漆黒と黄金の日本美— 灰  
野昭郎  
参考文献 日高薫編  
銅鐸の美—銅鐸の絵と子どもの絵—  
3—11月26 国立歴史民俗博物館  
文献目録  
朝日遺跡への招待 3—11月30 愛  
知県清洲貝殻山貝塚資料館  
高台寺の名宝 秀吉とねねの寺 5  
—11月10 林原美術館  
対幅—中国絵画の名品を集めて—  
6—11月5 大和文華館  
中国絵画の対幅 藤田伸也  
資料・参考文献  
古墳誕生の謎をさぐる—特殊器台か  
らはにわへ— 6—11月19 広島  
県立歴史民俗資料館  
矢谷墳丘墓の特殊器台からみた三  
次盆地の歴史的位置 伊藤実  
世界と日本—天正・慶長の使節 6  
—11月23 仙台市博物館

平成7年美術展覧会(10月)

大航海時代のなかの二つの遣使使節 渡辺信夫  
大航海時代に残した二つの壮挙—  
天正少年使節と慶長支倉使節のこ  
と— 高橋由貴彦  
「世界と日本—天正・慶長の使節  
—」について 高橋あけみ  
天正・慶長遣使使節関係年表  
主要参考文献  
かわらの美 7—11月5 高浜市や  
きもの里かわら美術館  
総説 稲垣晋也  
前田齊泰 加賀藩主 7—11月12  
石川県立歴史博物館  
十三代藩主齊泰とその時代  
君侯日常の生活  
年表  
描かれた近世富山展 7—11月12  
富山市郷土博物館  
近世富山を描いた風景画について  
加藤達行  
耶馬台国への海の道—壹岐・対馬の  
弥生文化— 7—11月26 大阪府  
立弥生文化博物館  
対馬海峡の漁撈文化 渡辺昌宏  
弥生時代の祭儀建築と外来文化  
宮本長二郎  
韓国からみた弥生時代の対馬 沈  
奉謹  
参考文献  
天明の浅間焼け 7—11月26 群馬  
県立歴史博物館  
天明の浅間焼け 大石慎三郎  
鎌原村の発掘 松島栄治  
飢饉の中の民衆 菊池勇夫  
記録が語る浅間焼け  
埋没した村々  
天明の飢饉  
救済と復興  
火山災害と防災  
主な参考文献・引用文献  
蘇我三代 7—11月26 奈良国立文  
化財研究所飛鳥資料館  
蘇我氏の時代 岩本圭輔  
蘇我氏の邸宅 次山淳  
蘇我氏の寺 杉山洋  
蘇我氏の墓 岩本圭輔  
蘇我三代関連年表  
参考文献

芹沢銈介の蒐集 東洋陶磁コレク  
ションから 7—11月26 東北陶  
磁文化館  
芹沢銈介の生涯 浜田淑子  
芹沢銈介年譜 芹沢長介編  
北の海から—福島貝塚— 7—12  
月3 天理大学附属天理参考館  
お守り—暮らしにいきづく信仰の形  
— 8—11月19 小山市立博物館  
参考・引用文献  
中国の洋風画展 明末から清時代の  
絵画・版画・挿絵展 8—11月26  
町田市立国際版画美術館  
民間における西洋画法の受容につ  
いて 河野実  
明末絵画と西洋画法の遭遇—東洋  
的芸術観に包み込まれた科学的信  
念— 小林宏光  
西洋画の影響を受けた清代前期絵  
画—南京・揚州・杭州の画家を中  
心に— 吉田晴紀  
ジュゼッペ・カスティリオーネ  
(郎世寧)の生涯とその評価 新関  
公子  
東・西の遠近表現 飯野正仁  
中国初期銅版画 佐川美智子  
観音五十三現象について 内田啓  
一  
万暦—乾隆間の西洋絵画の流入と  
洋風画 鶴田武良  
ポツォの『画家と建築家のため  
の遠近法』について 池上英洋  
中国の洋風画関連年表  
参考文献  
三彩—中国とベルシアー 9—12月  
2 天理ギャラリー  
葛飾北斎展 江戸のメディア絵本・  
版画・肉筆画 10—11月12 江戸  
東京博物館  
北斎版本とその芸術 永田生慈  
富士信仰と北斎 小木新造  
北斎作品と狂歌の世界 伊藤めぐ  
み  
北斎の双六 岩城紀子  
『風流勲進帳』について  
葛飾北斎略年表  
葛飾北斎関係主要文献  
花 10—11月19 東京国立博物館  
美術に表現された花 鷲塚泰光

狩りと王権 10—11月23 斎宮歴史  
博物館  
参考文献  
中国の石仏 荘厳なる祈り 10—11  
月26 大阪市立美術館  
中国の石仏 藤岡穰  
参考文献  
鍋島展—技と雅の極み— 12—4月  
19 有田ポーセリンパーク ッ  
ヴィンガー—宮殿企画展示室  
引用・参考文献  
蜂須賀家の甲冑—武家の象徴— 12  
—11月12 徳島市立徳島城博物館  
日本の甲冑の流れ  
主要参考文献  
寺社絵の世界 中世人のこころを読  
む 13—11月12 大分県立宇佐風  
土記の歴史民俗資料館  
古代の集落—しもつけのムラとその  
生活— 13—11月26 栃木県立し  
もつけ風土記の丘資料館  
軍事と古代の民衆 津野仁  
古代東国集落の諸相—村と都の暮  
らしぶり 村松恵司  
主要参考文献  
観音寺城と佐々木六角 14—11月12  
滋賀県立安土城考古博物館  
戦国大名六角氏と近江の先進性—  
戦国大名像の再検討— 宮島敬一  
参考文献  
ホノルル美術館名品展 平安—江戸  
の日本絵画 14—11月12 岡山県  
立美術館  
利休織部遠州の書 侘びと風雅の筆  
あと 14—11月14 佐野美術館  
利休・織部・遠州の書 波多野幸  
彦  
署名と花押  
手紙の見方 飯田孝子編  
関係者生没表  
浪花百景—いま・むかし— 14—11  
月14 大阪城天守閣  
参考文献  
北村季吟—俳諧・和歌・古典の師—  
14—11月23 野洲町立歴史民俗資  
料館  
北村氏・木村氏略系図  
北村季吟略年譜  
主要参考文献



- 狭山と須恵器 15—11月23 大阪狭山市立郷土資料館  
狭山と須恵器  
参考文献
- 中国の書 16—12月15 永青文庫  
東洋美術 サンフランシスコ・アジア美術館所蔵 17—11月26 京都国立博物館
- 霞ヶ浦一湖のくらし 17—12月3 土浦市立博物館  
流海(霞ヶ浦)をめぐる古代豪族  
井上辰雄  
霞ヶ浦を展示する  
参照文献
- THEはぎやき展 破格と前衛の造形 18—11月26 山口県立美術館  
高麗茶碗の種類と特質 赤沼多佳  
展覧会ノート 榎本徹  
参考文献
- 紀州史絵物語—歴史資料としての絵画作品— 18—11月27 和歌山県立博物館
- 松井家三代—文武に生きた人々— 八代の歴史と文化 5 20—11月23 八代市立博物館未来の森ミュージアム  
松井家三代—文武に生きた人々— 福原透  
松井興長・寄之と細川藩 林千寿  
松井家の先祖をめぐる—松井山城守正之、同越前守長之について 福原透  
松井家三代関係系図 林千寿編
- 文房清玩—中国の文人趣味— 21—11月5 黒川古文化研究所
- 正倉院展 21—11月9 奈良国立博物館  
正倉院五十年のあゆみ 山本信吉  
正倉院年表  
正倉院展五十年の概要  
用語解説
- 信濃における戦国争乱の世界 21—11月26 長野県立歴史館  
信濃における戦国争乱の世界—信濃の戦国時代と社会— 笹本正治  
戦国信濃武将による発給文書の変遷 井原今朝男  
参考文献
- 柴田コレクション4—古伊万里様式の成立と展開— 21—11月26 佐賀県立九州陶磁文化館
- 17世紀末から19世紀中葉までの有田磁器の変遷—古伊万里様式の成立と変遷を中心として— 柴田明彦  
17世紀末から19世紀中葉の銘款と見込み文様 鈴田由紀夫
- 備後安国寺 21—11月26 福山市鞆の浦歴史民俗資料館  
安国寺釈迦堂 古西武彦  
備後安国寺諸仏像内納入品と指定文化財 池田一彦
- 金勝寺 良弁説話と二十五別院 21—11月26 栗東歴史民俗博物館  
金勝寺と良弁僧正の関係について 平岡定海  
草創期の金勝寺 宇野茂樹  
史料篇
- トブカブ宮殿の名品—スルタンの愛した陶磁器— 21—11月19 滋賀県立陶芸の森陶芸館
- 火炎土器 22—11月26 大田区立郷土博物館  
火炎土器様式と遺跡の分布  
縄文土器編年表  
展示関連主要遺跡紹介  
主な参考文献
- 大宮の考古遺物—那珂・久慈の清流にはぐくまれた大宮町の先史・古代 24—11月19 大宮町歴史民俗資料館
- 古代東国の渡来文化 24—12月3 埼玉県立博物館  
関東地方出土の朝鮮半島系土器について 酒井清治  
主要参考文献一覧
- 外科書の世界 平成7年秋季企画展 図録 24—12月9 京都大学文学部博物館
- 米作りの始まり 25—11月23 富山県埋蔵文化財センター  
引用・参考文献
- 大写楽展 26—12月10 東武美術館  
写楽の芸術 ロジャー・キーズ  
江戸文化と浮世絵 西山松之助  
写楽と歌舞伎 写楽作品の再検討 諏訪春雄  
関連年表 写楽が活躍した前後  
野口晴子編  
主要参考文献 野口晴子編
- 茶・花・香—中世にうまれた生活文化— 27—11月26 広島県立歴史博物館  
茶・花・香をつくった人々 石橋健太郎  
室町時代の茶・香—それらが一連一体であった痕跡を求めて— 石橋健太郎  
浄土寺の茶室・露滴庵の来歴と建築形式について 松崎哲  
年表  
参考文献
- 水と暮らし 28—11月26 岡山県立博物館
- 山上宗二記 天正十四年の眼 28—11月26 五島美術館  
『山上宗二記』とは何か 竹内順一  
『山上宗二記』記載道具一覧表  
『山上宗二記』の諸本  
齋田記念館本『山上宗二記』について
- 徳川四天王 28—11月27 彦根城博物館  
徳川四天王一家康を支えた股肱の臣たち— 小和田哲男  
井伊直政—そのおいたちと足跡— 母利美和  
井伊直政年表  
徳川四天王対照略年表
- 根付 手のひらの中の芸術 28—12月3 たばここと塩の博物館  
根付の魅力 高円宮憲仁親王  
根付と印籠・たばこ入れについて 谷田有史  
『装剣奇賞』について 佐藤要人  
『装剣奇賞』巻之六・巻之七 翻刻・註解 佐藤要人編
- 江戸の新興宗教—文京の富士講— 28—12月10 文京ふるさと歴史館  
海蔵寺身祿墓所と黒木家文書 宮崎ふみ子  
山護講について 平野榮次  
駒込富士神社の石造物 小林一岳・窪田涼子  
音羽富士塚の石造物 小林一岳・窪田涼子
- 立圃から芭蕉へ 俳画のながれ 28—11月26 福山市立福山城博物館

11 月

ブラハ国立美術館所蔵浮世絵展 1  
—26 太田記念美術館  
全巻初公開「太平記絵巻」—日本に  
帰ってきた幻の合戦絵巻— 3—  
23 埼玉県立博物館  
喜多川歌麿展 3—12月10 千葉市  
美術館  
時衆の美術と文芸 遊行聖の世界  
3—12月10 山梨県立美術館  
時衆と阿弥文化 林屋辰三郎  
遊行の誕生 今井雅晴  
一遍上人の遊行と一向俊聖 今井  
雅晴  
一遍、遊行の足跡(一二三九~八  
九年)  
阿弥陀信仰と神祇 高野修  
遊行上人と民衆 長島尚道  
真教、遊行の足跡(一二八九~一  
三〇四年)  
時衆の布教と定着 梅谷繁樹  
遊行・藤沢上人略系図  
京都の時衆 梅谷繁樹  
時衆の地方展開 梅谷繁樹・高野  
修・長島尚道  
時衆の美術 濱田隆  
時衆の肖像彫刻について 田辺三  
郎助  
祖師絵伝 有賀祥隆  
遊行と文化の伝播 金井清光  
時衆の芸能 金井清光  
時衆の文芸 金井清光  
時衆の伝統行事 高野修  
時衆年表 遠山元浩編  
主要参考文献 長島尚道編  
百華の宴—遠山記念館開館25周年名  
品展— 3—12月17 根津美術館  
遠山元一とそのコレクション 友  
部直  
渡辺華山筆 白鷺游魚図の制作と  
来歴について 小野恵  
砂漠の賜物—コプトと古代アンデ  
スの染織— 山辺寛史  
ある土器の背景 井上(貫井)則子  
北京故宮博物院名宝展 紫禁城と中  
国4000年の美の秘宝 3—12月24  
東京富士美術館

故宮博物院と中国4000年の美 高  
倉達夫  
皇帝系図  
関連地図  
関連年表  
馬と装い 鞍と鎧 8—3月25 野  
馬追の里歴史民俗資料館  
国宝源氏物語絵巻 11—12月3 徳  
川美術館  
伊那谷の仏教文化2—飯田市と下伊  
那北部— 11—12月10 飯田市美  
術博物館  
伊那谷の仏像—研究史的に— 西  
山保  
伊那谷の尊像彫刻編年表 西山保  
あるく歩く 11—12月24 林原美術  
館  
クラブホーン・コレクション浮世絵  
名品展 12—12月10 楡形町立春  
仙美術館  
クラブホーン・コレクションによ  
る浮世絵と江戸の変遷について  
山口桂三郎  
蒐集を育てた印刷専門家の眼と画  
家の眼 定村忠士  
西国三十三所—観音霊場の信仰と美  
術— 21—12月19 京都文化博物  
館  
トブカブ宮殿の名品—スルタンの愛  
した陶磁器— 26—12月24 古代  
オリエント博物館  
ホノルル美術館名品展 平安~江戸  
の日本絵画 29—12月24 そごう  
美術館(奈良)

12 月

館蔵 茶道具取合わせ展 2—2月  
18 五島美術館  
香川県歴史博物館(仮称) 新収蔵資  
料展 5—17 香川県文化会館  
六浦瀬戸橋 7—2月18 神奈川県  
立金沢文庫  
資料解説  
参考文献  
柴田コレクション4—古伊万里様式  
の成立と展開— 8—24 福岡県  
立美術館  
柳之御所遺跡発掘調査展 16—1月  
21 岩手県立博物館

## 美術文献目録 (平成7年)

## 凡 例

- ここに採録した文献は平成7年中にわが国において発行された定期刊行物、主要展覧会図録および諸新聞に掲載されたものである。ただし雑誌により年度外が含まれることもある。
- 単行図書の形で刊行されたもののうち多数の論文を集録したものはその内容を定期刊行物中に組み入れた。
- 現代美術文献は明治以後の美術に関するものを、外国美術文献は西洋を主として集めたが、現代に関わりをもつものは、新聞紙上に載せられた東洋、古美術関係記事も適宜採録した。
- 建築ならびに工芸の範囲は本文最初の凡例に記した範囲にとどめた。
- 各項目内の配列は、特記したほかは内容別順とした。なお主題記載については、見出し易くするため多少変更している事がある。(例えば作家欄において作家名を先に出すなど。)
- 雑誌の号数は主として通巻番号を採用した。なお757~759は757号、758号、759号にわたることを示し、14・15は14号と15号の合併号を示す。9、1、3、6は平成7年9月1日、3日、6日の新聞を示す。(5)は平成7年5月号を示す。
- 題目の記載されていない文献については、便宜上編集部が仮題を付した。その題目は\$記号を両端に付して示した。

## 収録定期刊行物誌名 (50音順)

アート・ドキュメンテーション研究	葵(徳川美術館)	飯田市美術博物館研究紀要	岩手県立博物館研究報告
アート・ドキュメンテーション通信	あふひ・AOI	飯田市美術博物館ニュース	印度学仏教学研究
アート・トップ	青山史学	池田文庫	上野の社会報
アートフォーラム(茨城県近代美術館)	秋田大学教育学部研究紀要	石川県立美術館紀要	宇佐風土記の丘歴史民俗資料館年報
アートマインド	AXIS	石川県立美術館だより	宇都宮美術館(仮称)準備ニュース
アートペーパー(名古屋市美術館)	アサヒグラフ(別冊)	石川れきはく	絵
RGB(横浜美術館)	跡見学園女子大学紀要	和泉市久保惣記念美術館久保惣記念文化財団東洋美術研究所紀要	AAC(愛知芸術文化センター)
愛知県美術館研究紀要	跡見学園女子大学美学・美術史学科報	出光美術館館報	叡山学院研究紀要
愛知県立芸術大学紀要	アトリエインターナショナル	出光美術館研究紀要	永青文庫
アイデア	アマリリス(静岡県立美術館)	茨城県近代美術館だより	エスプラナード(福岡市美術館)
AURA(川村記念美術館)	AMBIANTE(東武美術館友の会季刊誌)	茨城県立歴史館報	江戸東京たてもの園だより
		茨城県歴史館だより	

美術文献目録

江戸東京博物館NEWS	岐阜市歴史博物館研究紀要	芸術論究	茶道雑誌
大倉山文化会議研究年報	岐阜市歴史博物館博物館だより	芸叢	ザ・ルーフ(郡山市立美術館)
大阪教育大学紀要人文科学	ギャラリー(月刊)	化粧文化	産総研ニュース(神奈川県産業技術総合研究所)
大阪城天守閣紀要	九州産業大学芸術学部研究報告	現代思想	サントリー美術館ニュース
大阪市立博物館研究紀要	九州歴史資料館研究論集	現代の眼(東京国立近代美術館)	C.A.R. (Contemporary Artists Review)
大田区立郷土博物館紀要	京都工芸繊維大学工芸学部研究報告人文	建築雑誌	史苑
大手前女子大学論集	京都市美術館ニュース	建築史学	史学
大美和	京都市美術館年報	皇学館大学神道研究所紀要	史学雑誌
岡山県立美術館ニュース	京都市立芸術大学芸術資料館年報	工芸	滋賀県文化財保護協会紀要
岡山市立オリエント美術館研究紀要	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	考古学雑誌	滋賀県立安土城考古博物館紀要
沖縄県立芸術大学紀要	京都大学大型計算機センター研究開発部研究発表報告集	構造	子規博だより(季刊)
沖縄県立博物館紀要	京都大学文学部美学美術史学研究室研究紀要	高知県立美術館ニュース	市史せんだい
沖縄芸の科学	郷土と博物館	神戸市立小磯記念美術館だより	静岡岡史研究
沖縄コンベンションセンターニュース	京都府立総合資料館だより	神戸市立博物館だより	史迹と美術
小田原市郷土文化館研究報告	京都府立総合資料館紀要	高野山霊宝館研究紀要	思想
オリエント	共立女子大学文芸学部紀要	国学院雑誌	実践女子大学美学美術史学
香川県文化会館だより	紀要 Hokkaido Art Museum Studies	国学院大学紀要	実践女子大学文芸資料研究所年報
学術情報センター紀要	金鱗叢書 史学美術史論文集	国語国文	漆芸美術館だより
学叢(京都国立博物館)	近代	国語と国文学	島根県立博物館ニュース
学鏡	近代画説	国文学研究資料館紀要	ジャポネズリー研究会会報
鹿児島市立美術館だより	鉏路論集	国文学研究資料館文献資料部・調査研究報告	宗教美術研究
鹿島美術財団年報	熊本県立美術館研究紀要	国立国際美術館月報	修復研究所報告
華頂博物館学研究	GLASS	国立博物館ニュース	春陽
CADENZA(日経新聞社)	群馬県立女子大学紀要	国華	自由美術
神奈川県立近代美術館年報	群馬県立歴史博物館紀要	古文書研究	正倉院年報
神奈川県立博物館研究報告	群馬県立歴史博物館博物館だより	埼玉県立さきたま資料館調査研究報告	象徴図像研究
金沢美術工芸大学紀要	群馬の森美術館ニュース	埼玉県立博物館紀要	聖徳
鹿沼市立川上澄生美術館報	K(Gallery K)	埼玉県立歴史資料館研究紀要	常民文化
金沢文庫研究	芸術学芸術史論集	堺市博物館館報	続日本紀研究
鎌倉	芸術学研究	佐賀県立名護屋城博物館研究紀要	女子美術大学紀要
川崎市市民ミュージアム紀要	芸術新潮	佐賀県立博物館・美術館報	書陵部紀要
関西大学東西学術研究所紀要		札幌大谷短期大学紀要	市立函館博物館研究紀要
神田外語大学日本研究所紀要			史料館研究紀要
			資料館報

史林	潮流(下関市立美術館)	東洋文化研究所紀要	野村美術館研究紀要
塵界	筑波大学芸術研究報告	遠山記念館だより	博物館研究
新工藝ニュース	筑波大学先史学・考古学研究	徳島県立近代美術館ニュース	八王子の歴史と文化
新美術新聞	土浦市立博物館紀要	徳島文理大学文学論叢	花晶(とくやま文化財団)
人文	デアルテ	とさえ	浜松市博物館館報
人文学	デザインの現場	富山市郷土博物館だより	Hara Museum REVIEW
人文学研究所報	哲学会誌	富山市篁牛人記念美術館	版画芸術
人文学と情報処理	哲学年報	富山大学人文学部紀要	版の絵(小野忠重美術館)
人文研究	帝塚山学院大学研究論集	豊田市美術館開設準備室 ニュース	美学
人文論究	帝塚山短期大学紀要	豊橋市美術博物館紀要	美学・芸術学
すずかけの庭(栃木県立美術館友の会会報)	天花(山口県立美術館 ニュース)	長崎市立博物館館報	美学美術史論集
墨	天台学報	中新田町立東北陶磁文化館 陶磁館ニュース	美学美術史研究論集
駿台史学	天理参考館報	名古屋市博物館研究紀要	彦根城博物館研究紀要
成安造形大学研究紀要	東海大学紀要課程資格教育 センター	名古屋市博物館だより	美術(月刊)
成城美学美術史	東海大学紀要教養学部	名古屋市美術館研究紀要	美術京都
成城文芸	東京学芸大学紀要	名古屋大学文学部研究論集	美術研究
世田谷美術館だより	東京家政大学研究紀要	奈良教育大学紀要	美術史
世田谷美術館紀要	東京芸術大学美術学部紀要	奈良大学紀要	美術史学(東北大学)
泉屋考古館紀要	東京造形大学雑誌	南山大学人類学博物館館報	実践女子大学文学部紀要
泉石	東京大学史料編纂所研究紀 要	南都仏教	美術情報 月刊
仙台市博物館調査研究報告	東京大学文学部考古学研究 室研究紀要	西宮市大谷記念美術館 NEWS	美術史論叢
草加市史研究	東京都写真美術館ニュース	日仏美術学会会報	美術手帖
大正大学研究紀要	東京都博物館協議会会報	日文研	美術の窓
大正大学総合仏教研究所年 報	刀剣美術	日光山輪王寺	美術館ニュース(東京都美 術館)
大日光	同志社大学博物館学年報	日展ニュース	JAAM(美術館連絡協議会 会報)
竹中大工道具館研究紀要	陶説	日本海域研究所報告	美術の森(北九州市立美術 館ニュース)
多摩美術大学研究紀要	東方学	日本学士院紀要	ビブリア
淡交	東方学会報	日本研究	姫路市立美術館だより
千葉県立安房博物館報	東北大学建築学報	日本建築学会計画系論文報 告集	百科(月刊)
千葉県立総南博物館年報	東北大学日本文化研究所研 究報告	日本考古学年報	氷華(北海道立旭川美術館)
千葉県立中央博物館研究報 告	東洋学報	日本美術工芸	ひるういんど(三重県立美 術館ニュース)
中央博物館だより	東洋史研究	日本歴史	ピロティ(兵庫県立近代美 術館)
彫刻の森美術館ニュース	東洋陶磁	人間環境科学	Facata
朝鮮学報	東洋文化	練馬区立美術館年報	フィロカリア
調布市郷土博物館だより			

美術文献目録

フォト	北海道開拓記念館研究紀要	文書館紀要	歴博(国立歴史民俗博物館)
福井県史研究	北海道東海大学紀要	紋別市立郷土博物館報告	Lady's Slipper
福井県立美術館だより	本郷(吉川弘文館)	靖国	連盟ニュース
福岡県地域史研究	梵鐘	山形県立博物館研究報告	碓山美術館ニュース
福岡市博物館研究紀要	マキエ(ポーラ文化研究所)	山形大学史学論集	碓山美術館報
福島県立博物館紀要	待兼山論叢	山口県立山口博物館研究報告	侶美以(ろびい)(北海道立近代美術館)
藤枝文学舎ニュース	密教図像	大和文華	和歌山県立近代美術館ニュース
藤女子大学国文学雑誌	港郷土資料館だより	大和文華館美のたより	早稲田大学図書館紀要
ふたかみ	港区立港郷土資料館研究紀要	山梨県立考古博物館山梨県埋蔵文化財センター研究紀要	早稲田大学大学院文学研究科紀要別冊
府中市郷土の森紀要	宮城学院女子大学研究論文集	山梨県立美術館研究紀要	早稲田大学大学院文学研究科紀要
仏教芸術	MUSEUM	山梨県立文学館館報	和洋女子大学紀要
仏教史学研究	MUSEUM STUDY	弥生倶楽部	朝日
仏教大学社会学部論集	ミュージアムデータ	游美	朝日夕刊
仏教大学総合研究所紀要	MUSEOLOGY	雪椿通信(新潟県立近代美術館便り)	サンケイ
フラミンゴ(滋賀県立近代美術館)	MUSEOLOGIST	ユリイカ	サンケイ夕刊
ブリヂストン美術館・久留米石橋美術館館報	視る(京都国立近代美術館)	横須賀市博物館研究報告	東京
文化学年報	みるつくるかたる(千葉県立美術館報)	横浜文化情報誌	東京(したまち版)
文学(季刊)	美をつくし(大阪市立美術館)	横山大観記念館館報	東京夕刊
文学芸術	民具マンスリー	萬鉄五郎記念美術館通信	日経
文化財(月刊)	民博通信	立正史学	日経夕刊
文化財学報	武蔵野	栗東歴史民俗博物館紀要	毎日
文化財ニュースいわき	武蔵野美術大学研究紀要	龍谷大学仏教文化研究所紀要	毎日夕刊
文化財報	明治村だより	龍谷大学論集	読売
文化史学	明治村通信	霊宝館だより	読売(都民版)
文明のクロスロード MUSEUM KYUSYU	明星大学研究紀要	黎明(鹿児島県歴史資料センター黎明館だより)	読売夕刊
房総風土記の丘年報	メープルニュース(ひろしま美術館)	歴史と民俗	
保存科学	目の眼		
北海道開拓記念館だより			

# 目 次

〔定期刊行物所載文献〕

## 現代美術・西洋美術

総 説	84
絵 画	107
彫 刻	121
工 芸	123
デザイン	130
建 築	135
作 家(人名別50音順)	
日 本	143
外 国	211
美術関係者(人名別50音順)	238
書 評	247
時 評	253
そ の 他	
美術館・博物館	258
海 外 展	272
紀 行・随 筆	275

## 東洋古美術

総 記	279
絵 画	280
彫 刻	286
書 蹟	289
工芸(一般)	290
陶 磁	291
金 工	295
刀 剣	297
染織・服飾	298
漆 工	298
石・木・ガラス工	298
工芸その他	299
建 築	300
保存科学・修復	304
情報処理、文化財行政	305

平成7年定期刊行物所載文献

現代美術・西洋美術

総説	著者	書名	頁数
「アート・オン・ザ・ネット」	粉川 哲夫	アート・オン・ザ・ネット／インターネットの挑戦 1995年展覧会録(町田市立国際美術館ハイビジュアル)	
流産した視覚27 顔が見えない、顔が読めない・考	米倉 守	アート・トップ	148
美術界つれづれなるままに64 名古屋と古典	野村 良平	アートマインド	78
美術界つれづれなるままに66 文化の不均衡な発展について	〃	〃	80
アルベルティ『絵画論』研究状況—アルベルティのもう一つの世界	拜戸 雅彦	愛知県美術館研究紀要	2
ポール・ヴィリリオ インタビュー—テクノロジーというメデュースの目を見つめよ	石井 直志	インタビュー—文	56
現代美術を理解する位置(Site)と環境(Environment) インスタレーション アートの起源	ケイ・ラーソン	アトリエ インターナショナル	816
現代美術を理解するプロセスアート—行為(action)の出現	〃	〃	817
現代美術を理解する空間と光：アースアート、ライトアート、アルテ・ポーベラ	〃	〃	818
現代美術を理解する着想としての観念：コンセプトアリズム	〃	〃	819
現代美術を理解する極限状況における肉体：パフォーマンスアート	〃	〃	820

ベルクソン美学講義とその源泉(2)	瀧 一郎	大阪教育大学紀要 人文科学	43
紋章の力	森 護	学 鏡	92-4
パターン構成に見る造形心理—制作と評価の個人差からながめた美術作品の特性	北原 靖子	金沢美術工芸大学紀要	39
土着とモダン	山脇 一夫	環流 日韓現代美術展図録(愛知県美術館・名古屋市美術館)	
技術の本質と人間への問い—ハイデッガーの思索における(1)	秋富 克哉	京都工芸繊維大学工学部報告 人文	43
芸術的精神の現象学(1)	岩城 見一	京都大学文学部美術史学研究室研究紀要	16
創作論—序章—(その2)	廣田 正敏	近代	78
東洋と西洋のはざまに	松本 透	近代日本美術—東洋と西洋のはざまに展覧会録(長崎県立美術館)	
衣服と身体	塚本 端代	群馬県立女子大学紀要	16
特集 20世紀を決定した「眼」 地球は何を目撃したか? 20世紀大事件史	(編)	芸術新潮	541
特集 20世紀を決定した「眼」 視線の拡大 20世紀科学の勝利史 宇宙の彼方を視る	〃	〃	〃
特集 20世紀を決定した「眼」 視線の拡大 20世紀科学の勝利史 見えないものを「腑分け」する	〃	〃	〃
特集 20世紀を決定した「眼」 ケンケンゴウゴウの20世紀アート史 20世紀美術の革命児総代	〃	〃	〃



特集 20世紀を決定した「眼」ケンケンゴウゴウの20世紀アート史 描かなくとも絵じゃないか	〃	〃	541	都市・アート・工芸(1) 空間の生成とアートの論理	富田 康子	工 芸	1
特集 20世紀を決定した「眼」ケンケンゴウゴウの20世紀アート史 こんなものまでアートになった	〃	〃	〃	特集 現在をひらく鍵としての工芸 述語的なものの創出—Between Art and Craft	鷺田 清一	〃	2
美学理論としての現象学—直観の概念について	北村ひろ子	芸術論究	22	特集 現在をひらく鍵としての工芸「工芸」と「絵画・彫刻」のはざまに—うひとつの近代美術史	中井 康之	〃	〃
化粧、美のコミュニケーション(6)	大坊 郁夫	化粧文化	32	「日常使うこと」を見る意識	中村 英樹	〃	〃
顔にふれる—く顔>という現象	鷺田 清一	〃	33	ドイツ語色彩象徴論	大月 実	国学院大学紀要	33
「顔」を見る/読む50冊+(プラス)	編集部	〃	〃	二十世紀の新しい色—合成有機顔料—	園田 直子	国立歴史民俗博物館研究報告	62
化粧・美のコミュニケーション(7)	大坊 郁夫	〃	〃	色彩語彙分析のあり方	長野 泰彦	〃	〃
特集 高次元多様体神秘主義、四次元	リンダ・D・ヘンダーソン 富井 玲子 訳	現代思想	23-5	1930年前後の都市における色彩環境—色彩感覚の近代化—	小林 忠雄	〃	〃
特集 高次元多様体芸術・科学における空間と次元	デーネッシュ・ナジ 福田 麻子 訳	〃	〃	制作における他力	木村 雅信	札幌大谷短期大学紀要	27
特集 高次元多様体四次元人の正体	宮崎 興二	〃	〃	色彩とイメージの共感覚的現象に関する研究II	森田 克己	〃	〃
特集 高次元多様体<生成する被膜の作法> <噛むことのメタローグ>	桂 英史 木本 圭子 図版構成	〃	〃	ハンブルク—視覚のための都市啓蒙の都市周辺(5)	エンゲルハルト・ヴァイグル 三島 憲一 宮田 敦子 訳	思 想	849
特集 高次元多様体高次元立方体を直感するための、3つの方法。	吉本 直貴	〃	〃	日本を測る(上)(下)—英国圏における日本研究の歴史的叙述—	ジョン・W・ダワー 梅森 直之 訳	〃	855、856
特集 高次元多様体MOVING DIMENSION	戸村 浩	〃	〃	方法としての「退行」—芸術と歴史—	多木 浩二	〃	858
生体への下降、そして飛翔2。自己言及過程の結晶化(上)(下)	中村 英樹	〃	23-6 23-7	国民としての常民—民俗学における「近代」研究のための試論—	広瀬 豊	常民文化	18
現代美術の動向	木村 重信	現代ドイツ美術展—ボイス以降の若き作家たち—図録(国立国際美術館)	〃	芸術的価値と法的価値—芸術の自由をめぐる日本とドイツの判例を中心に—	川又 伸彦	女子美術大学紀要	25
『NRWから、1990年代の新しいドイツ美術』—様式の複数性と断続性	ウリ・ポネン	〃	〃	ボディ・イメージ研究—21世紀への展望	村山久美子	〃	〃
特集 シミュレーションとイマジネーション マルチメディア時代の創作活動	河原 敏文	建築雑誌	1381	現状記録論と調査・研究	吉田 伸之	資料館報	63
				ブルクハルトとドイツ諸大学における歴史教育—ジーベルによる歴史学ゼミナール導入との関連で	森田 猛	史 林	394

平成7年定期刊行物所載文献(総)

新美術時評 マイナスの前衛 近代史の痛点としての「アジア」	北澤 憲昭	新美術新聞	735				1920年代の巴里より川一島理一郎、ゴンチャロフ、リオーネ第6回資生堂ギャラリーのアーティスト達(資生堂ギャラリー)		
色いろ調むところ 東夷の棲むところ	安井 収蔵	〃	〃						
色いろ調ノ徒 朝蠅暮蚊	〃	〃	736	1920年代のモードと舞踊	海野 弘				
「新宿アイランド」ランドオープニング 場所に意味を与えるのは誰か パブリックアート・シンポ開催			737						
戦後50年 歴史の検証と平和への祈り			741	世界史のなかの戦後日本と文化	多木 浩二		戦後文化の軌跡 1945-1995図録(目黒区美術館)		
特集 戦後50年を迎えて 特別鼎談 美術界・戦後50年を回顧して	青木 茂 安井 収蔵 加藤 賢治 油井 一人	〃	742				『戦後文化の軌跡 1945-1995』研究会		
「アジアマンス」9月、福岡で開催			〃						
新美術時評 オウムとリトル・クリティクたちー「芸術」という「良識」	北澤 憲昭	〃	747	「欠落感」をひきずる戦後の家族	家村 珠代				
拡散してゆく現代美術に核はあるのか?	倉林 靖 本江 邦夫 井出 和子	〃	750	理念と自由を求める日本画・陶芸・書	中島 徳博				
地域に根ざすか アーティスト・イン・レジデンス 茨城県アーカス構想東京・日の出町			〃	大阪万博と生活の未来	山崎 均				
シュライエルマッハーの様式論ー特に「様式の意図について」前半部を手がかりにして	岡林 洋	人文学	157	小劇場運動以後の現代演劇(ポスター)	扇田 昭彦				
初期ヘーゲルにおける〈愛〉の変容 ロマンティズムからリアリズムへ	伊坂 青司	人文研究	124	開催にあたって	高木 幸枝		戦争・人間展図録(町田市立国際版画美術館)		
ヴェネツィアと文人たち(十五) ゴッティエ、テヌとヴェネツィアの宗教ならびにバロック建築	鳥越 輝昭	〃	〃	線の想像力	谷川 渥		線について展図録(板橋区立美術館)		
ニーチェ 再検討	湯田 豊	〃	〃	開かれた環境芸術ーデザインとアートの融合	わたなべひろこ		多摩美術大学研究紀要	10	
造形における色彩の力と美について	宇恵 智子	成安造形大学研究紀要	2	§ 抽象美術へのいざない §	中西 博之		抽象美術へのいざない展図録(国立国際美術館)		
「語り」の禁欲ー『抵抗』をめぐる断片ー	浅沼 圭司	成城文芸	151	「人工の形ー形と感性」	三井 秀樹		筑波大学芸術研究報告	23	
				ニューヨーク・ニューイメー「アイディアは街の中にある。」	グレン・オブライエン 牧野恭子訳		デザインの現場	76	
				ジョージ・エリオットの小説ー視覚的アプローチ(1)	津田 聖子		帝塚山短期大学紀要	32	

二色眼鏡と遠近法	小町谷 朝生	東京芸術大学芸術学部紀要	30	ベルクソンにおける感覚と芸術との関わり	原田 葉子	〃	182
美と芸術をめぐる対話	加藤 茂	東京造形大学雑誌	8A	身体と藝術作品	新田 博衛	〃	183
動物美術館—日本の動物表現をめぐる	酒井 哲朗	動物美術館…二世紀の日本の生き物のイメージ展(三重県立美術館)		「崇高」とジェンダー・メタファー パークの『崇高論』を中心にして	長野 順子	〃	〃
現代社会と動物表現	毛利伊知郎	〃	〃	悲劇の主人公 アリストテレス『詩学』における	北野 雅弘	〃	〃
芸術の可能性のために—「もうひとりの芥川龍之介展」を契機とする一批評—	大庭奈保子	長崎市立博物館館報	35	ストア学派における詩的言語の位置	樋笠 勝士	〃	〃
トランジション1 新都心のエスプリ／デファンス	岡部あおみ	日本美術工芸	679	作品としての世界と美の鏡照 クザーヌス signum 論とその射程	酒井 紀幸	〃	〃
トランジション2 科学と芸術の未来都市とパリの下町	〃	〃	680	プラトーン『国家』第十巻の詩論における「ミメーシス」	津上 英輔	〃	〃
インターネット	原美術館 小山 康夫	Hara Museum RE-VIEW	31	形象・時間・意味 形象の時間Bildzeitと形象の意味Bildsinをめぐる作品解釈	三木 順子	〃	〃
判断構造論の虚焦点 カントの『判断力批判』	金田 千秋	美 学	180	芸術における触感 信憑と共感	宮川 達	〃	〃
プラトーンにおける〈美〉の self-predication について 『ヒippiアス(大)』292e6-7	加藤 素明	〃	〃	西周による〈aesthetics〉理解とその邦語訳	浜下 昌宏	〃	〃
〈芸術家—芸術作品—享受者〉という関係の成立へ向けて メンデルスゾーンによる美学の刷新	小田部胤久	〃	〃	近代の外の芸術へ アービ・ヴァールブルクと比較美術研究	加藤 哲弘	〃	〃
ゲーテ的象徴概念の形成	加藤 好光	〃	〃	エチエンヌ・スーリオの『諸芸術の照応』についての一考察	片山 学	〃	〃
「アヴァンギャルドの失敗」をめぐる言説の意味するもの	外山紀久子	〃	〃	フォルムとトートロジー ヘーゲル、アドルノのフォルム概念	西 欣也	〃	〃
芸術活動の〈自立性〉：その基盤 K・フィードラーの今日的意義	物部 晃二	〃	〃	ニーチェ美学の展開点	益田 勇一	〃	〃
美的体験における情動と記述の問題	秋庭 史典	〃	〃	実学としての美学 茶山の「匡濟一世」論	関 周植	〃	〃
シラーにおける美的表象の可能性	青木 敦子	〃	〃	パノフスキーの「メンタル・ハビット」 その有効性と限界について	一条 和彦	〃	〃
芸術と他者 ジョアン・フランソワ・リオタールの美学思想について	高瀬 博文	〃	〃	芸術と生活 ウィリアム・モリスのユートピア構想をめぐる	藪 亨	〃	〃
カタログの中の絵 18世紀における「見る」ことの生成をめぐる	島本 浣	〃	〃	ディドロの「サロン」批評における「絵画の真実」	野口 榮子	〃	〃
				「五行思想」におけるインタモダリティについての考察 視知覚、色彩現象、色彩語を中心に	武井 邦彦	〃	〃
				「色彩の知覚構造試論」ゲーテから何が変わったか	小町谷朝生	〃	〃

平成7年定期刊行物所載文献(総)

表題の美学 その理論的価値について	佐々木健一	〃	183	特集 変身 メタモルフィズムーマニエリスムから美容整形まで	高山 宏	〃	708
シュライエルマッハーの『文体論』-初期解釈学思想をもとめて-	岡林 洋	美学・芸術学	10	批評の組板1 現代美術にとっての素材	森岡 祥倫	〃	〃
ミルチャ・エリアーデにおける宗教と芸術の関り-聖の弁証法を中心に-	國松 萌美	〃	〃	批評の組板2 現代美術と身体性の問題圏	〃	〃	709
<翻訳>「人はなぜ映画に行くのか?」(ミケル・デュフレヌ)	辻本 宗正	〃	〃	特集 祈り/癒し 瞬く星の環を翔うように 90年以降のアート	鷹見 明彦	〃	711
討論 芸術の様式について	伊藤 博之 上原 千足 田中 正史 田中 敏男 千速上 英輔 津戸 幸 原田 満 東山 健 宮川 利三 安田 治樹	美学美術史論集	〃	特集 祈り/癒し お天道様はいまだって見てるのに	松枝 到 大月 隆寛	〃	〃
様式論の方法-現代芸術における様式概念研究の意義-	宮川 達	〃	〃	批評の組板3 ワールド・ワイドなザ・アート情報ネットワーク!!	森岡 祥倫	〃	〃
古代人の模倣と自然の模倣-ヴィンケルマン『ギリシャ人の絵画・彫刻作品の模倣についての考察』における自然の概念-	津上 英輔	〃	〃	特集 映画と美術の100年 銀幕の芸術家。-映画のなかに登場するアーティスト	門間 貴志	〃	713
特集 大震災と復興、その時美術は…-1923. 9. 1 関東大震災と今日 非常に時に浮かびあがった美術の位置	編集部 藤田 一人	美術 (月刊)	236	批評の組板5 もうみんな受容するだけの作品には飽きたのだ!!	森岡 祥倫	〃	〃
特集 大震災と復興、その時美術は…-1923. 9. 1 関東大震災と今日 阪神大震災、美術界義援の動き	編集部	〃	〃	特集 地球大美術 アースワーク進化論	鷹見 明彦	〃	715
特集 今なぜ天使なのか? 奇跡への希求、天使現象のゆくえ	鏡リュウジ	〃	237	さよなら “アジア美術”	新川 貴詩	〃	〃
特集 今なぜ天使なのか? 病める現代の救世主	編集部	〃	〃	芸苑雑事記34 私の思う抽象美術	瀧 悌三	美術の窓	144
特集 今なぜ天使なのか? 子供のような純粋さで感じとる天使の心	芝田 米雄	〃	〃	大震災と美術	大河内菊雄	JAAM	47
近代美術のキーワード 万国博覧会	ロバート・アトキンズ 島崎吉信 訳	美術手帖	702	絵画社会学試論	倉橋 重史	仏教大学社会学部論集	28
				生活史における時間概念-「過去」に関する状況の規定-	近藤 敏夫	〃	〃
				景色の力と京都	吉野 正治	仏教大学総合研究所紀要	2
				フッサールにおける変項形成の多様体	信木 晴雄	文化学年報	44
				新しい文化立国をめざして-文化振興のための当面の重点施策について		文化財 (月刊)	384
				ライマン展関連講演会「個人とコミュニティー」(要旨)(講師 藤田文子氏)	関 秀志文 責	北海道開拓記念館だより	134

ブルゼニ(ビルゼン) 一西ポヘミアの中心 都市	フランシエ ク・フリー ダ	ボヘミア ガラスの 100年展 一アール ・ヌーヴ から 現代ま 図録(高 崎市美 術館)	特集 マニエリスム の現在 イッセイ・ ミヤケこそ最大のマ ニエリストだ!	若桑みどり ユリイカ	27-2
二つの文化の間で	ヴラスト・ チハーコ ヴァー	〃	連載『バサー・ジュ 論』マルジナリア11 テクノロジーとアル カイックなもの	鹿島 茂	〃 27-14
水が描かれることの 意味	宮本 高明	水の光景 エルク ーミタ 美術館 展(栃 木立 美術館)	特集=サイケデリア ニュー ヨーク ーシン リアー キール ーサイ ケデリ ックが ひらい た扉	西原 珉	〃 〃
水、その曖昧さから 物質性へー東野芳明 の主題による5つの 断章一	小林 康夫	「水の 変の 幻一 そ 新し き 現 展 録 術 館」	特集=サイケデリア 唯物的サイケデリ ック芸術の方へ	榎木 野衣	〃 〃
三つの泉	建畠 哲	〃	新ジャンル誕生の現 場	佐伯 彰一	横溝正史 と「新 年」の 作家 たち 展(世 田文 学館)
まもの・水もの・つ くりもの	天野 一夫	〃	維新期における東京 新名所の成立につい て	鈴木 章生	立正史学 77
色彩語BROWNの 選択制限	新長 馨	宮城学院 女子大 学論文 集	教育と陶冶の概念に ついて	川森 康喜	龍谷大学 論集 446
『モルフィズム』の復 活	建畠 哲	1995: 絵 画・彫 刻の 現在 (セ ン美 術 館)	絵画をみる・絵画を よむ一美術史と歴史 学の語り口	佐野みどり 石井 進	歴 博 74
『技術の比較文明学 研究』(共同研究メ モ)	杉田 繁治	民博通信	レポリユーションー 30年後に	塩田 純一	レポリ ュン ー シ ョ ン の 6 0 年 ウ ー ホ ボ ル カ ラ イ ス ま で 展 覧 図 録 (東 京 都 現 代 美 術 館)
『数理民族学:その 応用的研究』(共同研 究メモ)	杉藤 重信	〃 〃	リアリズム、ポップ 、そして貧困	トンプソン ・ジョン	〃
色彩感情の交叉文化 的研究 日・中・台 ・韓美術系学生の色 彩感情の比較研究	千々岩英彰	武蔵野美 術大学 研究紀 要	[Q&A]日本美術著 作機構(APG)の設 立と連盟の著作権活 動について	伊藤 真	連盟ニ ュ ー ス 363
精興社活字書体とそ の組版技術……(3)	森 啓	明星大学 研究紀 要	[Q&A]「著作権の 集中管理」について	伊藤 真	〃 364
人生は、おどろきと 発見だ	橋口 収	マーブル ニュース	美術著作権質疑応 答(14)	〃	〃 〃
生成への“ゆらぎ” 一若さとしての日本 美術の特徴一	田中 幸人	やわらか 展 図録 (埼 玉立 近 代美 術 館)	想像のリアリティー ひかる・うごく・お とがする世紀	寺口 淳治	和歌山 立近代 美術館 ニ ュ ー ス 7
空間と場一日本	前山 裕司	〃	ひかる・うごく・お とがする、なにが? 作品が	奥村 泰彦	〃 〃
			「審美主義」の可能性 アドルノのホフマン ンスタール解釈をめ ぐって	荒又 雄介	早稲田 大学 文学 研究 科紀 要別 冊 21

平成7年定期刊行物所載文献(総)

ヘレニズムとヘブライズムの融合 試論序説	小山 宙丸	早稲田大学大学院文学研究科紀要	40	灰塚ダムプロジェクト 新しい「美術圏」構想	村田 真	〃	2.6
五感探検12 心いやす効果さぐり治療にも		朝 日	1.21	文化をもっと楽しむために		読 売	11.3
「ザ・テンメイ」摘発事件 わいせつ基準の「いま」を示す		〃	2.21	アートが生まれるとき5 即興オブジェ「ごみ」に魂吹き込む		〃	11.25
女性ヌード像だから問題、ではない	小屋 哲雄	〃	7.18	「日中美術シンポジウム—二十一世紀に向かう東洋美術—」 伝統美の否定と継承、日中で主張食い違い	原 義明	読売夕刊	1.18
二十一世紀も万博の時代か		〃	12.1	基礎研究欠かせない美術史—流浪の「スペインの女」には発掘の光が当たったが	五十殿利治	〃	4.4
わいせつ基準、撤廃の時	加藤 尚武	朝日夕刊	2.20	美術館連絡協議会座談会20世紀のアメリカ美術 大震災と美術	大河内菊雄	〃	4.20
芸術家救援、日米の落差 望まれる、緊急時の援助制度	塩谷 陽子	〃	3.20	試されるアートの力 社会との積極的かかわりに注目 ウィーンのプロジェクト	川俣 正	〃	8.2
現状を「表現」する美術 社会を見つめる若い世代	大西 若人	〃	4.1	海を渡った芸術家たち—「発掘」待つ日米美術交流史	岡部 昌幸	〃	8.8
「美」について	加藤 周一	〃	7.20	芸術をめぐる言葉31 「解釈」の魔は私にいう、「絵画」も「彫刻」も棄ててである、と。その母親は死んでしまったのだ、母親たる「建築」が。—ヴァレリー	谷川 渥	美術手帖	709
ニッポンのみなさん、国の宝買わないで	宇佐波雄策	〃	9.28				
ケルト文化の再評価 進む—自然・異界へのあこがれ	小山内 伸	〃	11.11				
ときの垂線14 モダニズムの挫折	今道 友信	サンケイ	9.17				
上野を文化の発信拠点に		東 京	9.26				
スポーツと芸術の融合	岸本 健	東京夕刊	11.6				
美術館など“独立化” 国際交流、芸術も一役		日 経	5.1				
情報化見据え、美術でも著作権機構		〃	6.6				
文化往来「震災と芸術」みつめる動き		〃	11.9				
芸術経営学のススメ	佐々木晃彦	毎 日	9.12				
恥ずかしい文化後進国、日本	青葉 益輝	〃	12.26				
実現した二つの夢 クラフ日本センターの完成に思う	高野 悦子	毎日夕刊	2.7				
近ごろのもの言い 加納典明氏に冷たい反応	宇井 洋	〃	3.1				
ちょっとひとこと 人為を排除した美、継承できなかった日本	藤森 照信	〃	3.18				
工事現場をアートにする		〃	5.2				
広がる「アーティスト・イン・レジデンス」—地域文化振興に貢献	村田 真	〃	10.11				
				総説・日本			
				『創展回想』	佃 中 堅輔 田 間 路 人 木 小 林 明 小 林 俊 郎 渡 部 侃 亀 山 博 碧 森 水 碧	アートマ インド	78
				イタリア人の目から見た日伊関係—岩倉使節団訪伊を中心として—	岩倉 具忠	あふひ・ AOI	1
				「戦後日本の現代美術」展のキュレーター—アレクサンドラ・モンローとのインタビュー—	アンドリュ ー・ベカ ック 藤尾 論 秀 秀 インタビュー	アトリエ インター ナショナル	816
				『戦後日本の現代美術』展 展覧会としては特殊であるが、無視はできない。	キャロル・ ラトフィ	〃	〃
				強制収容所の芸術：第2次世界大戦中の日系人アーティストたち	カリン・ヒ ガ	〃	822

閣龍世界博覧会美術品画譜について	上田 雄	池田文庫	8	特集 天災と闘った美術 新潟・豪農の館がつぶれた!最新震災緊急報告	"	"	545
激動の昭和の美術を語る	瀧 悌三 米倉 守七 長谷川 徳七	絵	371	日本と韓国の接点をどこに求めるか 絶え間ないアイデンティティ化の過程の中での可能性	永峰 美佳	工 芸	2
日本美術協会大阪支会資料	山崎 剛	大阪市立博物館研究紀要	27	特集 日本近代工芸史の再構築へ向けて〔論考1〕美術史と工芸史—今、何を問題とすべきなのか	大熊 敏之	"	3
「學鐙」を読む(77)ー「白樺」の人びと	小黒 昌一	学 鐙	92-6	リアリズム論争試論ー日本戦後美術批評(1)	光田 由里	構 造	11
日本回帰をめぐる	牧野研一郎	環流 日韓現代美術展図録(愛知県美術館・名古屋市美術館)		「具体美術」関係文献資料目録(G追記・補遺)	笹木繁男編	"	"
日本物故作家考		ギャラリー(月刊)	123	「戦争と美術」関係文献資料目録(1)	"	"	"
『團圓珍聞』考ー团团社は読者に何を与えたかー(その一)	小山 郁子	共立女子大学文学部紀要	41	新発見考古速報'95ー五〇万年前から明治時代まで	西田 健彦	国立博物館ニュース	577
ジャポニスムの経済学	佐藤 道信	近代画説	4	戦争と美術 「50年後 彼らはなぜ戦争を表現するのか」展に関して	三木 多聞	50年後 彼らはなぜ戦争を表現するのか展図録(徳島県立近代美術館)	
研究発表要約 幕末・明治美術史の周辺	福永 郁雄	"	"	戦争の影の下に	吉川神津夫	"	
研究発表要約 歴史史料としてのコレクション	佐藤 道信	"	"	日本のモダニズムと社会性 戦争期と現代の美術への視点	森 芳功	"	
研究発表要約 教育品展覧会再考ー美術普及に果たした役割ー	村山 鎮雄	"	"	現代美術のむつかしきー今日の作家展の30年のために	北澤 憲昭	今日の作家展30回 洋上の宇宙 アジア太平洋の現代アート図録(横浜市市民ギャラリー)	
研究発表要約 シカゴ万博における日本美術	志邨 匠子	"	"	回顧と展望 1994年の歴史学界 日本近代現代	佐藤 道信	史学雑誌	104-5
研究発表要約 一九二〇年代のパリが残したものの	柳沢 秀行	"	"	文学と美術(二)ー子規の美術評論ー	森 正経	子規博だより(季刊)	56
研究発表要約 エコール・デ・ボザールに学んだ日本人	児島 薫	"	"	東京論	吉本 隆明	写真都市 TOKYO 展 図 録(東京都写真美術館)	
作品=ノイズ・シンフォニーの因子	谷 新	クールの時代展図録(高知県立美術館)		「自由美術」をめぐる	三木 多聞	自由美術	'95
ハイブリッド/そしてクールの時代	松本 教仁	"	"	倫明夜話ー戦後美術の群像 1 行きがかり	河北 倫明	新美術新聞	722
特集 天災と闘った美術 受難の文化財 報告!阪神大震災と美術 歴史ある寺社、文化財の傷痕レポート	(編)	芸術新潮	545				
特集 天災と闘った美術 古都の底力篇 関東大震災ーその日、鎌倉は壊滅した	"	"	"				
特集 天災と闘った美術 古都の底力篇 震災小史 鎌倉万事塞翁が馬	"	"	"				

平成7年定期刊行物所載文献(総)

倫明夜話—戦後美術の群像2 泥んこ(創造美術)	〃	〃	723	線について—あるいは、今ひとたびの証明について	尾崎 真人	線について展図録(板橋区立美術館)	
新美術時評 現場の変移と歴史的批評の可能性	北澤 憲昭	〃	724	素材&テクニック編 樹脂の基礎知識	(編集部)	デザインの現場	75
倫明夜話—戦後美術の群像3 芽ぶき	河北 倫明	〃	〃	素材&テクニック編 樹脂の基礎知識—かわりはじめた樹脂の廃棄処理	岩崎真美子	〃	〃
日伯修好100周年事業、奇跡のコレクション”展など多彩に		新美術新聞	725	博文館研究資料年表<1885—1994>	大久保久雄 編	東海大学紀要課程資格教育センター	4
新美術時評 橋脚と生花—「無常」という不条理	北澤 憲昭	〃	727	明治期における児童博覧会について(1)	是澤 優子	東京家政大学研究紀要	35
倫明夜話—戦後美術の群像7 戦後美術の残像	河北 倫明	〃	728	戦時下の市民生活	小木 新造	東京大空襲—戦時下の市民生活展図録(江戸東京博物館)	
倫明夜話—戦後美術の群像9 山河あり	〃	〃	730	なぜ10万人も死んだのか	早乙女勝元	〃	
倫明夜話—戦後美術の群像10 百年	〃	〃	731	東京空襲に関する日米の資料について	板谷 敏弘	〃	
新美術時評 爆弾と毒ガス	北澤 憲昭	〃	733	東京の学徒勤労動員の調査について	松井かおる	〃	
倫明夜話—戦後美術の群像12 もののあはれ	河北 倫明	〃	〃	日本美術における創造と伝統について(遺稿)	小川 光暘	同志社大学博物館学年報	27
倫明夜話—戦後美術の群像13 ものさし	〃	〃	734	明治の合巻—所謂明治式合巻と東京式合巻なる名称をめぐって—	佐々木 亨	徳島文理大学文学論叢	12
倫明夜話—戦後美術の群像14、15 戦後美術の群像	〃	〃	735、736	栃木県の近代美術	竹山 武彦	栃木の近代美術展図録(栃木県立美術館)	
特別鼎談 美術界・戦後50年を回顧して	青木 茂 安井 収 加藤 賢治	〃	743	長崎市立博物館蔵「明細分限帳」の増補訂正について(二)—幕末期の唐通事研究資料として	原田 博二	長崎市立博物館報	35
シンポジウム 「アバンギャルドのゆくえ」	谷 英治	〃	750	20世紀日本美術再見〔I〕・1910年代—光り耀く命の流る展図録(三重県立美術館)			
越境する表現者たち 書・絵画・彫刻を超える表現の可能性	編集部文責	墨	112	1995年の地図—日本美術の現在地	塩田 純一	日本の現代美術 1985—1995展図録(東京都現代美術館)	
混乱から立ち上がる 敗戦直後の美術	出原 均	戦後文化の軌跡 1945—1995展図録(目黒区美術館)		リアリズムとアヴァンギャルドの50年代美術	西本 匡伸	〃	
「美術と／の映画」の50年代・60年代	正木 基	〃		「美術と／の映画」の50年代・60年代	山崎 均	〃	
過剰と沸騰の60年代美術	山崎 均	〃		西欧モダニズムを懐疑し、逸脱する現代美術	建畠 哲 帯金 章郎	〃	
鷹見泉石と西洋曆アルマナック	片桐 一男	泉 石	3				



日本の現代美術この10年	熊谷伊佐子	〃		特集 変身 “変身カット”と“変身ポーズ”の間に	樋口 尚文	〃	708
日本におけるバウハウス受容とアヴァンギャルドのエートス	梅宮 弘光	バウハウス展図録(セゾン美術館)		上野に出現した異次元空間! 博物館動物園駅でのM(Museum) in M(Metro)プロジェクト		〃	〃
《老猿》をめぐる彫刻と工芸	志邨 匠子	美 学	183	芸術家は構想を設計する	塚村 真美	〃	711
日本美術史考察の基本的問題	田中日佐夫	美学美術史論集	10	戦後50年美術界の明暗 前衛運動の構図—「夜の会」周辺—	瀬木 慎一	美術の窓	145
特集 いま光っているこの8人のこの仕事ジャンルを超えて美術界に春を呼ぶ作家たち	(編集部)	美 術(月刊)	234	戦後50年美術界の明暗2 前衛運動の構図—「夜の会」周辺2—	〃	〃	146
田中穂のにんげん美術史45 鎌倉(鶴岡八幡宮)“雪洞祭り”一文土村から画家の町に	田中 穂	〃	238	戦後50年美術界の明暗3、4 前衛運動の構図—政治と芸術1、2—	〃	〃	147、148
シンポジウム 凱旋門考—日清戦争をめぐる戦勝イメージの動員—	木下 直之	美 術 史	138	戦後50年美術界の明暗5~8 「星条旗」に見る日本の美術1~4	〃	〃	149~152
シンポジウム 十五年戦争下の女性像	若桑みどり	〃	〃	画家・彫刻家の創造したヴィジョン	中野 明夫	〃	150
シンポジウム 「戦争と美術」—概要および討議報告—	丹尾 安典 千野 香織	〃	〃	画家・彫刻家の創造したヴィジョン 顔	〃	〃	〃
アジアの美術の見方 新たな解説の座標軸を求めて	萩原 弘子 黒田 雷児 田所 政江 三田 晴夫	美術手帖	702	画家・彫刻家の創造したヴィジョン イメージ	〃	〃	〃
特集 芸術家になりたい! サヴァイヴァル予習編 戦後日本の芸術家たちはいかに時代を生きたか	建畠 哲イ ンタヴェー	〃	705	画家・彫刻家の創造したヴィジョン 女	〃	〃	〃
特集 戦後50年写真でみる日本の現代美術 45-50年/ふたつのサイクル「人間と人間」「人間と物質」	高島 直之	〃	706	日本美術風土記13 北海道編1	高山 淳	〃	〃
特集 戦後50年写真でみる日本の現代美術 60年 芸術という意味との関係に生きる作品	〃	〃	〃	日本美術風土記・北海道 北海道の美術界—近代から現代へ—	見延(井内) 佳津恵	〃	〃
特集 戦後50年写真でみる日本の現代美術 70年 表現の停止と映像的思考	森岡 祥倫	〃	〃	画家の創造したヴィジョン 人物	〃	〃	151
特集 戦後50年写真でみる日本の現代美術 80年 ポストモダンをめぐる表現の位相	谷 新	〃	〃	画家の創造したヴィジョン 風景	〃	〃	〃
特集 戦後50年写真でみる日本の現代美術 90年 模索されるアジアの視角	〃	〃	〃	画家の創造したヴィジョン 静物	〃	〃	〃
特集 変身 変身七態その7 我慢という名の展覧会	梁瀬 薫	〃	708	特集 '95美術館展覧会カタログ大百科	〃	〃	152
				特集 '95美術館展覧会カタログ大百科 重要性	(編集部)	〃	〃
				特集 '95美術館展覧会カタログ大百科 横浜美術館学芸部長 武田厚氏にきく 展覧会カタログ事情	編集部イン タビュー・ 文責	〃	〃
				問直される作品群 ヴェネツィアの「もの派」を見て	岡田 潔	JAAM	48
				1970年—物質と知覚もの派と根源を問う作家たち I	真武真喜子	美術の森	80

平成7年定期刊行物所載文献(総)

ものの言葉もの派の理論と芸術作品(1)	バルバラ・ベルトツツィ	〃	80	北海道美術雑史28「無理性芸術株式会社」について	鎌田 亨 侶 美 以	54
1970年一物質と知覚もの派と根源を問う作家たちII	大久保 京	〃	81	一八九三年シカゴ万博における日本美術	志邨 匠子	早稲田大学大学院文学研究科紀要別冊 21
霊魂よ眠れ	新藤 兼人	ヒロシマへ21世紀へのメッセージ展 図録(広島市現代美術館)		宮内庁は天皇陵を調査すべきだ	与謝野 馨 朝 日	12.31
21世紀への黙示-ヒロシマ	小泉 晋弥	〃		使命を終えた「博覧会」-文化史から見た「都市博中止」問題	吉見 俊哉	朝日夕刊 5.15
課題としての戦後文化	中島 徳博	ピロティ	95・96	相談芸術大学が閉校 現代美術、徹底的に	(若)	〃 6.14
戦後美術の青春時代	平井 章一	〃	97	学問を歩く、揺らぐ「日本的な美術」上	田中 三蔵	〃 9.1
モダニズムと蝶	丸山 隆司	藤女子大学国文学雑誌	55	学問を歩く、揺らぐ「日本的な美術」中-仏像彫刻、出発期から持つ独自色	〃	〃 9.8
戦争と美術界	伊藤 真弓	港郷土資料館だより	28	学問を歩く 風景論の風景 上	大西 若人	〃 10.6
語りえぬ未知の現象 アレゴリーという名の構造	杉山 悦子	視ることのアレゴリー展 1995 絵画・彫刻の現在図録(セゾン美術館)		学問を歩く 風景論の風景 中	田中 三蔵	〃 10.13
絵画・彫刻の今日的 問題	是枝 開	〃		学問を歩く 風景論の風景 下	大西 若人	〃 10.20
博覧会資料の民具研究への活用を考える	井上 善博	民具マン スリー	325	神戸を文化拠点に、されど厳しい復興-阪神大震災で芸術活動マヒ	江原 和雄	サンケイ 夕刊 8.3
<海を越えた日本人たちの系譜 100、101>岩倉使節団の人々(その五十九、六十)	富田 仁	明治村通信	295、296	芸術の五十年 経済に包摂された文化の宿命的破綻	片山 素秀	〃 8.12
抱月のイギリス(二十三)	岩佐壮四郎	〃	296	ニッポン現代史7「庁から省へ」夢を追う	佐藤 敦 東 京	1.8
ハリリ・コレクション 海外に流出した明治美術	宮下 夏生	目の眼	221	神戸の芸術が失われていく-阪神大震災被害報告書	〃	〃 7.29
残花帖	中島誠之助	〃	223	'95展望 美術 現代美術展など、「起爆剤」を期待	日 経	1.3
モダニズムの陰翳	神保 京子	モダニズムの時代展 図録(東京都写真美術館)		日本美術、「古い殻」破る時	(韻)	〃 1.7
雑誌「新青年」の作家たちとその世界	川崎 賢子	横溝正史と「新青年」の作家たち展 図録(世田谷文学館)		ハイテク・アートの新次元 居ながらに美術館巡り、文化遺産修復にもひと役	読 売	1.1
都市大衆文化の再発見	鈴木 貞美	〃		芸術研究拠点の必要性	梅棹 忠夫	〃 4.27
				埋蔵文化財に埋もれそう!一開発進みザックザク・「全量保存」見直しも	読売夕刊	4.15
				心やすらぐ病院アート-自治医大で好評	〃	8.7

総説・海外

一にして不可分の空間(の)経験—スピノザ、フッサール、ピラン—	中	敬夫	愛知県立芸術大学紀要	24	台北アートシーン：台北市(台湾)に見る美術状況の一面	〃	〃	823
アジアのモダニズム展によせて	石井	米雄	アジアのモダニズム展—その多様な展開：インドネシア、フィリピン、タイ(国際交流ラム)		現代美術を理解するネオの10年：ネオニコンセブチュアリズム、ネオニジオ、アンプロリエーション	ケイ・ラーソン	〃	〃
批評としての美術(インドネシア)	建畠	哲	〃		ウィーンの前ジャポニスム展特別記念講演「装飾と簡素—ウィーンの前ジャポニスム」(抜粋)	馬淵 明子	AMBI-ANTE	10
インドネシアにおけるモダニズムの出現とその背景	ジム・スパン	カット	〃		序論	川口 幸也	インサイド・ストーリー—同時代のアメリカ美術展図録(世田谷美術館)	
<迷い子>のささやき—リアリズムの系譜(フィリピン)	水沢	勉	〃		ポストコロニアル時代のアフリカ現代美術	デレ・ジェゲデ	〃	
フィリピンにおけるモダンアートの歴史	アリス・G・ギリエルモ	〃	〃		セネガルの現代造形美術—状況と展望	アブドゥ・シイラ	〃	
バンコク—チェンマイモダンの在処	塩田	純一	〃		オショボ	ウリ・バイアー	〃	
タイにおけるモダンアートの歴史	ソンボン・ロップーン	〃	〃		私が見たアフリカ「美術」の一断面	菅野 洋人	〃	
東南アジアにおける近代	白石	隆	〃		アフリカの感性—その静かな一面	吉原美恵子	〃	
「アジア美術展」：アジア現代美術企画の含む問題	遠藤	望	アジア美術展4回図録(世田谷美術館)		アフリカの新しい伝統：いま、アビジャンのストーリーから	鈴木ひろゆき	〃	
秘教の森の妖精たち—アンドレ・ブルトンの人間像にかえて—	笹本	孝	跡見学園女子大学美術史学科	23	インサイド・ストーリー—あるいはオーセンティシティの神話	川口 幸也	〃	
アルテ・ポーヴェラ	シルヴィア・スベランディオ	〃	アトリエインターナショナル	818	ロシアの二つの“戦利品”絵画展	長谷川智恵子	絵	378
ネオ=ダダ：芸術の再定義 1958—62	ケイ・ラーソン	〃	〃	〃	キュビズムに見る象徴主義の系譜	中村 隆夫	〃	381
バウハウス	ウルリヒ・クレーヴィング	〃	〃	819	アジアへの長い旅	尾崎 直人	エスブラナード	86
セーヌのソナム	マッシュュー・ローズ	〃	〃	〃	古代ギリシアの戦闘図像—初期ヘレニズム美術に辿るその変遷—	長田 年弘	オリエン	37—2
現代美術を理解する絵画の復活1：新表現主義(ネオ=エクスプレシオニズム)—ヨーロッパ	ケイ・ラーソン	〃	〃	821	理性の夢—図版と文字で読むフランス—八世紀	鷲見 洋一	学 鏡	92—1
					写本をたずねて	小黒 昌一	〃	92—7
					ディオニシオスの「エルミア」—技法編の翻訳	上田 恒夫 寺田 栄次郎	金沢美術工芸大学紀要	39

「ベル・エポック」という時代	高階 秀爾	ガレとロートレック展—光のベール・エポック図録(サントリ—美術館)			特集 巨匠にもボルノグラフィック・アートでたどる西洋美術史 光のエロス、影のエロス—バロック	田中 雅志 (編)	〃	546
韓国の近代美術	李 慶成	環流 日美現代美術展図録(愛知県美術館 名古屋市美術館)			特集 巨匠にもボルノグラフィック・アートでたどる西洋美術史 空前の悦楽時代—ロココ	〃	〃	〃
韓国現代美術の動向と主要な争点	徐 成緑	〃			特集 巨匠にもボルノグラフィック・アートでたどる西洋美術史 官能の白い肌—新古典主義	〃	〃	〃
第二帝政期の文化とモード—ゾラ『獲物の分け前』における衣裳・女・テキスト(2)	吉田 典子	近代	78		特集 巨匠にもボルノグラフィック・アートでたどる西洋美術史 キリスト教はエロスの宝庫	〃	〃	〃
ナショナル・アイデンティティーの彼方に	ダイアナ・ネミロフ	クロッシング・スピン—カナダ現代美術展1980—1994図録(世田谷美術館)			古代インド人のよそおい(30)(31)	松山俊太郎	化粧文化	32、33
はじめに—タイトルをめぐって	河本 信治	〃			美術解剖学入門(8)(9)	高橋 彬	〃	〃
立ち現れる現在：Nowhereへ	長谷川祐子	〃			民族の顔—イヌイット・スマイル考—	スチュアート・ヘンリ	〃	33
後期ラファエル前派における密かな「ジャポニスム」—植物に囲まれた女—(II)	篠原田鶴子	群馬県立女子大学 紀要	16		企画者による序文—NRWから、90年代の新しいドイツ美術—ベッヒャー、ボイス、ボルケ、リヒター、ルーテンベック 以後の世代—	ゲルハルト・エンゲルスキングヨスチ・ライネルト	現代ドイツ美術展—ボイス以降の若き作家たち—図録(国立国際美術館)	
「女性の芸術」—八九〇年代の二つの展覧会と装飾芸術振興運動—	天野 知香	芸術学研究	5		ミイラ 銘「アंकム—の息子 プシヤレブタハ」など	後藤 健	国立博物館 ニューズ	576
特集 天災と闘った美術 タイムカプセル篇 大噴火で封印された古代都市ポンペイ 西暦79年8月24日のポンペイ	青柳 正規	芸術新潮	545		こころの領域	清水 敏男	こころの領域—1990年代の韓国美術展 図録(水戸芸術館現代美術ギャラリー)	
特集 巨匠にもボルノグラフィック・アートでたどる西洋美術史 エロス	田中 雅志	〃	546		韓国の現代美術—新しい世代の新しい言語と傾向	チョン・ジョンモ	〃	
特集 巨匠にもボルノグラフィック・アートでたどる西洋美術史 エロス	〃	〃	〃		海外の韓国人作家たち—アイデンティティとアイデンティティ化の課題	李 仁範 (イインボム)	〃	
特集 巨匠にもボルノグラフィック・アートでたどる西洋美術史 エロスの始動!—ルネサンス	〃	〃	〃		美術と社会—80年代の民衆美術について	李 英旭 (イヨンウック)	〃	
					韓国美術の新しい世代—農耕社会から工業社会へ	丁 俊範 (チョンジュンモ)	〃	

洋上の宇宙：アートの多様性	小倉 正史	今日の作家展30周年 洋上アジア太平洋 アートの現代図録 (横浜市民ギャラリー)	第64回例会発表要旨 風景表現へのアプローチ 1860年代の 風景表現一印象派の形成	六人部昭典	〃	14
アジア パシフィック時代の夜明け	金沢 毅	〃	第65回例会発表要旨 フランス・ゴシックにおける聖書図像 中世後期のフランス語翻訳・翻案版聖書挿絵研究の諸問題	駒田亜紀子	〃	〃
インド美術瞥見	山梨 俊夫	〃	第66回例会発表要旨 美術／史をめぐる三つの言説 確信(犯)的 自己没入—マイケル・フリードの美術史研究について	藤原 貞朗	〃	〃
上海の現代美術状況	中村 英樹	〃	第66回例会発表要旨 美術／史をめぐる三つの言説 la fissure: ユベール・ダミッシュについて	松岡新一郎	〃	〃
インドにおける“魔”の表現	秋山 光文	宗教美術研究 2	第66回例会発表要旨 美術／史をめぐる三つの言説 イメージの 社会史：アービ・ヴァールブルクの再評価をめぐる	加藤 哲弘	〃	〃
キリスト教美術における悪魔の表現	中森 義宗	〃	第67回例会発表要旨 1930年代：社会的 美学 1930年代アメリカ美術における文化の衝突と変容：大西洋 をめぐる	筒井 宏一	〃	〃
中国山水画における“氣”の表現	近藤 秀実	〃	芸術の危機？ ヒトラーと「退廃美術」	河合 哲夫	日本美術 工芸	684
コンマゲネの「叙任図」をめぐって	前田 龍彦	象徴図像研究 9	イギリス美術の辺境性 ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館展「イギリス 絵画の350年」によせて	潮江 宏三	〃	685
中国古代における獅子図像	土居 淑子	〃	万人のためのバウハウス— 展覧会の構成にかえて	新見 隆	バウハウス 展図録 (セゾン美術館)	
仙人の誕生—全真教と呂洞賓信仰を中心として	福島 一浩	〃	交錯するユートピア— バウハウス>再考序説	長田 謙一	〃	
後期ヘラディック3期ピクトリアル・スタイルにおける「戦車構図」の成立とその起源(3)	勝又 俊雄	女子美術大学紀要 25	バウハウスとイメージと理念	宮島 久雄	〃	
南インドの写本調査から	井狩 弥介	人 文 41	手工作とユートピア— バウハウスとパレードクス	ハインツ・ヒルディナ	〃	
ラスキンとブルクハルトのルネサンス観の類似性	鳥越 輝昭	人文学研究所報 28	中井正一とバウハウス	高島 直之	〃	
ヴェネツィアと人文たち(14)—W・C・ハズリット、ブルクハルト、民主政、貴族政	〃	人文研究 123	シャルトル大聖堂のステンド・グラスにおける分節システムとクロノロジー：今後の研究に向けての覚え書き	岡村多佳夫	バウハウスとその時代展図録 (名古屋画廊古)	
<水の精>のアーキタイプ—その多面性・両面性(三)—	松浦 暢	成城文芸 149	1930年代ヨーロッパにおける芸術の位置— 「レアリズム論争」、壁画、万博—	定金 計次	美 学	183
ギリシア美術と現代(2) ヴィンケルマンとラオコオン群像	中山 典夫	筑波大学芸術研究報告 23				
ウィーン世紀末芸術について	(S・T)	豊田市美術館開設準備室ニュース 3				
1930年代ヨーロッパにおける芸術の位置—「レアリズム論争」、壁画、万博—	飛島 隆信	日仏美術学会会報 14				

平成7年定期刊行物所載文献(総)

イギリス一八七〇年代のタイルと唯美主義	吉村 典子	〃	183	近代美術のキーワード フィルム・ウン ト・フォト[国際映 像写真展]	〃	〃	702
廃虚の美学 ビク チャレスクとロマン 主義	神林 恒道	〃	〃	近代美術のキーワー ド フォーマリズム	〃	〃	703
フィレンツェの芸術 コンクールニサン・ ジョヴァンニの扉を めぐるコンクールを 通して一(一九九三 年度修士論文梗概)	石田 雅芳	美学・芸 術学	10	近代美術のキーワー ド ブック・アート	〃	〃	〃
ステンド・グラスの 幾何学的構成に関す る二、三の考察	木保 元一	美学美術 史研究論 集	13	近代美術のキーワー ド プリミティヴィ ズム	〃	〃	〃
アーティストック 万華鏡の魅力 貴族 の御道具だった万華 鏡	岩崎 紘昌	美 術 (月刊)	243	近代美術のキーワー ド ブリュック[橋 派]	〃	〃	〃
イーオー一儀礼・神 話・造形	羽田 康一	美術 史	137	近代美術のキーワー ド プルームズベ リー・グループ	〃	〃	〃
保存版大特集 VE- RY NEW ART 90年代の海外注目ア ーティスト 物語か らはみだす亀裂	市原研太郎	美術手帖	700	近代美術のキーワー ド プロウン	〃	〃	〃
保存版大特集 VE- RY NEW ART 90年代の海外注目ア ーティスト 世紀末 の視点	篠田 達美	〃	〃	近代美術のキーワー ド ポピュラー・カ ルチュア[大衆文化]	〃	〃	〃
保存版大特集 VE- RY NEW ART 90年代の海外注目 アーティスト「ア ートの現在」をめぐ って	市原研太郎 篠田 達美 長谷川祐子	〃	〃	芸術をめぐる言葉26 詩は絵のごとくーホ ラティウス	谷川 渥	〃	〃
近代美術のキーワー ド ハーレム・ルネ ッサンス	ロバート・ アトキンズ 嶋崎吉信訳	〃	702	近代美術のキーワー ド ラファエル前派	ロバート・ アトキンズ 嶋崎吉信訳	〃	705
近代美術のキーワー ド ビクトリアリズ ム	〃	〃	〃	近代美術のキーワー ド 連邦美術計画 [フェデラル・ア ート・プロジェクト (FAP)]	〃	〃	〃
近代美術のキーワー ド ビュトー派	〃	〃	〃	近代美術のキーワー ド マニフェスト [宣言]	〃	〃	〃
近代美術のキーワー ド ビュリスム[純 粋主義]	〃	〃	〃	近代美術のキーワー ド マルクス主義	〃	〃	〃
近代美術のキーワー ド 表現主義	〃	〃	〃	近代美術のキーワー ド 未来派	〃	〃	〃
近代美術のキーワー ド ファウンド・オ ブジェクト(見出さ れた物体)	〃	〃	〃	近代美術のキーワー ド メキシコ壁画運 動	〃	〃	〃
近代美術のキーワー ド ファシズム芸術	〃	〃	〃	近代美術のキーワー ド メルツ	〃	〃	〃
近代美術のキーワー ド ファム・ファタ ル[運命(宿命)の女]	〃	〃	〃	近代美術のキーワー ド モダニズム[モ ダン・アート]	〃	〃	〃
近代美術のキーワー ド フィギュラティ ブ[具象]	〃	〃	〃	近代美術のキーワー ド 様式	〃	〃	〃
				近代美術のキーワー ド 落選者展	〃	〃	〃
				近代美術のキーワー ド 立体=未来派	〃	〃	〃
				近代美術のキーワー ド リトグラフィ [石版画]	〃	〃	〃
				近代美術のキーワー ド ルミニズム	〃	〃	〃
				近代美術のキーワー ド レイヨニズ[光 線主義]	〃	〃	〃

近代美術のキーワード レ・ヴァン[20 人会]	〃	〃	705	60年代ARTを読み 解くためのキーワー ドAtoZ ハード・ エッジ (Hard Edge)	梅津 元	〃	717
近代美術のキーワー ド ロマン主義	〃	〃	〃	60年代ARTを読み 解くためのキーワー ドAtoZ キッチュ (Kitch)	石井 弥夢	〃	〃
特集 芸術家になり たい! サヴァイヴァ ル予習編 買う者は 注意せよ: アーティ ストについての一考 察	メイヨ・ト ンブソン	〃	〃	60年代ARTを読み 解くためのキーワー ドAtoZ ライト・ アート(Light Art)	榎木 野衣	〃	〃
特集 変身 不安定 な変型のために	上野 俊哉	〃	708	60年代ARTを読み 解くためのキーワー ドAtoZ ミニマル ・アート (Minimal Art)	清水 哲朗	〃	〃
アートな“コク”? 1 キャステリの首を獲 れ!	滝本 誠	〃	〃	60年代ARTを読み 解くためのキーワー ドAtoZ ヌーヴォー ・レアリズム(Nou- veau Realisme)	上田 高弘	〃	〃
芸術をめぐる言葉29 解剖台の上でのミ シンとこうもり傘の 偶然の出会いのよう に美しい一ロートレ アモン	谷川 渥	〃	〃	60年代ARTを読み 解くためのキーワー ドAtoZ オブセッ ション(Obsession)	石井 弥夢	〃	〃
アートな“コク”? 4 史上最悪のコラ ム?!	滝本 誠	〃	712	60年代ARTを読み 解くためのキーワー ドAtoZ ポップ・ アート(Pop Art)	榎木 野衣	〃	〃
特集 映画と美術の 100年 真正正銘の 前衛。—アヴァンギ ャルド映画とアマチ ュアリズム	海野 弘	〃	713	60年代ARTを読み 解くためのキーワー ドAtoZ 質と量 (Quality&Quant- ity)	〃	〃	〃
特集 映画と美術の 100年 アーティス トが撮る。一戦後の アーティスト・フィ ルム海外編	西嶋 憲生	〃	〃	60年代ARTを読み 解くためのキーワー ドAtoZ 革命(Re- volution)	石井 弥夢	〃	〃
特集 映画と美術の 100年 生きている 芸術家。—アート& ドキュメンタリー	岡部あおみ	〃	〃	60年代ARTを読み 解くためのキーワー ドAtoZ シェイプ ト・キャンヴァス (Shaped Canvas)	清水 哲朗	〃	〃
60年代ARTを読み 解くためのキーワー ドAtoZ 抽象表現 主義(Abstract Ex- pressionism)	清水 哲朗	〃	717	60年代ARTを読み 解くためのキーワー ドAtoZ テレビ (TV)	梅津 元	〃	〃
60年代ARTを読み 解くためのキーワー ドAtoZ コンセプ チュアル・アート (Conceptual Art)	〃	〃	〃	60年代ARTを読み 解くためのキーワー ドAtoZ アンダー グラウンド(Under- ground)	榎木 野衣	〃	〃
60年代ARTを読み 解くためのキーワー ドAtoZ ドラッグ (Drug)	榎木 野衣	〃	〃	60年代ARTを読み 解くためのキーワー ドAtoZ 禅(Zen)	〃	〃	〃
60年代ARTを読み 解くためのキーワー ドAtoZ アース・ ワーク (Earth Work)	清水 哲朗	〃	〃	特集 亡命した画家 たちの青春 ヒトラ ーと退廃美術	美術の窓	150	
60年代ARTを読み 解くためのキーワー ドAtoZ イタリア ン・ポップ (Itarian Pop)	上田 高弘	〃	〃	台湾は“時”の情報 の玉手箱 美術の近代 化の現状を実感	立花 義彰 JAAM	47	
				先史時代ブームのフ ランス 世界最古の 洞窟壁画発見	今津 京子	〃	〃

平成7年定期刊行物所載文献(総)

ものの言葉 の理論と芸術 (2)	もの派 作品	バルバラ・ ベルトゥ ツィ	美術の森	81	清朝皇帝の宝もの一 史上最大の文物コレ クター乾隆皇帝一	稲田 能彦	目の眼	230
ガラスのユートピア —19世紀パリにおけ る温室とその表象 <上><下>		吉田 典子	百科 (月刊)	393,395	美術におけるモダニ ズムということ	峯村 敏明	モダニ ズムの時 代録 (東京都 写真美術 館)	
仏陀の顔をしたキリ スト—仏教美術西漸 に関する一考察—		益田 朋幸	仏教芸術	220				
戦後アメリカ現代美 術のコレクションに ついて		石丸 正運	フラミン ゴ	42	特集 マニエリスム の現在 マニエリス ム、今日は'90年 代のマニエリスム	高山 宏	ユリイカ	27—2
アドルノにおける芸 術表現の可能性につ いて		村田 誠一	文化学年 報	44	特集 マニエリスム の現在 メラヴィリ ア：驚異の時代	ジョイ・ケ ンセス	”	”
シュライエルマッ ハーの初期解釈学的 美学思想		岡林 洋	”	”	特集 マニエリスム の現在 怪奇！人工 洞窟館—マニエリス ムの洞窟学に寄せて	原 研二	”	”
H・R・ヤウスの受 容美学—作品の歴史 的変遷		今村美邦子	”	”	特集 マニエリスム の現在 甘美な恋の 攻撃—女の無節操と 男の攻撃のめったに ない幸運な出会い	マリア・ガ ゼッティ 許 光俊訳	”	”
17世紀イタリアの美 術家列伝をめぐる一 考察—ベッローリの 歴史的意義について		清瀬みさを	”	”				
祈念像(Andachts- bild)の概念を巡る 論議		嶋谷 昭彦	”	”	特集 マニエリスム の現在 手の中の顔	マルティン ・ヴァル ンケ福本 憲訳	”	”
友部直教授最終講義 ベル・エポックに投 影された古代ギリ シャ—『牧神の午後』 を中心に		友部 直	文学芸術	19	特集 ラフカディオ ・ハーン ケルトの 西、シンシナティの 南	西 成彦 鶴岡 真弓	”	27—4
ヴェネツィアのドイ ツ人商館と南ドイツ の芸術		山中 淑江	文化史学	51				
「一九〇〇年・都市 ブダペスト」の芸術 と夢の疾走		赤地 経夫	視 る	339	このような一世紀の あとで、誰が同じよ うな世紀の再来を望 むであろう？	ヤン・ファ ン・デル・ マルク	ヨーロ ッパ 近代 美術 とアメ リカ 現代 美術 展 (豊 田 市 美 術 館)	
ブダペストのベル・ エポック		竹内 次男	”	340				
インドネシアのドラ えもんと「民族文化」		関本 照夫	民博通信	68	20世紀美術の挑戦— 両次大戦間における 古典主義の復活と前 衛の画家たち	村田 宏	ルー ト ヴィ ヒ 美術 館 展— 20 世紀 美術 の 挑 戦 図 録 (東 武 美術 館)	
モレリアア(芸能の 貸衣装屋)見聞記— グアテマラ、1995年 3月—		黒田 悦子	”	69				
アポリジニの物質文 化と日本の博物館・ 姉妹都市		松山 利夫	”	”	ドイツ表現主義—そ の生成過程における 3つの流れ ドイツ 表現主義とバウハウ ス	中村 尚明	”	
マレの夢、マイブリ ッジの夢—「ムー ving・イメージ」 展によせて		森山 朋絵	ムー ヴィ ン グ・ イ メ ージ — 映画 発 明 100 周 年 展 図 録 (東 京 都 写 真 美 術 館)		ロシア・アヴァンギ ャルドの芸術	沼田 英子	”	
メキシコ壁画運動 ノート		渡辺 純子	メー ブル ニ ュー ス	29	ポップ・アート再論 ポップ・アートとア メリカ絵画	村田 宏	”	
					ポスト・ナチの諸相 —東西分裂と冷戦の 彼岸 ドイツ戦後美 術	奥野 克仁	”	



境界を越える美術— ウォールからボ イスまで	渡辺 葉子	レポリ ーシ ョン の 60年 代 の ア ー ト の 展 覧 (東 京 都 現 代 美 術 館)	クント ッ ル ・ ワ シ ア ン デ ス 古 代 遺 跡 発 掘 記 5 が 支 え る 博 物 館	藤 枝 晃 成 史 中 田 浩 二	1.27
振り返って：1960年 代のアメリカ美術	グールド・ ローディア ／プレムナ ー・アン	和歌山 県立 近代 美術 館	クント ッ ル ・ ワ シ ア ン デ ス 古 代 遺 跡 発 掘 記 3 の 奥 か ら 黄 金 製 品	加藤 泰建	5.12
「イギリス絵画の350 年」展に寄せて	潮江 宏三	和歌山 県立 近代 美術 館	クント ッ ル ・ ワ シ ア ン デ ス 古 代 遺 跡 発 掘 記 4 出 土 品 の 保 管 引 き 受 け る	4	〃
フランスで見つかった 「ショウベ洞穴」の 壁画	清水 弟	朝日夕刊	古代学協会のボンベ イ発掘	(矢)	5.26
アート・アトラス 芸術家支えるカナダ の文化システム	田中 三蔵	〃	枕を並べて3200年 エジプト「王家の谷」 に共同墓地 ラムセ ス二世の王子たち？	岡本 道郎	5.31
アレキサンダー大王 の墓発見か ギリ シャ隊が調査	〃	〃	多様な顔持つベリ ーズのマヤ遺跡	関 雄二	6.14
「アレキサンダーの 墓ここに」と直 感	川上 泰徳	〃	発掘進むカレホユッ ク遺跡、ヒッタイト 帝国原点鮮明に	矢沢高太郎	6.21
盗掘のあらし吹く メソポタミア遺跡 湾岸戦争後の生活苦 も背景	柳沢 保正	〃	「釈迦の故城」に迫る ネパール遺跡出土品 300点、立正大の 調査展	(矢)	7.12
流出続くイラクの考 古遺産—「市場」持つ 日本も禁止条約批准 を	藤井 秀夫	〃	マヤ文明再考—カミ ナルフエを掘る 1 無視された遺跡、メ ソアメリカ文明解明 のカギ握る地	大井 邦明	8.7
インド巨大ストゥー パ発掘「サンチー」 遺跡しのぐ規模	〃	〃	マヤ文明再考—カミ ナルフエを掘る 2 外敵侵入は2世紀、 5世紀説覆し、文化 中断の謎を解く	〃	8.8
イギリス美術界リ ポート 上、下	桜井 武	サンケイ	マヤ文明再考—カミ ナルフエを掘る 3 文化の激変4度も、 繰返された破壊「平 和」のイメージは誤 り	〃	8.9
古代エジプト・王子 50人の墓発見 ファ ラオー族 解明に 道？	深田 実	東京	マヤ文明再考—カミ ナルフエを掘る 4 石に先行「土」の建 築、高度な技法が 存在、文明の起源探 る糸口に	〃	8.10
NYパフォーミング アーツの今—マイノ リティーの尊重	石田 一志	東京夕刊	マヤ文明再考—カミ ナルフエを掘る 5 土の遺跡難題の保存 法、都市化で破壊深 刻、急がれる技術確 立	〃	8.11
アジア的な日本的な 3 普遍的な「アジ ア美術」はあり得な い	中原 祐介	読売夕刊	保存修復		
知られざる遺跡群… ベトナム チャンパ 王国の魅力	重枝 豊	〃	古代の復原にたずさ わって	中宿 泰 近飛鳥 博物館	2
クントッル・ワシ アンデス古代遺跡発 掘記 2 階段の石 彫、2つだけ「赤」	加藤 泰建	〃			1.24

平成7年定期刊行物所載文献(総)

美の現場から(3)	笠井 真男	アトリエ インター ナショナル	817	南京城壁保存修復事業 平山郁夫氏の提唱で開始	今津 節生	〃	733
資料を直すために 博物館資料の修復	宮田 紀子	江戸東京 博物館N EWS	8	科学の目で文化財を探る	山領 まり 宮田 順一	〃	739
たかが虫、されど虫 インタビュー 加賀 宣子氏に聞く 修復 家を目指すとする 人へ 絵が好きだ ということが条件、 でも・・・	益田 茂	〃	9	鷹見泉石旧蔵“オ ッテンス小地図帳”の 修復	熊本 浩蔵	彫刻の森 美術館ニ ュース	3
こんなにきれいな りました故郷ニッ ポンで甦った在外秘 宝	〃	芸術新潮	547	「展示と保存」とい う矛盾 野外ブロンズ 彫刻の保存維持	瀬木 慎一	美 術 (月刊)	236
特集を読んで 保存 問題のむずかしさ	西 和夫	建築雑誌	1371	特集 大震災と復 興、その時美術は… -1923. 9. 1関東 大震災と今日 国 宝、重文クラスの 名品が数多く罹災、 焼失	村上 亮 江上 ゆか	ピロティ	94
兵庫県南部地震緊急 報告 兵庫県南部地 震による国宝・重要 文化財建造物の被害 状況と今後の課題	大和 智	〃	1372	宝物を護り継ぐとい うこと 宮内庁正倉 院事務局	中島 明彦	フ ォ ト	10.15
鹿児島県指定文化財 西田橋の現地保存等 に関する要望書	西 和夫	〃	〃	文化財(建造物)保護 の最近の傾向につ いて	川上 貢	文化財報	88
海岸ビルの保存に関 する要望書	〃	〃	1373	法隆寺金堂壁画史	高田 良信	法隆寺再 現壁画展 図録(東 京都美術 館)	〃
1995年度 日本建築 学会大会(北海道) 保存の未来と建築教 育	藤井 恵介	〃	1375	博物館・美術館等に おける燻蒸の実施状 況とその問題点一保 存担当学会員研修 におけるアンケートか ら一	木川 りか 佐野 千絵 門倉 武夫 三浦 定俊	保存科学	34
歴史的建造物の修復 の関する一連の業績	金多 潔	〃	1376	保存担当学会員研修 の11年	三浦 定俊 佐野 千絵	〃	〃
古紙と保存	内田 祥哉	国立博物 館ニユ ース	1379	博物館学へのエロ ース(愛)とエネルギー ア(愛情)	倉田 公裕	MUSE UM ST UDY	6
文化財の維持修復	石川 睦夫	修復研究 所報告	573	陶磁器修復の条件6 色絵花文大皿他の 修復	長田 早苗	目の眼	220
油絵、三通りの裏打 法に関して	歌田 真介	〃	11	「神門修復工事」完了 報告 伊藤平左門 建築事務所	靖 国	〃	475
油絵修復の道具につ いて	金 正錫	〃	〃	竣工祝賀式に於ける 「神門修復工事」経過 報告	湯澤 貞	〃	〃
史料保存をめぐる国 際情勢 保存科学国 際会議に参加して	馬淵 久雄	史料館研 究紀要	26	国宝・松浦屏風の修 理を終えて	関地 久治	大和文華 館美のた より	113
阪神・淡路大震災と 被災史料の救助活動	(F)	資料館報	62	国宝・不動堂三年計 画で解体修理	井上 芳子	霊宝館だ より	40
第二回 記録史料の 保存・修復に関する 研究会について	青木 睦	〃	〃	作品保存の現状	〃	和歌山県 立近代美 術館ニユ ース	6
保存科学をめぐって 一保存における保存 環境の調査について	二宮 修治	〃	63	古都京都の文化財、 世界遺産に登録 「期待」の陰に難題ズ シリ	朝 日	〃	1.23
報告 特定研究「収 蔵史料の修復・復元 に関する基礎研究」 研究会	青木 睦	〃	〃	「南京城壁」修復で交 流を	〃	〃	4.7
阪神大震災一拡大す る文化財への被害	本紙取材班	新美術新 聞	726				
大震災ドキュメント	岡 泰正	〃	〃				
色いろ調 阪神大震 災	安井 収蔵	〃	〃				
阪神大震災一どうす る被災地の文化財	〃	〃	727				

「世界文化遺産と災害」シンポジウム パネリスト安藤忠雄氏、立松和平氏、石森秀三氏、小林隆彰氏、高田良信氏	流出の日本美術、古い深刻異なる気候響く修復協力拡大を	小林 忠	〃	4, 23	4, 29
論壇 遺跡保存への援助は吟味が必要	弥勒さま、これで安心 免震システムを設置 京都・広隆寺		〃	7, 20	8, 25
芸術文化の大震災被害に救いの手を	初の文化財レスキュー隊 倒壊建築から救出		毎 日	11, 18	2, 8
遺跡保護システムは発想の転換を	芸術、文化財も被害深刻 寄付金、現場に届きにくく		〃	12, 15	8, 2
国宝・重文にも打撃 平等院の鳳凰傾く／展覧中止相次ぐ美術館 阪神大震災	文化財の修復1 大仏様も“ドック”に	朝日夕刊	1, 27	1, 27	4, 4
「文化遺産の危機管理」はいま 上	文化財の修復2 阪神大震災のツメ跡深く	田中 三蔵	〃	3, 3	4, 5
被災の文化財救出 受付窓口を開設 文化財救援委など	文化財の修復3 技術力の高さ知る		〃	3, 4	4, 6
学問を歩く「文化遺産の危機管理」はいま中 小川雄二郎さん、下山肇さん	“15人”立った「モアイ」修復完了	宮代 栄一	〃	3, 10	7, 8
学問を歩く「文化遺産の危機管理」はいま下 神庭信幸さん、貝塚健さん	ポーランドの金閣寺 修復「日本も協力を」		〃	3, 17	11, 20
防湿・防虫と両立しない防災 震災対策の「美術館シンポ」で指摘	モアイ像リフレッシュ 日本・チリ協力、15体修復		読 売	5, 11	7, 8
共同国立公園でマヤ遺跡を保護	「ナスカの地上絵」保護活動ピンチ		〃	8, 17	8, 16
モアイに感じた親しみ 日本から民間協力、修復を終えて	弥勒菩薩半跏像にハイテク免震装置 京都・広隆寺		〃	9, 18	8, 25
「文化財赤十字」の設立を 世界の遺産荒廃から守る	検証 阪神大震災保存・展示に反省点	菅原 教夫	〃	10, 16	9, 26
日・中・韓で初めて共同調査 酸性雨文化財被害 中国、日本より深刻	都市文化の擁護 阪神大震災の後に(上)(下)	山崎 正和	読売夕刊	11, 10	4, 5, 7
シンポジウム 世界遺産のいま 歴史的な文化遺産と自然環境	菌類から守れ！古代の壁画 エジプト特殊溶液でシミ防止	岡本 道郎	〃	11, 27	4, 19
スフィンクス修復支援 中東歴訪で首相表明へ パルミラ遺跡保存も	国宝仏像にハイテク免震装置 京都広隆寺	乳井 昌史 聞き手	〃	9, 5	4, 25
イースター島の巨大石像修復完成 「風化防げ」の輪広がる	平山画伯に聞く「文化財の国際赤十字構想」	大村 次郷	〃	8, 12	5, 9
文化財の研究・保存 科学駆使、食生活まで判明	神々の号泣 危機にひんするアジア文化遺産1～5	杉山 祐之	〃	1, 1	6, 26～30
兵庫県南部地震 文化・芸術にもツメ跡 危機管理の必要浮き彫り	含元殿基壇の修復でユネスコと中国調印	(阪)	〃	1, 21	8, 2
	阪神大震災の芸術文化被害 建物同様にソフト面も深刻 調査委が中間報告		〃		8, 8
	アフガン文化財 戦禍から守ろう 国家・民族超え 平山郁夫氏ら保全へ支援	乳井 昌史	〃		8, 22

平成7年定期刊行物所載文献(総)

アフガン文化財 戦 禍から守ろう ブルでの現地調査 を前に 樋口隆康・ 京大名誉教授に聞く			“ ”	“ ”	ARLISとIFLA のWWWホーム ページインター ネットとの私的な遭 遇から一	水谷 長志	“ ”	27
中国の雲崗石窟が石 炭公害でピンチ			“ ”	8.23	“画像データベース とインターネット” からの報告	田辺 徹	“ ”	“ ”
「鉛同位体比法」使い 青銅器のルーツ探る	平尾 良光		“ ”	9.30	画像データベースと インターネット	森 司	“ ”	“ ”
アンコール遺跡の修 復と日本の役割	中川 武		“ ”	10.6	『映像資料のドキュ メンテーション 過 去・現在・未来』を 聴いて	藤原ルモエ	“ ”	“ ”
史跡公園の整備 60 年代後半から			“ ”	12.9				
風土に合った技術と 材料で アンコール 遺跡群保存を語る 文化財の国際赤十字 構想	平山 郁夫 中川 武		“ ”	12.12	第10回講演会(黒岩 高明氏)報告 映像 資料のドキュメン テーション 過去・ 現在・未来	山田 悦子 栗田 聡子	“ ”	“ ”
震災で被害・・・ 神戸のフロインド リーブ邸 「異人館 街に欠かせぬシンボ ル」 市が移築保存 へ			“ ”	12.7	IFLAイスタン ブル大会報告 イン ターネットや画像 処理等の最新技術と 美術図書館	中村 節子	“ ”	“ ”
<b>情報処理</b>					美の現場から(5)	笠井 真男	アトリエ インター ナシヨナル	819
絵画の索引法：段階 的絵画解釈を応用し た三つの索引法によ るデータベースの作 成と評価	守田奈緒子 上田 修一	アート・ド キュメン テーション 研究	4		整理の現場から・・ ・ 展覧会図録の整理・ ・ 個性豊かでグラマ マな美女たち	上田 雄	池田文庫	7
<海外の現場から> フーリア美術館図書 館のレファレンス・ サービスの実際	吉村 玲子		“ ”		資料データの管理		江戸東京 博物館N EWS	12
美術館学芸員の フィールド・ワーク とアート・ドキュメ ンテーション	森 仁史		“ ”		映像ライブラリー― 目録と検索システム	飯塚 晴美 友野千鶴子	“ ”	“ ”
<海外美術館図書研 究入門・4>ロンドン の美術図書館	波多野宏之		“ ”		特集 アートは時代 の最先端に行く？ インターネット時代 のアートを考える インターネットに情 報をのせる 美術館 の広報メディアとし てのツール		ギャラリ ー(月刊)	124
アート・ドキュメン テーションとアート ・コンピュータリ ゼーション：最近接 した英国の文献から	田窪 直規		“ ”		史料情報の電子化と オンライン流通に関 する諸問題	田良島 哲	古文書研 究	40
アート・アーカイヴ ズ	アントジ ェム・B ・レム ケ/デ ェア ドレ ム・C ・水 谷 長 志/ 中村 節子 編		“ ”		連載 印象派再考6 ―芸術家たちによる 規約作成	島田 紀夫	C.A.R.	18
アート・ドキュメン テーション関連文 献目録(1994)	JADSクリ アリングハ ウス編		“ ”		連載 印象派再考7 ―カタログの表紙か ら消えたことば		“ ”	19
インターネットに関 する研究会の報告― 全国美術館会議情報 処理ワーキング・グ ループに出席して	相沢 勝	アート・ド キュメン テーション 通信	26		トランジション9 ネットワークと画像 データベース	岡部あおみ	日本美術 工芸	687
					インフォメーション ・ハイウェイを突っ 走る「THE THIN G」	藤森 愛実	美術手帖	702
					阪神大震災による美 術館施設の被害状況		“ ”	703

海外研修報告—アメリカ・カナダにおける博物館資料の活用とコンピューター	渡辺 雄二	Facata	18	愛知県が新進芸術家の海外研修を支援	〃	732
インターネットと美術館	後々田寿徳	福井県立美術館だより	70	「阪神大震災」後の都市、そして復興にむけて	松葉 一清 デザインの現場	75
文化財行政				文化立国のための税制改正を	蒲野 宏之 毎日	9.13
特集 世界文化遺産奈良コンファレンス世界遺産条約と世界文化遺産奈良コンファレンス	益田 兼房	建築史学	24	「重文」基準緩和へ建築物、昭和初期も対象		読売夕刊 10.16
特集 世界文化遺産奈良コンファレンスアジア・日本固有の「オーセンティシティ」	伊藤 延男	〃	〃	美術教育・美術館教育		
特集 世界文化遺産奈良コンファレンスわが国の歴史的環境保全におけるオーセンティシティ概念の変化	西村 幸夫	〃	〃	短大における実技系専門教育に対する一考察～その現状と課題～	石山 直司 愛知県立芸術大学紀要	24
特集 世界文化遺産奈良コンファレンス建築と都市の歴史的遺産についての省察とその遺産の管理において、オーセンティシティの概念を今日どう扱うか	フランソワーズ・シヨエ/吉田鋼市訳	〃	〃	長岡造形大学の21世紀を探るデザイン教育一	豊口 協イ ンタビュー	AXIS 54
特集 世界文化遺産奈良コンファレンス変わりゆくオーセンティシティの基準	デイヴィッド・ローエントナル/西和彦訳	〃	〃	中西元男氏の一步PAOSの始めるビジネスデザイン教育		〃 55
特集 世界文化遺産奈良コンファレンス文化遺産のオーセンティシティをめぐる素描	ユッカ・ヨキレット/桜田方子訳	〃	〃	金沢美大における外国語教育の現状・成果報告およびこれからの展望—フランス語教育を中心として	青柳 りさ 金沢美術工芸大学紀要	39
特集 世界文化遺産奈良コンファレンスアジア建築遺産の保存に関する国際会議“The Future of Asia's Past”タイのチェンマイで開催される	レオン・ブレスイール/吉田鋼市訳	〃	〃	美術教育と外国語教育(共同研究その2)—コミュニケーションとクリエーション	横川 善正	〃 〃
連載 印象派再考5—第三共和制下の美術行政	島田 紀夫	C.A.R	17	京都高等工芸学校設立前史	宮島 久雄 京都工芸繊維大学工芸学部研究報告人文	43
福井県金津町「創作の森」プロジェクト始動		新美術新聞	728	美術鑑賞教育の教材	江口 善之 京都市立芸術大学美術学部研究紀要	39
平成7年度文化庁予算12.1%増		〃	731	北海道の地域的特性を利用した造形教育教材開発の実践的研究	佐々木 幸 釧路論集	27
				芸術作品の鑑賞	中村 康 国立博物館ニュース	578
				コンピュータ・グラフィックスの教育	内山 博子 コンピュータ・グラフィックスの世界1995展図録(町田市立国際版画美術館ハイビジョンホール)	
				CCA北九州 97年開設へ コンテンポラリーアートの学習・研究機関	新美術新聞	741

平成7年定期刊行物所載文献(総)

公立中学が美術大学に「美術大学和泉湧く」プロジェクト	〃	741	特集 芸術家になりたい! サヴァイヴァル予習編 三つの扉	塩見 奈々	美術手帖	705
学芸員の卵が公立中学でワークショップ “美術大学和泉湧く” レポート	(美)	744	ヘービジネス・スタディの勧め イギリスの美大カリキュラムから			
メディアとインタフェースのデザイン—情報デザイン教育のカリキュラムとその基本的枠組み	須永 剛司	多摩美術大学研究紀要	美術教育の問題意識から探る色彩研究の可能性	向野 康江	武蔵野美術大学研究紀要	25
新しい芸術教育研究方法の台頭	仲瀬 律久	筑波大学芸術研究報告	イメージの視覚言語と言語の相互間練成と創造力を高める教育方法の基礎的研究	澤田 七郎	〃	〃
21世紀とデザイン(2)—「持続可能な発展」のためのデザインと、デザイン教育についての試論	佐野 寛	東京学芸大学紀要	昭和初期山形県長瀬小学校における絵画教育に付いて・・・ 想画から生活画へ・・・	渡辺 信	山形県立博物館研究報告	17
図画工作科と道德教育—「造形遊び」にみられる道德教育的側面	増田 金吾	〃	明治期図画教科書と近代絵画	金子 一夫	若き日の日本美術期—明治期の図画教科書と画家たち(次代美術館)	
自己教育力を育成する美術教育試論3 美術教育の意義とその方向性	春日 明夫	東京造形大学雑誌				8A
バウハウス1919—1933—ある美術学校の歴史	ミハエル・ジーベンブロート/一條 彰子	バウハウス展図録(セゾン美術館)	草創期の東京美術学校	藤本 陽子	〃	
バウハウスにおける基礎教育	ペーター・ハーン	〃	モンゴルの子供に画材のキャンバを!—芸術・情操教育を支援	福島 香織	サンケイ	8.11
バウハウスの階段—日本のデザイン教育における影響	小林 邦雄	〃	「接触」の世界から弾む造形 旨学校で美術教える21年、子供の創造力伸ばす	西村 陽平	日 経	8.16
特集 武蔵野美術大学と多摩美術大学 自由な発想を生かしてきた両校の伝統に期待	生尾慶太郎	美術(月刊)	企業メセナ			240
特集 武蔵野美術大学と多摩美術大学 今も変わらぬ“武蔵美リアリズム” 武蔵野美術大学学長前田常作氏に聞く	〃	〃	『街角のアート・九十年代の作家たち』9 アートと企業 自主の企画力で現代美術を支援	ぼんの な おこ	アートマインド	77
特集 武蔵野美術大学と多摩美術大学 メルティングポットから生まれた美共闘一元・議長堀浩哉氏に聞く	〃	〃	『街角のアート・九十年代の作家たち』13 企業がクリエイティブするアート2 ベネッセコーポレーションの多角的構想	〃	〃	82
特集 武蔵野美術大学と多摩美術大学 具象系で堅実な実績の武蔵美 現代美術で活躍が目立つ多摩美	(編集部)	〃	美の現場から(6)	笠井 真男	アトリエインターナショナル	820
入試制度導入でますます狭き門にルーブルの美術館学専門教育機関EDL	永島 聡美	〃	第4回助成認定活動決定(社)企業メセナ協議会		新美術新聞	724
			第5回助成認定活動(社)企業メセナ協議会		〃	728
			'95年度フィリップモリス・カレンダー基金に1250万円		〃	731

第6回助成認定活動 は11件(社)企業メ セナ協議会が発表	〃	734				絵画考一 器と物差 し水戸ア ニユア展 アル'95 図録(水 戸芸術館 現代美術 ギャラリー)		
国吉康雄作品が結ぶ 日米文化交流(株) ベネッセ	〃	739	平面上で語る絵画	石井 弥夢				
企業博物館の質を検 討『企業と史料』第 5集刊行	〃	741						
メセナ白書1995 世 界24カ国とEUのメ セナレポートを掲載	〃	746	絵画について	中林 和雄		絵画、唯 一なるも の展覧録 (東京国 立近代美 術館)		
メセナ大賞'95に TOA(株)、京都服 飾文化研究財団など	〃	752	死と絵画	本江 邦夫				
インターネット上に ホームページ開設 企業メセナ協会	〃	753	日本におけるアメリ カ美術の受容	出原 均		鹿島美術 財団年報	12	
トランジション5 環境彫刻と建築の功 罪/カルティエ・フ ァンデーション	岡部あおみ	日本美術 工芸	特集 絵で読む家族 の肖像 一枚の絵か ら考える<家族> ジャガイモを喰わな い人々	橋本 治		芸術新潮	549	
タカシマヤ文化基 金、平成6年度助成 対象の発表		美術 (月刊)	絵画をめぐる笑える 話笑えぬ話			新美術新 聞	722	
知られざる公的機関 FNACの実体	永島 聡美	〃	東・西の遠近表現	飯野 正仁		『中国の 洋風画』 展覧録 (町田市 立国際版 画美術 館)		
被災地への義捐と現 代美術への親近な接 触の機会与えるチャ リティー	〃	235						
田中穂のにんげん美 術史48 資生堂(ギ ャラリー)と越後屋 (三越) 企業文化を 休みなく蓄積	田中 穂	〃	絵画と言語(三) 「写実」「写真」「写生」	佐藤 道信		東京芸術 大学美術 学部紀要	30	
国際メセナ会議'95 第一日基調講演 第 二日分科会		朝 日	元祖ヴァーチャル ・リアリティの世界 へ	小池 寿子		美術手帖	702	
情熱のないメセナが 不況のあおりを受け る	佐治 敬三	朝日夕刊	特集 快樂絵画 Kontra-Punkt(コ ントラ・プンクト) <絵画の対位法>	清水 穰			709	
			特集 快樂絵画 ホ ームレスについて	岡崎乾二郎				
絵 画			特集=ソレルス 強 い空間、あるいは絵 画の基層	松浦 寿夫		ユリイカ	27-10	
一 般			風景ってなあに? 「美術館にいったよ !展」の前に	浜田 拓志		和歌山県 立近代美 術館ニユ ース	5	
絵画と額縁の関係	F	アートベ ーパー	二枚の絵 国宝「仏 涅槃図」マンテー ニャ「死せるキリス ト」	平山 郁夫		毎 日	4.2	
絵のなかの女たち	中山 公男	〃	二枚の絵 喜多川歌 麿「姿見七人化粧 鬢直し」ミレー「鏡 の前のアントワネッ ト・エベール」	高階 秀爾			4.9	
絵のなかの女たち一 展覧会の構成と内容	上村 清雄	〃	二枚の絵 重要文化 財「湯女図」ボッ ティチェッリ「春」	栗田 勇			4.16	
風景画考 「水の光 景」展をめぐる	宮本 高明	岡山県立 美術館ニ ュース					29	
絵の意味を読み解く	妹尾 克己	〃					31	

平成7年定期刊行物所載文献(絵)

二枚の絵 国宝「天台高僧像 慧文禪師」写楽「市川男女蔵の奴一平」	丸谷 才一	〃	4.23	二枚の絵 国宝「阿弥陀聖衆来迎図」カルトン「聖母戴冠祭壇画」	西野 嘉章	〃	8.20
二枚の絵 土田麦僂「海女」ゴーギャン「かぐわしき大地」	梅原 猛	〃	4.30	二枚の絵 ホルバイン「天使たち」スクロツツ「エドワード六世」	福田 繁雄	〃	8.27
二枚の絵 バイユー・タピスリー 国宝「伴大納言絵巻」	粟津 則雄	〃	5.7	二枚の絵 ゴッホ「パイプをくわえた自画像」 国宝「仏眼仏母像」	木下 長宏	〃	9.3
二枚の絵 ゴッホ「ひまわり」 ゴーギャン「アリスカンの並木路、アルル」	黒江 光彦	〃	5.14	二枚の絵 ベラスケス「女官たち」 国宝「源氏物語絵巻・宿木一」	高階 秀爾	〃	9.10
二枚の絵 アルチンボルド「夏」 国芳「としよりのよふな若い人だ」	和田 誠	〃	5.21	二枚の絵 上村松園「長夜」 ルノワール「ピアノの前の少女たち」	中村 桂子	〃	10.1
二枚の絵 青木繁「海の幸」 浅井忠「狐嫁入」	杉本秀太郎	〃	5.28	二枚の絵 マチス「ダンス2」 国宝「花下遊楽図」	乾 由明	〃	10.15
二枚の絵 モネ「ルーアン大聖堂」 鳥海青児「夜のノートル・ダム・ド・パリー」	酒井 忠康	〃	6.4	二枚の絵 「本多平八郎姿絵」 フェルメール「女と召使い」	丸谷 才一	〃	10.22
二枚の絵 小林清親「開化之東京 両国橋之図」 ホイッスラー「青と金のノクターン」	永田 生慈	〃	6.11	二枚の絵 ティソ「湯浴みの日本娘」 ルノワール「エリオ夫人」	深井 晃子	〃	10.29
二枚の絵 ドラクロワ「ショパンの肖像」 ドラクロワ「ジョルジュ・サンドの肖像」	中村 紘子	〃	6.18	二枚の絵 ヤン・ブリューゲル「木桶の花束」 長谷川等伯「楓図」	高橋 裕子	〃	11.5
二枚の絵 富岡鉄斎「蓬莱山図」 呉昌碩「老松図」	榊 莫山	〃	6.25	二枚の絵 モネ「睡蓮」 広重「東海道五拾三次之内 庄内」	安藤 忠雄	〃	11.12
二枚の絵 雪舟「天橋立図」 グレコ「トレド風景」	野見山暎治	〃	7.2	二枚の絵 速水御舟「炎舞」 国宝「地獄草子 雲火霧」	山崎 富治	〃	11.19
二枚の絵 俵屋宗達「風雷神神図屏風」 酒井抱一「風雷神神図屏風」	小林 忠	〃	7.9	二枚の絵 「女子像」(「高松塚古墳壁画」のうち) 「パリジェンヌ」	井上 章一	〃	11.26
二枚の絵 クールベ「嵐の海」 北斎「神奈川沖浪裏」	辻 惟雄	〃	7.16	二枚の絵 池田遥邨「炎禍の跡」 ムンク「不安」	梅原 猛	〃	12.10
二枚の絵 重文「不動明王二童子像(赤不動)」 グレコ「聖衣剝奪」	木村 重信	〃	7.23	二枚の絵 カラヴァッジオ「ゴリアテの首を持つダヴィデ」 「平治物語絵巻(信西巻)」	田中 英道	〃	12.17
二枚の絵 国宝「釈迦金棺出現図」 ジョット「キリストの復活」	平田 寛	〃	7.30	二枚の絵 ロセッティ「ベアータ・ベアトリクス」 青木繁「温泉」	岡田 隆彦	〃	12.24
二枚の絵 高橋由一「花魁」 ファン・ゴッホ「揺籃を揺る女」	芳賀 徹	〃	8.6	「年画」交流小史—中国・ベトナム・朝鮮・日本	田所 政江	毎日夕刊	8.30
二枚の絵 ジェリコー「メデューズ号の筏」 前田青邨「知盛幻生」	大岡 信	〃	8.13	美術館で漫画展が開かれる意味 価値観築き直す問題提起	佐々木吉晴	読売夕刊	5.8



絵画・日本							
巻頭特集 正月の絵 初春をめぐる名画 たち	武田 厚	アート・ トップ	144	「男の顔」がわからな いということ	田中 淳	男の顔展 図録(ギ ャラリー 長谷川)	
戦争画のすべて 陸 軍×海軍		〃	148	志す男の顔	鈴木東海子	〃	
平面絵画の今日 絵 画IMA展		〃	〃	「絵画」としての存在	森 司	絵画考一 差戸 水戸 アニア 展(水 戸美術 館)	
金鈴社 大正日本画 壇に金鈴社はなにを 語りかけたか	根崎 光男	〃	150			図録(現 代美術 ギャラリー)	
美術の見方23 描か れた平家物語	藤本 陽子	アートフ ォーラム	33			絵画に見 る関東 震災展 図録(サ イドホ ールギ ャリー)	
近代から現代へ一作 家の精神の描出 近 代絵巻の流れ2	草薙奈津子	アサヒグ ラフ(別 冊)	118	震災と画家	竹山 博彦	録(サ イドホ ールギ ャリー)	
美の現場から(7)	笠井 真男	アトリエ インター ナシヨ ナル	821	白馬会の研究	植野 健造	鹿島美術 財団年報	12
画家たちの新世界一 日米美術交流史1896 -1945	岡部 昌幸	アメリカ に生きた 日系人画 家たち展 一希望と 苦悩の半 世紀1896 -1945図 録(東京 都庭園美 術館)		家族の肖像	有川 幾夫	家族の肖 像展一フ ァー ミリー ポート レイト 録(宮 城美術 館)	
強制収容所の日系ア メリカ人アート	カリン・M ・ヒガ	〃		“近代的”家族の風景	原田 敦子	〃	
芸術的良心の自覚の 時	大井 健地	アメリカ ン・シー ンの日本 人画家展 図録(練 馬区立 美術館)		画家の家族	有川 幾夫	〃	
アメリカン・シー ンの日本人画家たちノ ート	土方 明司	〃		第四次『東京バック』 要覧一目次一覽およ び人名索引	湯本 豪一	川崎市 市民ミ ュージ アム紀 要	7
「戦後日本の具象美 術」講演会報告	富山 秀雄	石川県立 美術館だ より	137	Behind Utopia 文 人画という絵画の問 題について	竹山 傳彦	北関東 の文人 画展一 茨城・ 群馬 交流 図録 (栃 木美 術 館)	
南蛮美術と洋風画 神戸市立博物館所蔵 名品展		茨城県歴 史館だよ り	64	近代文人画の今日的 な意義	金原 宏行	〃	
英国肖像画を透して 見た日本の肖像画	村田 哲朗	英国肖像 展ナシ ョナル ・ポ ート レイト ・ギ ャラ リー 所蔵 図録 (大丸 ミュージ アム(東 京))		特集 言葉模様の中 の「日本画」最近の 美術館に見られた 「日本画」展を中心に 「日本画」とは、何の こと？」		ギャラ リー (月刊)	118
				特集 言葉模様の中 の「日本画」最近の 美術館に見られた 「日本画」展を中心に その取材、あんまり 面白いテーマじゃな いね! 板橋区立美 術館/尾崎真人・ 「佐藤泰清展」		〃	〃

特集 言葉模様の中の「日本画」最近の美術館に見られた「日本画」展を中心にあくまでも素材として岩絵具を見つめ直す 山口県立美術館／菊屋吉生・「ニュージャパニーズスタイルペインティング」				近代絵画におけるフランスと日本—印象主義の成立とその伝播	島田 紀夫	近代絵画の流れ—フランスと日本—山形市美術館(徳山美術博物館)	
特集 言葉模様の中の「日本画」最近の美術館に見られた「日本画」展を中心として現代絵画を見ていきたい 都美術館／加藤弘子「現代絵画の一断面—「日本画」を超えて」				群馬の画家たち、その一断面	染谷 滋	群馬アート・ナウ 群馬の作家たち 1 図録(群馬県立近代美術館)	
特集 言葉模様の中の「日本画」最近の美術館に見られた「日本画」展を中心とした新しいコンセプトと埋もれた作家の発掘 練馬区立美術館／根崎光雄・「日本画の装飾美—金銀の煌めき展」				戦後50年記念大特集—カンヴァスが証す画家たちの「戦争」第一部—それぞれの「戦争と私」描かれた「15年戦争」	神坂 次郎	芸術新潮	548
特集 言葉模様の中の「日本画」最近の美術館に見られた「日本画」展を中心として横山大観、下村観山、鏑木清方山種賞の受賞者の世代にインパクトを与える展覧会 山種美術館／川口直宜・「特別展 前田青邨」				戦後50年記念大特集—カンヴァスが証す画家たちの「戦争」第二部—グラフィックが戦争画だ—戦争画とは何か?	河田 明久		
特集 言葉模様の中の「日本画」最近の美術館に見られた「日本画」展を中心として「場のこと」、対外的に作られたフィクション。O美術館／天野一夫・「日本画の抽象」				特集—絵で読む家族の肖像—一枚の絵から考える<父母>—近代ニッポン父母の素	丹尾 安典		549
京都の日本画、今	上 菌 四郎		京都の現代日本画展 図録(京都府立文化芸術会館)	特集—絵で読む家族の肖像—一枚の絵から考える<兄弟姉妹>—姉の力	津野海太郎		
京を描く	加藤 類子		京を描く展—近代日本画に見る京都—図録(京都国立近代美術館)	特集—絵で読む家族の肖像—「家族の肖像」以前	木下 直之		
道南の洋画／昭和戦前期の動向—「彩人社」に見る函館の前衛美術運動	大下 智一		紀要 Hokkaido Art Museum Studies 1994—95	特集—アメリカン・ドリームに賭けた日本人画家たち—アメリカに「奇襲」された日系人画家	小澤 善雄		550
				特集—アメリカン・ドリームに賭けた日本人画家たち—見落とされていた渡米画家たち	岡部 昌幸		
				隠れたる色—糖業協会コレクションの内—にみえるもの	平澤 広	コーポレート・アート・コレクション展—めざめる美—近代美術作品を函館中心に図録(萬鉄五郎記念館)	

座談会 第13回山種美術館賞展の審査を終えて	河北山内酒井高階川口	倫武夫 忠康秀爾直宜	今日の日本画—山種美術館賞展図録(山種美術館)		二科80年の回顧展によせて	富山 秀男	二科回顧展図録(大丸ミュージアム(大阪))	
選考経過について	濱中	真治	〃		二科会の80年	島田 康寛	〃	
用語としての「写真」—明治時代—	松本	誠一	佐賀県立博物館・美術館報	109			20世紀日本美術再見〔I〕・1910年代—光り耀く命の流れ—図録(三重県立美術館)	
新美術時評 「戦争画」について—一本当に考えねばならぬこと4〜13	田中日佐夫		新美術新聞	723、726、729、732、736、739、742、745、748、751	風景の発見—日本画における風景画の成立	山口 泰弘		
倫明夜話—戦後美術の群像8 戦後美術の群像	河北	倫明	〃	729	語られざる戦後美術3 半世期のモラトリアム 戦争画の戦後処理	編集部=藤田 一人	美術 (月刊)	234
倫明夜話—戦後美術の群像11 拙なる如し	〃	〃	〃	732				
新美術時評 「歴史の終わり」の終わりと「日本画」	北澤	憲昭	〃	741	特集 大震災と復興、その時美術は…—1923.9.1関東大震災と今日 関東大震災はどう捉えられたか		〃	236
留置場よりも戦場へ	安井	収蔵	〃	742				
新美術時評 五十年前の五十年前—「戦争画」と「翼賛画」	北澤	憲昭	〃	744	特集 大震災と復興、その時美術は…—1923.9.1関東大震災と今日 記録か、素材か…—美術家にとっての大震災	尾崎 真人	〃	〃
渡米した『原爆の図』「絵画」という事実を前に語り合ったこと	ヨシダ・ヨシエ	〃	〃	750				
解体に向かうマンガ・メディア	村上	知彦	戦後文化の軌跡 1945—1995図録(目黒区美術館)		特集 大震災と復興、その時美術は…—1923.9.1関東大震災と今日 古着は脱ぎ捨て、街に出よう！ 震災復興と美術家たち	(編集部)=藤田 一人	〃	〃
大正期日本画家の精神	田中日佐夫		大正期の日本画 金鈴社の五人展図録(練馬区立美術館)		語られざる戦後美術4 言葉の幻—「日本画滅亡論」とは何だったか？	〃	〃	239
金鈴社と国画創作協会	横山	秀樹	〃		シンポジウム 十五年戦争と「大構図」の成立	河田 明久	美術史	138
金鈴社考	根崎	光男	〃		特集 快樂絵画 消失する歴史意識と価値判断の地平<70年代以降の日本の絵画史をめぐって>	倉林 靖	美術手帖	709
蒼原会：忘れられた水彩画普及運動—みづゑにかけた画家達	福井	泰民	大正・昭和の水彩画展—蒼原会を中心に 図録(渋谷区立松涛美術館)		特集 快樂絵画 個人的歴史が生み出す絵画	嶋崎 吉信	〃	〃
「油絵」「油彩画」または「油画」—Oil paintingを表す日本語—	岡本	正康	潮流	43	額縁フリースタイル入門 《額縁》の文化史—日本近代美術史のゆがみ	大熊 敏之	〃	713
愛知近代絵画史年表	吉田	俊英	名古屋市美術館研究紀要	4	特集 亡命した画家たちの青春 アメリカに生きた日系人画家たち もう一つの日本近代美術—強制収容所と日系人画家たち	岡部 昌幸	美術の窓	150

昭和期における法隆寺金銅壁画の模写	久野 幸子	美術館ニース(東京都美術館)	443					明治美術再見II—[日本画]の黎明
金堂再現壁画—「法隆寺金堂壁画展」の説明にかえて	松木 寛	〃	〃					明治十年代展図録(宮内庁三の丸尚蔵館)
中国ガラス絵に類似する秋田蘭画の空間構図考察	山口 泰弘	J A A M	48					
明治銅版本の謎—転写石版をめぐって	氣谷 誠	百科(月刊)	390					写実から考証へ—明治二十年代の日本美術協会の絵画観
「影」と「肖像」の文化史3 「影法師」と「追善」—「久万那幾影」をめぐって	岡戸 敏幸	〃	395					明治美術再見I—明治美術会と日本金工協会の時代展図録(宮内庁三の丸尚蔵館)
市民が描いた原爆の絵	小泉 晋弥	ヒロシマ—21世紀へのメッセージ展図録(広島市現代美術館)						明治美術と皇室、宮内省—油彩画と金工の場合
美術随想 美しいひと	岷夏 美 篠 みさを	藤枝文学舎ニュース	11					抱月のイギリス(二十七) ジャパニーズ・ペインター 岩佐壮二郎 明治村通信 300
物語性と造形性	高階 秀爾	VOCA展'95「現代美術の展望—新しい作家たち」図録(森美術館)						初めての絵(日本現代美術展覧会) 高橋 幹人 メープルニュース 28
なにもない空間	酒井 忠康	〃	〃					捕虜収容所の画家たち 池田 瓢阿 目の眼 221
イノセントな美術	建畠 哲	〃	〃					線画の世界—かたりの表現— 井上 芳子 和歌山県立近代美術館ニュース 7
反問する絵画	本江 邦夫	〃	〃					学問を歩く 歴史的絵画を「読む」試み上・中 村山 正司 朝日夕刊 2.3,10
ポスターに見る戦後の世相	磯野 直秀	ポスターに見る戦後の世相—ヤミの時代のた塩ばこと塩ばこと博物館	526					武将の肖像画「私は、だれ？」—頼朝・尊氏らに別人説 村山 正司 加藤 修 〃 3.11
博物書の宝庫—帝室本	二野瓶徳夫	MUSEUM						国宝「伝源頼朝像」新説「実は足利直義」!? 宝玉 正彦 日 経 6.17
明治期漁業技術の歴史的特色—水産絵図の理解のために—	井上 善博	明治時代の水産絵図展 明治博覧会へ出品された水産業の絵図図録(大田区立郷土博物館)						ガレキからの創造 震災の文化風景3 絵画 〃 7.13
明治の博覧会と水産誌編纂事業	藤塚 悦司	〃	〃					消える銭湯の背景画 ミニチュア版で保存へ 高野 裕子 毎日夕刊 4.14
「日本水産誌」の編纂とその資料	〃	〃	〃					戦争画を考える 上 タブー視やめる動き 三田 晴夫 〃 8.2
								戦争画を考える 下 第一歩は一括公開 〃 〃 8.3
								風俗としての裸体が源流 宮下規矩朗 読売夕刊 7.29
								絵画・海外
								現代美術を理解する絵画の回帰2:ニュー・イメージアメリカ ケイ・ラーソン アトリエインターナショナル 822
								帝政ロシアが愛したフランス絵画 井川美奈子 AMBIANTE 11

エルミタージュ美術館特別記念講演会19世紀、20世紀のフランス絵画について	阿部 信雄	〃	12				絵画考一器と物差し水戸アヌィアル'95展図録(水館美術ギャラリー)
フランスの絵入り週刊誌『ル・モンド・イリュストレ』	中武香奈美	池田文庫	8			アトリエの時間—絵画の自己反映性をめぐる一考察	井上 明彦
『ロシアの服装・風俗図集』ロンドン1814年刊	平井 則子	〃	〃			自己の皮膚と出会う絵画	中村 英樹
ヴォウヴォウ	クラ・ゲッサン	インサイド・ストーリー—時代のアフリカ美術展図録(世田谷美術館)				中世末期のフランス語版聖書写本挿絵の研究	駒田亜紀子
印象派と後期印象派—スイスにおける新しい嗜好の確立	ドロシー・コジンスキー/ヨアヒム・ピサロ/マリアン・スティエヴァンス	印象派・後期印象派展図録(セゾン美術館)				フランス革命期の寓意画	斉藤美保子
特別対談 私が選ぶ世界の名画	鈴木 治雄 長谷川智恵子(文責編集部)	絵	381			古代ギリシャ絵画におけるアルゴスの三つの神話—Andromeda, Io, Amymone—	羽田 康一
英国の肖像画	ロビン・ギブソン/木下 哲夫訳	英国肖像画展 ナショナル・ポートレイト・ギャラリー所蔵図録(大丸ミュージアム(東京))				戦後のドイツ美術におけるドイツ・モダニズムの伝統	仲間 裕子
芸術としての英国肖像画—「黄金時代」を中心に	高橋 裕子	〃				スペインにおけるシュルレアリスム	岡村多佳夫
ロシアのコレクションにおける19世紀前半および中葉のフランス絵画	アレクサンデル・バービン	エ ル ミ ター ジ ュ 美術館展 19—20世紀フランス絵画図録(東武美術館)				ペドレー、サン・キルセ教会壁画について	浅野ひとみ
エルミタージュ美術館の19世紀末から20世紀初頭のフランス絵画とその蒐集家たち	アリベルト・ステネーヴィチ	〃				西洋における風景描写の流れ	喜多村明里
フランス近代絵画の展開	舟木 力英	〃				特集 三島由紀夫の耽美世界 第二部 三島由紀夫の「幻想美術館」 聖セバスチャンの「誘惑」	(編) 芸術新潮
東方の魅惑—19世紀フランスとオリエンタリズム絵画	井川美奈子	〃				特集 三島由紀夫の耽美世界 第二部 三島由紀夫の「幻想美術館」 セバスチャン・シンドローム	池田弘太郎
						序文	ウィブケ・ルース
						マウアーバハ修道院「皇帝の間」の天井画プログラム考	大原まゆみ
						隆盛期のヨーロッパ絵画—16—18世紀のイタリアとフランドル絵画を中心に	島田 紀夫
							ゴッホとオランダ絵画展図録(高崎シティギャラリー)
							実践女子大学美術史学
							16—18世紀ヨーロッパ絵画展ルーマニア国立美術館・ブルゲンタール国立博物館所蔵図録(三越美術館(新宿))

平成7年定期刊行物所載文献(絵)

ビザンティン絵画を読み解く—「エゼキエルの死の谷での幻想」の図像を手がかりとして—	永沢 峻	象徴図像研究	9	イデオロギーと美術表現—ナチス・ドイツの美術から	平野 到	天花	63
挿絵の中の『風車小屋便り』	加藤林太郎	人文論究	44—4				トゥール美術館展—17世紀—19世紀—名作でつづるフランス絵画展図録(東武美術館)
19世紀フランスにおける写真と絵画	村山 康男	多摩美術大学研究紀要	10	ロワール河に熟す果実たち—その200年	毛利 直子		
盗作の論理—国画改良運動始末—	吉原 宏伸	中国近現代美術展覧会橋本コレクション(渋谷区立立川美術館)		アッシジ、サン・フランチェスコ聖堂下の14世紀の天井装飾文様について—下堂交差廊を中心に—	小野 迪孝	東海大学紀要教養学部	26
任伯年から呉昌碩へ	曾布川 寛	〃		挿絵にみる『ペロー童話集』読みの変遷	新倉 朗子	東京家政大学研究紀要	35
中国油画事始	鶴田 武良	中国現代油画展図録(日中友好会館美術館)		絵画を巡るフランス小説序論『知られざる傑作』『感情教育』『失われた時を求めて』	斎藤 征雄	東北大学日本文化研究所研究報告	31
当代中国油画	郎 紹君 鶴田 武良 訳	〃		フォンテーヌブロー派研究 フォンテーヌブロー派とヴァロワ朝末期の<王の入市式>	岩井 瑞枝	富山大学人文学部紀要	22
中国の洋風画展について—挨拶に代えて	青木 茂	『中国の洋風画展』(町田国際版画美術館)		慧眼富岳三十六景(その六) 慧眼を通した富岳図	白幡洋三郎	日文研	12
民間における西洋絵画の受容について	河野 実	〃		慧眼富岳三十六景(その七) 写真の富士	〃	〃	13
作品解説:《中国風聖母子》(フィールド博物館所蔵)	新関 公子	〃		バウハウスの絵画	ベーター・ハーン	バウハウス展図録(セゾン美術館)	
《洋風獅子犬人物図》について	〃	〃		洞窟壁画における様式研究の問題 新発見のコスケールとショーヴェの事例を中心に	小川 勝美	美学	183
明末絵画と西洋画法の遭遇—東洋的芸術観に包み込まれた科学的信念	小林 宏光	〃		ユトレヒト詩篇挿絵の構図をめぐる問題の現状と今後の展望—ユトレヒト詩篇研究(その三)	鼓 みどり	美学美術史研究論集	13
西洋画の影響を受けた清代前期絵画—南京・揚州・杭州の画家を中心に	吉田 晴紀	〃		版画芸術の粋 世界の挿画本10選		美術(月刊)	236
万暦—乾隆間の西洋絵画の流入と洋風画	鶴田 武良	〃		特集 今なぜ天使なのか? 天使のいるヨーロッパ美術—図像のメタモルフォーゼ	中村 隆夫	〃	237
抽象表現主義の現在について	高橋 幸次	抽象表現主義—紙の上の冒険展—メトロポリタン美術館所蔵図録(東京国立近代美術館)		ディズニーアニメーションのセル画を楽しむ	編集部	〃	〃
序	リサ・ミンツ・メッジャー 高橋 幸次 訳	〃		近代美術のキーワード—バルビゾン派	ロバート・アトキンズ 嶋崎 吉信 訳	美術手帖	702

近代美術のキーワード ドフォーヴィスム 〔野獣派〕	〃	〃	703	北京駅収蔵現代中国 画に見る国画の移り 変り	鶴田 武良	北京駅秘蔵画展図 録(東京シ ョーラリー)	
近代美術のキーワード ブラウエ・ライ ター〔青騎士〕	〃	〃	〃				
近代美術のキーワード ドプレジジュニズ ム	〃	〃	〃			ポスター の歴史 100年・ 変わりゆ く女性像 展図録 (サント ー ミュージ アム〔天 保山〕)	
近代美術のキーワード ドマッキアイオー リ(斑点で描く人び と)	〃	〃	〃	ポスター芸術と女性 像	高階 秀爾		
特集 快樂絵画 フィギュラティヴ絵 画の新潮流<海外の アートシーンから>	市原研太郎	〃	709			ボストン 美術館の 至宝展 19世紀 ヨーロッパ の巨匠 たち図録 (そごう 美術館 〔横浜〕)	
ポール・バット・ アート6ブルック リン・バルティクス 対リパティ・ナイン ・オブ・ニューブラ ウンズウィック<作 者不詳>	平出 隆	〃	715	風俗画の勝利	アンナ・ビ ウシ		
ロイユ・デ・ボザ ール59 伴大納言絵 巻VSアレキサンド ロス大王の合戦		美術の窓	143	ボストン美術館風俗 画コレクションの歴 史	エリック・ M・ザフラ ン		
死者の絵19 不思議 な「降架」図	林 紀一郎	〃	145			水の光景 エルミ タージュ 名作展 図録 (栃木 立美術館)	
ルネサンス以降の西 洋絵画史と東京富士 美術館のコレクショ ン	富永 直人	美の東 ・400年 展東京 富士美 術館コ レクシ ョン シヨ ン り (郡山 立美 術館)		西洋絵画における 「水」	セルゲイ・ ストロガ ノフ		
近代フランス絵画の 魅力	野口 榮子	姫路市立 美術館だ より	46	「パノラマ的眺め」 —地平線と水平線	小針由紀隆	〃	
ある扉絵のルーツを 求めて	宮下 志朗	百科 (月刊)	389	洪水の系譜	杉村 浩哉	〃	
特集 開館25周年記 念「バルビゾンが発 見」展 バルビゾン 派と印象派—フォ ンテヌブローの森で の出会い—	中島 徳博	ピロティ	97	「ウィチョルの毛糸 絵」の展示	黒田 悦子	民博通信	67
シリーズ・つくり手 たちの言葉21 タリ スマンの誕生	平 田	フラミン ゴ	43	18世紀英文学と挿絵 の関係	江藤 秀一	武蔵野美 術大学研 究紀要	25
地上の楽園への道 《絞首台のうえのカ ササギ》をめぐって	高橋美彌子	ブリュ ーゲル の世界 展図録 (東武美 術館)		抱月のイギリス(二 十四) プレ・ラ ファエライト その 二	岩佐壮四郎	明治村通 信	297
メディチ家のプロバ ガンダ芸術—バラッ ツォ・ヴェッキオの 「レオ10世の区画」を 読む	松本 典昭	文化学年 報	44	抱月のイギリス(二 十五) インプレッ ションニズム・シンボ リズム	〃	〃	298
				アルチンボルド、カ フカ、クンデラによ るプラハ『視覚の 魔術展』に寄せて	安井 裕雄	メープル ニユース	27
				映画『ヤン・シュ ヴァンクマイヤーの 部屋』にアルチンボ ルドの寓意を読む— 「視覚の魔術展」後日 譚	〃	〃	28

モード・ジャーナリズムの系譜	鹿島 茂	モードと諷刺一時代を照らす衣服図録(栃木県立美術館)	インドネシア漫画事情 日本への関心は予想以上	小野 耕世	〃	12.5
モードの諷刺が語るもの	徳井 淑子	〃	版 画			
モードの諷刺のゆきつく果て	小勝 禮子	〃	一 般			
特集 マニエリスムの現在 パスカール・キニャールとマニエリスム『ヴェルテネルクのサロン』をめぐって	高橋 啓	ユリイカ 27-2	インタビュー-CWA-J版画委員会に聞く 40周年を迎えたCWAJ版画展 ボランティア精神と国際的交流が支えた東京での大きな社会的成果		ギャラリー(月刊)	126
特集=カレル・チャベック 子供の本の挿絵について	ヨゼフ・チャベック 千野 栄一 訳	〃 27-14	東京国際ミニプリント・トリエンナーレの経緯と審査について	峯村 敏明	東京国際ミニプリント・トリエンナーレ '95 1回展図録(多摩美術大学附属美術館)	
アメリカ美術—アクション・ペインティングの誕生まで	青木 正弘	ヨーロッパ近代美術とアメリカ現代美術展図録(豊田美術館)	神奈川芸術フェスティバル「ザ・版画」2回	編 集 部	版画芸術	90
「漫画も重要産業」韓国政府が育成へ		朝日夕刊 2.15	特集 “紙の宝石”蔵書票の魅力 ミニ版画としての高い芸術性—蔵書票の起源とその変遷	長谷川公之	美 術(月刊)	238
「戦利品」交渉進展—セゾ ロシアで、独から取った「絵画」展示	森 信二郎	〃 3.4	特集 “紙の宝石”蔵書票の魅力 胸をときめかせる蔵書票—出会いから美術館建設まで	伊藤 文学	〃	〃
無神論国家の決算8 ロシアの宗教事情 肖像画 いまおしえるべき偉人は	菅原 伸郎	〃 12.12	特集 “紙の宝石”蔵書票の魅力 「日本蔵書票協会」と「蔵書票ジャーナル」—蔵書票愛好家の日本での活動		〃	〃
美の故郷 ナチス美の収奪者の影1 絵画返還に口閉ざす仏美談の背後 “政治”におう	小島 英熙	日 経 8.13	日 本			
美の故郷 ナチス美の収奪者の影2 名品、独との交渉材料に 仏ヴィシー政権の悪夢	〃	〃	日本リノカット史序説—前衛運動の継承問題	水沢 勉	鹿島美術財団年報	12
美の故郷 ナチス美の収奪者の影3 「芸術展」で見せしめに 現代美術、退廃のらく印	〃	〃 8.27	辛口甘口版画館第1回 「泉鏡花展—水の迷宮—」考 活字と版画の調和した豊かな世界	伊波 晋	ギャラリー(月刊)	122
美の故郷 ナチス美の収奪者の影4 名画救った「大列車作戦」美術品守る決死の抵抗	〃	〃 9.3	辛口甘口版画館第2回 カットはえくぼ、生活にカットを	〃	〃	123
ドガ・ゴッホなど74点一堂に 「隠された名作展」エルミタージュ美術館で開幕	田中 信行	日経夕刊 3.30	インタビュー 高橋平館長に聞く 原点は人対人だと思えます日本に本格的版画工房を		〃	124
ロシアで戦利美術展世界の熱い視線集め		毎日夕刊 4.28	辛口甘口版画館第7回 こぞって版画の師走かな	伊波 晋	〃	128



東京国際版画ビエンナーレと版画概念の拡散	正木 基	戦後文化の軌跡 1945—1995図録 (目黒区美術館)		特集 版画NOW'95 展望なき混沌—コンクール展にみる版画状況	編集部=藤田 一人	〃	〃	
埋もれたデザイン再発見 デジタル世代に対応するタイポグラフィ	蜂賀 亨	デザインの現場	77	特集 版画NOW'95 1994年に刊行された「版画集」特装本等主な版		〃	〃	
現代の版画1994	横山 勝彦	版画芸術	87	特集 版画NOW'95 版画展の記録 94年1月—12月		〃	〃	
連載 珍本稀書掘出版物通信 書物の森 版画の泉 第十二信 東西「絵物語」のドラマ 『源氏物語』と近代の苦悩	山田 俊幸	〃	〃	特集 版画NOW'95 頒布作品全データ		〃	〃	
「版画」の現在地点	瀬尾 典昭 滝沢 恭司 正木 基 横山 勝彦 池田 一朗	〃	88	創作版画誌のこと「日本の近代版画展」のために	三木 哲夫	和歌山県立近代美術館 ニュース	5	
最新・版画工房フェイル1 版画工房アルミィ	編集部	〃	〃	日本木版技法の現代感覚	中村 英樹	和の技・洋の心—多色摺木版による海外現代版画展図録(目黒区美術館)		
最新・版画工房フェイル2 フジグラフィックス	〃	〃	〃	版画の100年の技、新世界彩る	浦田 周社	日 経	5.19	
最新・版画工房フェイル3 東京版画研究所	〃	〃	〃	心に刻む「創作版画」の逸品	吉留 直輝	〃	10.26	
最新・版画工房フェイル4 プリントハウス・オム	〃	〃	89	海 外				
最新・版画工房フェイル5 マイルストーン版画工房	〃	〃	〃	エルミタージュ美術館所蔵19—20世紀フランス版画—エドゥアール・マネ、アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック、パブロ・ピカソ—	ユーリイ・ルサコフ	エルミタージュ美術館展19—20世紀フランス絵画図録(東武美術館)		
最新・版画工房フェイル6 ZABO(ザボ)ハウス	〃	〃	〃	中国年画の故郷めぐり	樋田 直人	学 鏡	92—10	
書物の森 版画の泉 第十四信 世紀末和様モード考 と都市生活	気谷 誠	〃	〃	近現代中国の民間芸術「年画」の意義	川瀬 千春	〃	92—11	
書物の森 版画の泉 第十四信 世紀末和様モード考 行動する女性たちのモード	山田 俊幸	〃	〃	辛口甘口版画館第5回 旅土産、色あせぬ間の刷りおろし	伊波 晋	ギャラリー(月刊)	126	
最新・版画工房フェイル7 岡部版画工房	編集部	〃	90	画家、彫師、絵師—宗教改革時代の一枚刷木版画と摺り物	田辺幹之助	宗教改革時代のドイッ木版画展 ゴータ市美術館所蔵作品による図録(国立西洋美術館)		
最新・版画工房フェイル8 エディション・ワークス	〃	〃	〃					
最新・版画工房フェイル9 美学校	〃	〃	〃					
『藝美』のこと	青木 茂	版の絵	1	神聖ローマ皇帝マクシミリアン1世と木版画—プロバガンダと記念のための版画芸術—	佐藤 直樹	〃		
特集 版画NOW'95 “版表現”の現在—1990年代前半をふり返って	瀬尾 典昭	美術(月刊)	233	木版画と宗教改革	森田 安一	〃		

山東省仏蹟調査概報 その3—特に石窟造 像における独自性、 西方性と東方への影 響について		北	進一	象徴図像 研究	9	写真・映像・CG				
						一 般				
作品解説：『聖書物語(数カ国語対訳聖書)』(王家聖経)	佐川美智子			『中国の洋風画』展図録(町田市立国際美術館)	9	四半世紀たった今	高山 宏	映像工 夫展— イー マジ ネー ショ ン表 現図 録(東 京都 写真 美術 館)		
作品解説：『福音書画伝』	〃	〃	〃	〃		魔術幻燈(ファンタスマゴリア)	岩本 憲児	〃		
観音五十三現象について	内田 啓一	〃	〃	〃		初期のアニメーション装置について	田中 芳郎	〃		
工房での生産活動 版画工房	クラウス・ヴェーバー			バウハウス展図録(セゾン美術館)		現代の立体視ブームに思う—その歴史と未来への展望	坂根 徹夫	〃		
連載 珍本稀書掘出物通信 書物の森 版画の泉 第十二号 東西「絵物語」のドラマ『艶笑譚』とロココの終焉	気谷 誠			版画芸術	87	視覚の拡大と縮小、そして消失	森岡 祥倫	〃		
[版画カタログ・レゾネ]あれこれ105 初期・19~20世紀版画家、印象派作家たち	長谷川公之			美術(月刊)	242	ドキュメンテーション=知の蓄積について	平木 収	〃		
[版画カタログ・レゾネ]あれこれ106 (最終回) 挿絵本・表現派挿絵本・刊行者別版画	〃	〃	〃	〃	243	光と影の大いなるわざ—「イマジネーションの表現」展によせて	森山 朋絵	〃		
中国版画史研究—一年の郷里を訪ねる新風求めつつ旧技法も	河野 実			JAAM	46	「アニメーションについて」	平方 正昭	〃		
16世紀から19世紀の西洋版画における「水」	ユーリー・ルサコフ			水の光景 エルミタージュ美術館名作展図録(栃木県立美術館)		特集 映画と建築 場面から環境の質を読む	鈴木 毅	建築雑誌	1367	
ヨーロッパの風景版画・断章—その創製期と複製・挿絵の系譜から—	村上 哲	〃	〃	〃		「映画なき世界」の映画—映画におけるカードル/フレイムの機能について	吉村 和明	国学院雑誌	1058	
美術連話(4)「版画の用紙」	前川 誠郎			雪椿通信	4	情報デザイン・ダイナミックス 映像伝達への考察と新手法の提案	片方 善治	成安造形大学研究紀要	2	
						特集 映像時代		デザインの現場	78	
						映像フレームに関する一考察 媒介装置としての美術—制作環境と鑑賞環境の変遷のマルチメディア	内山昭太郎	東京芸術大学美術学部紀要	30	
						写真という物語	西村 清和	美 学	183	
						映画理論の歴史的展開—非叙事的映画と叙事的映画の問題を中心として—	橋本 弘美	美学・芸術学	10	
						近代美術のキーワード フォトグラム	ロバート・アトキンズ / 嶋崎吉信 訳	美術手帖	703	
						近代美術のキーワード フォトジャーナリズム	〃	〃	〃	

原爆写真とは何か— 次代の人類のヴィ ジョンのために	平木 収	ヒロシマ —21世紀 へのメッ セージ展 図録(広 島市現代 美術館)		核一半減 期展図録 (東京都 写真美術 館)	金子 隆一		核一半減 期展図録 (東京都 写真美術 館)	
ムーヴィング・イ メージ:過去と現在 の間、そして未来へ	エルキ・ フーモタ	ムーヴィ ング・イ メージ— 映画発 明100 周年展 図録(東 京都写 真美術 館)		<史料>富重写真館 史料『写真来客名簿』 (2) 明治27. 1. 1~10. 11	熊本 隆一	熊本 隆一	熊本 隆一	105 7
静物写真の逆説	井上 明彦	モダン イズム の時代 展 図 録(東 京都写 真美術 館)		目で見 る日本 の肖像 写真史	金子 隆一	金子 隆一	化粧文化	33
切断と反復—写真の モダンイズム	飯沢耕太郎	モノ・カ オ・反 物語— モダン イズム 再考 展 図 録(東 京都写 真美術 館)		コンピ ュータ ・アニ メーシ ョンに おける 創造性	稲蔭 正彦	稲蔭 正彦	コンピ ュータ ・グ ラフィ ックス の世 界1995 展 図 録(町 田市立 国際版 画美術 館ハイ ビジョ ンホ ール)	
モノ・カオ・反物語	笠原美智子	〃		絵画と コンピ ュータ ・グ ラフィ ックス	内山 博子	内山 博子	〃	
写真をあつかうとい うこと	金子 隆一	歴 博	71	コンピ ュータ ・グ ラフィ ックス とメ ディ アの 在り 方	簗輪 裕	簗輪 裕	〃	
日本のアニメに国際 的注目 シドニーの 学会から	小野 耕世	朝日夕刊	6.21	マルチ メディア 時代 に向け て	中村 茂	中村 茂	〃	
リアルさ、世界を魅 了 ジャパニメー ション	稲垣 直子	日 経	11.18	「今、 どうし て?」	西村 直起	西村 直起	〃	
日 本				写真都 市への 視線	關次 和子	關次 和子	写真都 市 TOKYO 展 図 録(東 京都 写真美 術館)	
序 映画以前 映像 文化に流れ込んだも の	山口 昌男	映画伝 来展— シネ マト グラフ と <明治 の日本 > 図 録(澁 谷区 立松 涛美 術館)		木村伊 兵衛写 真賞の 20年 時代を 照射し た20 年の軌 跡	平木 収	平木 収	新美術 新聞	737
カメラが捉えた日本 『明治の日本』から 『リュミエール映画 日本篇』へ	古賀 太	〃		戦後写 真のア クチュ アリテ ィー	中島 徳博	中島 徳博	戦後文 化の軌 跡 1945— 1995 展 図 録(目 黒区 美術 館)	
ジレルとヴェール 世紀末日本を訪れた 二人の映画技師	光田 由里	〃		テレビ CMの前 衛性	藤本 圭太	藤本 圭太	〃	
「天国、しかも曖昧 なる」日本	吉田 喜重	〃		「支倉 六右衛 門遺物 」と写 真、明 治時代 前期の 動向を 中心に	濱田 直嗣	濱田 直嗣	仙台市 博物 館調 査研 究報 告	15
シネマトグラフとは 何だったのか イデ オロジー装置として の映画	小松 弘	〃		Macintosh 12 映 像編集 ソフト の利用 法	山中 修	山中 修	デザ イン の現 場	74
描かれた<明治の日 本> 日本への/日 本からのまなざし	木下 直之	〃		東京国 立近代 美術 館に おける 写真展 1953— 1974— 過去の 展覧 会が示 唆する こと	増田 玲	増田 玲	東京国 立近代 美術 館と写 真 1953— 1995 展 図 録(東 京国 立近代 美術 館フ ィル ムセ ン ター)	

平成7年定期刊行物所載文献(写・映)

1974年以後—表現の 不自由を踏まえて	市川 政憲	〃	美術館で「写真」は今 …展示増え、中身に 論議も	渡辺 淳悦	〃	7.1
日本近代写真の成立 と展開 意義と表現	岡塚 章子	日本近代 写真の成 立と展開 展覧会録 (東京都 写真美術 館)	家庭用ビデオカメラ 考一生々しきの裏で 現実感喪失	楠かつのり	〃	8.29
衛星TVを見る	後々田寿徳	日本の映 録展覧会 (福井県 立美術 館)	写真表現、個性の生 に面白さ	飯沢耕太郎	日 経	2.11
RPGとしてのカー ナビ	野田 訓生	〃	盛んになった写真の 展示会 時代を証 言、技法も風潮反映	青柳 潤一	〃	9.3
KARAOKE一世紀 末の日本文化	後々田寿徳	〃	“幻の写真技法”追 跡	松村 明	毎日夕刊	5.27
美少女戦士セーラー ムーンにみる日本の “日常”	〃	〃	広告の風景7 明治 ～平成120年写真師 たちの伝統1 「お 吉物語」陰の演出者	(戸) 読 売		1.9
子供用電子手帳とい う“アイテム”	〃	〃	海 外			
写すことと観ること —液晶ビデオカメラ	〃	〃	特集 エンターテイ メント最前線1 ハ リウッドはスクリー ンをはみ出す? ハ リウッド的クリエイ ションの原動力	AXIS		56
映像の神話	〃	〃	特集 エンターテイ メント最前線1 ハ リウッドはスクリー ンをはみ出す? ア ート性とデジタル技 術を自在に操り、虚 構の中のリアリテー ムを追求する—ドリー ム・クレスト・イメ ージ	〃	〃	〃
特集 大震災と復興、 その時美術は… —1923.9.1関東 大震災と今日 メディアが決定付けた 震災像—大震災とグ ラフジャーナリズム	平木 収	美術 (月刊)	特集 エンターテイ メント最前線1 ハ リウッドはスクリー ンをはみ出す? マ ークM. ガルピン (エグゼクティブ・ プロデューサー)に 聞く アーティスト の存在にこだわる理 由は?	〃	〃	236
特集 映画と美術の 100年 映像への挑 戦。—日本のアー ティストたちの映像 表現	森岡 祥倫	美術手帖	特集 エンターテイ メント最前線1 ハ リウッドはスクリー ンをはみ出す? デ ィヴィッド・ゴール ドバーグ(ビジュア ル・エフェクト・ス ーパーバイザー)に 聞く 虚構と現実世 界のデザインの差は ?	〃	〃	713
戦争を風化させない ために—フォトCD 「ヒロシマ・1945」	後藤 和雄	ヒロシマ —21世紀 へのメッ セージ展 図録(広 島市現代 美術館)	特集 エンターテイ メント最前線1 ハ リウッドはスクリー ンをはみ出す? デ ィヴィッド・ゴール ドバーグ(ビジュア ル・エフェクト・ス ーパーバイザー)に 聞く 虚構と現実世 界のデザインの差は ?	〃	〃	68
写真で見る日本統治 期の台湾先住民の生 活—瀬川孝吉氏の写 真資料紹介	松澤 員子	民博通信	特集 エンターテイ メント最前線1 ハ リウッドはスクリー ンをはみ出す? ロ ジナルプロダクショ ン・スーパーバイザ ー)に聞く デジタ ルでできること、で きないことは?	〃	〃	68
世紀転換期の写真と その周辺	澤本 徳美	モダニズ ムの時代 展 図 録 (東京都 写真美術 館)	特集 エンターテイ メント最前線1 ハ リウッドはスクリー ンをはみ出す? ロ ジナルプロダクショ ン・スーパーバイザ ー)に聞く デジタ ルでできること、で きないことは?	〃	〃	53
ギャラリートークから 48 北海道開拓と 写真	五十嵐聡美	侶 美 以	〃	〃	〃	53
現代の視覚表現で比 重高まった写真 「日本の伝統美と親 和」に美術関係者か ら賛否両論	大西 若人	朝日夕刊	〃	〃	〃	2.2

特集 エンターテイメント最前線1 ハリウッドはスクリーンをはみ出す? 気楼都市から生まれるCGの新しい潮流 リズム&ヒューズ ス튜디오					
特集 エンターテイメント最前線1 ハリウッドはスクリーンをはみ出す? 「物語」を語る力が、制作の軸となる RGA	瀧口 範子	〃	〃		
特集 エンターテイメント最前線2 家は地球村 インターフェイスが成功の鍵を握る? アメリカのCD-ROMデザインの潮流		〃	57		
特集 エンターテイメント最前線2 家は地球村 コンピュターがお絵描き帳になった プロダクションのエディンメントデザインの現場		〃	〃		
パリの写真月間	ガブリエル・ボーレ	アトリエインターナショナル	816		
<アメリカの写真>はどのように始まり、どのように形成されていったか	カトリン・ベッティナー・ミューラー	〃	823		
フォト・セセッションニストにおけるジボンとハートマンの評論を通しての考察	土金 康子	ジャーネズリ研究会	15		
光の言葉	レイチエル・スツルマン	ジョージ・トーマン・ハウス・コレクション展「光の言葉」展図録(東京都写真美術館)			
展覧会ノート	中原 淳行	〃			
ニューヨーク・ニューイメージ写真がリードするNY最新アート・シーン事情	管付 雅信	デザインの現場	76		
恋する電能英語圏亜細亜	管付 雅信	〃	78		
工房での生産活動 写真工房	イエンニーネ・フィードラー	パウハウス展図録(セゾン美術館)			
アメリカ現代写真の一側面	市川 靖史	美 学	183		

十九世紀フランスにおける写真と絵画の関わりについて	村山 康男	〃	〃		
現代陶芸のあけぼの十選1 フォンタナ「空間概念—自然」	中村 錦平	日 経	5.8		

彫刻・立体造形

一 般

彫刻膝栗毛37	金子 篤司	アートマインド	77		
蠟型彫刻の技法及び蠟原型による彫刻技法の研修	宇野 務	多摩美術大学研究紀要	9		
ギリシア美術の日本仏教美術に対する影響 ヘルメース神像と(兜跋)毘沙門天像の羽翼冠の比較	田辺 勝美	東洋文化	75		
パブリックアート1、2	(伸)	日本美術工芸	680,681		
特集 ここが違う! 彫刻家の版画 <彫刻家=版画家>の作家たち—ムア、リニーから掛井五郎、舟越桂まで	長谷川公之	美術(月刊)	243		
特集 インスタレーション インスタント・インスタレーション調理法	石崎 勝基	Lady's Slipper	4		
特集 インスタレーション 狐にかじられるという事	三脇 康生	〃	〃		
特集 インスタレーション 混乱する帝国、イメージとしてのインスタレーションから「空間」をメディアとする作品の空間的問題	茂登山清文	〃	〃		
特集 インスタレーション インスタレーション外論	井上 明彦	〃	〃		
研究ノオト アースワークが問いかけるもの(1)	浜田 拓志	和歌山県立近代美術館ニュース	7		
新しい街、アートで表情	斎藤 泰生	朝 日	6.13		
造型の原点に触れる喜び 複雑な現代も視覚化—国際木彫シンポに参加して	関 直美	毎日夕刊	8.30		
日 本					
流産した視覚25 都市の形・神戸の彫刻	米倉 守	アート・トップ	146		

『街角のアート・九十年代の作家たち』 11 バブリックアートの挑戦とアートが一体の「ファーレ立川」	ばんのなおこ	アートマインド	79	特集 インスタレーション 我が国のインスタレーションについて	森口まどか	Lady's Slipper	4
ファーレ立川—北川フラム インタビュー		アトリエインターナショナル	817	レジャーすくらんぶる 仏像を彫る	高島 整子 朝 日		2.26
第2回大分アジア彫刻展審査講評	本間 正義	大分アジア彫刻展2回図録(愛の園生朝倉文夫記念公園)		公共の場に女性ヌード彫刻は必要か	西山千恵子	〃	7.4
10作家のバブリックアートを設置 都市とアートが融合した新空間新宿アイランド		ギャラリー(月刊)	121	セメント女性像「タンバリン」市民ミュージアムに移転 川崎・中原署 風雨でぼろぼろ『移動に耐えるか』	山川 剛史	東 京	3.11
都市・アート・工芸なぜ噛み合わないの?—ヌード彫刻議論	富田 康子	工 芸	3	「両性具有像」厨子ですっぽり 破壊からガード	〃	〃	2.22
戦後の抽象彫刻と野外彫刻展についての断想—1950年代のことごと	柳生不二雄	昆野恆展図録(板橋区立美術館)		日経魅力満点おらが彫刻100点 長野市が野外設置した作品群、街に彩り	三沢 浩 日 経		8.9
生きる力—飛翔する軽み・直立する成長・曲みの内包力	尾崎 真人	〃		日本に「彫刻家」が生まれたころ	(久)	毎日夕刊	3.7
「新宿アイランド」オープン	(白)	新美術新聞	726	都庁のオブジェは16億 初の情報公開 1億円超は5作品		読 売	8.16
「バブリック・アート」と呼ばれる野外彫刻	竹田 直樹	〃	748	港区の「彫刻のある街づくり」事業 財政悪化で計画延期 予定16作品97年度以降は「白紙」		読 売 (都民版)	11.22
報告・「ヴォワイヤン」行状記 もうひとつのバブリックアート	今井 祝雄	成安造形大学研究紀要	2	星ふる畑でゴリラが座禅	<よ>	読売夕刊	5.11
都市のかたみ・彫刻の記憶 震災神戸の野外彫刻への思案	米倉 守	多摩美術大学研究紀要	10	関西女子美短大1000万円の彫刻、捨てる造形作家の作品、無断で「600キロ重すぎる」		〃	8.11
1910年代の彫刻—ロマン受容の背景	毛利伊知郎	20世紀日本美術再見〔I〕…1910年代—光り耀く命の流れ展図録(三重県立美術館)		海 外			
木の温もり	(伸)	日本美術工芸	678	第2回アジア彫刻展によせて	李 慶成	大分アジア彫刻展2回図録(愛の園生朝倉文夫記念公園)	
“現代美術のサンクチュアリ”ファーレ立川 ニコニコアート倶楽部ファーレ立川をゆく	塚村 真美	美術手帖	703	コンテスト出品彫刻についてのマレーシアからの報告	ビヤダサ・レッザ	〃	
ファーレ立川 アートプロジェクトオープン 街の中に棲みついたアートたち		美術の窓	143	スティア教区教会堂のロマネスク柱頭彫刻の画像プログラム	尾形希和子	鹿島美術財団年報	12
				仏頭 インド サールナート	小泉 惠英	国立博物館ニューズ	575
				如来立像 ストゥッコ製 6世紀頃 中国新疆自治区ホータン付近出土	臺信 祐爾	〃	578

西洋近代彫刻の巨匠展—スフィン・ハーシン・ハーシン美術館所蔵図録(小田急美術館)	ヴァレリー・フレッチャー		
牛がブッダの足を舐める話 新出土のガンダーラ石彫	小谷 仲男	富山大学人文学部紀要	22
パウハウスの彫刻	クラウス・ヴェーバー	パウハウス展図録(セゾン美術館)	
南インドヒンドゥー彫刻における理想的プロポーション—統計的手法による一考察—	小倉 泰	美術史	137
風に舞う美神たち プリニウスの世界をゆく	村瀬 雅夫	美術の窓	143
スイヤック、サント・マリー修道院聖堂中央柱彫刻解釈の試み	馬場 雅美	北海道東海大学紀要	8
北方の光源十選1 ケルトの「猪の神」	鶴岡 真弓	日 経	1,30
北方の光源十選2 「ケルズの書」キリストの頭文字	〃	〃	1,31
北方の光源十選3 「ボルグンドの木造教会」	〃	〃	2,1
世界の聖獣十選1 フェニキアのスフィンクス	木村 重信	〃	6,8
世界の聖獣十選2 ギリシアの獅子	〃	〃	6,9
世界の聖獣十選4 メソポタミアのムシュフシュ	〃	〃	6,15
世界の聖獣十選5 インドのガーナ	〃	〃	6,16
世界の聖獣十選6 メキシコのコアトリクエ	〃	〃	6,19
世界の聖獣十選10 イースターのタンガタ・マス	〃	〃	6,26
<b>書・日 本</b>			
書味求心(五十七) 審査員の側に立つと	小野寺啓治	アートマインド	78
書味探求(五十八) 散らし書きと石組	〃	〃	79
書味探求(五十九) 松翁と現代の書の価値	〃	〃	80

書味探求(六十) 四つの桜	〃	〃	81
書味探求(六十二) 太平洋の橋とならん	〃	〃	83
書の錬成会場「甲雲荘」オープン		新美術新聞	735
特集 『戦後50年と私』 書壇の半世紀	小川 瓦木	〃	742
青梅市書道連盟 第30回記念展を迎えて	佐久間玉溪	〃	749
シンポジウム「現代における文字表現」 文字の現状とは?	松岡 正剛 浅葉 克己 石川 九楊	墨	113
次代の書を考える 田村空谷		〃	114
筆墨店 老舗の看板文字を訪ねる	堀 久夫	〃	116
書に親しむ	小松 茂美 黎 明		47
<b>書・海 外</b>			
書味探求(六十一) トルコの書	小野寺啓治	アートマインド	82
カリグラフィへの道	高宮 利行	学 鏡	92-1
<b>工 芸</b>			
<b>一 般</b>			
特集 工芸とは何かを考える 巻頭対談 北澤憲昭VS樋田豊次郎 「美術」の成り立ちと「工芸」という概念		工 芸 1	
特集 工芸とは何かを考える 「論考1」 「工芸」の脱構築のために 19世紀の西洋人が捉えた日本藝術の特徴	稲賀 繁美	〃	〃
特集 工芸とは何かを考える 「論考2」 身体に根ざしながら世界の中に在る、ということ 「工芸」の再生のために	笹山 央	〃	〃
特集 工芸とは何かを考える アンケート イメージ・領域・アイテム・役割をめぐって		〃	〃
思考の一対象としての「工芸」	中村 英樹	〃	〃
非・《迷宮の亡霊》(1) 自己表現を凌駕する個のありよう	山本 秀夫	〃	〃
もうひとつの工芸(1) 工芸との「出会い」	中井 康之	〃	〃

平成7年定期刊行物所載文献(工)

日本近代工芸史散歩 (1)(2) 置物台の 話1、2	大熊 敏之	〃	1、2	特集 日本近代工芸 史の再構築へ向けて 清朝工芸への傾倒 一維新前後の細工物 流行の起源	田中 修二 工 芸	3
「工芸」という名を 巡って(1)	天野 一夫	〃	1	特集 日本近代工芸 史の再構築へ向けて 古器旧物と教育的 啓蒙	山崎 剛	〃 〃
特集 現在をひらく 鍵としての工芸 「工芸」創刊号特集の アンケート回答を読 む	富田 康子	〃	2	特集 日本近代工芸 史の再構築へ向けて 工芸品としての国 家一貨幣デザインの 意味	増野 恵子	〃 〃
もの言わぬ人々のもの の言い1 「ノコギリ の使い方を知って いる」という世界	笹山 央	〃	〃	特集 日本近代工芸 史の再構築へ向けて 佐野常氏の国防思 想一技術が新しい表 現になる過程	横溝 廣子	〃 〃
東中野のまど1 現 場主義	樋田豊次郎	〃	〃	特集 日本近代工芸 史の再構築へ向けて 明治工芸と戦争と の関係	山崎 剛	〃 〃
特集 日本近代工芸 史の再構築へ向けて 文化財保護法の成 立	寺尾 健一	〃	3	特集 日本近代工芸 史の再構築へ向けて 「論考2」 工芸は自 律しえるのかー農展 開設と帝展四部設置 の解釈をめぐって一	樋田豊次郎	〃 〃
特集 日本近代工芸 史の再構築へ向けて 「論考3」 貨幣と批 評一工芸史論ノート	北澤 憲昭	〃	〃	特集 日本近代工芸 史の再構築へ向けて 雑誌ジャーナリス ムのなかの「工芸」史 一『大日本美術新報』 と『美術新報』	大坪 潤子	〃 〃
伝統工芸技術を現代 生活へ	塩崎 英樹	産総研ニ ュース	1	特集 日本近代工芸 史の再構築へ向けて 東京高等工芸学校 と无型	森 仁史	〃 〃
日 本						
京からかみ		AXIS	58	特集 日本近代工芸 史の再構築へ向けて 民芸とアヴァン ギャルドー共同体回 帰のウルトラモダニ ズム	志邨 匠子	〃 〃
「特別陳列一東京藝 術大学蔵根付と新収 蔵現代根付展」の記 録		上野の社 会報	2	事挙げせず、自己規 定しない「工芸」の世 界	中村 英樹	〃 〃
手織機(高機)の調査 研究	角山 幸洋	関西大学 東西学術 研究所紀 要	28	工芸という名をめぐ って(3) 人形を手が かりに	天野 一夫	〃 〃
シンポジウム「和傘 の未来を語る」	大滝 幹夫 藤沢 健一 敷田 武 高野 慶治 ステファン クロー 敷下 浩	岐阜市歴 史博物館 研究紀要	9	女性の占有物でなく なるジュエリー	樋田豊次郎	コンテン ポラリー ・ジュエ リー展図 録(東京 国立近代 美術館工 芸館)
「商工省工芸指導所 一活動の概観と他の 工芸運動について (1)」	苫名 真	紀要 Hokkai do Art Museum Studies	1994-95	昭和をみる一九州の 伝統工芸	宇治 章	佐賀県立 博物館・ 美術館報
特集 日本人が見捨 てた明治の美「置 物」彫刻の逆襲く 海外取材>異人さん に買われていった明 治輸出工芸の底力	(編)	芸術新潮	543			
特集 日本人が見捨 てた明治の美「置 物」彫刻の逆襲く 海外取材>異人さん に買われていった明 治輸出工芸の底力 絢爛豪華を輸出せ よ 明治職人生き残り 大作戦	樋田豊次郎	〃	〃			



昭和をみる九州の伝統工芸	〃	昭和をみる九州の伝統工芸と第30回西部工芸展(福岡)	工芸の個人主義	土田 真紀	20世紀日本美術再見(1)…1910年代の光り輝く展覧会(三重県立美術館)	
四季の匠 ぼち袋	徳永 京子	新美術新聞				222
四季の匠 西ノ内和紙	〃	〃	父二世 中村蘭台	中村 淳	二世中村蘭台の篆刻展(五十嵐子に因る富岡美術館)	724
四季の匠 ミニランドセル	〃	〃				730
四季の匠 能面	〃	〃				733
四季の匠 都うちわ	〃	〃	押絵羽子板	小林すみ江	目の眼	221
四季の匠 水引細工	〃	〃	根付の面白さ	谷田 有史	〃	231
匠の技を探し、雨宮硯の里を訪ねてインタビュー 雨宮矢兵衛	編集部取材・構成	墨	ピカソも愛した伝統和紙 越前奉書紙 “風前の灯”	おだたかじ	サンケイ夕刊	9.20
特集 遊印ノススメ 遊印と私 串田孫一		〃	海外で愛される「和紙」	小田 孝治	〃	10.25
北川博邦氏に聞く 遊印の来歴	編集部文責	〃	“能面打ち”女性に大モテ コツコツ彫って…彩色		東京	2.18
近世・近代の文人の遊印		〃	銘品探訪 甲州印伝 落ちついた色合いに味		日経夕刊	7.17
TPOで変化する印を生かすための23の方法 PART1		〃	水引アート 現代的作品が話題		読売	11.10
特集 遊印ノススメ 遊印と私 松永伍一		〃	工芸という深い淵 成り立ちに光りあてれば現代的意義が明らかに	北澤 憲昭	読売夕刊	12.1
特集 遊印ノススメ 遊印と私 浅井慎平		〃	海外			
TPOで変化する印を生かすための23の方法 PART2		〃	フランス15世紀前半の透明釉七宝工芸	黒岩 三恵	鹿島美術財団年報	12
グループで印作りを楽しむ 紅爐会代表・深沢紅爐	編集部取材・文	〃	イギリス カントリー・ファニチャー 「ウインザーチェアー」の形態分析研究 その1	山本 耕平	九州産業大学芸術学部研究報告	26
追体験 瓦当・埴づくり	編集部構成	〃	特別展「—YOSHIOコレクション—インドネシアの手仕事」記念講演会講演録 インドネシアの手仕事	金森世士夫	富山市箕生人記念美術館	5
1950年代における生活工芸の動向とモダン・クラフト	諸山 正則	生活のなかの工芸展 1950—1960年代のモダン・クラフト図録(東京国立近代美術館工芸館)	工房での生産活動 舞台工房	ディルク・シェーパー	バウハウス展図録(セゾン美術館)	

平成7年定期刊行物所載文献(工、陶)

		フランス宝飾芸術の世界展		骨董蒐集うましか譚(82) その後の九谷	小松 正衛	〃	510
カルティエの芸術	マイティール・シャザール	カルティエ・コレクションのジュエリー図録(東京都庭園美術館)		近世の茶碗(102) 鎌倉焼	黒田 和哉	〃	512
				亥どし正月	久田 宗也	日本美術工芸	676
時を飾る—カルティエとその時代	海野 弘	〃		酒を楽しむぐい呑みと親しむ	(編集部)	美術(月刊)	243
パリ現代装飾美術・産業美術国際博覧会とカルティエ	高波真知子	〃		「八つ面焼」—「熊蔵さ徳利」と生け花	十栗 攻	目の眼	220
オヨナにみるセルロイドの揃製作		マキエ	13	白寿翁閑話1 灰釉多口瓶 本多コレクションについて	本多 静雄	〃	〃
インドネシアの鼈甲冠	坂井 隆	〃	〃	三世紀ぶりの里帰り、夢のVOC美蓉手大皿	永由 頼寿	〃	223
陶 芸							
一 般							
陶芸における世期末様式—十九世末の西洋と日本の美術陶磁の交流—	荒川 正明	出光美術館研究紀要	1	小畑焼のビール瓶について—その周辺—	伊原慎太郎	山口県立山口博物館研究報告	21
鍋島緞通と中国緞通	宇治 章	佐賀県立博物館・美術館報	111	里帰り薩摩焼「白薩摩金欄手窓絵人物図大皿」		黎明	50
素材&テクニク編 粘土・ガラス 粘土・ガラスの基礎知識	(編集部)	デザインの現場	75	駒込の“町屋”跡から「色鍋島」出土 江戸の超高級品…なぜこんな場所に		サンケイ	9.9
東南アジアでの最近の陶磁貿易研究—I AHA会議より	坂井 隆	陶 説	504	美も躍動、世界最大登りが窺 有田「博覧会」の計画に先駆の窠跡調べる	中島 宏	日 経	7.11
燃え盛る女流陶芸への炎 日本の11人、米の会議出席で連帯感	辻 協	日 経	5.9	ドナウが追憶「陶芸の栄光」ハンガリー—建築美を支えた工房の末路に悲劇	梅村 裕子	〃	9.19
現代陶芸のあけぼの十選3 イサム・ノグチ「花器」	中村 錦平	〃	5.10	海 外			
日 本				陶器の町ヴェロリス	新海 和代	絵	381
近世末からの近代の瀬戸窯業	服部 文孝	瀬戸の陶芸展—1300年の歴史と今—図録(三越)		英国焼物紀行	矢部 良明	国立博物館ニュース	580
近代瀬戸の陶芸	〃	〃		トルコ陶磁紀行	〃	〃	581
古陶磁焼継考—「焼継」と焼継屋の終えん	須磨 満	陶 説	502	韓国陶磁見聞記(中)	谷 晃	茶道雑誌	59—1
瀬戸の陶芸—1300年の歴史と今	浅田 員由	〃	509	韓国陶磁見聞記(下)	〃	〃	59—2
				イスラム陶器収蔵概要	巽 善信	天理参考館報	8
				村田コレクションのオランダ・タイル	前田 正明	陶 説	506
				トプカブ宮殿の名品展—オスマン・トルコ帝国の盛衰と東洋陶磁	大橋 康二	〃	510
				オランダ連合東インド会社とコーヒーカップ	松下 久子	〃	510
				古今東西やきものの旅15 黒陶燦々 太陽とサボテンの街オアハカ	脇田 宗孝	日本美術工芸	678

古今東西やきものの  
旅16 緑彩流転 緑  
釉の郷アツオンパ  
・メキシコ

古今東西やきものの  
旅17 鳥歌如夢 メ  
キシコ陶器のタラベ  
ラ焼

古今東西やきものの  
旅18 青花随想 東  
西の接点・デルフト  
陶器

古今東西やきものの  
旅20 彩技伏流 ド  
イツの民芸 ロトガ  
ウ陶器

古今東西やきものの  
旅21 仏歯礼賛 ス  
リランカの土器 ニ  
ヤンガマ村

古今東西やきものの  
旅22 彩磁華麗 王  
朝の美セーブル フ  
ランス

古今東西やきものの  
旅23 重々無尽 神  
々の輝きトケラモス  
ギリシャ

古今東西やきものの  
旅24 華彩伝来 唐  
三彩の風土 長安か  
ら奈良へ

展覧会シーズン幕開  
け華麗なるテーブル  
・アート展開催

海をわたってきたや  
きもの一市内発見の  
輸入陶磁器の紹介

『カンパニア黒像  
式陶器』—エトルス  
キ文化の地域受容に  
関する一側面—

日本におけるジョル  
ナイ・コレクション

宮廷を飾ったマイセ  
ン磁器—ヘロルトと  
ケントラーの時代を  
中心に

イギリス現代陶芸に  
関する一考察—スタ  
ューディオ・ボタ  
リーの登場をめぐっ  
て

金 工

一 般

素材&テクニック編  
金属 金属の基礎 吉川 悦治 デザイン  
知識の現場 75

日 本

平成六年度「日刀保  
たたら操業」実施さ  
れる 刀剣美術 458

いわゆる赤羽刀の発  
端から現状まで 本間 順次  
佐藤 貫一 467

明治美術と皇室、宮  
内省—油彩画と金工  
の場合 大熊 敏之  
明治美術  
再見—  
明治美術  
会と日本  
金工協会  
展覧会  
図録(宮  
内庁三の  
丸 尚 蔵  
館)

古代工人の「技」体感  
電子顕微鏡で勾玉  
の製作技法を探る 村上 隆 朝日夕刊 9.5

国立博物館に眠る  
「赤羽刀」輝き取り  
戻す日は来るか 長辻 象平 サンケイ  
夕刊 9.1

50年ぶり、接収の日  
本刀返還へ—さびも  
ひどく持ち主捜しむ  
り? 東京 11.18

海 外

響銅蕪形水瓶 唐時  
代 松本 伸之 国立博物  
館ニュー  
ス 579

泉屋博古館の中国古  
銅器 外山 潔 目の眼 230

染 織

一 般

第2章 グアテマラ 角山 幸洋  
の染色  
現代マヤ  
一色と織  
に魅せら  
れた人々  
展覧会  
図録(国  
立民族学  
博物館)

服飾と流行 深井 晃子  
モードと  
諷刺—時  
代を照ら  
す衣服展  
覧会  
図録(栃  
木県立美  
術館)

日 本								現代マヤ 一色と織 に魅せら れた人々 展 図録 (国立民 族学博物 館)	
てぬぐいは木綿の染 めざれ	川上 桂司	大田区立 郷土博物 館紀要	5	概説：現代を織りな すさまざまな糸	八杉 佳穂				
アトッシン 福井県三 国町伝来 19世紀	佐々木利和	国立博物 館ニュー ス	579	第3章 「現代マヤ」 地域の後帯機と織技 法	京田 誠				
アイヌの衣服	児玉 マリ	市立函館 博物館研 究紀要	5	第4章 衣裳の種類 と着装	中島 章子				
四季の匠 銚子ちぢ み	徳永 京子	新美術新 聞	735	第5章 芸能の衣装 —グアテマラのマヤ の村を越えた衣装文 化	黒田 悦子				
「盗作」横行西陣は悩 む 裁判、流行に追 いつかず	諸永 裕司	朝日夕刊	1.5	第7章 聖衣と民芸 —メキシコ南部チア パス高地の「民族衣 装」	落合 一泰				
衣服から見える歴史 社会の成り立ちまで 浜田青綾賞に決まっ て	武田佐知子	〃	9.19	ピエタ<悲しみの聖 母>(タピスリー)	長崎 巖	国立博物 館ニュー ス	574		
相撲の世界をろう染 めに 両国でユニーク 個展	赤岡 東	サンケイ	9.4	ミャンマーのロン ジー(腰衣)	沢田むつ代			578	
“草木染” 日黒区の 菱川さん 大量生産 システム完成		東 京	5.16	白地花卉模様更紗敷 物 インド・ムガル 王朝	小笠原小枝			579	
奔放の境地翻る「型 絵染」 生誕100年機 に人間国宝・芹沢氏 の記念展	青山 辰巳	日 経	5.10	ヨーロッパ染織と東 洋 ヴィクトリア& アルバート美術館展 「ヨーロッパ染織の 美」よせて	佐野 敬彦	日本美術 工芸	680		
“藍”に映る欧州の時 代模様 染料植物 「大青」の南仏国際会 議で交流	中村 美幸	〃	9.4	パティックと一婦人	高山 優	港郷土資 料館だよ り	27		
海 外									
上海—旧租界—藍印 花布 中国藍印花布 館	飛田今日子	AXIS	57	ジャワ更紗—北岸系 パティック模様を中 心にして	伊藤ふさ美 小笠原小枝	MUSE UM	529		
特集 亜細亜的創造 1 EAST/WEST- fusing 国境のない テキスタイルの道 —作り手が語る技術 と創造性の源泉	〃	〃	58	キルト—民具の美し さを探る—	佐川 和裕	民具マン スリー	28—7		
インドの染織	山辺 知行	インド染 織美術展 —島中光 享コレク ション図 録(西宮 市大谷記 念美術 館)		イギリスの染織にお ける自然主義の伝統	リンダ・ウ ーラー	ヨーロッ パ染織の 美—ヴィ クトリア &アルバ ート美術 館展図録 (群馬県 立近代美 術館)			
インド染織の歴史	中富喜陽子	〃		ヨーロッパの染織芸 術	佐野 敬彦	〃			
桐板に関する調査研 究(その2)—繊維顕 微鏡観察およびその 考察—	ルバース・ ミヤヒラ・ 吟子 高木	沖縄県立 芸術大学 紀要	3						
ラオス シェンコー 地域織物調査報告	柳 悦州	沖縄芸術 の科学	8	歴史万華鏡 時絵め ぐる東西交流 欧州 との出会い、三度の 波	岡本 健一	毎日夕刊	10.27		

日 本				特集 美の可能性を追求するガラスアート	ギャラリー ー(月刊)	122
若松時絵文台硯箱 明治時代	竹内奈美子	国立博物館 ニュー ス	579	シンポジウム「現代ガラスの行方を占う」	廣田いづみ	GLASS 38
漆芸道中膝栗毛10 ダンヒル・ナミキ パイロット万年筆の 快挙	灰野 昭郎	茶道雑誌	59-1	ガラスの行方をさぐる国際シンポジウム	武田 厚	新美術新聞 734
漆芸道中膝栗毛11 卯辰山工芸工房の青 春群像	〃	〃	59-4	素材&テクニック編 粘土・ガラス 粘土 ・ガラスの基礎知識	編集部	デザインの 現場 75
漆芸道中膝栗毛12 英国ロンドン 英国 柔道の父・小泉軍治 (前編)(後編)	〃	〃	59-8 59-12	ガラスと歩いた道 正倉院宝物への疑問	由水 常雄	東京夕刊 6.24
漆文化を世界に発信 石川県輪島漆芸美術 館企画係長島口慶一 さん	田島 洋	フ ォ ト	5.15	ガラスと歩いた道 新羅はローマ文化の 国か	〃	〃 7.15
漆論=漆のみかた1 うるしの語源	三田村有純	目 の 眼	231	ガラスと歩いた道 日本の中のローマ文 化とササン文化	〃	〃 7.22
海 外				ガラスと歩いた道 ガラス骨壺の謎	〃	〃 7.29
第5回海外漆文化調 査(ヴェトナム)に参 加して	佐藤 昭夫	漆芸美術 館たより	12	ガラスと歩いた道 幻の薩摩切子	〃	〃 8.5
木 竹 工				ガラスと歩いた道 エミール・ガレと高 島北海	〃	〃 8.26
一 般				ガラスと歩いた道 隠れていた明治の大 物	〃	〃 9.2
素材&テクニック編 木 木の基礎知識		デザイン の現場	75	ガラスと歩いた道 ガラスの学校(上) (下)	〃	〃 9.9、16
日 本				ガラスと歩いた道 全国に学校・美術館 ・工房を	〃	〃 9.30
四季の匠 屋久杉細 工		新美術新 聞	743	ガラスと歩いた道 ガラス化リサイクル の願い	〃	〃 10.7
吉野鮎桶譚(1)~ (3)	南谷 きよ	陶 説	507~509	トンボ玉、数千年の 美結晶	藤村 真澄	日 経 11.17
寄木細工を考証する	金子 皓彦	目 の 眼	223	日 本		
「鹿児島・竹の世界 一環シナ海文化の視 座から一」を観覧し て	所崎 平 黎	明	48	日本ガラス工芸学会 第19回総会における 講演要旨、岩田藤七 と日本の近代ガラス	武田 厚	GLASS 37
鹿児島島の竹の民具一 バラ文化圏の見通し 一	川野 和昭	〃	49	旧岩城硝子のパート ・ド・ヴェール(一) (二)	山口 勝旦	〃 37、38
ガラス工				日本ガラス工芸協会 創立22年を振り返っ て 日本のガラス展 を通してみる協会の 歩み	芝崎信太郎	〃 37
一 般				日本ガラス工芸学会 第三回大会研究発表 要旨 (三)大正日本 の人造真珠産業	マーサ・ チェイクリ ン	〃 〃
ガラスはガラス・素 材と表現に関する芸 術としての領域	武田 厚	拡張する ガラス： 美者たち の表現(横 浜美術 館)				

パート・ヴェール (Pate de Verre)その他 (パート：ママ)	小川 雄平	〃	38
びいどろ職人の世界 10—ランプ—	山口 勝旦	目の眼	221
びいどろ職人の世界 11 小出兼吉と河上 伝次郎	〃	〃	223

海外

日本ガラス工芸学会 第三回大会研究発表 要旨 (二)イェメン におけるガラス製ブ レスレットをめぐっ て	真道 洋子	GLASS	37
表紙解説 「ゴール ド・サンドウィッチ 装飾ガラス・タイ ル」	〃	〃	38
故石黒孝次郎氏ガラ ス・コレクション (二)イスラーム・ガ ラス	〃	〃	〃

ガラス—利那的な存 在	友部 直	サン ト リ美術 館ニュー ス	147
----------------	------	--------------------------	-----

十三世紀フランスに おける<放蕩息子> のステンド・グラス ：物語叙述の手法 をめぐって	守山 実花	日仏美術 学会会報	14
--	-------	--------------	----

ボヘミアガラス—序 によせて	栗山 健	ボヘミア ガラスの 100年— アール・ ヌーヴ —から現 代まで (高崎 市館)	
-------------------	------	---	--

西ボヘミア美術館の コレクションに見る ボヘミアガラスの 100年	ダグマル・ ブラウノ ヴァー	〃	
--	----------------------	---	--

北ボヘミア美術館の コレクションにみる ボヘミアガラスの伝 統と現在	オルドジッ ヒ・バラタ	〃	
---	----------------	---	--

森に囲まれた町 北 ボヘミア ジェレズ ニー・ブロードを訪 ねて	西野 里枝	〃	
---	-------	---	--

ヨーロッパ・ガラス  
芸術の精華

水田 順子

ヨーロッ  
パのガラ  
ス工芸展  
—北海道  
立近代美  
術館所蔵  
作品によ  
る—  
(録市習  
生生涯学  
センター  
・アトリ  
ー)

その他

一般

自己表現、中国流に  
東の「知」パフォー  
マンズ学の国際大会  
で異文化体験

佐藤 綾子 日 経 9.11

日本

前衛いけばなの興亡

川浪 千鶴

戦後文化  
の軌跡  
1945—  
1995  
(録区  
美術館)

デザイン

一般

最新のインテリア・  
コレクションを東京  
で デザイナーズ・  
サタデー・イン・ト  
ウキョウ

AXIS 54

特集・デザイン問答  
デザイナーは色・  
形の専門家か、それ  
ともスーパーマン  
か?

有元 正存 〃 55

日本とアジアを結ぶ  
貿易・デザイン拠  
点、大阪南港ATC  
デザインセンター、  
オープン1周年。

〃 56

多国籍の文化がこめ  
られたコミュニケーション  
戦略

山本 雅也 〃 57

サブカルチャーから  
スーパーサブカルチ  
ャーへ 躍進するフ  
ライヤー

森の木タク  
ヤ 〃 58

特集 亜細亞的創造  
1 EAST WEST  
fusing interview  
大切なのはタイの人  
の心を知ること  
です。石原 信行

〃 〃

湿った機械

山中 俊治 〃 〃

		英国のモダン・デザインと日本	宮島 久雄	英国のモダン・デザインと現代グラフィック&アート展美術館展図録(埼玉県立近代美術館)	特集 写楽と現代グラフィックス 伝統木版画と現代デザイン		249
		1995年度 日本建築学会大会(北海道) 建築と設備のライフサイクルデザイン	中島 康孝	建築雑誌	21世紀を担う企業とデザイン戦略 株式会社資生堂・天野幾雄	小野田隆雄 聞き手	54
		建築年報1995 建築プログラムのデザイン	湯本 長伯	〃	特集 ゲームの時間 TVゲームはどこまで行く?	野上タカヒロ	54
		特集 シミュレーションとイメージーション 自動車の空力とデザイン開発の新しい潮流	姫野龍太郎	〃	特集 ゲームの時間 パチンコの工夫		〃
		デザインのリレショナルモデル	アンドレス・シュナイダー	多摩美術大学研究紀要	特集 ゲームの時間 絵双六という小宇宙		〃
		アイデア・ディベロップメントーデザインにおけるアイデアの展開方法	平野 拓夫	〃	プロ集団の手作りスーパーカー 94年度マイレッジマラソンAXIS賞受賞車		55
		デザイン演習の三段階 真善美	高橋 士郎	〃	特集・デザイン問答 覆面座談界 人間の選択		〃
		デザインの模倣と創造 1 知的財産としてのデザイン	磯貝 恵三	筑波大学芸術研究報告	時を告げるデザインー特殊用途時計の開発 アドベンチャー・ウォッチ・視覚障害者用時計・鉄道時計		〃
		コンプレックス・プール6 ピクトグラム・デザイン	日本デザインセンター 原デザイン研究室	デザイン現場	匠のかたち 歌舞伎衣裳編		56
		コンプレックス・プール7 ゴージャスの法則	〃	〃	未来の電車は生物に近づく JR東日本「TRY-Z」の運転台		〃
		21世紀とデザイン(2)ー「持続可能な発展」のためのデザインと、デザイン教育についての試論	佐野 寛	東京学芸大学紀要	村上グループの夢 MOD Iいよいよ活動開始		〃
		デザイン季評 過剰消費とニヒリズムー限りない「更新」の行きつく果て	柏木 博	読売夕刊	ファッションは確実に進化する メディアミックス・コラボレーション		57
		日本			特集 エンターテイメント最前線2 家は地球村 家庭の娯楽は「選択する」ことになる 総合エンターテインメント企業ソニーのデザイン新戦略		〃
		このマーク知っていますか!?〜展覧会シンボルマーク特集〜前編・後編		アートマインド	歌舞伎 舞台まわりのデザイン		〃
		現代のグラフィックスに見る日本人の美意識	佐藤晃一監修	アイデア	座談会「日本の生活空間とデザインの方」	保科 正武 藤原 孝行	〃
		株式会社ジーイー企画センター 伊藤友雄氏に聞く		〃	戦後デザインの地下水脈		58
					第2特集 戦後IDのインプットとアウトプット 我々は何を感じ、何を創ってきたか。	JIDAプロジェクト Design In-Out AXIS (編集部)	〃

第2特集 戦後ID のインプットとアウト プット「今」の時 代のインプットと は? 多様性VS絶 対価値/画一化VS 小集団化/バーチャ ルVSリアル	(構成) 有元 正存	〃	〃	コンプレックス・プ ール8 ファイアー ・デザイン	日本デザイ ンセンター 原デザイン 研究所	〃	〃
色彩環境論[4]『公 共の色彩考』	山岸 政雄	金沢美術 工芸大学	39	ADCに見る日本の アートディレクショ ン 1995		〃	77
大学デザイン教育に おけるニューメディ アの導入に関する研 究	河 荘五	九州産業 大学芸術 学部研究 報告	26	埋もれたデザイン再 発見 海外先行評 価! オリジナル・ ジャパニーズ・デザ イナー登場	清水 早苗	〃	〃
着装の比較—東京と 大阪	大丸 弘	化粧文化	32	埋もれたデザイン再 発見 ビッグ・エモ ーションを謳歌した 境界線上のクリエイ ターたち	榎本 了壺	〃	〃
伝統と現代ファッシ ョン—東西の着装観 とその美意識—	村田 仁代	〃	〃	埋もれたデザイン再 発見 バブルの遺 産!? 企業ヴィジ ュアル・イメチェン 大流行	蜂賀 亨	〃	〃
色彩嗜好の東西比較 —日本の東西・洋の 東西	齋藤 美穂	〃	〃	埋もれたデザイン再 発見 バブル時代の デザインイメージ そして、バブルが残 していったもの	川口 通正	〃	〃
建築年報1995 構造 デザインを振り返っ て	金箱 温春	建築雑誌	1378	埋もれたデザイン再 発見 カット・アン ド・ペースト シュ ミレーション時代の デザイン	竹原あき子	〃	〃
建築年報1995 イン テリアのデザイン	松本 哲夫	〃	〃	埋もれたデザイン再 発見 年表から読み とるデザインの推移	野澤 朔	〃	〃
デザインプロセスに 求められるパート ナーシップ	西脇 敏夫	〃	〃	コンプレックス・プ ール9 米のデザイ ン	日本デザイ ンセンター 原デザイン 研究所	〃	〃
デザインからみた看 板文字考	萩野 丹雪	墨	116	THE KING OF E LECTRONIC DE- SIGN 2 デザイナ ーが探る未知の視覚	江並 直美	〃	〃
デザイン・理論・生 活 手がかりとして の消費をめぐる	金村 京一	成安造形 大学研究 紀要	2	THE KING OF E LECTRONIC DE- SIGN 3 デザイナ ーがプログラムを学 ぶ日	〃	〃	78
東京オリンピックの デザイン	家村 珠代	戦後文化 の軌跡 1945—19 95 図録 (目黒区 美術館)		スタジオワーブ 印 刷への連動を意識し たカンパづくり	山本 雅也	〃	79
戦後デザインの根拠 世界性をもった日本 のファッション・デ ザイン	柏木 博	〃	〃	コンプレックス・プ ール11 ボール	日本デザイ ンセンター 原デザイン 研究所	〃	〃
特集 埋もれたデザ イン再発見 戦後デ ザイン界の30年 年表	野澤 朔	デザイン の現場	76	C I 確立10年目の I NAXの転換	福岡 重隆	〃	〃
特集 埋もれたデザ イン再発見 日本の 戦後50年〔第1弾〕19 45—1979	〃	〃	〃	THE KING OF E LECTRONIC DE- SIGN 4 技術革新 とデザインの狭間 で。本当に新しいも のはどこにあるのか	江並 直美	〃	〃
特集 埋もれたデザ イン再発見 1950	波多野哲朗 植田 実 他	〃	〃				
特集 埋もれたデザ イン再発見 1960	神田 昭夫 柏木 博 他	〃	〃				
特集 埋もれたデザ イン再発見 1970	野澤 朔 扇田 昭彦	〃	〃				



洋風居間のインテリア類型と居住者属性及びインテリア情報との関係の地位表示性に関する研究 その1	松原小夜子	日本建築学会論文報告集	469	In city ロンドン	ジェレミー・マイヤーソン	AXIS	54
浴室ユニットの変遷の概要 現代の建築部品・講法の変遷に関する調査研究	真鍋恒博 馬越雅悟 清水悟 高下聡子	"	"	特集 Design & Social Value 新しいドイツのデザイン ジンバンデ・デザイン	瀧口 範子	"	"
シティホテルのインテリアデザイン評価と利用意向率の予測に関する研究	宇治川 正 人	"	473	特集 Design & Social Value 新しいドイツのデザイン アトリエ・ドッベル プンクト	"	"	"
マッチラペルーボックのなかの近現代史		マッチラペルーボックのなかの近現代史展図録(たばこと塩の博物館)		特集 Design & Social Value 新しいドイツのデザイン デブリック	"	"	"
三日月の家具と芝の職人たち	秋山 正	目の眼	231	特集 Design & Social Value 中堅デザイナーたちのチャレンジ イエロー・デザイン	"	"	"
売り上げ左右する本の装丁		朝 日	2.26	特集 Design & Social Value 中堅デザイナーたちのチャレンジ モル・デザイン	"	"	"
日本文化デザイン会議'95		サンケイ	12.31	特集 Design & Social Value 中堅デザイナーたちのチャレンジ スラニー・デザイン・ティーム	"	"	"
あなたの町はどんな色? 『公共の色彩賞10回』決まる首都圏から5カ所入賞		東 京	3.14	特集 Design & Social Value ドイツ企業のデザインポリシー、3タイプ ルフトハンザ、オペル、ウィルクハーン	"	"	"
デザイン分野で世界初の横断組織「日本デザイン機構」		日 経	11.21	特集 Design & Social Value ドイツ各州のデザインセンター所長が語るデザイン事情	"	"	"
毎日広告デザイン賞62回入賞作決まる	梶中安屋 祐輔 宏規 耕一	毎 日	3.14	アメリカ西海岸のクルマづくりと人々	林英次文責	"	"
デザインの新潮流 玩具のなかの神話作用「グリコのおまけ」と「リカちゃん」	高島 直之	毎日夕刊	3.8	第2 特集 Design = Social Value ドイツにみる社会、生活、そしてデザイン(後編) 5都市1、123社でつくるポスター	ドーマー・クリス	"	55
照明探偵団が行く一光と人間の原点に返って	面出 薫	毎日夕刊	9.21	第2 特集 Design = Social Value ドイツにみる社会、生活、そしてデザイン(後編) トランジットのための建築、その傾向と工夫	瀧口 範子	"	"
デザイン新潮流 「皮膚」としてのサティアン 隔てる、守る、内包する一オウムにおける「現実の感触」	高島 直之	"	9.7	フォン・ゲルカン & マーク			
海外							
アール・デコ・ボスターの特質—広告的視覚言語芸術の成立	金子 賢治	アール・デコ・ボスター展図録(東京国立近代美術館フィルムセンター)					
オランダのデザイン オフィス クウェイデン/ポストマ	綿野 茂 松崎 八千代	アイデア	249				

第2特集 Design =Scial Value ドイツにみる社会、生 活、そしてデザイン (後編)バスストップ にみるドイツデザイ ン				エコロジーとビジネ ス BMWの挑戦	稲本	〃	〃
第2特集 Design =Scial Value ドイツにみる社会、生 活、そしてデザイン (後編)子供と自然 を結ぶ遊器具 マー クス・エーリン				IDEOはデザインコ ンサルタントという よりも、むしろデザ イン教育機関です デイヴィッド・ケ リーに聞く		〃	〃
「アメリカ」が帰って きた・・・北 米国際オートショー とアメリカ車の潮流	有元 正存	〃	〃	アメリカ美術館 デ ザイン・キュレー ターへの質問状 ニューヨーク近代美 術館 建築・デザイ ン部門キュレーター パオラ・アントネッ リ		〃	〃
太陽、空と海の映画 祭風景 第48回カン ヌ映画祭のディスブ レイデザイン	野口 ゆり	〃	56	アメリカ美術館 デ ザイン・キュレー ターへの質問状 サ ンフランシスコ現代 美術館 建築・デザイ ン部門キュレー ター アーロン・ ベッツキー	瀧口 範子	〃	〃
コウモリ+車=? 新型バットモービル 誕生		〃	〃	アメリカ美術館 デ ザイン・キュレー ターへの質問状 ロサ ンゼルス現代美術館 キュレーター エリ ザベス・スミス		〃	〃
特集 エンターテイ メント最前線1 ハ リウッドはスクリー ンをはみ出す? 「デザイン思考」を武 器に、インターネッ ト・ビジネスへ進出 レズネイト	瀧口 範子	〃	〃	特集 亜細亜的創造 1 EAST/WEST fusing ホーチミ ン市民の一日。デザ インなんか知らない よ		〃	58
特集 エンターテイ メント最前線1 ハ リウッドはスクリー ンをはみ出す? ハ リウッドの智恵と技 が集結する、テーマ パークデザイン ザ ・ワークス		〃	〃	特集 亜細亜的創造 1 EAST/WEST fusing マレーシ ア・クアラルンプ ール アジアを西歐的 に味付けすると? セントラルマーケッ ト・アネックス		〃	〃
特集 エンターテイ メント最前線1 ハ リウッドはスクリー ンをはみ出す? エ ンターテイメントの 行方	鈴木美智子	〃	〃	特集 亜細亜的創造 1 EAST/WEST fusing シンガポ ール アジアのイン スピレーションを ヨーロッパのデザイ ン手法にのせて・ ・。デュエットデザ イン		〃	〃
赤いクーデターの後 に一新制ロシアのス トリートグラフィッ クス		〃	〃	アムステルダムとデ ジタルメディア		〃	〃
小さくても実はすご い ミニチュア・チ ェア-全員集合		〃	57	文化が導くアヴァン ギャルド	有元 正存	〃	〃
イスラエルの砂漠を 走る新しい生命? 豪華バス "Mete or"		〃	〃	10分で使いこなせる コンピュータはいい コンピュータか?	稲本	〃	〃
特集 エンターテイ メント最前線2 家 は地球村 マルチメ ディア時代のコンピ ュータの顔は? ア ップルのデジタル的 家庭環境とツールの デザイン		〃	〃	イギリスのモダン・ デザインの誕生	田境 志保		イギリス のモダン ・デザイ ン展図録 (豊田市 美術館)

英国のデザイン序論	マイケル・スノードン	英国のモダン・デザインヴィクトリア&アート博物館展図録(埼玉県立近代美術館)			工房での生産活動 家具工房	マグダレーナ・ドロステ	ウテ・ブルューニング	小石 新八	武蔵野美術大学研究紀要	25
中国・川劇にみる化粧(8) 鼻の化粧	張	中学	化粧文化	32	建 築					
中国・川劇にみる化粧(9) 口の化粧	〃	〃	〃	33	一 般					
モダン・デザイン史再訪問14 ドイツ工作連盟	海野 弘	デザイン	の現場	74	快適のしくみ7 ヒロイズムを遠く離れて	伊藤 公文	AXIS			54
モダン・デザイン史再訪問13 フランスのモダン・デザイン	〃	〃	〃	75	特集・デザイン問答 どれを優先して都市づくり? 「開発」か「保存」か「安全性」か	瀧口 範子	〃			55
ニューヨーク・ニューイメージ トレイ・レイヤード アート・ディレクターである前にマーケットでありたい。	管付 雅信	〃	〃	76	特集・デザイン問答 家を立てる。あなたはどちら? 「プレハブ」か「建築家に依頼」か	大西 若人	〃			〃
ニュー・ザック・ザック・ザック!	矢島みゆき	〃	〃	〃	快適の仕組み8 交番は揺れ動く	伊藤 公文	〃			〃
モダン・デザイン史再訪14 キュビズムとデザイン	海野 弘	〃	〃	〃	空気の間		〃			〃
モダン・デザイン史再訪15 表現主義のデザイン	〃	〃	〃	77	百柱と増殖する壁 豊の国情報ライブラリー		〃			56
パリ・ファッション界の動きからアートとファッションの接点を探る	清水 早苗	〃	〃	78	個室化の極北を行く コンテナハウス	伊藤 公文	〃			57
モダン・デザイン史再訪16 オメガ工房	海野 弘	〃	〃	〃	一般読者への橋渡し 新聞の建築評論の役割だと思おう ポール・ゴールドバーガー		〃			〃
モダン・デザイン史再訪 バウハウス1	〃	〃	〃	79	塔状住居が連なる現代版長屋	伊藤 公文	〃			58
デザインのヘソ「シヤマニズム」—ドームと水煙 帽の発生を中心として—	今木加代子	人間環境科学		3	近代建築史研究の課題とCADの可能性	米山 勇	江戸東京博物館 NEWS			10
工房での生産活動 壁画工房	クリスティアン・ヴォルス	バウハウス展図録(セゾン美術館)			空間と都市 シークエンスの概念を中心に	小林 信之	京都市立芸術大学美術学部研究紀要			39
バウハウス—モダン・デザインの矛盾と非合理性	柏木 博	〃	〃	〃	特集 映画と建築 時間・空間・映像(映画)・建築—映像の中の空間と整合性	小島 常成	建築雑誌			1367
工房での生産活動 陶器工房	クラウス・ヴェーバー	〃	〃	〃	特集 映画と建築 空間体験の記述	大野 隆造	〃			〃
工房での生産活動 織物工房	マグダレーナ・ドロステ	〃	〃	〃	特集 映画と建築 場面のプロックを積んで建築をつくる	日色 真帆	〃			〃
工房での生産活動 金属工房	クラウス・ヴェーバー	〃	〃	〃	特集 映画と建築 道具としての映像	山田 学	〃			〃
					所変われば 北京の四季	佐藤 啓二	〃			〃

平成7年定期刊行物所載文献(建)

特集 「施設」の意味を問う 集落のなかの「施設」	畑 総一	〃	1370	所変われば ローマ	岩谷 洋子	〃	〃
所変われば アフリカ・マラウイでの暮らし	藤田 直美	〃	〃	特集 建築家・そのあるべき姿とありうる姿を問われる建築家像 あいまいな日本の建築家アーキテクトの 訳語をめぐって	神谷 武夫	〃	1374
兵庫県南部地震緊急報告 復興都市計画への視点	紙野 桂人	〃	1371	特集 建築家・そのあるべき姿とありうる姿を問われる建築家像 建築士の資格と法制度のあるべき姿	梅野捷一郎	〃	〃
兵庫県南部地震緊急報告 北野畑山本通地区「異人館街」の被害状況	光井 渉	〃	〃	特集 建築家・そのあるべき姿とありうる姿を問われる建築家像 JIAが目指す建築家資格制度とは	椎名 政夫	〃	〃
特集 ゆらぎの中の家族とnLDK 新しい家族とゆらぐ住宅の形	本多 友常	〃	〃	特集 建築家・そのあるべき姿とありうる姿を問われる建築家像 建築士法の改正が指す建築家の望ましい姿とは	藤本 昌也	〃	〃
特集を読んで 市民の理解と共感	長友 宗重	〃	〃	特集 建築家・そのあるべき姿とありうる姿を問われる建築家像 建築士の法の改	橋本 昌也	〃	〃
兵庫県南部地震緊急報告 近・現代建築の被災状況と今後の課題	足立 裕司	〃	1372	特集 建築家・そのあるべき姿とありうる姿を問われる建築家像 建築士の法の改	橋本 昌也	〃	〃
特集 価値ある耐震性能設計に向けて 兵庫南部地震を経験して 木造住宅の被害と今後の課題	藤原 悌三	〃	〃	特集 建築家・そのあるべき姿とありうる姿を問われる建築家像 どう変わりつつあるか	橋本 喬行	〃	〃
所変われば ジュネーブに住んで	須藤 研	〃	〃	特集 建築家・そのあるべき姿とありうる姿を問われる建築家像 建築家への望	谷田部兼光	〃	〃
特集 人間の理解と建築—環境心理・環境行動研究の広がり 建築空間の知覚—どのように見え、どのように影響を受けるか	西出 和彦	〃	1373	特集 建築家・そのあるべき姿とありうる姿を問われる建築家像 専門技術者から見た建築家像の今とこれから	矢野 克巳	〃	〃
特集 人間の理解と建築—環境心理・環境行動研究の広がり 錯視と建築	横山 正	〃	〃	特集 建築家・そのあるべき姿とありうる姿を問われる建築家像 激変の1990年代—WTO, ISO9000と建築家資格	村尾 成文	〃	〃
特集 人間の理解と建築—環境心理・環境行動研究の広がり 空間の学習と建築—空間図式研究の役割	横山 勝樹	〃	〃	特集 建築家・そのあるべき姿とありうる姿を問われる建築家像 職業者としての建築家	鬼頭 梓	〃	〃
特集 人間の理解と建築—環境心理・環境行動研究の広がり 人と都市との関係をデザインする—都市における人の居方	鈴木 毅	〃	〃	特集 建築家・そのあるべき姿とありうる姿を問われる建築家像 阪神大震災における活動状況から	藤田 邦昭	〃	〃
特集 人間の理解と建築—環境心理・環境行動研究の広がり 子供の心をはぐくむ環境	南 博文	〃	〃	特集 建築家・そのあるべき姿とありうる姿を問われる建築家像 国際的プロジェクトの参加経験から学ぶ	中島 隆	〃	〃
特集 人間の理解と建築—環境心理・環境行動研究の広がり 場所づくりと建築	富田 令子	〃	〃				
特集 人間の理解と建築—環境心理・環境行動研究の広がり IAPS 人間—環境研究と建築	SUE—ANN・LEE	〃	〃				

特集 建築家・そのあるべき姿とありう る姿—問われる建築 家像 “建築家”は、 いなくてよいか	林 昌二	“	“	記念シンポジウム 近代化遺産と産業建 築 報告1	清水 真一	“	“
特集 建築家・そのあるべき姿とありう る姿—問われる建築 家像 自ら立ち、自 ら行者	東 孝光	“	“	記念シンポジウム 近代化遺産と産業建 築 報告2	馬場 俊介	“	“
特集 建築家・そのあるべき姿とありう る姿—問われる建築 家像 日本には“建 築家”は存在しない	杉浦登志彦	“	“	記念シンポジウム 近代化遺産と産業建 築 報告3	佐々木 享	“	“
所変われば 自然と フィンランド人	田中 雅美	“	“	阪神大震災と木造建 築被害	飛田太一郎	史迹と美術	658
空間認知の研究は新 しい建築計画学を構 築できるか	土肥 博至	“	1375	総合病院のアート・ プランニング	竹内 成志	多摩美術 大学研究 紀要	10
兵庫県南部地震緊急 報告 学校建築の被害 について	中埜 良昭	“	1376	建築古事記〔ドロー イング・メモ〕	毛綱 毅曠	“	“
所変われば メソポ タミア転々	岡田 保良	“	“	水路における「親水 空間」デザインの手 法	渡部 一二	“	“
日本建築学会賞(論文) 住宅・住宅地に関 する建築計画的研 究	服部 岑	“	“	都市に於ける住環境 のデザイン	山中玄三郎	“	“
特集 兵庫県南部地 震の被害 住宅内部 空間における被害	北浦かほる	“	1377	建築の過去・現在・ 未来 和泉正哲教授 最終講義	和泉 正哲	東北大学 建築学報	34
特集 兵庫県南部地 震の被害 歴史的建 造物の被害	谷 直樹	“	“	「虚・実の空間」松 本啓俊教授最終講義		“	“
所変われば メキシ コ 滞在期(1993— 1995)	室田 達郎	“	“	実地における都市の 色彩評価に関する研 究	稲垣 卓造	日本建築 学会論文 報告集	467
地方文化と建築	藤井 恵介	“	1378	J.N.L. デュランの 模倣概念について 都市建築における沈 澱された意味の蘇生 とその脱構築(1)	松政 貞治	“	469
所変われば 何と言 ったらいいのか— ラジルに住んで	上原 惇彦	“	1379	現代日本の住宅作品 における外部空間の 分節と統合 住宅建 築の構成形式に関す る研究	塚本 由晴 繁昌 朗 坂本 一成	“	470
特集 シミュレーシ ョンとイメージネー ション 建築設計にお けるシミュレーシ ョンの光と影	宮下 潔	“	1381	透かしにおける2つ の視知覚タイプ 透 かしの視覚的心理効 果の研究(その1)	北浦かほる	“	“
特集 シミュレーシ ョンとイメージネー ション ホールの音場 のシミュレーション	坪井 政義	“	“	小学校校歌に謳われ た全国の地域景観イ メージに関する研究	矢部 恒彦 北原 理雄 徳山 郁芳	“	472
特集 シミュレーシ ョンとイメージネー ション 建築における VRシミュレーシ ョン	野村 淳二	“	“	「好きな景観」写真展 にみる景観読解過程 と景観タイプ	平尾 和洋 宮嶋 聡 川崎 清	“	“
所変われば ドイツ にて	水島 信	“	“	フィリベール・ド・ ロルムの宇宙と建築 についての思想 『建築第一巻』読者 への序文』の考察	田路 貴浩	“	473
会員フォーラム 学 術と技術	内田 祥哉	“	“	映像による建築、情 報が重層的に生き生 きと	(若) 朝 日	“	3.8
記念シンポジウム 近代化遺産と産業建 築		建築史学	25	アジア建築、成熟へ の夜明け 高層、身 近な建材と	村松 伸	“	11.30
				辛口建築批評 「脱 ・内輪」企画の存亡 に注目	(若) 朝日夕刊	“	4.18

平成7年定期刊行物所載文献(建)

オウムの建築 生活秩序への無関心を反映	〃	〃	6.19	特集 「施設」の意味を問う 日本刑務所	山田 喜一	建築雑誌	1370
廃虚のような礼拝堂を修復、作品化	立川 正憲	〃	8.5	特集 「施設」の意味を問う 脱施設化の試みー児童養護施設・東京サレジオ学園の場合	藤木 隆男	〃	〃
媒介としての建築 光や素材生かしイメージ生産	(若)	〃	10.17	特集 「施設」の意味を問う 施設としての学校、機関としての学校	上野 淳	〃	〃
街の色は時代の鏡 建物バブルの派手さ消える 『冷たい質感』から『人肌の温度』へ		東京	7.13	特集 「施設」の意味を問う 滞在型図書館	植松 貞夫	〃	〃
ガレキからの創造ー震災の文化風景5 デザイン越え社会性視野に		日 経	7.15	特集 ゆらぎの中の家族とnLDK 戦後50年の日本の住宅	山田 初江 松川 淳子 後藤 眞理子 渡辺 武信 布野 修司	〃	1371
人間のための建築 風土、環境、歴史、民族性の再考を	尾嶋 彰	毎日夕刊	3.13	特集 ゆらぎの中の家族とnLDK 日本の近代住宅の成立とその展開	岡 俊江	〃	〃
歴史的建物の修復 行政の支援が必要	小泉 清	読 売	4.12	特集 ゆらぎの中の家族とnLDK もうひとつの戦後住宅史ー日本の住宅型の特性	伊藤 裕久	〃	〃
検証世界都市博 政治に揺れる国際イベント		〃	5.9	50年前の日本の住宅	布野 修司	〃	〃
大震災と建築 上 安全性一辺倒には問題も	飯島 洋一	読売夕刊	3.6	特集 人間の理解と建築ー環境心理・環境行動研究の広がり 北米における建築のための環境行動研究の最近の動向	GARY T・MOORE	〃	1373
建築季評 不可解さ募る手順、経過 埼玉アリーナ国際コンペ 内容より施業者を重視?	鈴木 博之	〃	4.13	特集 人間の理解と建築ー環境心理・環境行動研究の広がり オーストラリアにおける人間ー環境研究と建築	JON・LANG	〃	〃
田中優子の平成問答 都市の高層 上	田中 優子 伊藤 豊雄	〃	7.17	特集 戦後建築をつくった人々 都市の狭間の50年	高山 英華 (聞き手) 南條 道昌	〃	1376
解放的で多様な空間 柔らかな都市のイメージ	飯島 洋一	〃	7.31	特集 戦後建築をつくった人々 近代の背骨ー戦争と現代が失ったもの	太田博太郎 (聞き手) 松崎 照明	〃	〃
ダム建設と広大な空き地公園計画 提案への学習・検討過程が重要	岡崎乾二郎	〃	〃	特集 戦後建築をつくった人々 土木と建築の融和を目指して	横尾 義貫 (聞き手) 井上 一朗	〃	〃
<b>建 築 史</b>				特集 戦後建築をつくった人々 変貌する建設産業	佐古 一 (聞き手) 布野 修司	〃	〃
次代を展望した都市環境 ラ・デファンヌ	樋口正一郎	アイデア	248	特集 戦後建築をつくった人々 人間工学と建築をつないだバイオニア	小原 二郎 (聞き手) 本杉 省三	〃	〃
公共事業の新しい方向性 ミュンヘン空港	〃	〃	249	特集 戦後建築をつくった人々 建築計画学の草創期とその後	吉武 泰水 (聞き手) 上野 淳	〃	〃
戦後50年の住まいの変遷第1回	伊藤 公文	AXIS	56				
田園調布の家(大川邸)		江戸東京 園だより	6				
特集 三島由紀夫の耽美世界 第一部 三島由紀夫の「美的生活」 三島邸	(編)	芸術新潮	552				
討伐支配の文法 大東亜共栄圏建築史序説	村松 伸	現代思想	23-10				

特集 戦後建築をつくった人々 私のあしあと	井上 宇市 (聞き手) 野原 文男	"	"	生活者に立脚した地域公共施設の建築計画に関する一連の研究	上野 淳	"	"	
特集 戦後建築をつくった人々 建築環境工学の成り立ち・命名・展開	斎藤 平蔵 (聞き手) 西出 和彦	"	"	塔の家から阿佐ヶ谷の家に至る一連の都市型住宅	東 孝光	"	"	
特集 戦後建築をつくった人々 戦渦の中から	松井 源吾 (聞き手) 川口 健一	"	"	リアスアーク美術館	石山 修武	"	"	
特集 戦後建築をつくった人々 鉄骨人生	藤本 盛久 (聞き手) 和田 章	"	"	熊本県宮竜蛇平団地	元倉 眞琴	"	"	
特集 戦後建築をつくった人々 トフィロソフィーを持つ組織をめざして	池田 武邦 (聞き手) 渡辺 武信	"	"	関西国際空港旅客ターミナルビル	岡部 憲明	"	"	
特集 戦後建築をつくった人々 近代建築史	松村貞次郎 (聞き手) 初田 亨	"	"	生活工房 サッポロファクトリーの建設プロジェクト	福士 勝夫	"	"	
特集 戦後建築をつくった人々 木質構造と共に	杉山 英男 (聞き手) 納賀 雄嗣	"	"	関西国際空港 旅客ターミナルビルのプロジェクト推進と設計監理	佐々木 洋	"	"	
特集 戦後建築をつくった人々 構法計画という視点からの建築設計	内田 祥哉 (聞き手) 眞鍋 恒博	"	"	日本建築学会賞(論文)日本近代都市計画の成立過程に関する研究	渡辺 俊一	"	"	
特集 戦後建築をつくった人々 伝統論やメタポリズムの周辺	川添 登 (聞き手) 長谷川 堯	"	"	おらが町のドームコンベ現象	南條 道昌	"	1378	
特集 戦後建築をつくった人々 構造設計45年	木村 俊彦 (聞き手) 竹内 徹	"	"	シシマド考 東京都稲城市森茂夫家住宅の調査より	平山 育男 山崎 弘 御船 達雄	"	"	25
特集 戦後建築をつくった人々 設計を始めたころ	菊竹 清訓 (聞き手) 山本 理顕	"	"	昭和の木造五重塔(六)~(十)	吉田 実	史迹と美術	651~ 653、 657、660	
特集 戦後建築をつくった人々 ファンズワース邸	林 雅子 (聞き手) 斎藤 孝彦	"	"	重要文化財 旧花田家番屋	中西 亨	"	659	
特集 戦後建築をつくった人々 日本住宅史という研究領域の確立	平井 聖 (聞き手) 川向 正人	"	"	現代建築論序説 ポスト・モダニズムの諸相と建築の未来	磯野 英生	成安造形 大学研究 紀要	2	
特集 戦後建築をつくった人々 女性研究者の50年	小川 信子 (聞き手) 横山ゆりか	"	"	建築にみる「戦後」概念の風化	松葉 一清	戦後文化の軌跡 1945— 1995図録 (目黒区 美術館)		
特集 戦後建築をつくった人々 民間開発事業の発展	尾崎 一雄 (聞き手) 長澤 泰	"	"	大空にはばたく鳥のように一柚木武蔵野幼稚園	山下 泉	多摩美術 大学研究 紀要	10	
特集 戦後建築をつくった人々 戦後の住宅行政、都市建築行政	蓑原 敬 (聞き手) 在塚 礼子	"	"	光のモザイク—日本基督教団ひばりが丘協会	田淵 論	"	"	
特集 戦後建築をつくった人々 「物語」として読む戦後建築50年—編集委員会幹事会による一つのガイドライン	渡辺 武信 長澤 泰 斎藤 孝彦 和田 章 長谷川 堯	"	"	劇場の研究(1)—今日の日本の劇場・芝居小屋と先端劇場	福島 勝則	"	"	
1995年日本建築学会日本建築学会大賞 日本近代建築史研究による建築発展への貢献	村松貞次郎	"	"	福岡市内の西洋館	編集部	淡 交	593	
				大河内伝次郎の「滴水庵」(大河内山荘)	"	"	596	
				伊藤左千夫の「唯真閣」(成東町歴史民俗資料館)	"	"	600	
				吉川英治の茶室(吉川英治記念館)	"	"	603	
				埋もれたデザイン再発見 虚構の可能性をも追求したポストモダンのアーキテクチュア	植田 実	デザインの現場	77	

平成7年定期刊行物所載文献(建)

紙管を主体構造としたいくつかの建築のかたち	鈴木 紀慶	〃	79	大正デモクラシー期の『婦人之友』誌にみる住宅改善 各室の起居様式と住宅の様式	久保加津代	〃	〃
古写真にみる仙台の建築	飯淵 康一 永井 康雄 中田 正三 佐藤 功泉 坂田 泉	東北大学 建築学報	34	八事丘陵地における住宅地の形成過程とその空間的特質について 近代名古屋における郊外住宅地開発(2)	堀田 典裕	〃	〃
遠山邸見学始	久保木彰一	遠山記念館だより	8	ホールにおける催事ジャンルの構成からみた文化ホール類型文化ホールの地域的整備に関する研究	小野田 泰 明松本 啓俊 菅野 實	〃	472
明治20年代の我が国の家政教育分野における住宅の衛生面を改良する計画論上の試みについて 衛生面からみた住宅の平面計画に関する史的 研究 その2	宮崎 信行 青木 正夫	日本建築学会 計画報告集	467	明治前期奈良県下の小学校校舎をめぐる動向—小学校校舎の地方史 1—	大場 修 荒井 麻理	〃	473
新潟の町屋における空間構成の特徴とそのしくみ—高田・白根・栃尾の「ヒアワイ」「ダシアイ」「クイアワセ」の使われ方と共用のしくみ—	西村 伸也 廣江 真治 千々岩 佳弘	〃	〃	宮大工の技能修得過程の分析—宮大工の技能に関する調査研究 その1—	中島 正夫 神山 幸弘	〃	476
距離による高層建築ファサードの見えの変化に関する研究	張 奕文 近藤 正彦 藤瀬 幸滋 若山 直司 早山 松本	〃	468	夏目漱石の作品の中の建築の研究—舞台空間の推移からみた作品の類型について—	若山 滋 張 奕文 渡辺 孝一	〃	〃
近代都市計画初期における1919年都市計画法第12条認可土地区画整理による市街地開発に関する研究—東京、大阪、神戸の比較を通して—	鶴田 佳子 佐藤 圭二	〃	470	大正11年「改善住宅展覧会」と住宅地「新鎌倉」の住宅遺構に見る大船田園都市株式会社田園住宅像について	藤谷 陽悦	〃	〃
『丸之内紳士録』大正11年版・大正15年版・昭和6年版に掲載された高級社員の居住地分布に見られる特徴—大正末期から昭和初期における東京の中産階級の居住地に関する研究—	藤岡 洋保 今藤 啓	〃	〃	木造遺構よりみた朝鮮高麗朝建築の様式に関する一考察	片桐 正夫	〃	〃
城下町都市における戦前の風致地区の指定にみる都市づくり上の風致地区の位置づけと役割	中野 勝利	〃	471	現代日本の住宅作品における空間の分割住宅建築の構成形式に関する研究	塚本 由晴 坂本 一成	〃	478
日本銀行小樽支店(明治45年)の主要構造と仕様	駒木 定正	〃	〃	夏目漱石の前期の長編小説の舞台となる建築空間の「意味」	若山 滋 張 奕文 渡辺 孝一	〃	〃
近代住空間の形成—大阪・三越住宅建築部と岡田孝男の活動—	牧田 知子	〃	〃	道徳地区の形成過程とその空間的特質について 近代名古屋における郊外住宅地開発(3)	堀田 典裕	〃	〃
				北尾春道の著作にみる特徴とその性格—『数寄屋聚成』とその時代背景—	大川 三雄	〃	〃
				小説『細雪』にみられる建築的事象について	藤原 学	〃	〃
				バウハウスの建築	クリスティ アン・ヴォ ルスドルフ	バウハウス 展図録 (セゾン 美術館)	



風景式庭園における中国思想の影響 ベルリッツ庭園と小石川後楽園の比較	五島 聖子	美学	183	消える明大記念館で来月、さよならイベント。OBから集めオークション収益は震災義援金に	〃	10.21
建築探偵ぶらり旅4 名古屋の巨大な給水塔	藤森 照信	フォト	5.15	「明治魂」の象徴姿消す(明治)大学記念館取り壊しへ	サンケイ	9.3
建築探偵ぶらり旅14 「逸翁」、日本のユニカーとなる	〃	〃	10.15	「えべっさん」修復終わりエビス顔(西宮神社)	〃	10.21
建築探偵ぶらり旅17 何の姿替もない建物	〃	〃	12.1	JR東京駅の保存、復元呼びかける 赤レンガの駅舎創建当時の姿に	〃	11.15
どうして司法省はあそこに建ったか	〃	文化財(月刊)	376	時を超え「明治の風」再び 法務省旧本館	大塚 昌吾	11.26
法務省旧本館「赤レンガ棟」	小峰 信	〃	〃	「重厚」「頑丈」な丸ビルに迫る(丸ノ内ビルディング建て替え)	嶋田 昭浩	東京 12.13
明治村の鉄道施設 六郷川鉄橋	西尾 雅敏	明治村だより	1	京成線博物館動物園駅 アート空間として利用へ 芸術家グループが模索	〃	3.5
鉄道寮新橋工場・機械館と鉄道局新橋工場	中浜 寿治	〃	〃	異人館ピンチ 修復進む一方5館廃館に	〃	3.8
森歐外・夏目漱石住宅	〃	〃	〃	白雲なびく駿河台明大記念館消える 今日「お別れコンサート」 11月解体67歳、老朽化ひどく	〃	7.2
特集 マニエリスムの現在 既視のボルマツォ	安藤 哲行	ユリイカ	27-2	未来都市の再検討 ポートアイランドの行方は	梅原 猛	東京夕刊 1.30
特集 マニエリスムの現在 呼吸論一酸素をめぐるマニエリスムの建築	飯島 洋一	〃	〃	洋風建築再建ピンチ 復元に多額の費用	日 経	1.26
自衛隊市ヶ谷の一号館取り壊し 磯崎氏ら保存要望	〃	朝 日	1.14	神戸・異人館5 洋館の再建断念、修理費用負担できず	〃	3.7
合掌造り集落 世界遺産登録へ 目玉は宿泊可	白井 昭仁 永田 稔 大脇 和昭	〃	12.6	能楽堂建築「アドバイスします」 観世、宝生流宗家と建築界が研究会 安易な「国立」模範批判	毎日	8.25
家光の側室祭の霊廟 復元され公開	〃	〃	10.18	旧川喜多邸を一般公開	〃	9.27
23年も「奇贈」宙に 青梅津雲家住宅 口約束で市費改修	〃	〃	12.12	よみがえれ《岡本の家》 阪神大震災で倒壊した旧谷崎邸	たつみ都志	毎日夕刊 4.6
消えゆく陪審法廷 横浜地裁「特号法廷」 京都地裁「15号法廷」	〃	朝日夕刊	1.10	ちよだ景観大賞に「赤レンガ棟」(法務省旧本館)、「界限賞」築土神社など5点	読 売(都民版)	3.25
異人街無残な姿、再建の道はるか一復元費用、個人にズシリ	〃	〃	2.7	建築季評 住人の余香が旧宅の魅力	鈴木 博之	読売夕刊 10.30
白川の合掌造り民家 移築時に技術を記録	〃	〃	4.14	谷口吉生「葛西臨海公園展望広場レストハウス」 ガラスの箱に演劇的な仕掛け	飯島 洋一	〃 11.14
同潤会アパート 築70年、風格健在	〃	〃	7.27	建築 空間の暖かなふくらみ、坂茂の「紙の教会」	〃	〃 12.8
桂離宮庭園CGで化粧直し	〃	〃	12.6			
スポット 心落ちつく重厚な洋館	〃	〃	2.9			
歴史の厚み持つ神戸「更新」よりも「補修」	藤森 照信	〃	5.17			
東京探見 旧古河庭園	石井 庸雄	〃	5.26			

「ライトコンストラクション展」の先端性 繊細さ目立つ建物“外皮”	妹島 和世	〃	12.21	フィリピン大学の建築教育を思い出して	ERWIN S・VIRAY	〃	〃
巨大災害にもろい現代都市 阪神大震災あまりに貧しい基本的な対応「都市群」の視点必要	多木 浩二	〃	1.26	1995年度 日本建築学会大会(北海道) 建築資格からみた建築教育	山田 弘康	〃	1375
日本一のかやぶき「平成大修理」 岩手・正法寺	〃	〃	3.2	特集 戦後建築をつくった人々 建築教育と計画研究	鈴木 成文 聞き手 初見 学	〃	1376
全壊の「旧神戸居留地十五番館」 復元、重文継続へ	〃	〃	4.12	ハーバード大学の建築教育	井上 博章	〃	〃
地域の「歴史」へ確たる目 大谷幸夫「千葉市立美術館・中央区役所」	飯島 洋一	〃	6.7	AAスクールの建築教育と創造性に関する設計プロセス	連 健夫	〃	1377
異人館街復興1億円募金 大震災被害神戸っ子動く	〃	〃	6.20	小・中・高校までの建築・住教育の現状と課題	小澤紀美子	〃	1378
明大のシンボル67年の歴史に幕 神田駿河台の記念館 老朽化に勝てず 今秋取り壊し 98年には30階建てビルに	〃	〃	7.1	特集 建築の学び方 独学とは	安藤 忠雄 聞き手 編集委員会	〃	1379
建築季評 建設急ぎ過ぎて荒涼感 都市博中止のテレレポート タウン	鈴木 博之	〃	7.3	特集 建築の学び方 三年前の事	渋沢美千枝	〃	〃
				特集 建築の学び方 専門学校で建築を学ぶ	向坂 暁美	〃	〃
				特集 建築の学び方 建築を学ぶ	谷口 吉生	〃	〃
				特集 建築の学び方 学士入学で建築に	林 玲子	〃	〃
				特集 建築の学び方 建築の見え方	坂本 雄三	〃	〃
				特集 建築の学び方 土木から建築に進んで学んだこと一空間	水野 弘之	〃	〃
				特集 建築の学び方 アメリカで土木の構造を学ぶ	小谷 俊介	〃	〃
				特集 建築の学び方 フランスで建築史を	坊城 俊成	〃	〃
				特集 建築の学び方 マッキントッシュ・スクールで学んだこと	木村 博昭	〃	〃
				特集 建築の学び方 ニュージーランドで環境共生住宅を手作りして学ぶ	桜井 美政	〃	〃
				特集 建築の学び方 デンマークで温感工学をーデンマークで学んだこと	持田 徹	〃	〃
				特集 建築の学び方 中国の天空と大地の景観から	宮沢 秀治	〃	〃
				特集 建築の学び方 土着の伝統に学ぶ	山本 長水	〃	〃
				特集 建築の学び方 dreaming	Nancy・Finley	〃	〃
				特集 建築の学び方 建築・都市・文化と行政	栗原 勝	〃	〃
<b>建築教育</b>							
20年後もその階段をのぼれますか?ーアンドリュウ・ウォーカーの提唱するエンバイロメンタル・アクセス	森山 優子 木越由美子	AXIS	58				
オーストリアの建築教育について	Christa・Buchiuger	建築雑誌	1367				
東南大学における建築教育	王 潔	〃	1370				
低地オランダとオランダ国立デルフト工科大学	石田 壽一	〃	1371				
タイの建築教育のゆくえ	Kulapat・Yantrasast	〃	1372				
韓国の建築教育の現状	崔 臺	〃	1373				
特集 建築家・そのあるべき姿とありうる姿ー問われる建築家像 私が考える建築家教育	穂積 信夫	〃	1374				
特集 建築家・そのあるべき姿とありうる姿ー問われる建築家像 わたしが実践している建築家教育	上田 篤	〃	〃				

特集 建築の学び方 建築はどうやって学 ばれてきたのか 西 洋古代における建築 の学ばれ方—古代ギ リシアの場合	伊藤 重剛	〃	〃	戦後50年記念大特集 カンヴァスが証す画 家たちの「戦争」第 一部 それぞれの 「戦争と私」「わし にゃ戦争画は描けん」 —そう言うって画 家は戦場へ行った 鬚光			芸術新潮	548
特集 建築の学び方 建築はどうやって学 ばれてきたのか 建 築教育の普遍性と個 別性—フランスの建 築アカデミーの場合	土居 義岳	〃	〃	特集 絵で読む家族 の肖像 父の肖像・ 母の肖像 父の顔 鬚光	(編)	〃	〃	549
特集 建築の学び方 建築はどうやって学 ばれてきたのか ゴ シックにおける建築 の学ばれ方	谷川 康信	〃	〃	特集 絵で読む家族 の肖像 兄弟姉妹の 複雑な関係 妹の力 鬚光	〃	〃	〃	〃
特集 建築の学び方 建築はどうやって学 ばれてきたのか ヴィクトリア朝の建 築の学ばれ方—ス キャンダルを通じて	佐藤 彰	〃	〃	鬚光と東洋画の表現	江川 佳秀	美術史研 究		33
特集 建築の学び方 建築はどうやって学 ばれてきたのか 工 部大学校の建築教育	清水 慶一	〃	〃	美の故郷 不安の時 代の画家たち 日本 の前衛絵画(中) 鬚 光、内なる真実に眼 自画像”遺書”に応召	浦田 憲治	日 経		12. 17
ケンブリッジ大学建 築学部	Kevin・ Nute	〃	〃	追悼 精巧なアプス トラクトと職人気質 泉茂	鬚 嘸	美術手帖		709
建築を通してみた21 世紀の国スリランカ	Priyantha ・Serasi- nghe	〃	1381	ニューヨーカー人旅	相笠 昌義	相笠昌義 展 図録 (ギャル リ—ユマ ニテ東 京)		
AAスクールの建築 教育の実際	田澤 年美 原平山 達 草深幸司 山下泉 田淵諭 連 健夫	多摩美術 大学研究 紀要	10	追悼 牧田喜義氏	〃	新美術新 聞		750
作家				駅にて・冬場(油彩 画)	〃	多摩美術 大学研究 紀要		10
日本				特集 芸術家になり たい! サヴァイヴァ ル予習編 無意識を 意識して	合田佐和子	美術手帖		705
(ア)				特集 変身 変身七 態その4 会田誠	〃	〃		708
鬚嘸新作版画『Cage mix』インタビュー		版画芸術	87	中山道を3万メー トルの絵巻物に “平 成の浮世絵”完成を 目指す合田芳弘・美 恵子夫妻		新美術新 聞		731
レインボー・ワール ドへようこそ!	鬚嘸インタ ビュー	美術手帖	708	蝦子さんの遺作展に 寄せて 親密を超え る志の高さ	相原求一朗	絵		373
特集 映画と美術の 100年 アンケー ト:マイ・フェイ ヴァリット・フィル ム	鬚 嘸	〃	713	情熱の人(大國章夫)	〃	〃		381
鬚光をめぐるって	三木 多聞	鬚光展 揺れ動く 時代の痕 跡 図録 (徳島県 立近代美 術館)		アトリエの扉を開け て10 相原健二 テ クニックと発想で画 材を生かす	中島 優子	デザインの 現場		77
鬚光とその周辺	江川 佳秀	〃		特集 絵で読む家族 の肖像 子供のいる 場所 青木繁	(編)	芸術新潮		549
				日本武尊 青木繁筆	古田 亮	国立博物 館ニュー ス		575

平成7年定期刊行物所載文献(作ア)

ロイユ・デ・ボザール68 青木繁VSフランツ・フォン・シュトゥック		美術の窓	152	赤瀬川原平の路上観察学	吉本 隆明	〃	
				あの頃の赤瀬川原平	呉 智英	〃	
				美学学校・考現学	山田 諭	〃	
彫刻の新たな透明性：鳥籠に産み落とされた卵に宿る光としての・・・。	清水 哲朗	青木野枝展(アキケイギヤラー)		赤瀬川さんが考現学に興味をもったワケ	南 伸坊	〃	
		TOSA-TOSA'95		へこんだ中心	松田 哲夫	〃	
		ールの時		尾辻克彦	山田 諭	〃	
§作家の言葉§	青木 野枝	代一美術展(高知県立美術館)		『肌ざわり』のころ	丸谷 才一	〃	
		のノイズ・ミック展(高知県立美術館)		ゲンペーさんという釣り人	村松 友視	〃	
《青木野枝》	谷 新	〃		トマソン路上観察学	山田 諭	〃	
				路上観察の頃	藤森 照信	〃	
色彩の魔術師—青山義雄	匠 秀夫	青山義雄展(茨城県近代美術館)		超珍本だ！買わないか	榎野 八束	〃	
				ライカ同盟	山田 諭	〃	
幻と現実、二つの光につつまれて	小泉 淳一	〃		種まき怪人の栄光	秋山祐徳太子	〃	
日本美術著作権機構の発足にあたって	赤穴 宏	連 盟 ニュース	362	写真化・赤瀬川原平	高梨 豊	〃	
							映像工 館展— イマ ジネ ーの シヨ ン の 表 現 図 録 (東 京 都 写 真 美 術 館)
一寸先は闇	赤瀬川克彦	赤瀬川原平の冒険展(脳内リゾート開発) (名古屋美術館)		「立体視」について	赤瀬川原平		
				特集 20世紀を決定した「眼」 20世紀の、そして私自身のヴィジュアル・シヨック 見えないものが無くなってしまふ恐怖		〃	芸術新潮 541
メービウスの帯の肌ざわり『赤瀬川原平の冒険』展に寄せて	種村 季弘	〃		特集 絵で読む家族の肖像 一枚の絵から考える<家族> モデル料のいらぬ家族		〃	〃 549
赤瀬川克彦	山田 諭	〃		「ハイ・レッド・センター」復活！？、「赤瀬川原平の冒険」連続鼎談	(白)	新美術新聞	725
サイナラ合戦	雪野 恭弘	〃		ヨーロッパの“異端児”ハンガリーが花開かせた異色の世紀末芸術	赤地 経夫	芸術新潮	550
ゲゲゲの鬼太郎みたいな・・・	岩田 信市	〃		座談会 新作家展のこれからについて	赤塚 徹 本田久一郎 瀧 悌三 中野 淳	美術の窓	146
ネオ・ダダ	山田 諭	〃		赤塚祐二 瞬間にさぐるかたち	編 集 部	版画芸術	87
少年の心が裸で路上に転がっている	吉村 益信	〃		特集 快樂絵画 なにかに見えそうで見えないもの	赤塚 祐二	美術手帖	709
あの頃の赤瀬川原平	風倉 匠	〃		特集 「版画」の現在地点	赤星 啓介	版画芸術	88
ハイレッドセンター	山田 諭	〃					
赤瀬川原平の体の中を降りてゆく	中西 夏之	〃					
赤瀬川原平—出会いとハイレッド・センターのことなど	高松 次郎	〃					
千円札裁判	山田 諭	〃					
千円札裁判について	刀根 康尚	〃					
赤瀬川原平の奇想『櫻画報』	山田 諭	〃					

本年度審査員による座談会「二十七回日展に夢をかける」	赤堀小西村川崎村立藤西村他	郁啓介 倫麻省義明祐一	日 展 ニ ュ ー ス	78	第13回宮本三郎記念賞 麻田浩氏に決まる		新聞美術新	730
名画再読<夜汽車>赤松麟作	芥川 喜好	読 売		11.12	第13回宮本三郎記念賞を受賞した麻田浩さん	(美)	“	743
TRENDS	秋田 道夫	AXIS		54	特集 写楽と現代グラフィックス 映画「写楽」とアートディレクション 浅葉克己氏へのインタビュー	山下 美幸 構成	アイデア	249
HAPPY NEW DESIGN ーいま気になるクリエイターたち「家具」秋山公男一人といっしょに変化する家具	青井 裕子	デザインの現場		74	平成六年度新収蔵作品Ⅰ(東京国立近代美術館) 浅原清隆<郷愁><多感な地上>について	大谷 省吾	現代の眼	488
種まき怪人の栄光	秋山祐徳太子	赤瀬川原平の冒険展「脳内リゾート」開戦(名古屋美術館)			特集 「版画」の現在 地点 西日本編	朝日 みお	版画芸術	90
追悼 牧田喜義氏	“	新美術新聞		750	TRENDS	阿佐見昭彦	AXIS	54
小田原からはじまる	原田 光	朝井閑右衛門画家と文人の集った街(松永記念館)			近代の陶芸家たち 浅見隆三	中ノ堂一信	茶道雑誌	59-12
特集 絵で読む家族の肖像 家族が死ぬとき 戦争が届けた死 朝井閑右衛門	(編)	芸術新潮		549	わたしのかたち 土の包容力	味岡伸太郎	版画芸術	87
私の好きな作品 [ポール・ゴーギャン]	浅井 慎平	RGB		20	蘆原英了の思い出	芦原 義信	1920年代の巴里より展 島理一郎、ゴンチャロフ、オーロラギヤとそノアーティスト達(資生堂ギャラリー)	
道草	浅井 素堂	新美術新聞		735	画家の創造したヴィジョン 風景 混沌からのスタート	東 儀一	美術の窓	151
特集 絵で読む家族の肖像 父の肖像・母の肖像 母の顔 浅井忠	(編)	芸術新潮		549	アトリエの画家たち 7 畦地拓治		版画芸術	88
近代日本美術家列伝 23 浅井忠	橋 秀文	美術手帖		712	特集 絵で読む家族の肖像 子供のいる場所 麻生三郎	(編)	芸術新潮	549
浅井忠への旅ーグレー村の日本近代洋画史	高橋 在久	文化財(月刊)		378	戦後50年記念大特集 カンヴァスが証す画家たちの「戦争」 第二部グラフ これが戦争画だ 描かれた戦争の「幕間」 安達真太郎	“	“	548
朝倉文夫の茶室(台東区立朝倉彫塑館)	村山 万介	淡 交		593	超現実主義と機械主義のはざまー古賀春江、阿部金剛、東郷青児	大谷 省吾	芸 叢	11
朝倉力男の画業	佐藤由美加	朝倉力男展一生の刻印(雪景の譜図録(北海道立旭川美術館))			アンケート 自由美術的なもの	阿部 早苗	自由美術	'95
「雪の画家 朝倉力男」を偲んで	高橋 洋	“						

		VOCA 展'95「現 代美術の 展望—新 しい平面 の作家た ち」図録 (上野の 森美術 館)		特集 有元利夫伝説 特別対談 米倉守V S有元容子		”	”
§ 阿部千佳世 §	松村 壽雄			特集 有元利夫伝説 パートナー礼賛	有元 利夫	”	”
				ぼくの空想コレク ション204話 有森 正	秋山 和歩	美術 (月刊)	238
日刀保たたら村の村下 阿部由蔵さん逝去		刀剣美術	465	特集 20世紀を決定 した「眼」 20世紀 の、そして私自身の ヴィジュアル・ ショック 私を開眼 させた白粉	粟津 潔	芸術新潮	541
新芸術院会員決まる 独立美術から19年ぶ り芝田(米三)氏(洋 画)、初の昭和世代 の雨宮(敏子)氏(彫 塑)		美術 (月刊)	232	追悼・粟辻博—ジャ パニーズテキスタイル の先駆者	富士栄良治	デザインの 現場	77
画家・彫刻家の創造 したヴィジョン 女 女性の中の聖性・雨 宮敏子		美術の窓	150	画家の創造したヴィ ジョン 風景 ジャ ズのように・安藤心 象	編 集 部	美術の窓	151
第4回URBANAR T 大賞にAYA- NORI氏		新美術新 聞	752	美術界つれづれなる ままに69 安藤忠雄 とアンソニー・カロ	野村 良平	アートマ インド	83
画家・彫刻家の創造 したヴィジョン 顔 ロマネスク的な顔・ 荒井明照		美術の窓	150	特集 20世紀を決定 した「眼」 20世紀 の、そして私自身の ヴィジュアル・ ショック 残忍な壁 と優しい壁	安藤 忠雄	芸術新潮	541
アキレウスと亀	荒井 伸佳	明星大学 研究紀要	3	未来を志向するカロ さんの作品に、どれ だけ僕が挑発できる かと。	安藤 忠雄	美術手帖	712
荒川修作の「油断の ならない」公園		芸術新潮	551	特集 「方法」をめ ぐって アンケート	安藤 泰彦	Lady's Slipper	2
館藏品紹介 荒川修 作	加須屋明子	国立国際 美術館月 報	29	故 安保健二氏 弔 辞	北岡 文雄	連 盟 ニュー ス	360
近代の陶芸家たち 荒川豊蔵	中ノ堂一信	茶道雑誌	59—4				
特集 立体大全 荒 木博志—佐野史郎所 有《KING OF AU- DIO&GOODMAN SPEAKERS》	佐野 史郎	デザインの 現場	75			(イ)	
特集 立体大全 荒 木博志—岡野ハジメ 所有《MARRELL- A BASE》	岡野ハジメ	”	75	東京都写真美術館へ の期待と不安	飯沢耕太郎	新美術新 聞	725
新しくなったサンフ ランシスコ近代美術 館を覗いてみよう	アリガ・K	ギャラリ ー(月刊)	124	画家にできる修復 (1)(2)	飯田 達夫	連盟ニ ュー ス	362、363
特集 有元利夫伝説 見ることと作るこ と	有元 利夫	美術の窓	143	特集 飯田満佐子 絶えることのない向 学心	嶋田 三郎	アートマ インド	77
特集 有元利夫伝説 バロック音楽との 出会い	”	”	”	画家・彫刻家の創造 したヴィジョン イ メージ 自然観・飯 田満佐子		美術の窓	150
特集 有元利夫伝説 私の卒業制作	”	”	”	画家の創造したヴィ ジョン 風景 夢中 で描く	飯田満佐子	”	151
				特集 「版画」の現在 地点 西日本編	飯塚 二郎	版画芸術	90

		飯村隆彦 のメディ ア・イン ー展メ シメ メ ディ ア 総記 (東 京 都 都 立 現 代 美 術 館)		ユーモアと親しみの ある印を制作 池田 耕治さん	墨	114
序論「メタ・メディ ア／飯村隆彦のメ ディア・インスタ レーション」	平方 正昭			求心的であり、遠心 的でもある	池田 丈一 国立国際 美術館月 報	33
				館藏品紹介 池田龍 雄	島 敦彦	31
				赤瀬川原平 あいま いな海のしなやかな 帆かけ舟	池田 龍雄	美術 (月刊) 233
対談：メタ・メディ アは可能か—飯村隆 彦の映像	西村 智弘 飯村 隆彦	〃		陶磁協会の先生たち の思い出(1) 小森 松菴先生	池田 瓢阿 陶 説	502
映画の古事記：ファ ット・マン・ライジ ング(立ち上がる 太った男)—飯村隆 彦とオノ・ヨーコ	オラフ・ム ラー／日笠 千晶訳	〃		陶磁協会の先生たち の思い出(2) 黒田 領治先生	〃	503
『あいうえおん六面 相』—作品ノート	飯村 隆彦	〃		陶磁協会の先生たち の思い出(3) 佐藤 進三先生	〃	504
				高麗茶碗の話(1)	〃	513
彩調と翳りの詩的旋 律—五百住乙人賛	滝 悌三	五百住乙 人油絵展 (三 越)		池田満寿夫《ピカ ソ、太郎、そして満 州》	篠原 弘	アート・ トップ 149
TRENDS	筏 真司	AXIS	54			
特集 20世紀を決定 した「眼」20世紀 の、そして私自身の ヴィジュアル・ショ ック スレックラシ になったワタシ	いがらし みきお	芸術新潮	541	版画制作40周年	池田満寿夫	池田満寿 夫版画展 図録(そ ごう美術 館(横 浜))
自己を定位できる 「場所」・オホーツク への還流	鈴木 正實	居串佳一 展 図録 (北海道 立近代美 術館)		池田満寿夫と版画	小倉 忠夫	〃
居串佳一前期の画業 —北方の幻想を求め て	平 利弘	〃		東京都台東区谷中 池田満寿夫	山田 明子	新美術新 聞 741
網走市立美術館と居 串佳一	河田 由春	〃		特集 遊印ノススメ 遊印と私	池田満寿夫	墨 114
生島覚という画家	速水 豊	姫路市立 美術館だ より	47	木内克大賞に池田宗 弘氏		新美術新 聞 749
画家・彫刻家の創造 したヴィジョン イ メージ 信仰として の山・井口優		美術の窓	150			VOCA 展'95「現 代美術の 展望—新 しい平面 の作家た ち」図録 (上野の 森美術 館)
画家・彫刻家の創造 したヴィジョン 女 薄明の中の裸婦・池 内登		〃	〃	座談会「土の鏡」 具 象の可能性 生駒泰 充、諏訪敦、鍋島正 一、三澤寛志、森田 康雄、山本晴久、吉 岡正人	一井 建二 司会	美術の窓 151
山田修市(故・池内 康) ステンドグラ スを完成させた創意 のリリースョン		ギ ャ ラ リー(月 刊)	124	沖縄からのたより1 伊砂さんと沖縄の海 (伊砂利彦)	永井 信一	新美術新 聞 739
河北倫明氏を悼む 倫雅賞の尊さ	池口 史子	新美術新 聞	751	里見勝蔵先生のこと	井沢 元一	視 る 新美術新 聞 735
アンケート 自己作 品のコピーにオチイ ラヌこと	池田 一末	自由美術	'95	西村西洲先生七回忌 追悼	伊沢 西嶽	
				石井茂雄の作品とそ の背景	石井 陽一	構 造 11

平成7年定期刊行物所載文献(作イ)

LIGHT SCAPE— 2 (写真モニター ジュ)	石井 茂	多摩美術 大学研究 紀要	10	戦後50年記念大特集 カンヴァスが証す画 家たちの「戦争」第 二部グラフ これがる 戦争画だ 輝ける 翼、勇まし空中戦 御厨純一・小野具定 ・石川寅治	(編)	芸術新潮	548
芸術は一片の自然で ある—石井勢津子の 作品についての覚書 き	ベーター・ ゼーツ	石井勢津 子展図録 (高崎市 美術館)					
自然の中のひかり、 ひかりの中の自然	石井勢津子	〃				VOCA 展'95「現 代美術の 展望—新 しい平面 たの作家 たち」図 録(上野 森美術 館)	
画家・彫刻家の創造 したヴィジョン 顔 フィクションの真理 ・石井武夫		美術の窓	150	§ 石川順恵 §	南 雄介		
石井竜也 映画監 督、画家、デザイ ナーそして米米CL UB	関インタビ ュー	AXIS	57	§ 石川順恵 §	谷 新	〃	
松村秀太郎と石井鶴 三—近代彫刻とその 背景—	千田 敬一	松村秀太 郎展図録 (福光美 術館)		アンケート 内側に 貯め込んだものども 近代の陶芸家たち 石黒宗麿	石北 夕美	自由美術	'95
石井康治 手吹きの ガラス 絵画的な美 しさと自然の息吹	成川 實	美術 (月刊)	234	画家の創造したヴィ ジョン 風景 リア ルな描写・石黒京児	(編集部)	美術の窓	151
石井康治 手吹きの ガラス 藤田喬平に 続く手吹きガラス の俊英	(編集部)	〃	〃	『炎と技(陶芸)・心 の眼(絵画)』	石田 閑山 加藤 崇正 高橋 正 編集部 聞き 手	アートマ インド	80
特集・デザイン問 答 インタビ ュー 社会も変われば デザインも変わる? 石 井幸孝 公共事業の 経営にデザインは有 効ですか?		AXIS	55	明治の銅版画師 石 田有年		京都府立 総合資料 館だより	104
特集 アメリカン・ ドリームに賭けた日 本人画家たち 美術 界の野茂たちの軌跡 移民画家のガンバリ とツッパリ 石垣栄 太郎	(編)	芸術新潮	550	画家・彫刻家の創造 したヴィジョン 女 素肌で心情をあらわ す・石本正		美術の窓	150
研究ノオト ニュー ヨークの石垣栄太郎 —《K.K.K.》をめ ぐって—	安來 正博	和歌山県 立近代美 術館ニ ュース	5	見栄のない快適空間 ドラキュラの家—光 の棺桶(石山修武)		AXIS	56
INTEREST 石川 英清	水上 杏平	アートマ インド	77	特集 吉原英雄 サ スペンス・ドラマ 吉原英雄と京都市立 芸大版画教室今昔	吉原 英雄 田中 孝 出原 司	版画芸術	87
書史の変奏1~3	石川 九楊	墨	115~117	追悼 精巧なアブス トラクトと職人気質 泉茂	巖 嘸	美術手帖	711
座談会「第二十七回 日展審査を終えて— 明日への希望—」	石川 坂根 田中三 上横山 木内豊 永井鐵 宇賀神 濱田台 鈴木他	日展ニ ュース	79	CLAY WORK- S IN C- ONTE- MPOR- ARY ART '95 泉 秀憲展図 録(ルナ ミ画廊)	泉 秀憲		
特集 「版画」の現在 地点 西日本編	石川 晃治	版画芸術	90	特集 戦後建築をつ くった人々 私の 1960年代	磯崎 新 (聞き手) 三宅 理一	建築雑誌	1376
				井田照一 存在の <間>のあるメ ディア	編集部イン タビ ュー	版画芸術	90



板谷波山—先駆者としての足跡—	中ノ堂一信	板谷波山展図録(東京国立近代美術館工芸館)	森芳雄氏に聞く	天野 一夫 (聞き手)	伊藤久三 展—透 明なる 叙情と 幻想 図録(O 美術館)		
板谷波山と石川県	寺尾 健一	〃	糸園和三郎氏に聞く	〃	〃		
板谷波山のマジョリカ作品をめぐって	増淵 鏡子	〃	伊藤さんの画業	平野 重光	〃		
『器物図集 巻三』と板谷波山のアール・ヌーヴォー	土田 真紀	〃	伊藤久三郎—その未知のものを訪れ	天野 一夫	〃		
世紀末様式からみた波山陶芸—西洋陶芸との関連から—	荒川 正明	〃	名画再読<振子>伊藤久三郎	芥川 喜好	読 売	12.10	
板谷波山(12) 金沢時代(6)—金沢から東京へ	〃	陶 説	画家・彫刻家の創造したヴィジョン 顔悠久たる像・伊藤勲志		美術の窓	150	
板谷波山の足跡	中ノ堂一信	〃	画家の創造したヴィジョン 風景 ロマンティックな旋律・伊藤正三	(編 集 部)	〃	151	
板谷波山の陶技について	島田 文雄	〃	特集 幻の責め絵師 伊藤晴雨 晴雨傑作選【1】禁断の写真アルバム	(編)	芸術新潮	544	
波山の窯	村田あき子	〃	特集 幻の責め絵師 伊藤晴雨 晴雨傑作選【2】責め絵師・晴雨の真面目	〃	〃	〃	
板谷波山(13) 陶芸家としての出発	荒川 正明	〃	特集 幻の責め絵師 伊藤晴雨 初公開! 晴雨“自画自伝”	〃	〃	〃	
板谷波山(14)—初窯での成功	〃	〃	特集 幻の責め絵師 伊藤晴雨 父・晴雨のこと	伊藤 菊	〃	〃	
板谷波山(15)—青の時代	〃	〃	特集 幻の責め絵師 伊藤晴雨 晴雨傑作選【3】市井の大雑学家	(編)	〃	〃	
板谷波山(16)—葆光彩磁への挑戦	〃	〃	特集 幻の責め絵師 伊藤晴雨 黒縄で結ばれた晴雨と私	望月あえか	〃	〃	
近代陶芸における装飾意匠の改革—板谷波山の作陶を中心に—	〃	美術史	特集 幻の責め絵師 伊藤晴雨 晴雨傑作選【4】晴雨の“百物語”	(編)	〃	〃	
一木淳の書の世界…流れるキュービズム的精神…(補考)	嵯峨 米卿	一木淳の書展図録(秋田立美術館)	アートキャバレー番外編 短期連載第1回 私の伊藤晴雨探究	福富 太郎	〃	〃	
特集 平成7年前期の美術賞とその作品受賞作家インタビュー—日本陶芸展大賞13回 市野雅彦	〃	美術 (月刊)	アートキャバレー番外編 第2回 私の伊藤晴雨探究 縛られたモデルたち	〃	〃	546	
特集 1995年上半期の美術界大研究 受賞作家直撃インタビュー—第13回日本陶芸展大賞・秩父宮賜杯 市野雅彦	〃	美術の窓	アートキャバレー番外編 第3回 私の伊藤晴雨探究 夢とお葉と晴雨 “藪の中”三角関係	〃	〃	547	
ギャラリー・トークから49 抽象と幻想—難波田龍起と一原有徳	越前 俊也	侶 美 以	アートキャバレー番外編 第4回 私の伊藤晴雨探究 晴雨26歳、新聞記者となる	〃	〃	549	
特集 「版画」の現在地点 井出創太郎	井出創太郎	版画芸術					88
特集 吉原英雄 サスペンス・ドラマ 吉原英雄と京都市立芸大版画教室今昔	吉原 英雄 田中 孝司 出原 司	〃					87
特集 「版画」の現在地点 西日本編	出原 司	〃					90

アートキャバレー番外編 第5回 私の伊藤晴雨探究! 晴雨の芝居濱け人生	坪内 晴	550	井上俊郎 個展—シ ェル・ク ロー・景 物図生 ラ (資生 堂ギャ リー)
アートキャバレー番外編 第6回 私の伊藤晴雨探究 禁じられた晴雨の秘画	坪内 晴	551	異郷での出会いの詩 —井上俊郎展
アートキャバレー番外編 第7回 私の伊藤晴雨に憑かれた人々	坪内 晴	552	瀧 悌三
個展の声 展覧会に向けて	伊藤 創 絵	373	工藤 夏子 陶 説 511
馬場(禱男)先生の思い出	伊東 繁特 春 陽	70	京都国立近代美術館所蔵 井上有一作品の意義(一)
デザインが生まれる場所3 伊藤弘	西村 桂哲 AXIS	58	海上 雅臣 視 る 335
糸園和二郎氏に聞く	天野 一夫 (聞き手)	伊藤久三 郎展—透 明なる叙 情と幻想 図録(O 美術館)	京都国立近代美術館所蔵 井上有一作品の意義(二) カリグラフィーと書
糸園和三郎が語る「糸園和三郎とその時代」	インタヴュー	糸園和三郎とその時代展図録(大分県立芸術会館)	「富樫一作品集」つくりに参加して
「糸園和三郎」雑感(インタビュー後記として)	加藤 康彦	伊原宇三郎展図録(目黒区美術館)	田中穰の「にげん美術史42 猪熊弦一郎“迷走した世紀”の大画家
時代の変わり目に立ち会って...	糸園和三郎	美術(月刊)	特集 1995年上半期の美術界大研究 受賞作家直撃インタビュー 第13回山種美術館大賞優秀賞 猪熊佳子
所感	前田寛治 大賞展図 録(高島 屋)	751	伊原宇三郎、戦時下の画業について
現代における「水」、あるいは「水」の表現について	伊奈 新祐	「水の变の幻—その新しき表現」展図録(O美術館)	伊原宇三郎—たちすくむ画家
川端龍子賞展 大賞に稲田峻氏の「宙」	新美術新聞	751	伊原宇三郎をめぐって—正統さと異質さと
特集 アメリカン・ドリームに賭けた日本人画家たち 美術界の野茂たちの軌跡 移民画家のガンバリとツッパリ 犬飼恭平	(編)	芸術新潮	戦後50年記念大特集 カンヴァスが証す画家たちの「戦争」 第二部グラフ これが戦争画だ 川端龍子と 茨木杉風 海・空—双六曲屏風
青木繁記念大賞は井上敬一氏	新美術新聞	731	追悼 牧田喜義氏
ATTENTION! P-EINTURE	ジャック・ピュス/原真理子訳	井上公三展 図録(東京セントラル絵画館)	今井 信吾 新聞美術新聞 750
画家・彫刻家の創造したヴィジョン 心を写す・井上星子	美術の窓	150	今関一馬訪問記 気に入りの風景を多様に提示—欧州、日本の風土性を描き分ける
			今永 清玄 絵 380
			今永 清玄 朝 373

戦後50年記念大特集 カンヴァスが証す画 家たちの「戦争」第 一部 それぞれの 「戦争と私」武藤夜 舟と今村嘉吉 絵筆 を揮った職業軍人	(編)	芸術新潮	548	ゲゲゲの鬼太郎みた いな・・・	岩田 信市	赤瀬川原 平の冒険 展一脳内 リゾート 開発大作 戦 図録 (名古屋 市美術館)	
湖山夜話7 造本家 今村秀太郎(後)	金守世士夫	版画芸術	87	画家・彫刻家の創造 したヴィジョン 顔 体で稼いできた男た ち・岩田司		美術の窓	150
第20回木村伊兵衛写 真賞に今森光彦氏		新美術新聞	729	表紙解説 「貝」(岩 田藤七作)	武田 厚	GLASS	37
学生の絵を阪神被災 地に送る運動をした 入江観さん	(美)	〃	737	器であって器でない	友部 直	イワタル リ硝子展 図録(高 島屋)	
<座談>奥村土牛先 生の芸術について (2)(3)	(話し手) 堀出 秀雄 (聞き手) 岩壁富士夫 毛利 武彦 司会入江観	連盟ニ ュ ース	361、363	北海道が育んだ〔岩 橋英遠『憂北の人』〕	[Ya]	AURA	10
入江波光の法隆寺金 堂壁画模写について	田中 修二	成城美学 美術史	3	名画再読<神々とフ ァラオ>岩橋英遠	芥川 喜好	読 売	7.9
ダダ的に、反芸術的 に	ワシオ・ト シヒコ	入江比呂 全貌展 戦後社会 を見据え たラジカ ルな造形 図録(ス トライブ ハウス美 術館)		アンケート INTEREST 岩間 美弓 わたしのかたち 形 のない水	岩淵 欣治 ぼんの な おこ 岩見 禮花	自由美術 アートマ インド 版画芸術	'95 78 89
解体から享ける解放 —入江比呂全貌展に よせて—	門田 秀雄	〃		(ウ)			
弟子三尺<10>〜 <12> 大和路の旅 人入江泰吉	臼井 史朗	日本美術 工芸	676~678	父・植木茂とこれか らの美術館づくり 植木茂のレリーフ	小林 邦雄 小林未魚子 (H)	潮 流	43
<座談>奥村土牛先 生の芸術について (2)(3)	(話し手) 堀出 秀雄 (聞き手) 岩壁富士夫 毛利 武彦 司会入江観	連盟ニ ュ ース	361、363	スタジオ食堂の冒険	上沢かおり	デザインの 現場	79
口絵解説 金赤色被 切子鉢(岩城瀧次郎 作)	廣田いづみ	GLASS	38	植田正治	芳賀 敏博	新美術新 聞	749
特集 「版画」の現在 地点 岩切裕子	岩切 裕子	版画芸術	88	ドキュメント・中国 で現代美術展を開催 するまで '94北京 国際交感芸術祭・・・ ・東の夢中国・韓国 ・日本の現代美術	上田 雄三	ギャラリ ー(月刊)	117
パート・ド・ヴェー ルの技法(三) (岩 崎五郎)	坂田 浩伸 千野 英春	GLASS	37	工芸の美 上沼緋佐 子 泥釉有線七宝の 世界	矢部 良明	アート・ トップ	147
小さな天使たち	吉田ルイ子	いわさき ちひろ展 図録(岡 山県立美 術館)		彼らは複合のための 視点を模索していた。 ルクセンブル グとイギリスでの政 策の体験から	上野 正夫	工 芸	2
美の開眼の扉	亀倉 雄策	〃		特集 『戦後50年と 私』5 焼野原で	上野 泰郎	新美術新 聞	746
ちひろさんの個性	山田 洋次	〃		会の戦後史断想	上原 次郎	自由美術	'95
童画をこえた童画家	千足 伸行	〃		追悼 加倉井和夫氏	上村 淳之	新美術新 聞	749
ちひろの軌跡	松本由理子	〃		博物館実習の記録 松園にみる日本髪 の系譜	清水 玲子	MUSE- OLOGIS T	10
				上村松篁画伯の「燦 雨」の話	安黒 正 (聞き手)	日本美術 工芸	679

座談会「第二十七回 日展審査を終えて一 明日への希望」	宇賀神米蔵 濱田台児 鈴木竹響 石川柏 坂根響 田中克介 三上実浩 横山豊介 木内禮智 永井鐵太郎 他	日展ニユ ース	79	画家・彫刻家の創造 したヴィジョン 顔 ダブルイメージの孤 独感・宇芽野礼	美術の窓	150
追悼 サム・フラン シス 貴重なイノセ ント	宇佐見圭司	美術手帖	702	続・古陶器メモ帖 (91) 敷島の灰皿	浦野 恵司 陶 説	502
				バラエティー徳利図 鑑	〃 〃	513
				特集 浦山一正 心 を充たす安らぎの世 界	清水 光夫 アートマ インド	82
(エ)						
おかあさんは、冷蔵 庫?	潮田登久子	写真都市 TOKYO 展 図 録 (東京都 写真美術 館)		瑛九「女」 アクリル 系合成樹脂接着剤を 用いた裏打	田村 和稔 修復研究 所報告	11
名画再読<江東風 景>牛島憲之	芥川 喜好	読 売	8.6	ロイユ・デ・ボザ ール66 瑛九VSカル ロ・カルラ	美術の窓	150
HAPPY NEW D- ESIGN—いま気 なるクリエイターた ち   建築   ウシダ ・フィンドレイ・ パートナーシップ	(編集部)	デザインの 現場	74	名画再読<花> (<火花A>)瑛九	芥川 喜好 読 売	7.16
画家・彫刻家の創造 したヴィジョン 顔 大地の顔・薄久保友 司		美術の窓	150	素材&テクニック編 金属 辛口×キ ートなアクセサリ ニルヴァーの感触 と女心の方程式(ア クセサリー)—H& H	(編集部) デザイン の現場	75
素材&テクニック編 粘土・ガラス 笑 を誘う動物たちの世 界(立体イラストレ ーション)—宇田恵 美	(編集部)	デザインの 現場	75	情熱の人 江藤哲君	森田 茂 江藤哲展 図録(大 分県立芸 術会館)	
名画再読<清水寺> 宇田荻邸	芥川 喜好	読 売	12.17	江藤哲、人と作品	加藤 康彦 〃	
国芳と狂歌師・梅屋 との名コンビ 縁起 もの「大黒天」	中右 瑛	目の眼	231	もうひとつの時 画 家 榎木孝明	横浜文化 情報誌	36
個展の声 ニューヨ ークとリスモア	宇田川宣人	絵	380	榎倉康二氏を悼む	田中 幸人 新美術新 聞	752
クローズアップ 内 田弘 侘びしくも 清々とした壮快感	清水 光夫	アートマ インド	83	§作家のことは§	榎本 潮 「水の変 幻—その 新しき表 現」展 図 録(O美 術館)	
§内山睦§	島 敦彦	VOCA 展'95「現 代美術の 展望—新 しい平面 の作家た ち」図録 (上野美 術館)		水声から(銅版画)	海老塚耕一 多摩美術 大学研究 紀要	9
特集 『戦後50年と 私』3 想い出	海本 健	新美術新 聞	744	TRENDS	蝦名 龍郎 AXIS	54
ぼくの空想コレク ション 203話 梅野顕 司	秋山 和歩	美 術 (月刊)	237	画家・彫刻家の創造 したヴィジョン 女 ハーフトーン・江 本智美	美術の窓	150
				TAUTOLOGY The monster by name La présenc e du non-être	江里口治彦 成安造形 大学研究 紀要	2
				画家の創造したヴィ ジョン 人物 形象 を抽出する天賦の才 ・遠藤彰子	(編集部) 美術の窓	151

特集 遠藤剛熙 強 観で頑なな風景画の 世界 遠藤剛熙・絵 画の骨格	栗津 則雄 遠藤 剛熙 対談	アート・ トップ	149	画家の創造したヴィ ジョン 人物 いと おしい光・大里光春	(編集部)	美術の窓	151
特集 遠藤剛熙 強 観で頑なな風景の世 界 「アノ遠藤君」	橋本 博英	〃	〃	東京都渋谷区天現寺 福沢論吉別邸 大沢 昌助	西川 昌宏	新美術新 聞	730
特集 遠藤剛熙 強 観で頑なな風景の世 界 「青春の眸」	中山 忠彦	〃	〃	中村彝賞に大沢昌助 氏		〃	731
特集・デザイン問答 基調インタビュー 社会も変わればデザ インも変わる? 遠 藤享 デザイナーは アート性を何よりも 大切にすべきなのだ ですか?		AXIS	55	特集 1995年上半期 の美術界大研究 受 賞作家直撃インタビ ュー 第4回中村彝 賞 大沢昌助		美術の窓	149
作家風土記 北海道 ・遠藤ミマン	高山 淳	美術の窓	150	特集 「版画」の現在 地点 西日本編	大島 成己	版画芸術	90
(オ)				アジアとの関わりを 真剣に考えるべきだ	大島 礼治	AXIS	58
TRENDS	大江 匡	AXIS	54	作家紹介 太田三郎	森 芳功	50年後 彼らはな ぜ戦争を 表現する のか(展 覧図録 (徳島 県立近代 美術館)	
HIKE	大榎 淳 津田 佳紀	日本の映 像展図録 (福井県 立美術 館)		特集 「版画」の現在 地点	太田 三郎	版画芸術	88
HIKE TV Station 1995	大榎 淳	〃		ベーパー・イン・マ イ・ワーク48 太田 徹也 出版は紙が主 役。三十センチの雄 弁な距離	澤開久美子	デザイ ンの 現場	79
第2回大木英穂近作 展について	美津島徳蔵	大木英穂 展2回図 録(フジ カワ画 廊)		ファイバーアートの 方向性を探る一考察 太田奈緒美の作品に よる	藤本 哲夫	成安造形 大学研究 紀要	2
現在形の私と建築	大木 裕之	建築雑誌	1379	画家の創造したヴィ ジョン 人物 精神 的空間の創造・太田 久	(編集部)	美術の窓	151
§作家の言葉§	〃	TOSA- TOSA '95 ク ールの時 代一美術 のノイズ ・ミック ス展 図録(高 知県立 美術館)		特集 「版画」の現在 地点 太田真理子	太田真理子	版画芸術	88
情熱の人(大國章夫)	相原求一朗	絵	381	JISHA安全標識(ピ クトグラム)	太田 幸夫	多摩美術 大学研究 紀要	10
寄稿特集『戦後50年 と私』異国で考えた こと	大久保婦久 子	新美術新 聞	743	河北倫明氏を悼む 野外彫刻展の運動	大高 正人	新美術新 聞	751
大熊氏広の生涯	鳩ヶ谷が 生んだ巨 匠「大熊 氏弘」人 と作品 展近代影 刻の先駆 者 図録 (鳩ヶ谷 市立郷土 資料館)			特集 20世紀を決定 した「眼」 20世紀 の、そして私自身の ヴィジュアル・シヨ ック じじばばの脳 天から割る破壊力	大竹 伸朗	芸術新潮	541
				イスタンブール・ス クラブブック 光 は鼻からやってきた	〃	〃	546
				特集 映画と美術の 100年 アンケート :マイ・フェイヴァ リット・フィルム	〃	美術手帖	713
				画家の創造したヴィ ジョン 人物 色彩 のハーモニーとディ テール・大田原春良	(編集部)	美術の窓	151

平成7年定期刊行物所載文献(作オ)

評論 大津英敏の近業について	小倉 忠夫	アート・トップ	150	赤織部沓茶盃	〃	〃	〃
画家の創造したヴィジョン 静物手で触れるように・大槻博路	(編集部)	美術の窓	151	大樋美術館「茶盃15撰特別展」	〃	〃	〃
庫田發氏を悼む	大歳 克衛	連盟ニュース	360	金沢工芸大賞に思う	〃	〃	511
大西勳先生を訪ねて		游美	19				
渚の日々	大西みつぐ	写真都市TOKYO展図録(東京都写真美術館)		§大淵純§	広本 伸幸	VOCA展'95「現代美術の展望―新しい平面作家たち」図録(上野美術館)	
審査所感	大沼 映夫	上野の森美術館大賞展図録(上野美術館)		ぼくの空想コレクション207話 大間々賢司	秋山 和歩	美術(月刊)	241
自由美術のアイデンティティを求めて	大野 修宮瀧 恒雄	自由美術	'95	特集 近江日華氏の自然と人と愛と	金岡 登	アートマインド	78
特集 大野五郎 清濁あわせ呑む大人	林 紀一郎	アートマインド	78	沖縄からのたより2 沖縄での出会い(大峯実清)	永井 信一	新美術新聞	741
特集 「方法」をめぐって 対談 方法の現場 水野稔也と大野左紀子		Lady's Slipper	2	正敏さんのこと(大嶺正敏)	田辺 謙輔	春 陽	70
特集 「方法」をめぐって インタビュー 椿原章代	大野左紀子(聞き手)	〃	〃	正敏君追悼(大嶺正敏)	原田平治郎	〃	〃
特集 ARTISTS INTERVIEW カトリン・パウロ+大野左紀子		〃	3	新鋭作家図鑑 大森薫子 色との対話	(編集部)	版画芸術	89
ぬいぐるみの心棒	大野左紀子	〃	〃	写真の時代 大森克己	林 文造	デザインの現場	78
特集 インスタレーション Artist Interview 栗本百合子	(編集部) 大野左紀子(聞き手)	〃	4	飛翔3・蒼(織物)	大山 彬	多摩美術大学研究紀要	9
特集 インスタレーション Artist Interview 松永幹永	〃	〃	〃	追悼 加倉井和夫氏	大山 忠作	新美術新聞	749
特集 インスタレーション 空間認識の技術―彫刻とインスタレーション	大野左紀子	〃	〃	特集 「版画」の現在 地点 西日本編	大山 幸子	版画芸術	90
谷中安規供養塔1 安規教の信者	大野 隆司	版画芸術	88	ファンタジック芸術 ステンドグラスと七宝焼について	大和田晴翠	アートマインド	77
谷中安規供養塔2 八坂喜代さん	〃	〃	89	ファンタジック芸術 其の時代アール・ヌーヴォーはどのように評価されていたか	〃	〃	79
谷中安規供養塔3 安規の母親像―八坂喜代さん再び	〃	〃	90	ファンタジック芸術 ステンドグラス	〃	〃	80
京の昔話「一休」	大野 俊明	成安造形大学研究紀要	2	ファンタジック芸術 ステンドグラスと雑学	〃	〃	81
大場節子 ヨーロッパ人歩き 琴線にふれる一瞬の美	(志)	アート・トップ	146	ファンタジック芸術 自然界の進化とステンドグラス	〃	〃	82
宋赤絵牡丹文平茶盃	大樋長左衛門	陶 説	510	ファンタジック芸術 ステンドグラスの補強バーの除去と安全性と芸術性の向上について	〃	〃	83
				浮いた風景(油彩画)	岡崎 紀	多摩美術大学研究紀要	10
				リチャード・タトル 私とあなたをつなぐかたちについて	リチャード・タトル 岡崎乾二郎	美術手帖	715

クローズアップ 小笠原賢雄 日本的風景を求めて	ばんの なおこ	アートマインド	78	1「ヘロデのもうひとりの姪」2「光集めて」	〃	〃	〃	
クローズアップ 小笠原賢雄	清水 光夫	〃	80	日影眩の360°のニューヨーク第7回岡本陸郎を知っているか?	日影 眩	ギャラリー(月刊)	119	
岡田七蔵の画業について	後藤 八郎	修復研究所報告	11	小川待子—陶芸 プランクーンズの“ずれ”に触れて	峯村 敏明	美術(月刊)	234	
岡田七蔵の画業について	苫名 直子	紀要 Hokkaido Art Museum Studies	1994—95	小川待子—陶芸 荒ぶる造形に潜むガラス釉の夢想	(編集部)	〃	〃	
葦のずいから天井覗く	岡田 節男	大正・昭和の水彩画展—着原会を中心した画家の中心に 図録(渋谷区立松涛美術館)		小川百合—黒色の空	インタビュー	C.A.R.	19	
特集 『戦後50年と私』 戦後50年、女流画家協会	岡田 節子	新美術新聞	742	戦後50年記念大特集 カンヴァスが証す画家たちの「戦争」第一部 それぞれの「戦争と私」 隠れ棲んだシュルレアリストの“戦後”	小川原 脩 インタビュー	芸術新潮	548	
画家・彫刻家の創造したヴィジョン 顔黒い雨の下・岡田徹		美術の窓	150					荻先生のこと
富士山の金色の水(岡田半江)	山下 善也	アマリリス	38		小川 信子			
リレーエッセイ第1回 現代を創る作家たち	岡村桂三郎	アート・トップ	149					
旬 岩がき	〃	新美術新聞	741					
本年度審査員による座談会「二十七回日展に夢をかける」	岡村倫見 川崎麻省 村田兼明 藤森立義 立川西村郁啓 堀西小他	日展ニュース	78	荻先生のはがき	亀本 信子	〃		
《岡本敦生》	谷 新	TOSA—TOSA '95 クール時代の美術—ミュージック展 図録(高知県立美術館)		名画再読くサン・マルタンの裏町>荻須高德	芥川 喜好	読 売	11.26	
岡本光平対論4回 書に未来はあるのか? VS小林健二		墨	113	荻野令子—漆造形 異形との対話	金子 賢治	美術(月刊)	234	
岡本光平対論5回 書に未来はあるのか? VS平林薫		〃	114	荻野令子—漆造形 映画「豪姫」の“兜”で一躍注目される	〃	〃	〃	
岡本光平対論6回 書に未来はあるのか? VS高見晴恵		〃	115	特集 アメリカン・ドリームに賭けた日本人画家たち 美術界の野茂たちの軌跡 日本の近代彫刻はアメリカ生まれ!? 荻原守衛	(編)	芸術新潮	550	
「工芸」の概念について	岡本 文一	明星大学研究紀要	3	近代彫刻における複製の問題—荻原守衛関係作品の事例をもとに—	千田 敬一	磯山美術館報	16	
				荻原守衛と日本の近代彫刻	陰里 鉄郎	〃	〃	
				「白樺」運動と荻原守衛(二)	柳沢 廣	〃	〃	
				どうしても伝えるべき感動	高山 辰雄 奥田 元倫 河北 明	新美術新聞	722	

平成7年定期刊行物所載文献(作オ)

3月の絵暦「多摩春来」—奥田元宋	奥田 元宋	〃	727	北海道美術雑史27 「ニッカブランデー」 と奥山儀八郎のデザ イン	見延(井内) 住津恵	侶 美 以	53
追悼 加倉井和夫氏	〃	〃	749	TRENDS	小黒 三郎	AXIS	54
河北倫明氏を悼む 美術評論の巨匠逝く	〃	〃	751	追悼 牧田喜義氏	尾崎 愛明	新美術新 聞	750
川合玉堂、奥田元宋 の歌碑誕生	〃	〃	753	勝手に「ヴェネツィ ア・ビエンナーレ」 日記	小沢 剛	芸術新潮	548
特集 遊印ノススメ 遊印と私 奥田元宋	〃	墨	114	特集 ヴェネツィア ・ビエンナーレ最終 便VOICE	〃	新美術新 聞	744
頌	嘉門 安雄	奥谷博展 静かなる世 心象図録 (東郷青 児美術館)		A Young Artist Moves on 2 小沢 剛	小沢 南 雄介	美術手帖	711
「奥谷博の絵画のメ カニズム」	中村 隆夫	〃		A Young Artist Moves on 2 けっ こうマジな小沢剛へ の19の質問	〃	〃	〃
安田火災東郷青児美 術館大賞 大賞に奥 谷博氏	〃	新美術新 聞	732	特集 映画と美術の 100年 アンケート :マイ・フェイヴァ リット・フィルム	小沢 剛	〃	713
安田火災東郷青児美 術館大賞を受賞した 奥谷博さん	(富)	〃	〃	ぼくの空想コレクシ ョン200話 小田さ ゆり	秋山 和歩	美 術 (月刊)	234
特集 『戦後50年と 私』5 作家の生き る道	奥谷 博	〃	746	1994年度日本芸術院 賞 美術部門に織田 廣喜氏ら4人	〃	新美術新 聞	731
追悼 加倉井和夫氏	〃	〃	749	画家・彫刻家の創造 したヴィジョン 女 哀歎を湛えた女たち ・織田廣喜	〃	美術の窓	150
河北倫明氏を悼む 大きな穴が空いた感	〃	〃	751	「影」と「肖像」の文化 史2 「影法師」の役 者絵—落合芳幾「真 写月花乃姿絵」をめ ぐって	岡戸 敏幸	百 科 (月刊)	393
画家・彫刻家の創造 したヴィジョン 女 人間の基盤・奥谷博 人と作品 奥西賀男 「明かし」赤の魅力	米倉 守	美術の窓 アート・ トップ	144	名画再読くエバ>落 合朗風	芥川 喜好	読 売	1.22
奥原晴湖の絵画と書	マーサ・マ クリントク	泉 石	3	落田洋子 エッチン グ・ワールド—《不 思議な国の秘密》	(編 集 部)	版画芸術	88
小熊秀雄の美術活動	新明 英仁	小熊秀雄 /村山陽 一/丹野 利雄—天 折の画家 たち・旭 川篇展図 録(北海 道立旭川 美術館)		尾長良範 筆跡が筆 跡を生む	(志)	アート・ トップ	147
美の故郷 不安の時 代の画家たち 日本 の前衛絵画(中) 封 じられた詩人 小熊 絵に“はけ口”を求め る	浦田 憲治	日 経	12.17	小田海僊「漁楽図屏 風」	(I)	潮 流	44
一政老、土牛老の二 代目たち	安井 収蔵	新美術新 聞	730	小野具定の戦前・戦 中・戦後[1939—199 4人物から人物へ]	小野 具定 根崎 光男 〔対談〕	アート・ トップ	146
<座談>奥村土牛先 生の芸術について (2)(3)	(話し手) 塩出 秀雄 (聞き手) 岩壁富士夫 毛利 武彦 (司 会) 入江 観	連 ニ ュ ー ス	361、363	小野具定—象徴的風 景への道程	針生 一郎	刻まれた 記憶 小 野具定展 図録(練 馬区立美 術館)	
名画再読<醍醐>奥 村土牛	芥川 喜好	読 売	4.9	戦争記録画の制作と 小野具定	根崎 光男	〃	
				「記憶の風景」の再生 と展開	岡本 正康	〃	



戦後50年記念大特集 カンヴァスが証す画 家たちの「戦争」第 二部グラフ これが 戦争画だ 輝ける翼 、勇まし 空中戦 御 厨純一・小野具定・ 石川寅治	(編)	芸術新潮	548	小圃千浦の渡米に関 する一試論—《母な る大地》を中心に	関 昭郎	アメリカ に生きた 日系人画 家たち展 —希望と —苦悩の半 世紀1896 —1945図 録(東京美 術館)	
小野具定「北辺B」	(I)	潮流	42				
戦争記録画の一証言 (小野具定)	根崎 光男	練馬区立 美術館年 報	1991—19 94	オバタ・チウラと強 制収容所の画家たち	下嶋 哲朗	〃	
田中穰のにんげん美 術史44 小野具定 ピカソも顔負けの不 屈のバイタリティ	田中 穰	美術(月 刊)	237	特集 アメリカン・ ドリームに賭けた日 本人画家たち 92年 目の凱旋! 小圃千 浦のウェスタン山水	(編 集 部)	芸術新潮	550
名画再読<冬ざれ> 小野具定	芥川 喜好	読 売	3. 12	新鋭作家図鑑 小保 方祥子 瞬間の形の 空間化	〃	版画芸術	89
表現の熟度—小野忠 重の初期風景版画と リノカット	水沢 勉	版の絵	2				
竹喬芸術の特質	川口 直宜	小野竹喬 展—その 人と芸術 図録(山 美 術 館)		小茂田青樹<月あか り/野趣四題>につ いて	土岐美由紀	紀要 H okkaido Art M- useum Studies	1994—95
小野竹喬、小杉放菴 「奥の細道」に思うこ と—文化と近代性 あるいはハレの芸術 ・ケの芸術	草薙奈津子	〃		小本章「Seeing P. 81—11」	斎藤 郁夫	天 花	61
竹喬画における西洋 近代絵画の受容—初 期作品を中心に	野地耕一郎	〃		ファンタジック芸術 新しい手法と共に再 盛期に入りつつある スタンドグラス	小和田晴翠	アートマ インド	78
竹喬の眼—その古典 認識についての基礎 的研究	塩谷 純	〃		特集 『戦後50年と 私』4 ユマニテ美 術研究所の想い出	恩田 秋夫	新美術新 聞	745
竹喬研究3 竹喬初 期におけるセザンヌ 受容の実際	上 菌 四郎	小野竹喬 のすべて Part III 図録(笠 岡市立竹 喬 美 術 館)				(カ)	
竹喬の素描	〃	竹喬の素 描展図録 (笠岡市 立竹喬美 術館)		特集 絵で読む家族 の肖像 父の肖像・ 母の肖像 母の顔 甲斐庄楠音	(編)	芸術新潮	549
小野竹喬、小杉放菴 「奥の細道」に思うこ と 文化と近代性あ るいはハレの芸術・ ケの芸術	草薙奈津子	美術京都	15	アンケート	垣内 治雄	自由美術	'95
名画再読<沼>小野 竹喬	芥川 喜好	読 売	10. 22	柿崎兆一木版 風姿 の人	福田 俊	美 術 (月刊)	234
60年代ARTを読み 解くためのキーワー ドAtoZ オノ・ヨ ーコ(Yoko)	石井 弥夢	美術手帖	717	追悼 加倉井和夫氏	(編 集 部)	〃	234
藤岡時彦・英子夫妻 蔵オノサト・トシノ ブ作品3点の寄贈に ついて	松本 透	現代の眼	490	鍵主恭夫 刻の交差 する場所	(常)	アート・ トップ	147
				高山 辰雄 奥田元宋 大山大忠 鈴木作 濱田竹 松尾柏 敏敏男 稗田一 堂敏種 山岸元 上村純 川崎淳 中村鈴 奥谷光 鈴木博 堀江進 江 勝美		新美術新 聞	749

平成7年定期刊行物所載文献(作カ)

特集 ここが違う！ 彫刻家の版画 色よ りは形、フォルムを 追求	掛井 五郎 インタビュー ー編集部・ 水野谷	美術 (月刊)	243	香月泰男の造形的模 案—1950年代の作品 を中心に—	濱本 聰	〃	
「わらべごころに人 像(ひとかた)つく る」鹿児島壽蔵の短 歌	大岡 信	鹿児島壽 蔵の人物 展図録 (佐野美 術館(三 島))		香月泰男の“シベリ ア・シリーズ”にみ る「単純化」と「装飾 化」	富田 章	〃	
鹿児島壽蔵概論	諸山 正則	〃		画家香月泰男に寄り 添って	香月婦美子 木本 信昭 (聞き手)	〃	
「壽染和紙金銀砂子 貼装紙型」その素材 と行程の特異性	鹿児島成恵	〃		戦後50年記念大特集 カンヴァスが証す画 家たちの「戦争」第 一部 それぞれの 「戦争と私」香月泰 男 飯盒の底にあっ たシベリヤ・シリー ズの原風景	(編)	芸術新潮	548
「壽染和紙金銀砂子 貼装紙型」—その素 材と行程の特異性	〃	〃		香月泰男のこと	源 弘道 潮 流	41	
マチス絵画と「ジャ ズ」	笠井 誠一	マチス一 ジャズ展 図録(名 古屋画 廊(名古 屋))		画家・香月泰男の原 点を探る—マイナス 35度のシベリア取材 記—	倉迫 啓司	〃	〃
人と作品 風分六抄 遠い日の幻影	常盤 茂	アート・ トップ	147	香月泰男「朝」	濱本 聰	〃	〃
梶田半古の源氏絵	上坂 信男	文学芸術	19	シベリアを描いた二 人の画家—香月泰男 と宮崎進—	〃	〃	42
銀蔵のアルバム	柳沢 秀行	岡山県立 美術館ニ ュース	30	近世の日本画 香月 泰男と戦後美術	(H)	〃	43
南支風景画展—銀蔵 と満谷国四郎	〃	〃	32	従軍期の香月泰男の 制作	安井雄一郎	デアルテ	11
河北倫明氏を悼む 不思議な力	片岡 球子	新美術新 聞	751	特集 今から狙って みる香月泰男 内面 性と造形性のみごと なせめぎあい	栗津 則雄	美術 (月刊)	235
名画再読<面構>葛 飾北斎>片岡球子	芥川 喜好	読 売	1.8	特集 今から狙って みる香月泰男 描か れた「大陸」モチーフ について	安井雄一郎	〃	〃
名画再読<白雨>堅 山南風	〃	〃	6.18	特集 今から狙って みる香月泰男 だか ら私は香月を狙う	中平 喜弘	〃	〃
§片山雅史§	中島 徳博	VOCA 展'95「現 代美術—新 展望—平 面の作家 たち」図 録(上野 森美術 館)		特集 今から狙って みる香月泰男 高評 価の油彩、安定した 版画狙いは水彩・パ ステルなど	清水 秀作	〃	〃
人間国宝報月山貞一 氏逝く	刀剣美術		460	特集 今から狙って みる香月泰男 香月 作品を購入するにあ たって知っておきた いこと	〃	〃	〃
勝文斎の押絵行燈	金山 善昭	目の眼	221	アンケート 自由と いう言葉にひかれ	勝谷 龍彦	自由美術	'95
描かれた不条理 香 月泰男—シベリア・ シリーズ	アトリエ インター ナシヨナル		822	美術品の損傷 油彩 画 桂ゆき作品の場 合<その2>	岡本 正康	潮 流	42
シベリア・シリーズ と初期作品—香月泰 男展によせて—	浅野 徹	香月泰男 展図録 (そごう 美術館 (横浜))		修復家からみた名画 のうらおもて78 桂 ゆきのカラー・ジュ ー「LA MER(海)」に みる技法—	小谷野匡子	目の眼	220
香月泰男 初期作品 の成立に関する試論	牧野研一郎	〃					

特集 『戦後50年と私』5 ポール・アイズベリとの出会い	角 卓	新美術新聞	746	作家紹介 金屋雅子 パリで受賞	水上 杏平	アートマインド	83
特集 平成6年後期の美術賞とその作品受賞作家インタビュー「あなたにとってプロとはアマとは？」加藤昭男		美術(月刊)	232	名画再読くアイロンのある静物>金山康喜	芥川 喜好	読 売	10.1
ロイユ・デ・ボザール61 ホイッスラーVS加藤栄三		美術の窓	145	ぼくの空想コレクション198話 タビエス・瓜南直子	秋山 和歩	美術(月刊)	232
特集 アメリカン・ドリームに賭けた日本人画家たち 美術界の野茂たちの軌跡 渡米画家たちの運命の岐路 柳敬助・加藤健太郎	(編)	芸術新潮	550	ペーパー・イン・マイ・ワーク47 蟹瀬行雄 世の中を気持ちよくするデザインの提案	澤開久美子	デザインの現場	78
特集 ARTISTS INTERVIEW 加藤豪+林裕己		Lady's Slipper	3	彫刻膝栗毛38~43	金子 篤司	アートマインド	78~83
『炎と技(陶芸)・心の眼(絵画)』	石田 閑山 加藤 崇止 高橋 崇 編集部聞き手	アートマインド	80	INTEREST 金子篤司	清水 光夫	〃	80
三彩の道	加藤 卓男	新工芸ニュース	34	現代の彫漆(3) 彫漆の現代「忍耐の技術」と音丸様式	金子 賢治	現代の眼	483
少年落涙 加藤まさをノート(六)	成宮ひろみ	藤枝文学舎ニュース	13	画家・彫刻家の創造したヴィジョン 女オパール色・金子任三郎		美術の窓	150
§作家の言葉§	門田 修充	TOSA-TOSA '95 クールの時代—美術のノイズ・ミュージック展図録(高知県立美術館)		CLAY WORKS IN CONTEMPORARY ART—'95—金子友紀展図録(ルナミ画廊)			
《門田修充》	谷 新	〃		§作品について§	金子 友紀		
鹿取武司「祈りの大地 荘厳の美」ロシア正教会建築銅版画集	鹿取 武司	版画芸術	88	近代の陶芸家たち 金重陶陽	中ノ堂一信	茶道雑誌	59-7
素材&テクニック編 布に冴える「触感」インスピレーション(立体オブジェ)—金井ひろみ	(編集部)	デザインの現場	75	ヒロシマアートグラント'95 金本啓子さん受賞		新美術新聞	733
金沢健一—見えにくいかたち	インタヴュー	C.A.R.	17	特集 1995年上半期の美術界大研究 受賞作家直撃インタビュー ヒロシマアートグラント'95 広島国際文化財団美術奨励賞 金本啓子		美術の窓	149
書味求心五十八 傳抱石の書と金原省吾	小野寺啓治	アートマインド	77	歴史の溝を埋める	狩野 忠正	国立国際美術館月報	31
湖山夜話7 造本家今村秀太郎(後)	金守世士夫	版画芸術	87	色いろ調 テンメイ捕縛(加納典明)	安井 収蔵	新美術新聞	728
湖山夜話8 売薬商売人の心得と売薬版画	〃	〃	88	『機械じかけのピアノのための未完成の戯曲』のための衣装デザインをめぐって(衣装デザイン)	加納 豊美	多摩美術大学研究紀要	9
湖山夜話9	〃	〃	89	特集 「版画」の現在 地点 西日本編	狩野 信喜	版画芸術	90
湖山夜話10 最終回 額縁のない版画	〃	〃	90	近代日本美術家列伝6 狩野芳崖	橋 秀文	美術手帖	706
				芳崖・フェノロサ・天心—龍池会から鑑画会へ—	山口 静一	福井県立美術館だより	68

平成7年定期刊行物所載文献(作カ)

幻の名作、狩野芳崖 「伏流羅漢図」本館に 寄贈	八百山 登	〃	〃				荻本信子 ・山都 ・日本 女子大 学住居 画サ デッ ン」教 室ま で(日 本女 子大 学成 念 館)
名画再読<伏龍羅漢 図>狩野芳崖	芥川 喜好	読 売	6.4				
特集 アメリカン・ ドリームに賭けた日 本人画家たち 美術 界の野茂たちの軌跡 アメリカ経由で本場 ヨーロッパへ 鹿子 木孟郎・満谷国四郎 ・丸山晚霞	(編)	芸術新潮	550				荻先生のはがき 亀本 信子
近代日本画家の作品 に見られるラファエ ル前派の影響—その 1. 竊木清方の作品 を中心にして—	猪巻 明	秋田大学 教育学部 研究紀要	47				『創展回想』 亀山 博 アートマ インド 78
ロイユ・デ・ボザール 63 竊木清方VS イポリット・ドラロ ーシュ		美術の窓	147				「人間・鴨居 玲」 伊藤 誠 石川県立 美術館だ より 142
トボル	竊木 昌弥	構 造	11				色いろ調 タイ・カ ップという男(鴨居 玲) 安井 収蔵 新美術新 聞 747
審査所感	下保 昭	上野の森 美術館大 賞展図録 (上野の 森美術 館)					色いろ調 生者ヲ煩 ワス勿レ(鴨居玲) 安井 収蔵 新美術新 聞 748
追悼 森田曠平氏	鎌倉 秀雄	新美術新 聞	727				§ 鴨居玲(1982年 私)について § (Y) メープル ニュース 27
素材&テクニック編 樹脂リアルに徹し た和風のマイクロフ ァンタジー(ドール ハウス)—鎌田隆志	菅野 美香	デザイン の現場	75				鴨居玲《静止した刻》 “ “ “ バリの鴨居玲 西谷 勝輝 “ 28
INTEREST 鎌田 博幸	水上 杏平	アートマ インド	79				名画再読<1982年 私>鴨居玲 芥川 喜好 読 売 6.25
特集 “紙の宝石”蔵 書票の魅力 私と蔵 書票 芸術の一表現 分野としての蔵書票	蒲地 清爾	美術(月 刊)	238				追悼 河北倫明さん の死に思うこと 加山 又造 アート・ トップ 150
画家の創造したヴィ ジョン 風景 凝視 する力・上條真三留	(編 集 部)	美術の窓	151				ピカソと加山又造— ピカソ・愛と苦惱— 「ゲルニカへの道」展 小川 正隆 版画芸術 90
旬	上條 陽子	新美術新 聞	735				平山郁夫 連続対談 17~19 “世界に役 立つ日本文化”論 平山 郁夫 美 術 加山 又造 (月刊) 237~239
わたしのかたち 身 体を通じたかたち	〃	版画芸術	88				特集 武蔵野美術大 学と多摩美術大学 美術現場と教育現場 を直結した三人の雄 —(横山)操・(加山) 又造・(斎藤)義重
美の開眼の扉	亀倉 雄策	いわさき ちひろ展 図録(岡 山県立 美術館)					米倉 守 “ 240
あの頃(土門拳)	〃	土門拳展 古寺巡礼 図録(目 黒区美術 館)					巻頭特集 橋口五葉 橋口五葉について 柄沢 齋 アート・ トップ 146
							TOSA— TOSA '95 ク ール の時 代— 美術 のノ イズ ・ミ ュ ック 展 図録 (高 知 県 立 美 術 館)
							§ 作家の言葉 § 狩野 信児
							《狩野信児》 谷 新 “
							現代陶芸のあけぼの 十選2 河井寛次郎 「呉須泥刷り毛目扁 壺」 中村 錦平 日 経 5.9

色彩と光の戯れ 川合京子さんのきがわプリズム	(富)	新美術新聞	730	五島記念文化賞決まる 美術部門 河嶋淳司ら3氏	新美術新聞	730
川合玉堂、奥田元宋の歌碑誕生		〃	753	旬 きす	河嶋 淳司	〃 〃
画家・彫刻家の創造したヴィジョンイメージ 大地・河合重政		美術の窓	150	河嶋淳司の版画WORR 琳派とマンガのメディアミックス	布施 英利	美術 (月刊) 233
昔の犬に会った話	河合 隆三	国立国際美術館月報	30	特集 1995年上半期の美術界大研究 受賞作家直撃インタビュー 第6回五島記念文化賞・美術新人賞 河嶋淳司		美術の窓 149
アンケート 戦後体験を風化させないため	川上 十郎	自由美術	'95	川島睦郎 大自然の命の賛歌	太田垣 實	アート・トップ 147
川上澄生愛蔵品を美術館に寄贈		鹿沼市立川上澄生美術館館報	8			1920年代の巴里より展 川島理一郎、ゴンチャロフ、ヴァーノフ第6回資生堂ギャラリーとそアーティスト達図録(資生堂ギャラリー)
よろず手控帖(四) 川上冬崖、内田正雄と『輿地誌略』市川清流『尾鯉欧行漫録』のことなど	青木 茂	近代画説	4	川島理一郎—1920年代—パリと東京を結ぶ者—	柳沢 秀行	
非・《迷宮の亡霊》(2) 青の触媒(河口龍夫)	山本 秀夫	工芸	2			
河口洋一郎 三次元の絵画が時間と共に動くデジタル画像の生命表現		ギャラリー(月刊)	120			
特集 ヴェネツィア・ビエンナーレ—10年目の孤独?— 参加アーティスト&アート・ビープル語録 私はどう見た! 河口洋一郎	梅宮 典子 編集部	美術手帖	712	中国への旅(2) 扒村の笛	川瀬 忍	陶 説 507
川久保玲の「X」 コムデギャルソンの香水		AXIS	55	中国への旅(2) 父への土産	〃	〃 508
川崎麻児 内を見つめる線刻	篠原 弘	アート・トップ	148	中国への旅(2) よびつき	〃	〃 509
本年度審査員による座談会「二十七回日展に夢をかける」	川崎麻児 村田藤森 立川義明 西村祐一 赤堀郁彦 小西啓介 岡村倫 他	日展 ニューズ	78	中国への旅(2) ねりあげの玉	〃	〃 510
早稲田図書館所蔵蔵書印譜私稿(六) 川崎小虎	大江 令子	早稲田大学図書館紀要	42	中国への旅(2) 約束	〃	〃 512
巻頭特集 入門 東山魁夷への道 川崎鈴彦氏に聞く 戦中・戦後東山魁夷の心象風景	川崎 鈴彦	新美術新聞	749	中国への旅(2) 北京大學賽克勒考古與藝術博物館	〃	〃 513
追悼 加倉井和夫氏	川崎 鈴彦	新美術新聞	749	個展の声 鉛筆画の魅力	河内 良介	絵 377
1995年度五島記念文化賞新人賞を受賞した 河嶋淳司さん	河嶋 淳司	アート・トップ	148	河鍋狂斎画「狂斎百狂どふけ百萬編」について	南 和男	日本歴史 571
				研究発表要約 明治期日本画のアイデンティティー—雅邦・玉章の作品を中心として—	福田 徳樹	近代画説 4
				パウハウスのマドンナだった大和撫子(山脇道子)	川畑 直道	芸術新潮 545

柳瀬正夢の生きた時代—グラフィック・デザイン史からの考察	川畑 直道	柳瀬正夢一疾走するグラフィック展図録(武蔵野美術大学美術資料図書館)	作家の言葉	鬼海 弘雄	写真都市TOKYO展 図録(東京都写真美術館)	751
戦後50年記念大特集—カンヴァスが証す画家たちの「戦争」—第2部 グラフ これが戦争画だ。川端龍子と茨木衫風 海・空—双六曲屏風	(編)	芸術新潮	河北倫明氏を悼む 言い尽くせない感謝	菊竹 清訓	新美術新聞	742
名画再読<新樹の曲>川端龍子	芥川 喜好	読 売	東京セントラル美術館油絵大賞 菊池達也氏の「ひまわり1」に	(編集部)	美術の窓	149
持続する現在 川俣正一風景への同化	菅原 教夫	美術手帖	INTEREST 菊池康	清水 光夫	アートマインド	82
川村清雄とヴェネツィアにおける日本語教育	石井 元章	近代画説	研究発表要約 歴史画家としての菊池容斎	塩谷 純	近代画説	4
近代日本美術家列伝20 川村清雄	堀 元彰	美術手帖	近代日本美術家列伝1 菊池容斎	山梨 俊夫	美術手帖	705
名画再読<形見の直垂>川村清雄	芥川 喜好	読 売	所蔵品紹介 菊畑茂久馬「天動説5」	山口 洋三	エスプラナード	88
特集 アメリカン・ドリームに賭けた日本人画家たち 美術界の野茂たちの軌跡 日本の近代彫刻はアメリカ生まれ!? 川村吾蔵	(編)	芸術新潮	岸田劉生、木村莊八、中川一政と三岸好太郎	苦名 直子	岸田劉生・木村莊八・中川一政と三岸好太郎展 図録(北海道立三岸好太郎美術館)	550
川本柊吉について	服部磯貝 文孝子 横山 双葉	川本柊吉展 図録(瀬戸市歴史民族資料館)	特集 絵で読む家族の肖像 夫婦—肉親より近い他人 君は身近な妻だから 岸田劉生	(編)	芸術新潮	549
博覧会における柊吉作品	〃	〃	特集 絵で読む家族の肖像 一枚の絵から考える<子供> 描かれなかった「家族」(岸田劉生)	黒川 創	〃	〃
川本柊吉と陶画家	〃	〃				
川本柊吉と上絵付	〃	〃				
収蔵作品から 神田一明「窓のある室内」	中村 聖司	水 華			「第二の誕生」～岸田劉生と実篤展 図録(武者小路実篤記念館)	34
アンケート 本質追求の柔軟なリズム	神田 千里	自由美術	実篤と劉生の出会い—劉生の「第二の誕生」について	東 珠樹	20世紀日本美術再見 [I] ・・1910年代—光命展 図録(三重県立美術館)	'95
作品『不連続と連続』の周辺から2	神戸 武志	筑波大学芸術研究報告				24
	(キ)					
座談会「第二十七回 日展審査を終えて—明日への希望—」	木内 禮智 永井 鐵太郎 宇賀 米蔵 濱田 台児 鈴木 川竹 坂根 三 横山 他	日 展 ニ ュ ー ス	萬鐵五郎と岸田劉生にみられるデフォルマシヨンの特色について	田中 善明		79
			骨董蒐集うましか譚(76) ひとつの魯山人論	小松 正衛	陶 説	504
			骨董蒐集うましか譚(81) 魯山人の朝顔	〃	〃	509

近代の陶芸家たち 北大路魯山人	中ノ堂一信	茶道雑誌	59—2	特集 平成7年前期 の美術賞とその作品 受賞作家インタビュー — 山種美術館賞展 大賞13回 北田克己	美術 (月刊)	239
北大路魯山人の「夢 境庵」(笠間日動美術 館分館)	中原 昭	淡 交	601	特集 1995年上半期 の美術界大研究 受 賞作家直撃インタビュー — 第13回山種美 術館大賞 北田克己	美術の窓	149
魯山人の器と料理34	辻 義一	目の眼	220	もうひとつの工芸 (2) 古拙な金(北 辻良央)	中井 康之 工 芸	3
四條家と魯山人	四條 隆彦	〃	221	ぼくの空想コレク ション209話 北原 真人	秋山 和歩 美 術 (月刊)	243
魯山人の器と料理35	辻 義一	〃	〃	特集 北村綱義 ア トリエを再訪	美術の窓	150
馬場栲男さんを悼む	北岡 文雄	春 陽	70	受賞者インタビュー 第24回現代日本美術 展 北薮和夫	ギャラリー (月刊)	124
故 田中繁吉氏 弔 辞	北岡 文雄	連盟ニ ース	360	旬 そば	木津 文哉 新美術新 聞	752
故 森田曠平氏 弔 辞	〃	〃	〃	「ボ・ン・プ」へそ の緒」の視覚的吐露	城戸 孝充	「水の 変の 幻—そ—表 新しき 図 現」展 録(O 美術館)
故 安保健二氏 弔 辞	〃	〃	〃	個展の声 五年の歳 月	城戸 義郎 絵	380
阪神大震災に際して	〃	〃	361	画家・彫刻家の創造 したヴィジョン 女 フラメンコ・鬼頭恭 子	美術の窓	150
故 清水鍊徳氏	〃	〃	〃	阪神大震災をテーマ にした絹谷幸二の大 作 オープンの世田 谷文学館	新美術新 聞	733
相談役 田中忠雄氏 永眠 弔辞	〃	〃	362	特集 今なぜ天使な のか? 作家インタ ビュー 絹谷幸二	美術(月 刊)	237
故 仲田好江氏 弔 辞	〃	〃	〃	画家・彫刻家の創造 したヴィジョン 顔 戦争—愛と死—絹谷 幸二	美術の窓	150
吉田遠志先生を悼む	〃	〃	364	特集 絵で読む家族 の肖像 一枚の絵か ら考えるく夫婦> 夫婦はずっとやって こそ(木内克)	森 まゆみ 芸術新潮	549
故 丸木位里氏 弔 辞	〃	〃	〃	特集 絵で読む家族 の肖像 一枚の絵か ら考えるく夫婦> 夫婦はずっとやって こそ(木内克)	中島 優子 デザイン の現場	76
北上聖牛の画業—大 正期を中心に	五十嵐聡美	紀 要 Hokkai- do Art Museum Studies	1994—95	『創展回想』	木間 明 アートマ インド	78
天下天上無得一「北 川民次と藤村貢によ る天上天下展」によ せて	神谷 幸之	絵	380	呵(油彩画)	木村 一生 多摩美術 大学研究 紀要	9
戦後50年記念大特集 カンヴァスが証す画 家たちの「戦争」 第 二部グラフ これが 戦争画だ 銃後の護 り 北川民次	(編)	芸術新潮	548	木村圭吾 日本美へ の新たな視座	篠原 弘 アート・ トップ	144
特集 絵で読む家族 の肖像 家族という 風景 絵描き的一家 北川民次	(編)	芸術新潮	549			
名画再読<タスコの 祭り>北川民次	芥川 喜好	読 売	7.23			
第13回山種美術館 大賞を受賞した北田 克己さん 時代との共 生	北田 克己	アート・ トップ	147			
第13回山種美術館 大賞 北田克己 受 賞者インタビュー		ギャラリ (月刊)	122			
第13回山種美術館 大賞を受賞した北田 克己さん	(山)	新美術新 聞	729			
第13回山種美術館 大賞に北田克己さん		〃	〃			

平成7年定期刊行物所載文献(作キ、ク)

見えない部分の存在 —70年代を振り返って	木村 光佑	木村光佑 ・松本晃 ・黒崎彰 一70年代 と色彩展 図録(町 田市立 国際版 画美術 館)	父 清原重以知の思 い出	清原美禰子	清原重以 知展図録 (徳島 県立 近代美 術館)	
現在位置—存在(C)	きむら こうすけ	視 る 336	清原重以知覚書	江川 佳秀	“	
岸田劉生、木村莊 八、中川一政と三岸 好太郎	苦名 直子	岸田劉生 ・木村莊 八・中川 一政と三 岸好太郎 展図録 (北海 道立 三岸好 太郎美 術館)	モニュメント「道標」 について(清水九兵 衛)	前田 孝一	メープル ニュース	29
画家・彫刻家の創造 したヴィジョン 顔 民話の中の像・木村 信吾		美術の窓 150	作家訪問 陶芸 清 水豊彦さん		目の眼	220
特集 映画と美術の 100年 アンケー ト:マイ・フェイ ヴァリット・フィルム	木村 恒久	美術手帖 713	近代の陶芸家たち 六代清水六兵衛	中ノ堂一信	茶道雑誌	59—10
今日の版画的世界の 極端—式場庶子と 木村秀樹	小川 正隆	版画芸術 89	肖像画は語る 山下 徳夫代議士の肖像画 桐野江節雄氏の筆で 完成		新美術新 聞	734
現代版画の位相 関 西からの発言	木村 秀樹 長尾 浩幸 中谷 至宏 本誌編集長	“ 90	画家・彫刻家の創造 したヴィジョン 女 筆で描く・桐野江節 雄		美術の窓	150
アトリエの画家たち 9 木村秀樹		“ “	アンケート 自分 には戦後はやってこ ない	金 昌樹	自由美術	'95
都市の可能性	木村 稔	日本の映 像展図録 (福井 県立 美術 館)	(ク)			
あるソルフェージュ ／透過される世界 への調律	鷹見 明彦	木村裕展 図録 (BASE GALL- ERY(銀 座))	特集 20世紀を決定 した「眼」 20世紀 の、そして私自身の ヴィジュアル・シ ョック 黄海は黄色 だ、現代アートはド ラッグだ	日下 潤一	芸術新潮	541
南大路一さん追悼	木本 晴三	春 陽 70	鳴鶴翁の思い出	日下部清 (鳴鶴の 女孫)／ 田中 章子 (鳴鶴 の二女 和子 の長女) 他	日下部鳴 鶴の書展 図録(彦 根城博 物館)	
§ 清野泰行 §	越前 俊也	VOCA 展 '95「現代 美術の展 望—新し い平面の 作家たち 」図録 (上野 森美術 館)	特集 20世紀を決定 した「眼」 20世紀 の、そして私自身の ヴィジュアル・シ ョック 幻覚よ、こん にちは	草間 彌生	芸術新潮	541
§ 作家の言葉 §	清野 泰行	“	草間彌生	西川 昌宏	新美術新 聞	746
土佐美術家外伝6 清原啓子	鍵岡 正謹	高知県立 美術館 ニュース 8	草間彌生 “君は死 して今”	長谷川祐子	世田谷美 術館だ より	33
			草間彌生 たったひ とりの画家	(編 集 部)	版画芸術	89
			特集 映画と美術の 100年 アンケー ト:マイ・フェイ ヴァリット・フィル ム	草間 彌生	美術手帖	713
			「制作の現場から」	久世 健二	石川県立 美術館だ より	146
			骨董蒐集うましか譚 (85) 九谷庄三の鉢	小松 正衛	陶 説	513



画家の創造したヴィジョン 人物 ヒューマンイズム・工藤和男	(編集部)	美術の窓	151					古茂田守介の全貌展一甦った「焼失」作品群を中心に目録(目黒区美術館)		
夕べのマンローラ(彫刻)	工藤 健	多摩美術大学研究紀要	10			酒壺と枯れ花	窪島誠一郎			
特集 『戦後50年と私』 50年という節目	工藤 甲人	新美術新聞	742			隈研吾 建築家がアーティストとして発想するベネチア・ビエンナーレ日本館		ギャラリー(月刊)	121	
画家・彫刻家の創造したヴィジョン イメージ 自然讃歌・工藤甲人		美術の窓	150			特集 ヴェネツィア・ビエンナーレー100年目の孤独? 参加アーティスト&アート・ビープル語録 私はこう見た! 隈研吾	梅宮 典子(編集部)	美術手帖	712	
画家・彫刻家の創造したヴィジョン 女性 女性の動き・工藤孝城		〃	〃			ヨコハマの風を受ける、スピード&ソウルの即興感—熊谷弘道	菅野 美香	デザインの現場	74	
特集 平成6年後期の美術賞とその作品受賞作家インタビュー “あなたにとってプロとはアマとは?” 工藤育		美術(月刊)	232			特集 絵で読む家族の肖像 一枚の絵から考える<家族の死> 「人生の意味」の意味(熊谷守一)	福田 和也	芸術新潮	549	
十佐美術家外伝8 国沢新九郎	鍵岡 正謹	高知県立美術館ニュース	10			特集 絵で読む家族の肖像 家族が死ぬとき 長いお別れ 熊谷守一	(編)	〃	549	
画家・彫刻家の創造したヴィジョン イメージ 時間に洗われた空間・国見縫子		美術の窓	150			現代陶芸のあけぼの十選5 熊倉順吉「僧の座」	中村 錦平	日 経	5,12	
有機質と鉱物質	谷 新	國安孝昌・椎原保一有機物質/鉱物質図録(ギャラリー白(大阪))				近代日本美術家列伝30 久米桂一郎	山梨 俊夫	美術手帖	715	
陶ブロックによるインスタレーションの研究3—逆進化芸術論—	國安 孝昌	筑波大学芸術研究報告	24			研究発表要約 新興美術運動の先駆者 久米民十郎	五十殿利治	近代画説	4	
特集 アメリカン・ドリームに賭けた日本人画家たち 美術界の野茂たちの軌跡 美術界の大リーガー その名は国吉康雄	(編)	芸術新潮	550			庫田發氏を悼む	大歳 克衛	連 盟 ニュース	360	
特集 『戦後50年と私』4 出会い	國領 経郎	新美術新聞	745			特集 「版画」の現在 地点 倉地比沙支	倉地比沙支	版画芸術	88	
久保卓治 黄昏のロンドン	(編集部)	版画芸術	87			特集 平成6年後期の美術賞とその作品受賞作家インタビュー “あなたにとってプロとはアマとは?” 倉地比沙支		美術(月刊)	232	
書物の森 版画の泉<番外編> 室内生活のユートピア—久保卓治「ヤコブと天使」に寄せて	気谷 誠	〃	90			倉橋元治試論 やさしく、深く、ひろく	武田多恵子	構 造	11	
						追悼 牧田喜義氏	久里 洋二	新美術新聞	750	
						特集 「版画」の現在 地点 西日本編	栗岡 孝於	版画芸術	90	
						画家・彫刻家の創造したヴィジョン 顔馬による自画像・栗林今朝男		美術の窓	150	
						画家の創造したヴィジョン 人物 馬による自画像・栗林今朝男	(編集部)	〃	151	

人と作品 栗原幸彦 気韻の金屏風 自然 の王国	(野)	アート・ トップ	149	作品カタログ ク ロード・モネおよび 黒田清輝 黒田清輝 鹿児島1866—東京、 1934	〃	〃	
戦後50年記念大特集 カンヴァスが証す画 家たちの「戦争」第 一部 それぞれの 「戦争と私」栗原信 最前線からの従軍日 誌	福富 太郎	芸術新潮	548	陶磁協会の先生たち の思い出(2) 黒田 領治先生	池田 瓢阿 陶 説	503	
特集 インスタレー ション Artist Int- erview 栗本百合 子	(編集部) 大野左紀子 (聞き手)	Lady's Slipper	4	特集 20世紀を決定 した「眼」 20世紀 の、そして私自身の ヴィジュアル・シ ョック アジキに教 わった東京の「撮り 方」	桑原甲子雄	芸術新潮	541
CRITICISM SYMPOSIUM	前田 常作 千葉夫次 水谷孝秀 森鉄ヒロシ タナノユキ	リキテッ クス・ピ エ展5回 図録(スル パイラデ ン)		町工場から生まれる 抽象絵画[桑山忠明 の最新プロジェク ト]	[Nu]	AURA	11
特集・デザイン問答 基調インタビュー 社会も変わればデザ インも変わる? 黒 川紀章 都市デザイ ンは公共性が第一優 先ですか?		AXIS	55	館藏品紹介 桑山忠 明	尾野 正晴	国立国際 美術館月 報	28、33
新鋭作家図鑑 黒木 周 自伝的な表現の 磁力	(編集部)	版画芸術	89	見目陽一 木版・野 仏巡礼	(ケ)		版画芸術 88
色彩のよろこび	黒崎 彰	木村光佑 ・松本晏 ・黒崎彰 —70年代 と色彩展 図録(町 田市立国 際版画美 術館)		研究ノオト モ ビールの展開 コー ルダーとリッキー	奥村 泰彦	和歌山県 立近代美 術館ニュ ース	6
パート・ド・ヴェー ルの技法(三) (黒 崎知彦)	坂田 浩伸 千野 英春	GLASS	37	オリジナル版画制作 記 必然が訪れるの を待ちながら	小泉 貴子	版画芸術	90
日本ガラス工芸学会 第三回大会研究発表 要旨 (一)新しいガ ラス加工の試み	黒崎 知彦	〃	〃	特集 絵で読む家族 の肖像 家族という 風景 絵描きの一家 小出檜重	(編)	芸術新潮	549
画家・彫刻家の創造 したヴィジョン イ メージ 謎の自然・ 黒澤信男		美術の窓	150	画家・彫刻家の創造 したヴィジョン 女 エロティシズム・黄 憲		美術の窓	150
美術よもやま話—黒 田清輝「昔語り」につ いて	藤本 陽子	アートフ ォーラム	33	追悼 森田曠平氏	郷倉 和子	新美術新 聞	727
黒田清輝〜晩年の風 景画〜	立元 史郎	鹿児島市 立美術館 だより	38	今月のこの作家・こ の作品 今道子 異 界を見ることのでき る稀な作家	合田佐和子	美 術 (月刊)	236
近代日本美術家列伝 29 黒田清輝	長門 佐季	美術手帖	715	特集 アメリカン・ ドリームに賭けた日 本人画家たち 美術 界の野茂たちの軌跡 アメリカ経由で本場 ヨーロッパへ 幸徳 死影	(編)	芸術新潮	550
修復記録 黒田清輝 (杣)	小林 嘉樹 石井 亨	ブリヂス トン美術 館・久留 米石橋美 術館館報	43	特集 「版画」の現在 地点 西日本編	古賀 章	版画芸術	90
				INTEREST 小河 織衣	ばんのなお こ	アートマ インド	78

クローズアップ 小河織衣 線と円のイラストワール	〃	〃	82	特集 絵で読む家族の肖像 家族が死ぬとき 長いお別れ 五姓田義松	(編)	芸術新潮	549
超現実主義と機械主義のはざまへ 古賀春江、阿部金剛、東郷青児	大谷 省吾	芸 叢	11	近代日本美術家列伝 19 五姓田義松	長門 佐季	美術手帖	711
古賀春江の超現実主義絵画と同時代のイメージ	速水 豊	美術史	137	画家の創造したヴィジョン 人物 夜想曲・後藤恵美子	(編集部)	美術の窓	151
研究報告 古賀春江の《素朴な月夜》について	杉本 秀子	ブリヂストン美術館・久留米石橋美術館館報	43	特集 『戦後50年と私』 有言無言の教え	後藤 狷士	新美術新聞	742
クローズアップ 小金井絢子 凝集、閑雅、霊妙の画品	水上 杏平	アートマインド	79	研究発表要約 最初の彫刻家、後藤貞行(一八四九～一九〇三)について	田中 修二	近代画説	4
画家の創造したヴィジョン 人物 生命のイメージ・小久保裕	(編集部)	美術の窓	151	特集 後藤澄夫 荘厳の美と祈り 風景に投影する絵師の心	篠原 弘	アート・トップ	150
私のメモランダム(2) 1990年5月28日ー6月16日(リトグラフ)	小作 青児	多摩美術大学研究紀要	10	特集 後藤澄夫 後藤澄夫自らを語る	編集部文責	〃	〃
私と笠間日動美術館 53 美術館で出会った人	小島 英一	絵	377	INTEREST 後藤節三 風景および内的パースペクティブ	佃 堅輔	アートマインド	81
§作家のことは§	小島 久弥	「水の变の夢幻」その新しき表現展図録(美術館)		§作品について§	後藤 みき	CLAY WORKS IN CONTEMPORARY ART '95 後藤みき展図録(ルナミ画廊)	
特集 ヴェネツィア・ビエンナーレ最終便 VOICE	小清水漸他	新美術新聞	744	本年度審査員による座談会「二十七回日展に夢をかける」	小西 啓介 岡村 倫児 川崎 麻省 村田 立川 藤森 兼明 西村 義祐 赤堀 郁彦	日展ニュース	78
証言=もの派が語るもの派 闇の中へ消えていく前の藪の中へ	小清水 漸	美術手帖	706	特集 『戦後50年と私』4 生への模索	小西 保文	新美術新聞	745
画家・彫刻家の創造したヴィジョン 顔時間の顔・小代三保子		美術の窓	150	画家の創造したヴィジョン 無目的な人間・小西保文	(編集部)	美術の窓	151
創刊150号特別企画 楽しい仲間	小杉小二郎 渡辺 武夫 橋本 博英	〃	〃	戦後50年記念大特集 カンヴァスが証す画家たちの「戦争」第一部 それぞれの「戦争と私」 小早川秋聲 天覧を拒絶された幻の戦争画を発見!	(編)	芸術新潮	548
小野竹喬 小杉放菴「奥の細道」に思うこと 文化と近代性あるいはハレの芸術・ケの芸術	草津奈津子	美術京都	15	小林永濯の人と作品	松浦あき子	MUSE-UM	534
小野竹喬、小杉放菴「奥の細道」に思うことー文化と近代性あるいはハレの芸術・ケの芸術	〃	小野竹喬展ーその人と芸術図録(山種美術館)		素材&テクニック編 触覚でとらえるペーパーワーク(立体ペーパーワーク)ー小林カズシ	渡辺 尚子	デザインの現場	75
近代日本美術家列伝 4 五姓田芳柳	長門 佐季	美術手帖	705				



酒壺と枯れ花—古茂田守介の「もの」主義—	窪島誠一郎	古茂田守介の全貌展「甦った「焼失」作品群を中心に(目黒区美術館)		今月のこの作家・この作品 今道子 異界を見ることのできる稀な作家	合田佐和子	〃	〃
絵具層と顔料について	宮田 順一	〃		phase ver.1 位相 / logos(リトグラフ)	近藤 憲昭	多摩美術大学研究紀要	9
古茂田守介“焼失”油彩画作品群の修復	岡崎純生 木島隆康 斎藤敦智 多田智恵子 田村和稔 西原紀恵 山領まり 渡辺郁夫	〃		追悼 牧田喜義氏	近藤 弘明	新美術新聞	750
古茂田守介・存在の探求	増田 和朗	〃		素材&テクニック編 木の一生を内包する流木のオブジェ(立体オブジェ)—近藤康広	東海林理佳	デザインの現場	75
戦後具象絵画と古茂田守介の「再々評価」	正木 基	〃		日本美術風土記 北海道編2 紺野修司	高山 淳	美術の窓	152
古茂田守介“被災”作品の修復 修復報告	木島 隆康	修復研究所報告	11	昆野函の彫刻 重力からの離脱—あるいは社会との融合	三上 満良	昆野函展図録(板橋区立美術館)	
陶磁協会の先生たちの思い出(1) 小森松菴先生	池田 瓢阿	陶 説	502	(サ)			
小山硬 白緑の画人 小山功の屏風の世界 気韻生動、生命讃歌	篠原 弘	アート・トップ	144	「時間」を視覚的に表現する 生きた素材・微生物の培養と作品か/崔在銀		ギャラリー—(月刊)	119
中国の旅(1) 思いがけない窯場見学	小山 岑一	陶 説	507	齋鹿逸郎 形として見えない形の繋がり		ギャラリー—(月刊)	122
中国の旅(1) 窯の博物館	〃	〃	508	齋鹿逸郎の仕事—癒しのアボカリプス(黙示録)—	三好 徹	齋鹿逸郎展—白と純白とのあひだ—図録(米子市美術館)	
中国の旅(1) 定瓷博物館と澗磁村窯跡	〃	〃	509	白と純白とのあひだ—その後	齋鹿 逸郎	〃	〃
中国の旅(1) 磁州窯の窯跡めぐり	〃	〃	510	自作について(作品解説)	齋鹿 逸郎	〃	〃
中国の旅(1) 禹県の屋台店	〃	〃	512	齋藤史門 鉄を軽くあしらって	編集部 インタビュー・構成	美術手帖	703
中国の旅(1) 北京大学サッカー考古芸術博物館及び中国の窯	〃	〃	513	特集 没後一年 夢と涙と、齋藤真一 哀愁漂う色と形の創造—“賢女”以前、そのプロローグ	片岡 雅志	美術 (月刊)	241
流産した視覚28 西洋を貫く、気韻と生動(小山敏三)	米倉 守	アート・トップ	149	特集 没後一年 夢と涙と、齋藤真一 絶えざる自由への憧憬—“賢女”以後“ビエロ”“吉原”へ	清水 久夫	〃	〃
近代日本美術家列伝24 小山正太郎	太田 泰人	美術手帖	712	(F)			
陶磁協会の先生たちの思い出(3) 小山富士夫先生	池田 瓢阿	陶 説	504	特集 没後一年 夢と涙と、齋藤真一 面影は思い出の彼方へ—齋藤真一というひと	西中 大由 藤原 郁三 村田 稲造 安藤 光彦 中原 佑介 青木 外司 木村 品子	〃	〃
クローズアップ 長澤松園・長澤孝彦・小山陽子 誌上作品展	水上 杏平	アートマインド	79				
今月のこの作家・この作品 今道子 “五感に感じさせる” “生と死”	(編集部)	美術 (月刊)	236				

平成7年定期刊行物所載文献(作サ)

特集 没後一年 夢と涙と、齋藤真一と近現代において物語を描くこととは	小泉 晋弥	〃	〃	色いろ調 佐伯祐三、大発見	安井 収蔵	新美術新聞	723
特集 没後一年 夢と涙と、齋藤真一“警女”の評定と再認識の指向—齋藤真一の市場性とは	清水 秀作	〃	〃	色いろ調 続・佐伯祐三大発見	〃	〃	724
画家・彫刻家の創造したヴィジョン 顔理想的ファミリー・齋藤静輝		美術の窓	150	色いろ調 続ぞく佐伯祐三大発見	〃	〃	729
特集 「版画」の現在地点	齋藤 千明	版画芸術	88	“佐伯祐三”の未公開作は公開されるのか	白川 茂樹	〃	734
斎藤哲爾氏パリに死す	関口 俊吾	連盟ニュース	363	“佐伯祐三”作品の公開中止		〃	746
リレーエッセイ 第2回 現代を創る作家たち	齋藤 典彦	アート・トップ	150	“佐伯祐三”作品ほぼ贋作 調査審議委が最終答申		〃	753
ぼくの空想コレクション199話 齋藤典彦	秋山 和歩	美術(月刊)	233	師酒井一貫斎の想い出	清水 精也	刀剣美術	466
TRENDS	サイトウ・マコト	AXIS	54	刀界の長老酒井一貫斎繁政さん逝去		〃	〃
1995年ADCグランプリ受賞 サイトウ・マコト ロング・インタビュー	後藤 繁雄	デザインの現場	77	人と作品 坂口紀良音楽をかなでるように フランス絵画の王道坂口紀良の快適空間	篠原 弘	アート・トップ	150
1995年ADCグランプリ受賞 サイトウ・マコト とことんやる	宇留間能力	〃	〃	座談会「第二十七回 日展審査を終えて—明日への希望—」	坂根中上横山木内永井宇濱鈴木石川他	日展ニュース	79
1995年ADCグランプリ受賞 サイトウ・マコト 出産に立ち会う喜び	松本瑠樹談	〃	〃	特集 「版画」の現在地点 西日本編	坂本 恭子	版画芸術	90
特集 齋藤光子 ヴェニス、水の道標にみる齋藤光子さんのこころとかたち	安井 収蔵	アートマインド	82	INTEREST 坂本唯市	水上 杏平	アートマインド	77
画家の創造したヴィジョン 人物 不思議なエロティシズム・齋藤求	(編集部)	美術の窓	151	ロイユ・デ・ボザール62 坂本繁二郎 VS ジャック・ヴィヨン		美術の窓	146
アトリエの扉をあけて7 ようこそ、齋藤好和商店へ	〃	デザインの現場	74	ロイユ・デ・ボザール64 モランディ VS 坂本繁二郎		〃	148
特集 武蔵野美術大学と多摩美術大学 美術現場と教育現場を直結した三人の雄一(横山)操・(加山)又造・(齋藤)義重	米倉 守	美術(月刊)	240	修復記録 坂本繁二郎《少女》	田村 和稔	プリズトン美術館・久留米石橋美術館館報	43
名画再読<鬼>齋藤義重	芥川 喜好	読 売	6.11	修復記録 坂本繁二郎《老婆》	山中 和人	〃	〃
脇本義太郎先生に聞く 佐伯祐三の蒐集家列伝	文責編集部	絵	378	坂本繁二郎関連記事目次(1970-1980)	後藤 純子 植野 健造	〃	〃
X線で見える佐伯祐三(3)	田中智恵子 宮坂 恵理	修復研究所報告	11	§ 坂本優子 §	谷川 渥	VOCA展'95「現代美術の展望—新しい作家たち」図録(上野森美術館)	
佐伯祐三作品の地塗層顔料調査結果(2)	宮田 順一	〃	〃				

シナマイ	佐久間美智子	明星大学 研究紀要	3	佐治賢使氏(漆芸)に 文化勲章		新美術新 聞	751
桜井貞子先生(紙布 作家)を訪ねて		游 美	20	佐藤一章「背面裸婦」 修復報告	渡辺 郁夫	修復研究 所報告	11
画家・彫刻家の創造 したヴィジョン 女 子供のように全身的 に・櫻井孝美		美術の窓	150	個展の声 時の扉	佐藤 健吾 エリオ	絵	381
アンケート 15才で 初出品して・・・	桜井 直子	自由美術	'95	日本人とグラフィズム 対談：佐藤晃一 ×タナカノリユキ		アイデア	248
東京都文京区・同潤 会大塚女子アパート 桜井浜江	西澤 美子	新美術新 聞	752	特集 写楽と現代グ ラフィックス モチ ーフとしての「江戸 文化」 佐藤晃一氏 に聞く		〃	249
画家の創造したヴィ ジョン 人物 実在 とロマンティシズム ・桜井寛	(編集 部)	美術の窓	151	GOOD NIGHT, EARTH! (ポスター)	佐藤 晃一	多摩美術 大学研究 紀要	10
テラコッタによる彫 刻表現の研究-成形 法と表現について-	桜井 雅文	筑波大学 芸術研究 報告	23	陶磁協会の先生たち の思い出(3) 佐藤 進三先生	池田 瓢阿	陶 説	504
櫻田精一とその芸術 を語る	瀧 梯三守 米倉 櫻田 櫻田 精一 (司会) 金山 喜昭	櫻田精一 ／人と作 品／美を みる眼展 図録(野 田市郷土 博物館)		特集 1995年上半期 の美術界大研究 作 家を選ぶ人気展覧会 ベスト10 デュフィ の魅力	佐藤 泰生	美術の窓	149
画家・彫刻家の創造 したヴィジョン イ メージ 風景の中の 色面・迫田嘉弘		美術の窓	150	追悼 牧田喜義氏	佐藤 多持	新美術新 聞	750
§水の苦痛§	笹岡 敬	「水の 変の 幻」-そ 新しき表 現展図 録(O美 術館)		河北倫明氏を悼む 恩師河北倫明先生	〃	〃	751
佐々木経二 空気、 リズムを表現する画 家人生	(編集 部)	美 術 (月刊)	232	ピンナップ・ギャラ リー 佐藤多持		美術の窓	151
アンケート 若い頃 の思い込みの持続	佐々木正芳	自由美術	'95	五十年の残影6 突 撃	佐藤 忠良	新美術新 聞	728
絵画材料の発見 壁 派の巻き返し?	佐々木 豊	新美術新 聞	736	五十年の残影7 逃 亡	〃	〃	729
追悼 牧田喜義氏	〃	〃	750	五十年の残影8 投 降	〃	〃	730
向う三軒両隣 神奈 川横丁6 佐々木豊 女体と造形の解剖学	武田 厚	美術の窓	143	五十年の残影9 走 りもせず停まりもせ ず	〃	〃	731
テレビドキュメンタ リー	佐々木 豊	明星大学 研究紀要	3	特集 1995年上半期 の美術界大研究 作 家を選ぶ人気展覧会 ベスト10 ワイエス の描く自然			
描く本質を具象する 眼 鈴木新夫と新し いリアリズム	佐々木吉晴	JAAM	45	佐藤朝山について 柳沢基夫・宮本理三 郎・横田七郎各氏に 聞く	聞き手 千田 敬一 基 俊太郎	碓山美術 館報	16
画家・彫刻家の創造 したヴィジョン 顔 情報が持つリアテ ・佐々木良三		美術の窓	150	佐藤哲三-晩年の風 景への道程	大倉 宏	佐藤哲三 展 図録 (新潟県 立近代美 術館)	
笹村草家人の思い出	泉 宏尚	碓山美術 館報	16	<みぞれ>一点ばり に書く	原田 光	〃	
笹村草家人-碓山美 術館設立の過程で-	五十嵐久雄	碓山美術 館ニュー ス	5	絵が問いかけてくる !~佐藤哲三の風景 ~	小林 徹	〃	
				佐藤哲三と文化活動 初期人物画にみる西 欧絵画の影響と展開	小見 秀男 松矢 国憲	〃 〃	

平成7年定期刊行物所載文献(作サ、シ)

名画再読<みぞれ> 佐藤哲三	芥川 喜好 読 売	2. 19					VOCA 展'95「現 代美術の 展望—新 しい平た の作家た ち」(上 (森野美 館)の術
佐藤照代 カタスト ロフの予感	(編 集 部) 版画芸術	89			山東京伝二 \$	秋元 雄史	
素材&テクニック編 布 大胆で繊細な 「ブリーツ・ブラス ックボックス」(プロ ック・グッズ)—佐藤 直人	〃	75	デザイン の現場		ヨーロッパと日本の 芸術状況の比較	山東 英起	ギャラリ ー(月刊) 123
画家・彫刻家の創造 したヴィジョン・イ メージ 危機を描く ・佐藤柳逸		150	美術の窓	(シ)			
里見勝蔵氏と私の父 との巡り会い	久保 文		里見勝蔵 展(黒区 美術館)		exercise1—1(塩田 力蔵)	北澤 憲昭	工 芸 2
里見勝蔵と京都の風 土	島田 康寛	〃	〃		有光次郎氏を偲んで 忘れられない笑顔	塩出 英雄	新美術新 聞 731
渡欧の成果—ヴラマ ンクとの出会い	三谷 巍	〃	〃		<座談>奥村土牛先 生の芸術について (2)(3)	話し手 秀雄 塩出 秀雄 聞き手 岩壁 富士夫 毛利 武彦 司会 会 観 入江	連盟ニユ ース 361, 363
華やかさと孤独	山田 敦雄	〃	〃		第1回酒田市土門拳 文化賞に鹿野晴男さん		新美術新 聞 733
裸婦連作	山野 英嗣	〃	〃		今日の版画的世界の 極端一式場庶譚子と 木村秀樹	小川 正隆	版画芸術 89
「巴里通信」以後—里 見勝蔵の第二次渡欧 の意味	小泉 晋也	〃	〃		INTEREST 直原 玉青	佃 堅輔	アートマ インド 79
里見勝蔵—巡礼の旅 ・追憶の糸	山内 滋夫	〃	〃		画家の創造したヴィ ジョン 静物 風景 的静物・茂田滋夫	(編 集 部)	美術の窓 151
フォーヴの旗手里見 勝蔵	富山 秀男	〃	〃		プリント・アートの たのしみ16 心孔版 画の魅力にめざめる	志田あつし	アート・ トップ 150
里見勝蔵先生のこと	井沢 元一	視 る 338			特集 「版画」の現在 地点 西日本編	設楽 知昭	版画芸術 90
祖父について(里見 勝蔵)	山内 滋夫	〃 〃			アート電車第2弾! 空海現る(篠原有司 男)		高知県立 美術館ニ ュース 10
\$ 作家の言葉 \$	佐野 篤		TOSA— TOSA '95 ク ールの時代 —美術の ノイズ・ ミック展 録(高知 県立美術 館)		特集 映画と美術の 100年 アンケート :マイ・フェイヴァ リット・フィルム	篠原有司男	美術手帖 713
色いろ調 晦日に 出る月(佐野乾山)	安井 収蔵	749	新美術新 聞		篠原有司男の底力	インタヴ ー	〃 〃
追悼 牧田喜義氏	佐野 めい	750	〃		特集 映画と美術の 100年 アンケート :マイ・フェイヴァ リット・フィルム	篠原乃り子	〃 〃
美術紀行1 ヴェ ネチアの旅から—ヴェ ネチア・ピエンナレ	砂孟 富男	152	美術の窓		特集 三島由紀夫の 耽美世界 第一部 三島由紀夫の「美的 生活」三島さんの 思い出	篠山 紀信	芸術新潮 552
青い絵具の匂い—松 本竣介と私10 澤田 哲郎訪問—油絵具の 秘法	中野 淳	149	〃		篠山紀信による「三 島由紀夫の家」	篠田 達美	美術手帖 715



司馬江漢筆『ゼウクシス葡萄写生図』をめぐって	成瀬不二雄	大和文華	93						
司馬江漢の面白さ	近藤 秀実	早稲田大学図書館紀要	41						
画家・彫刻家の創造したヴィジョンイメージ 砂漠の夜・柴田俊		美術の窓	150						
クロウズアップ 柴田竹童 伝統と独創の岐路に立って	柴田 竹童	アートマインド	80						
特集 「版画」の現在 地点 西日本編	柴田 英年	版画芸術	90						
新芸術院会員決まる 独立美術から19年ぶり 芝田(米三)氏(洋画)、初の昭和世代の 雨宮(敬子)氏(彫塑)		美術 (月刊)	232						
特集 「版画」の現在 地点	渋谷 和良	版画芸術	88						
島霞谷「美人図」 プレキシトル、プレキシゾルによる裏打	伊藤 由美	修復研究所報告	11						
島霞谷作品クロスセクションの観察と分析	宮田 順一	〃	〃						
島霞谷のこと	青木 茂	〃	〃						
ぼくの空想コレクション205話 島崙清史	秋山 和歩	美術 (月刊)	239						
高崎からの発信—島崎庸夫氏に聞く	島崎 庸夫	新美術新聞	736						
ナチュラルが生む冒険 島田カオル	杜 今日子	デザインの現場	78						
島田章三 美のアルカディアをさぐる造形美	篠原 弘	アート・トップ	144						
個展の声 「書く」と「描く」こと	島田 章三	絵	373						
特集 『戦後50年と私』 混乱少年期	島田 章三	新美術新聞	742						
画家の創造したヴィジョン 人物 かたちと・島田章三	(編集部)	美術の窓	151						
アンケート	島田 忠恵	自由美術	'95						
特集 「版画」の現在 地点	嶋田 美子	版画芸術	88						
島野芳子一版に向かって	インタヴュー	C.A.R.	18						
清水九平衛—親和の造形—	(伸)	日本美術工芸	683						
都市の共感探る清水九平衛の彫刻	(吉)	〃	685						
特集 アメリカン・ドリームに賭けた日本人画家たち 美術界の野茂たちの軌跡 渡米画家たちの運命の岐路 清水登之・清水清	(編)	芸術新潮	550						
特集 アメリカン・ドリームに賭けた日本人画家たち 美術界の野茂たちの軌跡 渡米画家たちの運命の岐路 清水登之・清水清	〃	〃	〃						
人と作品 清水規 独自の画道 練達と充実	(志)	アート・トップ	149						
故 清水鍊徳氏	北岡 文雄	連盟ニュース	361						
近代日本美術家列伝3 下岡蓮杖	原田 光	美術手帖	705						
ある前衛芸術家の生活と創作 『下郷羊雄日記』より(2)	山田 論	名古屋市美術館研究紀要	4						
「刺激する実践—グレー・スーツ」	霜田 誠二	パフォーマンス・アート・オン・スクリーン 展4 G-REY S-UIT from WALES 図録(町田市立国際版画美術館)							
画家の創造したヴィジョン 風景 シンボル・下田悌三郎	(編集部)	美術の窓	151						
聞き書き16 小久慈焼 下嶽毅さん(第一回)		中新田町立東北陶磁文化館陶磁館ニュース	26						
MTV—ID	下西 紀子	成安造形大学研究紀要	2						
ジュリアン・シュナーベル 「新・抽象表現主義」の予感	(編集部)	版画芸術	89						
画家・彫刻家の創造したヴィジョン 女エロスという社会・城景都		美術の窓	150						
白井謙二郎作品への覚書—生命体の宿る構造	尾崎 真人	白井謙二郎・古澤岩美—60年目の前衛—展図録(板橋区立美術館)							

特集 芸術家になりたい! サヴァイヴァル予習編 ふたつの拠点を行き来するバランス 白井美穂	美術手帖	705		菅木志雄—無限を見通す構造体	インタヴェュー	〃	717
特集 映画と美術の100年 ゴダールをめぐる視点	白井 美穂 藤本由紀夫	〃	713	作家回想録2 昨日、今日、明日 能についての話	須加五々道	アートマインド	77
白川義員一第27回日本芸術大賞 選評	大岡 信 酒井 忠 高山 辰 前田 常作	芸術新潮	547	墨環会展 終着駅の無い旅58回~63回	〃	〃	77~83
白川義員一第27回日本芸術大賞 20年がかりの夢 南極大陸撮影記	白川 義員	〃	〃	作家回想録2 昨日、今日、明日 青春期のノートより (東洋絵具考参照)	〃	〃	78
日本芸術大賞27回白川義員氏 写真家で2人目		新美術新聞	735	『未来絵画への表現』 須加五々道と墨環会	須加五々道 佃 堅輔	〃	79
TRENDS	白鳥 美雄	AXIS	54	菅野圭介の画業について	原田 実	菅野圭介展 図録 (平塚市美術館)	
特集 映画と美術の100年 アンケート:マイ・フェイヴァリット・フィルム	シリアガリ 寿	美術手帖	713	菅野圭介の作品 (1935~1945)	石渡 尚	〃	
戦後50年記念大特集 カンヴァスが証す画家たちの「戦争」 第二部グラフ これが戦争画だ 銃後の護り 新海覚雄	(編)	芸術新潮	548	十八世紀の天体模型 オルルレイ	菅野 陽 学 鏡		92-9
特集 20世紀を決定した「眼」 20世紀の、そして私自身のヴィジュアル・ショック 発覚した神の失敗作	新宮 晋	〃	541	特集 20世紀を決定した「眼」 20世紀の、そして私自身のヴィジュアル・ショック 一億三千万の視細胞のざわめき	杉浦 康平	芸術新潮	541
これぞ模型の王者 ルネッサンスの建築展	〃	〃	542	INTEREST 杉江芳子	嶋田 三郎	アートマインド	77、83
熱帯祝祭劇を彩るナチュラル素材—舞台「マウイ」から	宮本 亜門 前田 文子 信耕 ヒロ子	デザイン の現場	75	特集 映画と美術の100年 アンケート:マイ・フェイヴァリット・フィルム	杉本 博司	美術手帖	713
プリント・アートのたのしみ15 C・Gとプリントごっこの連携で広がる役者絵の世界	神羽 和義	アート・トップ	149	VOCA展'95「現代美術の展望—新しい平面の作家たち」図録 (上野美術館)	新田 秀樹		
(ス)				§ 杉本みゆき §	〃		
吹田草牧の画業	上 蔭 四郎	吹田草牧展—日本画と洋画のはざま (笠岡市立竹喬美術館)		杉山惣二—陶彫 アルカイックなものへの憧憬	三木 多聞	美術 (月刊)	234
近代美術資料31~35 吹田草牧「渡欧日記」(続)		視 る	331~342	杉山惣二—陶彫 野外彫刻が置き忘れたもの	(編集部)	〃	〃
証言=もの派が語るもの派 場の無形に沿っていく	菅 木志雄	美術手帖	706	芸苑雑事記37 杉山寧忘のプレス・クラブ	瀧 悌三	美術の窓	147
				画家・彫刻家の創造したヴィジョン 女独特のグレー・杉山吉伸	〃	〃	150
				描く本質を具象する眼 鈴木新夫と新しいリアリズム	佐々木吉晴	J A A M	45
				画家・彫刻家の創造したヴィジョン 女アンティーム派・鈴木克久		美術の窓	150

第14回土門拳賞は鈴木清氏	新美術新聞	732				鈴木芳子展図録(ギャラリートレーラー長谷川空間創造会社)	
特集 平成7年前期の美術賞とその受賞作家インタビュー 土門拳賞14回 鈴木清	美術(月刊)	239		人間の悲しい性—鈴木芳子の世界	山田 論		
研究発表要約 中村彝の手紙—洋画家鈴木金平に送った書簡 目白のアトリエ時代(大正五年~十三年)—	瀧谷 由紀 近代画説	4		物語 日本洋画商史二十 青樹社の“秀吉” 鈴木里一郎	田中 穰 絵	371	
画家の創造したヴィジョン 人物 寓意・鈴木星城	(編集部) 美術の窓	151		戦後50年記念大特集 カンヴァスが証す画家たちの「戦争」 第二部 グラフ これが戦争画だ 描かれた戦争の「幕間」 鈴木良三	(編) 芸術新潮	548	
A Young Artist Moves on3 鈴木貴博	松井みどり 美術手帖	712		『犬の鼻』そして私の写真について	須田 一政		写真都市 TOKYO 展図録(東京都写真美術館)
A Young Artist Moves on 3 ブック 飛び鈴木貴博...26の質問	“ “	“ “		研究ノート 須田国太郎におけるトルソ的人体表現の意味	下山 肇	アマリリス	36
画家・彫刻家の創造したヴィジョン イメージ 新しい秩序を作る・鈴木力	“ “	150		須田国太郎 滞欧期の制作 科学分析を基礎として	中谷 至宏	京都市美術館年報	H5年度
追悼 加倉井和夫氏	鈴木 竹柏 新美術新聞	749		「遠像の近像化」を基本に 須田国太郎の制作コンセプト	山下 肇	J A AM	45
座談会「第二十七回 日展審査を終えて—明日への希望—」	鈴木 竹柏 響介 田中三上 横山木内 永井鐵 宇賀神濱田 他	日展ニュース	79	須田寿 坐志一塗りこめられた九十年の歲月	(野)	アート・トップ	150
鈴木千久馬と美校の仲間たち	鈴木 久雄	絵	377	須田寿	西川 昌宏	新美術新聞	735
§ 作品について §	鈴木 哲弥	CLAY WORKS IN CONTEMPORARY ART '95 鈴木哲弥展図録(ルナミ画廊)		特集 『戦後50年と私』 立軌会発足の頃	須田 寿	“ “	742
名画再読<藤原敏行朝臣(秋風)>鈴木春信	芥川 喜好	読 売	8.20	画家・彫刻家の創造したヴィジョン イメージ 永遠なる時・須田寿		美術の窓	150
戦後50年記念大特集 カンヴァスが証す画家たちの「戦争」 第二部 グラフ これが戦争画だ 銃後の護り 鈴木誠	(編)	芸術新潮	548	特集 「版画」の現在 地点	須永 高広	版画芸術	88
“墓”とは人間にとって何なのか	鈴木 政夫	美術(月刊)	238	須永高広 風のヴェール	(編集部)	“ “	90
				INTEREST 須永正道	須永 正道	アートマインド	80、82
				作家風土記 北海道・砂田友治	高山 淳	美術の窓	150
				巻頭特集 澄川喜一の「新・空間主義 インタビュー 日本の木」の抽象彫刻		アート・トップ	149
				巻頭特集 澄川喜一の「新・空間主義 澄川さんと共同制作」	清家 清	“ “	“ “
				巻頭特集 澄川喜一の「新・空間主義 澄川 < KIBUTSU > の波長	福田 繁雄	“ “	“ “

平成7年定期刊行物所載文献(作ス、セ)

巻頭特集 澄川喜一の 新・空間主義「澄川 闊々私見」	村井 修	〃	〃	第3回マスターズ絵 画大賞展 受賞者決 定 大賞に関美枝子 「風になりたい」	ギャラリー -(月刊)	122
巻頭特集 澄川喜一の 新・空間主義「澄川 喜一さんと「そり のあるかたち」	三木 多聞	〃	〃	ビトウィーン・ザ・ コミュニケーション	アグネス・ ヘゲドゥシ 関口 敦仁	美術手帖 708
巻頭特集 澄川喜一の 新・空間主義 環 境造形としての橋へ の思い	澄川 喜一	〃	〃	関口雄揮 珠玉の小 宇宙	(野)	アート・ トップ 147
戦後50年記念大特集 カンヴァスが証す画 家たちの「戦争」第 二部グラフ これが 戦争画だ 描かれた 戦争の“幕間” 住 谷磐根	(編)	芸術新潮	548	斎藤哲爾氏バりに死 す	関口 俊吾	連盟ニユ ース 363
「須山計一当用日記 (大正十三年)」につ いて	小島 淳	飯田市美 術博物館 研究紀要	5	風景の物語1 関口 雄揮	関口 雄揮	アート・ トップ 149
座談会「土の鏡」具 象の可能性 諏訪 敦、鍋島正一、三澤 寛志、森田康雄、山 本晴久、吉岡正人、 生駒泰充	一井建二司 会	美術の窓	151	関口雄揮・四国を描 く 南海放送本町会 館会館二十周年記念 新たなテーマへの予 感	(羅)	〃 〃
巻頭特集 澄川喜一の 新・空間主義 「澄川さんとの共同 制作」	清家 清	アート・ トップ	149	関島寿子一空間を包 む	インタビュー	C.A.R. 16
	(セ)			特集 絵で読む家族 の肖像 夫婦一肉親 より近い他人 子孫 を見守る夫婦像 関 根正二	(編)	芸術新潮 549
				名画再読<自画像> 関根正二	芥川 喜好	読 売 4.23
				証言=もの派が語る もの派 青春と同義 語の「もの派」と現在 (いま)	関根 伸夫	美術手帖 706
				プリント・アートの たのしみ13 新孔版 画には木版画以上の ファクターがある	渡会 純 関原 泰生 対談	アート・ トップ 147
§ 作家の言葉 §	西 悟	TOSA- TOSA '95 ク ールの時 代-美術 のノイズ ・ミック 展 図録(高 知県立 美術館)		Living Room, Tok yo1989-1994	瀬戸 正人	写真都市 TOKY O展図録 (東京都 写真美術 館)
《西悟》	谷 新	〃		芹沢銈介の生誕百年 を迎えて	芹沢 長介	芹沢銈介 展 春夏 秋冬図録 (芹沢銈 介美術 館)
§ 西悟 §	鍵岡 正謹	VOCA 展'95「現 代美術の 展望-新 平面の作 家たち」 図録(上 野美術 館)		出会ひしものすべて よろし	堀尾真紀子	〃
		美術の窓	150	日本画の冒険者たち 15 千住博 千住博 のまなざし ワール ド・アートへの道	篠原 弘	アート・ トップ 150
画家・彫刻家の創造 したヴィジョン 女 ダンス・関綾子		美術の窓	150	1995年ベネチア・ビ エンナーレ絵画部門 優秀賞受賞の千住博 さん 昇りゆく瀧の 彼方に	伊東 順二	〃 〃
平和への祈り各地に 続々 千葉 平和都 市宣言記念像(関正 司)		東 京	8.12	日本画とは単に「技 法」のこと、「日本的 な美」とは洗練して いくこと/千住博	ギャラリー -(月刊)	117

連載1〜5 美術の 対話を求めて 千住 博のちょっとやっぱ り押し問答	〃	120, 121, 123, 124, 126	特集 “紙の宝石”蔵 書票の魅力 私と蔵 書票 たかが蔵書 票、されどEX・LI BRIS	多賀 新	美術 (月刊)	238
特集 ベネチアビエ ンナーレ審査報告 画家・千住博の驚き	〃	124				タカエズ ・トシコ 展 思索と する色 作 かたち 陶 50年図 録(京都 国立近代 美術館)
ビエンナーレ優秀賞 受賞後の展開 千住 博 日本での展開	〃	127	タカエズ・トシコの 芸術	加藤 類子		
千住博 ウォーター フォール・シリーズ で連続展	美術 (月刊)	233				
千住博 新作オリジ ナル・リトグラフ 「森の朝」「森の夜」— 詩画集によるセット も刊行	〃	〃	タカエズ・トシコの 陶彫	ジ ュームズ ・ジェンセ ン	〃	
千住博 日本画 〔日本画家〕を葬る男	伊東 順二	〃	タカエズ・トシコの 閉じられたフォルム	加藤 類子	視 る	33
千住博 日本画 新 世代のトップラン ナーとして	(編集部)	〃				TOSA— TOSA '95 ク ールの時 代—美術 のノイズ ・ミック 展 図録(高 知県立美 術館)
特集 ヴェネツィア ・ビエンナーレ— 100年目の孤独? 参加アーティスト& アート・ビープル語 録 私はいこう見た! 千住博	梅宮 典子 編集部	美術手帖	§ 作家の言葉 §	高崎 元尚		
特集 映画と美術の 100年 アンケート :マイ・フェイヴァ リット・フィルム	千住 博	〃				
	(ソ)		《高崎元尚》	谷 新	〃	
			近代日本美術家列伝 18 高島北海	水沢 勉	美術手帖	711
			INTEREST 高津 京子	嶋田 三郎	アートマ インド	78
			絵のはなし 第十六 回 美女が怖い	高塚 省吾	アート・ トップ	144
			人と作品 高塚省吾 光と風と	(志)	〃	146
			絵のはなし 第十八 回 女の色	高塚 省吾	〃	〃
			絵のはなし 第十九 回 意識のフォーカ ス	〃	〃	147
			絵のはなし 第二十 回 手でみる 目で 触る	〃	〃	148
			絵のはなし 第二十一 回 「面白い」という こと	〃	〃	149
			絵のはなし 第二十二 回 作画憲法の制 定	〃	〃	150
			高塚省吾さんのアト リエを訪ねて 裸婦 をながめつつ、なが める	佃 堅輔	絵	375
	(タ)					
Being ART Watc hing 15 <我>と <狂>醍醐イサムの 闘	中野 中	ギャラリー (月刊)	田中穰のにんげん美 術史40 高塚省吾 “歌麿”を生きる	田中 穰	美術 (月刊)	233
ミズテツオ 1974— 1995	醍醐イサム	自由美術 '95	特集 画家VSモデ ル—絵の中の女たち — 高塚省吾VS 「あの女」		美術の窓	147

平成7年定期刊行物所載文献(作タ)

画家・彫刻家の創造したヴィジョン 女虚空の大化・高塚省吾	〃	150							
写真化・赤瀬川原平	高梨 豊		赤瀬川原平の冒険展一脳内リゾート開発大作戦(名古屋市美術館)						
高橋潮 季節をめぐる女たち	(編集部)	87	版画芸術						
芸術メダルデザインコンペ大賞に高橋英司氏		722	新美術新聞						
新鋭作家図鑑 高橋薫 メディアとく手>の攻防	(編集部)	87	版画芸術						
明治国家の近代化と高橋勝蔵	平 利弘	1994-95	紀要 Hokkaido Art Museum Studies						
特集 アメリカン・ドリームに賭けた日本人画家たち 美術界の野茂たちの軌跡 美術学校の優等生たち 高橋勝蔵	(編)	550	芸術新潮						
虫が知らせて	千葉 成夫		高橋克之展(東邦画廊)						
HAPPY NEW DESIGN—いま気になるクリエイターたち   写真   高橋恭司— JUST A PHOTOGRAPH		74	デザインの現場						
キリンコンテンポラリー・アワード'95 最優秀作品賞に高橋匡太氏		748	新美術新聞						
個展の声 在るがままを求めて	高橋 玄洋	372	絵						
プレゼン・ノウハウ My Advice: 1	高橋 周平	79	デザインの現場						
画家の創造したヴィジョン 人物 鎮魂・高橋伸	(編集部)	151	美術の窓						
うるしの現在・高橋節郎の仕事	武田 厚	〃	〃						
『炎と技(陶芸)・心の眼(絵画)』	石田 閑山 加藤 崇正 高橋 聞き手 編集部	80	アートマインド						
オリジナル版画制作記 六月	タカハシ・タツロウ	89	版画芸術						
素材&テクニック編 布 織りから立体へ—流れるときのままに(テキスタイルファイバーアート)—高橋稔枝	杜 今日子	75	デザインの現場						
特集 ARTISTS INTERVIEW 高橋伸行+茂登山清文 <色絵磁器大皿、上絵手法のすべて>	高橋 紘								
プリント・アートのたのしみ12 新孔版画におけるグラデーション効果	高橋三千男	146	アート・トップ						
高橋睦治先生を訪ねて	游 美	21							
特集 地球大美術 高橋陸治「ビナクルズ・プロジェクト・イン・オーストラリア」リポート	(編集部)	715	美術手帖						
言説としての高橋由一 1866~1961 例言と年表(二)	北澤 憲昭	4	近代画説						
特集 絵で読む家族の肖像 夫婦—肉親より近い他人—子孫を見守る夫婦像 高橋由一	(編)	549	芸術新潮						
高橋由一「旧江戸城之図」修復報告	渡辺 一郎	11	修復研究所報告						
金比羅宮高橋由一作品の応急修復	歌田 真介	〃	〃						
近代日本美術家列伝 5 高橋由一	原田 光	706	美術手帖						
油絵以前—高橋由一 試論(上)(中)(下)— 博物画譜と風景スケッチを中心に	古田 亮	526~528	MUSEUM						
個展の声 民族性の感じ方	高橋 義治	375	絵						
作家訪問 高橋禎彦 ガラス	編集部	231	目の眼						
日本画・心象と幻想の世界—高畑郁子展	八百山 登	69	福井県立美術館だより						
INTEREST 高島麒四郎	清水 光夫	82	アートマインド						
素材&テクニック編 樹脂 「カメラ」から「ガラスの靴」まで特性を使い分けて樹脂を活かす(映画キャラクターほか)—高橋幹	山口 明峯	75	デザインの現場						
赤瀬川原平—出合いとハイレッド・センサーのことなどと	高松 次郎								

名画再読<赤ん坊の影>高松次郎	芥川 喜好	読 売	4.2	名画再読<食べる>高山辰雄	芥川 喜好	読 売	2.26
特集 映画と建築 建築家がつくった映画—ポストシミュレーションとしてのCGとその役割(イーズム夫妻・高松伸)	澤井 健	建築雑誌	1367	戦後50年記念大特集 カンヴァスが証す画家たちの「戦争」第一部 それぞれの「戦争と私」高山良策 「弾雨下にスケッチ 高山君絵筆の奉仕」	(編)	芸術新潮	548
高松伸 象徴的建築を表現する徹底主義のプレゼン		デザインの現場	79	素材&テクニク編 金属 金属素材が演出する風合いのあるレストラン&バー(アシュトレイ+ボックス)—滝内高志	青井 裕子	デザインの現場	75
岡本光平対論6回 書に未来はあるのか VS 高見晴恵		墨	115	追悼 牧田喜義氏	田口 安男	新美術新聞	750
牛人美の世界と優しさ	森田 和夫	富山市箕川牛人記念美術館	5	アーティストの“愉しい我が家”第51回 朽ちた教会を“カンヴァス”にして 田窪恭治	南川三治郎	芸術新潮	550
特集 日本人が見捨てた明治の美「置物」彫刻の逆襲 明治の木彫王 高村光雲ものがたり 光雲の彫りまくり一代記	(編)	芸術新潮	543	HAPPY NEW DE SIGN—いま気になるクリエイターたち   映像   タケイ・グッドマン—ヒップ・ホップのヴィジュアル・ルーキー	荏開津 広	デザインの現場	74
特集 日本人が見捨てた明治の美「置物」彫刻の逆襲 明治の木彫王 高村光雲ものがたり 父子ライヴァルものがたり	"	"	"	陶芸の美 竹井心泉 棺に入るその日まで 情熱に燃える	篠原 弘	アート・トップ	149
特集 日本人が見捨てた明治の美「置物」彫刻の逆襲 明治の木彫王 高村光雲ものがたり 光雲の孫が語る 高村家のひとびと	高村 規	"	"	竹内栖鳳の「霞中庵」(霞中庵・竹内栖鳳記念館)	(編集部)	淡 交	602
近代日本美術家列伝 21 高村光雲	堀 元彰	美術手帖	712	近代日本美術家列伝 28 竹内栖鳳	堀 元彰	美術手帖	713
特集 アメリカン・ドリームに賭けた日本人画家たち 美術界の野茂たちの軌跡 日本の近代彫刻はアメリカ生まれ!? 高村光太郎	(編)	芸術新潮	550	VOCA展'95「現代美術の展望—新しい平面の作家たち」図録(上野森美術館)	清水 敏男		
特集 絵で読む家族の肖像 家族という風景 昔の家族・今の家族 高山辰雄	"	"	549	画家・彫刻家の創造したヴィジョン 女仏画のように・武田昭		美術の窓	150
どうしても伝えるべき感動	高山 辰雄 奥田 元倫 河北 倫明	新美術新聞	722	今月のこの作家・この作品 武田成功 日本画の持味をガラス作品で	編集部 小見 浩二	美術 (月刊)	239
追悼 加倉井和夫氏 河北倫明氏を悼む 年月のおもい	高山 辰雄	"	749	画家・彫刻家の創造したヴィジョン イメージ 雲に思いを馳せて・武田敏雄		美術の窓	150
田中穰のにんげん美術史50最終回 高山辰雄 “にんげん”を描く大画家	田中 穰	美術 (月刊)	243	ミラノだより(最終回) 黄金のコンパ賞	ヒロコ・タケダ・ヴァン・オンク	デザインの現場	74
画家・彫刻家の創造したヴィジョン 女妖精・高山辰雄		美術の窓	150	ロンドンからの手紙 海鳥と坂の町“セント・アイヴス”	竹中 浩	目の眼	231

平成7年定期刊行物所載文献(作タ)

特集 画家VSモデル —絵の中の女たち— —竹久夢二VSたまき・彦乃・お葉	美術の窓	147		特集 映画と美術の 100年 アンケート ：マイ・フェイヴァ リット・フィルム	田名網敬一	美術手帖	713
北斎ゆかりの地・小 布施旅行5「中山 晋平記念館」楽譜と 夢二	中 右 瑛 目 の 眼	220		ケルテス氏への想い	田中 一郎	東京都写 真美術館 ニュース	2
名画再読<青春譜> 竹久夢二	芥川 喜好 読 売	9.3		特集 「版画」の現在 地点 西日本編	田中 栄子	版画芸術	90
美濃焼と古田織部の 周辺(上)(下)	竹村 脩 陶 説	511、512		INTERVIEW タナカカツキ	米田 知子 インタヴュ ー	デザイン の現場	78
画家・彫刻家の創造 したヴィジョン イ メージ 色面による イメージ・田幸稲	美術の窓	150		INTEREST 田中 彩舟	鈴木 仁一	アートマ インド	77、79、 80、83
画家・彫刻家の創造 したヴィジョン 顔 八百万の神・田澤茂	” ”	” ”		故 田中繁吉氏 弔 辞	北岡 文雄	連 盟 ニュース	360
HAPPY NEW DE SIGN—いま気にな るクリエイターたち —ゲーム   田尻智— ドット・イリュージ ョンのギミックを さぐれ	野上 タカ ヒロ	デザイン の現場	74	TRENDS	田中総一郎	AXIS	54
本年度審査員による 座談会「二十七回 日展に夢をかける」	立川 義明 西村 祐一 赤堀 郁彦 小西 啓介 岡村 行介 川崎 児蔵 村田 麻省 藤森 兼明 他	日展ニ ュ ース	78	特集 吉原英雄 サスペンス・ドラマ 吉原英雄と京都市立 芸大版画教室今昔	吉原 英雄 田中 孝司 出原	版画芸術	87
画家の創造したヴィ ジョン 静物 リア リズム	立花 博	美術の窓	151	相談役 田中忠雄氏 永眠 弔辞	北岡 文雄	連 盟 ニュース	362
辰野登恵子—世界と 向き合う絵画	本江 邦夫	辰野登恵 子1986— 1995展図 録(東京 国立近代 美術館)		明治が生んだ一洋画 家—田中寅三	三輪 英夫	田中寅三 戸お白 に根を ろした 馬会 家 図 (松立 博物 館)	
NEW EDITION 辰野登恵子新作版画	編集部	版画芸術	90	父の思い出	中原千代子	”	
特集 マニエリスムの 現在 蝶番である 想像力	建石 修志	ユリイカ	27—2	田中寅三と納屋川岸	吉田千鶴子	”	
亜細亜はタイガーだ	立石大河亞 インタ ヴュ ー	美術手帖	711	田中寅三の生涯と作 品	田中 典子	”	
特集 映画と美術の 100年 アンケート ：マイ・フェイヴァ リット・フィルム	立石大河亞	”	713	§ 田中信行 §	鋸持 邦弘	VOCA 展'95「現 代美術の 展望—新 しい平面 の作家た ち」図録 (上野美 術館)	
特集 『戦後50年と 私』4 激動の時代の 挿話として…	建畠 覚造	新美術新 聞	745	日本人とグラフィズ ム 対談：佐藤晃一 ×タナカノリエキ	前田 葉谷 千水 森鉄ヒ タナカ ノリエキ	リキテッ ビ クス・ナ ー ン 展5回 図録(ス ル パイラ デ ガン)	アイデア 248
凛乎とした気配	”	柳原達 展 図 (茨城 近代美 術館)		誌上インタビュー 作家の素顔 田中紘 子		アートマ インド	80



座談会「第二十七回 日展審査を終えて一 明日への希望」	田中 三 横山 内 木井 永 宇賀 濱 鈴木 石 坂根 他	実 浩 介 豊 禮 太 米 合 竹 響 介 日 展 展 ニ ュ ー ス	79	怪物「デジタル」との 戦い(デジタルイラ ストレーション)	田保橋 淳	多摩美術 大学研究 紀要	10
沖融(ミクスト・メ ディア)	田中 康夫	多摩美術 大学研究 紀要	10	風景の中の人物像	玉川 信一	筑波大学 芸術研究 報告	24
特集 アメリカン・ ドリームに賭けた日 本人画家たち 美術 界の野茂たちの軌跡 アメリカ経由で本場 ヨーロッパへ 田中 保	(編)	芸術新潮	550	画家・彫刻家の創造 したヴィジョン 顔 現代の青年・玉川信 一		美術の窓	150
第1回鹿沼市立川上 澄生美術館 木版画 大賞に田中陽子さん		新美術新 聞	728	《作家の言葉》	玉造 義隆	TOSA— TOSA— '95 クール の時代— 美術の ノイズ・ ミュージ ック展図 録(高知 県立美術 館)	
『創展回想』	田中 路人	アートマ インド	78	《玉造義隆》	谷 新	〃	
画家・彫刻家の創造 したヴィジョン 顔 夢魔・田中路人		美術の窓	150	玉村豊男 多才な作 家のもう一つの顔		美術 (月刊)	232
画家の創造したヴィ ジョン 人物 夢魔 ・田中路人	編 集 部	〃	151	特集 絵で読む家族 の肖像 家族という 風景 昔の家族・今 の家族 玉村方久斗	(編)	芸術新潮	549
正敏さんのこと(大 額正敏)	田辺 謙輔	春 陽	70	ダムタイプ公演「S /N」 愛の途上で	榎木 野衣	美術手帖	705
人と作品 谷川泰宏 日本美の現代化—谷 川流の空間	(野)	アート・ トップ	146	夢の光へのオマー ージュ	田村 彰英	写真都市 TOKYO 展 図 録 (東京都 写真美術 館)	
谷中安規供養塔1 安規教の信者	大野 隆司	版画芸術	88	戦後50年記念大特集 カンヴァスが証す画 家たちの「戦争」 第 二部グラフ これが 戦争画だ 田村孝之 助 佐野部隊長還ら ざる大野挺身隊と訣 別す	(編)	芸術新潮	548
谷中安規供養塔2 八坂喜代さん	〃	〃	89	近代美術家列伝15 田村宗立	原田 光	美術手帖	709
谷中安規供養塔3 安規の母親像—八坂 喜代さん再び	谷中 安規	〃	90	特集 アメリカン・ ドリームに賭けた日 本人画家たち 美術 界の野茂たちの軌跡 渡米画家たちの運命 の岐路 多毛津忠蔵	(編)	芸術新潮	550
アンケート 人間主 義の思想と精神	谷本 重義	自由美術	'95	特集 戦後建築をつ くった人々 戦後50 年から、今後50年へ	丹下 健三 (聞き手) 湯本 長伯	建築雑誌	1376
画家の創造したヴィ ジョン 風景 平和	田沼江次郎	美術の窓	151	アート・ルポ 海外 在住日本人画家 丹 野清悟	清水 光夫 インタビ ュー	アートマ インド	78
特集 20世紀を決定 した「眼」 20世紀 の、そして私自身の ヴィジュアル・シヨ ック 子どもと自然 には勝てない	田沼 武能	芸術新潮	541	田淵絵画における 「ズレ」あるいは「重 なり」	吉田 俊英	〃	
河北倫明氏を悼む 批評のお蔭	田淵 俊夫	新美術新 聞	751				
戦後新世代と自然観 の変化(田淵俊夫)	村瀬 雅夫	田淵俊夫 刻展図録 (ギャラ リー長谷 川)					

丹野利雄の平面作品について	中村 聖司	小熊秀雄 村山陽一 丹野利雄 二天折の 画家たち ・旭川篇 展 函 録 (北海道立旭川美術館)		(ツ)	特集 20世紀を決定した「眼」 20世紀の、そして私自身のヴィジュアル・シヨック 写真の裏に目を向けよ	司 修 芸術新潮	541
智内兄助 童女図のマンダラ	篠原 弘	アート・トップ	146	(チ)	月岡芳年の芸術一豪華なる静寂一	中島 順一	月岡芳年展 函 録 (神奈川県立歴史博物館)
智内兄助展によせて	宮尾登美子	智内兄助展 函 録 (小田急美術館)			芳年展で会った人 ユニシカ陶芸会議に参加して	西井 正氣 辻 協 西 マーヤ	陶 説 507
頌	嘉門 安雄	〃			作家の言葉	辻野 榮一	TOSA-TOSA '95 クールの時代一美術のノイズ・ミック展 函 録 (高知県立美術館)
少女像の世界をめぐって	三田 晴夫	〃			《辻野榮一》	谷 新	〃
<ビック・ポケット><アタッチメント><視床>について		長重之展 函 録 (足利市立美術館)			志賀直哉から津田青楓への二通の手紙	高井 弘一	国学院雑誌 1060
鳥海青児を書く(二十五) 汚い、暗いが評判になる	原田 光	絵	371		HIKE	大榎 淳 津田 佳紀	日本の映像展 函 録 (福井県立美術館)
鳥海青児を書く(二十六) 西洋に油絵があり、日本に日本画がある	〃	〃	372		停泊するトランスポーター	津田 佳紀	〃
鳥海青児を書く(二十七) 人好きの側面	〃	〃	373		追悼 神戸の惨禍と運命をともにした画家・津和和一	安黒 正流	美術手帖 705
鳥海青児を書く(二十八) 恋愛	〃	〃	374		名画再読<舞妓林泉図>土田麦僊	芥川 喜好	読 売 4.16
鳥海青児を書く(二十九) 結婚	〃	〃	375		「ヒロシマを見つめて」	土田ヒロミ	東京都写真美術館 ニュース 5
鳥海青児を書く(三十)(三十一) 戦争に行つて来た僕(一)(二)	〃	〃	376、377		特集・デザイン問答 基調インタビュー 社会も変わればデザインも変わる? 都築響一 既存の価値や方法は通用しないのでしょうか?		AXIS 55
鳥海青児を書く(三十二) 一兵卒原精一について	〃	〃	378				TOSA-TOSA '95 クールの時代一美術のノイズ・ミック展 函 録 (高知県立美術館)
鳥海青児を書く(二十三) 分岐点に立つ	〃	〃	379		作家の言葉	都築 房子	
鳥海青児を書く(三十四) 戦中の絵、あれこれ	〃	〃	380				
鳥海青児を書く(三十五) 求骨董、御報参上	〃	〃	381				
鳥海青児を書く(三十六) 春陽会を去る	〃	〃	382				
焼物清談 窯変無類の景色一想いを内に秘めて	矢部 良明 十長 春 天 山対談	アート・トップ	149		《都築房子》	谷 新	〃

§作家の言葉§	恒藤 洋樹	〃		てらびかの夢6 ワ インスタジオの女気 功師	〃	〃	715
特集 「方法」をめぐ って インタビュー 椿原章代	大野左紀子 (聞き手)	Lady's Slipper	2	特集 『戦後50年と 私』 命ある限り	寺司勝次郎	新美術新 聞	742
特集 「版画」の現在 地点 西日本編	坪山 由起	版画芸術	90	画家・彫刻家の創造 したヴィジョン 女 均衡の美・寺島龍一		美術の窓	150
個展に際して	鶴岡 洋	鶴岡洋版 画展図録 (シロタ 画廊)		名画再読<夜の樹 木>寺田政明	芥川 喜好	読 売	8.27
名画再読<重い手> 鶴岡政男	芥川 喜好	読 売	2.5	照沼彌彦 「的言」の 由一に寄せて	篠原 弘	アート・ トップ	144
鶴岡義雄氏に聞く 二科展の過去・現在 ・未来	建部 公彦 (聞き手)	新美術新 聞	743				
戦後50年記念大特集 カンヴァスが証す画 家たちの「戦争」第 二部 グラフ これが 戦争画だ 見よ落下 傘、空を征く 鶴田 吾郎	(編)	芸術新潮	548	~東郷青児20歳の作 品~「彼女のすべて」	谷口 雄三	鹿児島市 立美術館 だより	38
画家・彫刻家の創造 したヴィジョン イ メージ 大観覧車・ 鶴房健蔵		美術の窓	150	超現実主義と機械主 義のはざままで一古賀 春江、阿部金剛、東 郷青児	大谷 省吾	芸 叢	11
				特集 画家VSモデ ルー 絵の中の女たち 一 東郷青児VS宇 野千代		美術の窓	147
				名画再読<超現実派 の散歩>東郷青児	芥川 喜好	読 売	10.8
戦争を記憶する竹の 力(勅使河原宏)		芸術新潮	549	近代日本美術史に占 める堂本印象の位置 と印象芸術の特質~ 付「東丘社・堂本美 術館」考~	原田 平作	堂本印象 展一京都 府立堂本 印象美術 館所蔵図 録(そこ う美術館 (横浜))	
竹の迷宮ミラノに出 現 勅使川原宏の 「BANBU」	木村 要一	美術手帖	715	追悼 加倉井和夫氏	堂本 元次	新美術新 聞	749
歴史のヒーロー・ヒ ロイン 手塚治虫	夏目房之介	本 郷	2	§堂本右美§	橋 秀文	VOCA 展'95「現 代美術の 展望一平 面た録の 作家たち (上野美 術館)	
画家・彫刻家の創造 したヴィジョン 女 踊り子・寺井重三		美術の窓	150	§堂本右美§	大坪 健二	〃	
日本の裸体彫刻第1 号! ?常滑のテラ コッタ・ヌード 近 代彫刻史の空白を埋 める二作品(寺内信 一・内藤陽三)	金子 一夫	芸術新潮	545	§堂本右美§	千葉 成夫	〃	
てらびかの夢1 青 い玉を吐く透明なア シカ	寺門 孝之	美術手帖	708	「富樫一作品集」つ くりに参加して	井上 玲子	自由美術	'95
てらびかの夢2 川 からのレポート	〃	〃	709	国体開催記念モニュ メント	富樫 実	成安造形 大学研究 紀要	2
てらびかの夢3 り んこの樹の精	〃	〃	711	特集 平成6年後期 の美術賞とその作品 受賞作家インタビュー 「あなたにとっ てプロとはアマと は?」 土岐佳子		美術 (月刊)	232
てらびかの夢4 プ ールで笑う/役	〃	〃	712				
特集 映画と美術の 100年 アンケ ー:マイ・フェイ ヴァリット・フィルム	〃	〃	713				
てらびかの夢5 甦 った祖父	〃	〃	〃				

平成7年定期刊行物所載文献(作ト)

ロイユ・デ・ボザール60 パウル・クレーVS徳岡神泉		美術の窓	144	シリーズ・つくり手たちの言葉22 富田 岩田	フランミンゴ	44
名画再読<仔鹿>徳岡神泉	芥川 喜好	読売	4.30	素材&テクニック編 紙メタリックな紙の自由な魅力(立体イラストレーション)一富田勉	渡辺 尚子	デザインの現場 75
「私と彫刻」	得能 節朗	石川県立美術館だより	144	特集「版画」の現在 地点 西日本編	富永 佳秀	版画芸術 90
ARTニュース 戸田みつぎ絵画寄贈式		アートマインド	82	「富本憲吉イギリス留学時代の研究」一ウィクトリア・アンド・アルバート美術館所蔵作品のスケッチを中心として一	松原 龍一	鹿島美術財団年報 12
千円札裁判について	刀根 康尚	赤瀬川原平の冒険展一脳内リゾート開発大作戦(名古屋美術館)		富本憲吉一人・こころ・芸術一	乾 由明	富本憲吉の一人・こころ(小田急美術館)
Being ART Watching 12 新鮮なエロチズム一利根川典央の造形	中野 中	ギャラリー一(月刊)	123	富本憲吉一人と作品 父を語る	中ノ堂一信 富本 陶	〃 〃
利根山光人と戦後50年	高橋 直裕	利根山光人展図録(世田谷美術館)		富本憲吉先生の思い出一ご愛用の急須をいただいた話	辻本 勇	〃
§利根山光人展によせて§	ルイス・ニンザワ	〃		収蔵作品から 戸村浩「旭の川」	中村 聖司	氷 華 36
利根山光人さんとのふれあい	本間 正義	〃		土門美学の原点	藤田 良一	土門拳展古寺巡礼図録(目黒区美術館)
利根山さんとメキシコ	林屋 永吉	〃		「古寺巡礼」撮影記	藤森 武	〃
天馬の如く	前田 常作	〃		土門さんを偲んで あの頃(土門拳)	谷内 乾岳 亀倉 雄策	〃 〃
社会と芸術家の関係を更新する利根山光人の仕事	大岡 信	〃		「古寺巡礼」ご案内一土門拳とともに	岸 哲男	〃
利根山光人先生と聖徳学園	川並 弘昭	〃		平櫛田中賞 戸谷成雄氏		新美術新聞 731
「おどけ屋ピーテル」の正体	土橋とし子	美術手帖	705	物語としての彫刻はどのようにして成立するか	峯村 敏明	戸谷成雄展図録(広島市現代美術館)
館蔵資料研究 戸張孤雁の版木について	深山 孝彰	愛知県美術館研究紀要	2	視線と寓意	建島 哲	〃
戸張孤雁の新資料について	千田 敬一	疎山美術館報	16	表面から	出原 均	〃
画家・彫刻家の創造したヴィジョン 女夜空の物語・飛澤行雄		美術の窓	150	特集 1995年上半期の美術界大研究 受賞作家直撃インタビュー 第17回平櫛田中賞 戸谷茂雄		美術の窓 149
素材&テクニック編 粘土・ガラス ダイナミックに、そして風のように生きるガラス一(ガラスデザイン)一飛田浩子	杜 今日子	デザインの現場	75	特集「版画」の現在 地点 豊泉朝子	豊泉 朝子	版画芸術 88
縦横無尽 鉄斎の書き入れ本(上)	村越 英明	日本美術工芸	682	オリジナル版画制作記 愛すべき心優しい妖怪	〃	〃 〃
近代日本美術家列伝11 富岡鉄斎	長門 佐季	美術手帖	708	豊田豊 横浜とサンパウロを結ぶ一本の虹 大きな発想のコメント		ギャラリー一(月刊) 128
寿老人鉄斎一富岡鉄斎と吉祥図	藤田 伸也	MUSEUM	528			

建築と照明の新しい 関係を描き出す豊久 将三のライティング ・ビジョン ミライ ト	AXIS	57
ぼくの空想コレク ション201話 鳥原 正敏	秋山 和歩	美術 (月刊) 235
展覧会報告「鳥山 明の世界」展	佐藤由美加	氷 華 35
(ナ)		
日本の裸体彫刻第1 号!? 常滑のテラ コッタ・ヌード 近 代彫刻史の空白を埋 める二作品(寺内信 一・内藤陽三)	金子 一夫	芸術新潮 545
「工芸」という名を 巡って(2)「工芸」 の変容1 内藤礼を 手がかりに	天野 一夫	工 芸 2
特集 映画と美術の 100年 アンケー ト:マイ・フェイ ヴァリット・フィル ム	内藤 礼	美術手帖 713
TRENDS	NAKA	AXIS 54
追悼 牧田喜義氏	永井 一正	新美術新 聞 750
座談会「第二十七回 日展審査を終えて一 明日への希望一」	永井鉄太郎 宇賀神米蔵 鈴木浜田台 鈴木竹柏 石川響介 坂田中実 三上浩介 横山豊 木内禮智 他	日 ニュース 展 79
北斎ゆかりの地・小 布施旅行5「中山 晋平記念館」楽譜と 夢二	中右 瑛	目の眼 220
「阪神大震災」と「安 政大地震」「関東大 地震」と「亥年」の綺 縁	〃	〃 223
広重の「影絵」あそび 実体は藪間の珍芸	〃	〃 230
国芳と狂歌師・梅屋 との名コンビ 縁起 もの「大黒天」	〃	〃 231
画家・彫刻家の創造 したヴィジョン 顔 人間の形を作る・中 尾廣太郎		美術の窓 150
特集 「版画」の現在 地点 西日本編	長尾 浩幸	版画芸術 90

現代版画の位相 関 西からの発言	木村 秀樹 長尾 浩幸 中谷 至宏 本誌編集長	〃 〃
岸田劉生、木村 莊 八、中川一政と三岸 好太郎	苦名 直子	岸田劉生・木村莊 八・中川一政と三 岸好太郎展 図録 (北海道立三岸好 太郎美術館)
一政老、土牛老の二 代目たち	安井 収蔵	新美術新 聞 730
作家の目	中川 佳宣	美術の窓 148
特集 「版画」の現在 地点 中込洋子	中込 洋子	版画芸術 88
クローズアップ 長 澤松園・長澤孝彦・ 小山陽子 誌上作品 展	水上 杏平	アートマ インド 79
新鋭作家図鑑 中澤 慎一 透明な個性	編 集 部	版画芸術 87
クローズアップ 長 澤松園・長澤孝彦・ 小山陽子 誌上作品 展	水上 杏平	アートマ インド 79
ミラノ通信 ミラノ 在住作家・長沢英俊 の近況(前半)(後半)	手塚小雪イ ンタビュー	〃 78、79
中島千波夢舞台 今 という時との出会い 芝居の世界、絵の 世界	金田 栄一	アート・ トップ 146
田中穰のにげん美 術史49 中島千波 「歌麿」と「写楽」を腕 一本で描き分ける異 才	田中 穰	美 術 (月刊) 242
中島千波 日本画の 才能、パリに行く	編 集 部 S	〃 〃
向う三軒両隣 神奈 川横丁9 中島千波 の頑迷な本質	武田 厚	美術の窓 148
プレゼン・ノウハウ My Advice: 4	中島 英樹	デザイ ンの現場 79
アトリエの扉を開け て11 中条こうこ毎 日の風景を描きとめ て	編 集 部	〃 78
特集=昆虫の博物誌 王蟲の森とシユワの はらわた(宮崎駿)	永瀬 唯	ユリイカ 27-10
仲田定之助とドイッ 前衛美術	寺門臨太郎	鹿島美術 財団年報 12
夢色歳時記13 紅梅 襲・新春の空	永田 萌	淡 交 591
夢色歳時記14 丹色 ・節分の鬼	〃	〃 592
夢色歳時記15 早春 の陽は鳥の子色	〃	〃 593

平成7年定期刊行物所載文献(作ナ)

夢色歳時記16 朱鷺色の散華	〃	〃	594	青い絵具の匂い—松本竣介と私6 空襲と本郷洋画研究所	〃	〃	145
夢色歳時記17 若菜色のちから	〃	〃	595	青い絵具の匂い—松本竣介と私7 東京大空襲	〃	〃	146
夢色歳時記18 水色の雨あがりの空に	〃	〃	596	座談会 新作家展のこれからについて	中野 淳 赤塚 本田久一 瀧 悌三	〃	〃
夢色歳時記19 夏虫色の七夕伝説	〃	〃	597	青い絵具の匂い—松本竣介と私—8 生涯で一番長い日	中野 淳	〃	147
夢色歳時記20 瑠璃色の夜空に	〃	〃	599	青い絵具の匂い—松本竣介と私9 絵具がない!	〃	〃	148
夢色歳時記21 初秋・桔梗色の夕暮れに	〃	〃	600	青い絵具の匂い—松本竣介と私10 澤田哲郎訪問—油絵具の秘法	〃	〃	149
夢色歳時記22 あざみ色の逢う魔が時に	〃	〃	601	青い絵具の匂い—松本竣介と私11 戦争画の眠っている場所	〃	〃	150
夢色歳時記23 葡萄色の追憶	〃	〃	602	編集長対談 中野淳	一井 健二 (聞き手)	〃	〃
夢色歳時記24 薄墨色のあの冬景色	〃	〃	603	青い絵具の匂い—松本竣介と私12 絵の精神	中野 淳	〃	151
追悼特別掲載 エッセイ 一通の封書	仲田 好江	絵	379	青い絵具の匂い—松本竣介と私12 一点だけの版画	〃	〃	152
故辞 仲田好江氏 弔辞	北岡 文雄	連盟 ニュース	362	Being ART Watching 7 保ヶ淵静彦“今を生きる”	中野 中	ギャラリー —(月刊)	118
向う三軒両隣 神奈川横丁8 中谷龍一	武田 厚	美術の窓	145	Being ART Watching 8 強く大きく羽搏け・蔡國華	〃	〃	119
赤瀬川原平の体の中を降りてゆく	中西 夏之	赤瀬川原平の冒険展—脳内リゾート開発大作戦(名古屋美術館)		Being ART Watching 9 何が“不易流行”か	〃	〃	120
中西良 不思議な既視感	篠原 弘	アート・トップ	150	Being ART Watching 10 新たななりアリティ—へ西村富彌	〃	〃	121
個展の声 “色”の繋がり	中西 良	絵	379	Being ART Watching 11 あいまいな日本画	〃	〃	122
審査所感 第30回昭和会展審査報告	中根 寛	〃	373	Being ART Watching 12 新鮮なエロチズム—利根川典央の造形	〃	〃	123
§作家の言葉§	長野 重一	写真都市TOKYO展 図録(東京都写真美術館)		Being ART Watching 13 還流する不安 横溝泰鴻	〃	〃	124
河北倫明氏を悼む 篤実な硯学	中野 淳	新美術新聞	751	Being ART Watching 14 番外編 女性ヌードはセクハラ!?	〃	〃	125
中野淳の世界	桑原 往雄	中野淳展 図録(武蔵野美術大学美術館資料図書館)		Being ART Watching 15 <我>と<狂>醍醐イサムの闘	〃	〃	126
自作の軌跡	中野 淳	〃					
青い絵具の匂い—松本竣介と私4 松本竣介の信念	〃	美術の窓	143				
青い絵具の匂い—松本竣介と私5 俊介から竣介へ	〃	〃	144				

Being ART Watching 16 原風景たりうるか 百瀬智宏	〃	〃	127	戦後50年記念大特集 カンヴァスが証す 画家たちの「戦争」 第二部グラフ これ が戦争画だ 中村研 一 戦争記録画家の 雄	(編)	芸術新潮	548
Being ART Watching 17 人間社会へのアンチテーゼ 山口賛治	〃	〃	128	中村研一の「花侵庵」 (中村研一記念美術 館)	安倍真美子	淡 交	591
山東火像その1 勲章と唇	中野 弘彦	成安造形 大学研究 紀要	2	追悼 加倉井和夫氏	中村 光哉	新美術新聞	749
画家・彫刻家の創造したヴィジョン 顔 現代の山越阿弥陀・中野靖子		美術の窓	150	エマソン、彝、大観	船木 力英	茨城県近代美術館 だより	26
日本画の冒険者たち 13 中野嘉之 屏風絵のひろがり 揺れる幻影・中野嘉之	篠原 弘	アート・ トップ	148	研究発表要約 中村 彝の手紙—洋画家 鈴木金平に送った書 簡 目白のアトリエ 時代(大正五年~十 三年)—	瀧谷 由紀	近代画説	4
旬 毛がに	中野 嘉之	新美術新聞	722	特集 画家VSモデル —絵の中の女たち — 中村彝VS相馬 俊子		美術の窓	147
アート・ルポ 海外在住日本人画家 長橋繁	清水 光夫	アートマ インド	79	INTEREST 中村 直一	水上 杏平	アートマ インド	79
特集 快樂絵画 赤を使う必然性みたいなものがあるとすれば・・・	長橋 秀樹	美術手帖	709	画家・彫刻家の創造したヴィジョン 顔 人形のなまなましさ・中村英		美術の窓	150
§ 長橋秀樹 §	長谷川祐子	VOCA 展 '95 「現代美術の展望 —新しい平面の作家 たち」 図録(上野の森美術 館)		近代日本美術家列伝 31 中村不折	原田 光	美術手帖	715
アンケート 「違和感」が出品を続けさせた	中林 三恵	自由美術	'95	中村義夫「駐留勤務」 の制作に関して(下)	平瀬 礼太	姫路市立 美術館だ より	45
特集 映画と美術の100年 アンケート:マイ・フェイヴァリット・フィルム	中原 浩大	美術手帖	713	画家の創造したヴィ ジョン 風景画・長山義 一	(編 集 部)	美術の窓	151
画家の創造したヴィジョン 人物 人間と時間・長宗希佳	(編 集 部)	美術の窓	151	特集 映画と美術の 100年 アンケー ト:マイ・フェイヴ ァリット・フィルム	中山 ダイ スケ	美術手帖	713
解き放たれる絵画—《Reclining Buddha》から<連差一破房>へ	南 雄介	中村一美 展1995図 録(南天 子ギャラ リーSO- KO)		特集 遠藤剛熙 強 靱で頑なな風景画の 世界 「青春の眸」	中山 忠彦	アート・ トップ	149
ドライヴィング・ベインティング—移動する視点	中村 一美	美術手帖	709	旬 ゆず	〃	新美術新聞	724
特集 映画と美術の100年 アンケート:マイ・フェイヴァリット・フィルム	中村 一美	〃	713	河北倫明氏を悼む 励ましの言葉と温容	〃	〃	751
特集 「版画」の現在 地点	中村 桂子	版画芸術	88	特集 画家VSモデル —絵の中の女たち — 中山忠彦VS良 江		美術の窓	147
特集 「版画」の現在 地点	中村 桂子	版画芸術	88	画家・彫刻家の創造したヴィジョン 女 普遍的な女性美・中山忠彦		〃	150
				特集 「版画」の現在 地点	永吉 友紀	版画芸術	88
				出会いの縁(流政之)	内田 照子	目の眼	220
				特集 「版画」の現在 地点	名嶋 憲児	版画芸術	90

作家訪問 那須正義 さん 陶芸(野焼 き)	(編集部)	目の眼	230				写真都市 TOKYO 展 図録 (東京都 写真美術 館)
虫の音が聴こえる街		〃					
個展の声 大自然の 美しさ	七森 和昭	絵	373				
珍品堂西播州に行く (3)	那波 鳳翔	陶 説	502				
日本画の冒険者たち 14 那波多目功一	篠原 弘	アート・ トップ	149			中野 中	ギャラリー - (月刊) 117
Being ART Wat- ching 6 音の響 きを造形一成田青畔 の彫刻						中野 中	ギャラリー - (月刊) 117
戦後50年記念大特集 カンヴァスが証す画 家たちの「戦争」第 二部グラフ これが 戦争画だ 銃後の護 り 鍋井克之	(編)	芸術新潮	548			南大路一さん追悼	木本 晴三 春 陽 70
座談会「土の鏡」 具 象の可能性 鍋島正 一、三澤寛志、森田 康雄、山本晴久、吉 岡正人、生駒泰充、 諏訪敦	一井 建二 司会	美術の窓	151			南大路一さん追悼	木本 晴三 春 陽 70
カンディンスキーの 絵画の世界一版画集 「小さな世界」に寄せ て一	難波田龍起					難波田龍起	カンディ ンスキー 一クレイ ネ・ヴ展 図録(名 古屋画廊 古 屋)
特集 並木治予視 感動を画面に塗り込 む	佃 堅輔	アートマ インド	80			道北の美術16 難波 田龍起と旭川	新明 英仁 氷 華 36
『並木治予視の閑話 よもやま話』その1	並木治予視	〃	83			ギャラリー・トーク から49 抽象と 幻想一難波田龍起と 一原有徳	越前 俊也 侶 美 以 54
奈良千秋<磁器> 味わいのある独自の 磁器世界	編集部小 見	美術 (月刊)	243			TRENDS	南部 俊安 AXIS 〃
アンケート 真のア バンギャルドの理 念	奈良 柱	自由美術	'95				(二)
不安と希望への眼覚 め	逢坂恵理子	奈良美智 展 図録 (ギャル リーユマ ニテ東 京)				能紀行(一) 『入水 の美』	二井 栄逸 アートマ インド 83
特集 快樂絵画 普 通の人が淡々と生き るように	奈良 美智 インタヴ ー	美術手帖	709			二階堂真の絵画一メ タフォリカルな形態	早見 堯 VOCA 展 '95「現 代美術の 展望一新 しい平面 たの作家 たち(上 野森美 術館)
特集 映画と美術の 100年 アンケ ート:マイ・フェイ ヴァリット・フィルム	奈良 美智	〃	713				
LOVE LETTE- RS 3回 森北伸と 奈良美智	森北 伸 奈良 美智	Lady's Slipper	4			特集 没後一年 夢 と涙と、齋藤真一 面影は思い出の彼方 へー齋藤真一という ひと 出会いは、ド ロンコの殴り合い	西 大由 美術 (月刊) 241
特集 奈良岡正夫 初心に向かって熟す	瀧 悌三	アートマ インド	79			西八郎一飢餓の森の 浄土	林 紀一郎 東京展21 回 図録 (東京都 美術館)
戦後50年記念大特集 カンヴァスが証す画 家たちの「戦争」第 二部グラフ これが 戦争画だ 描かれた 戦争の「幕間」 奈良 岡正夫	(編)	芸術新潮	548				
特集 20世紀を決定 した「眼」 20世紀 の、そして私自身の ヴィジュアル・ ショック 空から ショックが降って くる	奈良原一高	〃	541			作家紹介 西雅秋	吉川神津夫 50年後 彼らはな ぜ戦争を 表現する のか展 図 録(徳島 県立近代 美術館)



芳年展で会った人	西井 正氣	月岡芳年展一浮世絵最後の巨匠図録(北九州市立美術館)	(又)	額田宣彦展図録(ギャルリユマニテ東京)		
アンケート 見る側の納得を求めて	ニシオ・トミジ	自由美術	'95	彼方の絵画	西村 智弘	
画家・彫刻家の創造したヴィジョン 女時間は空間の支柱・西岡一郎		美術の窓	150	特集 映画と美術の100年 アンケート:マイ・フェイヴァリット・フィルム	沼田 元氣	美術手帖 713
「浮世絵版画」と「グラフィック・デザイン」の表現様式。	西垣 泰子	明星大学研究紀要	3	(木)		
ブック・デザイン	〃	〃	〃			
西川洋一郎 透き通った表象の空間	(編集部)	版画芸術	87	画家の創造したヴィジョン 風景 フォルムとストローク・根岸正	(編集部)	美術の窓 151
人間と自然にその悠久を描き50年一西嶋俊親さんの画業	安井 収蔵	西嶋俊親展図録(渋谷区立清美美術館)		特集 映画と美術の100年 アンケート:マイ・フェイヴァリット・フィルム	根本 敬	美術手帖 713
内奥からの光	建畠 哲	西島直紀展図録(ギャルリユマニテ東京)		(ノ)		
パリの鴨居玲	西谷 勝輝	メイブルニュース	28	素材&テクニク編 紙上質コットンの風合いで描き出すペーパーワールド(ペーパーイラスト)一野田亜人	(編集部)	デザインの現場 75
西成田洋子の身の丈にあった表現	荒木扶佐子	西成田洋子展図録(コバヤシ画廊)		特集 アメリカン・ドリームに賭けた日本人画家たち 美術界の野茂たちの軌跡 移民画家のガンバリとツッパリ 野田英夫	(編)	芸術新潮 550
特集 1995年上半期の美術界大研究 受賞作家直撃インタビュー 第13回山種美術館大賞優秀賞 西久松吉雄		美術の窓	149	絵画材料の発見 入念な下地づくりが基本	野田 弘志 聞き手 佐々木 豊	新美術新聞 736
西村西洲先生七回忌追悼	伊沢 西嶽	新美術新聞	735	旬 ぶどう	野田 弘志	〃 746
Being ART Watching 10 新たなリアリティーへ西村富彌	中野 中	ギャラリー(月刊)	121	画家の創造したヴィジョン 静物 神秘性・野田弘志	(編集部)	美術の窓 151
本年度審査員による座談会「二十七回日展に夢をかける」	西村 祐一 赤堀 郁彦 小西 啓介 岡村 倫行 川崎 麻見 村田 省蔵 立川 義明 藤森 兼明 他	日展ニュース	78	野田裕示を思うとき	宮崎 進	野田裕示展一遠景のことー図録(ギャルリユマニテ東京)
特集 映画と美術の100年 アンケート:マイ・フェイヴァリット・フィルム	西山美なコ	美術手帖	713	作品論試論 野田裕示近作展のために	安來 正博	和歌山県立近代美術館ニュース 6
画家・彫刻家の創造したヴィジョン 女妖精・西山勇三		美術の窓	150	絵をつくること絵を考へること 野田裕示アーティストトーク	野田 裕示	〃 7
				クローズアップ 野平上	嶋田 三郎	アートマインド 80

特集 野平上 詩人の境	〃	〃	83	特集 遠藤剛 強 執で頑なな風景の世 界 「アノ遠藤君」	橋本 博英	アート・ トップ	149
ビュッフェ、野間仁 根が300万円超一毎 日(アートオーク ション31回) 日比 野克彦作品に170万 円—アート・ストッ ク('95)	清水 秀作	美術 (月刊)	241	創刊150号特別企画 楽しい仲間	橋本 博英 小杉小二郎 渡辺 武夫	美術の窓	150
戦後50年記念大特集 カンヴァスが証す画 家たちの「戦争」第一 部「それぞれの「戦 争と私」埋もれた 若者の絵	野見山暁治	芸術新潮	548	画家の創造したヴィ ジョン 風景 街の もつ運動・長谷川仿	(編集部)	〃	151
特集 地球大美術 アーティスト野村仁 へのいくつかの質問	インタヴュ ー	美術手帖	715	消費された建築	畑 祥雄	成安造形 大学研究 紀要	2
カテドラルの輝き 野村義照 日本画 の新たな回路	篠原 弘	アート・ トップ	147	インドの染織と私	畠中 光享	インド染 織美術展 畠中光享 コレクション (西宮市 大谷記念 美術館)	331
(ハ)				降魔	畠中 光享	視 る	331
個展の声 ひまわりの 奴隷	バード・加 代子	絵	382	受賞者インタビュー 第4回 ジャパン・ アート・スカラシッ プ 八谷和彦		ギャラリ ー(月刊)	127
「ハイ・レッド・セン ター」復活!? 「赤瀬川原平の冒険」 連続鼎談	(白)	新美術新 聞	725	ジャパン・アート・ スカラシッ プ4回 グランプリに八谷和 彦氏		新美術新 聞	735
巻頭特集 橋口五葉 橋口五葉の版画	岩切信一郎	アート・ トップ	146	八谷和彦さん 演 劇、音楽とのコラボ レーションに挑む	(白)	〃	745
巻頭特集 橋口五葉 橋口五葉とブッ ク・デザイン	山田 俊幸	〃	〃	特集 変身 変身七 態その3 八谷和彦		美術手帖	708
巻頭特集 橋口五葉 橋口五葉について 五葉の若葉	柄沢 齋	〃	〃	クローズアップ 服 部溪華 現実感のり アティエー	佃 堅輔	アートマ インド	82
巻頭特集 橋口五葉 橋口五葉について 「すれ違いの女」	福富 太郎	〃	〃	ハナヤ勘兵衛展雑感	(伸)	日本美術 工芸	686
橋口五葉展によせて 一五葉と浮世絵	佐藤 光信	橋口五葉 展 図録 (小田急 美術館)		馬場栲男さんを悼む 馬場(栲男)先生の思 い出	北岡 文雄	春 陽	70
橋口五葉とホトトギ ス第100号	青木 茂	〃		師・馬場栲男	伊東 榮特	〃	〃
橋口五葉の人と芸術 研究発表要約 明治 期日本画のアイデン ティティー—雅邦・ 玉章の作品を中心と して—	岩切信一郎	〃		特集 「版画」の現在 地点	府川 誠	〃	〃
近代日本美術家列伝 10 橋本雅邦	福田 徳樹	近代画説	4	HAPPY NEW D- ESIGN—いま気 になるクリエイターた ち—ファッション —浜井弘治—ロー ファイな服をつくる	馬場 知子	版画芸術	88
画家・彫刻家の創造 したヴィジョン女 女と樹・橋本堅太郎	水沢 勉	美術手帖	708	画家の創造したヴィ ジョン 人物 女の 時間・浜口美和		〃	美術の窓 151
第14回安田火災美術 財団奨励賞 新作優 秀賞に橋本俊雄氏		新美術新 聞	730	柳宗悦に火を灯され た人々(7) 濱田庄 司	近藤 京嗣	陶 説	502、504 ~506、5 08、509、 511~513
				「無尽蔵」読後雑冊 陶匠濱田庄司への回 想(4)~(12)	廣崎 裕哉	〃	
				濱田台児日展理事に 聞く	建部 公彦 聞き手	新美術新 聞	739

追悼 加倉井和夫氏	濱田 台児	〃	749	特集 「版画」の現在	林 孝彦	版画芸術	88
河北倫明氏を悼む 日ソ美術友好使節団 の思い出, 濱田台児	〃	〃	751	特集 絵で読む家族 の肖像 夫婦一肉親 より近い他人 君は 身近な妻だから 林 武	(編)	芸術新潮	549
座談会「第二十七回 日展審査を終えて一 明日への希望」	濱田 台児 鈴木 竹 石川 響 坂根 介 田中 実 三上 浩 横山 豊 木内 禮 永井 智 宇賀 太郎 宇賀 神 他	日 展 ニ ュ ー ス	79	背景からやってくる もの	千葉 成夫	林武史展 図録(東京 画廊)	
浜田知明「初年兵哀 歌一風景(一隅)」	(H)	潮 流	43	キリスト教的精神風 土と北海道の洋画一 二人の指導者を中心 に(1)(林竹四郎と 俣野第四郎)	鈴木 正實	紀要 H okkaido Art Mu seum St udies	1994-95
特集 亜細亜的創造 1 EAST/WEST fusing interview 自然の恵みで生き る、というバランス の良さをバりに知っ た。 浜野安宏		AXIS	58	「窺ぐれ」もどき	林 秀行	国立国際 美術館月 報	28
特集 ARTISTS I NTERVIEW 浜 辺由美+田中美好		Lady's Slipper	3	HAPPY NEW D- ESIGN一いま気 になるクリエイターた ち   舞台   林卷子 一見えないものの真 実の美	編集部	デザインの 現場	74
内向する絵画	藤島 俊会	早川重章 展 図 録 (ぎやら りいセン ターポイ ント)		クローズアップ 林 美恵子	ぼんの な おこ	アートマ インド	82
画家の創造したヴィ ジョン 風景 自然 と人間・早川敏郎	(編集部)	美術の窓	150	ロイユ・デ・ボザ ール67 ルドンVS速 水御舟		美術の窓	151
画家・彫刻家の創造 したヴィジョン イ メージ 少年の日の イメージ・早川義孝		〃	151	外国から見た日本の 道具と作法の美しさ を伝える原孝一の世界		AXIS	56
日本画の冒険者たち 10 林功のラジカル ・トラディション 古典理想主義の再興	篠原 弘	アート・ トップ	144	鳥海青児を書く(三 十二) 一兵卒原精 一について	原田 光	絵	378
追悼 牧田善義氏	林 敬二	新美術新 聞	750	戦後50年記念大特集 カンヴァスが証す画 家たちの「戦争」第 二部グラフ これが 戦争画だ 描かれた 戦争の「幕間」原精 一	(編)	芸術新潮	548
スクランブル交差点 (1) ビューリタニ ズムと民芸	林 香君	陶 説	511	ぼくの空想コレク ション208話 原澤 和彦	秋山 和歩	美 術 (月刊)	242
スクランブル交差点 (2) アメリカの 根っこ日本の根っこ	〃	〃	512	ウォーターフロント の再生 都市のイ メージ確立を	原田 敬美	朝日夕刊	9.16
スクランブル交差点 アメリカ(3) マリ リン・モンローと楊 貴妃	〃	〃	513	研究発表要約 森鷗 外と原田直次郎一初 期三部作『うたかた の記』『舞姫』『文づか ひ』にみる友情と協 力一	新開 公子	近代画説	4
名画再読<烏天狗図 >林十江	芥川 喜好	読 売	5.7	近代日本美術家列伝 27 原田直次郎	橋 秀文	美術手帖	713
晴れの風景「しあわ せの構図」より	林 隆喜	写真都市 TOKYO 展 図 録 (東京都 写真美術 館)		正敏君追悼(大嶺正 敏)	原田平治郎	春 陽	70
				マンボなものを探 せ! 1 今も生き続 ける1日本人の南国 感覚	パラダイス ・山元	美術手帖	708

マンボなものを探 せ! 2 街角にたた ずむ四角い顔のお座 敷扇	"	"	709	日影 眩	の 360° の ニューヨーク第9回 まえもうしろも真っ 暗闇じゃござせんか	"	121
マンボなものを探 せ! 3 こげ茶色の 瓶に詰められたアマ ゾン産の味覚の正体	"	"	711	"	日影眩の360° の ニューヨーク第10回 租界	"	122
マンボなものを探 せ! 4 ふっくら炊 きたて御飯がはいっ た魔法の容器	"	"	712	"	日影眩の360° の ニューヨーク第11回 マットレスの雲飛ぶ ホイットニー'95ピ エンナーレ	"	123
マンボなものを探 せ! 5 可愛い瞳に うっとり、バック スたちのバイブルと は	"	"	713	"	日影眩の360° の ニューヨーク第12回 ものいわぬ日本人	"	124
マンボなものを探 せ! 6 単純な機能 の携帯テレビのブラ ウン管に未来は映る のか	"	"	715	"	日影眩の360° の ニューヨーク第13回 ヨーロッパの風 パ セリッツ展	"	125
特集 変身 変身七 態その6 パワー・ レンジャー	梁瀬 薫	"	708	"	日影眩の360° の ニューヨーク第14回 ブルックリンの謎の 隣人	"	126
					日影眩の360° ニュ ーヨーク第15回 エ ドワード・ホッパー の孤独と個人主	"	127
					日影眩の360° のニ ューヨーク第16回 おんな元気な新シー ズン・オープン	"	128
§ピセンズ・ピアブ ラナ§	川田都樹子	VOCA 展'95「現 代美術の 展望—新 しい平面 の作家た ち」図録 (上野の 森美術 館)			巻頭特集 入門東山 魁夷への道 東山魁 夷戦中・戦後の模索 時代 国民画家を知 るための20のQ&A	篠原弘文責	アート・ トップ 148
審査所感	稗田 一穂	上野の森 美術館大 賞展図録 (上野の 森美術 館)			巻頭特集 入門東山 魁夷への道 川崎鈴 彦氏に聞く 戦中・ 戦後東山魁夷の心象 風景	"	"
追悼 加倉井和夫氏	"	新美術新 聞	749		巻頭特集 入門東山 魁夷への道 証言1 「甲州の思い出」	川崎 清子	"
日影眩の360° の ニューヨーク第5回 NYの悲しみよ今日 は一キキ・スミス	日影 眩	ギャラリ ー(月刊)	117		巻頭特集 入門東山 魁夷への道 川崎春 彦氏に聞く 人間東 山魁夷の知られざる 若き日々	"	"
日影眩の360° の ニューヨーク第6回 ソーホーの旭日	"	"	118		「東山魁夷・心の旅 路館」オープン ゆ かりの地に「版画」集 まる	新美術新 聞	743
日影眩の360° の ニューヨーク第7回 岡本陸郎を知っている か?	"	"	119		河北倫明氏を悼む 河北倫明先生を偲ん で	東山 魁夷	" 751
日影眩の360° の ニューヨーク第8回 N.Y.「真昼の暗黒 画廊	"	"	120		[名画と秀歌との交 錯]25 斎藤茂吉の 近代性を名画に探る [一](東山魁夷)	福本 邦雄	美 術 (月刊) 236
					東山魁夷と敗戦五十 年	高山 淳	美術の窓 149

(ヒ)

巻頭特集 入門東山魁夷への道 吉井長三氏に聞く 東山芸術を理解するパリっ子たち		アート・トップ	148							特集 20世紀を決定した「眼」 20世紀の、そして私自身のヴィジュアル・ショック マクベスの日常、テイラー船長の日常	〃	芸術新潮	541	
1995年の美術界を回顧 現実化してきた“崩壊”の驚き	彦坂 尚嘉	新美術新聞	753							岡本光平対論5回書に未来はあるのか？ VS平林薫		墨	114	
わたしのかたち 影の影としての絵画	彦坂 尚嘉	版画芸術	90							平福百穂作 高原	島田 康寛	視 る	334	
アンケート 個人の生き方の尊重	久松 孝彦	自由美術	'95							シネマのように描きたくて	平松 昭子	デザインの現場	76	
講演要旨 タゴール家と天心・大観・春草	我妻 和夫	横山大観記念館報	13							日本画の冒険者たち 12 平松礼二 桃源への旅路の行者・平松礼二	篠原 弘	アート・トップ	147	
審査所感	日野耕之祐	上野の森美術館大賞展図録(上野の森美術館)								NEW YORK—GOLDEN CITY(日本画)	平松 礼二	多摩美術大学研究紀要	9	
特集 『戦後50年と私』 マチス展と琳派展	〃	新美術新聞	742							新春特別対談 平山郁夫+村上三島 芸術の使命について		アート・トップ	150	
観光じゃない、“ヨシヤルゾ!”という気持ち ベニスの街自体も違って見えてた	日比野克彦	ギャラリー(月刊)	118							日本の文化を守り、世界に発信する—(財)芸術研究振興財団が推進する国際文化交流—	平山 林田	郁夫 英樹	上野の社会報	2
ビュッフェ 野間仁根が300万円超—毎日(アートオークション31回) 日比野克彦作品に170万円—アート・ストック('95)	清水 秀作	美術(月刊)	241							日本美術修復計画—甦る在外名画展—よせて	平山 郁夫	国立博物館ニュース	575	
特集 ヴェネツィア・ピエンナーレ—100年目の孤独?—参加アーティスト&アート・ビープル語録 私はこう見た! 日比野克彦	梅宮 典子(編集部)	美術手帖	712							河北倫明氏を悼む	平山 米倉	郁夫 守	新美術新聞	751
特集 映画と美術の100年 アンケート:マイ・フェイヴァリット・フィルム	日比野克彦	〃	713							平山郁夫 連続対談16 “世界に役立つ日本文化”論 瀬戸内寂聴	平山 郁夫	美 術(月刊)	232	
特別展「一木工芸—水見晃堂展」記念講演会講演録 近代工芸と水見晃堂	山崎 達文	富山市箕牛人記念美術館	5							世界の“文化財救済”を提唱する平山郁夫—そのワールド・エコノミックフォーラム(WEF)講演と“クリスタルアワード”受賞	平山 郁夫	〃	235	
近代美術家列伝14 百武兼行	太田 泰人	美術手帖	709							平山郁夫 連続対談17~19 “世界に役立つ日本文化”論 加山又造	平山 加山	郁夫 又造	〃	237~379
平櫛田中の茶室(小平市平櫛田中記念館)	藤井 明	淡 交	594							平山郁夫のアンコール遺跡救済展と講演会、パリで開催	永島 聡美	〃	238	
画家・彫刻家の創造したヴィジョン 顔犯されるものたち・平田晴耕		美術の窓	150							緊急特集 文部省に美術行政を問う 文部大臣と謝野馨殿(平山郁夫)	金田 弘治	美術情報月刊	178	
平野甲賀の「架空装丁」	平野 甲賀	アイデア	249							お便り特集 平山郁夫氏の問題、私はこう思う		〃	179	
										金堂壁画と歴史的遺産模写の意義	平山 郁夫	法隆寺再現壁画展図録(東京都美術館)		

平成7年定期刊行物所載文献(作ヒ、フ)

前田青邨先生に学んだもの	〃	前田青邨展 図録 (名古屋市美術館)	特集 深沢幸雄 詩歌逍遥 インタビュー 深沢幸雄 わが詩・わが道	版画芸術	89
彫刻・RISING・上昇—コンピューター時代—	広井 力	跡見学園女子大学美術学・美術史学科 報	特集 版画NOW'95 旗手の情熱はどこに… 深澤幸雄氏に聞く	美術 (月刊)	233
GARDEN IN THE AIR	ひろいのぶこ	視	平成六年度新収蔵作品2 (東京国立近代美術館) 工芸・写真 深見陶治『遙かな<望>』について	金子 賢治 現代の眼	489
「無尽蔵」読後雑冊 陶匠濱田庄司への回想(4)~(12)	廣崎 裕哉	陶 説	師・馬場椿男	府川 誠 春 陽	70
画家の創造したヴィジョン 風景 仄明 るい光・弘中毅	(編集部)	美術の窓	新春インタビュー 『美術の明日を拓らく』 吹田文明氏に聞く 美術で世界と前向きな関係を・・	ギャラリー (月刊)	117
ペーパー・イン・マイ・ワーク43 廣村正彰一眼の感触で選ぶ	中島 優子	デザインの現場	作家の隆盛期と底流の交錯 吹田文明	〃	120
日和崎尊夫・木口木版 微塵の宇宙		版画芸術	現代版画における技法研究(1) 木版画編	吹田 文明 多摩美術大学研究紀要	10
日和崎尊夫抄	嶋岡 晨	〃	吹田文明 木版画・スペースオデッセイ	編集部インタビュー	版画芸術 87
版願録 日和崎尊夫への二つの手紙	坂本 稔	〃	追悼 森田曠平氏	福王寺法林	新美術新聞 727
刻み込まれた星雲—日和崎尊夫の木口木版画	岡田 隆彦	闇を刻む詩人—日和崎尊夫— 木口木版画の世界的展開 (渋谷区立松涛美術館)	啓かれたまち一枚 (アクリル画)	福島 誠	多摩美術大学研究紀要 9
脚とピュラン—断章 日和崎尊夫—	柄澤 齊	〃	画家の創造したヴィジョン 人物 実在として人間・福島瑞穂	(編集部) 美術の窓	151
カルバは駆けぬけ—日和崎尊夫 人と作品—	鍵岡 正謹	〃	向う三軒両隣 神奈川横丁11 福島瑞穂	武田 厚	〃 152
詩へのオマージュ	影山 千夏	〃	巻頭特集 澄川喜一の新・空間主義 澄川 < KIBUTSU > の波長	福田 繁雄	アート・トップ 149
瘦身の内に—日和崎尊夫と1970年代の状況	瀬尾 典昭	〃	第16回グラフィックデザイン・ビエンナーレ・ブルノ1994	〃	アイデア 248
	(フ)		特集 20世紀を決定した「眼」 20世紀の、そして私自身のヴィジュアル・ショック 修道院の“視覚の畏”	〃	芸術新潮 541
特集 「版画」の現在地点	風 鈴 丸	版画芸術	JAGDA ポスター大賞に福田繁雄氏		新美術新聞 745
旬 なし	深井 隆	新美術新聞	作家紹介 福田新之助	吉川神津夫	50年後 彼らはなぜ戦争を表現するのか 展覧図録 (徳島県立近代美術館)
深井隆 天空からの風の色	(編集部)	版画芸術			89
特集 今なぜ天使なのか? 作家インタビュー 深井隆		美術 (月刊)	倫明夜話—戦後美術の群像6 原始美術 (福田豊四郎)	河北 倫明	新美術新聞 727

名画再読<山河>福田豊四郎	芥川 喜好	読 売	12.3						TOSA—TOSA '95 クールの時代の美術展(高知県立美術館)
ロイユ・デ・ボザール65 ジャスパー・ジョーンズVS福田平八郎		美術の窓	149	作家の言葉	藤崎 幸雄				藤崎幸雄展/香容X∞相去図録(コバヤシ画廊)
特集 「版画」の現在 地点 西日本編	福田 将裕	版画芸術	90						VOCA展'95「現代美術の展望—新しい平面の作家たち」図録(上野森美術館)
福田通夫—テンペラ板絵 魂のノクターン	松永 伍一	美術 (月刊)	234	《藤崎幸雄》	谷 新				
福田通夫—テンペラ板絵 ファンタジックな世界を支える堅牢な画面	(編集部)	美術	234	“相”の相貌へ					
福田美蘭 自己の痕跡を消す	(波)	アート・トップ	146						
福田美蘭—絵画とは？—	A.H.	アートペーパー	25						
特集 快樂絵画 日常にあふれる共通のイメージを使って	福田 美蘭	美術手帖	709	藤澤江里子	田中 幸人				
特集 映画と美術の100年 アンケート：マイ・フェイヴァリット・フィルム	〃	〃	713	作家の言葉	藤澤江里子				
福田美蘭さんとのプロジェクト作品額装完了	長谷川祐子	〃	715	藤島武二と西洋美術(上)「明星」時代を中心にして	茂木 博	東京造形大学雑誌			8A
§ 福田美蘭 §	妹尾 克己	VOCA展'95「現代美術の展望—新しい平面の作家たち」図録(上野森美術館)		近代日本美術家列伝32 藤島武二	堀 元彰	美術手帖			715
				特集 画家VSモデル—絵の中の女たち— 藤島武二VSお葉		美術の窓			147
福本潮子—藍染 染織で斬新な空間イメージを次々に展開	内山 武夫	美術 (月刊)	234	修復記録 藤島武二《ヴェルサイユ風景》	宮崎 安章	ブリヂストン美術館・久留米石橋美術館館報			43
福本潮子—藍染 “具体”の根性で藍染に新しい息吹を	(編集部)	美術	234	修復記録 藤島武二《ヴィラ・デステの池》	村山 洪規	〃			〃
画家・彫刻家の創造したヴィジョン イメージの合唱・藤井建機		美術の窓	150	藤田喬平	武田 厚 インタヴェ ー				拡張する：ガラス：美の表現者たち展(横浜美術館)
画家の創造したヴィジョン 風景 空と海の形象・藤岡冷子	〃	〃	151	河北倫明氏を悼む ガラス工芸にも多大の関心	藤田 喬平	新美術新聞			751
素材&テクニック編 金属 絵画の中のポートレイトを色つきワイヤーで立体描写(ワイヤーアート)—藤掛正邦	〃	デザインの現場	75	心象表現の研究—作品「鳥道」の制作をとおして—	藤田 志朗	筑波大学芸術研究報告			23
全道展とわたし(伏木田光夫)	伏木田光夫 聞き手奥岡	侶 美 以	54	物語 日本洋画商史二十一 藤田嗣治の十七年ぶりの“日本休日”	田中 穰	絵			372

平成7年定期刊行物所載文献(作フ)

物語 日本洋画商史 三十一(最終回) 洋 画商「日動」の健闘 (藤田嗣治)	〃	〃	382	特集 20世紀を決定 した「眼」 20世紀 の、そして私自身の ヴィジュアル・シヨ ック 薄っぺらなア メリカ女の涙に感じ てしまった	藤原 新也	芸術新潮	541
研究発表要約 藤田 嗣治の一九三〇年代 壁画を中心に	林 洋子	近代画説	4	不動茂弥「箆城」	菊屋 吉生	天 花	62
戦後50年記念大特集 カンヴァスが証す画 家たちの「戦争」 第 一部「戦争と私」 “世界 のフジタ”ならでは の究極の戦争画! ? 藤田嗣治	藤田 君代 インタビュー	芸術新潮	548	INTEREST 船木 棗月	水上 杏平	アートマ インド	78.81
むかし兵隊いま芸者 (藤田嗣治)	安井 収蔵	新美術新 聞	741	旬 すかんば	舟越 桂	新美術新 聞	733
修復記録 藤田嗣治 《猫のいる静物》	渡辺 健一	ブリヂス トン美術 館・久留 米石橋美 術館館報	43	中原悌二郎賞26回 保田春彦氏に決定 優秀賞は舟越桂氏		〃	748
河北倫明氏を悼む 山春村回想	藤田 吉香	新美術新 聞	751	特集 ここが違う! 彫刻家の版画 版の 上に描いたデッサン	舟越 桂 インタビュー・美 術 編集部・ 水野谷	(月刊)	243
デザイナーのための NYおすすめスポッ ト・ガイド	藤田 理麻	デザインの 現場	76	特集 芸術家になり たい! サヴァイヴァ ル予習編 オリジナ ルな輝きの発掘	舟越 桂	美術手帖	705
だれもが“幸福”だ った憧れの1920年代	藤塚 光政	芸術新潮	545	私の“上野の杜”で のこと(七) 一つの郷 愁	舟越 保武	絵	372
画家の創造したヴィ ジョン 人物 人間 のかたち・藤林叡三	(編 集 部)	美術の窓	151	私の“上野の杜”で のこと(八) 卒業証書	〃	〃	374
研究発表要約 藤牧 義夫と《墨田川絵巻 (1934~35)を中心に	水沢 勉	近代画説	4	私の“上野の杜”で のこと(九) 閑話休題 練馬のアトリエ部落	〃	〃	376
聴覚の遠足1 無響 室にて	藤本由紀夫	美術手帖	708	私の“上野の杜”で のこと(十) 良き時 代、良き場所	〃	〃	378
聴覚の遠足2 音響 の彫刻	〃	〃	709	画家・彫刻家の創造 したヴィジョン女 聖なる女・舟越保武		美術の窓	150
聴覚の遠足3 地球 はレコード	〃	〃	711	特集 アートは時代 の最先端に行く? インターネット時代 のアートを考える インターネットを制 作手段に アーティ ストのマニアックな 展開 古井智		ギャラリー (月刊)	124
聴覚の遠足4 四次 元の読書	〃	〃	712	受賞者インタビュー 第13回上野の森美術 館大賞 古川勝紀		〃	123
特集 映画と美術の 100年 ゴダールを めぐる視点	白井 美穂 藤本由紀夫	〃	713	特集 1995年上半期 の美術界大研究 受 賞作家直撃インタビ ュー 第13回上野の 森美術館大賞 古川 勝紀		美術の窓	149
聴覚の遠足5 キル ヒャーの耳	〃	〃	〃	画家・彫刻家の創造 したヴィジョン 顔 人間主義の象徴・古 川恂		〃	150
聴覚の遠足6 待機 する音	〃	〃	715				
本年度審査員による 座談会 「二十七回 日展に夢をかける」	藤森 兼明 立川 義明 西村 祐一 赤堀 郁彦 小西 啓介 小岡 行 岡崎 倫 川崎 児 村田 蔵 他	日展ニ ュ ース	78				
「古寺巡礼」撮影記 (土門拳)	藤森 武	土門拳展 古寺巡 礼 図録 (目黒区 美術館)					



古澤岩美<日本神話シリーズ>への覚書 一我が率寝し妹は忘れじ 世の尽に一	尾崎 真人	白井謙二 郎・古澤 岩美60 年目の 前展(板 橋区立 美術館)		画家の創造したヴィ ジョン 静物 生命 (編 集 部)	堀川素弘	〃	151
ビデオアートの発展 を実感 NY近代美 術館「ビデオスベ ース」展ほか(古橋梯 二)	眞田 一貫	美 術 (月刊)	241	画家・彫刻家の創造 したヴィジョン イ メージ 美しき幻・ 堀口千鶴雄		〃	150
特集 変身 変身七 態その2 古橋梯二		美術手帖	708	インタビュー 本多 育子氏に聞く 人が 生きること、創ること とは・・・原点を 大切に4年目を迎えた 「まるてん」		ギャラリ ー(月刊)	120
三つの相によるコト バ	森田 一	現代のバ スワード Vol. 2 コトバに よる三つ の相一ニ ールトン ・クラ ーク、古 屋 俊彦、 劉旭光一 展(川美 口現代 美術館(齋 藤記念))		西吹ロマネスクの旅	本多 克枝	藤枝文学 舎ニユー ス	13
古山康雄 我空花供 画捲 においもえた つ世紀末の花	(常)	アート・ トップ	146	座談会 新作家展の これからについて	本田久一郎 滝野三淳 赤塚 徹	美術の窓	146
	(ホ)			金山平三賞に本田健 氏		新美術新 聞	722
				(マ)			
				第7回本郷新賞を受 賞した彫刻家 眞板 雅文さん	(西)	新美術新 聞	739
				荷札の表裏(前田寛 治)	柳沢 秀行	岡山県立 美術館ニ ューズ	28
Being ART Wat- ching 7 保ヶ淵 静彦“今を生きる”	中野 中	ギャラリ ー(月刊)	118	特集 絵で読む家族 の肖像 父の肖像・ 母の肖像 母の顔 前田 寛治	(編)	芸術新潮	549
星野空外絵画資料・ 整理報告一明治から 大正初めまで	大須賀 深	京都市立 芸術大学 芸術資料 館年報	5	名画再読<棟梁の家 族>前田寛治	芥川 喜好	読 売	5.21
A Young Artist Moves on 5 細井 篤	松永 康	美術手帖	717	特集 20世紀を決定 した「眼」 20世紀 の、そして私自身の ヴィジュアル・ショ ック みんな“絵日 記”に描いてある	前田 常作	芸術新潮	541
A Young Artist Moves on 5 細井 篤にソボクな21の質 問		〃	〃	特集 『戦後50年と 私』3 念佛の声	〃	新美術新 聞	744
特集 三島由紀夫の 耽美世界 第三部 スーパー・モデル三 島由紀夫 いま、 『薔薇刑』を語る	細江 英公	芸術新潮	552	特集 ヴェネツィア ・ビエンナーレ最終 便 VOICE	前田 常作 他	〃	〃
クローズアップ 堀 千枝子 ベテラン画 家の腕	嶋田 三郎	アートマ インド	77	天馬の如く	〃	利根山光 人展図録 (世田谷 美術館)	
自然と画家の「気」の 融合	深山 孝彰	堀美幸展 図録(愛 知県美術 館)		CRITICISM SYMPOSIUM	前田 常作 千葉谷 水森 鉄 黒鉄ヒ タナカ ユキ	リキテッ ビクセン ナーレ展 5回図録 (スルバ イラデー ン)	
画家・彫刻家の創造 したヴィジョン 顔 洪水に襲われた顔・ 堀江優		美術の窓	150				

前田青邨先生に学んだもの	平山 郁夫	前田青邨展(名古屋美術館)		益田玉城一迷宮を旅して一	村田真佐子	益田玉城展(目黒美術館)	
青邨画の軌跡	吉田 俊英	〃		益田玉城と『都城古今墨蹟集』	富迫 美幸	〃	
私の好きな作品 前田青邨	山田 太一	RGB	18	個展の声 偶然の収穫	増田 清志	絵	378
前田哲明一鉄のスケール	インタヴュー	C.A.R.	〃	増田常德、画の成就望郷「よびつぎ」	米倉 守	〃	372
前田正憲 古代と現代を結ぶ幻想	(編集部)	美術(月刊)	234	キリスト教的精神風土と北海道の洋画二人の指導者を中心に(1)(林竹四郎と俣野第四郎)	鈴木 正實	紀要Hokkaido Art Museum Studies	1994—95
画家の創造したヴィジョン 人物 水彩の面白さ・眞壁輝男	〃	美術の窓	151	スペースキャッチャー…シリコンラバーによる作品	マンフレッド・シュネッケンブルガー/小林信之訳	松井紫朗展(東京画廊)	
一月の絵暦「紅白梅」一牧進	鈴木 進	新美術新聞	722	リテラリズムの克服	建島 哲	〃	
画家・彫刻家の創造したヴィジョン イメージ 音楽性・間紀徹		美術の窓	150	クローズアップ 松井民雄 水墨に傾斜する油彩	佃 堅輔	アートマインド	77
北斎と名古屋一研究序説一牧墨庵収蔵版画帳の紹介を中心に	神谷 浩	名古屋市博物館研究紀要	18	個展の声 巴里個展のこと	松井ヨシアキ	絵	378
個展の声 尾張からくり考	牧内 則雄	絵	375	ペーパー・イン・マイ・ワーク46 松浦厳生 人の絆から生まれるデザイン	中島 優子	デザインの現場	77
特集 アメリカン・ドリームに賭けた日本人画家たち 美術界の野茂たちの軌跡 アメリカ経由で本場ヨーロッパへ 牧野義雄	(編)	芸術新潮	550	特集 映画と美術の100年 アンケート：マイ・フェイヴァリット・フィルム	松浦 寿夫	美術手帖	713
追悼 牧田喜義氏	馬越 陽子	新美術新聞	750	画家・彫刻家の創造したヴィジョン 顔 仮面・松浦正雄		美術の窓	150
画家・彫刻家の創造したヴィジョン 顔 二つの世界・馬越陽子		美術の窓	150	館蔵品紹介 松浦守美筆「神通橋架設図」小泉重兵衛版		富山市郷土博物館だより	3/31
正井和行 京都画壇・異才の60年 [内省の世界・静寂な緊張感]	常盤 茂	アート・トップ	148	作品制作から新境地を見いだす	松尾恵美子	墨	114
正井和行 人と芸術	佐藤 直司	正井和行展 静謐の中の心象の世界 図録(大分県立芸術会館)		『折り顔』って知ってますか？(松尾貴史)		AXIS	55
今月のこの作家・この作品 正木友梨と壮大なスケール光とガラスの造形		美術(月刊)	232	追悼 森田曠平氏	松尾 敏男	新美術新聞	727
特集 「方法」をめぐって アンケート	眞島 竜男	Lady's Slipper	2	追悼 加倉井和夫氏	〃	〃	749
特集 ARTISTS INTERVIEW 眞島竜男+古橋栄二		〃	3			VOCA 展'95「現代美術の新しい平面の作家たち」図録(上野森美術館)	
「砂丘社」と増田英一	磯江 哲昭	郷土と博物館	80	§ 松尾直樹 §	帯金 章郎	〃	
				§ 作家の言葉 §	松尾 直樹	〃	
				近代日本美術家列伝 25 松岡寿	太田 泰人	美術手帖	713

特集 松樹路人 北方風土記 叙情と幻想の詩 松樹路人の軌跡	村木 明	アート・トップ	147	画家・彫刻家の創造したヴィジョン 女精神のしみ通った光・松本貞子	美術の窓	150
特集 松樹路人 北方風土記 仮称の軌跡	篠原 弘	〃	〃	特集 絵で読む家族の肖像 家族という風景 絵描きの一家 松本竣介	(編) 芸術新潮	549
秋の春陽会シリーズ 新会場による「春陽会受賞作家展」について	松島 治基	春 陽	70	「生きている画家」のまなざしー松本竣介と子供の絵	遠藤 望 世田谷美術館たより	33
'94	〃	〃	〃	青い絵具の匂いー松本竣介と私4 松本竣介の信念	中野 淳	美術の窓 143
私観蒼原会始末随想記	松島 靖	大正・昭和の水彩画展一蒼原会を画家を中心に(渋谷区立松涛美術館)		青い絵具の匂いー松本竣介と私5 俊介から竣介へ	〃	〃 144
特集 絵で読む家族の肖像 父の肖像・母の肖像 父の顔 松田正平	(編)	芸術新潮	549	青い絵具の匂いー松本竣介と私6 空襲と本郷洋画研究所	〃	〃 145
第5回国際グラフィックアート・コンペティション ショーモン・ポスター・フェスティバル	松永 真	アイデア	248	青い絵具の匂いー松本竣介と私7 東京大空襲	〃	〃 146
松永真「膨らませて修練をくり返して」ー現場主義のプレゼン・プロセスにみるデザイン学		デザインの現場	79	青い絵具の匂いー松本竣介と私8 生涯で一番長い日	〃	〃 147
特集 インスタレーション Artist Interview 松永幹永	(編集部) 大野左紀子(聞き手)	Lady's Slipper	4	青い絵具の匂いー松本竣介と私9 絵具がない!	〃	〃 148
父秀太郎を語る	松村 栄吉	松村秀太郎展図録(福光美術館)		青い絵具の匂いー松本竣介と私10 澤田哲郎訪問ー油絵具の秘法	〃	〃 149
松村秀太郎と石井鶴三ー近代彫刻とその背景一	千田 敬一	〃		青い絵具の匂いー松本竣介と私11 戦争画の眠っている場所	〃	〃 150
松村秀太郎とその交友	尾山 章	〃		青い絵具の匂いー松本竣介と私12 絵の精神	〃	〃 151
対象の配置と色彩	松本 旻	木村光佑・松本旻・黒崎彰一70年代と色彩展 図録(町田市立国際版画美術館)		私記 松本竣介	瀧 悌三	〃 152
さくら・うし 94ー10(油彩画)	松本英一郎	多摩美術大学研究紀要	10	青い絵具の匂いー松本竣介と私12 一点だけの版画	中野 淳	〃 〃
デザインが生まれる場所 サルブルネイ・松本弦人 グラフィックデザイナー	西村 佳哲	AXIS	56	二月の絵暦「星辰」ー松本哲男		新美術新聞 724
				松本富太郎追悼展に寄せて	近代美術協会	近代美術協会展32回 図録(東京都美術館)
				画廊この1点 マナブ間部「愛の橋」ギャラリーアートアルファ		美術の窓 149
				新美術時評 「人間気化」とムルロア環礁の愚挙(丸木位里「原爆の図」)	北澤 憲昭	新美術新聞 750
				色いろ調 「原爆」の位里老逝く(丸木位里)	安井 収蔵	〃 〃
				故辞 丸木位里氏 弔	北岡 文雄	連 盟 ニュース 364

追悼 丸木位里 『原爆の凶』にかくれた 画業一位里・俊と 丸木夫婦の間で	編集部=藤 美 術 田 一人 (月刊)	243	【人形アニメーション】残酷ポップな映像をめざして—三木俊一郎	(編集部)	デザインの現場	74
追悼 丸木位里 魅 力的な墨絵画家	吉井 忠	〃	岸田劉生、木村莊八、中川一政と三岸好太郎	著名 直子	岸田劉生・木村莊八・中川一政と三岸好太郎展(北海道立三岸好太郎美術館)	
§ 丸田京子 §	尾崎 真人	VOCA 展'95「現 代美術の 展望—平 面た録の 作家たち」 (上野美 術館)	特集 絵で読む家族の肖像—子供のいる場所 三岸好太郎	(編)	芸術新潮	549
INTEREST 丸山 カズ子	清水 光夫	アートマ インド	恋と情熱と陶酔と—三岸好太郎の女性像	地家 光二	魅惑の婦人像—三岸好太郎の婦人像図録(北海道立三岸好太郎美術館)	
画家の創造したヴィ ジョン 人物 日常 の中の潑刺とした人 間・丸山正三	(編集部)	美術の窓	美の故郷 不安な時代の画家たち—日本の前衛絵画(上) 三岸好太郎	浦田 憲治 日 経		12, 10
特集 アメリカン・ ドリームに賭けた日 本人画家たち—美術 界の野茂たちの軌跡 アメリカ経由で本場 ヨーロッパへ 鹿子 木孟郎・満谷国四郎 ・丸山晚霞	(編)	芸術新潮	戦後50年記念大特集 カンヴァスが証す画 家たちの「戦争」第 二部グラフ—これが 戦争画だ 輝ける翼、 勇まし空中戦 御厨純一・小野具定・石川寅治	(編)	芸術新潮	548
(ミ)			座談会「土の鏡」 具 象の可能性—三澤寛 志、森田康雄、山本 晴久、吉岡正人、生 駒泰充、諏訪敦、鍋 島正一	一井建二司 会	美術の窓	151
ミウラ祈り	三浦 公亮	成安造形 大学研究 紀要	ミズ・テツオの世界 アルカイックからク ラシックモダンへ 1974—1995 絵画装 置としてのフラッグ ・コスミック・アート	醍醐イサム	自由美術	'95
特集 映画と美術の 100年 アンケート ：マイ・フェイヴァ リット・フィルム	みうらじゅ ん	美術手帖	国際サイズの近況	水島 健 連 盟 ニュース		361
ぼくの空想コレクシ ョン202話 三浦智 子	秋山 和歩	美 術 (月刊)	柳宗悦に火を灯され た人々(15)(16) 瀬 戸本業篤水野半次郎	近藤 京嗣 陶 説		510~512
座談会「第二十七回 日展審査を終えて— 明日への希望—」	三上 浩 横山 豊 木内 禮 永井 鐵 宇賀 智 濱田 米 鈴木 神 鈴木 竹 坂根 柏 鈴木 響 石川 克 坂田 介 中 実 他	日 展 ニ ュ ース	柳宗悦に火を灯され た人々(17) 水野半 次郎の新作	〃	〃	513
画家の創造したヴィ ジョン 風景 平凡 な風景と理想的な風 景・三上浩	(編集部)	美術の窓	画家・彫刻家の創造 したヴィジョン—イ メージ 風景の永遠 化—溝江勸二		美術の窓	150
名画再読く灸点万華 鏡1 >三上誠	芥川 喜好	読 売	re — fraction series	三田村峻右	筑波大学 芸術研究 報告	24
特集 変身 変身七 態その5 美加里		美術手帖				708

TRENDS	三井 緑	AXIS	54	五十年の残影1 風景	原	〃	新美術新聞	722
南支風景画展一銀藏と満谷国四郎	柳沢 秀行	岡山県立美術館ニュース	32	五十年の残影2 の光	冬	〃	〃	723
特集 絵で読む家族の肖像 家族という風景 昔の家族・今の家族 満谷国四郎	(編)	芸術新潮	549	五十年の残影3 絶望の淵から	絶	〃	〃	724
特集 絵で読む家族の肖像 家族が死ぬとき 戦争が届けた死 満谷国四郎	〃	〃	〃	小山敬三美術賞10回に宮崎進氏	〃	〃	〃	727
特集 アメリカン・ドリームに賭けた日本人画家たち 美術界の野茂たちの軌跡 アメリカ経由で本場ヨーロッパへ 鹿子木孟郎・満谷国四郎・丸山晩霞	〃	〃	550	絵画材料の発見 自分素材をさらけ出す	宮崎 進 佐々木 豊 (聞き手)	〃	〃	736
赤瀬川さんが考現学に興味をもつたワケ	南 伸坊	赤瀬川原平の冒険展一脳内リゾート開発大作戦(名古屋美術館)		河北倫明氏を悼む 折にふれての助言	宮崎 進	〃	〃	751
座談会 「顔とコミュニケーション」	南南 伸坊 美希子 博	化粧文化	33	シベリアを描いた二人の画家一香月泰男と宮崎進一	濱本 聰 潮 流	〃	野田裕示展一遠景のこと一図録(ギャラリーユマニテ東京)	42
自由美術彫刻部の発足と私の課題	峯 孝	自由美術	'95	野田裕示を思うとき	宮崎 進	〃	〃	144
INTEREST 三橋 節子	ぼんのなおこ	アートマインド	80	向う三軒両隣 神奈川横丁7 宮崎進	武田 厚	美術の窓	〃	149
美術連話(3) 「宮芳平という画家」	前川 誠郎	雪椿通信	3	特集 1995年上半期の美術界大研究 受賞作家直撃インタビュー 第10回 小山敬三美術賞 宮崎進	〃	〃	〃	149
INTEREST 宮尾 豊彦	ぼんのなおこ	アートマインド	80, 81	画家・彫刻家の創造したヴィジョン顔 すべてが私そのもの・宮崎進	〃	美術の窓	〃	150
PEONY (印象と残像)(染織)	宮川 有希	多摩美術大学研究紀要	10	宮崎駿インタビュー 「これは嘘です」といながら、どこかホントがある作品の方が好きですね	〃	〃	〃	55
水をめぐる創作 三宅一生の香水 「L'EAU D'ISSEY」のできるまで	清水 早苗	デザインの現場	76	特集=昆虫の博物誌 王蟲の森とシュワのはらわた(宮崎駿)	永瀬 唯	ユリイカ	27-10	
三宅劍龍顕彰碑開幕式典		新美術新聞	735	日本画の冒険者たち 11 宮廻正明 風の旅人	篠原 弘	アート・トップ	146	
アトリエの扉を開けて12 ミヤケンゲル元気がでるワールド	杜 今日子	デザインの現場	79	ふりかえれば	宮田 晨也	宮田 晨也展 図録(武蔵野美術大学美術資料図書館)		
特集 1995年上半期の美術界大研究 受賞作家直撃インタビュー 第30回昭和会賞 宮崎次郎		美術の窓	149	自由美術のアイデンティティを求めて	大野 修 宮滝 恒雄	自由美術	'95	
審査所感	宮崎 進	上野の森美術館大賞展(上野美術館)		戦後50年記念大特集 カンヴァスが証す画家たちの「戦争」 第二部 グラフ これ が戦争画だ 宮本三郎 戦争の光と影	(編)	芸術新潮	548	
				素材&テクニック編 木 イメージを形にする職人芸(家具)一 宮本茂紀	中島 優子	デザインの現場	75	

INTEREST 宮本裕子	水上 杏平	アートマインド	82	戦後50年記念大特集 カンヴァスが証す画 家たちの「戦争」第 一部それぞれの「戦 争と私」武藤夜舟 と今村嘉吉 絵筆を 揮った職業軍人	(編)	芸術新潮	548
佐藤朝山について 柳沢基夫・宮本理三 郎・横田七郎各氏に 聞く	千田 敬一 基 俊太郎 (聞き手)	碌山美術 館報	16	写真都市 TOKYO 展 図 録 (東京都 写真美術 館)	柳宗悦に火を灯され た人々(8) 棟方志 功との出会い	近藤 京嗣 陶 説	503
§作家の言葉§	宮本 隆司			柳宗悦に火を灯され た人々(9) 日本民 芸館と棟方志功	〃	〃	504
オークションで“再 会”したアトリエの マン・レイ	宮脇 愛子	芸術新潮	545	柳宗悦に火を灯され た人々(10) 棟方志 功と刷毛目の茶碗	〃	〃	505
特集 芸術家になり たい! サヴァイヴァ ル予習編 人との出 会いがつかぬもの 宮脇愛子		美術手帖	705	柳宗悦に火を灯され た人々(11) 棟方志 功と辻留	〃	〃	506
VOCA展'95最高賞 に三輪美津子さん		新美術新 聞	727	柳宗悦に火を灯され た人々(12) 棟方志 功・幻の絵 花狩の 図	〃	〃	507
特集 平成7年前期 の美術賞とその作品 受賞作家インタビュー VOCA展'95V- OCA賞 三輪美津 子		美 術 (月刊)	239	柳宗悦に火を灯され た人々(13) 栃木と 棟方志功	〃	〃	508
特集 快樂絵画 そ れでもまだ絵画の強 さがあるんじゃない か	三輪美津子	美術手帖	709	柳宗悦に火を灯され た人々(14) 私と棟 方志功	〃	〃	509
特集 1995年上半期 の美術界大研究 受 賞作家直撃インタビ ュー 第2回VOC- A賞 三輪美津子		美術の窓	149	棟方志功讃一ひたむ きな板画道	金原 宏行	棟方志功 展 図 録 (茨城 近代美術 館)	
§三輪美津子§	山脇 一夫	VOCA 展'95「現 代美術の 展望一新 面 の作家た ち」図 録 (上野の 森美術 館)		志功について ひと つ、ふたつ	荒木扶佐子	〃	
		三輪龍作 黒陶 騎士の休 息展図録 (三越)		宗政浩二一絵を描く ように	インタヴ ー	C.A.R.	16
				特別展「村井盈人展」 記念講演会講演録 孤高の画家 村井盈 人のこと	松原 敏	富山市箕 牛人記念 美術館	5
				巻頭特集 澄川喜一 の新・空間主義「澄 川彫刻私見」	村井 修	アート・ トップ	149
永遠の生命を具象化 する三輪龍作の芸術	齊藤 武男			村井正誠 人が備 わっていないと絵は 面白くないね		ギャラリ ー(月刊)	123
				東京神田駿河台・文 化学院 村井正誠	芳賀 敏博	新美術新 聞	743
		(ム)		村井正誠という存在 —日本の戦後美術の 貴重な礎石として	小川 正隆	村井正誠 展 図 録 (神奈川 県立近代 美術館)	
向井潤吉氏の逝去を 悼む ひとりモダニ ズムの呪縛を離れて	勅使河原宏	新美術新 聞	753	《パンチュール》: 絵 画の成立—村井正誠 の初期作品のために	植野比佐見	〃	
INTEREST 武藤 勝信	水上 杏平	アートマ インド	80	《URBAIN》につい て	堀 元彰	〃	
作家訪問 武藤好文 さん	編 集 部	目の眼	221	村井正誠—どこまで も拡大する自己	古川 秀昭	〃	
クローズアップ 武 藤孤舟	清水 光夫	アートマ インド	78				

「村井正誠展」のまえ に―出身の話―	植野比佐見	和歌山県 立近代美 術館ニユ ース	4	特集 亜細亜的創造 1 EAST/WEST fusing interview アジアの建築空間の アイデンティティが、 今芽生え始めている。 村松伸	AXIS	58
村井正誠 色と形と 心―人間の詩	〃	〃	5			
作家と話そう 抄録 「作家と話そう―村 井正誠」	植野比佐見 抄録	〃	6	爛れたる美の時間た らしめよ―村山槐多 『尿する裸僧』ノオト	佐々木 央 絵	379
アルタイで見たもの	村岡 三郎	国立国際 美術館月 報	29			
新春特別対談 平山 郁夫+村上三島 芸 術の使命について		アート・ トップ	150	村山陽一の画業につ いて	新明 英仁	小熊 秀 雄/村山 陽一/丹 野利雄一 天折の画 家たち・ 旭川篇展 図録(北 海道立旭 川美術 館)
ベンチャー作家・村 上隆の明日へ架ける 橋 5 日本に美術 は必要ない、と言 い切る作家		ギャラリ ー(月刊)	117			
ベンチャー作家・村 上隆の明日へ架ける 橋 6 “アーティ ストは見せ物”ムラ カミの弁舌論はます ます過激に・・・		〃	118	歪む空間	武留井義男	武留井義 男展図録 (標画廊)
ベンチャー作家・村 上隆の明日へ架ける 橋 最終回 ムラカ ミ、1995年の東京カ ルチャーシーンに命 名する(予定)		〃	119	室井東志生 海と山 に心境を見せる 東 ヲ志シテ生ケル、室 井東志生の世界	野	アート・ トップ
特集 ヴェネツィア ・ピエンナーレ― 100年目の孤独? スーダラ紀行 in ヴェネツィア	村上 隆	美術手帖	712	アートレポート<パ リ>PART 2 20 世紀末・パリ・画廊 めぐり	編集部 室橋 信一	ギャラリ ー(月刊)
特集 映画と美術の 100年 アンケート :マイ・フェイヴァ リット・フィルム	〃	〃	713			
画家・彫刻家の創造 したヴィジョン顔 ギリギリの顔・村上 炳人		美術の窓	150			
本年度審査員による 座談会「二十七回 日展に夢をかける」	村田 省蔵 藤森兼明 立川義明 西村祐一 赤堀郁彦 小西啓介 岡村倫行 川崎麻見 他	日 展 ニユース	78	五十年の残影4 形 見の絵具(上)(下)	毛利 武彦	新美術新 聞
INTEREST 村田 澄子	ぼんのなお こ	アートマ インド	79	<座談>奥村土牛先 生の芸術について (2)(3)	(話し手) 塩出 秀雄 (聞き手) 岩壁富士夫 毛利 武彦 (司会) 入江 観	725、726
作家訪問 陶芸 村 田勢津	編 集 部	目の眼	223	特集 20世紀を決定 した「眼」 20世紀 の、そして私自身の ヴィジュアル・ショ ック 時代を切り拓 いたキング・コング	毛綱 毅曠	芸術新潮
個展の声 私の気分 転換	村田 睦夫	絵	379			
異端者たちの服	村田 利一	デザインの 現場	77	特集 天災と闘った 美術 受難の文化財 篇 報告!阪神大震 災と美術 体験記 「私の1月17日」僕 の“文化財”が消える	元永 定正	〃
特集 『戦後50年と 私』3 少年時代の 戦争体験	村松 秀太 郎	新美術新 聞	744			545

Being ART Watching 16 原風景 たりうるか 百瀬智宏	中野 中	ギャラリー ー(月刊)	127	INTEREST 森田 健司	鈴木 仁一	アートマ インド	77、80、 83
画家・彫刻家の創造 したヴィジョン イ メージ 豊かで雅び やかな空間・森治郎		美術の窓	150	絵と絵巻 『夜鶯(ナ イチンゲール)』(ア ンデルセン童話集) を描いた頃	森田 曠平	アサヒグ ラフ(別 冊)	118
『創展回想』	森 水碧	アートマ インド	78	土佐美術家外伝7 森田曠平	鍵岡 正謹	高知県立 美術館 ニュース	9
幾何学的形態による 視覚的リズム(2)	森 竹巳	筑波大学 芸術研究 報告	24	追悼 森田曠平氏	鎌倉 秀雄	新美術新 聞	727
INTEREST 森春 子	嶋田 三郎	アートマ インド	79	追悼 森田曠平氏	郷倉 和子	〃	〃
追悼 牧田喜義氏	森 秀雄	新美術新 聞	750	追悼 森田曠平氏	草薙奈津子	〃	〃
	前田 常作 千葉 成夫 水谷 孝秀 森 鉄ヒロシ タナカ ユキ	リキテッ ビ ク ス ・ ナ ー エ レ 展 5 回 図 録 (ス ル バ イ ラ ー ガ ー デ ン)		追悼 森田曠平氏	田中日佐夫	〃	〃
CRITICISM SY- MPOSIUM				追悼 森田曠平氏	福王寺法林	〃	〃
				追悼 森田曠平氏	本庄 俊男	〃	〃
				追悼 森田曠平氏	松尾 敏男	〃	〃
				追悼 森田曠平氏	油井 一人	〃	〃
				故 森田曠平氏 弔 辞	北岡 文雄	連盟ニュ ース	360
				情熱の人 江藤哲君	森田 茂	江藤哲展 図録(大 分県立芸 術会館)	
				館藏品紹介 森田子 龍	尾崎信一郎	国立国際 美術館月 報	39
				森田竹華・かなの美 展に寄せて	尾崎 なお	森田竹華 ・かなの 美展図録 (五島美 術館)	
				森田竹華の仮名美	名児耶 明	〃	
				森田恒友「ブルター ニュの(一)」 蜂蜜 入り膠による裏打	村松 裕美	修復研究 所報告	11
				アンケート 今置か れている状況の告発 を	森田 直衛	自由美術	'95
				座談会「土の鏡」 具 象の可能性 森田康 雄、山本晴久、吉岡 正人、生駒泰充、諏 訪敦、鍋島正一、三 澤寛志	一井 建二 司会	美術の窓	151
				画家・彫刻家の創造 したヴィジョン顔 追憶から生まれた顔 ・森長武雄		〃	150
				自然の声を形にする 陶芸家 森野清和	森野 清和 (イン タービ ュー)	潮 流	44
				森村宜穂の茶室(森 村記念館)	森村 高試	淡 交	597
				特集 20世紀を決定 した「眼」 20世紀 の、そして私自身の ヴィジュアル・シヨ ック Vサインはチ ャーチルから	森村 泰昌	芸術新潮	541
素材&テクニック編 粘土・ガラス アニ メのもとと自由な表 現を目指して(クレ イアニメーション) —森まさあき	編 集 部	デザイン の現場	75				
若き日本人アーティ スト・森万里子 キッチンな近未来表 現で衝撃デビュー	眞田 一貫	美 術 (月刊)	237				
特集 変身 森万里 子 ロボット・ファ ンタジー	藤森 愛実 インタヴ ュー	美術手帖	708				
特集 映画と美術の 100年 アンケート :マイ・フェイヴァ リット・フィルム	森 万里子	〃	713				
森芳雄氏に聞く	天野 一夫 聞き手	伊藤久三 郎展一透 明なる叙 情と幻想 図録(O 美術館)					
LOVE LETTERS 3回 森北伸と奈良 美智	森北 伸 奈良 美智	Lady's Slipper	4				
空間から環境へ	木村 重信	森口宏一 展 図 録 (国立国 際美術 館)					
森口宏一 その人と 作品の軌跡	中塚 宏行	〃					
A Young Artist Moves on 4 森口 ゆたか	倉林 靖	美術手帖	713				
A Young Artist Moves on 4 森口 ゆたかにストレート な25の質問		〃	〃				



特集 変身 トラン スフォーマー 墮天 使の美学	森村 泰昌 鷲田 清一	美術手帖	708	中原悌二郎賞26回保 田春彦氏に決定 優 秀賞は舟越桂氏	(美)	新美術新 聞	748
特集 映画と美術の 100年 アンケート :マイ・フェイヴァ リット・フィルム	森村 泰昌	"	713	中原悌二郎賞26回を 受賞した保田春彦		"	750
一本の線	森本 兼司	国立国際 美術館月 報	35	場と彫刻「保田春彦 展」のための覚え書	寺口 淳治	和歌山県 立近代美 術館ニ ュース	5
特集 画家VSモデ ル—絵の中の女たち — 森本草介VSモデ ル		美術の窓	147	保田春彦展	"	"	6
画家・彫刻家の創造 したヴィジョン イ メージ 水墨による 写実・森本遙		"	150	福井の現代芸術家・ 八田豊の活動につい て	吉田富久一	群馬県立 女子大学 紀要	16
NEW EDITION 森山完介 新作版画 『流水 Drift—ice』	編 集 部	版画芸術	88	§作家のこぼさ§	八柳 尚樹	「水の 変 幻」—その表 新しき展 図 録 (O 美 術館)	
§作家の言葉§	森山 大道	写真都市 TOKYO 展 図 録 (東京都 写真美術 館)		特集 アメリカン・ ドリームに賭けた日 本人画家たち 美術 界の野茂たちの軌跡 渡米画家たちの運命 の岐路 柳敬助・加 藤健太郎	(編)	芸術新潮	550
解体から享ける解放 —入江比呂全貌展に よせて—	門田 秀雄	入江比呂 全貌展 会 戦後社会 を見据え たラジカ ルな造形 図 録 (ス トライプ ハウス美 術館)		作家紹介 柳幸典	森 芳功	50年後 彼らはな ぜ戦争を 表現する のか 展 録 (徳島 県立近代 美術館)	
<時評的発言>みな とみらいの見た戦後 前衛美術—日本近 現代美術はどう視れ るか—	"	構 造	11	柳幸典 ヒノマル・ プリント	編 集 部	版画芸術	87
	(ヤ)			人と作品 柳沢正人 刻・時空を旅して 柳沢正人見据える彼 方の刻	(羅)	アート・ トップ	146
現代陶芸のあけぼの 十選4 八木一夫 「ザムザ氏の散歩」	中村 錦平	日 経	5.11	佐藤朝山について 柳沢基夫・宮本理三 郎・横田七郎各氏に 聞く	(聞き手) 千田 敬一 基 俊太郎	碌山美術 館報	16
デザインが生まれる 場所2 八木保	西村 佳哲 インタビュー	AXIS	57	東京世田谷区・経営 あさひや 柳原義達	西澤 美子	新美術新 聞	733
八木保 五感で伝える、 国境を越えた Visual Communic ation		デザインの 現場	79	世界のなかにひとり 立つもの—彫刻家・ 柳原義達	酒井 哲朗	柳原義達 展 図 録 (茨城県 近代美術 館)	
特集 「版画」の現在 地点 西日本編	安井寿磨子	版画芸術	90	凜乎とした気配	建昌 覚造	"	
特集 絵で読む家族 の肖像 家族という 風景 絵描きの一家 安井會太郎	(編)	芸術新潮	549	柳原義達の戦後バラ ックの装飾	木田 拓也	"	
深井英五氏像 安井 會太郎筆	古田 亮	国立博物 館ニユー ス	579	水の緑—《犬の唄》試 論	荒屋敷 透	"	
				柳原義達の新生—滞 欧作の周辺	毛利伊知郎	"	
				連作「道標」に見る柳 原芸術の達成	金原 宏行	"	
				もう一つの「道標」	芳野 明	"	
				せめぎあう動勢を見 すえて—柳原義達の デッサン	岡 泰正	"	

平成7年定期刊行物所載文献(作ヤ)

柳瀬正夢 刺画年表	漫画・風	清水 勲	川崎市 民 ジ ア ム 紀 要	7	建物の肖像52回 歴 史が重積する谷中界 隈	〃	〃	381
柳瀬正夢の生きた時 代—グラフィック・ デザイン史からの考 察		川畑 直道	柳瀬正夢 一疾走す るグ ラ ム フ ィ ズ 展 (武蔵野 美術大 学 美術資 料 図 書 館)		建物の肖像53回 横 浜本町通り界隈その 一	〃	〃	382
時代に向かう装幀の 軌跡—もうひとつの 日本近代デザイン史		及部 克人	〃		祖父について(里見 勝蔵)	山内 滋夫	視 る	338
ジャーナリストの眼 差しを持つ画家・柳 瀬正夢		井出 孫六	〃		特集 山尾薫明 山 尾薫明さんの絵画— 原始回帰への情熱と 人間愛—	林 紀一郎	アートマ インド	81
見はてぬ夢「爆弾も 心」		柳瀬 信明	〃		画家の創造したヴィ ジョン 風景 雲流 れる・山川浩	編 集 部	美術の窓	151
自らの子供の時を重 ねて—いまを生きる 子どもの無邪気さへ 託す		及部 克人	〃		追悼 加倉井和夫氏	山岸 純	新美術新 聞	749
「混然としたグレー のなかに」—華北、 満州を疾走した柳瀬 正夢		萬木 康博	〃		画家・彫刻家の創造 したヴィジョン イ メージ 静物のパン トマイム・山岸忠彦	山口 郁生	ザ・ルー フ	6
柳瀬正夢・諷刺画表 現の確立過程		清水 勲	〃		喰えないものをガリ ガリと(寺山修司実 験映画特集)	宮崎 安章 山中 和 村山 浩 増田 久美	修復研究 所報告	11
名画再読<薄暮>柳 瀬正夢		芥川 喜好	読 売	1, 15	山口薫「朝・昼・晩」 修復報告	山口 勝弘	映像工夫 館展—イ マジネー ションの 表現図録 (東京都 写真美術 館)	
旬 まつたけ		藪内佐斗司	新美術新 聞	749	映像美術館の新しい 方向	山口 勝弘	山口勝弘 展 図録 (佐谷 画 廊)	
建物の肖像42回 新 旧繚乱 浜離宮から 芝浦		藪野 健	絵	371	ヴィトリヌの温故 知新	〃	山口勝弘 展 図録 (佐谷 画 廊)	
建物の肖像43回 舞 台の人となる泉岳寺 界隈		〃	〃	372	山口啓介氏が大阪ト リエンナーレ'94の 「関西ドイツセン タードイツ連邦共和 国デュッセルドルフ 市賞」受賞		新美術新 聞	727
建物の肖像44回 名 建築の町 山形		〃	〃	373	特集 「版画」の現在 地点 山口啓介	山口 啓介	版画芸術	88
建物の肖像45回 一 筆書きの地図帳 大 井町周辺		〃	〃	374	Being ART Watc hing 17 人間社 会へのアンチテーゼ 山口賛治	中野 中	ギャラリ ー(月刊)	128
建物の肖像46回 北 品川からゼームス坂 へ		〃	〃	375	山口正城の<作品59 —7>について(前)	中村 聖司	紀 要 Hokkai- do Art Museum Studies	1994—95
建物の肖像47回 懐 深い町 麻布を歩く		〃	〃	376	画家・彫刻家の創造 したヴィジョン イ メージ 風景という 絶対的な空間・山口 実		美術の窓	150
建物の肖像48回 田 端文士村を歩く		〃	〃	377				
建物の肖像49回 描 くことの快楽 大阪 ・船場		〃	〃	378				
建物の肖像50回 裏 が面白い、宇都宮を 歩く		〃	〃	379				
建物の肖像51回 東 京の橋を巡る		〃	〃	380				

「記憶の都市」を求めて	山口 都	荻太郎と亀本信子・山口都子・日本女子大学・住居学「絵デッサン」教室の現在(日本女子大学記念館)	特集 アメリカン・ドリームに賭けた日本人画家たち 美術界の野茂たちの軌跡 美術学校の優等生たち 山田馬介	(編)	芸術新潮	550
			脇役人生の輝き 金賞受賞(日本陶磁協会)の山田光さん	藤 慶之 陶 説		508
			絵画を描くということ	山田 正亮	美術の窓	144
私的彫刻史考	山崎 脩	国立国際美術館月報	特集 「版画」の現在 地点 西日本編	山田 道夫	版画芸術	90
画家・彫刻家の創造したヴィジョン 女 明るいエロティシズム・山崎猛		美術の窓	画家・彫刻家の創造したヴィジョン 顔身近な人・山田良定		美術の窓	150
			アンケート 時流におもねることなく・	山谷 和子	自由美術	'95
作家の言葉	山崎 博	写真都市 TOKYO 展 図録(東京都写真美術館)	画家・彫刻家の創造したヴィジョン 顔室内の人形・大和屋 巖		美術の窓	150
			特集 「版画」の現在 地点	山中 現	版画芸術	88
キャンヴァスの裏地を使って描くスポーツイラストの醍醐味 一山崎正夫		デザイン の現場	アトリエの画家たち 8 山中現		"	89
クローズアップ 山崎實 原体験としての「白樹の精」を描く	佃 堅輔	アートマ インド	マイクロマシン 究極のしもべ、人工の虫たち	山中 俊治	AXIS	56
クローズアップ 山崎實 日宝展十年の歩みを振り返って	山崎 實	" "	画家の創造したヴィジョン 風景 運動する自然・山中真寿子	編 集 部	美術の窓	151
戦後50年記念大特集 カンヴァスが証す画家たちの「戦争」第一部それぞれの「戦争と私」 山下菊二 おちこぼれの兵士の戦線スケッチ	(編)	芸術新潮	HAPPY NEW DESIGN-いま気になるクリエイターたち   イラストレーション   山根茂樹-クリエイションとディレクション	"	デザイン の現場	74
クローズアップ 山下忠	山 ぼんの なおこ	アートマ インド	特集 20世紀を決定した「眼」 20世紀の、そして私自身のヴィジュアル・ショック 「ブロンディ」の部厚いサンドイッチ	山藤 章二	芸術新潮	541
ペーパー・イン・マイワーク44 山下秀雄一歴史に思いをはせながら	編 集 部	デザイン の現場			VOCA 展'95「現代美術の展望-新しい平面の作家たち」図録(上野美術館)	
山下正人の襖絵一相 慈寺を飾る一東京・品川		新美術新聞	\$ 山部泰司 \$	天野 太郎		
ビザンティン美術におけるアイコンとナラティブー山下りん作アイコン『復活』とストゥデニツァの『冥府降下』一	鐸木 道剛	美術史	特集 日本近代工芸史の再構築へ向けて 山本鼎一農民美術の蹉跎	小林未央子	工 芸	3
山田修市(故・池内康) ステンドグラスを完成させた創意のリレーション		ギャラリー (月刊)	倫明夜話一戦後美術の群像4 日の目(山本丘人)	河北 倫明	新美術新聞	725

「通信と芸術の出会い」を求めて	山本 圭吾	国立国際美術館月報	36			VOCA展'95「現代美術の展望—新しい作家たち」(上野森美術館)	
日本の前衛とともに—山本敬輔の画業	速水 豊	山本敬輔展(姫路立美術館)		湯浅龍平	山本 和弘	新しい作家たち(上野森美術館)	
向う三軒両隣 神奈川横丁10 山本貞	武田 厚	美術の窓	150	作家の言葉	湯浅 龍平	〃	
画家の創造したヴィジョン 風景 自然のアイデア・山本貞	編集部	〃	151			赤瀬川原平の冒険—脳内リゾート開発大作戦(名古屋美術館)	
山元春挙の「蘆花浅水荘」(円融山記恩寺)	山元 清秀	淡 交	599	サイナラ合戦	雪野 恭弘	〃	
アトリエの扉をあけて8 やまもとちかひと—自分らしい描き方を追求して	編集部	デザインの現場	75	セクシーな女の子はアメリカの雑貨から湯村タラ	中島 優子	デザインの現場	77
研究資料 山本豊市滞欧書簡(五)	千田 敬一	碌山美術館報	16				
ぼくの空想コレクション 206話 山本直彰	秋山 和歩	美術(月刊)	240				
座談会「土の鏡」 具象の可能性 山本晴久、吉岡正人、生駒泰允、諏訪敦、鍋島正一、三澤寛志、森田康雄	一井 建二 司会	美術の窓	151	特集 20世紀を決定した「眼」 20世紀の、そして私自身のヴィジュアル・ショック 私、UFOの母船に乗りました	横尾 忠則	芸術新潮	541
山本弘の芸術と生活の謎	針生 一郎	山本弘遺作展図録(東邦画廊)		特集 今なぜ天使なのか? 作家インタビュー 横尾忠則		美術(月刊)	237
バリ時代の山本芳翠	高階絵里加	近代画説	4	特集 芸術家になりたい! サヴァイヴァル予習編 衝突の時代だった60年代 横尾忠則	インタヴュー	美術手帖	705
近代日本美術家列伝 17 山本芳翠	原田 光	美術手帖	709	特集 映画と美術の100年 アンケート:マイ・フェイヴァリット・フィルム	横尾 忠則	〃	713
山本まり子—内にある色たち	インタヴュー	C.A.R.	17	横尾忠則と祝祭のイメージ	山崎 均	ピロティ	95・96
対談 時代が芸術をつくる 作家と見る側とのコミュニケーション 梅原猛、山本谷子		美術京都	15	“待つ”という手法 横尾美美	中島 優子	デザインの現場	79
日本人バウハウスマスター、山脇巖—道子	川畑 直道	バウハウス展図録(セゾン美術館)		人と作品 横川富美カトレア、菖蒲、カサブランカ、朝顔 素朴な美—横川富美の花鳥画	(野)	アート・トップ	147
バウハウスのマドンナだった大和撫子(山脇道子)	〃	芸術新潮	545	素材&テクニック編 樹脂 手軽なテクニックで広がる灯りと影の饗宴(チャンネル)—横島憲夫	菅野 美香	デザインの現場	75
追悼 牧田喜義氏	矢柳 剛	新美術新聞	750	佐藤朝山について 柳沢基夫・宮本理三郎・横田七郎各氏に聞く	千田 敬一 基 俊太郎 (聞き手)	碌山美術館報	16
	(ユ)			個展の声 石の力	横地 洋司	絵	376
画家・彫刻家の創造したヴィジョン イメージ 白昼の砂浜・湯浅勉哉		美術の窓	150	Being ART Watching 13 還流する不安 横溝泰鴻	中野 中	ギャラリー—(月刊)	124

横山潤之助という作家とのあい	朝日	晃	横山潤之助と仲間たち展—1920年代の作家たち—(ギャラリ—川船)			画家・彫刻家の創造したヴィジョン—動的なエネルギー—横山良美	美術の窓	150
エマソン、彝、大観	船木	力英	茨城県近代美術館だより	26		河北倫明氏を悼む戦後日本美術界の大きな柱	新美術新聞	751
横山大観—明治前半期について—	藤本	陽子	茨城県立歴史館報	22		感慨新たに	二科回顧展 図録 (大丸ミュージアム(東京))	
横山大観の「鉦鼓洞」(横山大観記念館)	横山	隆	淡交	592		倫明夜話—戦後美術の群像5—機械の絵(吉岡堅二)	新美術新聞	726
近代日本美術家列伝33 横山大観	水沢	勉	美術手帖	717		第6回臥龍桜日本画大賞展 大賞に吉岡順一氏	〃	737
横山大観—その想と技	奥岡	茂雄	横山大観—海・山・空の世界—(北海道立近代美術館)			HAPPY NEW DESIGN—いま気になるクリエイターたち—スペースデザイン   吉岡徳仁—飛翔する空間へ	デザインの現場	74
横山大観—「日本画」の風景	土岐美由紀	〃	〃			前田寛治大賞を受賞した吉岡正人さん「私にとっての前田寛治」	アート・トップ	149
横山大観と千葉県	米田	耕司	横山大観記念館報	13		第3回前田寛治大賞展大賞 吉岡正人受賞者インタビュー	ギャラリー—(月刊)	126
新潟と大観—明治三十三・三十四年—	野本	淳	〃	〃		大賞に吉岡正人氏 第3回前田寛治大賞	新美術新聞	743
講演要旨 タゴール家と天心・大観・春草	我妻	和夫	〃	〃		座談会「土の鏡」具象の可能性 吉岡正人、生駒泰充、諏訪敦、鍋島正一、三澤寛志、森田康雄、山本晴久	美術の窓	151
<インド出張報告> タゴールと大観	長尾	正憲	〃	〃		大賞作品(吉岡正人『幸せな一日』)について	前田寛治大賞展図録(高島屋)	
「横山大観旧居」—台東区民文化財「史跡」として—	〃	〃	〃	〃		アトリエの画家たち 6 吉田亜世美	版画芸術	87
名画再読<風蕭々兮易水寒>横山大観	芥川	喜好	読売	2.12		欠点を露呈して描く。そのほうがおもしろい 吉田カツ	デザインの現場	76
座談会「第二十七回 日展審査を終えて—明日への希望—」	横山内永宇賀神	豊智太郎	日展ニュース	79		NEW EDITION 吉田克朗新作版画「触 テーブルの上で」	版画芸術	89
近代日本美術家列伝12 横山松三郎	水沢	勉	美術手帖	708		証言=もの派が語るもの派 ちょっとした違いが増幅されて	美術手帖	706
横山松三郎と日光山写真	池田	厚史	MUSE-UM	535		1994年の展覧会	明星大学研究紀要	3
特集 武蔵野美術大学と多摩美術大学美術現場と教育現場を直結した三人の雄一(横山)操・(加山)又造・(斎藤)義重	米倉	守	美術(月刊)	240		特集 『戦後50年と私』 戦後を思う	新美術新聞	742
名画再読「横山操の絶筆(未完)」横山操	芥川	喜好	読売	1.29		特集 地球大美術 太陽光から地球生命体へ	美術手帖	715

平成7年定期刊行物所載文献(作ヨ、ワ)

辛口甘口版画館第4回 かげろうの風、そして秋風 追悼吉田遠志	伊波 晋	ギャラリー(月刊)	125	HAPPY NEW DESIGN—いま気になるクリエイターたち   広告   米村浩一落とし穴の戦略	(編集部)	デザインの現場	74
吉田遠志先生を悼む	北岡 文雄	連盟ニュース	364	新鋭作家図鑑 艾沢 詳子 混沌からすくいとるカタチ	〃	版画芸術	87
盤師一如 吉田富義	中島 明彦	フォト	5, 15	INTEREST 依田 純	ばんのなおこ	アートマインド	82
画家の創造したヴィジョン 風景 面白 いリズム感・吉田ひろ子	(編集部)	美術の窓	151	萬鐵五郎作<女の顔(ボアの女)>成立の周辺	江渡 憲夫	岩手県立博物館研究報告	13
IAAメキシコ総会に出席して	吉田 穂高	連盟ニュース	364	萬鐵五郎と岸田劉生にみられるデフォルマシヨンの特色について	田中 善明	20世紀日本美術再見[1]・1910年代一光り耀く命の流れ 図録(三重県立美術館)	
吉田美統さんの人と作品	嶋崎 丞	陶 説	508	自画像について考えること	田中日佐夫	萬鐵五郎の自画像展—わが内なるカオス 図録(萬鐵五郎記念館)	
特集 「版画」の現在地点	芳野 太一	版画芸術	88	雲のある赤い眼の仮面—萬鐵五郎の自画像	中村 義一	〃	
地震と住まい	吉羽 逸郎	国立国際美術館月報	32				
アンケート 震災をばねに	吉見 敏治	自由美術	'95				
少年の心が裸で路上に転がっている	吉村 益信	赤瀬川原平の冒険—脳内リゾート開発大作戦(名古屋美術館)					
画家・彫刻家の創造したヴィジョン イメージ 風景がやわらかに呼吸する・吉本幸		美術の窓	150				
平成六年度新収蔵作品2(東京国立近代美術館) 工芸・写真 新収蔵作品によせて	吉本由美子	現代の眼	489	若林奮と素描	市川 政憲	若林奮展と素描という出来事 図録(東京国立近代美術館)	
受賞者インタビュー フジサンケイ・ピエンナーレ現代国際彫刻展大賞 吉本義人		ギャラリー(月刊)	125	夥しさについて	中林 和雄	〃	
特集 吉原英雄 サスペンス・ドラマ	編集部インタビュー構成	版画芸術	87	36EXP<MOMA>(写真作品)	脇 リギオ	多摩美術大学研究紀要	9
特集 吉原英雄 サスペンス・ドラマ 吉原英雄と京都市立芸大版画教室今昔	吉原 英雄 田中 孝司 出原 司	〃	〃	名画再読<あらそい>脇田和	芥川 喜好	読 売	10, 29
笠間日動美術館名作選五十一 淀井敏夫 《夏、流木と女》	笠間日動美術館	絵	371	ダダ的に、反芸術的に	ワシオ・トシヒコ	入江比呂全貌展—戦後社会を見据えたラジカルな造形 図録(ストライプハウス美術館)	
回想	米坂ヒデノリ	自由美術	'95	和田英作の「婦人像」	磯江 哲昭	郷土博物館	80
米陀寛 日光東照宮客殿・新社務所模絵が完成 豊かな自然が生きる空間の美	鈴木 進	美術(月刊)	238	名画再読<南風>和田三造	芥川 喜好	読 売	7, 30

			VOCA 展'95「現 代美術の 展望—新 しい平面 の作家た ち」図録 (上野美 術館)	安井賞38回にわたな べゆう氏		新美術新 聞	723
§和田千秋§	黒田 雷児			人らんだむ 第38回 安井賞を受賞したわ たなべゆうさん	(美)	〃	724
				絵画材料の発見 ゴ ミでも気になる	わたなべゆ う 佐々木 豊 (聞き手)	〃	736
「障碍の美術」につい て	和田 千秋	〃		特集 平成7年前期 の美術賞とその作品 受賞作家インタ ビュー 安井賞38回 わたなべゆう		美 術 (月刊)	239
芸苑雑事記35 双手 挙げて和田義彦を歓 迎するの記	瀧 悌三	美術の窓	145				
プリント・アートの たのしみ10 銅版画 と新孔版画	渡会 談	純价	アート・ トップ	144		美術の窓	149
プリント・アートの たのしみ13 新孔版 画には木版画以上の ファクターがある	渡会 関原 対談	純价 泰生	〃	147		アートマ インド	78
			VOCA 展'95「現 代美術の 展望—新 しい平面 の作家た ち」図録 (上野美 術館)				
§渡辺えつこ§	矢内みどり				(ア)		
				彫刻概念の革新者— アレクサンダー・ アーキベンコ	水沢 勉	アーキベ ンコ展図 録(名古 屋画廊 古)	
特集 『戦後50年と 私』4 私の心棒	渡辺 學	新美術新 聞	745				
肝腎なものは目にみ えない	松尾子水樹	渡辺晃一 展 Ver- onica— 肌膚の厚 さ・熱さ 図録(川 口現代美 術館(斎 藤記念))		保存版大特集 VE- RY NEW ART 90 年代の海外注目アー ティスト リチャー ド アーシュワガー ー	(編)	美術手帖	700
クローズアップ 渡 辺小六 内在化され た色彩	水上 杏平	アートマ インド	79	現代陶芸のあけぼの 十選6 ロバート・ アーネソン「石棺」	中村 錦平 日 経		5.16
創刊150号特別企画 楽しい仲間	渡辺 武夫 橋本 博英 小杉小二郎	美術の窓	150	ニューヨーク・ ニューイメー ジャー・アーネ ル・アート・ディレク ションはビッグ・ビ ジネスである。	管付 雅信	デザイン の現場	76
彩られた山の音が	柳生不二雄	渡辺豊重 展 図録 (大黒屋)		ロンドンよしこの アーティスト・ウッ ディング エドワード ・アーリントンの巻	田中 美好	Lady's Slipper	4
緑燃ゆ—自然への讃 歌(ハンドタフテッ ド)	わたなべひ ろこ	多摩美術 大学研究 紀要	9	エルヴィン・アイ シュ	武田 厚 インタヴ ー	拡張する ガラス: 美の表現 者たち展 図録(横 浜美術 館)	
第2回小磯良平大賞 受賞者渡辺満さん 初めて意識した日本 の絵画	渡辺 満	アート・ トップ	146	特集 『戦後50年と 私』5 ポール・ア イズベリとの出会い	角 卓	新美術新 聞	746
第38回安井賞、受賞 者決定 安井賞はわ たなべゆう「風土15」		ギャラリ ー(月刊)	120	保存版大特集 VE- RY NEW ART 90 年代の海外注目アー ティスト ヴィト・ アコンチ	(建 畠)	美術手帖	700
受賞者インタビュー 第38回安井賞受賞 わたなべゆう		〃	121				

保存版大特集 VERY NEW ART 90年代の海外注目アーティスト アイダ・アップルブルグー 世界の力が見えるように	森口まどか インタヴュー	〃	〃	特集 ヴェネツィア・ビエンナーレー 100年目の孤独? 参加アーティスト&アート・ビープル語録 私はこう見た! ダヴィット・ヴァイス	梅宮 典子 (編集部)	〃	712
保存版大特集 VERY NEW ART 90年代の海外注目アーティスト マグダレーナ・アバカノーヴァ イッツ	(森)	〃	〃	本格的アーティスト・イン・レジデンス (ヴァリ・ヴァイナー)		新美術新聞	740
アドルフ・アビア ヘレラウでのダルクローズとのコラボレーション	福島 勝則	多摩美術 大学研究 紀要	9	さいたまアーティスト・イン・レジデンス 招へい作家来日 (ヴァリ・ヴァイナー)		〃	745
館藏品紹介 カレル・アベル	中西 博之	国立国際 美術館月 報	34	さいたまアーティスト・イン・レジデンス (ヴァリ・ヴァイナー)		〃	753
保存版大特集 VERY NEW ART 90年代の海外注目アーティスト ラシード・アライーン	(黒 田)	美術手帖	700	シリーズ・つくり手たちの言葉20 ジョルジョ・ヴァザーリ	占 部	フラミンゴ	42
マーシャル・アリス マンのエンジェルたち	岩吉 隆悠	アイデア	249	バーティル・ヴァーリン	武田 厚 インタヴュー	拡張する ガラス: 美の表現 者たち展 (横濱美 術館)	
さよなら“アジア美術”	安 畢妍 (アン・ピ ルユン)	美術手帖	715	北欧に美を求めて [下](ヴィーゲラン)	浅野 定快	AURA	10
ダヴィッド派の中のアングル	阿部 成樹	美 学	183	保存版大特集 VERY NEW ART 90年代の海外注目アーティスト ビル・ヴィオールー 思索する映像人類学者	山崎 均	美術手帖	700
葡萄畑のアウトサイダー ハインリヒ・アントン・ミュラーの世界展	小出由紀子	芸術新潮	550	特集 ヴェネツィア・ビエンナーレー 100年目の孤独? 参加アーティスト&アート・ビープル語録 私はこう見た! ビル・ヴィオーラ	梅宮 典子 (編集部)	〃	712
特集 映画と建築 建築家がつくった映画—ポストシミュレーションとしてのCGとその役割 (イーゾム夫妻・高松伸)	澤井 健	建築雑誌	1367	ロイユ・デ・ボザール62 坂本繁二郎VS ジャック・ヴィヨン		美術の窓	146
『昔の冬の北京』—自作を語る—	于鶴田 福庚 武良 武良 訳	中国現代 油画展図 録(日中 友好会館 美術館)		保存版大特集 VERY NEW ART 90年代の海外注目アーティスト スー・ウィリアムズ	(藤 森)	美術手帖	700
保存版大特集 VERY NEW ART 90年代の海外注目アーティスト ベーター・フィッシュリ&ダヴィッド・ヴァイス	(榎 木)	美術手帖	700	保存版大特集 VERY NEW ART 90年代の海外注目アーティスト リチャード・ウィルソン	(原 田)	〃	700
				シンプルでドラマチックな表現 ハンス・ヒルマン	アラン・ ヴェイユ	アイデア	248
				アラン・ヴェイユのカード・アート	〃	〃	249



ウィリアム・ウエグマン 犬たちの「シンデレラ」劇	(編集部)	版画芸術	88	作家の言葉	クシュシトフ・ウディチコ	〃	
ピーター・ヴォーコスの芸術	ローズ・スリヅカ 及部 奈津 訳	ピーター・ヴォーコス展図録(セゾン美術館)		保存版大特集 VE RY NEW ART 90年代の海外注目アーティスト クシュシトフ・ウディチコー人間の意志を彫刻する	森 司	美術手帖	700
ピーター・ヴォーコスの日本での紹介	松原 龍一	〃					
ヴォーコスのドローイング	土田 久子	〃		渡欧の成果—ヴラマンクとの出会い、	三谷 巍	里見勝蔵展図録(目黒区美術館)	
ピーター・ヴォーコスのものづくりと音楽 信楽・陶芸の森にて	(N)	工芸	1				
わたしのクレイ・ワーク—ピーター・ヴォーコス講演抄録—		視る	333	パウル・ヴンダーリッヒ、またはメタモルフォーズの美学	千足 伸行	ヴンダーリッヒ展図録(三鷹市美術館ギャラリー)	
アンディ・ウォーホル 死後に蘇った未発表版画	(編集部)	版画芸術	90		(エ)		
ジェフ・ウォール氏に聞く コスモポリタン主義の代表として		ギャラリー(月刊)	119	世界ポスタートリエンナーレトヤマ1994 金賞受賞作家 スタシス・エイドゥリゲ ヴィチウス	ヤチエック・シエレゲイ ド	アイデア	248
ジェフ ウォール	長谷川祐子	クロッシング・スピリッツ—カナダ現代美術展1980—1994図録(世田谷美術館)		特集 Design 2 Social Value 新しいドイツのデザイン エッカルト+バルスキー	瀧口 範子	AXIS	54
ジュスタス	ジェフ・ウォール	〃		渋澤龍彦とM・C・エッシャー	跡上 史朗	東北大学日本文化研究所研究報告	31
保存版大特集 VE RY NEW ART 90年代の海外注目アーティスト ジェフ・ウォール—写真的リアリズムと絵画的タイポロジーの相克	森岡 祥倫	美術手帖	700	ポフミール・エリアッシュ	武田 厚 インタヴェー	拡張するガラス：美の表現者たち展図録(横浜美術館)	
記憶の匂い	イアン・ウォルトン インタヴェー	〃	712	笠間日動美術館名作選五十二 マックス・エルンスト《夢創りの達人》	笠間日動美術館	絵	372
芸術をめぐる言葉28 断崖、山岳、奔流、狼、どよめき、サルヴァートル・ローザ!—ウォールポール	谷川 渥	〃	706	マックス・エルンストのフロッターージュと風景の成立	速水 豊 美 学		183
クシュシトフ ウディチコ	河本 信治	クロッシング・スピリッツ—カナダ現代美術展1980—1994図録(世田谷美術館)		『黄土高原』—自作を語る—	燕鶴田 飛 武良 武良 武良 武良 武良	中国現代油画展図録(日中友好会館美術館)	
				『母と子』—自作を語る—	間鶴田 萍 武良 武良	〃	

		(オ)					
				マシユー・カーター インタビュアー アクション化する タイプデザイン		AXIS	54
『使い古した車』—自作を語る—	王鶴田 小寶 誠一 武良	中国現代 油画展図 録(日中 友好会館 美術館)		創る人6 ルイ・カー ヌ 浮遊する筆 触。彩られた空気。	ルイ・カー ヌ 林 寿美 (聞き手)	AURA	11
『潮』—自作を語る—	王鶴田 誠一 武良	〃		モネとルイ・カー ヌ—<睡蓮>をめぐる 二人の対話	広本 伸幸	モネ<睡 蓮>と今 日:ルイ ・カーヌ 図録(川 村記念美 術館)	
『正午』—自作を語る—	王鶴田 鉄夫 武良	〃					
『霊を祭る』—自作を語る—	王鶴田 磊 武良	〃		モネ/カーヌ:分か ち合う色彩	ドミニック ・デュビ イニラベ 波多野啓子 詠		
死者の絵24 もう一つ の「マラーの死」 (ジャン=ジャック ・オエール)	林紀一郎	美術の窓	150				
オスカーのアート ・ディクショナリー 1、2	大岩オス カール幸男	C.A.R	18、19	美の故郷 激情のま なざし フリーダ・ カーロとメキシコ (中) 伝説に彩られ た「象と鳩」夫への 愛憎が傑作生む	稲垣 直子	日 経	9.17
大岩オスカー幸男 —現代社会を計測す るユーモア	インタ ヴェー	〃	19				
§大岩オスカー幸 男§	名古屋覚	VOCA 展'95「現 代美術の 展望—新 しい平面 の作家た ち—」の 図録(上 野美術 館)		賀天健の絵画観	山岡 泰造	中国近現 代絵画展 橋本コ レクシ ョ録区 (渋谷区 立松涛美 術館)	
§作家の言葉§	大岩オス カール幸男	〃		[版画カタログ・レ ゾネ]あれこれ95 メアリー・カサット	長谷川公之	美 術 (月刊)	232
ジョージア・オキー フ研究 近代アメリ カ絵画にみる具象と 抽象	木村 要一	成安造形 大学研究 紀要	2	§メアリー・カサッ ト《孫たちに本を読 んでやるカサット夫 人》§	(W)	メーブル ニュース	28
保存版大特集 VE RY NEW ART 90 年代の海外注目ア ーティスト ベボン・ オソリオ	(杉 浦)	美術手帖	700	ジュゼッペ・カス ティリオーネ(郎世 寧)の生涯とその評 価	新関 公子	『中国の 洋画』 展図録 (町田 国際版 画館)	
ロンドンよしこの アーティスト・ウオ ッチング ジュリアン ・オビーの巻	田中 美好	Lady's Slipper	2	カルロ・カッラの形 而上絵画 「ヴァ ローリプラスティ チ」誌掲載の作品を めぐって	出村 雅也	美 学	183
ボール・バット・ アート5 オルデン バーグのバット	平出 隆	美術手帖	713				
もう一つの時 版画 家ジュディ・オング		横浜文化 情報誌	37	ロイユ・デ・ボザ ール66 瑛九V Sカル ロ・カッラ		美術の窓	150
				カルロ・カッラ 1916年	出村 雅哉	文化学年 報	44
おしゃべりストッ キング	ニコル・カ ーステンズ インタヴェ ー	美術手帖	709	<悲劇の平穩>から <魔術的リアリズム >へ(カルロ・カッ ラ)	望月 一史	ユリイカ	27—4

ジュヌヴィエーヴ・カデュー	長谷川祐子	クロッシンク・スビリッツアーカナダ現代美術展1980—1994図録(世田谷美術館)		大回顧展のため来日したアンソニー・カロさん	(山)	新美術新聞	740
保存版大特集 VERY NEW ART 90年代の海外注目アーティスト イリヤ・カバコフ	(中 村)	美術手帖	700	未来を志向するカロさんの作品に、どれだけ僕が挑発できるかと。	安藤 忠雄	美術手帖	712
保存版大特集 VERY NEW ART 90年代の海外注目アーティスト アニッシュ・カプーアー瞑想的彫刻の深度から彫刻の瞑想の深度へ	清水 哲朗	〃	〃	笠間日動美術館名作選五十五 ワシリー・カンディンスキー《活気ある休息》	笠間日動美術館	絵	381
電子の遠近法—ウルリケ・ガブリエルの「パーセプチュアル・アリーナ/空間のパラドックス」をめぐって	伊藤 俊治	多摩美術大学研究紀要	10	日本におけるカンディンスキーの受容に関する研究	佐藤 幸宏	鹿島美術財団年報	12
風景の詩人ダニ・カラヴァン「人権の道」をめぐって	河合 哲夫	日本美術工芸	678	カンディンスキーの絵画の世界—版画集「小さな世界」に寄せて	難波田龍起	カンディンスキー—クレイネルテン展図録(名古屋画廊古)	
ロンドンよしこのアーティスト・ウオッチング アーニャ・ガラッチオの巻	田中 美好	Lady's Slipper	3	カンディンスキー後期の作品における画面の構成形式について—Grundflächeの造形処理とその変様をめぐる一考察—	山根 隆也	女子美術大学紀要	25
保存版大特集 VERY NEW ART 90年代の海外注目アーティスト ソフィ・カル—真実のなかのかすかな嘘	岡部あおみ	美術手帖	700	カンディンスキー作《いくつかの円》(1926年) 抽象絵画における空間表現の問題	真野 宏子	美学	182
エミール・ガレー人間・芸術家・ガラス工芸品	ジャン＝リュック・オリヴィエ	ガレとロートレック展—光と色のベブル・エボック図録(サントリー美術館)		カンディンスキーの絵画における時間要素の問題 芸術的意図の所在をめぐる一考察	山根 隆也	〃	183
自然派 ガレ	エミール・ガレー	矢野 明	150	タデウシュ・カントルービギあう美術と演劇	中原 佑介	美術手帖	702
美術界つれづれなるままに69 安藤忠雄とアンソニー・カロ	野村 良平	アートマインド	83		(キ)		
アンソニー・カロと日本	大島 清次	アンソニー・カロ展 図録(東京都現代美術館)		インタビュー 金炯堯氏に聞く 人の関心を惹くことだけを考える美術は美術館より市場の広場に並べるべきでしょうね	金 鉉淑	ギャラリー(月刊)	127
彫刻の絆—アンソニー・カロ	酒井 忠康	〃		§ 作品について §	金 鉉淑	CLAY WORKS IN CONTEMPORARY ART '95 金鉉淑展図録(ルナミ画廊)	
アンソニー・カロ—リアリティの追求者	斉藤 泰嘉	〃		近代日本美術家列伝 9 エドアルド・キヨッソーネ	太田 泰人	美術手帖	708

平成7年定期刊行物所載文献(作外キ、ク)

ギルバート&ジョージ	ドニ・ダン デュラン	アトリエ インター ナショナル	821	第一次大戦中のク ブカ	谷古字 尚	世田谷美 術館紀要	〃
聴覚の遠足5 ヒャーの耳	キル 藤本由紀夫	美術手帖	713			現代のバ スワード Vol. 2 コトバに よる三つ の相によ るコトバ	
館蔵品紹介 リップ・キング	フィ 島 敦彦	国立国際 美術館月 報	35	三つの相によるコ トバ	森田 一	ニールト ン・クラ ーク、古 屋俊彦、 劉旭光、 一録 展(川口 現代美術 館(斎藤 念))	
アーティストの“愉 しい我が家”第46回 日曜大工が趣味の鉄 鋼彫刻家 リップ・キング	南川三治郎	芸術新潮	543				
(ク)							
ポール・バット・ アート4「世界輪」 をめぐる打者と走者 —ジム・マーカ ヴィッチとポール・ クーアマン「クーバ ースタウンのタロッ ト」	平出 隆	美術手帖	712	保存版大特集 VE- RY NEW ART 90年代の海外注目ア ーティスト ラリー ・クラーク	(市 原)	美術手帖	700
特集 巨匠にもボル ノグラフィ 巨匠が 描いたあんなボルノ こんなボルノ 恐る べし! クールベのリ アルな“あぶな絵”	(編)	芸術新潮	546	イヴ・クライン論— その制作の一貫性を めぐって—	奥村 泰彦	美学・芸 術学	10
毛の先にて オルセ ーの股ぐら (クー ルベ「世界のはじま り」)	丹尾 安典	〃	551	フランツ・クライン	ケイ・ラー ソン	アトリエ インター ナショナ ル	817
[名画と秀歌との交 錯] 28~30 クール ベと茂吉 東西写実 主義の出会い(一)~ (三)	福本 邦雄	美術 (月刊)	239~241	トニー・クラッグ; “台座, あるいは テーブルの上で” — 「場所」と「風景」をめ ぐる彫刻	J o	アートペ ーパー	26
保存版大特集 VE- RY NEW ART 90年代の海外注目ア ーティスト ジェフ ・クーンズ—ウソの ようなホントをめぐ る優雅で欲張りな アート戦略	石井 弥夢	美術手帖	700	ロドニー・グラハム	佐藤 友哉	クロッシ ング・ス ピリッツ —カナダ 現代美術 展1980— 1994図録 (世田谷 美術館)	
さよなら“アジア美 術”	顧 徳新 (グ・テク シン)	〃	715	§ 作家の言葉 §	ロドニー・ グラハム	〃	
ジャン・クザン(子) 『運命の書』—その解 題と考察—	北川恵美子	成城美学 美術史	3	アートな“コク”? 3 おおクラム!(ロ バート・クラム)	滝本 誠	美術手帖	711
エンツォ・クッキを 訪ねて	[H i]	AURA	11	保存版大特集 VE- RY NEW ART 90年代の海外注目ア ーティスト ルネ・ グリーン	(杉 浦)	〃	700
フランティシエック・ クブカの造形にみら れるチェコ美術の役 割	古田 浩俊	鹿島美術 財団年報	12	包まれた国会議事堂 [1995年6月24日、ベ ルリン](クリスト)	[N u]	AURA	11
クブカの宇宙—その 生成と無意識的記憶 ジャン・ロードの追 憶に	稲賀 繁美	世田谷美 術館紀要	5	悲願成就! クリスト 遂にドイツ旧帝国議 会を梱包す	香川 檀	芸術新潮	548
				激動した歴史の象徴 を梱包—ドイツの旧 帝国議会議事堂を変 容させたクリスト	吉村 良夫	日本美術 工芸	684

クリストのベルリン・ライヒスターク・プロジェクト—銀色のパラダイス・ヴェー	河合 純枝	美術手帖	713	特集 巨匠にもボルノグラフィ 巨匠が描いたあんなボルノこんなボルノ ジョージ・グロスの顔龐ハードコア	(編)	芸術新潮	546
実現した二十四年ごしの夢 クリストとジャンヌ=クロードの「梱包されたライヒスターク」	柳 正彦	美術の窓	150		(ケ)		
特集 巨匠にもボルノグラフィ 巨匠が描いたあんなボルノこんなボルノ 夢の女 クリムトとシレー	(編)	芸術新潮	546	『遊牧』—自作を語る—	惠鶴田 遠富武良 (訳)	中国現代油画展図録(日中友好会館美術館)	
マックス・クリンガー：世紀末のシュレアリスト	千足 伸行	マックス・クリンガー展—手袋・愛詩—図録(名古屋画廊(名古屋))		INTERVIEW トニー・ケイ	米田 知子 インタヴュー	デザインの現場	78
国内所蔵パウル・クレール作品の調査	前田富士男	鹿島美術財団年報	12	保存版大特集 VERY NEW ART 90年代の海外注目アーティスト マイケル・ケリー—河童とぬいぐるみ	榎木 野衣	美術手帖	700
画家パウル・クレールの造形思考に於ける具象的形象の意味	宮下 誠	国学院雑誌	1061	フランツ・ゲルチュとの出会い—《ナターシャ4》と《シュヴァルツヴァッサ—》	浅野 徹	フランツ・ゲルチュ展図録(愛知県美術館)	
生成の場としての廃虚—パウル・クレールの作品における自己言及的性格—	石川 潤	美術史研究	33	拡張する空間—展開する瞬間	ヨーゼフ・ヘルフェンシュタイン 寺本臨太郎 訳	〃	
ロイユ・デ・ボザール60 パウル・クレール—V S 徳岡神泉		美術の窓	144	すべては流れのなかに—フランツ・ゲルチュのモチーフについて	ヘルムート・フリーデル 藤島 美菜 訳	〃	
「刺激する実践—グレー・スーツ」	霜田 誠二	パフォーマンス・アート・オン・スクリーン展4 G-REY S-UIT from WALES 図録(町田市立国際版画美術館ハイビジョンホール)		ゲルチュの言葉	フランツ・ゲルチュ 寺門臨太郎 抄訳・編集	〃	
保存版大特集 VERY NEW ART 90年代の海外注目アーティスト フランチェスコ・クレメンテ	(篠 田)	美術手帖	700	アンドレ・ケルテスについて その生涯の鏡像	ビエール・ポーラン 川口 憲市 訳	アンドレ・ケルテス展—その生涯の鏡像—図録(東京都写真美術館)	
ゲオルゲ・グロス—死との長い踊り	カトリン・ベッティナー ナ・ミュラー	アトリエインターナショナル	820	ハンガリー時代(1894—1925年) 生まれついての写真家	ラスロ・バケ 川口 憲市 訳	〃	
				フランス時代(1925—1936年) パリ、ケルテスの親和力	ドミニク・バケ 川口 憲市 訳	〃	
				ディストーション(1933年) 無邪気な遊び	ビエール・ポーラン 川口 憲市 訳	〃	

アメリカ時代(1936-1962年) 相互の無理解	ジェーン・リヴィングストン 川口 憲市 訳	ファン・ゴッホとパルビゾン派	ルイ・ファン・ティール ポルフ			
国際的な時代(1963-1985年) その生涯の鏡像(続編)「写真の蒼空」	ビエール・ボラン 川口 憲市 訳	《黒衣の女》—フォン・ゴッホのメランコリーと死の意識	千足 伸行	美学美術史論集	10	
ケルテス氏への想い	田中 一郎	〔名画と秀歌との交錯〕31、32 ゴッホに秀歌の拠り所を求めた斎藤茂吉〔一〕、〔二〕	福本 邦雄	美術(月刊)	242、243	
	(コ)	パリ・ブルージュ・スケッチの旅 ゴッホ終焉の地の感動	金田 弘治	美術情報月刊	178	
私の好きな作品[ポール・ゴーギャン]	浅井 慎平	モンティセリ、セザンヌ、ゴッホ	宮崎 克己	モンティセリ展図録(プリンヂェストン美術館)		
〔名画と秀歌との交錯〕21~24赤彦と白秋、ゴーギャンへの陶醉と覚醒六~九	福本 邦雄	死者の絵26 一八〇八年五月三日(ゴヤ)	林 紀一郎	美術の窓	232~235	152
〔版画カタログ・レゾネ〕あれこれ103 ポール・ゴーギャン	長谷川公之	保存版大特集 VERY NEW ART 90年代の海外注目アーティスト レオン・ゴラブ	(杉 浦)	美術手帖	240	700
保存版大特集 VERY NEW ART 90年代の海外注目アーティスト ロバート・ゴーパー	(編)	保存版大特集 VERY NEW ART 90年代の海外注目アーティスト バトリック・コリオン	(市 原)	美術手帖	700	700
建築季評 “安作り”で示す現状批判 レム・コールハースに関心高まる	鈴木 博之	西洋版画入門第30回 ケーテ・コルヴィッツ《死せる子を抱く女》(鎌を研ぐ)・ドイツ表現主義の先駆け	八重樫春樹	アート・トップ	読 売 12,19	149
『門神・財神』—自作を語る—	顧鶴田 黎明 訳 武良	ケーテ・コルヴィッツの彫刻《母親と子どもたち》について	桐原 浩	雪椿通信		3
アーティストィックなメッセージ ジョシュ・ゴスフィールド	岩吉 隆悠	Laurence Korwin 氏に聞く、まず、作品が展示される空間をじっくりと見てから、そこから、私の作品はスタートするのです		ギャラリー(月刊)		122
特集 クレラー=ミユラー夫人のゴッホ・コレクション		建築年報1995 遡られるコルビュジエ II	越後島研一	建築雑誌	R G B 22	1378
「學鏡」を読む(78)一式場隆三郎とゴッホ	紅野 敏郎	TRENDS	レナード・コレン	AXIS	学 鏡 92-7	54
特集 巨匠にもボルノグラフィ 巨匠が描いたあんなボルノこんなボルノ 妄執が生んだエロス!? ゴッホとセザンヌ	(編)	保存版大特集 VERY NEW ART 90年代の海外注目アーティスト フェリックス・ゴンザレス=トレス—究極のコンセプトアーティスト	藤森 愛実 インタヴェル	美術手帖	芸術新潮 546	700
魂の風景：ファン・ゴッホと自然	千足 伸行				1993 一年1997 “ゴッホとその時代”展III—ゴッホと風景画図録(東郷青児美術館)	

マダム・ゴンチャロ ーヴァの作品	福原 義春	1920年代 の巴里よ り展 川 一 理 島 郎、 ゴン チャ ロ、 ラノ フ第6 回資生 堂の ギャ ーと アー スト 録(資 生堂 リ)		(シ)	特集 Design 2 So cial Value 新し いドイツのデザイン サラ・ジヴェルト	瀧口 範子	AXIS	54
ゴンチャロヴァ、 ラリオーノフと日本 人画家、コレクタ ー、「劇友」	五十殿利治	〃		(編)	特集 巨匠にもボル ノグラフィ 巨匠が 描いたあんなボルノ こんなボルノ 夢の 女 クリムトとシー レ		芸術新潮	546
INTERVIEW ミッシェル・ゴンド リー	米田 知子	デザイン インタヴ エー	78		幼き母親 (ダビ ド・アルファロ・シ ケイロス)	T M	アートベ ーバー	24
Being ART Watc hing 8 強く大き く羽搏け・蔡國華	中野 中	ギャラリ ー(月刊)	119	(サ)	修復記録 ポール・ シニャック《プティ ・タンドリー》		ブリヂス トン美術 館・久留 米石橋美 術館館報	43
ザオ・ウーキー 自 分のくに、自分のこ とば	村田慶之輔	ザオ・ウ ーキー展 図録(石 橋美術 館)			ジョセフ・シマの沈 黙	中村 義一	美術学・芸 術学	10
ラインハルト・ザビ エの<レクイエム> 展まで	針生 一郎	ラインハ ルト・サ ン展ビ エクト レクイ エム図 録(東 邦画廊)			特集 祈り癒し チ ャールズ・シモンズ リトル・ビーブルー 大地のために	梁瀬 薫 インタヴ エー・構 成	美術手帖	711
「サン・ホアン・デ ・ラ・ペーニャマス ター」とその周辺 ルナのサン・ヒル教 会(サラゴザ)につ いて	浅野ひとみ	美学美術 史研究論 集	13		特集 変身 変身七 態その1 シンディ ・シャーマン		〃	708
サンドと20世紀の動 物彫刻	フェリック ス・マル シアク 池田ま ゆみ 訳	エドゥア ール・サ ンド彫 刻動物 展動物 たちの シニ フオ ー図録 (東京 都立美 術館)			画家宣言までの道の り	咽原 省三	ベン・シ ヤーン展 一創造の プロセス 図録(飯 田市美術 博物館)	
エドゥアル・マル セル・サンド 生 涯と芸術	〃	〃			私感一アトリエに遺 されたエスキースを 観て	仙仁 司	〃	
彫刻家エドゥアル ・サンドと装飾美術	高波真知子	〃			シャガールの「ダフ ニスとクロエー」一 遙かなるアルカディ アへの想い	平尾佐矢子	AURA	10
					マルク・シャガール	シモネッタ ・スカラ ーネ	アトリエ インター ナシヨ ナル	817
					版画家シャガール	瀬木 慎一	シャガ ールの傑 作版画展 図録(川 村記念美 術館)	
					[版画カタログ・レ ゾネ]あれこれ96 マルク・シャガール	長谷川公之	美術 (月刊)	233
					特集 画家VSモデ ル 絵の中の女たち 一 シャガールVS ペラ		美術の窓	147
					特集 亡命した画家 たちの青春 青春の シャガール		〃	150

特集 亡命した画家たちの青春 シャガールの眼	辻 邦夫	〃	〃						
特集 亡命した画家たちの青春 日本で最初のシャガール展秘話	瀬木 慎一	〃	〃						
彫刻家とモデル アルベルト・ジャコメッティと矢内原伊作	谷川 渥	美術手帖	700						
同一性のかたち ドナルド・ジャッドの芸術について	林 卓行	美学	180						
60年代ARTを読み解くためのキーワード AtoZ ドナルド・ジャッド(Judd)	梅津 元	美術手帖	717						
ニューヨーク・ニューイメージ サム・シャヒド 重要なのはセクシュアリティをデザインすること。	管付 雅信	デザインの現場	76						
特集 「方法」をめぐって アンケート	クリストフ・シャルル	Lady's Slipper	2						
実現した二十四年ごしの夢 クリストとジュンヌニクロードの「梱包されたライヒスターク」	柳 正彦	美術の窓	150						
韓国の空間 何も無いけれど	朱 明德	AAC	13						
シュルツのガラス版画について	工藤 幸雄	多摩美術大学研究紀要	10						
「新しい建築のための壁画」第七章 オスカー・シュレンマーの壁造形の主題抄訳	ウルフ・ヘルツォゲンラス著 織田 春樹訳	石川県立美術館紀要	〃						
空間・人間・変容：オスカー・シュレンマー火の山のダンス	C・ラマン・シュレンマー	バウハウス展図録(セゾン美術館)							
バウハウスにおける<身体性>—世紀末の<裸体文化>とO.シュレンマー	長谷川 章	〃							
西洋版画入門 ショーンガウアー《十字架を担うキリスト(大)》・ゴシック期銅版画の傑作	八重樫春樹	アート・トップ	147						
〔版画カタログ・レゾネ〕あれこれ97 ジャスパー・ジョーンズ	長谷川公之	美術(月刊)	234						
ロイユ・デ・ボザール65 ジャスパー・ジョーンズVS福田平八郎		美術の窓	149						
特集 ヴェネツィア・ビエンナーレ—100年目の孤独? 参加アーティスト&アート・ビープル語録 私はこちら見た! 全壽千	梅宮 典子 (編集部)	美術手帖	712						
M・K・ジョンソン 異文化に洗練されたイメージ	(編集部)	版画芸術	90						
レイ・ジョンソン	マッシュローズ	アトリエインターナショナル	820						
『希望』—自作を語る—	秦鶴田 大虎 武良 武良	中国現代油画展図録(日中友好会館美術館)							
『秋の声』—自作を語る—	任鶴田 傳文 武良 武良	中国現代油画展図録(日中友好会館美術館)							
	(ス)								
プレゼン・ノウハウ My Advice: 2	リー・スウィリンガム	デザインの現場	79						
特集 ヴェネツィア・ビエンナーレ—100年目の孤独? 参加アーティスト&アート・ビープル語録 私はこちら見た! ルイーズ・スカリオン	梅宮 典子 (編集部)	美術手帖	712						
ヤナ スターバック	長谷川祐子	現代美術展1980—1994図録(世田谷美術館)							
京都プロジェクト	ヤナ・スターバック	〃							
ヤナ・スターバック 想像力の練習	長谷川祐子	美術手帖	705						
バーバラ・スタインマン	越前 俊也	〃							
§作家の言葉§	バーバラ・スタインマン	〃							
フローリン・ステットハイマー	ジェリー・サルツ	アトリエインターナショナル	823						



芸術をめぐる言葉34 今日のペインタリアネ スの衰弱に対処する ためには、カラヴァ ッジオのやり方から 直接学ばなければな らない。—ステラ	谷川 渥	美術手帖	715	セザンヌの『サント ニヴィクトワール 山』連作(一)	末永 照和	実践女子 大学文学 部紀要	37
チェスラフ・スパー ル	武田 厚イ ンタビュ ー	拡張する ガラス： 美の表現 者たち展 覧(横 浜美 術 館)		セザンヌの空間画再 考 初期作品にみる 変形作用の構造につ いて	永草 二郎	美 学	182
保存版大特集 VE- RY NEW ART 90年代の海外注目ア ーティスト ナンシ ー・スベロー非差別 的身体としての舌	清水 哲朗	美術手帖	700	近代絵画の巨匠、セ ザンヌ回顧展 60年 ぶりグラン・パレで 開催	水原 冬美	美 術 (月刊)	243
日影 眩の360°の ニューヨーク第5回 NYの悲しみよ今日 は一キキ・スミス	日影 眩	ギャラリ ー(月刊)	117	モンティセリ、セザ ンヌ、ゴッホ	宮崎 克己	モンティ セリ展図 録(ブリ ヂストン 美術館)	
保存版大特集 VE- RY NEW ART 90年代の海外注目ア ーティスト キキ・ スミス	(杉 浦)	美術手帖	700	現代抽象画とは ア ンドレ・セラノ	マーク・ ローゼン サール	アトリエ インター ナシヨナル	816
死者の絵22 聖ペテ ロの十字架(スルバ ラン)	林 紀一郎	美術の窓	148	『沸き立つ雲』—自作 を語る—	詹鶴田 建俊 武良 良	中国現代 油画展図 録(日中 友好会館 美術館)	
保存版大特集 VE- RY NEW ART 90年代の海外注目ア ーティスト アンド レアス・スロミン スキー	(市 原)	美術手帖	700	(ソ)			
(七)				保存版大特集 VE- RY NEW ART 90年代の海外注目ア ーティスト スサー ナ・ソラーノ	(建 晶)	美術手帖	700
『間(あいだ)』—自作 を語る—	石 良 鶴田 武良 訳	中国現代 油画展図 録(日中 友好会館 美術館)		アルテ・ボーヴェラ —インタビュー— ルベルト・ゾリオ	シルヴィア ・スベラン ディオ	アトリエ インター ナシヨナル	818
特集 ヴェネツィア ・ビエンナーレー 100年目の孤独? 参加アーティスト& アート・ビープル語 録私はこう見た! セザール	梅宮 典子 (編集部)	美術手帖	712	文字をアートへと昇 華 ヤン・ソルベラ	ボブスラフ ・ホリー	アイデア	249
誌読室60、61 リル ケの「セザンヌ書簡」 について1、2	有川 文夫	アート・ トップ	146、147	『網—生態シリーズ』 —自作を語る—	孫鶴田 鋼 武良 良	中国現代 油画展図 録(日中 友好会館 美術館)	
後期セザンヌ：現象 学を超えて	林 道郎	鹿島美術 財団年報	12	さよなら“アジア美 術”	宋 冬(ソ ン・ドン)	美術手帖	715
特集 巨匠にもボル ノグラフィ 巨匠が 描いたあんなボルノ こんなボルノ 妄執 が生んだエロス!? ゴッホとセザンヌ	(編)	芸術新潮	546	(タ)			
				ポリドーロ・ダ・カ ラヴァッジオの「風 景画」に関する研究 ノート	小針由紀隆	アマリリ ス	37
				レオナルドの蔵書に ついて、その他	裾分 一弘	学 鑑	92—5
				レオナルドのメガネ —遂に行方不明の結 果	“ “	“ “	92—11
				レオナルドの初期浮 彫《アレキサンダー》 (下)	三神 弘彦	芸 叢	11

特集 シミュレーションとイメージーション シミュレーションを巡る二つの視点(レオナルド・ダ・ヴィンチ)	村上陽一郎	建築雑誌	1381	色彩の空間構成、色彩のある建築 プルノ・タウトの建築における色彩の展開	沢 良子	美学	182
「およびピストイアの片方(e chopa in pisstoja)」ルーブル美術館蔵テラコッタ・レリーフ《天使》の制作年と帰属について(レオナルド・ダ・ヴィンチ)	三神 弘彦	筑波大学芸術研究報告	23	スタン・ダグラス	長谷川祐子	現代美術展1980-1994図録(世田谷美術館)	
モナ・リザニイザベラ・デステ説再論	田中 英道		183	§作家の言葉§	スタン・ダグラス	〃	
特集 画家VSモデル—絵の中の女たち—レオナルド・ダ・ヴィンチVSモナ・リザ			147	意味を見いだすところ—	リチャード・タトル	リチャード・タトル展—空間と色彩の詩人図録(セゾン美術館)	
レオナルドの《最後の晩餐》の構図について 制作過程に関する試論	片桐 頼継	武蔵野美術大学研究紀要	25	時間の境界を旅して—リチャード・タトルの芸術	ゲルハルト・マック	〃	
解剖学者レオナルド	マーティン・クレイトン	レオナルド・ダ・ヴィンチ人体解剖図展 ウィンザー城王立図書館所蔵図録(東京都庭園美術館)		おわりに	岡 しげみ	〃	
				リチャード・タトル 私とあなたをつなぐかたちについて	リチャード・タトル 岡崎乾二郎	美術手帖	715
				ぼくの空想コレクション198話 タビエス・瓜南直子	秋山 和歩	美術(月刊)	232
特集 巨匠にもボルノグラフィ 巨匠が描いたあんなボルノこんなボルノ 背徳のスーヴェニール(ターナー)	(編)	芸術新潮	546	アントニ・タビエス	ヴェロニク・ピットロル	アトリエインターナショナル	817
色彩の象徴性・再考—ターナーの色彩論をふりかえって	吉田 憲司	国立歴史民俗博物館研究報告	62	ダリとスペインのシュルレアリスム	ロッシーナ・インゼンガ	アトリエインターナショナル	〃
保存版大特集 VE-RY NEW ART 90年代の海外注目アーティスト ジミー・ダーハム	(編)	美術手帖	700	[版画カタログ・レゾネ]あれこれ98 サルヴァドル・ダリ	長谷川公之	美術(月刊)	235
ガイ・ダイアスのILM日記	ガイ・ダイアス 川上 典子 翻訳	デザインの現場	77~79	特集 画家VSモデル—絵の中の女たち—ダリVSガラ		美術の窓	147
アーティストの“偷しい我が家”第47回 ガラクタに囲まれた発想工房 ジム・デザイン	南川三治郎	芸術新潮	544	アドルフ・アビアヘレラウでのダルクローズとのコラボレーション	福島 勝則	多摩美術大学研究紀要	9
死者の絵23 マーラーの死(ジャック＝ルイ・ダヴィッド)	林 紀一郎	美術の窓	149	保存版大特集 VE-RY NEW ART 90年代の海外注目アーティスト ジェイムズ・タレル—満月を呼び寄せる男	田中 幸人	美術手帖	700
死者の絵25 聖化された右腕(ダヴィッド)	〃	〃	151	特集 地球大美術 ジェイムズ・タレル	宮内 勝典 インタヴェー	〃	715

特集 地球大美術 光の遊泳術—いつか 天の川で泳ぐときの ために	ジェイムズ ・タレル 佐々木正人	美術手帖	715	『黄土—生命シリー ズ』—自作を語る—	張鶴田 国龍 武良	〃	
特集 地球大美術 インタヴュー—後記— 「新しい光学」とふた りのジェイムズ	佐々木正人	〃	〃	『虹』—自作を語る—	張鶴田 重慶 武良	〃	
特集 地球大美術 ローデン・クレ ーター体験記—「天球」 を見る旅(ジェイム ス・タレル)	茂登山清文	〃	〃	梅雲堂所蔵張大千繪 画の鑑賞	高 美慶	張大千の 繪画展 録(渋谷 区立松 濤美術 館)	
『古代の王と妃』—自 作を語る—	段鶴田 江華 武良	中国現代 油画展 録(日中 友好会 館美術 館)		大千先生の山水画	古原 宏伸	〃	
『遠くへ続く道』—自 作を語る—	譚鶴田 濑夫 武良	〃		張大千事略	味岡 義人	〃	
				オリジナル版画制作 記 未だ見ぬ自分を 見たさに	周 豪	版画芸術	87
							(ツ)
							(チ)
特集 ヴェネツィア ・ビエンナーレ— 100年目の孤独? 参加アーティスト& アート・ビーブル語 録 私はこちら見た! 崔在銀	梅宮 典子 編 集 部	美術手帖	712	ワールド・カルチュ ア・マップ/ドイツ 近傍への眼差し—フ ォトグラファーとし てのハインリヒ・ ツィレ	副島 博彦	ユリイカ	27—14
							(テ)
ブラスティック・ス プリング	崔 正化	こころの 領域— 1990年 代の韓 国美術 展覧会 録(水戸 芸芸現 代美術 館ギャ ラリー)		インタビュー Ri- chard de peaux氏 に聞く わたしの制 作のアイデアは自然 からですよ・・・た だし、物理学の到達 した新しい世界で す。		ギャラリー —(月刊)	123
もどかしさについて —ロボットの死	〃	〃					
さよなら“アジア美 術”	崔 正化 (チェ・ジ ョンホァ)	美術手帖	715	ジョバンニ・ディ・ パオロ《エジプト逃 避》(シエナ国立繪 画館蔵)について	遠山 公一	女子美術 大学紀要	25
シリーズ・つくり手 たちの言葉23 ベン ヴェヌート・チェッ リーヌ	占 部	フラミン ゴ	45				
保存版大特集 VE- RY NEW ART 90年代の海外注目 アーティスト—ヘレ ン・チャドウィック	(原 田)	美術手帖	700	保存版大特集 VE- RY NEW ART 90年代の海外注目 アーティスト—リチャ ード・ディーコン	(塩 田)	美術手帖	700
『田園』—自作を語 る—	趙鶴田 開坤 武良	中国現代 油画展 録(日中 友好会 館美術 館)		特集 ヴェネツィア ・ビエンナーレ—10 0年目の孤独? 参 加アーティスト& アート・ビーブル語 録 私はこちら見た! ダニエル・ディオ ン	梅宮 典子 編 集 部	〃	712
『清風』—自作を語 る—	趙鶴田 家興 武良	〃		「輕妙」「身近」もキ ーワードに、コンテン ポラリー・ファニチャ ーの意味に挑む、 T. ディクソン	川上 典子 取材・原稿	AXIS	54
『1978年北京の外国 人』—自作を語る—	趙鶴田 憲辛 武良	〃					

ダダ・サーカス—オットー・ディックスの《サーカス》	水沢 勉	オットー・ディックス展(名画録(名屋))	19	匙彫りの技術：デューラーの木版と15世紀、初期16世紀美術における素材と技法に関する問題	ハンス・ケルナー田辺幹之助 訳	宗教改革時代のドイッ木版画展「ゴータ美術館蔵作品による(国立西洋美術)		
オットー・ディックス研究—二十年の肉体描写に見るディックス作品の意味—	坂村 麻代	哲学会誌	19	美術連話(5) 「忘暑記」(アルブレヒトデューラー)	前川 誠郎	雪椿通信	4	
保存版大特集 VERY NEW ART 90年代の海外注目アーティスト エウヘニオ ディッドポルン	(市 原)	美術手帖	700	ジャン・デュビュッフェの「ウルループ」サイクル(承前) —「タロズリー・ファアルバラをめぐって」—	末永 照和	実践女子大学美術史学	10	
ルーベンスとティツィアーノ「模倣」から「競作」へ (1)	中村 俊春	京都大学文学部美術史学研究室研究紀要	16	美術史学と三人のデュビュッフェ	服部 正	フィロカリア	12	
所感：アフリカと私の今—スタファ・ディメの作品から	古川 秀昭	インサイド・ストーリー 同時代のアフリカ美術展(録合美)		ポール・バット・アート3 ラウル・デュフィの野球場	平出 隆	美術手帖	711	
スチュアート・デイヴィスとその「驚異的連続性」のかたち	ウエイン・L.ルーサー	ジャズを愛し、ヨーキを生き残ったアーティスト展(郡山美術)		特集 1995年上半期の美術界大研究 作家が選ぶ人気展覧会ベスト10 デュフィの魅力	佐藤 泰生	美術の窓	149	
スチュアート・デイヴィス—クールな父親の肖像	アール・デイヴィス	ニュージーランドの現代アーティスト ニール・ドーソン		彼女とデュフィと「電気」の精と	小方 美和	メープルニュース	29	
スチュアート・デイヴィス：その芸術と社会について	藤枝 晃雄	西洋版画入門第31回 オノレ・ドーミエ 《立法府の腹》・政治と版画		変容するデュフィ〜装飾芸術との関係を中心に〜	安井 裕雄	〃	〃	
スチュアート・デイヴィスと視覚言語	佐藤 秀彦	保存版大特集 VERY NEW ART 90年代の海外注目アーティスト マルレーネ・デュマス		(ト)				
スチュアート・デイヴィス—モダニズムの争点としての	上神田 敬			アトリエ インターナショナル			816	
ジョルジョ・デ・キリコと「広場」—1910年《ある秋の午後の謎》を中心に	市川 直子	デアルテ	11	ドーミエの描く「風俗としての裁判情景」	北村 陽子	ドームエ画展・彫刻(名画録(名屋))		
デューラーの「絵画論」(6) 女性均衡論と頭部の構成の試訳	下村 耕士	九州産業大学芸術学部研究報告	26	特集 巨匠にもボルノグラフィ 巨匠が描いたあんなボルノこんなボルノ ベットの「事件」(ドガ)	(編)	芸術新潮	546	
				連載 19世紀・夢と光9 エドガー・ドガ《バレエのレッス	坂上 桂子	C.A.R.	16	

印象派論考 ドガからのアプローチ	米村 典子	美 学	182	保存版大特集 VE- RY NEW ART			
[版画カタログ・レゾネ]あれこれ99 エドガー・ドガ	長谷川公之	美 術 (月刊)	236	90年代の海外注目アーティスト プルース・ノーマンーア イロニーの倫理	建島 哲	〃	700
名画にみる「清潔な暮らし」10 19世紀のバリと洗濯女(エドガー・ドガ)		J AAM	48	アート・あれから・これから第1回 イサム・ノグチー1951年の巻		C. A. R.	19
トボル	鎗木 昌弥	構 造	11				
INTERVIEW トマト	米田 知子 インタヴェ ー	デザイン の現場	78		(ハ)		
日本でのドラクロワの石版画集「ファウスト」	橋 秀文	ドラクロ ワ展一 ーテFa- ust 図録 (名古屋 画廊(名 古屋))		ニューヨーク・ニュー イメージ ロバー ト・バーグマンーア ンガー	管付 雅信	デザイン の現場	76
ロイユ・デ・ボザール63 鎗木清方VS イポリット・ドラ ローシュ		美術の窓	147	保存版大特集 VE- RY NEW ART	(椛 木)	美術手帖	700
場所の記憶 (ディ ヴィット・)トレム ットのウォール・ド ローイング	(賀)	新美術新 聞	736	90年代の海外注目ア ーティスト デミア ン・ハーストー複数 の意味、複数の自分	河合 純枝 インタヴェ ー	〃	〃
現代抽象画とは ローズマリー・ト ロッケル	マーク・ロ ーゼンサー ル	アトリエ インター ナシヨナ ル	817	保存版大特集 VE- RY NEW ART	(椛 木)	〃	〃
	(ナ)			90年代の海外注目ア ーティスト クリス ・バーデン	椛木 野衣	〃	〃
ブルース・ナウマン	ロバータ・ スミス	アトリエ インター ナシヨナ ル	820	保存版大特集 VE- RY NEW ART			
	(ニ)			90年代の海外注目ア ーティスト マシユ ー・バーニーーパ ニーを捜せ!	ステュアー ト・モーガ ン	〃	709
				マシユー・バーニー オート・アート	藤森 愛実	〃	〃
				バーンニジョーン ズ、夢を求めた世 末のイラストレー ター	白石 和也	九州産業 大学芸術 学部研究 報告	26
ポール・ニアグード ローイングとオブ ジェ1968-1988	杉村 浩哉	ポール・ ニアグ作 品展ード ローイン グとオブ ジェ1968 ー1988図 録(栃木 県立美術 館)		『千牛図』一自作を語 る一	裴鶴田 常 武良	中国現代 油画展図 録(日中 友好会館 美術館)	
	(ノ)			ナム・ジュン・バイ ク氏ー第6回福岡ア ジア文化賞受賞	安永 幸一	エスプラ ナード	88
				第6回福岡アジア文 化賞にナム・ジュン ・バイク氏		新美術新 聞	741
ノーボディック・リ サーチ ネットワー ク上の電脳的自然 コンピュータ・エイ デッド・ネイチュア	茂登山清文 インタヴェ ー 滋野 由紀 訳	美術手帖	711	ベルンハート・ハイ リガー：炎、ひん死 の鳥たち、そして宇 宙ー80歳の誕生日を 迎えた彫刻家の飽く なき探求の旅	ウルリヒ・ ヴィ ンク ング	アトリエ インター ナシヨナ ル	823

保存版大特集 VE- RY NEW ART 90年代の海外注目 アーティスト ロー ター・パウムガルテ ン	(長谷川)	美術手帖	700	アーティストの“愉 しい我が家”第50回 鄙に住まいつコン ピューター三昧 リ チャード・ハミルト ン	南川三治郎	芸術新潮	548
特集 ARTISTS INTERVIEW カ トリン・パウロ+大 野左紀子		Lady's Slipper	3	[版画カタログ・レ ゾネ]あれこれ101 リチャード・ハミル トン	長谷川公之	美術 (月刊)	238
アルテ・ポーヴェラ ピエール・パオロ・ カラゾラーリ	シルヴィア ・スベラン ディオ	アトリエ インター ナショナ ル	818	保存版大特集 VE- RY NEW ART 90年代の海外注目 アーティスト デイ ヴィッド・ハモンズ ー思慮深きニューヨ ーク・マイノリティ パルミジャーニノの 『薔薇の聖母』をめ ぐって	石井 弥夢	美術手帖	700
『蓮の花』—自作を語 る—	莫鶴田 雄 武良 武良 訳	中国現代 油画展図 録(日中 友好会館 美術館)		ファビアン・バロン インタヴュー	足立 薫	美術史学 (東北大 学)	16
バスキアの偽作、F IACに出品	ハリー・ベ レ	アトリエ インター ナショナ ル	816	タイム・トラベル	梁瀬 薫 インタヴ ュー	デザイン の現場	77
特集 巨匠にもボル ノグラフィ 巨匠が 描いたあんなボルノ こんなボルノ バス キンの繊細ボルノグ ラフィ	(編)	芸術新潮	546		洪 性都	こころの 領域— 1990年代 の韓国美 術展図録 (水戸芸 術館現代 美術ギャ ラリー)	
特集 画家VSモデ ル—絵の中の女たち — バスキンVSエ ルミナス&ルーシー		美術の窓	147				
日影眩の360°のニュー ヨーク第13回 ヨーロッパの風 パセリッツ展	日影 眩	ギャラリー (月刊)	125	Ph.D・クリーンな イメージと粋なセン スの融合	小島 久佳	アイデア	249
保存版大特集 VE- RY NEW ART 90年代の海外注目ア ーティスト ゲオル グ・バゼリッツ	(中 村)	美術手帖	700	特集 巨匠にもボル ノグラフィ 巨匠が 描いたあんなボルノ こんなボルノ 改竄 されたピアズリー イギリスのアール・ ヌーヴォー研究の一 側面—ピアズリーと 日本—	(編)	芸術新潮	546
保存版大特集 VE- RY NEW ART 90年代の海外注目ア ーティスト サイモ ン・バターソン	(原 田)	“ “	“ “	インタビュー レン ゾ・ピアー	日賀野友子	芸 叢	11
口絵解説 「三つの リングのバーガン ディ・スターファイ アー発光体」(トーマ ス・パティ作)	芝崎信太郎	GLASS	37	ウルビーノにおける ピエロ・デッラ・フ ランチェスカの活動 について	瀧口 範子	AXIS	54
保存版大特集 VE RY NEW ART 90年代の海外注目ア ーティスト モナ・ ハトゥム—ふたつの 力の均衡へ	編集部イン タヴュー 児島やよい、 翻訳	美術手帖	700	西洋版画入門第29回 ピカソ《盲のミノタ ウロス》《ミノタウ ロマキア》神話と自伝	池上 公平	鹿島美術 財団年報	12
保存版大特集 VE- RY NEW ART 90年代の海外注目 アーティスト アン ・ハミルトン	(長谷川)	“ “	“ “	ゲルニカとピカソ	八重樫春樹	アート・ トップ	148
				芸術家ピカソを集大 成する	筑紫 哲也 インタビ ュー	AMBI- ANTE	12
				ピカソの版画<人 物>(1927年)をめ ぐって	岸本美香子	“ “	“ “
					友井 伸一	芸術学芸 術史論集	7

(ヒ)

特集 巨匠にもボル グラフィック 描いたあんなボル こんなボルノ ピカソの“若描きボルノ”	(編)	芸術新潮	546	「ピエレットの婚礼」 ピカソ 流転の果 て、日本の倉庫に…	野村 義博	日経夕刊	5.17
名画にみる「清潔な 暮らし」8 ピカソ の“幸せ”少女の姿に		JAAM	46	林忠正とピサロー林 忠正洋画コレクショ ンをめぐって	馬淵 明子	百 科 (月刊)	396
ピカソと加山又造— ピカソ・愛と苦悩— 「ゲルニカへの道」展	小川 正隆	版画芸術	90	アルテ・ポーヴェラ —インタビュ— ケランジェロ・ピス トレット	シルヴィア ・スベラン ディオ	アトリエ インター ナシヨナ ル	818
《ゲルニカ》への道	神吉 敬三	ピカソ展 愛と苦悩 —「ゲル ニカ」へ の道図録 (東武美 術館)		アーティストの“愉 しい我が家”第49回 貴族の館の“貧し い芸術”ミケラン ジェロ・ピストレッ ット	南川三治郎	芸術新潮	546
《ゲルニカ》への道、 ピカソ芸術の変貌と その根源	大高保二郎	“		デッサウ・パウハウ スの学生 コンラー ト・ビュシュルにみ るその教育	ルッツ・ シェーベ	パウハウ ス展図録 (セゾン 美術館)	
ピカソと闘牛	マリア・テ レサ・オ カーニャ	“		アーティストの“愉 しい我が家”第48回 天才美少年の老後 ベルナル・ビュッ フェ	南川三治郎	芸術新潮	545
磔刑図、あるいは 《ゲルニカ》の予見	エレース・ ラサール	“		ビュッフェ、野間仁 根が300万円超—毎 日(アートオークシ ョン31回) 日比野克 彦作品に170万円— アート・ストック (’95)	清水 秀作	美術 (月刊)	241
ピカソとミノタウロ ス	永井 隆則	“		ベルナル・ビュッ フェ「炎の盗人」	ジャクリ ーヌ・マンク	ビュッ フェ展図録 (小田急 美術館)	
ピカソと《ゲルニカ》 の女たち	岸本美香子	“		インタヴュー：ベル ナル・ビュッフェ に何があったのか？	ダグラス・ マクスウェ ル インタヴ ュー	“	
画家にして彫刻家、 そしてモデルからボ デゴンへ	大高保二郎	“		ダニエル・ビュラン によるコム デ ギャルソンのプロ ジェクト		美術手帖	713
〔版画カタログ・レ ゾネ〕あれこれ102 パブロ・ピカソ	長谷川公之	美術 (月刊)	239	保存版大特集 VE- RY NEW ART 90年代の海外注目ア ーティスト ゲイリ ー・ヒル	(倉 林)	“	700
特集 画家VSモデ ル—絵の中の女たち —ピカソをめぐる 女たち		美術の窓	147	シンプルでドラマ チックな表現 ハン ス・ヒルマン	アラン・ ヴェイユ	アイデア	
特集 画家VSモデ ル—絵の中の女たち —画家とモデル— 視る者と視られる者 の関係(ピカソ)		“		(フ)			
修復記録 パブロ・ ピカソ《茄子》	渡辺 健一	ブリヂス トン美術 館・久留 米石橋美 術館館報	43	『呂霞光夫人の肖像』 —自作を語る—	馮 法 鶴田 武 田 良 武 良 武 良 武 良	中国現代 油画展図 録(日中 友好会館 美術館)	
ピカソのデッサン< 磔刑>をめぐって	友井 伸一	視 る	341	美の故郷 ピカソと 戦争2	柴崎 信三	日 経	7.2
ピカソの自画像—横 顔の秘密とミノタウ ロス	岸本美香子	“	342				
20世紀美術の画家た ち ピカソとパリの 画家たち	“	ルートヴ ィヒ美術 館展—20 世紀美術 の挑戦図 録(東武 美術館)					

平成7年定期刊行物所載文献(作外フ)

風雨情深六十年	傳 益 玉 祭 美 鈴 美 鈴	傳抱石の 絵画展図 録(渋谷 区立松涛 美術館)			特集 ヴェネツィア ・ビエンナーレー 100年目の孤独? 参加アーティスト& アート・ビープル語 録 私はこう見た! ペーター・フィッ シュリ	梅宮 典子 編 集 部	美術手帖	712
金原省吾教授の日記 から	味岡 義人	〃						
保存版大特集 VE- RY NEW ART 90年代の海外注目 アーティスト ヤン ・ファープル	(長 谷 川)	美術手帖	700		保存版大特集 VE- RY NEW ART 90年代の海外注目ア ーティスト ローズ ・フィンニケルシ	(市 原)	〃	700
TRENDS	デビッド・ ファラージ	AXIS	54		保存版大特集 VE- RY NEW ART 90年代の海外注目ア ーティスト イアン ・ハミルトン・フィ ンレイ	(塩 田)	〃	〃
第64回例会発表要旨 風景表現へのアプ ローチ 風景表現の 誕生をめぐる一ヤ ン・ファン・エイク の失われた「世界地 図(マップ・ムンデ イ)」再考	小林 典子	日仏美術 学会会報	14		審美逍遥17~24 ヤ ン・フェルメール6 ~13	粟津 則雄	美術の窓	143~150
ファン・アイクの風 景表現とフィレン ツェ絵画 「聖痕を 受ける聖フランチェ スコ」を中心に	江藤 匠 美 学		183		ダンスとコンピユー ターの融合 ウィリ アム・フォーサイス が発表したCD- ROM		AXIS	58
ヤン・ファン・アイ ク作『宰相ロランの 聖母』について	伊藤 伸子	美術史学 (東北大 学)	16		ドミニク・ゴンザレ ス・フォスター氏に 聞く		ギャラリー -(月刊)	117
審美逍遥25 フラン ドル絵画をめぐる 1、2 ファン・エイ ク	粟津 則雄	美術の窓	151、157		ロイユ・デ・ボザル 68 青木繁VSフ ランツ・フォン・ シュトゥック		美術の窓	152
ファンタンニラ トゥールの《ドラク ロワ礼讃》再考	三浦 篤	美術史	138		1900年前後のハン ス・フォン・マレーの 評価	高阪 一治	美学・芸 術学	10
一八七〇年の画家の アトリエ(下)ーファ ンタンニラトゥール の《パティニョルの アトリエ》をめぐる 一	〃	美術史論 叢	11		近代日本美術家列伝 2 アントニオ・ フォンタネージ	太田 泰人	美術手帖	705
保存版大特集 VE- RY NEW ART 90年代の海外注目ア ーティスト フレデ リック・ブリュリー ・ブアブレ	(長 谷 川)	美術手帖	700		保存版大特集 VE- RY NEW ART 90年代の海外注目ア ーティスト ジャン ニマルク・プスタマ ンテ	(市 原)	〃	700
保存版大特集 VE- RY NEW ART 90年代の海外注目ア ーティスト ペーター ・フィッシュリ&ダ ヴィッド・ヴァイス	(榎 木)	〃	〃		<研究ノート> ブッサン作《キリス トの洗礼》をめぐる て	栗田 秀法	愛知県美 術館研究 紀要	2
比較文化論の一つの 試みーディートリヒ ・フィッシュヤーニ ィースカウの自伝 『残響』における彼の 外国観および芸術観 についてー	高島 明	国学院雑 誌	1060		ニコラ・ブッサン作 《エルサレム落城》一 着想源と構図の生成 過程をめぐる一	〃	日仏美術 学会会報	14
巨大空間を演出する マーク・フィッ シャーのステージデ ザイン		AXIS	56		ニコラ・ブッサンの 《エリエゼルとリベ カ》一構図の生成過 程をめぐる二、三の 覚書き一	〃	美学美術 史研究論 集	13
					ブッサン作《マナの 収集》について	〃	美術史	138
					ニコラ・ブッサン一 功を奏した“学芸”の 力業	西野 嘉章	美術手帖	703



		ブブノワ 1886一 1983：革 命ロシア 発日本、 戦興と復 戦塵の中 で描きつ つ女性録 展(町田 市国際美 術館)		来日中のアンドレ・ ブラジリエ氏に聞く	アンドレ・ ブラジリエ 米倉 守 対談	アート・ トップ	146
現代に於けるロシア 絵画の帰趨に就て	ヴェ・ブブ ノーヴァ			パリ・チュルヌス キー美術館、風雅と 静謐の日本一茶の美 術展より、茶陶に見 る「空」と「溢」の美学	ファンズ・ フランク	陶 説	508
序一画家ブブノワ、 その視線	滝沢 恭司	〃		現代彫刻はこの「卵」 から始まった。(コ ンスタンティン・ブ ランクーシ)	沼辺 信一	AURA	11
『青年同盟』と芸術文 化研究所時代のブブ ノワ	ドミトリー ・サラビヤ ーノフ	〃		コンスタンチン・ブ ランクーシ	クリストフ ・ドミノ	アトリエ インター ナショナ ル	820
ロシア・アヴァン ギャルドの「本」とブ ブノワ	五十殿利治	〃		ボンビドゥ・セン ターのブランクーシ 回顧展	I.C.	C.A.R.	18
来日直後のブブノワ 一構成主義の理念と 実践	滝沢 恭司	〃		小川待子一陶芸「ブ ランクーシの“ずれ” に触れて	峯村 敏明	美 術 (月刊)	234
ワルワーラ・ブブノ ワのリトグラフと水彩 画	イリーナ・ コジェーヴ ニコワ	〃		特集 モンドリアン とブランクーシ 聖 域の形態学(ブラン クーシ)	建畠 哲	美術手帖	717
ブブノワさんとロシ ア文学	安井 亮平	〃		特集 モンドリアン とブランクーシ イ デアとモダン	市原研太郎	〃	〃
特集 巨匠にもボル ノグラフィ 巨匠が 描いたあんなボルノ こんなボルノ 背徳 のスーヴニール(フ ューズーリ)	(編)	芸術新潮	546			クロッシ ング・ス ピリッツ ーカナダ 現代美術 展1980一 1994図録 (世田谷 美術館)	
保存版大特集 VE- RY NEW ART 90年代の海外注目ア ーティスト マー ティン・ブューリ ヤー	(篠 田)	美術手帖	700				
現代陶芸のあけぼの 十選9 バイオラ・ フライ「ダブルセル フ」	中村 錦平	日 経	5.19	流産した視覚23 サ ム・フランシスの死 んだ秋	米倉 守	アート・ トップ	144
現代陶芸のあけぼの 十選10 ケネス・ブ ライス「B・T・ブ ルー」	〃	〃	5.22	笠間日動美術館名作 選五十四 サム・フ ランシス《コンポジ ション》	笠間日動美 術館	絵	380
パヴェル・フラヴァ ー	武田 厚 インタヴェ ー			追悼 サム・フラン シス 貴重なイノセ ント	宇佐見圭司	美術手帖	702
アンジェラ・フラウ ワーホルツ	越前 俊也			特集 Design_2So- cial Value 中堅 デザイナーたちのチ ャレンジ アンドレ アス・ブランドリー ニ	瀧口 範子	AXIS	54
		拡張する ガラス： 美の表現 者たち展 図録(横 浜美術 館)		保存版大特集 VE- RY NEW ART 90年代の海外注目ア ーティスト カタリ ーナ・フリッチェー リアリティを知るた めの複製	河合 純枝	美術手帖	700

スタニスラフ・リベ ンスキー、ヤロスラ ヴァ・ブリフトヴァ	武田 厚 インタヴェ ー	拡張する ガラス： 美者の表現 者たち(横 浜美術 館)		60年代ARTを読み 解くためのキーワー ドAtoZ フルクサ ス(Fluxus)	石井 弥夢	〃	717
人間の知性を抽出し た画家 ブリュエ ル	荻野アンナ	AMBI- ANTE	10	保存版大特集 VE RY NEW ART 90年代の海外注目ア ーティスト ルイー ズ・ブルジョワ―絶 対隔離の方法論	高島 直之	〃	700
幼子を見守る目(ブ リュエール)	高橋美彌子	〃	11	ブルネッレスキのス ピナリオ	石田 雅芳	文化学年 報	44
ブリュエールの世界 記念講演 ダルムシ ュタット美術館とブ リュエール最後の傑 作	シビル エ ーベルト・ シッフエラ ー	〃	〃	保存版大特集 VE RY NEW ART 90年代の海外注目ア ーティスト リカル ド・ブレイ―神秘の 影をつくり出す	編集部イン タヴェー	美術手帖	700
[名画と秀歌との交 錯]26 斎藤茂吉の 近代性を名画に探る [二] ブリュエール から茂吉が得たもの	福本 邦雄	美術 (月刊)	237	ポール・バット・ア ート1 ウィリアム ・ブレイクのバット	平出 隆	〃	708
[名画と秀歌との交 錯]27 斎藤茂吉の 近代性を名画に探る [三] 茂吉秀歌にみ るブリュエールの世 界	〃	〃	238	ポール・バット・ア ート2 文字と化し たバット(ウィリア ム・ブレイク)	〃	〃	709
田中穰のにんげん美 術史46 ブリュエ ル	田中 穰	〃	239	西洋版画入門第25回 プレスダン《善きサ マリア人》・象徴主 義版画の先駆者	八重樫春樹	アート・ トップ	144
ブリュエール一族の 生きた時代と背景	小池 寿子	美術手帖	705	保存版大特集 VE RY NEW ART 90年代の海外注目ア ーティスト ロス・ ブレックナー	(南)	美術手帖	700
特集 ブリュエール 物語 ブリュエール 一族―ブリュエール は何人いるか	〃	〃	〃	アンジュラ・ブロッ ク氏に聞く 作品制 作で物事の探求を	ギャラリ ー(月刊)	118	
特集 ブリュエール 物語 大ブリュエ ル物語1 「子ども の遊び」の世界	〃	〃	〃	(へ)			
特集 ブリュエール 物語 大ブリュエ ル物語2 「ネーデ ルランドの諺」―イ メージの諺辞典	〃	〃	〃				
特集 ブリュエール 物語 大ブリュエ ル物語3 聖書と2 つの「バベルの塔」	〃	〃	〃	霊的媒体体としての 松の木	斐 炳雨	こころの 領域― 1990年代 の韓国美 術展図録 (水戸芸 術館現代 美術ギャ ラリー)	
ブリュエール再考― 歴史的、文化的土壌 に立って	森 洋子	ブリュ エールの 世界展図 録(東武 美術館)		ビトウィーン・ザ・ コミュニケーション	アグネス・ ヘゲドッ シュ 関口 敦仁	美術手帖	708
素描画家ビーテル・ ブリュエール[父]	ホルム・ベ ファース	〃					
TY 2 (ジャンニミ シエル・フルアン)	オリヴィエ ・ルノー	アトリ エ インター ナシヨ ナル	822	マックス・ベックマ ン：「雑踏」のなかの 画家	水沢 勉	マックス ・ベック マン展 図録(名 古屋古 廊古 屋)	
フルクサス	清水 哲朗	美術手帖	703				

家(home)の形—バーバラニヘップワースのNesting Stones	大倉 宏	バーバラニヘップワース展(名古屋画廊(名屋))		アーティストの“愉しい我が家”第45回教会にデブのマドンナを描いたフェルナンド・ボテロ	南川三治郎	芸術新潮	542
In city サンパウロ	ミゲール・ベレイラ	AXIS	54	特集 巨匠にもボルノグラフィ 巨匠が描いたあんなボルノこんなボルノ ベットの“事件”(ボナール)	(編)	〃	546
アートな“コク”? 2 ノーマン・ロックウェル ミーツ ロバート・ヘンライ	滝本 誠	美術手帖	709	ベルトラン・ポフィール やわらかな光、充足する歓喜	清水 秀作	美術 (月刊)	242
(ホ)							
連載 19世紀・夢と光10 ウィンスロー・ホーマー《クロックをすす人々》	坂上 桂子	C.A.R.	17	TRENDS	ステファニー・ホフマン	AXIS	54
保存版大特集 VE-RY NEW ART 90年代の海外注目アーティスト レベッカ・ホーナー エネルギーの変容装置	原田るい子	美術手帖	700	文字をアートへと昇華 ヤン・ソルベラ	ポップスラフ・ホリー	アイデア	249
ロイユ・デ・ボザール61 ホイッスラー VS加藤栄三		美術の窓	145	保存版大特集 VE-RY NEW ART 90年代の海外注目アーティスト ジグマール・ボルケー 万人に平等なる絵画	山元 和弘	美術手帖	700
抱月のイギリス(二十六) ホイッスラー	岩佐壮四郎	明治村通信	299	保存版大特集 VE-RY NEW ART 90年代の海外注目アーティスト クリスチャン・ボルタンスキー	(森)	〃	〃
『青銅の啓示』—自作を語る—	鷹 武良 鹿鶴田 武良	中国現代油画展図録(日中友好会館美術館)		「知性の触覚」(ジェニー・ホルツァー)	F/る/彦	K (Gallery K)	8
『ひっそりとかかる虹』—自作を語る—	鷹 武良 鹿鶴田 武良	〃		アーティストの“愉しい我が家”第51回電光アートは酪農の里から ジェニー・ホルツァー	南川三治郎	芸術新潮	549
ポール・バット・アート2 文字と化したバット(マーガレット・ホウォートン)	平出 隆	美術手帖	709	鏡と歪み—ホルバイン「大地たち」の髑髏表現をめぐる一試論	諸川 春樹	多摩美術大学研究紀要	10
館蔵品紹介 デイヴィット・ホックニー	小林 昌夫	国立国際美術館月報	30	西洋版画入門27 ボルライウォーロ《裸体の男たちの闘い》・人体表現の改革	八重樫春樹	アート・トップ	146
未来派の精神状態：ポッチョーニの場合	井関 正昭	明星大学研究紀要	3	保存版大特集 VE-RY NEW ART 90年代の海外注目アーティスト レイチェル・ホワイトリード—裏返された日常空間	原田るい子 インタヴェュー	美術手帖	700
ポッチョーニの『画家と建築家のための遠近法』について	池上 英洋	『中国の洋風画展』図録(町田市立国際版画美術館)		死者の絵18 サトルヌスの子の絵(ポントルモ)	林 紀一郎	美術の窓	143
アンドレア・ポッチョーニの遠近作図法—その特質と意義—	〃	美術史	138	死者の絵20 奇妙な「降架」図(ポントルモ)	〃	〃	146
日影眩の360° ニューヨーク第15回 エドワード・ホッパーの孤独と個人主	日影 眩	ギャラリー(月刊)	127	死者の絵21 梯子の不在証明(ポントルモ)	〃	〃	147

	(マ)			デヴィッド・マツケリーと新しいアメリカのコミックス	小野 耕世	デザインの現場	78
ポール・バット・アート4 「世界輪」をめぐる打者と走者—ジム・マーカヴィッチとポール・クアマン「クーパースタウンのタロット」	平出 隆	美術手帖	712	1904年から1906年にみられるアンリ・マティスの様式変化の考察	大久保恭子	鹿島美術財団年報	12
特集 ヴェネツィア・ビエンナーレ100年目の孤独? 参加アーティスト&アート・ビープル語録 私はこちら見た! クリスチャン・マククレイ	梅宮 典子 編集部	〃	〃	マティスと構想設計	中島 一平	国立国際美術館月報	39
ブライス・マーデン氏講演記録	ブライス・マーデン 文責 近藤 幸夫	現代の眼	493	マチス絵画と「ジャズ」	笠井 誠一	マチス—ジャズ展図録(名古屋画廊(名古屋))	
館藏品紹介 ブライス・マーデン	尾野 正晴	国立国際美術館月報	32	序	マドレーヌ・バルバン	版画にみるマティスの世界展 図録(小田急美術館)	
保存版大特集 VERY NEW ART 90年代の海外注目アーティスト ブライス・マーデン	(南)	美術手帖	700	単純にして清らかな安らぎ—マティス芸術の特質	小川 正隆	〃	
『静寂』—自作を語る—	馬 珠 鶴田武良訳	中国現代 油画展図録(日中友好会館美術館)		アンリ・マティス: フォーヴの木版画から白線描版画へ	杉野 秀樹	〃	
マイヨール展によせて“マイヨールとその周辺”	岸野 裕人	姫路市立美術館だより	47	華麗な色彩とマチエールが奏でる美 マチエール・マヌキアン		ギャラリー(月刊)	122
TRENDS	インゴ・マウラー	AXIS	54	名画にみる「清潔なぐらし」(7) マネ「草上の昼食」		JAAM	45
ジェームス・マクニール・ホイッスラー	スーザン・ムーア	アトリエ インター ナショナル	816	マリソールのコミック・ワールド [私は分析しない]	建島 哲 インタビュー	アート・トップ	147
超現実に人間味を加えたマグリット	(吉)	日本美術 工芸	680	芸術をめぐる言葉27 レーシング・カーはサモトラケのニケよりも美しい—マリネッティ	谷川 渥	美術手帖	705
常識の問い直しが玄妙なマグリット	(吉)	〃	681	シモーネ・マルティニ<サンタ・カテリーナ聖堂祭壇画>に関する一考察	大原まり子	美術史研究	33
宙づりにされた現実—マグリット・視覚・ファクション	鷺田 清一	ピロティ	94	オークションで“再会”したアトリエのマン・レイ	宮脇 愛子	芸術新潮	545
保存版大特集 VERY NEW ART 90年代の海外注目アーティスト ボール・マッカーシー	(編)	美術手帖	700	距離の快樂: マン・レイの「オブジェの写真」について	倉石 信乃	マン・レイ展図録(名古屋画廊(名古屋))	
笠間日動美術館名作選五十三 アンドレ・マッソン《とうもろこしの伝説》	笠間日動美術館	絵	377		(ミ)		
第7回高松宮殿下記念世界文化賞にマッタ氏(絵画部門)ら		新美術新聞	739	特集=サイケデリア アンリ・ミショーとメスカリン	小海 永二	ユリイカ	27—14

特集 巨匠にもボル ノグラフィ 巨匠が 描いたあんなボルノ こんなボルノ 背徳 のスーヴニール(ミ レー)	(編)	芸術新潮	546	(モ)			
田中穰のにんげん美 術史39 飯田祐三 シュルレアリスム小 山田二郎からバルビ ゾンミレーに転進	田中 穰	美術 (月刊)	232	TRENDS	クリス・モ ズデル	AXIS	54
ミロ紀行	岡部あおみ	美術手帖	712	私の好きな作品[ア メデオ・モディリ アーニ]	森 英恵	RGB	21
	(ム)			特集 画家VSモデ ル—絵の中の女たち — モディリアーニ VSジャンヌ		美術の窓	147
ゾラン・ムチヒ	エリザベ ト・クト リエ	アトリエ インター ナシヨナル	822	東西美術の架橋—モ ネの橋	舟木 力英	絵	372
ガーリック・マン ハッタン	文 洲	こころの 領域—19 90年代の 韓国美術 展 図録 (水戸芸 術館現代 美術ギヤ ラリー)		§ クロード・モネ 「アムステルダム の港内」§	花 晶		5
さよなら“アジア美 術”	文 洲 (ムン・ジ ユ)	美術手帖	715	クロード・モネ 「睡蓮、柳の反影」 について	黒岩 恭介	美術の森	79
[版画カタログ・レ ゾネ]あれこれ104 エドワード・ムンク	長谷川公之	美術 (月刊)	241	作品カタログ ク ロード・モネおよび 黒田清輝 クロード ・モネ パリ、1840 —ジヴェルニー、 1926	(M)	ブリヂス トン美術 館・久留 米石橋美 術館館報	43
特集 画家VSモデ ル—絵の中の女たち — ムンクを変えた 恋愛事件		美術の窓	147	モノとルイ・カーヌ —<睡蓮>をめぐる 二人の対話	広本 伸幸	<睡蓮> と今日: ルイ・カ ルヌ図録 (川村記 念美術 館)	
特集 画家VSモデ ル—絵の中の女たち — 画家とモデル— 視る者と視られる者 の関係(ムンク)		美術の窓	147	水の誘惑—ジヴェル ニーの池の方へ	沼辺 信一	〃	
	(メ)			オランジュリー美術 館の睡蓮	コレット・ ジロドン 平岡 智成 訳	〃	
				モネ<睡蓮>と現代	佐藤 友哉	〃	
				モネ/カーヌ:分か ち合う色彩	ドミニク ・デュビ ュイ イラベ 波多野啓子 訳	〃	
特集 20世紀を決定 した「眼」 20世紀の 、そして私自身の ヴァジュアル・ショ ック 私に一冊の本 を書かせた一枚の写 真(ロバート・メー プルソープ)	多木 浩二	芸術新潮	541	ロイユ・デ・ボザ ール64 モランディ VS坂本繁二郎		美術の窓	148
初期ネーデルラント 絵画における結婚の 図像—メムリンクの <聖カタリーナの神 秘の結婚>—	蜷川 順子	鹿島美術 財団年報	12	家族の肖像 ベルト ・モリゾ	渡辺 純子	メープル ニュース	28
アルテ・ボーヴェラ —インタビュ—マ リオ・メルツ	シルヴィア ・スペラ ンディオ	アトリエ インター ナシヨナル	818	魂の夢、思想の詩	高階 秀爾	ギュスタ ーヴ・モ ロー展図 録(国立 西洋美術 館)	
				ギュスターヴ・モロ ー:生涯と美術館	ジュヌヴィ エーヴ・ラ カンブル	〃	
				コピーするモロー、 コピーされるモロー	隠岐由紀子	〃	

平成7年定期刊行物所載文献(作外モ〜ラ)

甦る詩人の豎琴 モローの《死せる豎琴》における諸神混濁的ヴィジョンの形成	喜多崎 親	〃		画家ヤウレンスキー “ロシアへの郷愁” (1)~(6)	佃 堅輔	アートマインド. 78~83	
日本人がモローを好きな理由は何か	(吉)	日本美術 工芸	684		(ユ)		
珍本稀書掘出物通信書物の森 版画の泉 第十三信 モロー讃 永遠のオルフェ	気谷 誠	版画芸術	88	さよなら“アジア美術”	陸 根丙 (ユック グンピョ ン)	〃	715
珍本稀書掘出物通信書物の森 版画の泉 第十三信 モロー讃 「雅歌」と「おわか」の妙	山田 俊幸	〃	88	風景の音+風を見つめる目1995=サヴァイヴァルは歴史だ	陸 根丙	こころの領域—1990年代の韓国美術展図録(水戸芸術館現代美術ギャラリー)	
モロー美術館での三時間	佐藤 亜紀	美術手帖	703				
特集 世紀末の詩人ギュスターヴ・モロー 水彩画に描かれた芸術家の運命	中野 明夫	美術の窓	145				
特集 世紀末の詩人ギュスターヴ・モロー モローの生涯	(編集部)	〃	145		(ヨ)		
詩人の嘆き(ギュスターヴ・モロー)	喜多崎 親	視る	335	『央吉ちゃん』—自作を語る—	余鶴田 東育 武良	中国現代 油画展図 録(日中 友好会館 美術館)	
<研究ノート>ギュスターヴ・モロー(一八二六—一八九八)の芸術論—批評空間の中でのモロー像(一)(二)	永井 隆則	〃	336, 337	『鳥鳴き花香る』—自作を語る—	葉鶴田 恒貴 武良	〃	
ギュスターヴ・モローと「プリミティヴ」絵画	隠岐由紀子	武蔵野美術大学研究紀要	25	『流れる水』—自作を語る—	楊鶴田 悠明 武良	〃	
異色の画家モンティセリ	隠岐由紀子	モンティセリ展図録(プリヂストン美術館)		アスガー・ヨルン：白鳥の羽ばたき	ロベルト・オールト	アトリエ インター ナシヨナル	818
モンティセリ、セザンヌ、ゴッホ	宮崎 克己	〃		保存版大特集 VE- RY NEW ART 90年代の海外注目アーティスト ・ヨンビン	(長谷川)	美術手帖	700
ピエト・モンドリアンの美学的探求の軌跡	ヴェロニク・ピットロル	アトリエ インター ナシヨナル	819		(ラ)		
モンドリアン没後50年回顧展	五十殿利治	C.A.R.	17	保存版大特集 VE- RY NEW ART 90年代の海外注目アーティスト ヴォルフ フング・ライブ	(山本)	美術手帖	700
特集 モンドリアンとブランクーシ 平面とグリッドのあいだ(モンドリアン)	横山 正	美術手帖	717	保存版大特集 VE- RY NEW ART 90年代の海外注目アーティスト ロバート・ライマン	(南)	〃	〃
特集 モンドリアンとブランクーシ イデアとモダン	市原研太郎	〃	11				
	(ヤ)						
保存版大特集 VE- RY NEW ART 90年代の海外注目アーティスト アルフレッド・ヤール	(富井)	美術手帖	700	現代抽象絵画とは レイチェル・ラコウ イツ	マーク・ロー ゼンサル	アトリエ インター ナシヨナル	819
				モノではなく、体験を。カリム・ラシッド		AXIS	55

ゴンチャロヴァ、ラリオーノフと日本人画家、コレクター、「劇友」	五十殿利治	1920年代の巴里より展覧会、ゴンチャロヴァ、ラリオーノフの第6回資生堂ギャラリーとアート達図録(資生堂ギャラリー)		CLAY WORKS IN CONTEMPORARY ART '95 李宅根展図録(ルナミ画廊)			
美しい悪魔—ランブル兄弟の『墮天使』を巡る—考察	栗山 守正	文化学	44	§ 作品について §	李 宅根		
証言=もの派が語るもの派 起源またはモノ派のこと	李 禹煥	美術手帖	706	TRENDS	ベンジャミン・リー	AXIS	54
アトリエの扉を開けて9 リー・ウンニョン テントでできた“ハッピーアート”	編集 部	デザインの現場	76	李珉 縦横無尽の版画・絵画	編集 部	版画芸術	88
さよなら“アジア美術”	李 勁根 (リー・キョンゴン)	美術手帖	715	さよなら“アジア美術”	李 永賓 (リー・ヨンビン)	美術手帖	715
現代中国における画家—李苦禅の場合—	味岡 義人	中国現代美術展 橋本コレクション 図録 (渋谷区立松涛美術館)		デイヴィッド・リード 輪とベッドルーム	ハンナ・レソツ	アトリエインターナショナル	818
『邦ちゃんの場所』—自作を語る—	李 鶴田 建忠 武良 武良	中国現代美術展 図録 (日中友好会館美術館)		第11回京都賞にロイ・リキテンスタイン氏		新美術新聞	740
『不安』—自作を語る—	李 士進	“ ”		アーティストの“愉しい我が家”第52回渚のポニー・テイルロイ・リクテンスタイン	南川三治郎	芸術新潮	551
『大地の子』—自作を語る—	李 鶴田 駿 武良 武良	“ ”		エル・リッツキー: 「太陽の征服」—人形、ロボット、ユートピア	五十殿利治	リッツキー展図録(名古屋画廊(名古屋))	
§ 李中夫について §	朴 容淑	李中夫展 図録 (六義園画廊)		エル・リッツキー「第一ケストナー版画集 PROUN」について	“ ”	リッツキー—プロウン—展図録(名古屋画廊(名古屋))	
『石臼のある家』—自作を語る—	李 鶴田 章 武良 武良	中国現代美術展 図録 (日中友好会館美術館)		研究ノオト モビールの展開 コールダーとリッキー	奥村 泰彦	和歌山県立近代美術館 ニュース	6
				ハーヴェイ・リトルトン	武田 厚 インタヴェー	拡張するガラス: 美の表現者たち展 図録 (横浜美術館)	
				保存版大特集 VE- RY NEW ART 90年代の海外注目アーティスト—ゲアハート・リヒター— 絵画からの近代主義批判	山本 和弘	美術手帖	700
				特集 Design 2 Social Value インタビュー—都市と建築に対する考察— ダニエル・リベスキンド		AXIS	54

美の故郷 激情のま なざし フリーダ・ カーロとメキシコ (中) 伝説に彩られ た「象と鳩」夫への 愛憎が傑作生む (ディエゴ・リベラ)	稲垣 直子	日 経	9. 17	ジョルジュ・ルース ／階段で作品をつく る人	山崎 均	ピロティ	97
スタニスラフ・リベ ンスキー、ヤロスラ ヴァ・ブリフトヴァ	武田 厚 インタヴェ ー	拡張する ガラス： 美の表現 者たち展 図録(横 浜美術 館)		ルーベンスとティツ ィアーノ「模倣」か ら「競作」へ (1)	中村 俊春	京都大学 文学部美 術史学 研究室 研究紀要	16
特集 亜細亜的創造 1 EAST/WEST fusing マレーシ ア・クアラランプ ール ジャングルハウ スの主人 建築家ジ ミー・リム			AXIS 58	ルーベンスのセコン ド・ヴァージョン問 題 日本所持の北方 美術・新出作品研究 1	田中 英道	美術史学 (東北大 学)	16
中国のアーティスト 呂勝中	二宮 麻美	アトリエ インター ナシヨナ ル	819	茨城のり子とルオー	渡辺 善雄	東北大学 日本文化 研究所 研究報告	31
三つの相によるコト バ	森田 一	現代のパス ワード Vol. 2 コトバに よる三つ の相ニ ールトン ・クラ ク、古屋 俊彦、劉 旭光一展 図録(川 口現代美 術館(斎 藤記念))		「ホンモノの贋作者」 は私です 「ルグロ 事件」陰の主役 レ アル・ルサル氏来 日	(山)	新美術新 聞	733
『鳥籠の中』—自作を 語る—	劉風見 大明 風 治子	中国現代 油画展図 録(日中 友好会館 美術館)		特集／開館25周年記 念「バルビゾン」の発 見展 森を描くマ ニアーフォンテーヌ ブローとルソーたち	島本 浣	ピロティ	97
リュバルスキーのリ ノカットをめぐる	五十殿利治	版の絵	2	ロイユ・デ・ボザ ール67 ルドンVS速 水御舟		美術の窓	151
『陶ちゃん』—自作を 語る—	林鶴田 永康 武良	中国現代 油画展図 録(日中 友好会館 美術館)		ルノワールとサロン (上)	島田 紀夫	実践女子 大学美学 美術史学	10
被災跡を変容させて 撮影したG・ルース	(吉)	日本美術 工芸	686	ルノワールの日本に おける蒐集・展示・ 批評 1910年—1920 年を中心に	宮崎 克己	ルノワ ールと日 本の画 家たち 展図録 (プリ ヂ ストン 美術 館)	
ジョルジュ・ルース の阪神アートプロジ ェクト	岡部あおみ	美術手帖	717	日本人画家にとつ ての「ルノワール」— ある種の「前衛」と しての受容について	児島 薫	〃	
ジョルジュ・ルース の阪神アートプロジ ェクト	ジョルジュ ・ルース 岡部あお みきて	〃	〃	「横たわる裸婦」ル ノワール 愛すべき笑 顔「凡作」とは…	野村 義博	日経夕刊	5. 18
	(ル)			現代抽象画とは ア ネット・ルミュー	マーク・ロ ーゼンサ ー	アトリエ インター ナシヨナ ル	818
					(レ)		
				ヴァイマール・バウ ハウスの学生 カー ル=ペーター・レー ル	新見 隆	バウハウ ス展図録 (セゾ ン美術 館)	
				ポーラ・レゴール トガルからきた犬	原田るい子 インタヴェ ー	C.A.R.	18



保存版大特集 VE- RY NEW ART 90年代の海外注目ア ーティスト アンジ ュ・レッチア	(倉 林)	美術手帖	700
メトロポリタン美術 館の“レンブラント” 総点検		芸術新潮	552
十八世紀フランスに おけるフランドル趣 味とレンブラント	島本 浣	芸術論究	22
レンブラントの『ダ ナエ』(Br.474)をめ ぐって	光岡 幸治	美学・芸 術学	10
特集 画家VSモデ ル—絵の中の女たち —レンブラントVS サスキア		美術の窓	147

(ロ)

芸術をめぐる言葉25 われわれには芸術が ある。装飾は必要 ない。—アドルフ・ コース	谷川 渥	美術手帖	702
[版画カタログ・レ ゾネ]あれこれ100 ジェームズ・ローゼ ンクイスト	長谷川公之	美術 (月刊)	237
館藏品紹介 スーザ ン・ローゼンバーク	尾野 正晴	国立国際 美術館月 報	36
ロートレックのポス ター、その魅力ある いは魔力	竹内 次男	ガレとロ ートレック 展—光と 色のベ ル・エポ ック図録 (サント リー美術 館)	
特集 巨匠にもボル ノグラフィ 巨匠が 描いたあんなボルノ こんなボルノ ベッ トの中の“事件” (ロートレック)	(編)	芸術新潮	546
マリー・ローランサ ンと日本 「日本の 篤・堀口大学」	本多美佐子	島根県立 博物館ニ ュース	65
特集 Design of So- cial Value 中堅デ ザイナーたちのチャ レンジ ハンス・ロ エリヒト	瀧口 範子	AXIS	54
ジョージ・ロジャー 写真の旅	スーザン・ ムーア	アトリエ インター ナシヨナ ル	822
マーク・ロスコのこ と	広本 伸幸	AURA	11
旧い抽象に引導を渡 したマーク・ロスコ	上田 高弘	芸術新潮	551

特集 祈り/癒し マーク・ロスコの瞑 想空間	滝本 誠	美術手帖	711
------------------------------	------	------	-----

マーク・ロスコの芸 術：複雑な思考の単 純化	デイヴィッ ド・アンフ 深谷 克典 訳	マーク・ ロスコ展 図録(川 村記念美 術館)	
マーク・ロスコ あ るべき絵画を求めて	広本 伸幸	〃	
ロスコのマルチ フォーム(複合形態) 移行と変容の瞬間	デイヴィッ ド・アンフ 植松 由佳 訳	〃	
親密なる「場」の誕生 —3つの壁画シリー ズ	林 寿美	〃	

マーク・ロスコの 「ダーク・ペイン ティング」について	関 直子	〃	
マーク・ロスコ：怒 れるアーティストの 肖像	ジョー ン・フ ィッ シャー 林 寿美 訳	〃	

特集 画家VSモデ ル—絵の中の女たち —ロセッティVS ジェーン・モリス		美術の窓	147
--	--	------	-----

「シンポジウム：ロ ダダン芸術におけるモ ダニティ」報告	大屋 美那	アマリリ ス	36
------------------------------------	-------	-----------	----

特集 巨匠にもボル ノグラフィ 巨匠が 描いたあんなボルノ こんなボルノ ロダ ン渾身の作！脱いで も立派なバルザック	(編)	芸術新潮	546
--	-----	------	-----

オーギュスト・ロダ ン作『地獄の門』のブ ロンズと石膏のそれ ぞれのパリエーシ ョン、そして2つの鑄 造所について	黒川 弘毅	多摩美術 大学研究 紀要	10
--	-------	--------------------	----

アートな“コク”？2 ノーマン・ロックウ ェル ミーツ ロバ ート・ヘンライ	滝本 誠	美術手帖	709
---	------	------	-----

『テルケル』・文学・ 写真	ドゥニ・ロ ッシーユ ティエリ マレ	ユリイカ	27-14
------------------	-----------------------------	------	-------

アレクサンドル・ロ トチニコと写真— 「絵画の死」の彼方で	五十殿利治	ロトチ ニコ展 図録 (名古屋 画廊(名 古屋))	
-------------------------------------	-------	--	--

個展に寄せて	ウィリー・ロニス (フォトギャラリーインナーナショナル)	ウィリー・ロニス 展 図録		秋の野をゆく一會津八一の生涯 第2回 「びるばくしや」顔の人	〃	〃	543
				秋の野をゆく一會津八一の生涯 第3回 「會津屋」の系譜	〃	〃	544
ティム・ロリンズと K.O.S	コンスタン・ルーアレンインターヴェュー 木下 哲夫 訳	C.A.R.	16	秋の野をゆく一會津八一の生涯 第4回 乳母の名は「清」	〃	〃	545
マレン・ロロフ 驚嘆すべきあらゆる切片的完ぺきさ	クリスティアン・ロートマン	アトリエインターナショナル	821	秋の野をゆく一會津八一の生涯 第5回 自称「悪筆」の謎	〃	〃	546
保存版大特集 VERY NEW ART90年代の海外注目アーティスト リチャード・ロンダー 歩行の刻印	塩田 純一	美術手帖	700	秋の野をゆく一會津八一の生涯 第6回 誇り高き貧乏学生	〃	〃	547
				秋の野をゆく一會津八一の生涯 第7回 誇り高き貧乏学生(2)	〃	〃	548
	(ワ)			秋の野をゆく一會津八一の生涯 第8回 画学生との「恋」	〃	〃	549
近代日本美術家列伝 8 チャールズ・ワーグマン	堀 元彰	〃	706	秋の野をゆく一會津八一の生涯 第9回 「田舎先生」のプライド	〃	〃	550
特集 画家VSモデル 絵の中の女たち ワイエスVSベッツィ		美術の窓	147	秋の野をゆく一會津八一の生涯 第10回 八一の求婚	〃	〃	551
特集 1995年上半期の美術界大研究 作家が選ぶ人気展覧会ベスト10 ワイエスの描く自然	佐藤 忠良	〃	149	秋の野をゆく一會津八一の生涯 第11回 憧れのハイカラさん	〃	〃	552
さよなら“アジア美術”	王 建偉 (ワン・ジュンウェイ)	美術手帖	715	シスチナ礼拝堂の壁画修復事業を本にまとめた青木昭さん	波津 博明 読 売		11, 19
ENJOY ART LIFE 王俠軍(ワン・ハインリック)		ギャラリー(月刊)	122	特集 芸術家になりたい! サヴァイヴァル予習編 作品というのはやっぱり人間なんですよ。	秋山画廊・秋山田津子	美術手帖	705
さよなら“アジア美術”	王 魯炎 (ワン・ルーエン)	美術手帖	715				
美術関係者				蘆原英了の思い出	芦原 義信		
日本							
	(ア 行)						
インタビュー合田彩氏に聞く『逃TAO 異端の画家・曹勇の中国大脱出』を心いっぱい、身体いっぱい体験から執筆		ギャラリー(月刊)	123	有光次郎氏を偲んで 芸術各界の高い声望	犬丸 直	新美術新聞	731
秋の野をゆく一會津八一の生涯 第1回 「やいち」との出逢い	工藤美代子	芸術新潮	542	有光次郎氏を偲んで 多岐多彩な世話話(設: ママ)	河北 倫明	〃	〃
				有光次郎氏を偲んで 毎年催した暮会	佐々木泰南	〃	〃

有光次郎氏を偲んで 忘れられない笑顔	塩出 英雄	〃	〃	東洋陶磁美術館長韓 国から文化勲章(伊 藤郁太郎)	朝 日	12.6
有光次郎氏を偲んで 財団の隆盛にご尽力	中嶋 蓉子	〃	〃	韓国文化勲章(宝 冠)を受賞した大阪 市立東洋陶磁美術館 長伊藤郁太郎さん	布施 勇如 読 売	12.14
有光次郎氏を偲んで 端正で品格の高い筆 蹟	林 太郎	〃	〃	3年目に入った「日 本でも安く小さな ものを飾る美術 館」オーナー伊藤文 学さん	大橋 健一 毎 日	12.8
インタビュー 有森 正氏に聞く 現代に 何を表現し発表する のか。やりたいこと をもっと明瞭にする ための技術を共に探 そう		ギャラリ ー(月刊)	125			
同学の交わり	飯島 宗一	日 経	3.23	伊能嘉矩の人と学問 一柳田國男が敬慕し た理想の郷土史家一	後藤総一郎	伊能嘉矩 展一郷土 と台湾研 究の生涯 一(遠野市 立博物 館)
田中穰のにんげん美 術史39 飯田祐三 ジュレアリスム小 山田二郎からバルビ ゾンミレーに転進	田中 穰	美 術 (月刊)	232			
特集 芸術家になり たい! サヴァイヴァ ル予習編 論理的強 さを武器にしてレ ントゲン藝術研究所 池内務さん		美術手帖	705	伊能嘉矩と台湾研究 一教育家、伊能嘉矩 の行動一	森口 雄稔	〃
池上先生の思い出	周々木明香	芸術学芸 術史論集	7	曾祖父伊能嘉矩と郷 土研究	伊能 邦彦	〃
池上先生の思い出	深谷 克典	〃	〃	先駆者 伊能嘉矩	谷川 健一	〃
池上先生の思い出	神原 正明	〃	〃	偉大な足跡をたずね て	楊 南郡	〃
池上先生のこと	山脇佐江子	〃	〃	伊能嘉矩 年譜		〃
池上先生の笑い	小田部胤久	〃	〃	伊能嘉矩論文目録		〃
池上さんの一周忌を 迎えて・弔辞・池上 先輩を偲んで	山縣 熙	〃	〃	出あいの風景 岩本 一恵さん	杉下龍一郎	朝日夕刊 7.18
池上先生の思い出	西田 桐子	〃	〃	上原和教授年譜・著 作等目録		美学美術 史論集 10
池上先生の思い出	野口 武彦	〃	〃	上原先生を送る辞	戸口 幸策	美学美術 史論集 10
池上さんの思い出に	辻 佐保子	〃	〃	玉虫厨子の研究者上 原和成城大学教授退 任前に最終講義		東京夕刊 2.9
池上さんの思い出	岩山 三郎	〃	〃	額縁フリースタイル 入門 フレームコー ディネーターに聞く 一ウエマツ	中島 優子 取材・文	美術手帖 713
弔辞(池上忠治先生)	速水 豊	〃	〃	奈良国立博物館長に 就任した内田弘保さ ん	(本)	東 京 10.19
弔辞(池上忠治先生)	百橋 明穂	〃	〃	気になるこの人 情 熱を井上有一に(現 代美術評論家 海上 雅臣)		朝日夕刊 10.18
弔辞(池上忠治先生)	成瀬不二雄	〃	〃	国際日本文化研究セ ンター顧問 梅原猛 さん	田島 和生	朝 日 10.16
弔辞(池上忠治先生)	鈴木 利章	〃	〃	デザインの活動体制 再構築へ(栄久庵憲 司)		毎日夕刊 2.13
弔辞(池上忠治先生)	鈴木 正裕	〃	〃	特集 現代美術のコ レクター訪問 日本 人の価値観を世界 に示すために一愛と 自己犠牲の行為一 MTMコレクション	編 集 部	美術手帖 702
池上忠治先生略歴な らびに著作目録		〃	〃			
池上忠治君を偲びて	秋山 光和	日仏美術 学会会報	14			
池上忠治先生主要業 績一覽	実行委員会	〃	〃			
5年目の「メビウスの 卵」展を組織する 石黒敦彦さん	(賀)	新美術新 聞	741			
特集 現代美術のコ レクター訪問 日本 人の価値観を世界に 示すために一一本松 光男さん	編 集 部	美術手帖	702			

平成7年定期刊行物所載文献(美関)

一宮舜……社会と美術の関係が変わるための三つのポイント「街はいまアートで溢れる」展企画者大島誠二さんの仕事を通して	永峰 美佳	工 芸	2	河北倫明氏を悼む徹底した美術の現場の人	高階 秀爾	〃	〃
岡倉天心を取り巻く五浦六角堂ならびに赤倉山荘付近の森林状態の再現	筒井 迪夫	多摩美術大学研究紀要	9	河北倫明氏を悼む最も信頼し指導を受けた方	浅木 正勝	〃	〃
岡倉天心とボストン一ガードナー夫人に捧げられた幻のオペラ「白狐」についての一考察	佐渡谷 紀代子	〃	〃	河北倫明氏を悼む倫雅賞の尊さ	犬丸 直	〃	〃
近代日本美術家列伝26 岡倉天心	山梨 俊夫	美術手帖	713	河北倫明氏を悼む鋭い文明批評	池口 史子	〃	〃
講演要旨 タゴール家と天心・大観・春草	我妻 和夫	横山大観記念館館報	13	河北倫明氏を悼む野外彫刻展の運動	植木 浩	〃	〃
三内丸山遺跡を発掘した岡田康博さん	(本)	東京	2.17	河北倫明氏を悼む若輩を見守って下さった方	大高 正人	〃	〃
小川光陽先生略歴および業績		同志社大学博物館学年報	27	河北倫明氏を悼む大所高所からの判断	岡 真純	〃	〃
追悼 小川光陽先生	笠井 昌昭	〃	〃	河北倫明氏を悼む現代の大御所	小川 正隆	〃	〃
奥野高廣博士略歴		武蔵野	326	河北倫明氏を悼む九州への旅	大智 経之	〃	〃
美術展の仕事一筋十八年 長田博臣読売新聞社文化事業部長が急逝	美連事務局	JAAM	46	河北倫明氏を悼む美術評論の巨匠逝く	小倉 忠夫	〃	〃
文化庁次長に就任した 小野元之さん	(河)	読 売	7.9	河北倫明氏を悼む大きな穴が空いた感	奥田 元宋	〃	〃
	(カ 行)			河北倫明氏を悼む信じられない	奥谷 博	〃	〃
金山隆氏に聞く 企業の活動自体がアートだというのがひとつの理想ではないでしょうか		ギャラリー(月刊)	119	河北倫明氏を悼む不思議な力	加藤 貞雄	〃	〃
特集 東京大学のコレクションは凄いぞ! 旧津和野藩の若殿が買い漁った西洋美術資料 亀井茲明(亀井文庫・総合図書館)	(編)	芸術新潮	551	河北倫明氏を悼む温容の背後にある厳しさ	片岡 球子	〃	〃
流産した視覚29 倫明寂滅為業	米倉 守	アート・トップ	150	河北倫明氏を悼む愛情あふれた玉堂論	川合 三男	〃	〃
追悼 河北倫明さんの死に思うこと	加山 又造	〃	〃	河北倫明氏を悼むよき理解者、心強い、応援者	菊屋 吉生	〃	〃
色いろ調 棲み分けて逝く 倫明老(河北倫明)	安井 収蔵	新美術新聞	751	河北倫明氏を悼む言い尽くせない感謝	菊竹 清訓	〃	〃
河北倫明氏を悼む	平山 郁夫 米倉 守	〃	〃	河北倫明氏を悼む河北倫明先生を偲んで	東山 魁夷	〃	〃
河北倫明氏を悼む半世紀にわたる付き合い	嘉門 安雄	〃	〃	河北倫明氏を悼む思うことの多くて...	倉田 公裕	〃	〃
				河北倫明氏を悼む恩師河北倫明先生	佐藤 多持	〃	〃
				河北倫明氏を悼む形容しがたい大きさ	島田 康寛	〃	〃
				河北倫明氏を悼む忘れ得ぬ遺影	鈴木 進	〃	〃
				河北倫明氏を悼む忘れられぬ温顔	関根 英治	〃	〃
				河北倫明氏を悼む河北先生の重き言葉	田中日佐夫	〃	〃
				河北倫明氏を悼む長い間のご指導、ご教示	田中 周二	〃	〃

河北倫明氏を悼む 批評のお蔭	田淵 俊夫	〃	〃	特集 芸術家になり たい! サヴァイヴァ ル予習編 求む、元 気なアーティスト ギャラリー・グラフィ カ 栗田玲子さん	美術手帖	705
河北倫明氏を悼む 年月のおもい	高山 辰雄	〃	〃			
河北倫明氏を悼む 温かい決断の人	谷岡 清	〃	〃			
河北倫明氏を悼む 日本美術界の新しい 道をリード	弦田平八郎	〃	〃	黒川真頼家蔵書目録 影印(七)『書籍目録 人中』	城田 秀雄	実践女子 大学文学 資料研究 所年報 14
河北倫明氏を悼む 残念の極み	中嶋 蓉子	〃	〃	ことば抄 いわさき ちひろ絵本美術館館 長 黒柳徹子さん		朝日夕刊 5.23
河北倫明氏を悼む 励ましの言葉と温容	中山 忠彦	〃	〃	顔 秋田県増田町に オープンしたまんが 美術館の館長 小泉 泰さん	羽中田朋之 読 売	11.5
河北倫明氏を悼む 一時代を象徴する人	長谷川徳七	〃	〃			
河北倫明氏を悼む 世界的な存在感	富山 秀男	〃	〃	額縁フリースタイル 入門 フレームコー ディネイターに聞く 一古径	澤開久美子 取材・文	美術手帖 713
河北倫明氏を悼む 篤実な硯学	中野 淳	〃	〃			
河北倫明氏を悼む 日ソ美術友好使節団 の思い出	濱田 台兒	〃	〃	江戸東京博物館研究 員 小島美子さん	堀田 希一 朝 日	4.29
河北倫明氏を悼む 暖かさやしみわたる 言葉	三浦 弘子	〃	〃	生あるうちに全力投 球 小松茂美さんに 聞く	菅原 教夫 読売夕刊	12.28
河北倫明氏を悼む 山春村回想	藤田 吉香	〃	〃	特集 現代美術のコ レクター訪問 日本 人の価値観を世界に 示すために一自宅は 「奇麻魔美術館」一近 藤実さん	編 集 部	美術手帖 702
河北倫明氏を悼む ガラス工芸にも多大 の関心	藤田 喬平	〃	〃			
河北倫明氏を悼む 的確な評論、貴重な お言葉	三谷 敬三	〃	〃	近藤豊教授を偲んで 近藤豊先生を偲んで	香川 清和 建築史学 奥野 裕樹	24 〃
河北倫明氏を悼む 忘れられない感激	美津島徳蔵	〃	〃		(サ 行)	
河北倫明氏を悼む 折にふれての助言	宮崎 進	〃	〃			
河北倫明氏を悼む 大事な指針を失う	安田 健一	〃	〃	現代美術 資料で描 く余白	笹木 繁男 日 経	3.29
河北倫明氏を悼む 戦後日本美術界の大 きな柱	吉井 淳二	〃	〃	膨大、貴重なコレク ション 民間の「現 代美術資料センタ ー」(笹木繁男)		毎日夕刊 1.31
河北倫明氏を悼む 追悼 河北倫明先生	梅原 猛	〃	753	インタビュー 佐藤 栄太郎氏に聞く 好 きで蒐めた美術品に 囲まれる至福を公開 して地域に開かれた 「ミニ美術館」を目指 す		視 る 341 ギャラリ ー(月刊) 128
大阪・池上曾根遺跡 の発掘を担当した上 林史郎さん	宮田 哲	毎	日	6.17		
11万枚という膨大な 発掘古銭の追跡調査 に取り組む貫志高陽 さん	(藤)	東	京	2.28		
春インタビュー『美 術の明日を拓らく』 きづかあきよし氏に 聞く 公募展とギャ ラリー展開で新しい アーティストを発掘		ギ	ャ	ラ	リ ー(月刊) 118	
「国境なき医師団」の 日本初写真展を企 画した倉持悟郎	奈良 信行	毎	日	4.28	弔辞(澤田由治) 澤田由治氏を悼む 具眼有識の人・常安 先生(澤田由治)	伊奈 輝三 陶 説 503 三浦 小春 〃 〃 〃 〃

平成7年定期刊行物所載文献(美関)

満岡(忠成)・澤田(由治)両先生の思い出	青木 重雄	〃	〃	誌読室64 一つの出来事一終わりにあたって(瀧口修造)	有川 文夫	アート・トップ	150	
澤田由治さんの思い出	九原 秀樹	〃	〃	ギャラリストに聞く 武市憲治氏		ギャラリー -(月刊)	117	
現代美術のオークションを成功させた実川暢宏さん	(西)	新美術新聞	733	特集 現代美術のコレクター訪問 日本人の価値観を世界に示すために—アートの楽しみ—竹村隆広さん	編集部	美術手帖	702	
短大講師清水勲さん収集160点余を出版	永峯 正義	東京	6.14	特集 現代美術のコレクター訪問 日本人の価値観を世界に示すために—変わりつつける自分のために—田中恒子さん				
清水善三教授を送る	佐々木丞平	京都大学文学部美術史学研究室	16	天平のミケランジェロ 著者田中英道さん	(石)	毎日	10.30	
特集 現代美術のコレクター訪問 日本人の価値観を世界に示すために—私設ギャラリーで自主企画—下田賢司さん	編集部	美術手帖	702	特集 東京大学のコレクションは凄いぞ! 硯学たちの珍奇コレクション 田中芳男の“手当たり次第”蒐収 田中文庫(総合図書館)				
特集 白洲正子+アレックス・カー “ほんもの”とは何だろう? 白洲正子 “ほんもの”の生活 “ほんもの”とは何か、教えて下さい	白洲 正子 インタビュー	芸術新潮	542	特集 東京大学のコレクションは凄いぞ! 究極の“よくわからないけど偉い”人(田中芳男)	荒俣 宏	〃	〃	
特集 白洲正子+アレックス・カー “ほんもの”とは何だろう? 対談 白洲正子+アレックス・カー	白洲 正子 アレックス・カー	〃	〃	アンコールワットに魅せられて 旅行代理店を営む谷川さん夫婦(谷川茂・恵)		東京	7.18	
額縁フリースタイル入門 フレームコーディネーターに聞く—サカキヤ洋画材料店、神保嗣生さん	杜 今日子 取材・文	美術手帖	713	谷口鉄雄氏の訃報	九州芸術学会	デアルテ	11	
額縁フリースタイル入門 フレームコーディネーターに聞く—草土舎	澤開久美子 取材・文	〃	〃	「絵のある茶の間」の焼失(田部直枝・画廊たべ)	大倉 宏	芸術新潮	551	
カンボジアのチム(・ソカンダラ)さん 甲府城修復で長期研修		毎日夕刊	11.24	夫婦そろって伊の勲章(辻邦生/佐保子)		朝日夕刊	7.12	
(タ行)				ひと 人模様 夫婦で伊政府功労勲章(辻邦生/佐保子)		毎日夕刊	7.18	
インタビュー 伴野龍弥・高垣圭一両氏に聞く 第23回樹展を支える二人の意志「単に絵を見せるということを超えて」		ギャラリー -(月刊)	125	台湾で原住民博物館の館長を務める土田滋さん	明珍 美紀	毎日	11.2	
壁画修復で名誉市民第一号(高橋久雄)		朝日夕刊	7.13	ボンベイ拠点に(古代学協会・古代学研究所理事長 角田文衛)		朝日夕刊	5.27	
仏芸術文化勲章を受賞(高橋久雄)		毎日夕刊	11.20	インタビュー 坪山紗織氏に聞く コンテンポラリーアートの真髄を日本で・作家の視点を持つギャラリストの展開形。		ギャラリー -(月刊)	122	
ただ今執筆中 スポーツ主題にした社会論 多木浩二		朝 日	7.16	「ケルトの風に吹かれて」の辻井喬さんと鶴岡真弓さん	(毬)	読 売	1.16	

日独美術界のパイプ 役に 美連協の海外 研修者に時田(仁弘) さん	読 売 (都民版)	5.9	沼田絵本美術館長 沼田恵子さん	加納 宏幸	サンケイ	10.26
徳川前侍従長(徳川 義寛)昭和の「空白」 証言淡々	朝 日	8.11	ドイツの勲章受賞 (ホワイトPR社長 野中肇)		朝日夕刊	8.31
現地の声よく聞く (アンコール遺跡修 復事業 友田正彦)	朝日夕刊	5.2			(ハ行)	
インタビュー 伴野 龍弥・高垣圭一両氏 に聞く 第23回樹展 を支える二人の意志 「単に絵を見せると いうことを超えて」	ギャラリ ー(月刊)	125	額縁フリースタイル 入門 インテリア コーディネイターに 聞く一橋爪清三さん	杜 今日子 取材・文	美術手帖	713
友部直教授退職記念 展の規準	入江 和生	文学芸術	物語 日本洋画商史 二十二 フロシキ画 商「洋画大展覧会」の 成功(長谷川仁)	田中 穰	絵	373
特集 東京大学のコレ クションは凄いぞ! 「乾板上にアジア人 を「採集」した鳥居 龍蔵(鳥居龍蔵博士 撮影写真資料・総 合研究資料館)	編集 部	芸術新潮	物語 日本洋画商史 二十三 「点」から 「線」への曲折(長谷 川仁)	〃	〃	374
			物語 日本洋画商史 二十四 東京西部の 美術界「大雅城」(長 谷川仁)	〃	〃	375
(ナ行)			物語 日本洋画商史 二十五 明治の道具 屋にとりついた「地 獄」(長谷川仁)	〃	〃	376
芸術をめぐる言葉32 ピキニ島の原始爆弾 爆発の写真を見て 、ギリシャ神話以 来、どんな想像力も が達しなかった水量 が、空に舞っている のを見たと思わずに はいられない。一中 井正一	谷川 渥	美術手帖	物語 日本洋画商史 二十七 夫(婦)唱婦 (夫)随の「二人三脚」 (長谷川仁)	〃	〃	378
人々の心に焦点をあ て彫刻史に新たな流 れ 長岡龍作さん	(三)	朝日夕刊	物語 日本洋画商史 二十八 念願の画廊 を開く(長谷川仁)	〃	〃	379
中川勝正先生の略歴 及び主要業績	美学・芸 術学	10	物語 日本洋画商史 二十九 昭和七年の 銀座美術事情(長谷 川仁)	〃	〃	380
インタビュー 永松 宏之氏に聞く ス ペース無償提供で 阪神大震災支援「人 のためになることを して生きたい」	ギャラリ ー(月刊)	126	物語 日本洋画商史 三十 画廊守護神石 像も現れて(長谷川 仁)	田中 穰	絵	381
少年少女雑誌に付い ていた紙おもちゃの 「ふろく展」を開き、 好評を博した弥生美 術館の学芸員、中村 圭子さん	サンケイ	10.9	『中国の陶磁』監修者 長谷部楽爾氏に聞く 故 花崎利義氏 追 悼 林忠正とピサロー林 忠正洋画コレクショ ンをめぐって	奥 武則	毎日夕刊	11.20
北斎の縁で480点寄 贈 浮世絵研究の檜 崎(宗重)さん、墨田 区に	朝日夕刊	11.22	特集 原三溪 ことば抄 針生一郎 さん	馬淵 明子	百 科 (月刊)	396
熱気球(浮世絵研究 者 檜崎宗重)	東 京	11.23	土方定一の初期同人 雑誌原稿について	川口 茂也	神奈川県 立近代美 術館年報	1993年度
浮世絵コレクション 墨田区に寄贈 檜崎 宗重さん	読 売 (都民版)	〃	元米海兵隊による原 爆写真展を企画した 平岡豊子さん	室 靖治	読 売	7.18
			平田寛教授略歴 平田寛教授業績目録		哲学年報	54
					〃	〃

平成7年定期刊行物所載文献(美関)

早世した無名画家3人の作品を展示する美術館を4月にオープンした広瀬毅郎さん	井上 卓弥	毎 日	6.23	705	特集 芸術家になりたい！サヴァイヴァル予習編 特権的に利用する<マイノリティ意識>は捨てよ。ヴォイス・ギャラリー 松尾恵さん	〃	705
古陶の味、広田熙さん	山根 有三	陶 説	506		17歳、役者絵の達人 専門誌に巻頭論文(松岡亮)	(中部本社版)	読 売 9.28
壺中居再開の頃(広田熙)	青山 和子	〃	〃		美の故郷 幻の美術館—松方コレクション(上)	石田 修大	日 経 4.30
21世紀の服探る(深井見子)		朝日夕刊	3.4		東京都美術館の新館長に就任した真室佳武さん	(西)	新美術新聞 735
福山敏男先生の御逝去を悼む	中西 亨	史迹と美術	656		邦画ポスター2000枚を寄贈(御園京平)		朝 日 11.26
インタビュー 藤井公博氏に聞く 阪神大震災チャリティー展に見せた交遊の広さと画商の心意気		ギャラリー(月刊)	121		東京美術倶楽部を勇退した三谷敬三さん	油井 一人(聞き手)	新美術新聞 734
国土館大学教授 藤井秀夫さん	柳沢 保正	朝 日	2.25		満岡(忠成)・澤田(由治)両先生の思い出	青木 重雄	陶 説 503
額縁フリースタイル入門 フレームコーディネーターに聞く—富士製額	中島 優子 取材・文	美術手帖	713		ギャラリストに聞く 美津島徳蔵氏		ギャラリー(月刊) 118
街角の側溝でワサビが育ってる	藤森 照信	朝 日	1.1		素材&テクニック編 粘土・ガラス デザイナー 諸氏へ、ガラス屋さんとのつきあいかた—三保谷硝子店	平野 ゆり	デザインの現場 75
額縁フリースタイル入門 フレームコーディネーターに聞く—ぶらんしえ	中島 優子 取材・文	美術手帖	713		宮へ	上原 昭一	実践女子大学美学美術史学 10
詩的精神の「世界人」作家 堀田善衛さん		朝 日	1.1		宮次男先生の思い出	三隅 治雄	〃 〃
堀口捨己先生を偲ぶ	永島福太郎	淡 交	595		宮次男先生 年譜		〃 〃
	(マ 行)				宮次男先生 研究業績一覽		〃 〃
	相笠 昌義 秋山 祐徳 子 今井 信吾 尾崎 愛明 久里 洋二 近藤 弘明 藤々木 豊 佐藤 多持 野田 ぬい 安男 一 永井 正 林 紀一郎 馬越 二子 森 陽秀 矢柳 雄剛 油井 一人	新美術新聞	750		建築ジャーナリスト 宮内嘉久さん 市民的まなざし貫いた前川さん		毎日夕刊 2.22
追悼 牧田喜義氏		新美術新聞	750		特集 東京大学のコレクションは凄いぞ！臭いメシから生まれた宮武外骨の労作(明治新聞雑誌文庫・法学部)	(編)	芸術新潮 551
					鷗外と清張	宮本 忠長	建築雑誌 1371
					(ヤ 行)		
特集 現代美術のコレクター訪問 健やかな精神でアートに触れる—増井常吉さん	(編集部)	美術手帖	702		新春インタビュー 『美術の明日を拓らく』 入尻俊朗氏に聞く 日本の江戸文化を世界に語り継ぐ		ギャラリー(月刊) 117
特集 現代美術のコレクター訪問 今度だけは夢を捨ててもいいんじゃない—松浦隆広さん	(編集部)	〃	702		彫刻家とモデル—アルベルト・ジャコメッティと矢内原伊作	谷川 渥	美術手帖 701



柳宗悦に火を灯された人々(9) 日本民芸館と棟方志功 近藤 京嗣 陶 説 504

(カ行)

陶磁餘滴(20) 柳宗悦と浅川兄弟 朴 秉來 // 507

特集 白洲正子+アレックス・カー “ほんもの”とは何だろうか? 対談 白洲正子+アレックス・カー

白洲 正子 アレックス・カー 芸術新潮 542

柳宗悦と丹波 近藤 京嗣 目の眼 223

特集 東京大学のコレクションは凄いぞ! 東洋陶磁蒐収家・横河民輔の、こちらが本業 コレクション(引手・釘隠コレクション・工学部建築学科) (編) 芸術新潮 551

特集 白洲正子+アレックス・カー “ほんもの”とは何だろうか? アレックス・カー “ほんもの”との出会い、日本のどこに魅せられたのですか?

アレックス・カー インタビュー // //

ヨコタ博物館館長 横田正臣さん 大久保元三郎 朝 日 10.15

出あいの風景 ギドンさん

木村 重信 朝日夕刊 12.14

画廊「華音留」経営 吉田薫さん 東京夕刊 8.1

アートな“コク”? 6クエイ兄弟の冒険

滝本 誠 美術手帖 715

(ワ行)

60年代ARTを読み解くためのキーワード AtoZ グリーンバーグ(Greenberg)

上田 高弘 // 717

特集 現代美術のコレクター訪問 作品の奏でる音楽を聴く一和田敏さん (編集部) 美術手帖 702

コペ・コレクション

スザンヌ・ルクレール ブリュール・ゲルの世界展図録(東武美術館)

新装開館する東京都写真美術館の館長 渡辺義雄さん 小泉 成史 読 売 1.17

連載 コレクターとコレクション11 ギュリアーノ・ゴリ

岡部あおみ インタヴュー C.A.R. 16

美術関係者 海外

(ア行)

(サ行)

研究者と討論(韓国・国立中央博物館 安秉燦さん) 朝日夕刊 2.4

ジャン・ザンキ氏に聞く 今まで知られていなかったものを知りたい、という欲望に駆り立てられたコレクション

ギャラリー(月刊) 121

特集 現代美術のコレクター訪問 日本人の価値観を世界に示すために—現代美術のシナゴ—ゲージ ヨニー・ウォーカーさん (編集部) 美術手帖 702

シーボルトとシーボルトコレクション

大場 秀章 シーボルト旧蔵・日本植物図譜展図録(小田急美術館)

連載 コレクターとコレクション13 ヴォーゲル夫妻 梁瀬 薫 C.A.R. 18

序文 § シーボルトコレクションについて §

V.P.・レオーノフ シーボルト旧蔵・日本植物図譜展図録(小田急美術館)

陶磁餘滴(26) 張澤相先生・呉世昌先生の書画 朴 秉來 陶 説 513

特集 変身 オルラン 死の側から流れる生 辻 宏子 美術手帖 708

エヌシーカに参加した日本の女流陶芸家たち

ジェフ・シヤピロ 陶 説 511

特集 変身 オルラン 芸術に身体を捧げて 梁瀬 薫 インタヴュー // //

江戸美術の面白さ講じる(タイモン・スクリーチ)

読売夕刊 2.17

平成7年定期刊行物所載文献(美関・外)

チエコ秘蔵の浮世絵  
を日本で巡回展示す  
るブラハ国立美術館  
長 マルチン・ズラ  
トホラーベックさん  
佐渡 勝美 サンケイ 11.10

(タ行)

ケネス・タイラーと  
アメリカ現代版画一  
版画工房はもうひと  
りのアーティスト  
木戸 英行 美術手帖 709

来日したクリスティ  
ーズ・インターナシ  
ョナル社長 クリス  
トファー・ダヴィッ  
ジさん  
(富) 新美術新聞 734

クリスティーズ・グ  
ループ最高経営責任  
者 クリストファー  
・ダヴィッジさん  
飯田 栄一朝 日 5.20

カトリーヌ・ダヴィ  
ット ドクメンタ10  
総合ディレクター  
インタヴュー 美術手帖 705

連載 コレクターと  
コレクション14 ダ  
ッジ夫妻  
梁瀬 薫 C.A.R. 19

陶磁餘滴(26) 張澤  
相先生・呉世昌先生  
の書画  
朴 秉來 陶 説 513

フィリップモリス日  
本法人会長 ディニ  
アー・S・デビトリ  
ーさん  
益子原和哉 サンケイ  
夕刊 9.11

連載 印象派再考4  
—ニューヴェルケル  
ク伯爵とデュランニ  
リュエル  
島田 紀夫 C.A.R. 16

芸術をめぐる言葉33  
バロック概念の再検  
討こそ、今日最も興  
味深く、かつ最も現  
代的な美学問題のひ  
とつである—ドール  
ス  
谷川 渥 美術手帖 713

(ハ行)

アートディレクター  
マリーナ・バベンコ  
さん ロシア絵画P  
R、親子3人で日本  
縦断  
室田 康子 朝 日 9.10

来日したイコン美術  
の世界的権威 コス  
タ・バラバノフさん  
林 茂雄 東 京 4.19

特集 日本人が見捨  
てた明治の美「置  
物」彫刻の逆襲 <  
海外取材>異人さん  
に買われたかった明  
治輸出工芸の底力  
明治工芸に憑かれた  
人 ナセル・D・ハ  
リリ博士のコレクシ  
ョン  
宮下 夏生 芸術新潮 543

近代日本美術家列伝  
22 アーネスト・F  
・フェノロサ  
山梨 俊夫 美術手帖 712

ルバート・フォーク  
ナーさん(ヴァイク  
トリア&アルバート美  
術館学芸員)の眼  
竹中 浩 陶 説 512

美はプロ級、ミスタ  
ー五輪 故ブランデ  
ージ氏の収集品、日  
本に「里帰り」  
寛道 良子 日 経 3.24

「根付」の魅力知って  
ロベール・フレッシ  
ェルさん  
朝日夕刊 5.31

出あいの風景 ベネ  
ットさん  
木村 重信 〃 12.13

日本の書画の修復技  
術を学ぶ米国人ジ  
ニファー・ペリー  
さん  
鈴木 直 毎 日 12.15

(マ行)

マゼラン 枢機卿  
(1602—1661)の美術  
コレクションと「シ  
ナ趣味」  
吉田 富子 芸術学芸  
術史論集 7

アンドレ・マルロー  
のディアブル(いた  
づらがき)  
美術の窓 146

(ヤ行)

連載 コレクターと  
コレクション12 タ  
キス・ヨアヌー  
岡部あおみ  
インタヴュー C.A.R. 17

(ラ行)

ラスキンを見る—フ  
ァクシミリ版『ラス  
キン書簡集』刊行に  
あたって  
志村 正雄 学 鏡 92—7

Mill and Ruskin  
or Two Sides of  
a Coin  
Mariko・  
Shimizu 成城文芸 150

出あいの風景 ラブ  
さん  
木村 重信 朝日夕刊 12.15

芸術はもろい。守ら  
なければ(ジャック  
・ラング)  
朝 日 12.5

陶磁餘滴(22) 思い 出に残る外国人蒐集 家(バーナード・リ ーチ他)	朴 秉來 陶 説	509	『アトリエの巨匠・ 100人 写真=南川 三治郎』	東 京	2.19
			〃	読 売	2.20
書を通して観る近代 中国の文化人像15 劉海棠	松村 茂樹 墨	117	『アメリカ現代美術 の25人』木島俊介著	絵	374
連載 印象派再考4 —ニューヴェルケル ク伯爵とデュランニ ュエル	島田 紀夫 C.A.R.	16	『荒木!』飯沢耕太郎 著	関川 夏央 朝 日	2.12
ウルリッヒ・リュック クリームの作品を訪 ねる 混沌から静け さへ	ガブリエレ ・リヴェッ トインタヴ ユ	美術手帖	『イギリス文化史入 門』井野瀬久美恵編	長谷川貴彦 史学雑誌	104—12
「ルードヴィヒ美術 館展」を日独の新しい 文化交流の礎に ベーター・ルードヴィ ヒ氏に聞く		AMBI- ANTE	『伊谷賢蔵画集』	日 経	3.12
出あいの風景 ルロ ワニグーランさん	木村 重信 朝日夕刊	12.11	『ヴィーナスの片思 い、マリアのウィン ク』視覚デザイン研 究所編	絵	376
	(ワ 行)		『ヴィクトリアン・ パンチ』小池滋責任 編集	(前) 読売夕刊	11.11
出あいの風景 ワ カンカル教授	木村 重信 朝日夕刊	12.12	『ウィリアム・モリス の全仕事』ポール ・トムスン著 白石 和也訳	岡田 隆彦 美術手帖	700
			『ヴェネチア・ビエ ンナーレー日本参加 の40年—』毎日新聞 社、国際交流基金	(川口昌人) 新美術新聞	739
			『ヴェネチア・ビエ ンナーレー日本参加 の40年—』	読 売	6.11
書 評			『失われた世代、パ リの日々—一九二〇 年代の芸術家たち』 ハンフリー・カーペ ンター著 森乾訳	越智 道雄 東 京	4.16
和 書	(ア 行)		『ウメカニズム』楳岡 かずお著	(豊) 毎 日	5.22
『アイヌ民族写真・ 絵画集成』萱野茂監 修		読 売	『漆 うるわしのア ジア』大西長利著	武部 俊一 朝 日	5.21
『アヴァンギャルド の戦争体験—松本俊 介、瀧口修造そして 画学生たち』小沢節 子著	ヨシダ・ヨ シエ	美術手帖	『A日記』荒木経惟撮 影	読 売	4.11
			『エステルゴムの春 風 東欧の街と人』 持田綱一郎著	大井 健地 美術の窓	151
『青木繁 坂本繁二 郎』谷口治達著		文明のク ロスロード MU- SEUM KYUS- YU	『エッフェル塔試論』 松浦寿輝著	小池 民男 朝 日	9.3
			〃	鈴木 博之 サンケイ	10.15
『AKORIS』財団法 人古代学協会・古代 学研究所編	矢沢高太郎	読売夕刊	『江戸の花鳥画』今橋 理子著	(恭) 毎 日	5.15
『アジアン・ジャパ ニーズ』小林紀晴著	鷹見 明彦	美術手帖	〃	谷川 渥 読 売	5.21
『アダムの家—建築 の原型とその展開』 ジョセフ・リクワ ト著 黒石いづみ訳	横手 義洋	建築史学	『エルミタージュ美術 館—秘匿の名画』 A・コステナーヴィ ッチ解説 三浦篤監 訳	東 京	12.10
『新しい美術館学 エコ・ミュージゼの実 際』長谷川栄著		美術の窓	〃	日 経	11.12
『アトム時代』	西谷 修	美術手帖	『絵を蒐める 私の 推理画説』福富太郎 著	瀬木 慎一 東 京	4.30
			〃	森 まゆみ 読 売	3.27

平成7年定期刊行物所載文献(和書評)

『円相の芸術工学』杉浦康平/西垣通/上田閑照他著	稲垣 真澄	サンケイ	9.28	『棄景II(丸田祥三作品集)』		朝日夕刊	2.25
〃	上野 昂志	東京夕刊	11.25	『奇蹟の器』千葉成夫著		美術(月刊)	234
『大野廣子画集』本間美術館編	(よ)	読 売	9.10	『近代を歩く—いまも息づく東海建築・土木遺産』東海近代遺産研究会編	高橋 知之	建築史学	24
『岡村昭彦研究 ジャッター以前』	(斑)	朝日夕刊	5.15	『空間の生と死—アジャントとエローラ』(建築巡礼27)武澤秀一著	吉田 綱市	〃	〃
『オセアニア1 島嶼に生きる』石川榮吉監修、大塚柳太郎・片山一道・印東道子編	後藤 明	民博通信	68	フォト・エッセー集『蔵』高井潔著		日 経	11.12
『夫・手塚治虫とともに』手塚悦子著	瀬戸川悦子	毎 日	2.27	『クリスティーズの内幕—華麗なる美術オークションの世界』ジョン・ハーバード著 坂本憲一訳	川口 昌人	新美術新聞	734
『オリジナリティと反復』ロザリンド・クラウド著 小西信之訳	(賀)	新美術新聞	731	〃	編 集 部	美術手帖	708
『おんな紋—血縁のフォークロア』近藤雅樹著	波平恵美子	民博通信	69	『グリニッジの光りを離れて』宮内勝典著	鷹見 明彦	〃	713
	(カ 行)			『クレーの絵と音楽』ピエール・ブーレーズ著	川口 昌人	新美術新聞	723
『鏡』ユルギス・バルトルシャイティス著	柏木 博 朝 日	2.12	『藝術家の肖像』片山攝三著	菊竹 淳一	デアルテ	11	
『額縁の歴史』クラウド・グリム著 前堀信子訳	(西)	新美術新聞	747	〃	読 売	2.20	
〃	(前)	読 売	9.3	『<芸術>の終焉』國安洋著	岩城 見一	美 学	181
『カッサンドル』サントリー・ミュージアム〔天保山〕編		日 経	8.27	『芸術の非精神性的ことについて—展覧会プロデューサーから見た美術世界』新藤信著	(編 集 部)	美術手帖	708
『角川 絵巻物総覧』監修梅津次郎 編集真保亨/宮次男/田友之		〃	4.30	〃	朝 日	3.5	
『カフェーと喫茶店—モダン都市のたまり場』初田亨著	内田 青蔵	建築史学	24	『芸術文化のエコロジー』斎藤稔著		サンケイ	10.17
『歌舞伎のデザイン図典』岩田アキラ著 中村雀右衛門監修		朝日夕刊	7.25	『ゲニウス・ロキー建築の現象学をめざして』クリスチャン・ノルベルグニシュルツ著 加藤邦夫・田崎祐生共訳	吉田 綱市	建築史学	24
『壁の探求 安藤忠雄論』古山正雄著		〃	1.14	『ケルズの書』挿絵複製		朝日夕刊	11.20
『カミナルフユ』		読売夕刊	6.8	『元型と象徴の事典』ベヴァリー・ムーン編/橋本模矩他訳	小西 聖子	毎 日	11.6
『鴨井玲』富山栄美子撮影	(編 集 部)	美術の窓	148	『現代アートを聴く—20世紀音楽と今日の美術』倉林靖著	倉林 靖 インタヴュー	C.A.R.	19
『彼等の昭和』川崎賢子著	川崎 賢子	美 術(月刊)	235	『現代版画の基礎知識』長谷川公之著		美術の窓	143
『画論』村上華岳著	中谷 貞彦	東 京	9.17	『建築人物群像』土沢紀子・沢良子編	中西 亨	史迹と美術	655
『贋作への情熱』レアル・レサル著	田中 穰	美 術(月刊)	234	『「建築」批判』鈴木隆之著	松永 安光	サンケイ	10.31
『カンディンスキー研究 非対象絵画の成立 その発展過程と作品の意味』西田秀穂著	宮島 久雄	美 学	182	『ゴーギャン』湯原かの子著	林 紀一郎	東 京	5.7
『企業と史料第5集』企業史料協議会刊		毎日夕刊	6.15				

『工芸』(東京テキスタイル研究所)	(西)	新美術新聞	739	『写楽を探せー謎の天才絵師の正体』	(俊)	毎	日	5.29	
『江東区の仏像』江東区教育委員会刊			毎	日				8.3	
『五感の芸術論』篠原資明著	篠原 資明	美術(月刊)	238	『ジャン・コクトー 幻視芸術の魔術師』高橋洋一著		サンケイ		12.4	
『<個室>とくまなざし> 菊富士ホテルから見る「大正」空間』武田信明著	川嶋 至	東京	12.10	『19世紀フランス 夢と創造』小倉孝誠著	清水 徹	毎	日	3.27	
『こどものための博物館』染川香澄著	(綾)		毎	日				3.20	
『子どもマンガの巨人たち 楽天から手塚まで』竹内オサム著	荻原 靖史	サンケイ	12.3	『十二支のかたち』柳宗玄著	大井 健地	美術の窓		149	
『御用絵師狩野派の血と力』松木寛著	松木 寛	美術(月刊)	233	『肖像画』宮島新一著	今谷 明朝	日		1.15	
『コ・ラボ・アート 第4号 子どもが答える現代美術の大問題!』	(若)	朝日夕刊	9.27	『象徴派世代 1870—1910』ビエールニルイ・マチュ著／窪田般弥訳		毎	日	12.12	
『ゴングールの日記』斎藤一郎編訳	清水 徹	毎	日	10.30	『縄文時代研究事典』戸沢充則編	森本 哲郎	〃	5.22	
	(サ 行)				『【書簡集】梅原龍三郎先生の追憶』岡村辰雄著	赤松 俊輔	朝日夕刊	9.5	
『錯乱のニューヨーク』レム・コールハース著	上野 俊哉	朝	日	12.10	〃	田宮 文平	墨	116	
『さっちゃん』荒木経惟撮影	関川 夏央	〃		2.5	『白洲正子自伝』白洲正子著	島森 路子	毎	日	2.27
『The visual art of JEAN COCTEAU』ウィリアム・A・エンボーデン著		日	経	〃	『知られざる傑作』バルザック著	高階 秀爾	〃	6.19	
『シェイクスピアのイコノロジー』岩崎宗治著	(白)	新美術新聞	728	『新・建築入門』隈研吾著	宮沢 章夫	朝	日	3.5	
『死者のいる中世』小池寿子著	相澤 隆	史学雑誌	104—7	『杉並の石造物一鳥居・狛犬(神使)・石祠・百度石』杉並区教育委員会編		毎	日	5.30	
『システナーナのミケランジェロ』青木昭著		読売夕刊	7.10	『数奇の庭 川崎幸次郎作庭集』		東	京	2.12	
『資生堂ギャラリー七十五年史』	中島 理壽	新美術新聞	733	『図集 日本都市史』高橋康夫・吉田伸之・宮本雅明・伊藤毅編	藤川 昌樹	建築史学		25	
『実践 版画収集テクニック』		毎	日	7.11	『住まいの民族建築学—江南漢族と華南少数民族の住居論』浅川滋男著	太田 邦夫	建築史学	24	
『死の沈黙』写真=D・ライナルツ 文=Ch・G・フォン・クロッコフ	西谷 修	美術手帖	712	『図録 葛飾北斎展 江戸のメディア 絵本・版画・肉筆画』大江志乃夫著		毎	日	11.6	
『澁澤龍彦画廊』米倉守監修		新美術新聞	739	『図録・芭蕉の肖像』江東区芭蕉記念館編		東	京	5.2	
『ジャコメッティ』ジョルジュ・ディディユニベルマン著 石井直志訳	谷川 渥	読	売	6.25	〃	毎	日	5.13	
『写真の館』ポール・セロー著 村松潔訳	逸見 陽子	美術手帖	708	〃		読	売	(都民版) 5.3	
					『精神の対位法』粟津則雄著	(一)	美術の窓	143	
					『西洋絵画の流れ』ジャン＝クリストフ・バイイ著 小勝禮子・高野禎子訳		東	京	1.15
					『セザンヌ回想』P・M・ドラン著	宝木 範義	〃	10.29	
					『セックス、アート、アメリカンカルチャー』カミール・バーリア著	上野 俊哉	朝	日	11.26

平成7年定期刊行物所載文献(和書評)

『戦後マンガ50年史』 竹内オサム著	山本 育夫	美術手帖	709							『寺田政明画集』	編集部	美術の窓	148
『戦争がつくる女性像』若菜みどり著	阿部 謹也	朝 日	11.12							『天平のミケランジェロ』田中英道著	田中 英道	美 術 (月刊)	243
『特別編3 美術工芸』(仙台市史)	有賀 祥隆	市史せんだい、	5							『伝藤原公任筆 古今和歌集』小松茂美編集、解説		每 日	10.30
『装飾古墳が語るもの』国立歴史民俗博物館編		東 京	9.3							『東京写真』飯沢耕太郎著	清水 穰	美術手帖	711
『相続税が払えない』奥村勝之著		美 術 (月刊)	236							『東京漂流』藤原新也著	"	"	"
『空のかたち一野見山眺治美術ノート』野見山眺治著	佐々木 豊	東 京	2.12							『東京水辺の風景』小野誠一郎著		読 売 (都民版)	9.17
	(タ 行)									『ドガに就いて』ヴァレリイ著 吉田健一訳	中谷 貞彦	東 京	9.10
『大正期新興美術運動の研究』五十殿利治著	五十殿利治 インタヴェュー	C.A.R.	16							『\$ 東巴(ドンバ)文字全集 \$』雲南省社会科学院東巴文化研究所編集	川村 範行	"	10.30
『大仏再建』五味文彦著	今谷 明	朝 日	10.15								(ナ 行)		
『高橋節郎 漆』高橋節郎著		(木)	東京夕刊	10.21						『内部から見た日本の公立美術館—その問題点と改善私案—』大島清次著		美術の窓	145
『竹久夢二と日本の文人』品川洋子著		山折 哲雄	読 売	10.1						『ナンバ写真日記』佐々木教著	橋爪大三郎	美術手帖	715
『魂のイコン 山下りん』高橋文彦著	ワシオ・トシヒコ	サンケイ	10.22							『二時間のモナ・リザ』西岡文彦著		絵	372
『丹阿弥岩吉画集』			朝日夕刊	7.5						『にせ物語絵』信多純一著	川村 二郎	読 売	6.4
『地球の歩き方79 フィレンツェと中世・ルネッサンス都市』地球の歩き方編集室著作編集	大井 健地	美術の窓	150							『日本映画史』佐藤忠男著	川本 三郎	毎 日	10.9
『中国山水画の誕生』M. サリヴァン著 中野美代子、杉野目康子訳	谷川 渥	読 売	7.23							『日本エロ写真史』下川耿史著	(賀)	新美術新聞	750
『中国の陶磁3 三彩』弓場紀知著	(前)	読 売	10.1							『日本近代美学序説』金田民夫著	武藤三千夫	美 学	183
『注視者の日記』港千尋著	清水 穰	美術手帖	711							『日本のパブリック・アート』竹田直樹著		東 京	4.2
『中世写本の彩飾と挿絵—言葉と画像の研究—』辻佐保子著	愛宕 出	新美術新聞	744							"		朝日夕刊	3.18
『彫刻の思想』飯田善國著	秋山 駿	朝日夕刊	11.27							『改訂増補 日本美術史』武者小路穰著 監修=田中一松	大井 健地	美術の窓	152
『月と6 ペンス』サマセット・モーム著	高階 秀爾	毎 日	6.19							『日本美術全史』田中英道著	田中 英道	美 術 (月刊)	243
『テクノスケープ—都市基盤の技術とデザイン』片木篤著	上野 俊哉	東 京	9.3							"	高畑 勲	朝 日	7.23
『手塚治虫—ロマン大宇宙 上下』大下英治著	石子 順	"	4.30							『ニューヨーク・アート・スケッチ』小久保彰著	鷹見 明彦	美術手帖	713
											(ハ 行)		
										『「敗者」の精神史』山口昌男著	今谷 明朝	朝 日	9.3
										"	芹沢 俊介	東京夕刊	9.16

『パウハウスと茶の湯』山脇道子著	山脇 道子	美術 (月刊)	237						
〃		美術手帖	709			(白)	新美術新聞	742	
『博物学の黄金時代』リン・バーバー著 高山宏訳	西村 三郎	東 京	12.17						
『幕末維新懐古談』高村光雲著	大井 健地	美術の窓	146						
『幕末・明治の生活風景』須藤功編著	高島 俊男	毎 日	8.21						
『橋の探見録』小橋健一撮影		朝 日	11.12						
『はじめての美術史』マルシア・ポインソン著 木下哲夫訳	鈴木杜幾子	東 京	12.24						
『バスキン』武田厚編		美術の窓	150						
〃		東 京	8.27						
〃	(よ)	読 売	7.30						
『ハプスブルグ家と芸術家たち』ヒュー・トレヴァーニローバー著 横山徳爾訳		東 京	3.26						
『パブリック・アートが街を語る』杉村莊吉著		美術手帖	709						
『バリ島の日々』宮内勝典著	鷹見 明彦	〃	713						
『美学講義 上』ヘーゲル著 長谷川宏訳	竹田 青嗣	朝 日	10.8						
『美学講義』ヘーゲル著 長谷川宏訳	谷川 渥	読 売	9.24						
『東山魁夷をたずねて』ビジョン企画出版社編		東 京	11.12						
『東山魁夷全版画集』長野県信濃美術館東山魁夷館編		日 経	7.2						
『ビカソからシャガールへー洗濯船から蜂の巣ー』ジャンヌ・ヴァルノー著	編 集 部	美術の窓	145						
『美術館からの逃走』勅使河原純著	勅使河原純	美術 (月刊)	241						
〃	谷川 渥	読 売	10.1						
『美術館の誕生』岩淵潤子著	江原 和雄	サンケイ	10.29						
〃	武田 厚	東 京	11.12						
『美術建築師・菅原栄蔵』菅原定三著	(沢)	毎 日	3.27						
『美術の凶書 旧刊案内』青木茂著	(迅)	東 京	12.10						
『美人論』井上章一著	稲増 龍夫	〃	10.8						
『百貨店の誕生ー明治大正昭和の都市文化を演出した百貨店と勸工場の近代化』初田亨著	内田 青蔵	建築史学	24						
『評伝 ジャン・コクトー』ジャンニジャック・キム／エリザベス・スプリッジ／アンリ・C・ペーアル著 秋山和夫訳									
『ひらがな日本美術史』橋本治著	中野 翠	朝日夕刊	9.25						
『平山郁夫のお釈迦様の生涯』高田好胤監修／西村和子構成・文		東 京	10.1						
『HIROSHIMA / 半世紀の肖像〜やすらぎを求める日々』大石芳野著	山家 誠一	アトリエ インター ナショナル	822						
〃		朝 日	7.22						
『ファン・ゴッホとミレー』リュ・ファン・ティルポルフ編	中谷 貞彦	東 京	9.24						
『フィレンツェ』若桑みどり著	阿部 謹也	東京夕刊	1.12						
『服飾の中世』徳井淑子著	倉田 保雄	東 京	3.19						
『複製技術時代の芸術』W. ベンヤミン著	柏木 博	読 売	7.3						
『蕪村全集第七巻』		朝日夕刊	7.6						
『ブタの丸かじり』東海林さだお著	荒川 洋治	朝 日	2.19						
『フリーランス おおた慶文画集』	森 安彩	読売夕刊	7.17						
『プロバンス歴史と印象派の旅』牟田口義郎、佐々木三雄・綾子著		東 京	3.12						
『文化遺産(季刊誌)』並河萬里写真財団		読売夕刊	3.2						
『ベネチア・ピエーナレーー日本参加の40年』国際交流基金・毎日新聞社発行		毎日夕刊	8.29						
『ベルセウスとメドゥーサーーロマン主義からアヴァンギャルドへ』マリオ・プラーツ著 末吉雄二十伊藤博明訳	谷川 渥	美術手帖	708						
〃	〃	読 売	3.27						
『葬られた原爆展 スミソニアン抵抗と挫折』フィリップ・ノビーレ／B・J・バーンステイン著 三国隆志他訳	池内 了	毎 日	10.23						
『ボクの満州ー漫画家たちの敗戦体験』中国引揚げ漫画家の会編	(了)	〃	8.15						
『彫工 嶋村俊表 田無神社一木殿写真集』西濱剛撮影	宮田 亮平	サンケイ	9.11						

平成7年定期刊行物所載文献(和書評)

『本の美術誌一聖書からマルチメディアまで』中川素子著	西野 嘉章	美術手帖	706	『ミュージアムに見るアメリカ』中富信夫著	サンケイ	9.21
	(マ行)			『未来のマドンナ』ヘンリー・ジェイムス著	高階 秀爾	毎日 6.19
『まぼろし国・満洲』江成常夫著	富岡多恵子	朝 日	5.28	石井研堂著『改訂増補 明治事物起源』と同書復刻版の利用上の留意点 付編 改訂増補版・復刻版対照新規作成目次	佐藤 洋一	郷土と博物館 80
『マルセル・デュシャン全著作』ミシェル・サヌイエ編 北山研二訳	北山 研二	美術 (月刊)	242	『メコン』石井米雄著 横山良一写真		東京 11.26
〃	(水)	毎日	8.28	『森本草介画集』	(志)	アート・トップ 150
『漫画原論』四方田犬彦著	山本 育夫	美術手帖	709	〃		日 経 11.5
『まんが西洋美術史』全3巻 高階秀爾監修	岡村多佳夫	〃	702		(ヤ行)	
『漫画にみる1945年』清水勲著	宮本美智子	読 売	7.30	『弓野(四季軸彩)』中島宏著		日 経 9.3
『マンガの現代史』吉弘幸介著	山本 育夫	美術手帖	709	『ヨーロッパのキリスト教美術』エミール・マール著/柳宗玄他訳		サンケイ 12.6
『まんだらけ風雲録』古川益三著		朝 日	6.11	『ヨーロッパの色彩』ミシェル・バストゥロー著	丸谷 才一	毎日 5.15
『ミイラにダンスを踊らせて—メトロポリタン美術館の内幕』トマス・ホーザリング著 東野雅子訳	(山)	新美術新聞	725	『ヨーロッパの中世—芸術と社会』ジョルジュ・デュビイ著	阿部 謹也	朝 日 6.4
〃	末永 照和	美術手帖	703	〃	(恭)	毎日 5.29
〃	大井 健地	美術の窓	145	『ヨーロッパの街並と屋根』向田直幹写真・文		東京 10.22
〃	宝木 範義	東京	1.29	『横尾忠則自伝』横尾忠則著	中野 翠	朝日夕刊 12.20
『未完 佐伯祐三の「巴里日記」—吉園周蔵宛書簡—』匠秀夫編・著	大井 健地	美術の窓	148	『横尾忠則日記人生』横尾忠則著		日 経 7.16
『ミケランジェロの手紙』杉浦明平著	杉浦 明平	美術 (月刊)	239	〃		毎日 7.3
『三島由紀夫の家』篠田達美著 篠山紀信撮影		東京	11.19	〃	(毬)	読 売 7.16
〃	鈴木杜幾子	〃	12.24		(ラ行)	
『水木しげるのラバウル戦記』水木しげる著	水木しげる	美術 (月刊)	232	『裸体人類学—裸族からみた西欧文化』和田正平著	嶋田 義仁	民博通信 69
『水のゆくえ 舟越桂作品集』	(志)	アート・トップ	147	『掠奪美術館』佐藤亜紀著	佐藤 亜紀	美術 (月刊) 240
〃		日 経	5.7	『ルネサンスの芸術家工房』ブルース・コール著 越川倫明ほか訳	大熊 敏之	東京 4.9
〃	(石)	毎日	5.15	『レンブラント』クリスティアン・テュンベル著		〃 1.22
〃		読 売	5.7	『レンブラント工房』尾崎彰宏著	林 紀一郎	〃 11.26
『三井本館と建築生産の近代化』『三井の建築家 三井合名をめぐって』『三井の集會所 有楽町から札幌まで』『三井の土地と建築 R・W・アーウィンの事績にもふれて』石田繁之介著	鈴木 博之	建築史学	25	〃	鈴木杜幾子	〃 12.24



〃	(布)	〃	11, 12
〃	(石)	毎 日	9. 26
『ロマネスク古寺巡礼』田沼武能写真		東 京	12. 3

(ワ 行)

『わがいのち「阿寒に果つ」とも』(加清純子画集)	(T)	毎日夕刊	5. 12
『100 Mt. FUJI 神々の宿る山』大山行男撮影		東 京	10. 15

洋 書

Miyake Akiko, Kodama Sanehide, Teele Nicholas: A Guide to Ezra Pound and Ernest Fenollosa's Classic Noh Theatre of Japan		学 鏡	92-7
--	--	-----	------

FREEDBERG, David / DE VRIES, Jan. ed. : Art in history / History in art: Studies in Seventeenth-Century Dutch Culture	青野 純子 美	学	183
---	---------	---	-----

PLANTINGA, Carl: Film Theory and Aesthetics Notes on a Schism	木村 建哉	〃	181
---	-------	---	-----

DE KERCKHOVEK, Derrick: Kunst und Natur: ökologische Ästhetik	秋庭 史典	〃	182
---	-------	---	-----

SIRCELLO, Guy: Love and Beauty	一色 裕	〃	180
--------------------------------	------	---	-----

VETLESEN, Arne Johan: Perception, Empathy, and Judgment	秋庭 史典	〃	〃
---	-------	---	---

ORTH, Ernst Wolfgang "Phänomenologie in Ernst Cassirers Philosophie der symbolischen Formen", in: DIALEKTIK 1995, SS. 47-60.	〃	〃	182
--	---	---	-----

HANFLING, Oswald: Philosophical Aesthetics: An Introduction	福田 達夫	〃	181
---	-------	---	-----

ECKERT, Michael: "Vernunftkritik und Ästhetik Moderne" in: Philosophisches Jahrbuch, 101. Jahrgang 2. Halbband 1994 ss. 248-2	小川 真人	〃	182
---	-------	---	-----

時 評

一 般

特集 発展する中国の美術事情 PART 2 中国の展覧会事情と作家たち	北室 南苑	ギャラリー (月刊)	122
-------------------------------------	-------	------------	-----

洋才書魂		新美術新聞	747, 750
------	--	-------	----------

第22回サンパウロビエンナーレに見る世界の現代美術の現況	金沢 毅	成安造形大学研究紀要	2
------------------------------	------	------------	---

美術シンポジウム初冬に続々と開催	(吉)	日本美術工芸	667
------------------	-----	--------	-----

阪神大震災、美術関係にも勘大な被害いち早く救援・復興の動きも		美 術 (月刊)	234
--------------------------------	--	----------	-----

出よCD-ROM編集者	萩原 朔美	東京夕刊	10. 27
-------------	-------	------	--------

芸術界にもマルチメディア旋風 枠を超えた創造に一役買う	高野 義雄	読売夕刊	12. 9
-----------------------------	-------	------	-------

前 年 度 分

各団体絵画寸評	(編 集 部)	アート・トップ	144
---------	---------	---------	-----

全国121名の学芸員が選ぶ、1994年度ベスト展覧会		芸術新潮	542
----------------------------	--	------	-----

日本建築学会設計競技入選作品<21世紀の集住体>		建築雑誌	1370
--------------------------	--	------	------

1994年度日本建築学会東海賞受賞者の発表	池 浩三	〃	〃
-----------------------	------	---	---

'94年美術展入場者数、バーンズ・コレクション展107万人動員で断然トップ		新美術新聞	724
---------------------------------------	--	-------	-----

タカシマヤ文化基金平成6年度3作家、2団体に助成決定		〃	〃
----------------------------	--	---	---

新美術時評 「現代日本美術」の変質と批評	北澤 憲昭	〃	730
----------------------	-------	---	-----

特集 平成6年後期の美術賞とその作品アマチュアイズムとプロ意識 美術の新たな可能性はどこに?		美 術 (月刊)	232
--	--	----------	-----

平成7年定期刊行物所載文献(時評)

特集 平成6年後期の美術賞とその作品 アマチュアイズムとプロ意識 <「内部」と「外部」の物語を超えて>	天野 一夫	"	"	特集 1994年下半年期美術界大研究 工芸総論 問い直された工芸的造形の本質	金子 賢治	"	"
特集 平成6年後期の美術賞とその作品 アマチュアイズムとプロ意識 アマチュアの条件	小倉 正史	"	"	特集 1994年下半年期美術界大研究 具象彫刻総論 独特なフォルムの展開	柳生不二雄	"	"
特集 平成6年後期の美術賞とその作品 アマチュアイズムとプロ意識 “芸術”という希望	(編集部) 藤田 一人	"	"	特集 1994年下半年期美術界大研究 抽象彫刻/立体・インスタレーション アジアの現代美術のパワーに注目	三田 晴夫	"	"
展覧会図録で回顧する「美術展」この一年		"	"	特集 1994年下半年期美術界大研究 版画総論 変化する「版画」表現	瀬尾 典昭	"	"
有力二紙が選んだ昨年の美術展ベスト5	(K)	"	233	特集 1994年下半年期美術界大研究 写真総論 90年代の新しい<風>	飯沢耕太郎	"	"
特集 '94現代美術の実績 キュレーションの冴えを見せた工藤哲巳展、長沢英俊展	三田 晴夫	美術手帖	703	当年度分			
特集 '94現代美術の実績 あちこちで光ったキュレーションの意欲	菅原 教夫	"	"	美術業界の昨今76 「正義の見方」	飯野 光男	アートマインド	78
特集 '94現代美術の実績 芸術の本質は作品に宿る	高島 直之	"	"	美術業界の昨今77 阪神大震災と美術界	"	"	79
特集 '94現代美術の実績 炙り出された美術館のアキレス腱	谷 新	"	"	美術業界の昨今78 没落元年	"	"	80
特集 '94現代美術の実績 同時代の精神構造としての美術へ	中村 英樹	"	"	美術業界の昨今79 アンバランスな経済大国	"	"	81
特集 '94現代美術の実績 点滅する現在 在日本の体質と構造をめぐって	三田 晴夫 菅原 教夫 高島 直之 中村 英樹	"	"	美術業界の昨今80 画商界も氷河時代	"	"	82
特集 1994年下半年期美術界大研究		美術の窓	144	美術業界の昨今81 大変な時代	"	"	83
特集 1994年下半年期美術界大研究 94年下半年の美術界総論 相次ぐ大型展覧会—印象主義がなぜ受け入れられるのか—	中山 公男	"	"	一九九五年<平成七年>美術界この一年	中島 理壽	絵	382
特集 1994年下半年期美術界大研究 日本画総論 伝統と現代の確執	武田 厚	"	"	「見る」「創る」活動派のためのデータ特集'95 今年度の展覧会(美術館)&公募展 PART 1 見る:美術館レビュー&プレビューチェック		ギャラリー(月刊)	120
特集 1994年下半年期美術界大研究 日本画若手論 外へ向ける意識と内へ注ぐ眼差し	ワシオ・トシヒコ	"	"	「見る」「創る」活動派のためのデータ特集'95 今年度の展覧会(美術館)&公募展 PART 2 創る:公募展最新インフォメーション		"	"
特集 1994年下半年期美術界大研究 洋画総論 内省の年	高山 淳	"	"	特集 青山周辺に秋の旋風 アートが街にやってくる		"	125
				海外美術展と震災の影響		新美術新聞	729
				入場料収入全額を震災義援金に 日本版画協会		"	730

阪神大震災義援展覧会、義援金1066万円が被災地に	〃	〃	1995年の美術界を回顧 大規模な浮世絵展相次ぐ	川口 直直	〃	〃
セントルイス美術館で「近代日本画の一世紀展」国際交流基金本年度事業計画決まる	〃	734	1995年の美術界を回顧 公官主導と芸術の危機	北澤 憲昭	〃	〃
(財)西洋美術振興財団がスタート	〃	736	CIMAN(現代美術)委員会総会を終えて	原 俊夫	博物館研究	329
国際美術評論家連盟年次総会マカオで開催	南条 史生	〃	ベネチア・ビエンナーレ日本館の出品作家決まる		美術(月刊)	232
新美術時評 年末所感一考える葦	北澤 憲昭	〃	画廊レベルの参加も急増本格化する米美術界のコンピュータインターネット	真田 一貫	〃	240
日本芸術院新会員決まる	〃	〃	ニューヨークの最先端アートを網羅したソーホー・アーツ・フェスティバルの3日間	〃	〃	243
1995年の美術界を回顧 韓国美術の国際的な活躍目立つ	谷 新	〃	特集 1995年上半年期の美術界大研究 作家が選ぶ人気展覧会ベスト10		美術の窓	149
1995年の美術界を回顧 すべてに低調だったシーン	無 記 名	〃	回顧'95 美術 近代見直しの潮流と並行戦後を検証、「振り出し」に	田中 三蔵	朝日夕刊	12. 6
1995年の美術界を回顧 戦後50年に「戦争画」の公開不発!	田中日佐夫	〃	時代のキーワードは「アート」大人たちよ絵心を磨こう		サンケイ	9. 21
1995年の美術界を回顧 待望の常設展示室オープン	建畠 哲	〃	アート '95回顧 低い現代美術の社会的受容度	松村 寿雄	〃	12. 31
1995年の美術界を回顧 榎倉康二の死、日本の現代美術に区切り	中村 英樹	〃	文化 野外空間に吹く風	西村 顕治	日 経	9. 2
1995年の美術界を回顧 圧倒的な「原爆の図」、丸木位里の死	宝木 範義	〃	表現形式問う試み多彩		〃	12. 30
1995年の美術界を回顧 倫明氏逝き画壇	米倉 守	〃	輸入版画の売れ行き回復 円高で値ごろ感		日経夕刊	3. 2
1995年の美術界を回顧 期待しすぎた東京都現代美術館	ワシオ・トシヒコ	〃	DATAアイ 輸入増える「身近な」絵画		〃	6. 5
1995年の美術界を回顧 労作『大正期新興美術運動の研究』の刊行	三上 豊	〃	苦情が急増する絵画商法		毎 日	2. 5
1995年の美術界を回顧 大震災に揺さぶられた美術館の基盤	中島 徳博	〃	「バブル美術品」自治体に照準		〃	1. 6
1995年の美術界を回顧 世相に負けたか?回顧の意欲わかず	武田 厚	〃	いま写真展がホット		毎日々刊	2. 7
1995年の美術界を回顧 前水戸市長の死と美術行政	森 司	〃	美術この1年 大震災、贗作騒動、戦争画 教訓多く、課題積み残す	三田 晴夫	〃	12. 13
1995年の美術界を回顧 伊東順二VS本江邦夫論争	矢口 國夫	〃	'95この1年 欠落する「戦中」の検証 「工芸」「癒し」など今後へ大きな示唆	芥川 喜好	読売夕刊	12. 13
1995年の美術界を回顧 佐伯祐三真贋騒動と曖昧な幕引き	正木 基	〃	'95この1年 震災が「収蔵」問い直す 街中や自然の中で場の分散化も顕著	菅原 教夫	〃	〃

受賞・美術賞等

平面審査所感	三木 多聞	現代日本美術展29回 図録 (東京都美術館)	
立体部門講評	本間 正義	〃	
選考経過	三田 晴夫	〃	
高松宮殿下記念世界文化賞について	田内 正宏	ザオ・ウーキー展 図録 (石橋美術館)	
講談社出版文化賞決まる		新美術新聞	737
TAMON賞決まる		〃	740
長谷川智恵子さんにシュヴァリエ勲章		〃	749
倫雅美術奨励賞7回決まる		〃	751
ADC賞って何?!	編集部	デザインの現場	77
金沢工芸大賞に思う	大樋 長左衛門	陶 説	511
特集 平成7年前期の美術賞とその作品 [平面] 今だからほしい破綻を恐れぬイメージ表現の強さ	宝木 範義	美術 (月刊)	239
特集 平成7年前期の美術賞とその作品 [陶芸/クラフト] 目立った無技巧の技巧派	乾 由明	〃	〃
選考委員を代表して (第8回京都美術文化賞)	小倉 忠夫	美術京都	15
美術賞緊急速報 第38回安井賞、第13回山種美術館賞、第30回昭和会賞、第4回中村錦賞、第10回小山敬三賞、第14回安田火災美術財団奨励賞		美術の窓	145
特集 1995年上半期の美術界大研究 推薦美術賞グランプリ受賞結果全覧		〃	149
特集 1995年上半期の美術界大研究 一般公募グランプリ受賞結果全覧		〃	〃
特集 1995年上半期の美術界大研究 1995年上半期のグランプリ受賞結果全覧		〃	〃
審査所感	笠井 誠一	前田寛治大賞展図録 (高島屋)	

シード作家の優位と新しい波(審査経過及び所感)  
瀧 悌三 〃  
出品傾向について 富山 秀男 〃

美術市場

第一回AJCオークション開催 次代の美術市場を担うもの	(常)	アート・トップ	144
ニューヨーク'94年秋のオークション・レポート	アンドリュース・デッカ	アトリエインターナショナル	816
再び活気? ARCO'95	ロッシーナ・インゼンガ	〃	818
ニューヨーク・アートショー'95	アンドリュース・デッカ	〃	〃
第9回サガ展 版画フェア	ハリー・ベレ	〃	819
二つのアートフェア 一ストラスブルとマーストリヒト	ニコラ・ボウエル	〃	〃
フランクフルト・アートフェア: 観客にわかりやすい新しいコンセプト	クリスティアン・ロートマン	〃	820
第26回バーゼル・アートフェア	ハリー・ベレ	〃	821
シンガポール アートフェア'95	パトリシア・ロー	〃	822
いかに中世写本を我がものとするか	高宮 利行	学 鏡	92-7
特集 NICA F95 マルチスキャン NICA Fを見る・語る・考える		ギャラリー (月刊)	119
インタビュー 白石正美氏に聞く 厳しい選択ではありませんがNICA Fは来年も横浜で開催します		〃	121
特集 発展する中国の美術事情 PART 1 北京のオークション 開催の度に、落札レコードの更新を続ける上昇気運	北室 南苑	〃	〃
美術市場リーダー51 厳しい選別眼(ロンドン)、低評価額でしのぐ(NY)、「美術商協会」が結成	瀬木 慎一	新美術新聞	722
美術市場リーダー52 揺らぐ美術商と大型小売店の絆	〃	〃	725
現代美術 オークション再開へコレクターズ・オークション		〃	〃
美術市場リーダー53 欧米市場四年間の価格推移	瀬木 慎一	〃	728

落札率71%で乗り切るシンワアートオークション	〃	730			[ギャラリー・スタンブラーリー&誌上成り行きオークション]詳細と全落札結果	編集部	〃	〃
美術市場リーダー54 輸入絵画類5.9%の伸び 高額品手数料2%に クリスティーズ	瀬木 慎一	731	〃	〃	新都美術館購入した高 額美術品の価格とその 購入先全リスト【付】 収集委員&評議員全氏名		〃	〃
外国絵画、工芸を加え 125点を出品 A.J.C. オークション	〃	733	〃	〃	道楽の経済学9~20	中平 嘉弘	〃	232~243
大震災復興支援 美術 家有志百余人 チャリ ティティーオーク ションを開催	〃	〃	〃	〃	ウォーホル高額落札 が象徴する好況アメ リカ絵画市場	真田 一貫	〃	232
美術市場リーダー55 交差ししない両極の “現代美術”	瀬木 慎一	734	〃	〃	深刻な作品不足に泣 くバリ競売市場の現 況	永島 聡美	〃	233
A.J.C. オークシ ョン	〃	736	〃	〃	市場の動き シンワ アートオークション 16回落札結果JAA 物故・128回、アポ ロオークション		〃	〃
「絵画のデパート」 オープン	塩野 正雄 富田 芳和 (聞き手)	〃	〃	〃	コレクターズ・オー クション1回開催 リサイクル時代の新 しい大人の遊びー現 代美術オークション (株)代表・実川暢宏 氏に聞く		〃	234
美術市場リーダー56 印象派、近代美術の 復調が示すもの	瀬木 慎一	737	〃	〃	エスト・ウエスト A/毎日AA26回/ JAA129回、130回 落札結果	清水 秀作	〃	〃
落札総額1億7千6 百万円 シンワア ートオークション	〃	〃	〃	〃	サザビーズ、アメッ クスの業務提携で加 州の実業家が落札価 250万ドルをカード 支払い、	真田 一貫	〃	〃
美術市場リーダー57 大手絵画商の脱落め だつ	瀬木 慎一	740	〃	〃	地道に歩む「オー クションギンザ」ほか、	清水 秀作	〃	235
美術市場リーダー58 価格の下落期を切り 抜ける智略	〃	743	〃	〃	春の恒例印象派・近 代絵画オークション	真田 一貫	〃	〃
美術市場リーダー59 現代美術に回復の兆 し一九九三年の底脱 出?	〃	746	〃	〃	仏美術競売界を独走 するJ・タジャン	永島 聡美	〃	〃
落札率80%超える シンワアートオー クション	〃	747	〃	〃	'95年3月「シンワ アートオークション」 落札結果	清水 秀作	〃	236
特集 緊急アンケ ート『今…1995年秋 美術市場は』	〃	〃	〃	〃	美術作家による阪神 大震災復興支援「100 人選」チャリティー オークション		〃	237
新しい顧客を発掘す る努力を	水上 睦男	〃	〃	〃	エスト・ウエスト オークション/毎日 アートオークション 28回	清水 秀作	〃	〃
美術市場リーダー60 国際市場との接点の 確保が必要	瀬木 慎一	749	〃	〃	庶民コレクターに朗 報 オークションで の分割払いを可能に した会員カード、ド ルオーに登場	永島 聡美	〃	〃
A・J・C.オークシ ョン落札率70%	〃	751	〃	〃	コレクターズ・オー クション1回全落札 結果		〃	〃
美術市場リーダー61 アート・フェアが牽 引者となる時代?	瀬木 慎一	752	〃	〃	A・J・Cオークシ ョン2回全落札結果	清水 秀作	〃	238
陶磁餘滴(17) 美術 倶楽部の競売	朴 秉來 陶 説	503						
A・J・Cオークシ ョン1回全落札結果	清水 秀作	232	美術 (月刊)					

総落札額220億円、 落札率8割以上久々の 盛況みせた2大 オークションが示す もの(ストライム・ コレクション/コリ ン・コレクション)	真田 一貫	〃	〃	特集 ここが違う！ 彫刻家の版画 作る 人の意欲、扱う人の 思い	〃	〃	243
特集 平成7年前期 の美術賞とその作品 [受賞作家のコレク ション・ガイド] 市場に及ぼす微妙な 影響	清水 秀作	〃	239	ガレ「ひとや茸ラン プ」が7,800万円ー9 月のエスト・ウエス トオークションほか	〃	〃	〃
「根付」優品に1730万 円ーサザビーズ・ロ ンドンオークション	〃	〃	〃	第一回A.J.C.オー クション落札結果	美術の窓		143
シンワアートオーク ション18回落札結果 電話ビットも活発で 一般参加者が増える	清水 秀作	〃	〃	アポロオークション 全落札結果	〃	〃	〃
エスト・ウエスト オークション J・ A・Aオークション 133回他落札結果	〃	〃	240	特集 1994年下半年 美術界大研究 マー ケット総論 美術市 場回復の遅れの要因	〃	〃	144
古美術・現代美術画 商64店による東美特 別展13回開かれる	〃	〃	241	特集 1995年上半年 の美術界大研究'95 上半期オークション 総まとめ	〃	〃	149
特集 本誌が映した 美術市場の20年 どう生かしてゆくの か？本格的和製オー クションの場	編集部 K	〃	242	サザビーズ香港のオー クション	編集 部 目 の 眼		231
特集 本誌が映した 美術市場の20年 んな作家が注目を集 めたのかー[日本画] 新鮮さの底になお伝 統美求めた市場	〃	〃	〃	論壇 古美術市場開 放に向けて	末続 堯 朝 日		10.25
特集 本誌が映した 美術市場の20年 んな作家が注目を集 めたのかー[洋画] 写実力の裏付けのあ る気品のある作品が 主流を占めたこの20 年	編集部	〃	〃	オークション、身近 に バブル崩壊で価 格急落 素人だって 気軽に参加	高田 寛 朝日夕刊		10.7
特集 本誌が映した 美術市場の20年 んな作家が注目を集 めたのかー[版画] 大きな役割をはたし た画廊のコンクール 展一新人の発掘とマ ーケットの拡大	編集部 M	〃	〃	美術品から食器まで 気軽に楽しむオー クション	宇田川雄吉 読 売		3.31
特集 本誌が映した 美術市場の20年 んな作家が注目を集 めたのかー[彫刻・ 陶芸] 個性豊かな 木彫作家の登場で市 場一変(彫刻) 茶陶 から鑑賞陶器、オブ ジェまで多様(陶芸)	編集部 F	〃	〃	<b>美術館・博物館</b>			
初秋の各種オーク ションからーシンワ、 物故作家展、アポロ オークション	清水 秀作	〃	〃	<b>総 論</b>			
				美術業界の昨今75 公立美術館の存在価 値	飯野 光男	アートマ インド	77
				ヨーロッパの科学系 博物館を訪ねて 上、下	村 松	飯田市美 術博物館 ニュース	28、29
				韓国博物館事情	本康 宏史	石川れき はく	34
				野外博物館の楽しみ 方	藤岡 洋保	江戸東京 たてももの 園だより	6
				博物館と人類社会の 将来	ダン・モン ロー	大田区立 郷土博物 館紀要	5
				美と宗教ー博物館と は何だろうか	藤澤 令夫	学 叢	17
				平和のための写真映 像資料館を	岩倉 務	核一半減 期展図録 (東京都 写真美術 館)	
				美術館へ行こうー市 民のための美術館論 を考えるー	小林 平造	鹿児島市 立美術館 だより	38
				米国の博物館と現代 資料	寺崎 弘康	神奈川県 立博物館 研究報告	21

特集：もっと気軽に美術に親しみたい 新しい美術館の見方・楽しみ方		ギャラリー ー(月刊)	128	学校教育と博物館	石谷 潔	調布市郷土博物館 だより	48
現代美術と地域社会 ー美術館の関わりー	高野早代子	群馬県立 女子大学 紀要	16	フレンドリーなニュー ーヨークの美術館	加藤千恵子	潮流	44
受け入れる側の博物館 実習	外山 和夫	群馬県立 歴史博物 館紀要	〃	コンプレックス・ プール10 オープン ・ミュージアム	日本デザイ ンセンター 原デザイン 研究所	デザイン の現場	78
イギリスの博物館見 て歩き(1)エディン バラ	神宮 善彦	群馬県立 歴史博物 館だより	61	シンポジウム「コレ クションのゆくえ」	横山 勝彦 藤口 匡 寺島 淳 林洋治 松本 洋仁 安達 一樹	徳島県立 近代美術 館ニュー ス	15
博物館よ、ディズニ ーに学べ!	狩野 博幸	芸術新潮	552	「天皇表現」をめぐる 三者関係型過程 T 県立近代美術館問題 の構築主義的考察	中川 伸俊	富山大学 人文学部 紀要	23
美術館から外部情報 源へアクセスすること ーその現状と可能性 (その一)NACSI- S-IRを中心に	水谷 長志	現代の眼	483	藤山一雄と棚橋源太 郎ー小型博物館建設 論から見た日本人博 物館理論の検討ー	犬塚 康博	名古屋市 博物館研 究紀要	18
美術館から外部情報 源へアクセスすること ーその現状と可能性 (その二)インター ネットを中心に	水谷 長志	〃	485	トランジション6 美術館 ネットワーク と文化行政	〃	日本美術 工芸	684
アメリカ西海岸の ミュージアム・エ デュケーターたち	三木 美裕	国立国際 美術館月 報	34	トランジション7 もし二十一世紀が美 術館の危機の時代に なるとしたら	〃	〃	685
ミュージアムめぐり (1)(2)	村野 隆男	国立博物 館ニュー ス	573、574	トランジション8 コンピュータ時代の 美術館とは	〃	〃	686
市民とミュージアム	久保 智康	〃	574	特報1 阪神大震災 における博物館の被 害状況について		博物館研 究	321
美術館・博物館にみ るポリティクス	千野 香織	〃	583	第42回全国博物館大 会報告 シンポジウ ム(1)(2) わが国 博物館の基礎を再検 討するー展示を視点 にー	菅原 壽雄 青柳 正 嶋崎 承 三輪 克 村井 勇	〃	321、322
歴史展示の実際と展 望	村上 義彦	埼玉県立 歴史資料 館研究紀 要	17	平成6年度・欧州博 物館事情視察報告1 「魅力ある博物館の 活動とサービス」	青木わかみ	〃	321
ミュンヘンで美術博 物館事業の国際見本 市「MUTEC'95」		新美術新 聞	732	平成6年度・欧州博 物館事情視察報告2 博物館と学校教育	荒田 昌典	〃	322
木戸銭ピンはね	安井 収蔵	〃	734	平成6年度・欧州博 物館事情視察報告3 ヨーロッパの博物館 における学校教育活 動	田中 榮一	〃	323
問われた美術館の “市民権” 阪神大震 災シンポ		〃	736	途上国の博物館との 新しい国際交流ー国 際協力事業団の博物 館技術研修コース運 営に協力してー	森田 恒之	〃	325
10万円美術館長	安井 収蔵	〃	739	学芸員等に関する実 態調査報告1~3	日本博物館 協会	〃	325~327
特集 『戦後50年と 私』 これでよい か? 税立美術館	牧田 喜義	〃	742				
第1回国際博物館・ 美術館関連見本市	杉山真紀子	〃	〃				
阪神大震災と美術館 事情 この一年を振 り返って	伊藤 照哉	〃	753				
学校教育と博物館の 接点を考察する	田中 順勝	千葉県立 安房博物 館報	61				
博物館と学校教育ー 博学連携という問題 をめぐってー	樋口誠太郎	中央博物 館だより	26				

平成7年定期刊行物所載文献(美博)

平成6年度 博物館 指導者研究協議会報 告・理工部門/理工 系博物館の展示の可 能性について	青木 国夫	〃	325	文化財公開施設の計 画に関する指針	文化庁文化 財保護部	〃	385
地域に開かれた博物 館一地域の活性化と 多彩な博物館サー ビスの展開	岩井 宏實 岩崎 敬 西田 宏子 笹井 宏益	〃	329	“私、構想”博物館 遺跡学コーナーなど 楽しく学べる「国博」 を	柴田 勝彦	文明のク ロスロ ード MU- SEUM. KYUS- YU	50
今、博物館に求めら れているもの一博物 館マーケティング、展 示技術の変化への対 応一	佐野文一郎 青木 國夫 西野 章 中川 嘉郎 諸岡 志博 浅野 熊彬	〃	331	“私、構想”博物館 九州にふさわしい開 かれた国立博物館 を!	梶 國男	〃	〃
画廊が発行した展覧 会図録65選	中島 理壽	美 術 (月刊)	239	博物館の社会教育施 設論	藤田 昇治	北海道開 拓記念館 研究紀要	23
フローズン・メモリ ー1995117 美術館 がシュルターになっ た日	鷹見 明彦	美術手帖	706	北海道博物館協会の 事業	野村 崇	北海道開 拓記念館 だより	25-2
シンポジウム・明日 の美術館を求めて 俺たちに明日はない、かも。	石井 弥夢	〃	709	シリーズ・これから の博物館 学芸職員 の全道ネット	土屋 周三	〃	〃
批評の俎板4 ニュ ー・ミュージアムへ の脱皮 ゼ・美術館 改造計画	森岡 祥倫	〃	712	展示解説板について 一中高年入館者に対 する博物館の対応一	石渡 美江 濱野 秀	MUSE UM ST- UDY	6
批評の俎板6 い ま、美術館でこそ学 びたいこと、学べる こと	森岡 祥倫	〃	715	戦後の歴史資料保存 運動小史 その(1)	吉田 優	〃	〃
特集 人気美術館の 法則とは? 美術展 覧会の楽しさ、難し さ	(編 集 部)	美術の窓	148	英国博物館史:その 4-1960年代以降の 博物館改革運動一	矢島 國雄	〃	〃
特集 人気美術館の 法則とは? 1994年 4月以降にオープン した美術館	〃	〃	〃	二十一世紀型博物館 をめざして一自然史 系地方博物館の成立 経緯とその展開	中川 志郎	ミュージ アムデー タ	28
特集 1995年上半期 の美術界大研究 美 術館の本質的な任務 を問う一東京都現代 美術館開館、阪神大 震災をめぐって	中山 公男	〃	149	博物館を再考する一 結集、討議の薦め一	倉田 公裕	〃	29
オランダに見る美術 の現状 建築美術館 の建築など国が大き な変容に熱意	吉原美恵子	JAAM	45	公立美術館あれこれ	末永 照和	MUSE- OLOGY	14
年々ふえる夜間の入 場者 ルーブルのピ ラミッド広場なども 最新技術でライト アップ	今津 京子	〃	〃	対談 博物館今昔 物語一昨日は今日の 昔一	加藤 有次 倉田 公裕	MUSE- OLOG- ST	10
米美術館のコンサバ ター 修復保存から 収集システムの管理 まで	陶山伊知郎	〃	46	Museums are for people	矢島 國雄	〃	〃
国指定文化財等展示 公開施設のシーズニ ングについて一平成 5年度展示公開施設 の館内環境調査から	佐野 千絵 三浦 定俊	文化財 (月刊)	384	地域博物館のあり方 をめぐる雑感一現場 から発信する一提言 一	湯浅 治久	〃	〃
				「地域おこし」と博物 館・学芸員一「国友 鉄砲の里まつり」を めぐって一	太田 浩司	〃	〃
				米国におけるミュー ジアム・キャリアの 開拓	吉永美也子	〃	〃
				博物館実習の記録 欲望を照らし出す 鏡/映像展示の可能 性	小笠原 豊	〃	〃
				アメリカの美術館教 育	養 豊	美をつく し	144
				網走支庁管内におけ る博物館の現状と課 題	高井 寛	紋別市立 郷土博物 館報告	8



美術館の建築について	成瀬不二雄	大和文華館美のたより	110	特養ホームが“画廊”に变身 足立区アマ絵画グループの作品67点搬入	東京(しち版)	12.26
美術館の展示札について	〃	〃	111	アメリカ人とミュージアム	中富 信夫 東京夕刊	8.1
美術館教育の可能性—アメリカの美術館にみる地域・学校教育との連携考—	向山富士雄	山梨県立美術館研究紀要	12	文化往来 途上国向け博物館研修、辛口の“卒論”も	日 経	4.6
国内外における現代美術に関する教育普及的展観の状況と具体的教育方法の調査(1)—美術館連絡協議会加盟館を中心とした日本国内の美術館における現代美術の捉え方とその提示に際しての教育的取り組みについての調査から	岩井慎太郎	〃	〃	博物館・美術館、共同で防災会議	〃	4.8
現代美術と地域社会—美術館の関わり—	高野早代子	〃	〃	地域の文化会館や芸術団体 パソコン網で交流を橋渡し	〃	6.10
「国内外における現代美術に関する教育普及的展観の状況と具体的教育方法の調査」	〃	〃	〃	米のミュージアムグッズ発展、お金からめばこそ?	青柳 潤一	〃 8.20
震災と美術館—早急な対策が望まれる—	千葉 瑞夫	萬鉄五郎記念美術館通信	3	震災機に問い直す美術館の意義	〃	11.2
小さい町村の民族資料館 民具のあり方を求めて	〃	歴史と民俗	12	世界の企業博物館のデータ、収集・展示(企業博物館フォーラム)	〃	11.16
歴史系博物館の未来—イギリス歴史展示事情—	藤尾慎一郎	歴 博	69	インターネットでサーフィンしよう上 「80分間世界一周」美術館めぐり	鍋沢 哲雄 毎 日	7.25
展示場で思うこと	高橋 典子	〃	72	今なぜ「大学博物館」か	赤澤 威	〃 8.14
国立現代美術館建設の問題—その他につき文化庁長官と懇談	〃	連 盟 ニュース	361	購入総額1080億円 都道府県立美術館	〃	1.6
美術館が「お子様歓迎」	〃	朝 日	7.6	阪神大震災 美術館活動に大打撃	毎日夕刊	2.10
現職館長が公立美術館批判 「劣悪な環境」改善への提言も	田中 三蔵	朝日夕刊	1.14	文部省 サイエンスボランティア制度 理工系人材募り来月スタート	〃	3.1
中国の博物館が90年で2000カ所に	〃	〃	4.18	社説 美術館は「記念碑」ではない	読 売	3.20
公立美術館の問題を考える ソフト面の充実目指せ	木川 良則	〃	8.26	大学、博物館構想で地域の窓口へ脱皮	小泉 成史	〃 9.28
開かれた美術館が「教育」を創造する	長田 謙一	〃	9.18	広告美術館建設へ 世界3か所目、国内で初	読 売 (都民版)	9.27
途上国の博物館 経済的制約の中で充実図る	(徹)	〃	11.20	大震災とミュージアム 上 自粛モード、企画展にためらい	菅原 教夫 読売夕刊	3.1
インターネットで個展 新進美術作家の活躍の場に	〃	〃	〃	大震災とミュージアム 下 再検討迫られる収蔵方法	〃	〃 3.2
変革迫られる美術館 全国で639館 市町村で建設ラッシュ 美術館“開国”の時代へ	長谷川 栄 東 京	サンケイ	8.3	研究資料の活用図る 「大学博物館」設置を学術審の部会中間報告	(前)	〃 8.11
			9.10	民族学のまなざし第5部16 個性的な企画展示で注目浴びる 地域博物館	宮田 登	〃 10.31

平成7年定期刊行物所載文献(美博)

全国の博物館でもうすぐスタート。サイエンスボランティア制度。なぜ?に「専門家」が答えます	長谷川聖治	〃	12. 2	石川県立美術館	林 恭子	茶道雑誌	59-2
「Iネット」上にギャラリー開設。女子美大の学生ら		〃	12. 15	展覧会通信 板橋区立美術館	松岡希代子	朝日夕刊	12. 14
				美術散歩46 伊丹市立美術館	山野 英嗣	日本美術工芸	685
				(財)出光美術館	齋藤 久子	MUSE- OLOGY	14
				美術館ボランティア紹介 図書館整理班(茨城県近代美術館)	佐藤 一夫	游 美	20
				美術館ボランティア紹介 ウイークデイ班(茨城県近代美術館)	根本 表	〃	21
				特集 茨城県天心記念五浦美術館(仮称)		茨城県教育 庁文化課 五浦美術館 建設準備室	〃
				子どもと美術館(茨城県近代美術館)	山本 哲士	茨城県近代美術館 だより	27
				黒柳徹子さんがいわさきちひろ絵本美術館館長に就任		新美術新聞	732
				日帰りですぐ週末ギャラリー(ウイークエンドギャラリー・ムウ/ギャラリー上田/ミュージアム・ハウス・カスヤ/アキライケダギャラリー田浦)		朝日夕刊	6. 8
				大山の麓で見て欲しい。ぼくの写真美術館 植田正治写真美術館オープン		芸術新潮	552
				植田正治写真美術館		新美術新聞	745
				23日に植田正治写真美術館開館		朝 日	9. 21
				植田正治写真美術館 鳥取にオープン	(前)	読売夕刊	10. 12
				新しい美術館像	高見堅志郎	宇都宮美術館(仮称)準備 ニュース	2
				20世紀を考える貴重な資料を持った美術館	柏木 博	〃	〃
				文書館・資料館めぐり81 宇和島市立伊達博物館	二宮 一郎	日本歴史	568
				海の博物館と資料	石原 義剛	歴史と民俗	12
				気になるこの人 絵金の資料館開設(絵金資料館)		朝日夕刊	2. 9
				「ミュージアムの快適性」(江戸東京たてもの園)	大月 浩子	江戸東京たてもの園だより	5
六本木に「アート村」誕生(アート村六本木) 障害者、自己表現の場		読売夕刊	1. 11				
特集 アートは時代の最先端に行く? インターネット時代のアートを考える インターネットにこだわるな! 通信会社が構想する未来のアートとは(ICCミュージアム)		ギャラリー(月刊)	124				
伺いましょう35 個性ある館と収蔵品を愛知県美術館長浅野徹氏		JAAM	46				
秋田県立近代美術館一開館1周年を迎えて	小笠原 光直 光浦 後藤 拓哉	博物館研究	328				
中原悌二郎記念 旭川市彫刻美術館	斎藤 傑	〃	326				
麻布美術工芸館も一般の実技講習会も	<幡>	読売夕刊	10. 18				
アジア美術館建設 博多区再開発の複合施設内に		新美術新聞	732				
美術散歩44 芦屋市立美術館	山野 英嗣	日本美術工芸	683				
甘木歴史資料館	新原 正典	文明のクロスロード MU- SEUM- KYUS- YU	49				
作家による作家のためのギャラリー 世田谷・豪徳寺 and gallery		新美術新聞	726				
ホテル&アート「アンビック」		アトリエ インター ナショナル	818				
特集 人気美術館の法則とは? 池田20世紀美術館		美術の窓	148				
石川県七尾美術館	的場 久良	博物館研究	330				
伺いましょう37 工芸王国、視点を世界へ 石川県立美術館長島崎丞氏		JAAM	48				

資料の収集作業—いろいろな分野から集める(江戸東京博物館)	江里口友子	江戸東京博物館 NEWS	10	特集 人気美術館の法則とは? 神奈川県立近代美術館	美術の窓	148
利用者から見たミュージアムショップ—江戸東京博物館と国立科学博物館—	天間 朋昭	MUSEOLOGIST	〃	カビくさい博物館よ、さようなら! 見て楽しく触れてうれしい自然史博物館オープン(神奈川県立生命の星・地球博物館)	芸術新潮	545
大倉集古館 薄明かりで見る“東洋”		読売夕刊	10.4	現代美術空間何必館にみる良寛の書 江口草玄VS梶川芳友	墨	115
コレクション 大蔵省印刷局記念館(お札と切手の博物館)の収藏品	石塚 博	博物館研究	324	紙の博物館 最古の印刷物や“熊本城”も	読売(都民版)	5.13
大阪府立近つ飛鳥博物館	栗山 和之	博物館研究	328	博物館新風景 ガラクタが語る時代の流れ(ガラクタ美術館)	西村 洋一 読売	5.23
博物館の仕事3 「特別展を開催する」	(う)	弥生倶楽部	8	からくりミュージアム だまされても納得	〃	4.8
特集 人気美術館の法則とは? 大原美術館		美術の窓	148	映画「残雪」 川崎の美術館が制作を支援(川崎市民ミュージアム)	(宮) 朝日夕刊	12.14
“アイデア” 画廊(岡画廊) 自宅マンション開放 高円寺の舞踏家らざん新試み		読売(都民版)	4.5	川崎市民ミュージアム 複製芸術や漫画を収集	<徹> 読売夕刊	12.6
岡本太郎美術館 川崎市が建築地変更		毎 日	7.26	開館5周年を迎えて	浅野 定快 AURA	11
「岡本太郎美術館」めぐり 「母の塔」で景観論争		毎日夕刊	7.13	東洋一の書道博物館オープン(観峰館)	新美術新聞	749
発見に向かわせる解説:物から学ぶ(沖縄県立博物館)	前田 真之	沖縄県立博物館紀要	21	地域に根ざした文化 オアシスへー埼玉県・貴久屋アートサロン	〃	725
ソフト面の充実がカギ(壬生町おもちゃ博物館/わらべ館/現代玩具博物館/日本玩具博物館/おもちゃ美術館)		朝 日	10.21	『街角のアート・九十年代の作家たち』14 北関東造形美術館	ぼんのなおこ アートマインド	83
県立博物館考古資料館		黎 明	49	美術ボランティア第5期生 誕生!(北九州市立美術館)	前田 淳子 美術の森	79
博物館における体験学習について—石器作り教室の実践を通して—(笠懸野岩宿文化資料館)	小管 将夫	MUSEUM STUDY	6	北九州市立自然史博物館	藤井 厚志 文明のクロスロード MUSEUM KYUSU	50
私と笠間日動美術館 51 ある日の出来事—春風庵にて	山口由紀子	絵	371	木田金次郎美術館	(輿) 侶美以	53
私と笠間日動美術館 52 名画との対話に郷愁の影	岡安 勝次	〃	372	美術散歩38 喜多美術館	島田 康寛 日本美術工芸	677
私と笠間日動美術館 54 日々の刺激の中で	藤田さおり	〃	380	手作り美術館完成(木田美術館) 郷土画家を礎に 北海道・岩内町	本田 寛成 日 経	12.10
私と笠間日動美術館 55 地域とともに	北山 正	〃	381	オムニバス特集 芸術の秋 美術を支えるそれぞれの意志3 若い作家に発表の場を提供する「現代アート」と保養の宿 板室観光ホテル大黒屋	ギャラリ—(月刊)	126
一九九五年<平成七年>笠間日動美術館の一年	笠間日動美術館	〃	382			
最古の小学校跡に「学校歴史博物館」 京都市		読売夕刊	11.24			

平成7年定期刊行物所載文献(美博)

京都国立博物館での三十四年	金沢 弘	国立博物館ニュース	579	美術館ホールもまた多彩なアートスペース	藤田 直義	高知県立美術館ニュース	8
清春白樺美術館ニューオーターニ美術館	佐々木裕子	MUSE- OLOGY	14	高知県立美術館のコレクション	奥野 克仁	博物館研究	327
プリント・アートのたのしみ14 新孔版画が観られる美術館 屈斜路版画工藝館		アート・ トップ	148	高津古文化会館	林 恭子	茶道雑誌	59—4
手造り美術館「蔵」いわき市にオープン		新美術新聞	736	現場報告1 一阪神大震災直後の被害状況について一	廣田 生馬	神戸市立小磯記念美術館だより	4
第10回支部が推薦する博物館情報8 中国支部 倉吉博物館歴史部門の常設展示と展示活動一装飾須恵器の展示をめぐる一	根鈴 輝雄	博物館研究	322	現場報告2	金井 紀子	神戸市立小磯記念美術館だより	〃
平成版ツルの恩返し“クレインパークいずみ”に展示、石田幽汀「鶴図」のはなし	(美)	新美術新聞	723	美術散歩47 神戸市立小磯記念美術館	山野 英嗣	日本美術工芸	686
開館二十周年記念特集 群馬県立近代美術館の二十年をふりかえって	中山 公男	群馬の森美術館ニュース	79	大地震による書架の被害一神戸市立博物館の場合	塚原 晃	アート・ドキュメンテーション通信	26
大きな夢への小さな一歩一長野県長門町「原始・古代ローマ体験館」一	大竹 幸恵	MUSE- OLOG- IST	10	特集 天災と闘った美術 受難の文化財 報告!阪神大震災と美術 美術館・博物館はどうなった? 神戸市立博物館 ヴァニタス一わが内なる震災	岡 泰正	芸術新潮	545
ソフト面の充実がカギ(壬生町おもちゃ博物館/わらべ館/現代玩具博物館/日本玩具博物館/おもちゃ美術館)		朝 日	10.21	阪神・淡路大震災から再開館まで一経過と被害一	勝盛 典子	神戸市立博物館だより	51
現代グラフィックアートセンター CCGAオープン		新美術新聞	733	「場所から呼びかけられること」ワークショップ報告 美術館ワンダーランド計画 [街ってなあに?]	丸山 常生	ザ・ルーフ	7
グラフィックアートの未来形 現代グラフィックアートセンターの挑戦	奥村 勝之	美術手帖	715	特集 平成6年後期の美術賞とその作品 アマチュアイズムとプロ意識 美術館に集うひとびと一郡山市立美術館の場合	中山 恵理	美術(月刊)	232
新しい文化活動拠点 現代グラフィックアートセンター(福島県須賀川市)		美術の窓	147	文書館・資料館めぐり 古河歴史博物館	立石 尚之	日本歴史	562
米の現代版画センター開設(現代グラフィックアートセンター) 福島・須賀川に	鈴木久美子	朝日夕刊	5.13	阪神大震災と国立民族学博物館	宇野 文男	民博通信	70
グラフィック美術の総合施設開設(現代グラフィックアートセンター)		日 経	4.22	近現代展示オープン 産業と開拓(国立歴史民俗博物館)	新井 勝紘	歴 博	69
建築博物館調査委員会の活動経緯とその成果	崔 康勲	建築雑誌	1370	近現代展示オープン 都市の大衆の時代(国立歴史民俗博物館)	高橋 敏	〃	〃
生まれ変わった谷中にギャラリーオープン 杉並の主婦 浜田郁子さん(ギャラリー&アートショップ「工」)		東 京	9.26	庶務課の仕事は、よおくわかった(国立歴史民俗博物館)		〃	〃
				展示批評 絵図を解読する条件(国立歴史民俗博物館)	黒田日出男	〃	74
				第五展示室、一部オープン(国立歴史民俗博物館)		朝日夕刊	3.24

公立館が海外の芸術家を育成 埼玉県立近代美術館	新美術新聞	730		美術散歩39 松柏美術館	島田 康寛	日本美術工芸	678
『街角のアート・九十年代の作家たち』14 斎藤記念川口現代美術館	ばんのなおこ	アートマインド	83	洋画家、書家の中村不折創設 書道博物館を台東区に寄贈へ 書道博物館を区に寄付		東京	9.21
危うし「佐伯祐三美術館」寄贈作品に真贋論争(佐伯記念美術館(仮称))		読売夕刊	4.27	「書道博物館」台東区に寄付 故中村不折画伯の私邸		読売(都民版)	10.2
佐喜真美術館		沖縄コンベンションセンターニュース	22	翠松園陶芸記念館 特集 人気美術館の法則とは? 世田谷美術館	編集部	淡交	594
サントリー美術館のガレ・コレクション	土屋 良雄	ガレとロートレック展—光と色のベール・エポック図録(サントリー美術館)		世良美術館	山野 英嗣	日本美術工芸	687
わたしの道 佐治敬三(サントリー)美術館 収蔵品なしの建設計画	西田 進	読売	2.20	文書館・資料館めぐり 仙台市博物館 大名時計博物館 「ぜいたく」を追求	荒井 聡	日本歴史	564
サントリーミュージアム(天保山)とボスターコレクション	今井 美樹	サントリー美術館ニュース	145	第10回支部が推薦する博物館情報9、四国支部 旧・高松美術館から新高松市美術館への歩み—コレクションを中心に	住谷晃一郎	博物館研究	323
ここにあったか! 国宝茶碗「不二山」 サンリツ服部美術館オープン		芸術新潮	547	田中屋美術館 がん具と岩崎勝平の絵	<神>	読売夕刊	12.13
サンリツ服部美術館の開館にあたって	岡本 祐美	茶道雑誌	59—7	だまし絵空想美術館 触るアート体験		読売	11.26
サンリツ服部美術館オープン		新美術新聞	737	勘違いも楽しいヨ(だまし絵空想美術館)	加藤 祐治	読売	11.26
サンリツ服部美術館を訪ねて	森 孝一	陶説	508	教育普及活動について	寺内 秀明	中央博物館だより	25
特集 人気美術館の法則とは? サンリツ服部美術館オープン		美術の窓	148	学校の博物館利用と展示解説員	木島 桂子	読売	26
サンリツ服部美術館 長野・諏訪湖畔に開館		東京夕刊	6.8	「解説すること」の難しさ	椎名 聡子	読売	27
だまされても楽しい トリックアート美術館(ジェイブ美術館)		読売	6.6	展示の評価—動線調査の事例報告(千葉県立中央博物館)	吉村 光敏	博物館研究	326
子ども向けイベント「みんなで冒険美術」レポート(滋賀県立近代美術館)	平田 健生	フラミンゴ	43	千葉市美術館オープン 開館記念は歌麿展		新美術新聞	749
美術散歩41 式年遷宮記念神宮美術館	島田 康寛	日本美術工芸	680	中近東文化センター館内に息づく古代文明		読売(都民版)	2.4
コレクション 式年遷宮記念神宮美術館	河原 光江	博物館研究	323	美術散歩42 澄懷堂美術館	島田 康寛	日本美術工芸	681
お座敷画廊、画家を“保育” 古アパルト6 畳間を常設のアート空間に(シナプス画廊)	押川東一郎	日経	11.2	「彫刻の森美術館」に期待する	木村 重信	彫刻の森美術館ニュース	1
				「彫刻の森美術館ニュース」の発行に当たって	植田 新也	読売	読売
				箱根のピカソ韓国へ(彫刻の森美術館内ピカソ館)		サンケイ	12.17
				土浦市立博物館の試み	木塚久仁子	博物館研究	329

平成7年定期刊行物所載文献(美博)

触って納得トリック アート(天使の花冠 美術館)		読 売	6.5	東京大学コレクション 東アジアの形態 世界	編集部	目の眼	221
美術散歩37 天理大 学付属天理参考館	島田 康寛	日本美術 工芸	676	資料生かす「大学博 物館」を 収集240万 点の東大、構想進む	青柳 正規	朝日夕刊	7.21
私の見たい美術館93 東京芸術大学芸術資 料館	編集部	絵	371	特集 東京大学のコレ クションは凄いぞ ! 学問は広いな、 奥深いな! 古貨幣 コレクション/経済 学部	(編)	芸術新潮	551
学生の反発続く美術 館構想 東京芸大		朝 日	11.24	特集 東京大学のコレ クションは凄いぞ ! 希少なならざるは なく、珍奇ならざる はなし 東京大学総 合研究資料館	西野 嘉章	〃	〃
平成六年度新収蔵作 品1(東京国立近代 美術館)	本江 邦夫	現代の眼	488	東京都現代美術図書 室について	笠井真一郎	アート・ ドキュメ ンテーシ ョン通信	26
平成六年度新収蔵作 品2(東京国立近代 美術館) 工芸・写 真 工芸	白石 和己	〃	489	『街角のアート・九 十年代の作家たち』 10 国内最大規模の 展示空間に戦後美術 の流れを一挙に公開 (東京都現代美術館 構想)	ばんの なおこ	アートマ インド	78
平成六年度新収蔵作 品2(東京国立近代 美術館) 工芸・写 真 ギルバート・コ レクション	増田 玲	〃	〃	美の現場から(2) (4)(東京都現代美 術館)	笠井 真男	アトリエ インター ナシヨナル	816、818
平成六年度新収蔵作 品2(東京国立近代 美術館) 工芸・写 真 コレクションに ついて	アーノルド ・M・ギル バート	〃	〃	開館記念展「日本の 現代美術展 1985— 1995」—東京都現代 美術館の開館と美術 の現況—	矢口 國夫	日本の現 代美術 — 1985— 1995展図 録(東京 都現代美 術館)	
特集 人気美術館の 法則とは? 東京国 立近代美術館		美術の窓	148	現代美術の“アカデ ミズム”化は避ける べき、東京都現代美 術館		美 術 (月刊)	236
東京国立近代美術館 フィルムセンターに 写真展示場開設		新美術新 聞	735	世界に発信する情報 基地となるか—でき たてははやや東京都 現代美術館の内見会		美術手帖	700
特集 人気美術館の 法則とは? 東京国 立近代美術館フィ ルムセンター		美術の窓	148	東京都現代美術館 求められる国際性と 創造性	矢口 國夫	〃	705
東京国立近代美術館 フィルムセンター 新装されて開館		毎日夕刊	5.11	東京都現代美術館3 月オープン		美術の窓	143
映画の“博物館”復 活 (東京国立近代 美術館フィルムセ ンター)		読売夕刊	5.12	注目の都現代美術館 あす開館		日 経	3.17
東京国立近代美術館 フィルムセンター 映画評論家 山根貞 男さん	<彦>	〃	12.21	不十分なチェック機 関 評価委員は「事 後承認」メンバー画 廊からも大量に(東 京都現代美術館)		毎 日	1.5
今までの東博と私の 希望	アレックス ・カー	国立博物 館ニュー ス	576	東京都 実績のない 画廊から6億円余 不透明な美術品購入 (東京都現代美術館)		〃	1.5
東博のリニューアル (1)(2)	アレックス ・カー	国立博物 館ニュー ス	577、578				
町田久成の生涯と博 物館(四) わが国博 物館創設期の一側面 (東京国立博物館)	新 朋秀	同志社大 学博物館 学年報	27				
東京国立博物館のミ ュージアムショッ プ—東京国立博物館運 営協会を訪ねて—	杉浦 宏之	MUSE- OLOGIS T	10				

「絵画購入費返還」都現代美術館作品収集問題 市民団体、監査請求へ	〃	3.11	編集部 (聞き手)	〃	〃
東京都現代美術館を考える 日本美術のオリジナリティーを	三田 晴夫	毎日夕刊	4.6		
オープンした都現代美術館 国際性持つ作品重視の展示ポリシー徹底を	菅原 教夫	読売夕刊	4.3		
美の現場から(8) (東京都写真美術館)	笠井 真男	アトリエインターナショナル	822		
私の見たい美術館94 東京都写真美術館	編集部	絵	374		
映像工夫館の工夫	後藤 和彦	映像工夫館展—イメージのマジネー表現図録(東京都写真美術館)			
「東京都写真美術館」総合開館	芳賀 敏博	新美術新聞	725		
東京都写真美術館への期待と不安	飯沢耕太郎	〃	〃		
特集 視覚のワンダーランドへ!—東京都写真美術館「映像工夫館」を満喫する—	芳賀 敏博	〃	739		
特集 視覚のワンダーランドへ! 担当学芸員 森山朋絵さんに聞く(東京都写真美術館)	〃	〃	〃		
オープンした都写真美術館、情報検索システムの美力は?	高橋 周平	デザインの現場	75		
東京都写真美術館の本格スタート		美術(月刊)	233		
東京都写真美術館参加型企画も充実させ総合開館	(編集部)	朝日夕刊	1.19		
写真通じ世界と交流 都写真美術館あす新装開館	石黒 重光	〃	1.20		
多面性生かす写真美術館に 東京国際写真ビエンナーレ審査を終えて	平木 収	〃	3.31		
東京都写真美術館への期待 地道な発掘・研究にピントを	金子 隆一	読売夕刊	3.13		
特集 人気美術館の法則とは? 東京都美術館		美術の窓	148		
特集 人気美術館の法則とは? 新館長 眞室佳武氏インタビュー—都美術館の歩み、そしてこれから	編集部				
教会がギャラリーをつくったわけ—東京福音会センター	(白)	新美術新聞	724		
徳川美術館と私	田中 精一	葵	18		
かくあれかし美術館	永 六輔	〃	19		
六十年をふりかへって(上)~(下の一) (徳川美術館)	徳川 義宣	〃	19~21		
徳川美術館への期待	鈴木 礼治	〃	20		
名古屋の誇り 徳川美術館	西尾 武喜	〃	21		
徳川美術館の歴史と概要	徳川 義宣	博物館研究	330		
徳川美術館の歴史と概要 シンポジウム	徳川 義宣 坪井秀男 富山毛利正夫	〃	〃		
富岡美術館		東京	2.3		
富山美術館	林 恭子	茶道雑誌	59-9		
豊田市美術館オープン		新美術新聞	750		
豊田市美術館のめざす美術館	青木 正弘	豊田市美術館開設準備室ニュース	3		
美術館は企業都市にどう息づくか 豊田市美術館、同・高橋節郎館開館へ		美術(月刊)	242		
歴史展示の曲り角—「参加体験ミュージアム」という展示手法の試み—(登呂博物館)	大村 和男	民具マンスリー	28-9		
第10回支部が推薦する博物館情報6. 北信越支部 長岡市立博物館の歴史と共に歩んできた生物標本展示会—43回を迎えた児童・生徒の生物標本展示会—	渡辺 央	博物館研究	320		
第10回支部が推薦する博物館情報10. 九州支部 長崎県立美術館博物館30周年を迎えて—設立構想から開館まで—	越中 勇	〃	324		
文書館・資料館めぐり79 長崎市立博物館	原田 博二	日本歴史	566		
コレクション 長野県立歴史館—コレクションの特徴	井原今朝男	博物館研究	322		
日本画にこだわる情熱 名都美術館 館長に聞く 林軍一館長 +羽場年子副館長		アート・トップ	147		

平成7年定期刊行物所載文献(美博)

日本画にこだわる情熱 熱名都美術館 名都美術館のコレクションと展覧会について	編集部	〃	〃	東京・世田谷に絵本美術館を開館(沼田絵本美術館)	(明)	読売夕刊	10.14
特集 奈良国立博物館開館100年 奈良国立博物館100年のあゆみ	文化財(月刊)	380		再オープンして復興記念展開催 神戸・白鶴美術館		毎日	10.20
特集 奈良国立博物館開館100年 仏教美術資料研究センターの開設と活動	〃	〃		白鶴美術館に新館完成 再オープンを飾る		新美術新聞	753
特集 奈良国立博物館開館100年 開かれた親しみやすい博物館をめざして	〃	〃		浜松市楽器博物館	子木 香	博物館研究	331
特集 奈良国立博物館開館100年 開かれた親しみやすい博物館をめざして	〃	〃		山口・林忠正記念室 銀座「ルパン」再現		読売	1.7
特集 奈良国立博物館開館100年 奈良国立博物館の収蔵品	〃	〃		ロビー雑感(林原美術館)	森山 泰男	国立博物館ニュース	575
南京大屠殺美術館	東京新聞	7.8		アート・ミュージアム・インフォメーション21 原美術館		CADE-NZA	50
伺いましょう34 新潟県立近代美術館長前川誠郎 “三本柱”での収集が成功	岡本 純子	JAAM	45	原美術館(東京品川区)	<羽>	読売夕刊	10.11
子どものための美術展 美術の光・光の美術 美術館へようこそ 今度の主役は、子どもたち(新潟県立近代美術館)	宮崎 俊英	雪椿通信	4	彦根城博物館一よみがえった彦根城の表御殿一	谷口 徹	MUSE-LOGI-ST	10
那須のニキ美術館	長谷川 智恵子	絵	382	美術館の教育活動(1)一学校との交流(姫路市立美術館)	亀田 正司	姫路市立美術館だより	48
阪神大震災における美術館の被害と対応 “The Show must go on”?	篠 雅廣	西宮市大谷記念美術館NEWS	11	特集 天災と闘った美術 受難の文化財篇 報告!阪神大震災と美術 美術館・博物館はどうなった? 兵庫県立近代美術館 壊れた台座	木下 直之	芸術新潮	545
阪神大震災における美術館の被害と対応 地震により中止となったインド染織美術展における被害とその対処について	川辺 雅美	〃	〃	兵庫県立近代美術館完全復興に向け展示活動を再開		新美術新聞	733
阪神大震災における美術館の被害と対応 レール式絵画ラック使用における地震被害およびその対策について	中井 康之	〃	〃	美術散歩43 兵庫県立近代美術館	山野 英嗣	日本美術工芸	682
美術散歩45 西宮市大谷記念美術館	山野 英嗣	日本美術工芸	684	震災現場からの報告(兵庫県立近代美術館)	中島 徳博	ピロティ	94
一九九五年<平成七年>日動画廊の一年	編集部	絵	382	伺いましょう36 反核と平和訴える館に 広島市現代美術館長池田正彦氏		JAAM	47
ソフト面の充実がカギ(壬生町おもちゃ博物館/わらべ館/現代玩具博物館/日本玩具博物館/おもちゃ美術館)	朝 日	朝 日	10.21	コレクション、テーマ「ヒロシマ」について	竹澤 雄三	ヒロシマー21世紀へのメッセージ展 図録(広島市現代美術館)	
清春白樺美術館 ニューオータニ美術館	佐々木裕子	MUSE-LOGY	14	メープルクラブ創立15周年を迎えて	坂光 良夫	メープルニュース	27
				福島県立博物館よもやまばなし	森 幸彦	MUSE-LOGI-ST	10
				藤野芸術の家オープン	富田 康子	工 芸	3
				“裏方”を紹介する舞台美術館オープン 秋田県天王町		日 経	11.25



仏画に魅せられた主婦 30年余描いて美術館開く(仏画美術館)	サンケイ 夕刊	11.16	特集 アートは時代の最先端に行く? インターネット時代の インターネット時代の インターネット上で 展覧会を開催 町田市立国際版画美術館の挑戦が始まった・ ・・	ギャラリー -(月刊)	124
新春インタビュー 『美術の明日を拓らく』 鈴木茂館長に聞く 見る美術館から楽しむ美術館へ そしてクロス文化美術館を(プティミューゼ)	ギャラリー -(月刊)	118	仲間たち 町田市立国際版画美術館	渡辺 利江 JAAM	45
筆の里工房	マキエ	13	インターネットで公募、展示 町田市の(市立国際版画)美術館が公立で初	読売夕刊	7.8
ブリヂストン美術館に就職して	原 永子 MUSE- OLOGY	14	文書館・資料館めぐり 財団法人 松浦史料博物館	岡山 芳治 日本歴史	565
潇洒な建物が似合う 珠玉の作品古川美術館 館長に聞く 古川爲之館長+加藤進副館長 五周年記念に記念館をオープン 閑静な住宅街に佇む館	アート・ トップ	147	博物館設立時における意志決定過程—松戸市立博物館を例として—	倉田恵津子 東海大学 紀要課程 資格教育 センター	4
潇洒な建物が似合う 珠玉の作品古川美術館 古川美術館のコレクションと展覧会について	杉浦希久子	”	「原爆の図」丸木美術館のお家騒動	鈴木久美子 東京	6.19
コレクション 古川美術館	”	”	丸木美術館から抗議『偏った内容』と	(Y) ”	8.7
旧小樽ホテル美術館 に变身(ペテルブルグミュージアム)	”	博物館研究	美術散歩40 三重県立美術館	島田 康寛 日本美術 工芸	679
ペテルブルグミュージアム小樽にオープン	”	読売夕刊	水木しげる妖怪館	読 売 (都民版)	4.29
ボタンの博物館	”	新美術新聞	ソフト面の充実がカギ(壬生町おもちゃ博物館/わらべ館/現代玩具博物館/日本玩具博物館/おもちゃ美術館)	朝 日	10.21
新しい博物館のうごき コンピューター・システムの検討 (北海道開拓記念館)	山木 雄三	12	向井潤吉アトリエ館	読 売 (都民版)	1.21
シリーズ・これからの博物館 友の会・北海道開拓記念館 北海道開拓の村文化 新興がめざすもの	紺谷 憲夫	北海道開拓記念館 だより	村内美術館(八王子)リニューアル・オープン	新美術新聞	731
シリーズ・これからの博物館 体験学習の現状と課題	”	”	「明治村通信」始末一誌齡三〇〇号の編集人として	川崎 宏 学 鏡	92—12
道立旭川美術館の「貸館事業」について	高橋 洋 氷 華	”	虫眼鏡 (目黒雅叙園)	(賀) 新美術新聞	751
北海道立近代美術館のガラス・コレクション	奥岡 茂雄	近代ヨー ロッパの ガラス 100年展 —北海道立近代美術館所蔵 図録(小田急美術館)	目黒区美術館トイ・コレクション—手で考えるオブジェクト	積むかたち+組むかたちII —目黒区美術館トイ・コレクション 展 図 録 (目黒区美術館)	
私のつくってみたい博物館(北海道立北方民族博物館)	齋藤 玲子 歴 博	74	“金属”にこだわる美術館オープン METAL ART MUSEUM HIKARI NO TANI	新美術新聞	753

郊外に建つ美の聖域 メナード美術館 館 長に聞く 石川浩一 館長十大橋勇夫課長 美術館に親しむ土壌 づくり 美術教育を にやう	編集部聞き 手	アート・ トップ	147	両国界隈美術館オー プン1年 花開く “墨田川左岸文化”		読 売 (都民版)	5.26
郊外に建つ美の聖域 メナード美術館 メ ナード美術館のコレ クションと展覧会に ついて	村上 久美	〃	〃	仲間たち 和歌山県 立近代美術館	井上 芳子	JAAM	45
メナード美術館が震 災チャリティー展		新美術新 聞	726	第10回支部が推薦す る博物館情報7. 近 畿支部 新装なった 和歌山県立博物館の 概要	小田誠太郎 高橋 修 竹中 康彦	博物館研 究	321
メルシャン軽井沢美 術館オープン	岡部あおみ	〃	735	協田美術館	長部日出雄	読売夕刊	10.28
樽貯蔵庫改修した 「メルシャン軽井沢 美術館」		サンケイ	8.6	インターネットで自 宅で楽しむ錦絵60点 早大演劇博物館が ホームページ開設	高野 聡	毎 日	10.24
やさきもの里かわら 美術館オープン(高 浜市)		新美術新 聞	749	ソフト面の充実がカ ギ(壬生町おもちゃ 博物館/わらべ館/ 現代玩具博物館/日 本玩具博物館/おも ちゃ美術館)		朝 日	10.21
当館自慢の作品 安 田火災東郷青児美術 館	塩月 光彦 永江 泰久	東京都博 物館協議 会会報	73	美術館博物館			
田中穰のにんげん美 術史47 山口県立秋 美術館・浦上記念館 来秋公開 浦上敏明 時価百億円のコレク ションを山口県に寄 贈	田中 穰	美 術 (月刊)	240	海外			
山崎猛彫刻館一茨城 県岩間町		新美術新 聞	753	新現代美術館は名所 になるか? ICA の建設計画	ロニ・アム ラン	アトリエ インター ナシヨナ ル	819
山崎美術館	山崎登貴子	博物館研 究	329	アフガニスタン・カ ブール博物館 戦乱 の傷深く	宇佐波雄策	朝 日	4.29
山田かまち水彩デッ サン美術館(群馬県 高崎市)	<岡>	読売夕刊	10.25	ガンダーラ仏戦火か ら避難 アフガン・ (国立)カブール博物 館		朝日夕刊	5.27
教育普及活動一当館 (山梨県立美術館)の 現状と課題一	早川二三郎	山梨県立 美術館研 究紀要	12	“禁断”の酒、アプサ ント博物館へ	武井 東子	芸術新潮	550
コレクション 弥生 美術館	堀江あき子	博物館研 究	321	アメリカ博物館(ス ペイン・マドリー ド)展示拡充し再開		朝日夕刊	2.1
湯木美術館	林 恭子	茶道雑誌	59-1	アンヴァリッド	池田 宏	国立博物 館ニュー ス	583
湯前まんが美術館	溝下 昌美	文明のク ロスロー ドMU- SEUM KYU- SYU	50	豪華な徳川家霊廟 オーストリアの(ウ ィーン国立工芸)美 術館 扉や欄間など 保存		読売夕刊	2.24
特集 映像一美術館 ワークショップ (横浜美術館)	関 淳一 深田 独	RGB	19	ヴィクトリア・アン ド・アルバート美術 館のイギリスとヨー ロッパ大陸の染織一 そのコレクション略 史	ジエニフ アエ ドン	ヨーロッ パ染織の 美一ヴィ クトリア &アルバ ート美術 館展図録 (群馬県 立近代美 術館)	
米子市立山陰歴史館	(編 集 部)	淡 交	595	開館を待ちながら (エルミタージュ美 術館)	高階 菖子	AMBI- ANTE	11
全国ハイビジョン手 作りソフト・フェス タに挑戦“ついに日 本一の栄冠仕留め る”(萬鉄五郎記念美 術館)	千葉 瑞夫	萬鉄五郎 記念美術 館通信	4	近代再考オルセー物 語2~5	小島 英熙	日 経	8.29~ 31、9.1
楽美術館	林 恭子	茶道雑誌	59-7				

ゴータ市美術館版画素描室の歴史	ベルント・シェーファー 佐藤 尚樹 訳	宗教改革時代のドイッ木版 ゴータ市美術館所蔵の作品による(国立西洋美術館)		トゥール美術館	ジャック・ニクール	トゥール美術館展—17世紀—19世紀—名作でつづるフランス絵画展図録(東武美術館)		
歴史と文化、伝統の薫り故宮博物院	宝玉 正彦	日 経	1, 1			英国肖像画展—ナショナル・ポートレイト・ギャラリー—所蔵図録(大丸ミュージアム(東京))		
美の故郷 皇帝が愛したコレクション故宮博物院の至宝3、4	〃	〃	1, 19, 22	序文	チャールズ・ダーマレズ・スミス			
半世紀経て全容現したコブラ運動(コブラ現代美術館)	藤原かすみ	朝日夕刊	11, 25					
ジョージ・イーストマン・ハウス国際写真博物館の歴史		ジョージ・イーストマン・ハウスコレクション展—光の言葉(東京都写真美術館)		鑑賞教育における観察段階の指導について(上)—MOMA: ティーチング・テクニック・ワークショップより—	新井 義史	鈞路論集	27	
迫害記念館として甦ったベルリンのシナゴーク(新シナゴークユダヤ人センター)		芸術新潮	547	「ミュージアム・エデュケーションの理念と実際—ニューヨーク近代美術館の事例に学ぶ」(前)	浅川 真紀 氷 華		36	
ニュージャージー、ジンマーリ美術館に開設された、ジャボニスム・ギャラリーケイト館長に話を聞く	柳 正彦	美術の窓	144	ワールド・カルチャー・マップ/アメリカ MOMA のビデオ空間	小池美佐子 ユリイカ		27—10	
色いろ調 スミソニアン 敗北	安井 収蔵	新美術新聞	727	ハーバード大学人類学部ビーボディー考古学・民族学博物館の展示替え	南 真木人 民博通信		69	
朝日夕刊電子技術時代のパウハウス目指す(ZKM—芸術とメディアテクノロジーのためのセンター)	柏木 博	朝日夕刊	11, 18	バルビゾン派の創作生活を再現(バルビゾン派美術館)	浅野 稔 朝日夕刊		10, 21	
天皇陵の出土品大英博物館に	後藤 和雄 山上浩二郎	〃	11, 9	世界の美術館案内15マレ地区とピカソ美術館(パリ)	山口 和子 游 美		19	
エレガントなヴァンドーム広場飾るダリとダリ美術館	永島 聡美	美術(月刊)	239	ブラド美術館改修で国際設計コンペ		毎日夕刊	4, 24	
茶文化の都(杭州)—中国茶葉博物館と龍井茶の村—	渡辺 晃子	茶道雑誌	59—8	ブルケンタール国立博物館の美術部門—その歴史的な概要	ドイナ・ウドゥレスク			
偉大なる美術館の設立(デトロイト美術館)	サミュエル・サククス II	ヨーロッパ近代美術とアメリカ現代美術展図録(豊田美術館)		時空展示と外光・外気を取込んだ博物館—ペルー国立人類学・考古学博物館	貝塚 爽平	16—18世紀ヨーロッパ絵画展—ルーマニア国立美術館・ブルケンタール国立博物館所蔵図録(三越美術館(新宿))	文明のクロスロード MU-SEUM KYU-SYU	50

平成7年定期刊行物所載文献(美博、海外展)

「ベルグスラーゲン・エコミュージアムに関する講演会」講演記録	ビーター・ラッセン レナード・エドルンド	ミュージアムデー	29	アジア国際美術展	スーザン・ハミルトン	アトリエインターナショナル	822
ホイットニー美術館が新館改築プラン発表	真田 一貫	美術(月刊)	242	アルス95 ヘルシンキ	ベーター・ヘルプストロイト	〃	821
トランジション4 ユートピアとしてのボンビドゥ・センター	岡部あおみ	日本美術工芸	682	ビエンナーレの「わき役」も楽し(アルテ・ラグーナ'95展/ \$ 樫尾正次 \$)	田中 三蔵	朝日夕刊	9.2
マイヨール美術館	新開 和代	絵	376	飯塚国雄展(ニューヨーク国連本部で原爆展)	高木規矩郎	読 売	8.19
美少女モデルの恩返し マイヨール美術館オープン		芸術新潮	547	展覧会紹介 『ウィーンのジャポニスム』展—コミッシヨナーからの報告	馬淵 明子	ジャポネズリー研究学会会報	15
ウェンディ・ルアーズ インタビュー (メトロポリタン美術館)	吉國 治子 インタビュー	アトリエインターナショナル	817	間直された二十世紀の美術 百周年のベニス・ビエンナーレ	吉村 良夫	日本美術工芸	687
“複製”美術館から建築研究センターへ変容遂げるフランス・モニュメント美術館	永島 聡美	美術(月刊)	238	1995 ヴェネチア・ビエンナーレ	ハリー・ベレ	アトリエインターナショナル	821
特集 世紀末の詩人ギュスターブ・モロー 耽美の館にてある日のモロー美術館	松永 伍一	美術の窓	145	特集 ベネチアビエンナーレ審査報告 千住博の優秀賞受賞と日本館人気投票第一位		ギャラリー(月刊)	124
ユトリロ美術館がオープン	新開 和代	絵	379	特集 ベネチアビエンナーレ審査報告 高階秀爾氏に聞く		〃	〃
ケルン・ルートヴィヒ美術館小史	エヴリン・ヴァイス	ルートヴィヒ美術館展—20世紀美術の挑戦図録(東武美術館)		特集 ベネチアビエンナーレ審査報告 伊藤順二氏「数奇」の目指したもの		〃	〃
トランジション3 開かれた宮殿/ループルの夜会服とCD-ROM	岡部あおみ	日本美術工芸	681	特集 ベネチアビエンナーレ審査報告 共通項は世界への視点 畑中昭彦氏		〃	〃
ルーマニア国立美術館のヨーロッパ絵画コレクション	テオドール・エネスク	16—18世紀ヨーロッパ絵画展ルーマニア国立美術館・ブルケナル国立博物館所蔵図録(三越美術館(新宿))		勝手に「ヴェネツィア・ビエンナーレ」日記	小沢 剛	芸術新潮	548
近代彫刻の祖ロッシの聖地(ロッシ美術館)ミラノ近郊の美術館を訪ねて	松村 寿雄	サンケイ	8.20	第46回ヴェネツィア・ビエンナーレ	I.C.	C.A.R.	18
海外展				創始100年を迎えたヴェニス・ビエンナーレ	南條 史生	新美術新聞	740
藍のアート、異国に染みる—日本伝統の技法、パリで講習会と個展	角 敏憲 角 寿子	日 経	3.2	特集 ヴェネツィア・ビエンナーレ最終便 日本人国際審査員がみた百周年記念展	高階 秀爾	〃	744
				特集 ヴェネツィア・ビエンナーレ最終便 VOICE	建島 哲 酒井 忠康 前田 常作 永井 真貴子 小沢 剛 小清水 漸	〃	〃
				ベネチア・ビエンナーレ46回レポート	中山 恵理	美術(月刊)	240

特集 ヴェネツィア・ビエンナーレー 100年目の孤独? アートの祭典は雨模様?	梅宮 典子	美術手帖	712	特集 ヴェネツィア・ビエンナーレー 100年目の孤独? 参加アーティスト& アート・ビープル語 録 私はこう見た! 高階秀爾	〃	〃	〃
特集 ヴェネツィア・ビエンナーレー 100年目の孤独? 参加アーティスト& アート・ビープル語 録 私はこう見た! アウニ・アル・ホセイニ	梅宮 典子 (編集部)	〃	〃	特集 ヴェネツィア・ビエンナーレー 100年目の孤独? ヴェネツィアの暑い夏がはじまる	矢島みゆき	〃	〃
特集 ヴェネツィア・ビエンナーレー 100年目の孤独? 参加アーティスト& アート・ビープル語 録 私はこう見た! マグディ・キナウイ	〃	〃	〃	特集 ヴェネツィア・ビエンナーレー 100年目の孤独? 重要なのは抽象美術 の価値の有無を確認 することです。 ジャン・クレール・ インタヴュー	セルシオ・ カラトロ ニ	〃	〃
特集 ヴェネツィア・ビエンナーレー 100年目の孤独? 参加アーティスト& アート・ビープル語 録 私はこう見た! ペーター・ヴァイベル	〃	〃	〃	特集 ヴェネツィア・ビエンナーレー 100年目の孤独? エルツィオ ピエンナーレ100年 の歴史	アンドレア ・デル・グ エルツィオ 片桐 頼継 訳	〃	〃
特集 ヴェネツィア・ビエンナーレー 100年目の孤独? 参加アーティスト& アート・ビープル語 録 私はこう見た! カスパー・ケーニッヒ	〃	〃	〃	特集 ヴェネツィア・ビエンナーレー 100年目の孤独? ヴェニスに死す	ジェイムズ ・ロバーツ 嶋崎 吉信 訳	〃	〃
特集 ヴェネツィア・ビエンナーレー 100年目の孤独? 参加アーティスト& アート・ビープル語 録 私はこう見た! エンリコ・ルンギ	〃	〃	〃	特集 ヴェネツィア・ビエンナーレー 100年目の孤独? ヴェニスに死す	榎木 野衣	〃	〃
特集 ヴェネツィア・ビエンナーレー 100年目の孤独? 参加アーティスト& アート・ビープル語 録 私はこう見た! エンリコ・ルンギ	〃	〃	〃	特集 ヴェネツィア・ビエンナーレー 100年目の孤独? ヴェニスに死す	マティアス ・フリュッ ゲ 矢々羽 崇 訳	〃	〃
特集 ヴェネツィア・ビエンナーレー 100年目の孤独? 参加アーティスト& アート・ビープル語 録 私はこう見た! ロラン・ビュジヌ	〃	〃	〃	特集 ヴェネツィア・ビエンナーレー 100年目の孤独? ヴェニスに死す	長谷川祐子	〃	〃
特集 ヴェネツィア・ビエンナーレー 100年目の孤独? 参加アーティスト& アート・ビープル語 録 私はこう見た! ウルス・シュタウブ	〃	〃	〃	特集 ヴェネツィア・ビエンナーレー 100年目の孤独? ヴェニスに死す	リン・クッ ク 林 洋子 訳	〃	〃
特集 ヴェネツィア・ビエンナーレー 100年目の孤独? 参加アーティスト& アート・ビープル語 録 私はこう見た! 伊東順二	〃	〃	〃	特集 ヴェネツィア・ビエンナーレー 100年目の孤独? ヴェニスに死す	ハンス・ウ ルリッヒ・ オブリスト 大住 遥 訳	〃	〃
				美術の「オリンピック」 ペネチア・ピエン ナーレ 日本人の 画家も優秀賞	田中 三蔵 朝 日	7.16	

平成7年定期刊行物所載文献(海外展)

ベネチアビエンナーレ1 「迷路」の中で新しい試み	〃	朝日夕刊	8.7	アート・アトラス 謎めいた空間…江上計太の滞欧展(～10.02/フランス・アジア市美術館)	山根 康愛	〃	9.30
ベネチアビエンナーレ2 「溶け出した船」の日本館	〃	〃	8.8	エヌシーカに参加した日本の女流陶芸家たち	ジュピロ	シ陶 説	511
ベネチアビエンナーレ3 清貧に遠い豪華な「数奇」	〃	〃	8.9	ビエンナーレの「わき役」も楽し(リトル・アベルト展/小沢剛他)	田中 三蔵	朝日夕刊	9.2
ベネチアビエンナーレ4 国・民族の特殊性せめぎあう	〃	〃	8.10	NIHONGA(セントルイス美術館)	(T)	新美術新聞	749
ベネチアビエンナーレ5 アジアの国々が橋頭保築く	〃	〃	8.14	セントルイスで「NIHONGA」展「近代日本画の一世紀1868-1968」	〃	〃	747
ベネチアビエンナーレ6 100年迎え「迷路」の出口は?	〃	〃	8.15	米セントルイス美術館(近代日本画の一世紀 1868-1968)展 近代日本画海外へ本格的紹介	田中 三蔵	朝日夕刊	12.14
100周年のベネチア・ビエンナーレ、モダニズムの衰え反映	建畠 哲	日 経	6.24				
百周年のベネチア・ビエンナーレ(上)ー漂う奇妙な静けさ、モチーフの核心に肉薄できず	三田 晴夫	毎日夕刊	7.3	近代日本画の大規模展、米で開催(近代日本画の一世紀 一八六八—一九六八展)		日 経	12.22
百周年のベネチア・ビエンナーレ(下)ーアバルトヘイト展中止による欲求不満、やわらげた日本勢	〃	〃	7.4	第5回国際グラフィックアート・コンペティション ショーモン・ポスター・フェスティバル	松永 真	アイデア	248
ベネチア・ビエンナーレ1世紀(上)ビデオアート米で成熟知覚の限界問う「ハイテク臭」を払しょく	菅原 教夫	読売夕刊	6.26	第16回グラフィックデザイン・ビエンナーレ・ブルノ1994	福田 繁雄	〃	〃
ベネチア・ビエンナーレ1世紀(中)尊重された非西欧の土着性 作品よりパビリオンが目をつけた日本館	〃	〃	6.27	クワンジュ・ビエンナーレ1回の魅力と意義	南条 史生	新美術新聞	748
ベネチア・ビエンナーレ1世紀(下)「人体」1000展で歴史総括 独自企画で日本の「もの派」紹介	〃	〃	6.28	邦人写真家と画家の「原爆展」を米で開催	高木規矩郎	読売夕刊	8.9
現代美術はおスキ? ベネチアビエンナーレの日本館 「数奇一福方言の試み」	〃	AXIS	57	光州ビエンナーレ開催	〃	〃	747
アート・アトラス 日系人収容所で描かれた心象風景(戦後五十年記念 内からの風景展/～07.16/ニューヨーク市・クイーンズ美術館)	飯村 昭子	朝日夕刊	7.1	光州ビエンナーレ開催 韓国で今秋から国際美術展	平林 薫	〃	750
内田繁・茶室展ー方法の記憶(ミラノ)	〃	〃	3.25	光州ビエンナーレ展1回を見て	中島 崇	サンケイ	10.22
				美術の現在 地球規模で俯瞰ー光州ビエンナーレを見て	清水 敏男	毎日夕刊	10.19
				韓国光州ビエンナーレの熱気	南條 史生	読売夕刊	11.7
				光州ビエンナーレ 韓国で今秋から国際美術展		朝日夕刊	5.25
				光州ビエンナーレ展1回を見て	針生 一郎	〃	10.26
				パリの個展ー後藤純男と中島千波ー	高山 淳	美術の窓	149
				「サイト・サンタフェ」リポート	木下 京子	美術手帖	717

サンパウロ・ビエンナーレレポート 高い評価を得た日本人3作家の仕事	名古屋 覚	ギャラリー ー(月刊)	117	日本工芸展—伝統と前衛(ヴィクトリア・アンド・アルバート美術館)	前田 正明 陶 説	510
日本の「現在」に迫る企画展 デンマークで(JAPAN TODAY(今日の日本)展/9.24/コペンハーゲン・ルイジアナ美術館)	田中 三蔵	朝日夕刊	8.12	永遠の一瞬を文字に映す 大英博物館での展示、収蔵(日本の芸術展/1995/4.23/大英博物館)	小川 東州	読売夕刊 4.17
ジュマイユの不動明王、ルルド市で披露(宗教ビエンナーレ)	西 敏彦	毎日夕刊	6.26	バンガラデシュ・ビエンナーレから多様な差異はらむアジア美術の魅力	阿部 守	毎日夕刊 12.7
イタリアが“日本色”に染まる。「信仰と美、日本美術四千年の歴史を巡る」展	坂本 鉄男	サンケイ	10.22	Photography and Beyond in Japan: Space, Time and Memory展	渡辺 純子	Hara Museum REVIEW 31
杉本博司「タイムエクスポーズド(露出された時間)展(スイス・パーゼル、クンストハレ、~3.5)	内田 洋子	朝日夕刊	2.25	今年は保守反動?ホイットニー隔年展		芸術新潮 546
グッケンハイム美術館「戦後日本の前衛美術」展の作品撤去をめぐる	トーマス・クレンズ アレキサン ドラ・モン ロー	美術手帖	703	竹の絵の個展、各国で(八十山和代)		朝 日 12.27
アート・アトラス 建築と現代美術の国際性と地方性(戦後日本の前衛美術展/8.26/サンフランシスコ近代美術館展示室/イエルバ・ブエナ・ガーデン芸術センター)	大西 若人	朝日夕刊	8.26	マトリックス128~柳幸典	(T)	新美術新聞 747
豪の砂漠に水を描く 茨城の美術教師 奇石で枯山水(地球に線を引く展/11.8~12.17/オーストラリア・パース現代美術館)	〃	〃	7.3	表現力を引き出す少女の絵と詩(山路智恵)	アーサー・ビナード	東京夕刊 5.13
中日版画交流展	園山 晴己	版画芸術	87	「やわらかく、重く」展 今週から米オハイオ州でも開催	(菅)	読売夕刊 7.21
アート・アトラス 破壊された空間、竹で蘇生させる(勅使川原宏個展/6.12~9.24/ミラノ・パラッツォ・レアーレ)	大木 泉	朝日夕刊	8.19	奈良県大和高田市の吉田勇さん 戦後50年来月モスクワで展覧回	福島 申二	朝日夕刊 8.3
「TODAY'S JAPAN」トロントで現代日本芸術祭		新美術新聞	744	ヨハネスブルク・ビエンナーレ “アフリカらしさ”の複雑さ	新川 貴詩	美術手帖 708
トランスカルチャー展(ベネチア・ビエンナーレ、6.11~9.4)		日 経	5.30	ヨハネスブルク・ビエンナーレ 1回(南アフリカ、~4.30)	新川 貴詩	朝日夕刊 3.25
パリの個展—後藤純男と中島千波—	高山 淳	美術の窓	149	南アのヨハネスブルク・ビエンナーレ展 1回 日本からは祭國強ら3人	和多利浩一	読売夕刊 4.28
日本の工芸展—伝統・過渡・アヴァンギャルド		AXIS	55	アート・アトラス 五つの四畳半で「東京の室内空間」(4十十...東京の室内空間展/11.26/トロント・ハーバーフロント・センター)	鈴木 明	朝日夕刊 11.11
				紀行・随筆		
				コラージュについての覚書	横山 勝彦	現代美術の手法 [1]—コラージュ展 図録 (練馬区立美術館)
				(株)日本アートセンター編集という仕事について	青木 祐子	MUSEOLOGY 14

平成7年定期刊行物所載文献(随紀)

新画商日記17~20	秋山 修	美術の窓	143~146						
南米紀行と友人たち 1、2	秋山 正	目の眼	221、223	“私、構想”博物館 風寛を博物館に	内田麟太郎	文明のク ロスロー ドMU- SEUM KYU- SYU	50		
美術史部会の十余年 を顧みて	秋山 光和	東方学会 報	68						
ベトナムの路傍にて (1)(2)	浅湫 毅	国立博物 館ニュー ス	576、577	『梅棹忠夫著作集』刊 行始末	梅棹 忠夫	民博通信	67		
星と神話の美術館 (二十一) 一角獣座	足立 朗	絵	371	もののかたりー『今 昔物語』の世界 20 ~23	梅原 猛	淡 交	591~594		
星と神話の美術館 (二十二) 兎座と月の 兎	〃	〃	372	上海で買った美術 書、五冊	大井 健地	美術の窓	144		
星と神話の美術館 (二十三) 干支と亥	〃	〃	373	国際学術研究第二次 調査始まる	大隅 晶子	国立博物 館ニュー ス	575		
星と神話の美術館 (二十四) アルゴ座	〃	〃	374	韓国石造美術の旅 (八)上、下	大鳥居総夫	史迹と美 術	651、652		
星と神話の美術館 (二十五) 大熊座	〃	〃	375	私の美術館めぐりの 旅	岡田 泰江	AMBI- ANTE	10		
星と星座の美術館 (二十六) 乙女座	〃	〃	376	特集 白洲正子+ア レックス・カー “ほんもの”とは何だ ろう? アレックス ・カー“ほんもの”と の出会い 祖谷一僕の 桃源郷	アレックス ・カー	芸術新潮	542		
星と星座の美術館 (二十七) 天秤座	〃	〃	377	特集 白洲正子+ア レックス・カー “ほんもの”とは何だ ろう? アレックス ・カー“ほんもの”と の出会い 亀岡一 “書の神様”の境内に 住む	〃	〃	542		
星と神話の美術館 (二十八) 射手座	〃	〃	378	美はプロ級、ミスタ ー五輪 故ブランデ ージ氏の収集品、日 本に“里帰り”	覚道 良子	日 経	3.24		
星と神話の美術館 (二十九) 海豚座	〃	〃	379	特集 20世紀を決定 した「眼」20世紀 の、そして私自身の ヴィジュアル・シヨ ック “セクソラマ” で視る明日の世界	柏木 博	芸術新潮	541		
星と神話の美術館 (三十) ベガス座	〃	〃	380	特集 20世紀を決定 した「眼」20世紀 の、そして私自身の ヴィジュアル・シヨ ック 視覚メディア と兵器の二人三脚	飯沢耕太郎	〃	〃		
星と神話の美術館 (三十一) エジプト の星座	〃	〃	381	予約制の展覧会	吉良 文男	国立博物 館ニュー ス	581		
星と神話の美術館 (三十二) 淳祐天文 図	〃	〃	382	特集 三島由紀夫の 耽美世界 美の死	久世 光彦	芸術新潮	552		
特集 20世紀を決定 した「眼」20世紀 の、そして私自身の ヴィジュアル・シヨ ック “セクソラマ” で視る明日の世界	荒俣 宏	芸術新潮	541	地震と茶の湯	熊倉 巧夫	茶道雑誌	59-4		
特集 20世紀を決定 した「眼」20世紀 の、そして私自身の ヴィジュアル・シヨ ック あるべきところ にないもの	飯沢耕太郎	〃	〃	特集 20世紀を決定 した「眼」20世紀 の、そして私自身の ヴィジュアル・シヨ ック ついに剥き出 された肉体	小池 寿子	芸術新潮	541		
身近な民俗	石川 博司	武蔵野	326	特集 映画と美術の 100年 アンケート :マイ・フェイヴァ リット・フィルム	小池 寿子	美術手帖	713		
植民地主義観光客の 西方見聞録	石崎 勝基	Lady's Slipper	3						
余談は時間の余った 時に	〃	〃	4						
<学芸員>はくキュ レーター>ではな かった!!	犬塚 康博	名古屋市 博物館だ より	106						
ウィーンの博物館	井上 光夫	〃	107						
出あいの風景 最終 講義	上原 和	朝日夕刊	2.13						
出あいの風景 大同 江のほとりで	〃	〃	2.15						



		水の光景 エルミタ ージュ美術 館名作録 展(栃木美術 立館)	芸苑雑事記38 忙中 有自娛畢月金週賢	〃	〃	148
サンクト・ベテルブ ルク散策	小針由紀隆		芸苑雑事記39 洋画 商寸考	〃	〃	149
特集 20世紀を決定 した「眼」 20世紀 の、そして私自身の ヴァジュアル・シヨ ック 体験記憶の部 屋から	酒井 忠康	芸術新潮	芸苑雑事記40 「人 と作品」考	〃	〃	150
			芸苑雑事記40 美術 記者	〃	〃	151
			芸苑雑事記41 美術 記者列伝	〃	〃	152
			美術館の窓28 あい さつ	武田 厚	美術の窓	146
“私、構想”博物館 「ハコニワ スコー プ」設置論	塩見 桂二	50	美術館の窓29 税関 と美術品	〃	〃	147
			美術館の窓30 人事 異動に伴う学芸員心 得	〃	〃	149
特集 白洲正子+ア レックス・カー “ほんもの”とは何だ ろう? 白洲正子 “ほんもの”の生活 花を活けると元気に なるの	白洲 正子	芸術新潮	美術館の窓31 再び 「展示」の難しさ	〃	〃	151
			特集 『戦後50年と 私』5 難民救済から 絵画販売へ	竹田 巖道	新美術新 聞	746
特集 白洲正子+ア レックス・カー “ほんもの”とは何だ ろう? 白洲正子 “ほんもの”の生活 愛するものに囲まれ た日々	〃	〃	特集 20世紀を決定 した「眼」 20世紀 の、そして私自身の ヴァジュアル・シヨ ック 「芸術」を引き ずりおろした天才た ち	建畠 哲	芸術新潮	541
特集 白洲正子+ア レックス・カー “ほんもの”とは何だ ろう? 白洲正子 “ほんもの”の生活 身だしなみへのこだわ り	〃	〃	物語 日本洋画商史 二十六 様式道具屋 が見た“極楽”	田中 穰	絵	377
フィレンツェの美術 探訪	白水 正	岐阜市歴史 博物館だ より	特集 20世紀を決定 した「眼」 20世紀 の、そして私自身の ヴァジュアル・シヨ ック 見せるばかり が能じゃない	丹尾 安典	芸術新潮	541
「いき」についての雑 考	杉山 二郎	化粧文化	友部直教授退職記念 少年と海一個人的な 追憶断片	友部 直	文学芸術	19
開かれた道	鈴木 博之	建築雑誌	沖縄からのたより3 沖縄日展と山羊料理	永井 信一	新美術新 聞	744
特集 『戦後50年と 私』4 未曾有の苦 境	瀬木 慎一	新美術新 聞	琉球通信1 市民た ちのイベント「街と 彫刻展」	〃	美術の窓	143
視野・身边考	大丸 弘	民博通信	琉球通信7 芸大界 隈(沖縄県立芸術大 学)	〃	〃	149
みえるものからーバ ーンズ・コレクション 展ー	高田美規雄	天 花	琉球通信9 悲痛な アフガニスタンの現 況	〃	〃	151
特集 20世紀を決定 した「眼」 20世紀 の、そして私自身の ヴァジュアル・シヨ ック 私に一冊の本 を書かせた一枚の写 真	多木 浩二	芸術新潮	琉球通信10 彫刻の 色のことなど	〃	〃	152
芸苑雑事記33 牛庵 八五郎九品仏巷談	瀧 悌三	美術の窓	特集 天災と闘った 美術 受難の文化財 篇 報告! 阪神大震 災と美術 体験記 「私の1月17日」 試 される日	中右 瑛	芸術新潮	545
芸苑雑事記36 諸行 無常	〃	〃				146

平成7年定期刊行物所載文献(随紀)

続・学芸員への道奮戦記 第3回 おふせ「中島千波館」始末記—美術館と寄贈作品	中島 美子	アート・トップ	144	特集 『戦後50年と私』3 中学三年夏の昼の夢	林 紀一郎	新美術新聞	744
続・学芸員への道奮戦記 第5回、第6回	〃	〃	146、147	特集 映画と美術の100年 アンケート：マイ・フェイヴァリット・フィルム	ヤン・フー ト	美術手帖	713
チュニジアとモロッコの旅(上)(下)	中西 亨	史迹と美術	653、654	特集 20世紀を決定した「眼」 20世紀の、そして私自身のヴィジュアル・ショック 20世紀は煮詰まっている	藤森 照信	芸術新潮	541
文献学者とフィールドワーク	永ノ尾信悟	民博通信	67	第三回海外美術調査を得て	別役 恭子	日文研	12
特集 20世紀を決定した「眼」 20世紀の、そして私自身のヴィジュアル・ショッキング 空襲とデュシャン	中原 佑介	芸術新潮	541	美術連話(5) 「忘暑記」	前川 誠郎	雪椿通信	5
特集 『戦後50年と私』3 美術界での40年	中村 敏子	新美術新聞	744	考古学者の影	前田 耕作	象徴図像研究	9
アート・アトラス ベルギー—紀行 下 構造と装飾と…繰り返す世紀末美術	西島 建男	朝日夕刊	4.15	特集 天災と闘った美術 受難の文化財 報告! 阪神大震災と美術 体験記 「私の1月17日」 ガラスのあわれ	前田 光信	芸術新潮	545
自由満喫・気分爽快	野口 晴子	AMBI-ANTE	10	北京骨董事情—大陸における骨董ブーム—	松浦みつる	目の眼	230
出あいの風景 プラハの江戸小紋	芳賀 徹	朝日夕刊	3.6	インド再来……	松本 伸之	国立博物館ニュース	579
出あいの風景 なかの雨水	〃	〃	3.7	特集 『戦後50年と私』 運命の転換日	三谷 敬三	新美術新聞	742
出あいの風景 柳の影の日本学者	〃	〃	3.8	特集 『戦後50年と私』 「道」との出会い	山本 正男	〃	〃
特集 『戦後50年と私』 上野で出逢った偉人	長谷川 栄	新美術新聞	742	特集 20世紀を決定した「眼」 20世紀の、そして私自身のヴィジュアル・ショッキング 赤裸らなゾウムシ	養老 孟司	芸術新潮	541
寄稿特集『戦後50年と私』 昭和二十年八月十七日の銀座	長谷川徳七	〃	743	特集 20世紀を決定した「眼」 20世紀の、そして私自身のヴィジュアル・ショッキング 八月の黒い影	若桑みどり	〃	〃
フジ借景8 ベルリン	矢田 淳	美術手帖	703	健康の保持	若杉 準治	国立博物館ニュース	576
フジ借景9 アルル	〃	〃	705				
フジ借景11 レオン郊外	〃	〃	708				
フジ借景最終回 シエナ	〃	〃	709				
黒部通信 宇奈月町愛本と黒部川	濱田 政利	美術の窓	147				

東洋古美術

総記

一般

論文総目録(第1号から第15号まで)		京都大学文学部美術史学研究室研究紀要	16	白鶴美術館復興記念展『中国・日本美術の名宝』のご紹介	山中 理 陶 説	512
シンポジウム報告 宗教説話と美術	高橋 裕子	美術史	137	〔第二十一回公開講演会〕学問と芸能	林屋辰三郎	日本学士院紀要 49-3
祈念像(Andachtsbild)の概念を巡る論議	嶋谷 昭彦	文化学年報	44	日本美術史考察の基本的問題	田中日佐夫	美学美術史論集 10
日 本				研究資料 全国売立目録所在一覧	都守 淳夫 中村 淳子	美術研究 361
東西文化比較往来(1)	杉山 二郎	学 鏡	92-4	シンポジウム「戦争と美術」一概要及び討議報告一	丹尾 安典 千野 香織	美術史 138
東西文化比較往来(2)	〃	〃	92-5	表現する日本と『眺め』の構造一比較文化における表現の存在一	深田 進	文化学年報 44
東西文化比較往来(3)	〃	〃	92-6	新指定・新選定の文化財 重要文化財の指定(建造物)、重要伝統的建造物群保存地区の選定	文化庁文化財保護部	文化財(月刊) 376
東西文化比較往来(4)	〃	〃	92-7	京都国立博物館 特別展 東寺創建一〇〇年記念 東寺国宝展	泉 武夫	〃 379
東西文化比較往来(5)	〃	〃	92-8	奈良国立博物館 開館一〇〇年記念特別展 日本仏教美術名宝展	奈良国立博物館普及室	〃 〃
東西文化比較往来(6)	〃	〃	92-9	奈良国立博物館100年のあゆみ	山本 信吉 井口 喜晴	〃 380
東西文化比較往来(7)	〃	〃	92-10	仏教美術資料研究センターの開設と活動	山本 信吉 中島 博	〃 〃
東西文化比較往来(8)	〃	〃	92-11	開かれた親しみやすい博物館をめざして	山本 信吉	〃 〃
東西文化比較往来(9)	〃	〃	92-12	奈良国立博物館の収蔵品	河原 由雄 関根 俊一	〃 〃
九州の中世禅宗美術 一大応派の美術一	渡辺 雄二	鹿島美術財団年報	12別冊	奈良国立博物館名品選	奈良国立博物館学芸課 および仏教美術資料研究センター 研究員	〃 〃
『金鍼叢書』史学美術史論文集 掲載論文目録		金鍼叢書史学美術史論文集	22	新指定の文化財 美術工芸品(国宝・重要文化財)	文化庁文化財保護部	〃 382
共同研究「日本人の色彩感覚に関する史的研究」共同研究の経緯と成果の概要	小林 忠雄	国立歴史民俗博物館研究報告	62	新指定の文化財	文化庁文化財保護部	〃 383
サンリツ服部美術館の開館にあたって	岡本 祐美	茶道雑誌	59-7	調査研究報告 1 講演会「原始・古代のまつり・とむらい」<記録集> 原始・古代の人々の精神世界について	水野 正好	房総風土記の丘年報 18
<根津美術館秋季特別展> 相国寺・金閣・銀閣名宝展一北山・東山文化の華一	有馬 頼底	〃	59-9	MUSEUM 総目次 平成六年(一九九四) 第五一四~五二五号		MUSEUM 526
<香雪美術館秋季展> 茶席の床飾り	小田 栄一	〃	〃	連載 真の部屋〔第1回〕 魏志倭人伝の考古学一兵は矛・楯・木弓を用う一	佐原 真 歴 博	71
1994年の歴史学界一回顧と展望一 中世九	宮島 新一	史学雑誌	104-5			
1994年の歴史学界一回顧と展望一 近世十二 美術	内田 欽三	〃	〃			
日本美術における創造と伝統について	小川 光暘	同志社大学博物館学年報	27			
サンリツ服部美術館を訪ねて	森 孝一	陶 説	508			

平成7年定期刊行物所載文献(古)

連載 真の部屋〔第2回〕魏志倭人伝の考古学—木弓短下長上竹箭或鉄鏃或骨鏃—	佐原 真 歴 博	72	粉本をめぐる諸問題	武田 恒夫	大手前女子大学論集	29
連載 真の部屋〔第3回〕魏志倭人伝の考古学—居処宮室楼観城柵蔽設—	〃 〃	73	応挙の写生図について—新出の「写生図貼交屏風」をめぐる—	冷泉 為人	〃 〃	〃
中 国			元信印・伝雅楽助印琴棋書画図屏風	山本 英男	学叢(京都国立博物館)	17
敦煌研究院五十周年記念 敦煌学国際学術研究会	秋山 光和 石塚 晴通	東方学 89	葛飾北斎と江戸狂歌連の研究	久保田一洋	鹿島美術財団年報	12別冊
絵 画			長谷川雪旦研究	影山 純夫	〃 〃	〃
日 本			中世後期の宗教画にみられる素朴様式の研究	矢島 新	〃 〃	〃
御蔭祭絵巻にみる御生神事の変遷	新木 直人	あふひ・AOI 1	学習と創造—狩野元信の場合—	並木 誠士	〃 〃	〃
—資料紹介— 市岡家旧蔵白隠幅と参禪に関する市岡家文書	榎村 洋介	飯田市美術館研究紀要 5	紙師宗二と江戸初期の木版料紙装飾	都築 悦子	〃 〃	〃
池田文庫所蔵からくり絵番付について	山田 和人	池田文庫 7	「一遍聖絵」の研究	堀内 祐子	〃 〃	〃
「軽み」への道程—久隅守景の画業	村瀬 博春	石川県立美術館紀要 10	菅茶山をめぐる画家・文人の研究	黒川 修一	〃 〃	〃
藍摺浮世絵版画に関する—考察—葛飾北斎と溪斎英泉のペロ藍摺風景画をめぐる—	樋口 一貴	出光美術館館報 90	雪村を中心とする中・近世東北地方における水墨画の研究	内山 かおる	〃 〃	〃
田能村竹田筆「村居眺起図」について—最晩期の画風変化を考えるにあたって—	黒田 泰三	〃 91	日本における蘇軾像の研究	救仁郷秀明	〃 〃	〃
北斎美人画の造形—月下歩行人画を一例に—	内藤 正人	出光美術館研究紀要 1	虚空蔵求聞持法画像と儀軌の東国進出(上)	真鍋 俊照	金沢文庫研究 294	294
出光美術館所蔵の南蛮系世界図屏風にみられる南アメリカ—異文化認識の理解に向けて—	大平 秀一	〃 〃	虚空蔵求聞持法画像と儀軌の東国進出(下)	〃	〃 295	295
慶長期狩野派の人物図屏風—新出の「西王母・東方朔図屏風」の紹介をかねて—	黒田 泰三	〃 〃	高山寺所蔵「明恵上人像(明恵上人樹上座禅像) 寛書—東寺観智院金剛蔵本「梵網戒大事」所収「湛睿口伝」をめぐる—	津田 徹英	〃 〃	〃
『河海抄』所引の施身聞偈説話—日本における仏伝変容の一例—	松村 恒	印度学仏教学研究 86	総持寺孔雀明王画像について	吉村 稔子	神田外語大学日本研究所紀要 2	2
平成6年度第4期展示 永青文庫所蔵品選	〃	永青文庫 53	近世土佐派記録(三)	松尾 芳樹	京都市立大学芸術資料館年報 5	5
平成7年度第2期展示 所蔵品展—草花をテーマに—	〃	〃 55	「付立」考	佐々木丞平	京都大学文学部美術史学研究室研究紀要 16	16
水墨画の色—禅画論を踏まえて—	古田 紹欽	大倉山文化会議研究年報 6	東博本「浜松図屏風」試論	実方 葉子	〃 〃	〃
			岩松尚純像と連歌	山田 烈	群馬県立歴史博物館紀要 〃	〃
			能阿弥伝の再検証(五)	山下 裕二	芸術学研究 5	5
			あな珍しや! 酒井抱一の“フローリング”襖絵		芸術新潮 544	544

特集 天災と闘った美術 飄箆から駒篇 2 安政大地震が生んだ “記録絵巻” “鯨絵” 地震を洒落 のめせ鯨絵サイコセ ラビー説	気谷 誠	芸術新潮	545	紹介 大谷篤蔵監修 『芭蕉全図譜』	永井 一彰	国語と国文学	856
特集 弘法さんの秘密 道場「東寺」よ開け！ 「東寺国宝展」ではここ を見てほしい 絵画篇	泉 武夫	〃	547	蕪村詩にみる色彩表現	堀切 実	〃	861
忘れられた江戸前 アーティスト 描く “パロック仏画”は熱 いぞ！	〃	〃	548	六条顕季邸初度人麿 影供歌会考	佐々木孝浩	国文学研究資料館 紀要	21
皇室秘蔵の“超大作 劇画”《小栗判官絵 巻》大公開！	〃	〃	〃	チェスター・ビー ティー・ライブラ リィ所蔵 絵巻・絵 本図版集	〃	国文学研究資料館 文献資料部・調査 研究報告	16
円山応挙よ、いった いあなたのどこが凄 かったのでしょうか？	狩野 博幸	〃	549	絵入本千載集につい て—奥村政信による 『姿絵百人一首』等師 宣図像の摂取—	松野 陽一	〃	〃
ひらがな日本美術史 【連載】その二十三 男の時代にふさわし いもの 「平治物語 絵巻」前編	橋本 治	〃	〃	在外文献資料の紹介 (四) 謎の本四種	岡 雅彦	〃	〃
ゆく秋の大和の国の 薬師寺の慈恩大師の そらいぶみ	〃	〃	550	「歴博本江戸図屏風」 と鴻巣人形	小泉 和子	国立歴史民俗博物 館研究報告	60
画壇の巨匠が“ぬり 絵”した法隆寺金堂 壁画	〃	〃	〃	絵画にみる建築の描 き方	浜島 正士	〃	〃
井上馨が天皇と “物々交換”した不動 明王像	高橋 太郎	〃	〃	『江戸図屏風』のX線 透過像について	永嶋 正春	〃	〃
ひらがな日本美術史 【連載】その二十四 それでも古典的なも の 「平治物語絵巻」 後編	橋本 治	〃	〃	都市景観図の形成に 関する一考察 — 「江戸一目図屏風」を めぐって— 付・ 「名所風俗図」の研究 における諸問題	小沢 弘	〃	〃
アトリエは千代田城 狩野養信氏の多忙な る奥絵師人生	松木 寛	〃	551	「信貴山縁起絵巻」に ついての新知見—詞 書に記された「やま と」の再検討—	笠嶋 忠幸	国 華	1190
ひらがな日本美術史 【連載】その二十五 得意なもの 苦手な もの 「蒙古襲来絵 巻」	橋本 治	〃	〃	酒井抱一筆 八橋図 屏風	山根 有三	〃	〃
ひらがな日本美術史 【連載】その二十六 大和絵というもの 「北野天神縁起絵巻」	〃	〃	552	高台寺開山堂の障壁 画	石田 佳也	〃	1192
雪舟東遊期の一考察	高橋 範子	芸術論究	22	長沢蘆雪筆 牡丹孔 雀図	河野 元昭	〃	1190
高野山親王院所蔵 星供養曼荼羅図につ いて	吉武 貢	高野山靈 宝館研究 紀要	1	養源院障壁画研究の 問題点—宗達弟子 甲・乙・丙に触れつ つ—	山根 有三	〃	1191
是害房飛来の背景— 『是害房絵』から『武 宗皇帝破仏物語』へ—	伊井 春樹	国語国文	728	酒井抱一の浮世絵— 杜綾・屠龍落款の天 明期肉筆美人画につ いて—	内藤 正人	〃	〃
書評 長友千代治著 『近世上方作家・書 肆研究』	山本 卓	国語と国 文学	856	雲谷等韻筆 四季耕 作図屏風 雲谷派 耕作図屏風	河合 正朝	〃	〃
				高台寺靈屋障壁画私 見	榊原 悟	〃	1192
				「桑実寺縁起絵巻」研 究	亀井 若菜	〃	1193
				三十六歌仙図扁額	黒田 泰三	〃	〃
				紅白梅・夏秋草図屏 風	石田 佳也	〃	〃
				阿弥陀影現図論—楊 谷寺本阿弥陀如来像 二種を中心にして—	中野 玄三	〃	1194

狩野孝信筆 高士・ 花鳥図座屏	河野 元昭	国 華	1194	網干図屏風	山根 有三	国 華	1201
日本仏画の美しさ	平田 寛	" "	" "	書評と紹介 水藤 真著『絵画・木 札・石造物に中世を 読む』『木簡・木札 が語る中世』	峰岸 純夫	古文書研 究	41・42
山雪と妙心寺天球院 方丈障壁画(上)	内山かおる	" "	1195	茶掛けについて(七 十八)	十和田湖月	茶道雑誌	59-1
尾形光琳筆 絵盆 与謝蕪村筆 臘月画 賛	山根 有三 小林 忠	" "	" "	和菓子で遊ぶ洛中洛 外図一京の名所旧跡 にちなんで一	中山 圭子	" "	59-2
鈴木其一筆 海辺貝 甲図	辻 惟雄	" "	" "	茶掛けについて(七 十九)	十和田湖月	" "	" "
山水屏風残欠	泉 武夫	" "	" "	茶掛けについて(八 十)	" "	" "	59-5
新出の深江蘆舟筆・ 草花図屏風をめぐっ て一蘆舟の画風展開 試論一	山根 有三	" "	1196	茶掛けについて(八 十一)	" "	" "	59-7
蘆舟筆草花図屏風の X線写真撮影とその 所見	田口 栄一	" "	" "	<永青文庫>「所蔵 品展一草花をテーマ に一」より	永青 文庫	" "	59-8
山雪と妙心寺天球院 方丈障壁画(下)	内山かおる	" "	" "	茶掛けについて(八 十二)	十和田湖月	" "	" "
円山応挙筆 木賊に 兎図	河野 元昭	" "	" "	浮田一蕙の「北野大 茶湯之図」(上)	別役 恭子	" "	59-9
研究資料 若沖のモ ザイク風四作品につ いて	ジョンソン ヒロコ	" "	" "	浮田一蕙の「北野大 茶湯之図」(下)	" "	" "	59-10
中世屏風の雲母と金 銀	泉 万里	" "	1197	京都祇園祭の山鉦の 図のある江戸時代の 板本(上)	大鳥居総夫	史迹と美 術	656
愛宕山図屏風	戸田 禎佑	" "	" "	京都祇園祭の山鉦の 図のある江戸時代の 板本(中)	" "	" "	657
伝土佐光茂筆「車争 図屏風」の筆者問題 について	相沢 正彦	" "	1198	京都祇園祭の山鉦の 図のある江戸時代の 板本(下)	" "	" "	658
土佐光起筆 芙蓉白 鷺図	水尾比呂志	" "	" "	宮へ	上原 昭一	実践女子 大学美学 美術史学	10
雪村筆 波岸図	赤沢 英二	" "	" "	宮次男先生の思い出	三隅 治雄	" "	" "
日吉祭礼図屏風	辻 惟雄	" "	1199	宮次男先生年譜	" "	" "	" "
室町障屏画研究史一 回顧と現在	" "	" "	1200	宮次男先生研究業績 一覽	" "	" "	" "
室町時代絵画におけ る金と銀一扇面画と 屏風絵を中心に一	山根 有三	" "	" "	宗達筆「松島図屏風」 考 上	仲町 啓子	" "	" "
絵画のアルケオロ ジー一室町時代にお ける屏風絵の意義一	鈴木 広之	" "	" "	仏眼仏母と仏眼曼茶 羅	内田 啓一	宗教美術 研究	2
四季耕作図屏風	安達 啓子	" "	" "	個人蔵 島霞谷「美 人図」プレキシトル、 プレキシブルによる 裏打	伊藤 由美	修復研究 所報告	11
明石・浮舟図屏風	宮島 新一	" "	" "	島霞谷作品クロスセ クションの観察と分 析	宮田 順一	" "	" "
競馬図屏風	泉 万里	" "	" "	島霞谷のこと	青木 茂	" "	" "
宇治川図屏風	水尾比呂志	" "	" "	麻布山水図について	中島 博	正倉院年 報	17
室町後期山水画論一 「真景」の枠組み・内 海のイメージ	山下 裕二	" "	1201	世界の至宝 法隆寺 金堂壁画考	高田 良信	聖 徳	146
花鳥図屏風の図像学 一出光美術館蔵「日 月四季花鳥図屏風」 について一	島尾 新	" "	" "	「信貴山縁起絵巻」に おける空間表現につ いて	面出 和子	女子美術 大学紀要	25
松林を旅する	宮島 新一	" "	" "				
天橋立・三保松原図 屏風	山下 裕二	" "	" "				
伝土佐光信筆 花鳥 草蟲図押絵貼屏風	島尾 新	" "	" "				

紅顔梨色阿弥陀像をめぐって2—第一次と儀軌を中心に—	苦米地誠一	大正大学 総合仏教 研究所年 報	17	北斎と名古屋—研究 序章— 一牧墨樓取 集版画帖の紹介を中 心に—	神谷 浩	名古屋市 博物館研 究紀要	18
日本中世における地方(鄙)の絵画についての基礎研究 関東編 上	横田 忠司	多摩美術 大学研究 紀要	10	三大寺家旧蔵「高野 大師行状絵」考— 総持寺本を中心に—	塩出貴美子	奈良大学 紀要	23
『千葉妙見大縁起』絵巻の風俗史的研究	樋口誠太郎	千葉県立 中央博物 館研究報 告	8	碧眼富岳三十六景 (その六)—碧眼を通 した日本富岳図	白幡洋三郎	日 文 研	12
喜多川歌麿・北川豊章別人説	石田 泰弘	デアルテ	11	第三回海外美術調査 を終えて	別役 恭子	〃	〃
大津絵の成立—青面金剛図をめぐって	工藤 健志	〃	〃	『隔禁記』にみる寛永 文化の世界 23 『隔禁記』にみえる絵 巻物	原口志津子	日本美術 工芸	677
法隆寺旧蔵「聖徳太子絵伝」研究—その画面構成の特質について—	今岡 英子	哲学会誌	19	『隔禁記』にみる寛永 文化の世界 24 八 景の愛好	岩間 香	〃	678
滝上寺九品来迎図試論—風景と説話の関係	緒方 知美	哲学年報	54	『隔禁記』にみる寛永 文化の世界 25 押 絵と押絵貼屏風	田中 英二	〃	679
聖衆来迎寺本六道絵「畜生道図」私見	加須屋 誠	帝塚山学 院大学研 究論集	30	『隔禁記』にみる寛永 文化の世界 27 祇 園祭と山鉾	岩間 香	〃	681
天理参考館新収 海獣図掛軸について—江戸期の臘膾臍事情の一端—	中谷 哲二	天理参考 館報	8	宮崎宮蔵「箱崎八幡 宮縁起」について 1・1 現状と詞書 の検討	下原 美保	〃	682
奈良絵本棠花物語について	中野 雅之	東海大学 紀要課程 資格教育 センター	4	円山応挙の大和絵に ついて	木村 重圭	〃	683
与謝蕪村—その詩と画の整合—	井上 章	東京家政 大学研究 紀要	35	宮崎宮蔵「箱崎八幡 宮縁起」について 1・2 図様の検討	下原 美保	〃	〃
佐太神社の桧扇について—扇の意味と機能—	稲本万里子	東京芸術 大学美術 学部紀要	30	宮崎宮蔵「箱崎八幡 宮縁起」について 2・1 住吉具慶と 本絵巻の画風	〃	〃	684
研究報告 守屋家本騎馬武者像の像主—〈文字=史料〉としての『太平記』の記述から—	黒田日出男	東京大学 史料編纂 所研究紀 要	5	絵画の背景—研究 ノートより— 新連 載 応挙の他流派研 究の意味	佐々木丞平	〃	685
史料保存技術室研究報告 筒井順慶画像の模写	村岡ゆかり	〃	〃	宮崎宮蔵「箱崎八幡 宮縁起」について 3・1 奥書と制作 背景	下原 美保	〃	〃
ギリシア美術の日本仏教美術に対する影響—ヘルメース神像と(兜跋)毘沙門像の羽翼冠の比較—	田辺 勝美	東洋文化	75	絵画の背景—研究 ノートより2 「猿 を描くには犬を見 よ」—応挙の写生画 思想の謎	佐々木丞平	〃	686
知恩寺土佐家墓所(二)	松尾 芳樹	と さ え	5	宮崎宮蔵「箱崎八幡 宮縁起」について 4	下原 美保	〃	〃
日本水墨画の流れ(五)~初期水墨画~吉山明兆	木村 弘道	富山市箕 牛人記念 美術館	〃	絵画の背景—研究 ノートより3 四条 派形成への伏線—応 挙と蕪村の交友	佐々木丞平	〃	687
謎の画人 月雪香	伊東 豪健	長崎市立 博物館報	35	宮崎宮蔵「絵入縁起」 の位置付け および 享受者について	下原 美保	〃	〃

平成7年定期刊行物所載文献(古)

書評と紹介 辻惟雄著『戦国時代狩野派の研究 狩野元信を中心として』	武田 恒夫	日本歴史	564	続・美術史における日中関係	戸田 禎佑	美術史論叢	11
書評と紹介 平田寛著『絵師の時代 研究篇・史料篇』二巻	石田 尚豊	〃	566	雲霞表現に関する一考察—雲気文から宗達「松島図屏風」に至る雲霞と大地の両義性について—	三戸 信恵	〃	〃
書評と紹介 瀬田勝哉著『洛中洛外の群像 失われた中世京都へ』	水藤 真	〃	567	大仙院方丈の所謂「増築」問題について	小川 裕充	〃	〃
絹本著色審海像	小林 達朗	〃	568	蘆雪試論	河野 元昭	〃	〃
安土城天守五階の空間構成に関する一試論 —障壁画を手掛かりとして—	平井 良直	〃	570	研究ノート 俵屋宗達筆「関屋滞標図屏風」(静嘉堂文庫美術館蔵)に関する一考察—物語と造形性の関わりから—	浜崎 昌子	〃	〃
書評と紹介 宮島新一著『肖像画』(日本歴史叢書)	中野 玄三	〃	〃	研究ノート 東福寺蔵三十三観音像	五十嵐公一	〃	〃
河鍋狂斎画「狂斎どふけ百萬編」について	南 和男	〃	571	木村黙老と上方浮世絵研究	松平 進	ビブリア	104
団扇形画面形式の邸内遊楽図とその工房について—野村美術館蔵「池坊専好立花・風俗図」本を中心に—	知念 理	野村美術館要	4	「影」と「肖像」の文化史1 プロローグ 「影」と「肖像」の記憶	岡戸 敏幸	百 科 (月刊)	390
《資料紹介》雛屋立圍筆 三十六歌仙	古賀 健蔵	〃	〃	「影」と「肖像」の文化史2 「影法師」の役者絵 落合芳幾「真写月花之姿絵」をめぐって	〃	〃	393
彦根寺の歴史—「彦根寺縁起」と「金亀伝」を手がかりとして—附 資料翻刻「金亀伝并考」	頼 あき	彦根城博物館研究紀要	6	最古のギフトウ図埋もれていた博物図譜「東秀南畝談」との出会い	磯野 直秀	〃	394
新蔵資料紹介 森川許六「蘭譜」	高木 文恵	〃	〃	「影」と「肖像」の文化史3 「影法師」と「追善」 『久万那幾影』をめぐって	岡戸 敏幸	〃	395
祇園井特と京都画壇	田島 達也	美術京都	14	乳峰寺・駿岳碩甫像について—幻住なる肖像画の存在—	渡辺 雄二	福岡市博物館研究紀要	5
往還する絵画—十五世紀漢字文化圏のなかの「唐絵」の意義—	鈴木 広之	美術研究	361	宮崎宮蔵「絵入縁起」について	下原 美保	〃	〃
研究資料 茶会記に現れた絵画	谷 晃	〃	362	浦上春琴の落款と印章 附 浦上秋琴の落款印章	川延 安直	福島県立博物館紀要	9
根津美術館所蔵 大日如来画像 —十二世期台密の一遺例—	白原由起子	美術史	137	法隆寺金堂壁画に関する一考察—四大壁壁画の主題を中心として—	松原 智美	仏教芸術	218
酒飯論絵巻と狩野元信	並木 誠士	〃	〃	龍湫周沢の不動明王坐像摺仏	内田 啓一	〃	220
狩野探幽の水墨画におけるふたつのヴィジョン	鬼原 俊枝	〃	〃	文化庁保管十一面観音画像について—南都仏画考三—	林 温	〃	221
資料紹介 化政期における文晁の景観表現	福井 尚寿	〃	〃	新出の八字文殊曼荼羅図について	〃	〃	223
シンポジウム 「平治物語絵巻」に見る理想の武士像	池田 忍	〃	138	東京国立博物館 特別展観—ベルギー王立美術館蔵—浮世絵とタビスリー	大久保純一	文化財 (月刊)	377
金碧障壁画における図様の継承 —妙心寺天球院方丈障壁画の場合—	内山かおる	美術史学 (東北大学)	16				



京都国立博物館特別 展覧会「没後二〇 〇年記念 円山応 挙一抒情と革新一応 挙展に寄せて」	狩野 博幸	文化財 (月刊)	382	修理報告「正伝寺藏 伝李公麟筆猛虎図」	西上 実	学叢(京 都国立博 物館)	17
東京国立博物館 特 別展「花 日本人の 感性がとらえた花」	松原 茂	〃	384	書評「丸善ブッ クス」 桶田直人著 中国伝統年画の世界	川瀬 健一	学 鏡	92-6
本證寺蔵「高野大師 行状図画」考一十卷 本系写本の補考をか ねて一	塩出貴美子	文化財学 報	13	中国年画の故郷めぐ り	桶田 直人	〃	92-10
『五輪九字明秘密釈』 における阿弥陀曼荼 羅について	赤塚 祐道	密教図像	14	敦煌壁画の観経変日 想観図にみる山水表 現とその意味につい て	勝木言一郎	芸 叢	11
博物館の宝庫一帝室 本	磯野 直秀	MUSE- UM	526	牧谿派 豊干寒山拾 得図	戸田 禎佑	国 華	1190
『蒼田宗箇縁起』の絵 師とその画風	相沢 正彦	〃	527	研究余滴 『画は賤 者のことなり』一《洞 天清禄集》について の疑問一	鈴木 敬	〃	1197
浮世絵における初期 歌舞伎図の問題一 「歌舞伎風俗図屏風」 の成立をめぐる一	内田 欽三	〃	528	研究余滴 逸品画風 に対する一つの疑問	〃	〃	1198
芦屋釜下絵図巻と土 佐光信	中山喜一郎	〃	531	元画牡丹図	戸田 禎佑	〃	1199
高幡不動胎内文書の 解明と問題点	小川 信	武蔵野	326	虚舟普度賛 山水図	〃	〃	〃
「浮世絵版画」と「グ ラフィック・デザイ ン」の表現様式	西垣 泰子	明星大学 研究紀要	3	研究余滴 僧居寧と 毗陵草虫画	鈴木 敬	〃	〃
大和文華館所蔵日光 月光菩薩及び十二神 将像屏絵について	梶谷 亮治	大和文華	93	訳注「王樹村／中国 民間年画史概説」 (二) (遠・金代か ら明代まで)	阿部 幸夫	実践女子 大学美学 美術史学	10
司馬江漢筆『ゼウク シス葡萄写生図』を めぐって	成瀬不二雄	〃	〃	中国山水画における “氣”の表現 氣の 変化相一雲氣文から 風雨山水図	近藤 秀実	宗教美術 研究	2
浄土三部経マンダラ 序説	稲垣 久雄	龍谷大学 論集	447	<考古・図像> 中 国古代における獅子 図像	土居 淑子	象徴図像 研究	9
描かれた卒塔婆	窪田 涼子	歴史と民 俗	12	唐人「明皇幸蜀図」	古原 宏伸	奈良大学 紀要	23
【歴博対談】一 4 絵 画をみる・絵画をよ む一美術史と歴史学 の語り口	佐野みどり 石井 進	歴 博	74	《画は賤者の事なり》 一《洞天清禄集》につ いての一試論一	鈴木 敬	日本学士 院紀要	50-1
書評 国立歴史民俗 博物館編 装飾古墳 が語るもの 古代日 本人の心象風景	柳沢 一男	〃	〃	美術館散歩42 澄懷 堂美術館	島田 康寛	日本美術 工芸	681
司馬江漢の面白さ	近藤 秀実	早稲田大 学図書館 紀要	41	騎象普賢と騎獅文殊 の図像 一中国にお ける成立過程一	小島 彩	美術史	137
雪村についての一 考察一雪村と関西画 壇一	山川 道子	早稲田大 学大学院 文学研究 科紀要別 冊	21	武元直の活躍年代と その制作環境につい て一金・王叔「鴨江 行部志」所録「龍門招 隱図」一	小川 裕充	美術史論 叢	11
中 国				白描的画風と渴筆山 水画の成立について 一趙孟頫「水村図巻」 を中心に一	林 秀薇	〃	〃
中国絵画図版目録稿 (二)	嶋田 英誠	跡見学園 女子大学 紀要	28	天理図書館蔵中国版 画一実見と実測の記 録を中心にして一	田所 政江	ビブリア	103
				敦煌第二四九窟天井 における中国的図像 の受容形態	斎藤理恵子	仏教芸術	218

トゥルファン・トヨク石窟の禪観窟壁画について—浄土図・浄土観想図・浄観想図—(上) 宮治 昭 仏教芸術 221

トゥルファン・トヨク石窟の禪観窟壁画について—浄土図・浄土観想図・浄観想図—(中) " " 223

朝鮮

<研究ノート> 李朝屏風の構造について 井溪 明 堺市博物館館報 14

高麗の阿弥陀画像と普賢行願品 井手誠之輔 美術研究 362

朝鮮初期絵画と室町水墨画 盧 載玉 文化学年報 44

日本所在李朝絵画目録 吉田 宏志 大和文華 93

その他

ジニャーナパダ流のマンダラ構成 佐藤 努 密教図像 14

仏陀の顔をしたキリスト—仏教美術西漸に関する一考察— 益田 朋幸 仏教芸術 220

スペインにおける浮世絵: 蒐集と蒐集家達 セルヒオ ナバロ・ポロ 鹿島美術財団年報 12別冊

文様

日本

蛇の神話と考古学 小山 修二 大美和 88

絵図

日本

正保国絵図と御用絵師について 田中 敏雄 鹿島美術財団年報 12

江戸城本丸御殿図に見る中奥・表向・大奥(下)—その変遷を中心に— 深井 雅海 金鱗叢書 史学美術史論文集 22

近江国比良荘絵図について—二枚の絵図の問題点— 松井 吉昭 女子美術大学紀要 25

鷹見泉石旧蔵“オッテンス小地図帳”の修復 山領 まり 泉 石 3 宮田 順一

吉田城絵図 高橋 洋充 豊橋市美術館 紀要 4

佐和山城の絵図 谷口 徹 彦根城博物館研究 紀要 6

彫刻

東アジア

研究ノート 仏像の服制と「偏衫」をめぐる諸問題 岩井 共二 美学美術史研究論集 13

日本

三山 進先生 年譜と業績 青山史学 14

醍醐寺大講堂の不動明王像と脇侍二童子像 益田 佳苗 跡見学園女子大学 美学・美術史学科 報 23

木曾義仲関係伝説をもつ飯田と馬籠の仏像 西山 保 飯田市美術館 研究紀要 5

滋賀・阿弥陀寺阿弥陀如来像の結縁交名 青木 淳 印度学仏教学研究 86

宇佐国東仏教美術文化財調査 宇佐風土記の丘歴史民俗資料館年報 H6年度

作品紹介 獅子・狛犬像 教王護国寺蔵 伊東 史朗 学叢(京都国立博物館) 17

作品紹介 女神坐像 松尾大社蔵 " " "

中世禅宗僧侶肖像彫刻の造像に関する研究 根立 研介 鹿島美術財団年報 12別冊

江戸時代仏像彫刻の基礎的調査研究—七条仏師の作例を中心に— 張 洋一 " "

阿弥陀来迎表現の研究 三宅 久雄 " "

山岳信仰美術の研究—役行者の図像を中心に—(銅造の役行者像の遺品—石鎚行者堂役行者像を中心に—) 石川 知彦 " "

鎌倉期における阿弥陀如来像造立の一考察 土井 通弘 " "

東大寺天平仏の研究—執金剛神像を中心にとして— 川瀬 由照 " "

院政期の仏師 田中 嗣人 華頂博物館学 研究 2

『仏師職慎申堅メ控』と京仏師林如水 三山 進 鎌 倉 78

応永期鎌倉寛園寺の復興と悦岩思咲—十二神将戌神像胎内文書を中心にとして— 古川 元也 " 79

清水善三教授を送る	佐々木丞平	京都大学文学部美術学研究室研究紀要	16	東大寺こぼれ話<7> 法華堂本尊宝冠盗難事件 1	筒井 寛秀	日本美術工芸	676
仏像造法のこと	小山勝之進	郷土と博物館	80	東大寺こぼれ話<8> 法華堂本尊宝冠盗難事件 2	〃	〃	677
ひらがな日本美術史連載その二十 古典的であるようなもの快慶作「浄土寺阿弥陀三尊像」	橋本 治	芸術新潮	543	上原和教授年譜・著作等目録		美学美術史論集	10
特集 弘法さんの秘密道場「東寺」よ開け! 「東寺国宝展」ではここを見てほしい 彫刻篇	伊東 史朗	〃	547	上原先生を送る辞	戸口 幸策	〃	〃
ひらがな日本美術史【連載】その二十二 歪んでいるのかもしれないもの 運慶作「八大童子立像」	橋本 治	〃	548	城門楼上の毘沙門天について —東寺兜跋毘沙門天立像の羅城門安置をめぐる—	神田 雅章	美術史学(東北大学)	16
金剛峯寺真然大徳坐像の作者 仏師久七康以について	宮崎 恵仁	高野山霊宝館研究紀要	1	天台業師像の成立と展開	松浦 正昭	〃	〃
近世大阪における仏師と造像等に関する資料集成	張 洋一	堺市博物館館報	14	平安彫刻の成立(8)	紺野 敏文	仏教芸術	219
京都府山城町・松尾神社牛頭天王像の伝来に関する史料—『松尾大明神遷宮記録写』—	八田 達男	史迹と美術	659	大將軍信仰とその造形 —新出の南山城巨椋神社神像群を中心にして—	中野 玄三	〃	〃
大和金峯寺の聖徳太子像	小松 光江	聖 徳	143	〔新資料紹介〕群馬県邑楽郡大泉町出土観音菩薩立像	山田 磯夫	〃	220
称名寺・金沢文庫の南無仏像	〃	〃	146	〔表紙・口絵解説〕兵庫・円教寺阿弥陀如来坐像	根立 研介	〃	〃
秘仏考善光寺仏をめぐって—	山ノ井大治	大正大学研究紀要	80	平安彫刻の成立(9)	紺野 敏文	〃	221
福島に伝わる十王像と十王思想の展開	村越 信子	東京家政大学研究紀要	35	“迎講阿弥陀像”考 1—当麻寺の来迎会と弘法寺の迎講阿弥陀像—	関 信子	〃	〃
当麻寺金堂弥勒如来坐像について—毛利久説の再検討と朝鮮軍威石窟像および龍門石窟薬方洞像との造形比較—	山本 謙治	同志社大学博物館学年報	27	東寺大仏師職考補遺—鎌倉から室町時代初頭にかけての動向を中心に—	根立 研介	〃	222
木彫技法における内削り構造の一考察—平安時代前期を中心とした造像法の活用—	西野 慎二	奈良教育大学紀要	44—1	白鳳彫刻論	大橋 一章	〃	223
維摩・文殊像の研究	石松日奈子	南都仏教	71	“迎講阿弥陀像”考 2—当麻寺の迎講阿弥陀像—	関 信子	〃	〃
東大寺南大門金剛力士像の制作分担について	麻木 脩平	〃	72	快慶作遣迎院阿弥陀如来像の結縁交名—像内納入品に見る中世信仰者の「結衆」とその構図—	青木 淳	仏教史学研究	38—2
東大寺法華堂執金剛神像の造立と原所在について	川瀬 由照	〃	〃	井上正先生を送る言葉	古原 宏伸	文化財学報	13
法輪寺の創立と木彫像の制作時期について	林 南寿	〃	〃	井上正先生 年譜及び著作目録	〃	〃	〃
				研究生活四〇余年	井上 正	〃	〃
				石山寺の彫刻拾遺(上)	岩田 茂樹	MUSE-UM	529
				身延・本遠寺釈迦如来立像補遺	山本 勉	〃	530
				石山寺の彫刻拾遺(下)	岩田 茂樹	〃	〃
				観心寺観音菩薩立像について(上)	岩佐 光晴	〃	531
				東寺講堂諸像と承和前期の作風	丸山 士郎	〃	532

平成7年定期刊行物所載文献(古)

観心寺観音菩薩立像について(下)	岩佐 光晴	MUSE-UM	532					
クラスタ分析による古代の誕生仏の研究	高林 睦子	"	533	朝鮮				
資料紹介 東京国立博物館保管銅造勢至菩薩坐像	山本 勉	"	536					
高幡不動胎内文書の解明と問題点	小川 信	武蔵野	326					
蟹満寺本尊釈迦如来像について	松山 鉄夫	大和文華	94					
作品解説 金銅双身毘沙門天立像	村田 靖子	"	"					
近江の清涼寺式釈迦模刻像	宇野 茂樹	栗東歴史民俗博物館紀要	1					
滋賀・山口寺旧蔵の四天王像について	佐々木 進	"	"					
中 国								
邪鬼の研究—畏怖・嫌悪の造形—	浅瀨 毅	鹿島美術財団年報	12別冊					
金剛峯寺伝来板彫胎蔵曼荼羅について—伝来と図様からみた制作年代—	井筒 信隆	高野山霊宝館研究紀要	1					
<フィールド> 山東省仏蹟調査概報その3—特に石窟造像における独自性、西方性と東方への影響について	北 進一	象徴図像研究	9					
双身仏の図像に関する一試論	朴 亨国	美学美術史研究論集	13					
吐谷渾と成都の仏像	山名 伸生	仏教芸術	218					
止利式仏像と南朝様式の関係 —岡田健氏の批判に答えて—	吉村 怜	"	219					
六世紀中国七尊仏にみえる螺髻像について —『維摩経』の螺髻梵王とその図像—	金林 理那寿	"	"					
仏像は揚子江に沿って—中国南方の旅—	村田 靖子	文化財(月刊)	378					
晩唐・五代の一青銅仏群について—町田市・宝永堂蔵如来立像を中心に—	田辺三郎助	大和文華	94					
二仏並坐像の二仏同形と異形—根津美術館所蔵の北魏金銅仏を中心に—	村田 靖子	"	"					
作品解説 金銅楊柳観音菩薩立像	"	"	"					
				朝鮮	誕生仏の一形式について—荊州大明寺伝優填王像に関する一つの記事をめぐって—	漆 紅	鹿島美術財団年報	12
					熊本県内所在の請来金銅仏について	石原 浩	デアルテ	11
					七獅子蓮華座の図像について —韓国統一新羅後期の石造毘盧舎那仏坐像を中心に—	朴 亨国	密教図像	14
				そ の 他				
					インドにおける“魔”の表現	秋山 光文	宗教美術研究	2
					ガンダーラ美術後期の片岩彫刻とハイル・ハネー出土の大理石彫刻の製作年代	田辺 勝美	東洋文化研究所紀要	127
					南インドヒンドゥー彫刻における理想的プロポーション—統計的手法における一考察—	小倉 泰	美術史	137
					アマラーヴァティー欄楯浮彫の研究	島田 明	フィロカリア	12
					インドの大日如来像の現存作例について	宮治 昭	密教図像	14
					ウシがブッダの足を舐める話—新出土のガンダーラ石彫—	小谷 仲男	富山大学人文学部紀要	22
					タクラマカンを行く	永井 信一	宗教美術研究	2
				石 仏 等				
				日 本				
					千早赤阪村所在の十三仏と庚申塔	福沢 邦夫	史迹と美術	655
					高知県東部の石造美術 補遺	岡村 庄造	"	658
					人吉市瓜生田の石造地藏菩薩	溝下 昌美	"	659
				土 偶 ・ 埴 輪 等				
				日 本				
					埼玉將軍山古墳出土の鞍形埴輪	岡本 健一	埼玉県立さきたま資料館調査研究報告	8
					人物埴輪の共通表現とその背景	日高 慎	筑波大学先史学・考古学研究	6

甲府市八幡神社採集の縄文土偶	小野 正文	山梨県立考古博物館山梨県埋蔵文化センター研究紀要	11	書評と紹介 荻野三七彦『日本古文書学と中世文化史』	飯倉 晴武	古文書研究	41・42
三浦半島の埴輪(2) 一 蓼原古墳出土の馬形埴輪一	稲村 繁	横須賀市博物館研究報告	40	黒川真頼家蔵書目録影印(七)『書籍目録 人中』	城田 秀雄	実践女子大学文学芸資料研究所年報	14
面				慈雲尊者一人と書一(一)	木南 卓一	日本美術工芸	676
日 本				慈雲尊者一人と書一(二)	〃	〃	677
熊本に残る中世仮面の形態と分類	山崎 撰	デアルテ	11	慈雲尊者一人と書一(三)	〃	〃	678
書 蹟				慈雲尊者一人と書一(四)	〃	〃	679
東アジア				慈雲尊者一人と書一(五)	〃	〃	680
表紙解説—世界のカリグラフィ6—阿弥陀如来像の胸臆にみえる巴	井手誠之輔	百 科 (月刊)	392	慈雲尊者一人と書一(六)	〃	〃	681
日 本				慈雲尊者一人と書一(七)	〃	〃	682
「金剛院切」に関する一考察—十四世紀の女性歌人による百首歌の懐紙の可能性—	別府 節子	出光美術館研究紀要	1	慈雲尊者一人と書一(八)	〃	〃	683
研究資料 伴大納言絵巻の詞書	笠嶋 忠幸	〃	〃	慈雲尊者一人と書一(九)	〃	〃	684
新出史料紹介 新出の豊臣秀吉書状(追伸部分自筆)および徳川家康自筆書状について	渡辺 武	大阪城天守閣紀要	23	慈雲尊者一人と書一(十)	〃	〃	685
守覚法親王「紺表紙小双紙」とその伝来—金沢文庫本をめぐる—	阿部 泰郎	金沢文庫研究	294	慈雲尊者一人と書一(十一)	〃	〃	686
天照山光明寺什物帳(一)	青地 幸安 鎌 倉		79	慈雲尊者一人と書一(十二)	〃	〃	687
自筆文書の意義と認識形成について—徳川家康文書と日課念仏を例に—	徳川 義宣	金蹴叢書美術史論文集	22	卷子本から冊子本へ—「明月記」と紀貫之本『土佐日記』の表紙—	藤本 孝一	日本歴史	562
<新出資料紹介>天野社伝来の装飾経高野山 金剛峯寺蔵	辻 雅栄	高野山霊宝館研究紀要	1	研究余録 上島有氏「田中稔氏と古文書学—「礼紙」についてお答する—」への批判	百瀬今朝雄	〃	〃
和図書装訂研究史の諸問題—大和綴を中心に—	藤森 馨	国学院雑誌	1054	《資料紹介》徳川家伝来 短冊手鑑	島村 芳宏	野村美術館研究紀要	4
紹介 小松茂美著『古筆学大成』	小島 孝之	国語と国文学	860	表紙解説—世界のカリグラフィ9—一字蓮台法華経	須藤 弘敏	百 科 (月刊)	395
史料紹介 大覚寺聖教・文書	大覚寺聖教・文書研究会	古文書研究	40	浦上春琴の落款と印章 附 浦上秋琴の落款印章	川延 安直	福島県立博物館紀要	9
口絵解説(円爾充)	湯山 賢一	〃	〃	滋賀県・長寿寺所蔵大般若波羅密多経の書写と伝来—平安末期地方写経の一事例として—	藤田 励夫	MUSE-UM	530
				柀に捺された法隆寺印	東野 治之	〃	533
				博物館書目誌稿 帝室本之部 医学館本 篇 『有林福田方』について(下)	佐々木利和	〃	〃

平成7年定期刊行物所載文献(古)

天海版大藏經の底本に関する諸説の再検討	野沢 佳美	立正史学	77	『松島風土記』所載の「坪碑文図」—多寶城碑に関する新資料—	佐々木和博	仙台市博物館調査研究報告	15
資料翻刻 木内石亭書状—西遊寺鳳嶺関係資料より—	井上 優 伊東ひろ美	栗東歴史民俗博物館紀要	1	法隆寺金堂釈迦三尊像光背銘文再読—法隆寺と膳氏—	北 康宏	同志社大学博物館学年報	27
歴史への招待状 企画展示 館藏品展『寺社縁起の歴史』寺社縁起とは	福原 敏男	歴 博	74	中国			
杉田・大槻・宇田川・桂川家関係資料にみられる落款・蔵書印譜—「洋学文庫」より—	鎌倉喜久恵	早稲田大学図書館紀要	41	陳の太建七年銘鐘の陰刻銘の彫刻技法について	鈴木 勉	史迹と美術	652
中国				表紙解説—世界のカリグラフィ12「散氏盤」銘文	阿辻 哲次	百 科 (月刊)	398
中国の書	角井 博	永青文庫	56	朝鮮			
ベルリン・シンポジウム「アンネマリー・フォン・ガバインとトルファン研究」一九九四年十二月九日—十二日	小田 寿典	東方学	90	東京国立博物館保管の高麗及び李朝時代の墓誌七例について	原田 一良 山内 民博	MUSE-UM	536
士大夫のノルムの形成—南宋時代	中砂 明德	東洋史研究	54—3	板碑・木簡等			
越中国学所蔵宝巻・宝典について	磯部 彰	富山大学人文学部紀要	23	日本			
我が国の古典籍の伝来について	山本 信吉	ビブリア	104	種子に朱の塗られた下総板碑	石井 保満	史迹と美術	651
ドイツのトルファンコレクション ベルリン国立図書館所蔵のトルファン漢語文書 上	西脇 常記	百 科 (月刊)	389	長屋王家木簡索引(その1)	関西学院大学古代史研究会	続日本紀研究	293
ドイツのトルファンコレクション ベルリン国立図書館所蔵のトルファン漢語文書 下	〃	〃	391	長屋王家木簡索引(その2)	〃	〃	294
『山谷題跋』巻四に於ける二王の存在に関する考察(上)	塚本 宏	和洋女子大学紀要	35	長屋王家木簡索引(その3)	〃	〃	295
朝鮮				長屋王家木簡索引(その4)	〃	〃	296
宗家旧蔵「図書」と木印	田代 米谷 和生 均	朝鮮学報	156	長屋王家木簡索引(その5)	〃	〃	297
その他				長屋王家木簡索引(その6)	〃	〃	298
表紙解説—世界のカリグラフィ7 オーム・マニペメ・フォーム		百 科 (月刊)	393	長屋王家木簡にみえる木上について	福原栄太郎	日本歴史	562
金石文等				武蔵府中長福寺の板碑	深沢 靖幸	府中市郷土の森紀要	8
日本				中国			
修理報告 平成五年度 修復文化財関係銘文集成		学叢(京都国立博物館)	17	曾侯乙墓出土竹簡についての一考察	石黒ひさ子	駿台史学	95
				工芸一般			
				日本			
				談話室 数奇者の残照	内川 隆志	国学院雑誌	1057
				「利休」号について(続)	堀内 宗完	茶道雑誌	59—2
				<北村美術館 春季特別展>花みごろ	木下 収	〃	59—3

<野村美術館 春季特別展>茶道史に輝く人々(1)一利休・不味・遠州 一	古賀 健蔵	茶道雑誌	59-3	茶の湯交友抄 仙叟と大樋長左衛門・宮崎寒雉	筒井 紘一 淡 交	597
<徳川美術館 開館60周年記念 春季特別展>「徳川美術館の名宝」展によせて	四辻 秀紀	"	59-4	少庵宗淳居士の生涯	" "	598
日記でつづる茶の湯の歴史(七) 四種十服茶(下)	谷 晃	"	"	少庵の遺宝	谷端 昭夫	" "
茶入の蓋(一)一牙蓋と牙蓋師一	矢崎 格	"	59-5	少庵の茶会記	谷 晃	" "
日記でつづる茶の湯の歴史(八) 淋汗茶湯	谷 晃	"	"	少庵の逸話	横田八重美 山田 哲也	" "
<静嘉堂文庫美術館>「かおり」の美術展一香合・香炉・香道具一	玉虫 敏子	"	59-6	座談会 「名誉の数奇者」一少庵と千家	久田 宗也 村井 康彦 戸田 勝久	" "
茶入の蓋(二)一牙蓋と牙蓋師一	矢崎 格	"	"	人物小辞典 少庵をめぐる人びと	井溪 明 西山 恵子	" "
茶入の蓋(三)一牙蓋と牙蓋師一	"	"	59-7	道具の手入、保存の仕方11 蓋置・建水	高野 国夫	" 602
日記でつづる茶の湯の歴史(九) 会所の茶の湯	谷 晃	"	"	『山上宗二記』と茶陶	竹内 順一 陶 説	512
茶入の蓋(四)一牙蓋と牙蓋師一	矢崎 格	"	59-8	利休は何を創造したか 25 直心の点前	矢部 良明	日本美術工芸 676
<野村美術館 秋季特別展> 茶道史に輝く人々(2)一昭乗・石州・宗和一	古賀 健蔵	"	59-9	利休は何を創造したか 26 粗末を装う会席料理	" "	677
茶入の蓋(五)一牙蓋と牙蓋師一	矢崎 格	"	"	利休は何を創造したか 27 茶の湯装束の「鼠色」	" "	678
日記でつづる茶の湯の歴史(十) 「数奇の庵」の茶の湯	谷 晃	"	"	利休は何を創造したか 28 諸々の道具の細工と仕立て	" "	679
<五島美術館 特別展「山上宗二記」によせて>『山上宗二記』と茶道具	竹内 順一	"	59-10	『隔葉記』にみる寛永文化の世界 26 寛永文化の茶の湯	岡 佳子	" 680
<湯木美術館 秋季展>茶人と遠州ゆかりの道具	末広 幸代	"	"	千利休の政治的側面	ボポリレス オルガ	野村美術館研究紀要 4
香と茶道	古賀 健蔵	"	"	《翻刻》彦根城博物館蔵 御茶湯之湯会席帳	野村美術館 学芸部	" "
日記でつづる茶の湯の歴史(十一) 茶の湯の流行	谷 晃	"	"	第47回 正倉院展	関根 俊一	文化財(月刊) 385
茶入の蓋(六)一牙蓋と牙蓋師一	矢崎 格	"	59-11	中 国		
年次報告	三宅 久雄 西川 明彦 成瀬 正和 杉本 一樹 木村 法光	正倉院年報	17	中国雲南省の古茶樹について	谷 晃	茶道雑誌 59-8
観瀾閣宝物目録について(二)一仙台伊達家における什物保存の試み一(補遺)	小井川 百合子	仙台市博物館調査研究報告	15	唐代の茶碾	布目 潮風	日本美術工芸 686
茶の湯交友抄 千宗旦と山田宗偏	筒井 紘一	淡 交	594	陶 磁		
				日 本		
				続・芸林臆断一10 古田織部一織部焼をめぐって一	古田 紹欽	出光美術館館報 90
				入れ墨のある柿右衛門相撲人形一明治初期バりに渡った日本陶磁一	荒川 正明	" 92
				神戸市須磨区大田町遺跡出土「荒田郡」銘硯について	森内 秀造	考古学雑誌 80-2

平成7年定期刊行物所載文献(古)

平安期緑釉陶磁器生産の展開と終焉	高橋 照彦	国立歴史民俗博物館研究報告	60	茶書から見える天目 近世の茶碗(95) 玉川焼	竹内 順一 陶 説 505 黒田 和哉 " "
玄海町池尻海底遺跡出土の蓋付端反碗	東中川忠美	佐賀県立城戸博物館研究紀要	1	江戸期の茶陶 著者杉浦澄子	" "
香と香合の流れ	古賀 健蔵	茶道雑誌	59-2	《戦国・近世愛陶列伝》(十三) 相国寺肩衝	佐藤 節夫 " "
<三井文庫別館開館十周年記念展> 館蔵三井家の名碗三十撰	清水 実	"	59-9	近世の茶碗(96) 田之浦窯(薩摩焼翌野窯)	黒田 和哉 " 506
徳川治宝と偕楽園焼	西本 正治	"	59-11	《戦国・近世愛陶列伝》(十四) 日野肩衝・富士茄子	佐藤 節夫 " "
<楽美術館日入生誕200年特別記念> 楽歴代十代日入展一幼年から晩年まで一	楽美術館学芸部	"	"	かをりの美術展一香合・香炉・香道具一の紹介	玉虫 敏子 " 507
短期連載 御庭焼を考える(上)	仲野 泰裕	淡 交	595	茶どころに華ひらく陶芸文化一名古屋のやきもの展より一	仲野 泰裕 " "
短期連載 御庭焼を考える(下)	"	"	596	新潟県上越市伝至徳寺跡出土の十五世紀の陶磁器について	小島 幸雄 " "
道具の手入、保存の仕方10 茶碗	高野 国夫	"	601	近世の茶碗(97) 虫明焼(一)	黒田 和哉 " "
大多喜城本丸出土遺物について(2)	津田 芳男 矢野 淳一	千葉県立総南博物館年報	2	骨董蒐集うましか譚(79) 唐津三島大鉢	小松 正衛 " "
近世の茶碗(92) 甲山焼(岡崎永楽)	黒田 和哉	陶 説	502	パリ・チュルヌスキー美術館 風雅と静謐の日本一茶の美術展	弓場 紀知 フランク ファンズ " 508
古陶磁焼継考一「焼継」と焼継屋の終えん一	須磨 満	"	"	近世の茶碗(98) 虫明焼(二)	黒田 和哉 " "
《戦国・近世愛陶列伝》(十) 樋口肩衝(山井肩衝)	佐藤 節夫	"	"	《戦国・近世愛陶列伝》(十五) 付藻茄子	佐藤 節夫 " "
ドレスデン国立美術館所蔵品によるマイセン古陶磁の輝き一アウグスト強王の秘宝展に寄せて	佐々木秀憲	"	503	瀬戸の陶芸一三〇〇年の歴史と今一	浅田 員由 " 509
取って置きの話一仏教史より見た常滑焼一	沢田 由治	"	"	絵唐津紋様集	一力 安子 " "
弔辞(沢田由治氏)	伊奈 輝三	"	"	近世の茶碗(99) 弄山万古(古万古)	黒田 和哉 " "
沢田由治氏を悼む	三浦 小春	"	"	《戦国・近世愛陶列伝》(十六) 円座肩衝	佐藤 節夫 " "
具眼有識の人・常安先生	小林 東吾	"	"	三井文庫別館開館十周年記念展 館蔵「三井家の名碗三十撰」より	清水 実 " 510
満岡・沢田両先生の思い出	青木 重雄	"	"	大樋美術館「茶碗十五撰特別展」	大樋 長左衛門 " "
沢田由治さんの思い出	九原 秀樹	"	"	近世の茶碗(100) 宗石信楽	黒田 和哉 " "
近世の茶碗(93) 王地山焼	黒田 和哉	"	"	《戦国・近世愛陶列伝》(十七) 星肩衝	佐藤 節夫 " "
《戦国・近世愛陶家列伝》(十一) 油屋肩衝	佐藤 節夫	"	"	織部のやきもの一岐阜県陶磁資料館の「大織部展」より一	河合 竹彦 " 511
近世の茶碗(94) 絵瀬戸(焼)	黒田 和哉	"	504	色絵陶磁に見られる意匠構成の展開一東京国立博物館特別展「花」より一	伊藤 嘉章 " "
《戦国・近世愛陶列伝》(十二) 北野茄子	佐藤 節夫	"	"		



大阪府箕面市栗生間谷遺跡出土の奈良三彩小壺について	上杉 史郎	陶 説	511	<出光美術館 特別展>バウアー・コレクション 中国陶磁名品展	弓場 紀知	茶道雑誌	59—2
近世の茶碗(101) 遠州信楽	黒田 和哉	" "	"	唐代の茶器(二)	布目 潮風	" "	"
美濃焼と古田織部の周辺(上)	竹村 脩	" "	"	唐代の茶器(三)	" "	" "	59—3
『山上宗二記』と茶陶	竹内 順一	" "	512	<石川県立美術館 第二展示室 特別陳列>茶道美術名品展	北 春千代	" "	59—4
根津美術館「相国寺金閣銀閣名宝展 — 北山・東山文化の華」より	西田 宏子	" "	"	唐代の茶器(四)	布目 潮風	" "	"
近世の茶碗(102) 鎌倉焼	黒田 和哉	" "	"	唐代の茶器(五)	" "	" "	59—5
美濃焼と古田織部の周辺(下)	竹村 脩	" "	"	宋代の茶器(一)	" "	" "	59—10
《戦国・近世愛陶列伝》(十八) 四聖坊肩衝	佐藤 節夫	" "	"	宋代の茶器(二)	" "	" "	59—11
特別展「百華の宴」— 遠山記念館開館二十五周年名品展より—	佐藤サアラ	" "	513	皇帝の磁器—新発見の景德鎮官窯展より	弓場 紀知	陶 説	504
近世の茶碗(103) 江戸 高原焼	黒田 和哉	" "	"	景德鎮官窯々址発掘の意義	長谷部楽爾	" "	"
有田からみた波佐見焼(一)	野上 建紀	" "	"	景德鎮探訪記	岸本 隆雄	" "	"
《戦国・近世愛陶列伝》(十九) 北野肩衝	佐藤 節夫	" "	"	特別展「唐物天目—福建省建窯出土天目と日本伝世の天目」を終わって	赤沼 多佳	" "	505
南蛮・島物—南海請来の茶陶—	西田 宏子	東洋陶磁	23・24	秘色青磁をもとめて—越窯・秘色磁学術討論会にて—	亀井 明德	" "	506
「金地日録」にみる金森宗和と御室焼	岡 佳子	" "	"	柴窯解明の手掛かり	荒井 幸雄	" "	"
乾山焼の総合的検証	ウィルソン リチャード 小笠原 佐江子	" "	"	青磁と染付—根津美術館の涼やかな器展—	佐藤サアラ	" "	509
中 国				中国の旅(1) 定瓷博物館と潤磁村窯跡	小山 岑一	" "	"
龍泉青磁簡史(5)	朱金沢 伯謙 陽	出光美術館館報	90	表紙・単色口絵図版解説	永淵 友子	" "	510
龍泉青磁簡史(6)	" "	" "	91	中国の旅(1) 磁州窯の窯跡めぐり	小山 岑一	" "	"
龍泉青磁簡史(7)	" "	" "	92	中国の旅(2) ねりあげの玉	川瀬 忍	" "	"
「『部限瓷器』・『欽限瓷器』についての若干の考察」補習	金沢 陽	" "	93	広西壮族自治区の青白瓷	荒井 幸雄	" "	511
龍泉青磁簡史(8)	朱金沢 伯謙 陽	" "	"	広西壮族自治区の青白瓷の装飾と探源	封 李 紹柱 鐸	" "	"
「部限瓷器」・「欽限瓷器」についての若干の考察	金沢 陽	出光美術館研究紀要	1	清朝陶磁展—景德鎮官窯の美	長谷川祥子	" "	512
北宋初期の紀年銘をもつ越州窯青磁をめぐって	弓場 紀知	" "	"	北京大学考古系発掘成果—中国の考古学展—	弓場 紀知	" "	513
初期定窯白磁の研究	伊東 徹夫	鹿島美術財団年報	12別冊	《古今東西 やきもの旅 13》黄塵万丈 大黄河の名窯を訪ねて 鈞窯	脇田 宗孝	日本美術工芸	676
				《古今東西 やきもの旅 14》刻花青潤 幻の汝窯と耀州窯	" "	" "	677
				明代正統期の景德鎮官窯磁器	伊藤郁太郎	" "	682

《古今東西 やきもの旅 24・最終回》華彩伝来 唐三彩の風土 長安から奈良へ	脇田 宗孝	茶道雑誌	687	タイの古陶 思いつくまま(2) 宋胡録人形	上床 亨	陶 説	507
平凡社版『中国の陶磁』刊行にあたって	長谷部楽爾	百科(月刊)	396	ランナー古窯址探訪記(3) パーン・バヤオ・ナーン	岸良 鉄英	〃 〃	〃
朝鮮				タイの古陶 思いつくまま(3) バラモンの影	上床 亨	〃 〃	508
韓国陶磁見聞記(中)	谷 晃	茶道雑誌	59-1	タイの古陶 思いつくまま(4) キンマ	〃	〃	509
韓国陶磁見聞記(下)	〃	〃	59-2	タイの古陶 思いつくまま(5) ノランシンガー	〃	〃	510
高麗茶碗の話(一)	池田 瓢阿	陶 説	513	タイの古陶 思いつくまま(6) 白釉緑彩陶	〃	〃	511
茶会記に見る朝鮮陶磁の受容	谷 晃	野村美術館研究紀要	4	タイの古陶 思いつくまま(7) 灯火器	〃	〃	512
その他				タイの古陶 思いつくまま(8) 魚紋の皿	〃	〃	513
東南アジアでの最近の陶磁貿易研究—IAHA会議より	坂井 隆	陶 説	504	交易時代のアユタヤ	石井 米雄	東洋陶磁	23・24
クメール陶器の魅力—町田市立博物館「クメールの焼きもの展」	矢島 律子	〃	506	日本における遺跡出土のタイ陶磁器	森村 健一	〃 〃	〃
東南アジア古陶磁研究の現状	長谷部楽爾	東洋陶磁	23・24	鹿児島神宮伝来のタイ陶器	吉良 文男	〃 〃	〃
一公開討論—「東南アジアの貿易陶磁」について	吉良 文男 司会 青柳 洋治 司会 山本 信夫 森本 朝子	〃 〃	〃 〃	岡山市立オリエント美術館所蔵の初期イスラム陶器(図版)	飯島 章仁	岡山市立オリエント美術館研究紀要	13
ベトナム古陶磁調査—一九九五年、ラムドン省の遺跡と出土品を中心に—	西田 宏子	陶 説	509	イスラム陶器収蔵概要	巽 善信	天理参考館報	8
ベトナム北部ハイフン省の古窯址をたずねて	森本 朝子	〃 〃	〃 〃	ペルシア陶器について	神崎かずこ 森 達也	陶 説	502
日本出土のベトナムの陶磁とその産地	〃	東洋陶磁	23・24	ペルシア陶器の窯道具	岡野 智彦	〃 〃	〃
ベトナム青磁について—その特色と問題点—	矢島 律子	〃 〃	〃 〃	揚州唐城から出土したペルシア三彩	弓場 紀知	〃 〃	〃
ベトナム中部の陶磁器生産と貿易—ゴアサイン窯跡群の発掘調査—	山本 信夫	〃 〃	〃 〃	トプカブ宮殿の名品展	大橋 康二	〃 〃	510
タイ陶磁の分類と編年のための古窯址調査	尾崎 直人	鹿島美術財団年報	12別冊	マイセン磁器発明の功労者たち	嶋屋 節子	〃 〃	503
タイの古陶 思いつくまま(1) 精霊(ビー)の世界	上床 亨	陶 説	505	「魅惑のマイセン磁器」展について	森谷 美保	〃 〃	〃
ランナー古窯址探訪記(1) パーン・バヤオ・ナーン	岸良 鉄英	〃 〃	〃 〃	オランダ連合東インド会社とコーヒーカップ	松下 久子	〃 〃	510
ランナー古窯址探訪記(2) パーン・バヤオ・ナーン	〃	〃 〃	506				
				土 器			
				日 本			
				弥生土器研究の可能性について	文殊 省三	大阪市立博物館研究紀要	27
				「下野毛遺物包含層」の遺物—西岡秀雄コレクションより—	加藤 緑	大田区立郷土博物館紀要	5

川崎市域出土の装飾 把手付き縄文土器 (補遺)	村田 文夫	川崎市 民 ジ ア ム 紀 要	7	瓦				
				日 本				
北陸における古墳出 現期の社会構造—土 器の計量的分析と古 墳から—	高橋 浩二	考古学雑 誌	80—3	研究ノート 太宰府 天満宮絵馬堂の丸瓦	栗原 和彦	九州歴史 資料館研 究論集	20	
資料紹介 讃岐出土 の東北系黒色土器	片桐 孝浩	〃	〃	伝・飛鳥寺出土の瓦	太田 三喜	天理参考 館報	8	
書評 吉岡康暢著 『中世須恵器の研究』	荻野 繁春	〃	〃	《資料紹介》小幡庵寺 出土の遺物をめぐっ て	梶山 勝	名古屋 市博 物館 研 究紀 要	18	
研究ノート 弥生式 土器の塗彩に使われ たベンガラ由来— フォッサマグナ東端 地域を中心として—	矢彦清允 両角秀俊 藤松仁泰 村上泰稔 森嶋	〃	80—4	筑前における中近世 瓦の分類試案(上)	井沢 洋一	福岡市博 物館研 究紀 要	5	
土器型式と土器様式	小杉 康	駿台史学	94	真行寺廃寺跡近傍発 見の軒丸瓦	高木 博彦	房総風土 記の丘年 報	18	
宮城県における岩 版・土版について	原河 英二	仙台市博 物館調 査研 究報 告	15	近世軒平瓦の分類に ついて—甲府城を例 にして—	柏木 秀俊	山梨県立 考古博 物館山 梨県 埋蔵文 化セン ター研 究紀 要	11	
続天理参考館所蔵 唐古・鍵遺跡出土の 絵画土器について	藤原 郁代	天理参考 館報	8	金 工				
布留遺跡出土の土師 器直弧文高杯につい て	竹谷 俊夫	〃	〃	日 本				
浮島式土器の施紋技 法について	松浦 史浩	東京大学 文学部考 古学研 究紀 要	13	名古屋城本丸御殿障 壁画付属の引手金具 —慶長・寛永期の金 具工房試論—	久保 智康	学叢(京 都国立 博物館)	17	
檀原式紋様論	大塚 達朗	〃	〃	加賀金工水野家史料 (一)—扶持相続訴願 関係(1)	黒川 威人	金沢美術 工芸大 学紀 要	39	
愛知県陶磁資料館 「古代の造形美—装 飾須恵器展」につい て	柴垣 勇夫	陶 説	512	資料紹介 国宝 観 世音寺鐘と妙心寺鐘	横田賢次郎 石丸 洋	九州歴史 資料館 研 究論 集	20	
書評と紹介 吉岡康 暢著『中世須恵器の 研究』	前川 要	日本歴史	569	三世鏡と三稜鏡	原 俊之	GLASS	38	
最古の須恵器型式設 定の手続き	植野 浩三	文化財学 報	13	古代金工における色 彩—古代の色は復元 可能か—	村上 隆	国立歴史 民俗博 物館 研 究報 告	62	
静岡県島田市阪本町 所在 高根森古墳出 土須恵器について— 東京国立博物館出品 の検討—	中村 浩	MUSE- UM	535	銅製五輪塔	鈴木 友也	国 華	1194	
<資料紹介> 栗東 町・霊仙寺遺跡出土 の弥生土器	松村 浩	栗東歴史 民俗博 物館 紀 要	1	武州小用鑄物師小考	島野 隆司	埼玉県立 歴史資 料館 研 究紀 要	17	
				高島郡における製鉄 の問題から—6世紀 を考えるための序章—	細川 修平	滋賀県文 化財保 護協 会紀 要	8	
そ の 他				木炭窯の形態からみ た古代鉄生産の系譜 と展開に関する予察 —滋賀県瀬田丘陵の 事例を中心に—	大道 和人	〃	〃	
西アジア暗色磨研土 器の研究(1)	三宅 裕	筑波大学 先史学・ 考古学 研 究	6	扁平鈕式六区袈裟襷 紋銅鐸の細類につい て	木戸 雅寿	滋賀県立 安土城 考 古博 物館 紀 要	3	

平成7年定期刊行物所載文献(古)

静岡における古代の鉄器製作に関する二・三の問題	佐藤 達雄	静岡県史研究	11	中 国			
<短報> 正倉院伝来のアンチモンインゴット	成瀬 正和	正倉院年報	17	館蔵の海獣葡萄鏡四面に関する一考察	八波 浩一	出光美術館研究紀要	1
濯龍鏡の編年と原鏡の同定	新井 悟	駿台史学	95	中国鏡にみられる准堤信仰	服部 法照	印度学仏教学研究	87
名物道具めぐり合い松本舟と淡路屋舟	小田 栄一 淡 交		596	唐時代銀器、唐鏡を中心とする唐時代美術の基礎的調査研究	山中 理	鹿島美術財団年報	12別冊
天理参考館所蔵の異形鏡板付簪について	高野 政昭	天理参考館報	8	法門寺の茶文化シンポジウム	倉沢 行洋 東 君	茶道雑誌	59—3
天理参考館所蔵单鳳の鏡頭把頭	山内 紀嗣	〃	〃	隋唐式鏡綜論	秋山 進午	泉屋博古館紀要	11
研究報告 浜松市天王中野遺跡出土の鉄塊について 天王中野遺跡出土の概要	佐野 一夫	浜松市博物館報	7	朝鮮			
「浜松市天王中野遺跡出土の鉄塊と奈良時代の鋼精錬法」	佐々木 稔	〃	〃	新羅梵鐘に科学技術のメス	廉 永夏 梵 鐘		2
大和五位堂鋳物師の研究(1)―十二神社境内の鉄燈籠の記録と鋳造技法―	伊藤 純 桜井 忠彦 伊藤 幸司	ふたかみ	3	作品解説 金製耳飾	吉田 宏志	大和文華	93
再び「長谷寺銅版法華説相図銘」について―片岡直樹氏の批判に接して―	大山 誠一	仏教芸術	218	その他			
銅鐸の話・入門編	酒井 龍一	文化財学報	13	ドンソン系銅孟の研究	吉開 将人	考古学雑誌	80—3
栄山寺鐘銘の美しさのなぞに迫る―もし「文字型陽錘銘」でなかったら―	鈴木 勉 梵 鐘		2	マレー半島ケダー出土の舍利容器	原田 一敏	文化財(月刊)	387
訪鐘記(三) 昭和三十一年～三十三年	坪井 良平	〃	〃	青銅器			
訪鐘記(四) 昭和三十三年～三十五年	〃	〃	〃	中国			
元禄以前(十七世紀)武蔵・相模両国の梵鐘年表編	真鍋 孝志	〃	〃	中国青銅鏡に観る製作の痕跡―製作と形式―	中野 徹	和泉市久保惣記念美術館久保惣記念文化財団東洋美術研究所紀要	6
梵鐘の音色一考	堀江 尚男	〃	3	研究随想 近時雑覽―京都府下新出紀年銘鏡―	鈴木 博司	学叢(京都国立博物館)	17
伊勢奈運寺・能登永光寺の法華経刻字鐘	斉藤 善夫	〃	〃	銅鼓の儀礼と世界観についての一考察―中国・広西壮族自治区の白禪瑤の事例から	鈴木 正崇	史 学	64—3・4
訪鐘記(五) 昭和三十六年～三十七年	坪井 良平	〃	〃	殷墟後半期の青銅彝器(上)	難波 純子	泉屋博古館紀要	11
元禄以前(一七世紀)甲斐国の梵鐘年表稿	渡辺 貫市	〃	〃	青龍三年四神鏡	樋口 隆康	東方学	89
元禄以前(一七世紀)越中・能登・加賀の梵鐘年表稿	斉藤 善夫	〃	〃	甲 冑			
元禄以前(一七世紀)尾張・三河両国の梵鐘年表稿	愛甲 昇寛	〃	〃	日 本			
歴史への招待状 企画展「銅鐸の美」象徴としての弥生青銅器	春成 秀爾	歴 博	73	馬具からみた下伊那地方の古墳時代の様相(経過報告)	渋谷恵美子	飯田市美術館研究紀要	5
				上州甲冑師の基礎的研究(一)―成重について―	平野 進一 小山 永岡 友孝 利一	群馬県立歴史博物館紀要	16

古墳時代中期における金工技術の変革とその意義—盾庇付冑を中心として—	橋本 達也	考古学雑誌	80—4	[資料紹介]金銅丸鞆太刀について	広井 雄一	刀剣美術	459
甲冑師姫路明珍家について—甲冑師明珍派の流派形成—	松井 良祐	塵 界	8	刀装具の画題(10) 浮かれ駒		” ”	” ”
姫路明珍家の作品について	”	”	”	『後藤家彫物目利彩金鈔』釈文(四)		” ”	” ”
千人塚古墳の研究(1)—衝角付冑について—	鈴木 一有	浜松市博物館館報	7	北海道出土の刀剣について	佐藤 矩康	”	460
武蔵野に残る中世の甲冑	伊沢 昭二	武蔵野	326	泰童裁宗寛の門人寛重の基礎研究	永田 光司	”	”
刀 剣				[資料紹介](財)石川文化事業財団・お茶の水図書館蔵 成實堂文庫本「刀剣銘尽」	奈良原和夫	”	”
日 本				刀装具の画題(11) 鯉幟		” ”	” ”
多摩川台古墳群第9号墳出土の銀象嵌大刀	清水 久男	大田区立郷土博物館紀要	5	肥前刀雑記(二十三) 銘の変遷と年代—そこから見た疑問(3) 二代忠広 その二	横山 学	”	461
房総の刀工(2)—上総一宮藩工 固山宗平—	小高 憲二	千葉県立総南博物館年報	2	刀装具の画題(12) 八つ橋		” ”	” ”
菅政友による「七支刀」の銘文研究について—「外来金器文字記」と銘文発見の経緯についての考察から—	藤井 稔	朝鮮学報	155	戦国期、備中松山・鶴首両城に関する諸工	横田 孝雄	”	462
影印 外来金器文字記 付「大和国石上神宮宝庫所蔵六叉刀」菅伸生家所蔵		”	”	刀装具の画題(13) 瓢箪鯨図		” ”	” ”
享保諸国鍛冶御改めの研究—明灯撰「新刃論」の吟味—	佐藤 幸彦	刀剣美術	456	鹿島神宮の社家中臣氏と沼間藤源次鍛冶	間宮 光治	”	463
刀装具の画題(7) 野猪		”	”	刀装具の画題(14) 普賢・文殊		” ”	” ”
源兵衛尉祐定は何人いたのか	横田 孝雄	”	457	肥前刀雑記(二十四) 掟と例外	横山 学	”	464
刀装具の画題(8) 歳寒二友		”	”	刀装具の画題(15) 虎溪三笑		” ”	” ”
『後藤家彫物目利彩金鈔』釈文(二)		”	”	木村長門守重成 討死の節の佩刀について	中村 達夫	”	465
肥前刀雑記(二十二) 銘の変遷と年代—そこから見た疑問(2) 二代忠広 その一	横山 学	”	458	刀装具の画題(16) 獅子の児落とし		” ”	” ”
文明年中の勝光・宗光—児島打ちの故地を求めて—	梶川 真	”	”	新刃銘尽と新刃銘尽後集の比較研究	佐藤 幸彦	”	466
刀装具の画題(9) 鶯宿梅		”	”	刀装具の画題(17) 春日野		” ”	” ”
六郎左衛門尉祐光について—駐鎗を中心に検証—	横田 孝雄	”	459	刀剣社会学試論 封建制を支えた日本刀—近世筑前刀の誕生と成長—	真砂 光治	”	467
「樋」について	内山 汎	”	”	刀装・刀装具初学教室(18)	福士 繁雄	”	”
長船・福岡—文字派発展の背景をみる	上森 岱乗	”	”	刀装具の画題(18) 蘇東坡		” ”	” ”
				兵庫鎗・長覆輪太刀の制作年代について—嚴島神社伝来の太刀を中心に—	広井 雄一	美術研究	361
				三寅鋼の象嵌技法とX線透過写真・エミシオグラフィーによる研究	西山 要一	文化財学報	13



「牛之塔」再考—“竹経”に関する覚え書き—	唐沢 至朗	群馬県立歴史博物館紀要	16	ガラス工				
壺の石蓋	栗原 文蔵	埼玉県立歴史資料館研究紀要	17	日本				
彩色のある中世五輪塔	駒宮 史朗	〃	〃	日本ガラス工芸学会第三回大会研究発表要旨 (四) 弥生—古墳期のガラス珠鑄型	谷一 尚	GLASS	37	
深谷市高島の中世石造遺物群	駒宮 史朗 大久保 かおり	〃	〃	塞杆状ガラス器について	巽 善信	〃	38	
研究ノート 中世都市堺の墓地—石塔の再評価—	高田 陽介	史学雑誌	104—4	中国				
新刊紹介『田辺町の石造美術』(篠原良吉著)	大鳥居総夫	史迹と美術	652	揚州前漢墓ガラス衣片の研究	程周 小野田 朱海源 長源 伸	GLASS	38	
丹後岩滝町の石造美術	篠原 良吉	〃	653	その他				
光禪寺(山形県山形市鉄砲町二ノ五ノ七)弥陀種子自然石塔塔婆について	工藤 忠雄	〃	654	故石黒孝次郎氏ガラス・コレクション(二)イスラーム・ガラス	真道 洋子	GLASS	38	
大王山密厳寺石造五重塔の製作年代	森 章	〃	〃	玉工				
新刊紹介 土佐の石造遺品集 平安—江戸時代 林勇作編著	大鳥居総夫	〃	655	中国				
高知県西部の石造美術	岡村 庄造	〃	656	良渚文化玉器の彫刻技術	林 巳奈夫 史 林		393	
生駒市竹林寺の境界石についての私見	仲 芳人	〃	658	工芸その他				
血盆経と一字一石供養塔	甲斐 常興	〃	659	日本				
上野寛永寺弁天堂の諸碑をめぐって	大崎 智子	常民文化	18	平面の工芸—西本願寺本三十六人家集をめぐって	武部 直子	大阪市立博物館研究紀要	27	
中国				木版雲母刷料紙装飾について—東京芸術大学図書館所蔵「謄本百番本」—	中部 義隆	鹿島美術財団年報	12	
甘肅省天水市発見の隋末唐初の日月屏風について	バンブリ ング ミッ シェル	仏教芸術	222	横浜市都筑区宮坂遺跡採集の杓子形土製品について	原 宏美	川崎市市民ミュージアム紀要	7	
木工				「箔絵」考	四辻 秀紀	金鱗叢書 史学美術史論文集	22	
日本				紙布の研究—歴史・技法・今後の展開について—	村川香代子	帝塚山短期大学紀要	32	
資料紹介 群馬県新田町下田遺跡出土の縄文時代の木製品	小宮 俊久	考古学雑誌	80—2	中国				
紙魚想考(五)	水野 正好	奈良大学紀要	23	いわゆる“中国北方青銅文化”の鹿角製馬具	小田木治太郎	天理参考館報	8	
伊場・梶子遺跡出土の「背負子」について	宮下 知良	浜松市博物館館報	7					
団扇・扇—百科プロムナード107	五十嵐謙吉	百科(月刊)	393					

建築一般

日本

平安後期の犯土造作について 詫間 直樹 建築史学 25

研究ノート 近世京都の拡大過程に関する編年 土本 俊和 " "

書評 高橋康夫・吉田伸之・宮本雅明・伊藤毅編『図集 日本都市史』 藤川 昌樹 " "

近江へのアプローチ・その2 神崎郡篇 細川内田畑中大神保 修平之英二和人忠宏 滋賀県文化財保護協会紀要 8

福山敏男先生の御逝去を悼む 中西 亨 史迹と美術 656

芭蕉の風景『洒落堂記』にみる風景の構造 香西 克彦 日本建築学会論文報告集 467

『万葉集』に現れる建築と環境に関する研究 張中川若山 奕文子 景子 滋 " 471

中国

文学部講演会紹介 A・イーヴリエフ氏「沿海地方の中世国家(渤海・金)に関する考古学的研究」 酒寄 雅志 国学院雑誌 1055

都市・集落

日本

経向遺跡の発掘調査 第八十次の調査成果から 橋本 輝彦 大 美 和 89

城下町小田原の考古学的調査 諏訪問 順 小田原市郷土文化館研究報告 31

日本先史時代のデポ 田中 英司 考古学雑誌 80—2

江戸における木戸・番屋の成立と機能—絵画資料を中心に— 波多野 純 国立歴史民俗博物館研究報告 60

武家の都会像の形成—都市イメージとしての江戸図屏風— 塚本 学 " "

江戸の名所・王子 加藤 貴 " "

湖南地域の異方位地割と古代の建物方位 田井中洋介 滋賀県文化財保護協会紀要 8

中川低地と遺跡 高橋 一夫 草加市史研究 9

聖地としての日光—風水と鬼門— 内藤 正敏 大 日 光 66

茨城県笠間市西田遺跡発掘調査概報 西野加藤石橋 元博文 筑波大学先考古学研究所 6

文化財レポート(309) 紫香楽宮関連遺跡の調査—宮町遺跡の調査を中心に— 鈴木 良章 日本歴史 567

文化財レポート(310) 不入岡遺跡の調査 真田 広幸 " 568

中尾芳治著『難波宮の研究』 仁藤 敦史 " 571

八王子市船田遺跡の平安時代集落(3) 服部 敬史 八王子の歴史と文化 7

中世都市から近世都市へ—発掘成果から見た一六・一七世紀の博多— 大庭 康時 福岡県地域史研究 13

不入岡遺跡の調査 竹宮亜也子 文化財(月刊) 379

近世都市江戸における武家地空間の研究—麻布市兵衛町・西久保城山地区の発掘調査を中心に— 平田 禎文 港区立港郷土資料館研究紀要 3

《新刊紹介》三宅博士田中義昭著『荒神谷遺跡』—古代出雲の「王国」を求めて— 坂詰 秀一 立正史学 78

近畿地方の縄文時代晩期における東日本の影響(一)—樞原遺跡を中心にして— 岡崎 晋明 龍谷大学論集 445

中国

曲阜魯国故城をめぐる諸問題について 許 宏 東洋学報 77—1・2

中国古代都市遺跡の現状と問題点—1993年、陝西、山東、山西、河南、河北省の都市遺跡を見学して— 江村 治樹 名古屋大学文学部研究論集 122

戲台及び演劇空間の構成について—中国江南の水郷都市研究その1— 高村 雅彦 日本建築学会論文報告集 473

西安市の都市プラン構想 鳥巢 京一 福岡市博物館研究紀要 5

海外報告 流砂に埋もれた古代王国—中国新疆・ニヤ遺跡の調査— 高橋 照彦 歴 博 69



その他				新刊紹介 宮沢勝美・吉田伸之編『武家屋敷一空間と社会』	金行 信輔	建築史学	24
第四十四回 仏教文化講演会記録 舎衛城跡の発掘調査	網干 善教	龍谷大学 仏教文化研究所紀要	34	研究ノート シシマノ下考 東京都稲城市森茂夫家住宅の調査より	平山崎 育男 弘達 雄	〃	25
くらんこんとるゝ 考古学者の影	前田 耕作	象徴図像研究	9	修復トピックス 興福寺南円堂の江戸再建とその大工について	中村 伸夫	〃	〃
カマン・カレホニック発掘調査(1993)(9)	大村 幸弘	出光美術館報	90	日本建築における色彩	浜島 正士	国立歴史民俗博物館研究報告	62
イラン考古学の最近の動向	大津 忠彦 山内 和也	オリエン ト	38—1	坂東札所第九番慈光寺とその麓の平宿	埼玉県立博物館	埼玉県立博物館紀要	20
シリアとヨルダン—ハックスリー卿に引かれて—	秦 剛平	宗教美術研究	2	城館跡等にもみられる堀の覚書—菅谷館跡の堀を中心として—	小野 義信	埼玉県立歴史資料館研究紀要	17
建造物				名護屋城の築城と改造について	高橋 哲郎	佐賀県立名護屋城博物館研究紀要	1
日本				境界の祭祀 鎮守の祭祀—三州岡崎城下投町菅生八幡宮をめぐる—	細井 岳登	史苑	154
六郷山寺院遺構確認調査		宇佐風土記の丘歴史民俗資料館年報	H6年度	寺本庵寺三重塔推定復元模型	吉田 実	史迹と美術	655
三輪山周辺に営まれた宮室を復原する	小笠原好彦	大 美 和	88	法隆寺中門について	前田 鍵次	聖徳	146
中川武監修 数奇屋の森 和風空間の見方・考え方	西 和夫	学 鏡	92—7	城郭の空間の特性と表現手法に関する一考察	堀田 浩之	塵 界	8
近世初期における京都の臨濟宗寺院の本堂(客殿、方丈)に関する研究(1)—平面の復原を中心に—	アンタリク サ 日向 進	京都工芸繊維大学 工芸学部 研究報告 人文	43	筑前黒田藩と石鳥居の奉納	山村 信栄	大 日 光	66
中世における橋の諸相と架橋	阿蘇品保夫	熊本県立美術館研究紀要	7	少庵が伝えた利休家の図	矢ヶ崎 善太郎	淡 交	598
ひらがな日本美術史連載その二十一「コミュニティを感じさせるもの」東大寺南大門	橋本 治	芸術新潮	544	少庵の茶室	日向 進	〃	〃
保存の未来と建築教育		歴史的建造物(特別研究)研究協議会	建築雑誌	古写真にみる仙台の建築	飯淵 康一 永井 康雄 田中 正三 佐藤 巧 坂田 泉	東北大学 建築学報	34
阪神大震災による歴史的環境の被害と復興を巡る諸問題		建築歴史・意匠部門研究協議会	〃	鎌倉末期の興福寺大乗院家一坊官を中心に—	稲葉 伸道	名古屋大学文学部研究論集	122
研究ノート 造営文書による寝殿造邸宅内—建物の復原試案—細殿との関係において—	清水 拓	建築史学	24	平安時代の多武峯寺と興福寺—対立・抗争について—	朝倉 弘	奈良大学 紀要	23
近藤豊教授を偲んで	香川 清和	〃	〃	国庁神社の系譜—惣社の系譜	村井 康彦	日本研究	12
近藤豊先生を偲んで	奥野 裕樹	〃	〃	討論 「鹿島神宮の祭儀と空間構成について」に対する討論	黒田 龍二	日本建築学会論文報告集	467
〈修復トピックス〉 国宝新薬師寺本堂	植田 哲司	〃	〃	討論 「鹿島神宮の祭儀と空間構成について」に対する討論への回答	藤沢 彰	〃	〃
新刊紹介 佐藤道子編『中世寺院と法会』	上野 勝久	〃	〃				

信濃における一間社本殿の平面寸法決定方法について	吉沢 政己	日本建築学会論文報告集	470	研究余録 伊予国守護所と湯築城	川岡 勉	日本歴史	565
九州北部及び隣接地に於ける近世棟札の内容一願文・経文と願主・檀那一	佐藤 正彦	"	"	文化財レポート(308) 平安京内裏内郭回廊跡の調査	山本 雅和	"	566
大仙院本堂の当初平面の考察	平井 俊行	"	471	高野山と村落寺社	池田 寿	"	567
近世京都における高瀬新屋敷の成立と変容	土本 俊和	"	"	神社研究と古図	達 日出典	"	569
毛利藩主国廻り時の休泊に用いられた御本陣について 毛利藩主国廻り資料に見られる休泊施設(その2)	岡田 悟	"	472	安土城天守五階の空間構成に関する一試論 一障壁画を手掛かりとして一	平井 良直	"	570
南北朝貴族住宅の出口および乗車位置一洞院公賢の用法一	飯淵 康一	"	"	久米田橋と古代越前	館野 和己	福井県史研究	13
社殿形式から見た近世備後の園域について 備後における近世神社本殿建築の研究(1)	吉信 都夫 沢登 宜久 実成 憲二	"	473	近世初頭九州における支城構造一黒田・細川領の支城について一	木島 孝之	福岡県地域史研究	"
寛文12年再建の瑠璃寺本堂の造営文書と大工について	吉沢 政己	"	"	勅願寺と国家官寺の造営組織	大橋 一章	仏教芸術	222
九州北部及び隣接地に於ける近世棟札の内容一主文と工事時期一	佐藤 正彦	"	476	「合掌造」について	光井 渉	文化財(月刊)	378
鎌倉時代再建の東大寺大仏殿一その架構と構成部材の復元的研究一	池 浩三	"	"	伊勢国府政庁(長者屋敷遺跡)の発掘調査	新田 剛 藤原 秀樹	"	383
大仙院本堂の創建平面について一設計変更説の否定と増築の確認一	西 和夫	"	478	新指定の文化財	文化庁文化財保護部	"	387
東大寺こぼれ話(11) 劔塚/釘打の弥陀	筒井 寛秀	日本美術工芸	680	白金館址と柳下氏	加瀬 文雄	港区立港郷土資料館研究紀要	3
『隔禁記』にみる寛永文化の世界 29 後水尾院の山上の茶屋	西 和夫	"	683	中 国			
桂離宮を修復する新連載 桂離宮の概要	佐藤 理	"	684	張掖大仏寺攷 一西夏の仏教文物の一断面一	鎌田 茂雄	大倉山文化会議研究年報	6
桂離宮を修復する 2 桂離宮御殿と茶屋の工事概要	"	"	685	<書評> 浅川滋男著『住まいの民族建築学一江南漢族と華南少数民族の住居論』	太田 邦夫	建築史学	24
桂離宮を修復する 3 桂離宮の仮設工事と燻蒸処理	"	"	686	北魏の郊甸と「畿上塞圍」一胡族政権による長城建設の意義一	勝畑 冬実	東方学	90
桂離宮を修復する 4 桂離宮の湯殿と江戸時代初期の排水施設	"	"	687	青龍寺の密教仏堂一唐代建築の空間儀式および古典主義一	シヤツマンニスタインハルトナンシー 田中 淡	仏教芸術	220
元和・寛永期の公役普請について	白峰 旬	日本歴史	562	浮屠は九層、雲霄にそびえる一海清寺塔とその出土物一	劉 洪 町田 浅川 加藤 真二	"	221
文化財レポート(306) 鞠智城跡の調査	島津 義昭	"	564	新資料紹介 ブットルック寺院址の性格と現状	井上 豪	"	222
				海外レポート 雲南省探訪 考古と民俗・高床式建物をたずねて	下村 智	文明のクロスロード MU-SEUM KYUS-YU	49

北京・白瀑寺と仏塔 —金代のラマ式多層 塔—	松木 民雄	北海道東 海大学紀 要	7	庭園の流れ(十) 室 町時代の庭園 その 二 —銀閣寺—	中根 史郎	茶道雑誌	59—11
朝 鮮				庭園の流れ(十一) 室町時代の庭園 そ の三 —唐様枯山水 —	〃	〃	59—12
鳳停寺極楽殿より見 る高麗時代の建築様 式に関する一考察	片桐 正夫	日本建築 学会論文報 告集	469	新刊紹介 龍安寺石 庭—七つの謎を解く— 大山平四郎著	大鳥居総夫	史迹と美 術	656
そ の 他				墳 墓			
タナ・アバンのシュ リヴィジャヤ時代遺 跡	鈴木 恒之	MUSE- UM	537	日 本			
新刊紹介 武沢秀一 著『空間の生と死— アジャクターとエ ローラ』(建築巡礼 27)	吉田 鋼市	建築史学	24	資料紹介 筒野経塚 の紹介	宮小路賀宏	九州歴史 資料館研 究論集	20
イラン圏のムカルナ スについての歴史的 考察—イスラーム建 築におけるムカルナ スヴォールティング に関する研究—	深見奈緒子	〃	25	弥生時代後期の葬制 における再葬墓の伝 統	外山 和夫 宮崎 重雄 飯島 義雄	群馬県立 歴史博物 館紀要	16
庭 園				横口式石櫛の編年と 系譜	広瀬 和雄	考古学雜 誌	80—4
日 本				北武蔵における初期 横穴式石室導入期の 様相	増田 逸朗	埼玉県立 さきたま 資料館調 査研究報 告	8
庭園の流れ(一) 飛 鳥時代の庭園と吉野 離宮	中根 史郎	茶道雑誌	59—1	吉見町山の根古墳の 年代について	利根川章彦	〃	〃
庭園の流れ(二) 奈 良時代の庭園—平城 京左京三条二坊六坪 宮跡庭園—	〃	〃	59—2	埼玉古墳群関連文献 目録1	宮 昌之	〃	〃
庭園の流れ(三) 平 安時代の庭園 その 一 —神泉苑・嵯峨 苑—	〃	〃	59—3	大津市春日山古墳群 分布調査報告	岩橋 隆浩 大崎 康文 工藤 基志 高橋あかね	滋賀県文 化財保護 協会紀要	〃
庭園の流れ(四) 平 安時代の庭園 その 二 —浄土式庭園—	〃	〃	59—5	6世紀代における木 棺直葬墳の副葬・供 献について—葬送習 俗としての「主体部 内容器埋納」にみる 「畿内型横穴式石室」 との関係を	畑中 英二	〃	〃
庭園の流れ(五) 平 安時代末期から鎌倉 時代初期の浄土式庭 園—毛越寺・永福 寺・称名寺—	〃	〃	59—6	舒明天皇押坂内陵の 墳丘遺構	笠野 毅	書陵部紀 要	46
庭園の流れ(六) 鎌 倉時代の禅宗庭園— 永保寺・瑞泉寺—	〃	〃	59—7	履中天皇百舌鳥耳原 南陵の墳丘外形及び 出土品	笠野 毅 福尾 正彦	〃	〃
庭園の流れ(七) 南 北朝時代の禅宗庭園 その一 —西芳寺—	〃	〃	59—8	平成五年度 陵墓関 係調査概要	陵墓調査室	〃	〃
庭園の流れ(八) 南 北朝時代の禅宗庭園 その二 —天竜寺—	〃	〃	59—9	大王の墳墓の築造— 応神陵と仁徳陵の巨 大さを比較する—	小沢 一雅	人文学と 情報処理	7
庭園の流れ(九) 室 町時代の庭園 その 一 —金閣寺—	〃	〃	59—10	縄文時代後半期にお ける大規模配石記念 物の成立—「葬墓祭 制」の構造と機能—	小杉 康	駿台史学	93
養翠園と養翠亭	藤井 清	〃	59—11	日本近世における葬 制—下総国猿島郡 山・沓掛両村にみる —	門前 博之	〃	〃
				両墓制の時空間的展 開	千葉 徳爾	〃	〃

常総地域における片岩使用の埋葬施設について	石橋 充	筑波大学 先史学・ 考古学研 究	6	朝鮮	朝鮮建築の「牛舌」の 成立形態に関する一 考察	片桐 正夫	日本建築 学会論文 報告集	469
茨城県における古代 火葬墓の地域性—土 浦市立博物館保管の 骨蔵器の資料紹介お よび県内事例の集成 から—	吉沢 悟	土浦市立 博物館紀 要	〃	建築その他				
横穴式石室墳におけ る墳丘出土遺物の検 討	日野 宏	天理参考 館報	8	日本	近世の建築用の鋸に ついて—伝世品をは じめとした関連資料 の調査報告—その5 —	渡辺 晶	竹中大工 道具館研 究紀要	7
<共同研究報告> 琉球文化圏の墓制と 祖霊祭	下野 敏見	日本研究	12	桂宮家における本 邸・屋敷の造営とそ の担当大工について —「御家棟梁」と桂宮 家の関係、そして仕 事内容—	小沢 朝江	日本建築 学会論文 報告集	467	
史跡梶山古墳の保存 と調査	阿部 義平	日本歴史	562	中 国	木匠の斧子について 中国江南の木匠工具 に関する研究—その 1	山口 幸夫	日本建築 学会論文 報告集	473
文化財レポート (305) 長柄横穴群 増支群の調査	麻生 正信 神野 信	〃	563	保存科学・修復				
文化財レポート (312) 史跡森將軍 塚古墳の整備	矢島 宏雄	〃	570	一 般	史料保存をめぐる国 際情勢—保存科学国 際会議に参加して—	馬淵 久夫	史料館研 究紀要	26
中世六十六部聖の奉 納経筒について	田代 孝	山梨県立 考古博物 館山梨県 埋蔵文化 財セン ター研究 紀要	11	日 本	史料の保存と取扱い	森 縣	茨城県立 歴史館報	22
《研究ノート》経典埋 納と墳墓	松原 典明	立正史学	78	阪神大震災による歴 史的環境の被害と復 興を巡る諸問題	建築歴史・ 意匠部門研 究協議会		建築雑誌	1375
書評 国立歴史民俗 博物館編 装飾古墳 が語るもの—古代日 本人の心象風景—	柳沢 一男	歴 博	74	個人蔵 島霞谷「美 人図」プレキシトル、 プレキシゾルによる 裏打	伊藤 由美	修復研究 所報告	11	
中 国				島霞谷作品クロスセ クションの観察と分 析	宮田 順一	〃	〃	
墓地における階層性 の形成—大汶口・山 東竜山文化を中心と して—	渡辺 芳郎	考古学雑 誌	80—2	原子間力顕微鏡 (ATM)による箔打 工程の金箔の観察と 評価	黒部 利次 広崎 憲一	日本海域 研究所報 告	26	
楚墓から漢墓へ—埋 葬施設における開通 志向の実現—	黄 曉芬	史 林	393	国指定文化財等展示 公開施設のシーズニ ングについて—平成 五年度展示公開施設 館内環境調査から—	佐野 千絵 三浦 定俊	文化財 (月刊)	384	
皇帝陵建設の時代— 戦国・統一・対外戦 争・内乱—	鶴間 和幸	東洋史研 究	53—4	建造物修理初期の批 判と現在の施工上の 問題点	岡田 英男	文化財学 報	13	
そ の 他								
吐魯番出土沮渠蒙遜 夫人彭氏随葬衣物疏 について	小田 義久	龍谷大学 論集	446					
建築細部装飾								
日 本								
加賀藩大工における 垂木配置の手法	田中 徳英	日本建築 学会論文 報告集	470					

象嵌された遺物のプラズマによる保存処理について	青木 繁夫 犬竹 和	保存科学	34
各種文化財等の糸状菌同定報告	木川 りか 新井 英夫	" "	" "
密陀絵の研究(I)	中里 寿克 竹永 幸代	" "	" "
法隆寺「焼損金堂・壁画」特別公開における保存対策	三浦 定俊 佐野 千絵 坂本 りか 木川 信幸 神庭	" "	" "
博物館・美術館における燻蒸の実施状況とその問題点一保存担当学芸員研修におけるアンケートから	木川 りか 佐野 千絵 門倉 武夫 三浦 定俊	" "	" "
保存担当学芸員研修の11年	三浦 定俊 佐野 千絵	" "	" "

中国

「大気汚染気下PIXEによる青銅器の元素分析」	小西 善之 久米 博 小西 郁夫 関本 亮	泉屋博古館紀要	11
-------------------------	--------------------------------	---------	----

情報処理

日本

絵画情報史研究会2年間の歩み	宮地 正人	アート・ドキュメンテーション研究	25
絵画の索引法：段階的絵画解釈を応用した三つの索引法によるデータベースの作成と評価	守田 奈緒子 上田 修一	" "	4
インターネットに適応した全文データベース検索システムの構成	大山 敬三	学術情報センター紀要	7
文献の機能構造を用いた全文データベース検索の試み	神門 典子	" "	" "
歴史研究のためのマルチメディア情報の収集・利用システム	星野 聡	京都大学大型計算機センター研究開発部研究発表報告集	9
人文科学研究へのコンピュータ利用の課題	" "	" "	10
国文学研究資料館「マイクロ資料目録データベース」・「和古書目録データベース」の検索項目・検索機能の拡張について一刊本の刊	相田 満	国文学研究資料館紀要	21

私の提言 史料情報の電子化とオンライン流通に関する諸問題	田良島 哲	古文書研究	40
歴史研究と情報処理一博物館のコンピュータ開発の経験から一	山崎 尚之	人文学と情報処理	7
歴史研究者のデータベース	松本 浩一	" "	" "
インターネット時代における学術情報センターの役割	大山 敬三	" "	8
歴博におけるインターネットの利用	鈴木 卓治	" "	" "
文化系研究者のためのインターネット入門	原 正一郎	" "	" "
文書の保存と史料の保存一文書規程と文書館条例・管理規則	栗山 欣也	文書館紀要	" "

古文書史料の保存と利用一当館における保存・利用をめぐる一	新井 浩文	" "	" "
歴史資料と情報処理技術の導入一パソコンを使用した資料の整理一	佐藤 幸広	" "	" "

その他

アート・ドキュメンテーションとアート・コンピュータリゼーション：最近接した英国の文献から	田窪 直規	アート・ドキュメンテーション研究	4
--	-------	------------------	---

文化財行政

一般

基調報告 アジア・日本固有の「オーセンティシティ」	伊藤 延男	建築史学	24
<紹介> アジア建築遺産の保存に関する国際会議“The Future of Asia's Past” タイのチェンマイで開催されるセッション報告 建築と都市の歴史的遺産についての省察とその資産の管理において、オーセンティシティの概念を今日どう扱うか	浅川 滋男	" "	" "
セッション報告 変わりゆくオーセンティシティの基準	ショエ フランソワーズ	" "	" "
特別寄稿 文化遺産一多様性とオーセンティシティ	ロー エン タール デ イヴィッド ヨ キレラ ユッカ	" "	" "

平成7年定期刊行物所載文献(古)

論文 世界遺産条約の二〇年	プレスレーン 吉田 鋼市	建築史学	24	動向 平成4年度重要文化財の指定について(続)		考古学雑誌	80-4
世界遺産の「文化的景観」に関する諸問題	本中 真	文化財(月刊)	381	阪神大震災と木造建築被害	飛田 太郎	史迹と美術	658
日本				法隆寺は語る—文化遺産への登録を受けて	高田 良信	聖 徳	144
特集 天災と闘った美術 受難の文化財 報告! 阪神大震災と美術		芸術新潮	545	I 1993年度の日本考古学界 (1)日本考古学研究の動向 3 埋蔵文化財保護活動の動向	矢島 国雄	日本考古学年報	46
特集 天災と闘った美術 美術館・博物館はどうなった? 神戸市立博物館 ヴァニタス—わが内なる震災	岡 泰正	“ “	“ “	文化財レポート (311) 平成六年度後期の史跡等の指定		日本歴史	569
特集 天災と闘った美術 美術館・博物館はどうなった? 兵庫県立近代美術館 壊れた台座	木下 直之	“ “	“ “	特報1 阪神大震災における博物館の被害状況について		博物館研究	321
特集 天災と闘った美術 古都の底力篇 関東大震災—その日、鎌倉は壊滅した		“ “	“ “	オーセンティシティと日本の文化財保護	渡辺 明義	文化財(月刊)	377
会議報告 世界遺産条約と世界文化遺産奈良コンファレンス	益田 兼房	建築史学	24	奈良コンファレンスと文化遺産のオーセンティシティ	田中 琢	“ “	“ “
セッション報告 わが国の歴史的環境保全におけるオーセンティシティ概念の変化	西村 幸夫	“ “	“ “	「世界文化遺産奈良コンファレンス」へいたる道	益田 兼房	“ “	“ “
特別寄稿 文化遺産のオーセンティシティをめぐる素描	稲垣 栄三	“ “	“ “	文化遺産の新しい枠組みと奈良会議の意義—第一八回世界遺産委員会に出席して—	稲葉 信子	“ “	“ “
				保存のためのオーセンティシティに関する問題の枠組みを組み立てるための考察	ストーバル ハーブ	“ “	“ “
				報告 新しい文化立国をめざして—文化振興のための当面の重点施策について—		“ “	384

「物故者」 ページ (307～335 ページ)

個人情報保護のため非公開

Pages of the Articles of the Deceased (pp.307-335)

Cut for protection of the personal information

印刷 平成9年4月30日  
発行 平成9年4月30日

日本美術年鑑

—平成8年版—

編集者 東京国立文化財研究所美術部

発行者 東京国立文化財研究所  
東京都台東区上野公園13-27  
電話(3823)2241

印刷 大蔵省印刷局  
東京都港区虎ノ門2-2-4  
電話(03)3587-4283~9  
(業務部図書課ダイヤルイン)